厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

介護ロボットの試用貸出リスト

令和5年7月

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

公益財団法人テクノエイド協会
The Association for Technical Aids(ATA)

はじめに

日本の高齢化は、世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらに質の高いサービスを効率的に提供するためには、介護現場へのテクノロジーの導入が不可欠となっております。

この「介護ロボットの試用貸出リスト」は、厚生労働省が公益財団法人テクノエイド協会に委託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として作成したものです。

テクノエイド協会において、実用化している介護ロボットの開発企業等に対して試用貸出への参加を募り、同意を得ることができた企業及び製品名等を掲載しております。

本リストの掲載内容は、重点分野に該当する介護ロボットを基本とし、原則的には開発企業から提供された情報となっております。従って、介護ロボットの機能や性能の有効性及び、安全性を協会が保障するものではありません。

本リストは、厚生労働省が実施する介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の相談窓口において、開発企業と試用貸出を希望する介護施設等の取次等で活用されます。

また、本リストは協会のホームページや介護ロボット地域フォーラムの協力機関などからも、広く周知されます。

これにより介護ロボットの効果的な導入と利活用を推進します。

※掲載製品の取り扱いについて

掲載している全ての製品が各都道府県が実施している「介護ロボット導入支援事業」の補助対象となるわけではありません。詳しくは、各都道府県にお問い合わせください（都道府県の「介護ロボット導入支援事業」の実施状況は、テクノエイド協会のホームページから確認できます）。

台数には限りがありますので、詳細については、相談窓口にご相談ください。

令和5年7月

厚生労働省

（公益財団法人テクノエイド協会）

目次

はじめに

移乗支援

A-01 ▶	株式会社ジェイテクト	介護作業専用アシストスーツ J-PAS fleairy（ジェイパスフレアリー）	1
A-02 ▶	CYBERDYNE 株式会社	HAL® 腰タイプ	5
A-03 ▶	ダイヤ工業株式会社	DARWING Hakobelude	9
A-04 ▶	株式会社加地	レイボエクソスケルトン	13
A-05 ▶	株式会社イノフィス	マッスルスーツ Every	17
A-06 ▶	マッスル株式会社	ROBOHELPER SASUKE	21
A-07 ▶	株式会社FUJI	移乗サポートロボット　Hug L1	25
A-08 ▶	株式会社FUJI	移乗サポートロボット　Hug T1	29
A-09 ▶	アイ・ソネックス株式会社	スカイリフト	33
A-10 ▶	株式会社アイザック	移乗・移動ロボット　Keipu-Sb	37
A-11 ▶	株式会社あかね福祉	移乗用介護ロボット「移乗です」	41
A-12 ▶	アルジョ・ジャパン株式会社	サラフレックス	45
A-13 ▶	アルジョ・ジャパン株式会社	マキシムーブ	49
A-14 ▶	アルジョ・ジャパン株式会社	マキシツイン	53
A-15 ▶	日本ケアリフトサービス株式会社	SOEL® MX-Air ソエル エムエックス エア	57

移動支援

B-01 ▶	RT . ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカーRT. 1	61
B-02 ▶	RT . ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカーRT. 2	65
B-03 ▶	パナソニック株式会社	Walk training robo	69
B-04 ▶	AssistMotion 株式会社	curara	73
B-05 ▶	株式会社 INOWA	体感型歩行自立支援システム Arbre	77
B-06 ▶	株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ	RE-Gait®	81

排泄支援

C-01 ▶	アロン化成株式会社	水洗ポータブルトイレ キューレット	85
C-02 ▶	株式会社アム	水洗式ポータブルトイレ「流せるポータくん」3号洗浄便座付き	89
C-03 ▶	日本セイフティー株式会社	ラップポン・プリート（S）普通便座（ベージュ）	93
C-04 ▶	トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社	排尿予測デバイス「DFree」	97
C-05 ▶	株式会社リリアム大塚	リリアムスポット 2	101
C-06 ▶	新東工業株式会社	Aiserv®　排泄検知システム	105
C-07 ▶	富士フイルムメディカル株式会社	iViz air	109
C-08 ▶	株式会社エフエージェイ	おむつモニター mini	113

見守り・コミュニケーション

D-01 ▶	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ®+Dr.	117
D-02 ▶	株式会社ツカモトコーポレーション	AlgoSleep　介護用見守りセンサー	121
D-03 ▶	トーテックアメニティ株式会社	見守りライフ	125
D-04 ▶	キング通信工業株式会社	シルエット見守りセンサ	129
D-05 ▶	エイアイビューライフ株式会社	A.I.Viewlife	133
D-06 ▶	株式会社TAOS研究所	見守りセンサ AiSleep	137
D-07 ▶	凸版印刷株式会社	SensingWave® 介護・睡眠見守りシステム	141
D-08 ▶	ノーリツプレシジョン株式会社	見守りシステム Neos+Care（ネオスケア）	145
D-09 ▶	株式会社 Z-Works	ライブコネクト	149
D-10 ▶	コアフューテック株式会社	e 伝之介くん	153
D-11 ▶	フランスベッド株式会社	見守りケアシステム M-2	157
D-12 ▶	株式会社 AXIVE	CareVision（ケアビジョン）	161
D-13 ▶	株式会社エイビス	エイビスみまもりシステム	165
D-14 ▶	ミネベアミツミ株式会社	ベッドセンサーシステムベーシック	169
D-15 ▶	積水化学工業株式会社	見守りセンサー「ANSIEL」	173
D-16 ▶	株式会社アルコ・イーエックス	ペイシェントウォッチャープラス	177

見守り・コミュニケーション

D-17 ▶	ドーンコーラス合同会社	高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム「もりん2」	181
D-18 ▶	テクノホライゾン株式会社	睡眠見守りシステム　みまもり〜ふ	185
D-19 ▶	株式会社ユタカ電子製作所	VitalVoice オンライン自動モニタリング システム　※旧つながるくん	189
D-20 ▶	株式会社シンセイコーポレーション	Care-Top	193
D-21 ▶	バイオシルバー	aams. 介護	197
D-22 ▶	株式会社メディカルプロジェクト	シッタープロ	201
D-23 ▶	株式会社 FEN	どこでもナースコール・見守りセンサー	205
D-24 ▶	株式会社ヒート	みてるもん 2	209
D-25 ▶	三昌商事株式会社	見守りシステム “CareBird”	213
D-26 ▶	株式会社コンフォート	エンジェルアイ	217
D-27 ▶	株式会社リンクジャパン	スマートナースコール eBell（イーベル）	221
D-28 ▶	アールジービー株式会社	つながROOM「テンシル」	225
D-29 ▶	加藤電機株式会社	見守りシステム SANフラワーXヘルシーライフ	229
D-30 ▶	株式会社インフィック・コミュニケーションズ	LASHIC-care（ラシクケア）	233
D-31 ▶	株式会社マクニカ	AttentiveConnect（アテンティブコネクト）	237
D-32 ▶	株式会社フューチャーインク	Vital Beats 3in1	241
D-33 ▶	株式会社ハピネスコーポレーション	Iot 見守りシステム　Happiness 絆	245
D-34 ▶	株式会社フォーエヴァー	【睡眠!ケア】　いきいきセンサー	249
D-35 ▶	システムファイブ株式会社	介護施設向け見守りシステム「すいすいケア」	253
D-36 ▶	シーホネンス株式会社	ベッド内蔵型見守りセンサー 「iサポート」搭載　Xシリーズ	257
D-37 ▶	竹中エンジニアリング株式会社	サーバー内蔵予測型見守りセンサー	261
D-38 ▶	竹中エンジニアリング株式会社	ベッドモニターケア	265
D-39 ▶	株式会社フルコミニュケーション	まもりん	269
D-40 ▶	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	介護ロボット トイレ見守り kizkia-Knight T	273
D-41 ▶	株式会社ソルクシーズ	見守り支援システム「いまイルモ」	277
D-42 ▶	株式会社ミオ・コーポレーション	iTSUMO アイ	281
D-43 ▶	メティスコム	見守りセンサー “ ヴェスタ ”	285
D-44 ▶	株式会社ラムロック	—みまもり CUBE—	289
D-45 ▶	株式会社ラムロック	みまもり CUBE—システム Light—	293
D-46 ▶	株式会社 ZIPCARE	まもる〜の ONE	297
D-47 ▶	株式会社トレイル	うららかGPSウォーク	301
D-48 ▶	アーバン警備保障株式会社　アーバンテック	iTSUMO 2	305
D-49 ▶	株式会社メディカルスイッチ	見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU助」	309
D-50 ▶	富士ソフト株式会社	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ	313
D-51 ▶	株式会社レイトロン	音声認識コミュニケーションロボット 『Chapit』（チャピット）	317
D-52 ▶	ザ・ハーモニー株式会社	認知症コミュニケーションロボット 「だいちゃん」	321

入浴支援

E-01 ▶	株式会社ハイレックスコーポレーション	バスアシスト	325
E-02 ▶	株式会社ミクニライフ&オート	ミクニマイティエースⅡ浴室セット	329

介護業務支援

F-01 ▶	コニカミノルタ QOL ソリューションズ株式会社	HitomeQ ケアサポート（ヒトメク ケアサポート）	333
F-02 ▶	NEC プラットフォームズ株式会社	NEC サニタリー利用記録システム	337

A-01 移乗支援

株式会社ジェイテクト

介護作業専用アシストスーツ J-PAS fleairy（ジェイパスフレアリー）

機器の概要

機器の機能

動きを検知してモーターでアシスト力の調整を可能とするアクティブタイプで、複合的な連続する作業動作に対応し、しっかりとしたアシスト感を提供。
フレーム構造をもたない、ベルト巻き上げ式により大幅な軽量化を実現できました。介護作業における腰部の負担へ高い軽減効果。トイレ空間等での立位保持介助では 59%低減、オムツ交換などの中腰姿勢保持では約 94%低減を実現します。
IP55 を取得し、浴室作業可。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

100V 電源（充電用）

試用期間中のサポート

アシストスーツをより有効にご使用いただけるよう、使用のコツをサポートします。
ご購入希望の際のご相談承ります。

貸出期間	1 週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社豊通オールライフ
愛知県名古屋市中村区名駅四丁目 11 番 27 号　シンフォニー豊田ビル 12F
TEL 052-533-5198　MAIL jigyokikaku@tal.toyotsu.net
所属部署 株式会社豊通オールライフ　担当者名 木虎宏

販売開始

2021 年 3 月

販売価格

382,800 円（税込）

機器の仕様

介護作業専用アシストスーツ J-PAS fleairy(ジェイパスフレアリー)

動きを検知してモーターでアシスト力の調整を可能とするアクティブタイプで、複合的な連続する作業動作に対応し、しっかりとしたアシスト感を提供。
フレーム構造をもたない、ベルト巻き上げ式により大幅な軽量化を実現できました。介護作業における腰部の負担へ高い軽減効果。トイレ空間等での立位保持介助では 59% 低減、オムツ交換などの中腰姿勢保持では約 94%低減を実現します。IP55 を取得し、浴室作業可。
さらに、J-PAS fleairy 本体に付属する装具は洗濯可です。（洗濯機を使用する場合、洗濯ネットに入れてください。）
体格に合わせて 3 サイズをご用意しています。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社ジェイテクト

製品名　　介護作業専用アシストスーツ J-PAS fleairy（ジェイパスフレアリー）

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（介護者）	・適用身長（目安）145 ～ 185cm ・適用体重（目安）規定なし ・腹　　囲　65 ～ 125cm ・骨 盤 幅　規定なし
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：水中 ・装着者の身体状況：お酒を飲んでいる方、過労睡眠不足の方、妊娠中の方、16歳未満の方、病気けがを負われている方、ペースメーカを装着されている方
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点：装着者のサイズに適切に合わせ、締め付けすぎないように注意すること ・その他注意点：本製品は、装着者の腰への負担を軽減する製品である。非装着状態でできないことに対して使用しないこと
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点：動作温度0℃～ 40℃相対湿度 20% ～ 85%、保管温度 -10℃～ 40℃ ・機器のメンテナンスにかかる注意点：分解しない
使用方法	使用方法	・本体の電源を入れた後、J-PAS fleairy に付属する装具を肩、腰、スネに装着すれば準備完了。本体の操作は、腰部についているスイッチで可能
	使用環境	・動作環境：動作温度0℃～ 40℃相対湿度 20% ～ 85% ・使用できない環境：水中
	使用場面	・車いす移乗、トイレ介助、入浴介助、ベッド周り作業
	習熟期間	・導入教育実施後
	高齢者に対する安全面の配慮	ペースメーカを装着されている方、病気、けがを負われている方は使用しないこと。
	介護者に対する安全面の配慮	・自分が出せる力を増強するものではない
効果	使用することで実現する高齢者への効果	介護作業中にかかる腰への負荷が軽減される
	使用することで実現する介護者への効果	介護作業中にかかる腰への負荷が軽減される
	使用することで実現する施設への効果	従業員の腰への負荷を軽減することができるので、従業員の労働環境改善になる。
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	アクティブ：バッテリ駆動
	使用場所、必要スペースなど	使用場所：屋内、浴室（バッテリーおよびバッテリーカバー内：水濡れ不可、他：水没不可）、屋外
	サイズ	幅 222mm ×奥行 94mm ×高さ 289mm
	重量（バッテリー含む）	1.6kg（装具除く）
	材質	ＡＢＳ、アルミ他
	電源・バッテリー	マキタ製バッテリー BL1820B
	充電時間	45 分（充電機 DC18SD 使用時）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	連続使用時間	約4時間（弊社標準作業の場合）
	使用時の音	モーター作動音あり
	緊急発報の方法	ライト点滅
	安全性の認証取得	ISO13482 取得済み
	防水・防塵加工	ＩＰ 55
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	最大アシスト力	150N
	稼働方式	モータ
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	保管方法	・高温、多湿を避け、保管中に落下することが無いように置くこと
	ユーザーによるお手入れ	・本体は、乾いた柔らかい布で表面の汚れ、ホコリなどを軽くふき取る ・装具は洗濯可。洗濯機を使用する場合、洗濯ネットに入れること
	消耗品の有無	装具、バッテリ
	保証期間	納品より1年間
	耐用年数	3年
コスト	本体・付属品の定価	税込み　382,800 円
問合せ先	緊急時の問合せ先	ジェイテクト アクティブ・ライフ事業部事業開発室 金谷　0566-25-5193
	デモ・貸出	あり
	よくある質問（Q&A）	https://active-life.jp/jpasfleairy/faq/

パンフレット等

製品カタログ　https://active-life.jp/jpasfleairy/catalog/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/channel/UCxtQRSMVtDsFZmJUkNfdOHA

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-02 移乗支援

CYBERDYNE 株式会社

HAL® 腰タイプ

品番・型番
HAL-BB04-SSSJP

機器の概要

機器の機能

HAL® 腰タイプは、介護する側と介護される側に対して、介護支援と自立支援の２つの用途で活用できる装着型サイボーグ®です。
介護者が装着することで、介護動作時の腰部負荷や腰痛発生リスクを低減することを目的とした「介護支援用途」と、足腰の弱った方が装着することで、体幹・下肢機能の向上を目的とした「自立支援用途」の２つの用途で使用可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

動作環境　温度：0℃～ 40℃
　　湿度：20% ～ 80%
　　※結露しないこと
防水性能：IPX4、防塵性能：IP5X
　　範囲内での環境

試用期間中のサポート

オンライン（Ｚｏｏｍ）や電話・メールでの運用サポート

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 CYBERDYNE 株式会社
〒305-0818　茨城県つくば市学園南 2-2-1
TEL 029-869-8448　MAIL contact@cyberdyne.jp
所属部署 営業部門　担当者名 近藤、古市

販売開始

2019 年 8 月

販売価格

1,540,000 円（税込）

機器の仕様

HAL® 腰タイプ

適用身長（目安）140 ～ 180cm
適用体重（目安）40 ～ 80kg
腹　　囲　120cm 以下
骨 盤 幅　36cm 以下
外形寸法　奥行き 292mm ×幅 450mm ×高さ 522mm
重　　量　3.1kg（バッテリ含む）
可動範囲　股関節：伸展 30° / 屈曲 130°
動作環境　温度：0℃～ 40℃　湿度：20% ～ 80%
※結露しないこと
防水性能：ＩＰＸ４、防塵性能：ＩＰ５Ｘ

機器の使用場面

製　品

メーカー名　CYBERDYNE 株式会社

製品名　HAL® 腰タイプ

型　番　HAL-BB04-SSSJP

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	適用身長（目安）140 ～ 180cm　適用体重（目安）40 ～ 80kg 腹　　囲　120cm 以下　骨 盤 幅　36cm 以下
	対象者（介護者）	適用身長（目安）140 ～ 180cm　適用体重（目安）40 ～ 80kg 腹　　囲　120cm 以下　骨 盤 幅　36cm 以下
	専門職の関与	なし
禁止事項	禁止事項	使用環境に合わない場所での利用。次の場合は装着不可（身体サイズが合わない方、著しい関節障害を有する方、妊娠中の女性、動作の手順や注意点などの簡単な説明をご理解いただけない方、皮膚疾患などにより、電極の貼り付けができない方（ただし電極利用者のみ））
使用上の注意	注意事項	次の場合は装着に十分注意する。骨粗鬆症の方、失神やめまいの恐れのある方、ベルトによる固定部締め付けに問題のある方、心臓ペースメーカーなどの能動型埋め込み医療機器をご利用の方
	安全に利用するための配慮	・入浴介助時のバッテリ交換等、高湿・水滴がかかる場所でのバッテリ交換は要注意 ・バッテリを交換する時は水気を十分拭き取ること ・本体のバッテリカバーを確実に閉めること ・除細動器を使用する時は、本製品を使用者から外すこと ・磁気共鳴画像診断装置が動作している場所で保管及び使用をしないこと ・水や洗浄液などの液体を直接本製品にかけないこと ・水洗い、指定外の薬品及び溶剤による洗浄、加熱、紫外線及び放射線による殺菌は行わないこと
	倫理面の配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合の配慮をお願いしたい（例：同意書を取得する）
使用方法	使用方法	使用手順 1）HAL® 本体にバッテリを取り付ける 2）腰部ベルトのバックルを外し、装着者の腰部に HAL® を乗せる 3）腹部側で腰部ベルトのバックル二箇所を留める 4）脚部ベルトを大腿部に固定する 5）HAL® の電源を入れ、装着者に合ったアシストトルクに設定する 外し方 6）アシストを停止し、電源を停止する 7）脚部ベルトを外す 8）腰部ベルトのバックルを外す 9）バッテリを外す 自立支援用途での使用の場合は、上記手順の他に以下の手順を追加し使用する ・装着者の皮膚に電極シールを貼付し、専用の電極ケーブルを取り付け HAL 本体のケーブルに接続する ・HAL モニターと HAL をＷｉ－Ｆｉに接続する ・使用後は電極ケーブル及び電極シールを外す
	使用環境	動作環境　温度：0℃～ 40℃　湿度：20% ～ 80% ※結露しないこと 防水性能：IPX4、防塵性能：IP5X ※ HAL モニターを利用する場合はＷｉ－Ｆｉ環境下で使用する ※薬品などの液体がかかる場所、油煙・埃の多い場所は避ける
	使用場面	移乗介助、入浴介助、体位変換介助やベッドサイドでの中腰作業などの腰部負荷がかかる作業
	習熟期間	機体の取り付け方法や、ボタン操作などの基本操作は1回もしくは2～3回程度の装着で習得可能 <身体負荷低減目的使用の場合> 装着者自身が HAL を使用する事で作業が楽に感じたり、身体負荷が低減したと感じる事を習熟と定義した場合 1週間～1ヶ月程度 ・目安の装着時間は 10 時間から 20 時間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	転倒防止器具の併用
	介護者に対する安全面の配慮	使用上の注意に準ずる
効果	使用することで実現する高齢者への効果	HAL® を装着して意思に従った運動を行うことにより、身体機能の維持・向上や自立度を高めることが期待される。コンパクトな軽量モデルのため、施設ではグループで楽しく、訪問介護ではじっくりとなど、様々な場面で気軽に活用することができる

製品情報

	項 目	内 容
効果	使用することで実現する介護者への効果	移乗介助・体位変換介助などの介助動作時の腰部負荷について医学的解剖学的観点から解析・シミュレーションし、より低減できる機能を実現。腰痛を引き起こすリスクを減らす。防水機能もあるため、負担の大きい入浴介助でもご使用いただけ、これまで通りの介護を楽に行うことができる
	使用することで実現する施設への効果	介護する人の身体的負荷を低減することは、労働環境改善や労働災害防止につながる。また、介助なしでの立ち座り動作など、介護される人の自立度の向上は、本人はもちろん介護する人の負担も大きく軽減する
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	バッテリー駆動
	使用場所、必要スペースなど	①使用場所：居室、浴室、トイレなど ②利用に必要なスペース等：人が入れないスペースでは使用不可
	サイズ	奥行き 292mm ×幅 450mm ×高さ 522mm
	重量（バッテリー含む）	3.1kg（バッテリ含む）
	電源・バッテリー	バッテリ駆動（1個付き）付属の充電器にてバッテリを充電可能
	充電時間	90 分
	連続使用時間	4.5 時間
	使用時の音	ごく弱音
	緊急発報の方法	ライトおよびアラート音（詳細は取り扱い説明書に記載）
	安全性の認証取得	ISO13482 取得
	防水・防塵加工	防水性能：IPX4、防塵性能：IP5X
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ（自立支援用途での使用の場合）
	データの記録機能、有無と内容	無し
	他の機器との連携・互換性	無し
メンテナンス	準備・片付け	安全使用講習の動画参照
	保管方法	使用環境を満たしており、十分な広さのある安定した台の上に置いて保管
	ユーザーによるお手入れ	水拭き、もしくはエチルアルコールもしくは、イソプロピル・アルコール（濃度 70 ～ 90%）その他詳細は取扱説明書参照
	消耗品の有無	腰部・脚部のベルト、パッド類、生体電位ケーブル、バッテリ、充電器一式
	修理対応期間	契約期間中
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	本体価格：1,540,000 円（税込）
	ランニングコスト	保守料：月額 22,000 円（税込）
	教育研修費	初期導入費：110,000 円（税込）
問合せ先	緊急時の問合せ先	0120-813-189
	デモ・貸出	貸出可能

パンフレット等

製品カタログ　https://www.cyberdyne.jp/products/bb04.html

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/channel/UClKuavneK77vzMcfxHXUbtA

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-03 移乗支援

ダイヤ工業株式会社

DARWING Hakobelude

機器の概要

機器の機能

DARWING Hakobelude は、ダイヤ工業独自の空気圧式の人工筋肉を用いることで持ち上げ作業をアシスト。
軽量かつ柔軟性を実現したサポートウェアです。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

- 動作環境：温度が 0 度～ 40 度
- 使用できない環境：温度が 0 度～ 40 度以外・水中・ホコリの多い場所・化学薬品で腐食しやすい場所等

試用期間中のサポート

WEB 商談（Microsoft teams/Cisco 等）で製品紹介や装着レクチャーを行います。
※ネット環境があれば WEB 商談の準備は弊社で行います。

貸出期間	2 週間程度
貸出可能台数	L サイズ・M サイズ ご希望台数 ※要相談

問い合わせ先 メディカルクラフトン株式会社 ※メーカーのグループ会社。介護市場の窓口
岡山県岡山市南区古新田 1125
TEL 086-282-1770 MAIL suemori@medicalcrafton.jp
所属部署 管理部 担当者名 末森

販売開始

2020 年9月

販売価格

85,800 円（税込）

機器の仕様

DARWING Hakobelude

リュックサックを背負うように装着した背面には、肩から腰と脇から腰にかけて特殊高反発ゴムを、腰から大腿部にかけて特殊高反発ゴムと人工筋肉を配置しています。
腰を落として屈むことにより背後から引っ張られ、ゴムの収縮力が発生して自然と上半身を起こしてくれるようなアシストが得られます。
これにより、重い荷物などを持ちあげる際に背中から大腿部にかけての筋肉を補助する機能を発揮します。
また人工筋肉は空気を送り込むことで人の筋肉と同じように収縮しパワーを発揮します。
その作用によって人が中腰姿勢を維持するときに使う背面の筋肉を助ける働きをします。長時間中腰姿勢で作業する場合など に長時間の姿勢保持がラクになるよう設計されています。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　ダイヤ工業株式会社

製品名　　DARWING Hakobelude

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	介助が必要な高齢者（ベッドからの移乗、歩行、トイレなど）
	対象者（介護者）	・適用身長（目安）L サイズ：170 ～ 185cm　M サイズ：155 ～ 170cm ・胸囲（目安）　L サイズ：80 ～ 110cm　M サイズ：75 ～ 100cm ・大腿周囲（目安）L サイズ：50 ～ 70cm　M サイズ：45 ～ 60cm
	専門職の関与	・専門職の関与は不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：温度が0度～ 40 度以外の環境 ・装着者の身体状況：能動型埋め込み医療機器利用、妊娠中の女性、装着者の身体サイズが合わない等
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点： 使い始めは1～2時間程度装着し、不快感やかゆみがないか確認をすること また、就寝時はご使用を避けること
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点： 洗濯時は空気供給口を必ず閉めること
使用方法	使用方法	・機器利用前の準備（機器の移動・調整等）、高齢者の移乗時の基本ステップ、移乗終了後の動作の説明
	使用環境	・動作環境：温度が0度～ 40 度 ・使用できない環境：温度が0度～ 40 度以外・水中
	使用場面	・移乗介助・トイレ介助・入浴介助
	習熟期間	自動的に動くものではなく、通常の動きに追従するので特になし
	高齢者に対する安全面の配慮	・特になし
	介護者に対する安全面の配慮	・体を支える部分はマジックテープを使用せず、アタッチメントを使用
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・介助時のパフォーマンスがアップし、より快適なサービスが受けられる
	使用することで実現する介護者への効果	・介助動作の腰部、臀部負荷軽減。腰痛リスクの軽減
	使用することで実現する施設への効果	・労働環境の改善、退職者の軽減
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ：サポーター、圧縮
	使用場所、必要スペースなど	・使用場所：ベッド・浴室・トイレなど ・必要スペース：人、一人分
	サイズ	・L サイズ：幅 290mm ×奥行 30mm ×高さ 800mm ・M サイズ：幅 280mm ×奥行 30mm ×高さ 700mm
	重量（バッテリー含む）	・L サイズ：816 g ・M サイズ：780 g
	材質	・ナイロン、ポリエステル

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー	・なし
	充電時間	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	連続使用時間	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	使用時の音	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	緊急発報の方法	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	安全性の認証取得	・なし
	防水・防塵加工	・なし
	アシスト力を発揮する部位	・腰部、臀部
	稼働方式	・無電力（高反発ゴムと独自開発の）
	必要な通信環境	・なし
	データの記録機能、有無と内容	・なし
	他の機器との連携・互換性	・なし
メンテナンス	準備・片付け	・特になし
	保管方法	・温度が0度～ 40 度内の日陰。 ・避けてください（ホコリの多い、化学薬品などにより腐食しやすい場所）
	メーカーによるメンテナンス	・特になし
	ユーザーによるお手入れ	・特になし
	消耗品の有無	・あり
	保証期間	・1年間
	修理対応期間	・なし
	耐用年数	・年 / 人工筋・高反発ゴム
コスト	本体・付属品の定価	・本体価格 85,800 円（税込） 交換人工筋価格 19,800 円（税込） 高反発ゴム 6,600 円（税込）
	ランニングコスト	・年 / 交換人工筋価格 19,800 円（税込） 高反発ゴム 6,600 円（税込）
	教育研修費	・なし（WEB 商談でレクチャー可能）
オプション	追加できる機能	・なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	・メディカルクラフトン株式会社 TEL:086-282-1770
	デモ・貸出	・L、Mともに要相談

パンフレット等

製品カタログ　https://www.daiyak.co.jp/work/catalog/DARWINGHakobelude/index.html

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=5b2LmSIKTSM

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-04 移乗支援

株式会社加地

レイボエクソスケルトン

品番・型番
V2.56

機器の概要

機器の機能

腰の支持だけではなく、体のバランスを整えて前屈作業するときの体幹を支持します。上半身のブロックである肋骨と下半身のブロックである骨盤の間の体幹を安定させることで、無駄な労力を使わずに作業に集中してもらい、身体的疲弊を軽減することでサービスの品質維持向上を目指すための道具です。骨格構造に沿って装着しますので、機能オンオフレバーがあり、オフの場合はデスクワークなどの着座作業も装着したままでも行えます。

機器の写真

機器の貸出

試用期間中のサポート

関東近郊・近畿圏であれば、貸し出しに伴い訪問して装着レクチャーを実施します。遠方の場合は、Zoom 等によるオンライン装着レクチャーを初回に実施し、都度必要であれば、オンライン対応します。

貸出期間	2週間 / 4週間
貸出可能台数	2台

問い合わせ先 株式会社加地
神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-11　加瀬ビル 88　8F
TEL 045-482-3551　MAIL y_nakanishi@exgel.jp
所属部署 レイボアジアグループ　担当者名 中西洋介

販売開始

2017 年1月

メーカー希望小売価格

495,000 円（税込）

機器の仕様

レイボエクソスケルトン

・前屈姿勢を取るときの自重のエネルギーを腰部のガススプリングに溜めます。
・その溜めた力で前屈姿勢時の上半身を支えます。回旋動作中も支え続けます。
・アシスト方向は、前側から肋骨部を持ち上げるので、肩のストレスゼロとなり、腕が動かしやすくなります。
・上体を起こす動作に伴い、ガススプリングで溜めた力を開放することで、アシスト力を発揮します。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社加地

製品名　　**レイボエクソスケルトン**

型　番　　V2.56

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（介護者）	・適用身長（目安）150 ～ 189cm ・適用体重（目安）30 ～ 110g ・腹　　囲　60 ～ 120cm ・骨 盤 幅　30cm 以上
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：入水場所 ・装着者の身体状況：金属アレルギー等には対応していない
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点：骨格構造にフィットさせること
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点： 腰部のパーツに水がかかる場合は、その部分を覆って利用すること ・機器のメンテナンスにかかる注意点： 3年毎にガススプリングとストラクチャーを交換すること
	倫理面の配慮	なし
使用方法	使用方法	必ず、装着手順動画の視聴や株式会社加地スタッフからの装着レクチャーを受けること
	使用環境	・動作環境：なし ・使用できない環境：浴槽内
	使用場面	体位変換・おむつ交換などのベッド上でのケア、移乗ケア等
	習熟期間	1週間
	高齢者に対する安全面の配慮	移乗などで介護者に身体を預けるときに機械が当たっても痛くないような介護用ベストをオプション設定し、必要に応じて活用して頂いている
	介護者に対する安全面の配慮	アシスト機能のオンオフは、前屈時にはロックされるようにしている
効果	使用することで実現する高齢者への効果	品質の高いサービスを受けることが出来る
	使用することで実現する介護者への効果	身体的疲労の軽減による疲れの蓄積を減らし、働く意欲の継続
	使用することで実現する施設への効果	高齢者が求める人的介助品質の維持向上と労働環境改善による介助者の身体的疲弊を防ぐことが出来る
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ
	使用場所、必要スペースなど	①身体寸法外側に左右5cm ／前後は身体寸法で問題なし ②装着時は、ジャケットを羽織るのに必要なスペースがあれば問題なし
	重量（バッテリー含む）	2.8kg
	材質	スチール・ナイロン・ウレタン・エクスジェル
	電源・バッテリー	なし
	充電時間	不要
	連続使用時間	永遠
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	ＣＥマーキング取得
	防水・防塵加工	オプションにて設定

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	アシスト力を発揮する部位	主に体幹（腰回り）
	稼働方式	ガススプリング
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	ベルトを緩めておく
	保管方法	専用ハンガーに吊るす
	メーカーによるメンテナンス	3年毎に、ガススプリングとストラクチャー交換及びオーバーホール
	ユーザーによるお手入れ	2−3ヶ月ごとに、サポートカム部へのグリース塗工
	消耗品の有無	ガススプリングとストラクチャー
	保証期間	1年
	修理対応期間	期限なし
	耐用年数	3年毎にパーツ交換すれば、耐用年数に期限なし。
コスト	本体・付属品の定価	495,000 円（税込）（標準仕様） ■代表的なオプション ・腰固定ユニット 20,000 円（税込） ・伸縮サスペンダー 6,000 円（税込） ・レッグパッド用エクスジェルパッド 7,000 円（税込） ・簡易防水防塵カバー 9,500 円（税込）
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	無料
オプション	追加できる機能	あり
問合せ先	緊急時の問合せ先	045 − 482 − 3551
	デモ・貸出	2週間／4週間
	よくある質問（Q&A）	Q: 就業中装着したままでも問題ないか A: 機能のオンオフレバーがあるので、オフにすればデスクワークも可能

パンフレット等

製品カタログ　https://laevo.jp

使用方法等の動画　本体　https://youtu.be/z8kmfMgF6HY
腰固定ユニット　https://youtu.be/YgWOCAYTLTk

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-05 移乗支援

株式会社イノフィス

マッスルスーツ Every

品番・型番
MS08-SM-TO/ MS08-ML-TO/ MS08-SM-SO/ MS08-ML-SO

機器の概要

機器の機能

装着することで、装着者の動きをアシストし、腰への負担を軽減させます。
移乗介助のように負担の大きな業務で効果を発揮します。
また中腰姿勢の維持の際の負担も軽減されるため、ベッド上での排泄介助や、体位変換でもご活用頂くことが可能です。
マッスルスーツの駆動源には McKibben 型人工筋肉を使用しており、充電等が必要ありません。
防塵防水のため、浴室等での使用も可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

下記範囲内でご使用ください。
使用環境温度：-30℃～ 50℃
防塵・防水性能（保護等級）：IP56

試用期間中のサポート

オンラインや電話・メールでの運用サポート

貸出期間	要相談
貸出可能台数	要相談

問い合わせ先 株式会社イノフィス
〒192-0082　東京都八王子市東町 7-6　エバーズ第 12 八王子ビル 3 階
TEL 042-610-2988　MAIL info@innophys.jp
所属部署 国内営業部　担当者名 長澤

販売開始

2019 年 11 月

販売価格

149,600 円（税込）

TAIS コード

01553 - 000010
01553 - 000011
01553 - 000012
01553 - 000013

機器の仕様

マッスルスーツ Every

タイプ：ソフトフィット / タイトフィット
サイズ 適用身長 (推奨)：S-M サイズ：150cm ～ 165cm
M-L サイズ：160cm ～ 185cm
本体重量：3.8kg ※カバー含まず
駆動源：圧縮空気
アクチュエータ：McKibben 型人工筋肉
圧縮空気供給方法：手動式空気入れ
補助力：25.5kgf（100Nm）
使用環境温度：-30℃～ 50℃
防塵・防水性能 (保護等級)：IP56
本体寸法：高さ×幅×奥行：
S-M サイズ：805mm/465mm/170mm
M-L サイズ：840mm/465mm/170mm

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社イノフィス

製品名　マッスルスーツ Every　01553-000010、01553-000011、01553-000012、01553-000013

型　番　MS08-SM-TO/MS08-ML-TO/MS08-SM-SO/MS08-ML-SO

製品情報

項 目		内 容
適用	対象者（介護者）	適用身長（目安）・S-M サイズ：150cm ～ 165cm ・M-L サイズ：160cm ～ 185cm
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：温度が -30℃～ 50℃以外の場所 ・装着者の身体状況：体格が製品に合わない人、体調が優れない人
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点： ①初めて使用する場合は、安全な場所で、装着のしかたについて、十分なトレーニングを行うこと ②周囲の人や物に接触しないよう、十分な距離を確保して装着すること ・その他注意点： ①必ず機器にカバーを取り付けてから身体に装着すること ②ズボンや上着のポケットにものを入れたまま装着しないこと
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点： ①この製品を装着したまま足元が不安定な場所、すべる場所へは行かないこと。また、そのような場所でこの製品を着用しないこと ・機器のメンテナンスにかかる注意点： ①空気を充填しすぎた状態で内股で動作を行わないこと
	倫理面の配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合は、同意書等取得をすること
使用方法	使用方法	1. 肩ベルトでリュックのように背負う 2. 肩ベルトのアジャスタを引き上げて腰ベルトを腰の高さに合わせる 3. 腰ベルトをしめた後、左右のアジャスタでしっかりと引きしめる 4. お尻ベルトの長さを調整する 5. ももパッドを前にまわす 6. 30 ～ 45 回程度ポンピングし、空気を充填する 7. 補助力の具合を空気の量で調整する 8. 後ろの隙間を調整する 9. 後ろの隙間にこぶしが一つ入る程度余裕を持たせる 10. 胸前の左右のアジャスタをしめる 11. 装着完了
	使用環境	・動作環境 ①使用環境温度が -30℃～ 50℃ ②防塵・防水性能（保護等級）：IP56 ・使用出来ない環境 ①湿気、ごみ、ほこりが極端に多い場所や、溶液、鉄粉、粉塵、木くずなどの異物がかかる場所 ②アンモニア、酸、塩分、オゾンガス等、腐食性ガスのある場所
	使用場面	移乗介助、ベッドでの排泄介助、体位変換
	習熟期間	・特になし
	高齢者に対する安全面の配慮	・特になし
	介護者に対する安全面の配慮	・空気の充填はマッスルスーツ装着後に行うこと。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・介助者の腰の負担が軽減することで、安心してサービスを受けられる
	使用することで実現する介護者への効果	・中腰姿勢を続けたりする際の身体負担や介助者の腰への負担を軽減
	使用することで実現する施設への効果	・労働環境の改善 ・負担軽減による作業効率向上

製品情報

項目		内容
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ：圧縮空気
	使用場所、必要スペースなど	①使用場所：居室、浴室、トイレなど ②利用に必要なスペース等：人が入れないスペースでは使用不可
	サイズ	高さ×幅×奥行：・S-M サイズ：805mm/465mm/170mm ・M-L サイズ：840mm/465mm/170mm
	重量（バッテリー含む）	3.8kg ※カバー含まず
	材質	アルミ・樹脂・鉄
	電源・バッテリー	空気入れでポンピング約 30 回～ 45 回
	充電時間	なし
	連続使用時間	なし
	使用時の音	ごく弱音
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	ISO13482 取得
	防水・防塵加工	防塵・防水性能（保護等級）：IP56
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	最大アシスト力	25.5kgf（100Nm）
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	取扱説明書参照
	保管方法	平らな場所に置くか、ハンガーに掛けて保管
	ユーザーによるお手入れ	・外装カバーは洗濯ネットに入れて水洗いし、十分に乾かしてから使用すること ・その他は取扱説明書参照
	消耗品の有無	・肩ベルト･腰ベルトパッド･ももパッドカバー･本体外装カバー･空気入れ･空気圧ゲージ
	保証期間	6 ヶ月 / 購入後1ヶ月以内の製品登録にて 1 年に延長
コスト	本体・付属品の定価	本体価格：149,600 円（税込）
問合せ先	緊急時の問合せ先	042-610-2988
	デモ・貸出	貸出可能

パンフレット等

製品カタログ https://musclesuit.co.jp/product/

取扱説明書 https://musclesuit.co.jp/howto/

使用方法等の動画 https://www.youtube.com/playlist?list=PLwixNCOuEClkGj4kEwNmXUdD0cWB5raO_

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-06 移乗支援

マッスル株式会社

ROBOHELPER SASUKE

品番・型番
RS1-08Y-A RS1-08Y-B ※ RS1-12Y-B

機器の概要

機器の機能

「抱き上げ式」で移乗介助をアシストします。専用シートを敷き込み、シート全面で抱き上げ、揺れの少ない安定した移乗を行います。簡単なレバー操作で一人でも 120kgまで移乗介助が可能です。高さや臥位から座位までの傾きを任意の姿勢で保持でき、幅広い種類の車椅子に対応できます。介護をうける方・おこなう方の双方に、やさしさと安心をお届けします。密着せずに介助を行う事ができるため、感染予防対策としても有効です。

機器の写真（RS1-12Y-B）

機器の貸出

必須環境・推奨環境

① ベッド下に SASUKE の脚が入る空間が7～10cm必要です。
② お部屋に入るために 80cm 以上の間口が必要です。
③ 床質が、分厚い絨毯・たたみ・超クッションフロアの場合はご使用できない可能性がありますのでご相談下さい。

試用期間中のサポート

短期間でも皆様により安心・安全にご使用いただくため、ご試用前に製品説明や実演を実施いたします。遠方やコロナ禍にて訪問が難しい場合は、オンラインにても承ります。ご希望があれば、何度でもご説明いたします。

貸出期間	通常 1 ～ 2 週間程度
貸出可能台数	1施設につき1台

問い合わせ先 マッスル株式会社
〒541-0042　大阪府大阪市中央区今橋2-5-8　トレードピア淀屋橋6階
TEL 06-6229-9550　MAIL healthcare@musclecorp.com
所属部署 ヘルスケア部　担当者名 齋藤、山崎

販売開始

※ 2019 年 11 月

販売価格

(RS1-12Y-B) 998,000 円 (非課税)

TAIS コード

01554-000002
01554-000004
01554-000005

機器の仕様

ROBOHELPER SASUKE

SASUKE の両アームを専用シート両端に通してベッドから抱き上げます。シート全体で抱き上げるため、体圧が分散され局所に圧が集中しにくく安全な移乗が行えます。移乗の際に双方が密着しすぎず、感染予防対策としても有効です。抱き上げる際は、介護をうける方の足元に立ち、一方の手でレバー操作し、もう一方の手は介護をうける方に添えることができます。そのままお互いの顔を見ながらベッド⇔車いす（ストレッチャー）へ移動し、車いす等と介護をうける方の姿勢を合わせて着座します。操作は指で軽く操作レバーを上下するだけで、昇降（高さ調整）と回転（座位⇔臥位の任意の姿勢調整）が行えます。専用シートは柔らかい素材で日中は車いすに敷いたままで過ごせ、シートの着脱に生じる双方の心身負担が軽減されます。コードレスで取外し可能なバッテリにて稼働します。安全性では「ISO13482」の認証を取得しています。
本体重量 70kg、
サイズ（幅・奥行・高さ）①収納・出入時：80cm × 85cm × 152cm ②使用時：120cm × 100cm × 130cm、
バッテリ充電時間　約 2-4 時間で 100 回以上の移乗が可能。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　マッスル株式会社

製品名　　ROBOHELPER SASUKE　01554-000002、01554-000004、01554-000005

型　番　　RS 1-08Y-A、RS 1-08Y-B、※ RS 1-12Y-B

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】体重 120kg 以下、身長 140cm ～ 180cm 【介護者】SASUKE の正しい操作ができる介護者
	専門職の関与	必要時
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内での使用は禁止 ・その他：移動機器としての試用は禁止
使用上の注意	注意事項	使用前に必ず取扱説明書を確認
	安全に利用するための配慮	使用前の機器安全確認。床面の状態の確認。使用環境の安全確認
	倫理面の配慮	施設基準順守。（機器使用の画像撮影などの高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報集・活用、同意書の取得等）
使用方法	使用方法	専用シートを敷き込み、 ①シートにアームを通す、②シートごと抱き上げ姿勢調整、③着座（着臥）する ※シートの敷込みと取外しについては、その日の最初の移乗で敷き込み、最後の移乗で取り外すことを推奨。車いす上でも敷いたままで OK
	使用環境	・動作環境：居室及び脱衣室 (温度：0～ 40℃、湿度：20 ～ 80%) ・使用できない環境：浴室、屋外
	使用場面	ベッド⇔車いす、ベッド⇔ストレッチャー（特浴など）など移乗の場面
	習熟期間	操作方法：数分程度　　使用方法：30 分～1時間程度 基本の使用方法を理解すれば、利用者の状態に適した応用での使用も可能
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認
	介護者に対する安全面の配慮	足先を覆う履物を着用
効果	使用することで 実現する高齢者への効果	・揺れのない安心安全な移乗が行える ・移乗時の緊張が緩和され負荷が軽減→移乗後の活動へ穏やかに移行できる ・身体を密着されることなく移乗が行える
	使用することで 実現する介護者への効果	・介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減 ・1人移乗が可能になる
	使用することで 実現する施設への効果	・介護負担軽減による離職予防や人員不足対応などが期待できる（労働環境改善） ・介護ロボットを導入しているという実績から新規雇用への期待（職場の魅力向上） ・二人で行っていた移乗介助が一人で行え業務効率アップが期待できる（介護業務の革新）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室
	サイズ	幅 x 奥行x高さ ①収納時 :80cmx85cmx152cm　②使用時：120cmx100cmx130cm
	重量（バッテリー含む）	70kg（バッテリー含む）
	材質	専用シート：ポリエステル　本体：ABS、ステンレス等
	形状	抱き上げ式
	電源・バッテリー	取外し可能なバッテリー稼働。専用充電器
	連続使用時間	約6時間～8時間
	連続使用回数	約 100 回
	使用時の音	静音
	緊急発報の方法	アラート音、ライト点灯（緊急停止ボタン始動時）
	安全性の認証取得	ISO13482 認証取得
	防水・防塵加工	無

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	稼働方式	操作レバーによる操作
	必要な通信環境	無
	データの記録機能、有無と内容	有 (メンテナンス用)
	他の機器との連携・互換性	無
メンテナンス	準備・片付け	使用前の安全確認
	保管方法	居室あるいは居室に相当する環境で保管。(高温多湿等は避ける)
	メーカーによるメンテナンス	必要時メーカー対応
	ユーザーによるお手入れ	本体 (特にアーム) の清拭。専用シートの洗濯
	消耗品の有無	専用シート、専用クッション
	保証期間	原則として1年。ただし、法人購入の場合は3年付帯
	修理対応期間	原則として1年。ただし、法人購入の場合は3年付帯
	耐用年数	原則として5年 (法定耐用年数)
コスト	本体・付属品の定価	希望小売価格 : 本体 998,000 円 (非課税)、シート : M　40,700 円 (税込)、L 55,000 円 (税込) ※国内では殆どの方が M サイズで対応可能
	設置導入に伴う費用	無
	ランニングコスト	無
	教育研修費	導入時スタート講習 (回数制限無) は無料。アフターフォローも現在のところ無料で実施中
オプション	追加できる機能	無
問合せ先	緊急時の問合せ先	マッスル株式会社ヘルスケア部 TEL : 06 − 6229 − 9550
	デモ・貸出	デモ・貸出ともに有 リモート及び訪問によるデモを随時実施。貸出は代理店及びメーカー、又は、介護ロボットプラットフォーム事業相談窓口経由も可能
	よくある質問 (Q&A)	「浴室でも使用可能か?」 →防水機能がないため浴室内では使用不可。水に直接濡れない脱衣室等では使用可能 「介護保険は適応可能か?」 →介護保険上では、SASUKE 本体は貸与種目 (TAIS コード 01554-000005)、専用シート (TAIS コード 01554-000006、01554-000007) は買い取り種目に該当している 「補助金の対象になるか?」 →各種補助金に対応している。(介護ロボット補助金／コロナ対策補助金など) 詳細は各都道府県や市町村へ確認願いたい 「エレベーターや在宅のドアを通ることができるか?」 →間口 80cm あれば、通ることができる。4輪キャスターで動く 「購入したら組立てなどあるか?」 →完成形で搬入されるのですぐに使用可能

パンフレット等

製品カタログ	https://musclecorp.com/care/download/#care-download-catalog	
取扱説明書	https://musclecorp.com/care/	
使用方法等の動画	https://youtu.be/wlWfTWo-Aug	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社FUJI

移乗サポートロボット Hug L1

品番・型番
L1-01

機器の概要

機器の機能

座位間の移乗動作、トイレや脱衣所での立位保持、更衣介助をサポートする製品です。一人介助を可能にし、さらに介助者の腰痛予防に役立ちます。スリングシート不要なので準備に手間取らず、簡単リモコン操作で技量に頼らない移乗が可能です。
コンパクト設計のためトイレなどの狭い場所でもご利用いただけます。リモコン操作は立つ・座るの２つだけ。本体重量30kgと軽いので、小柄な方でも大柄な方の移乗介助が一人で可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

段差、傾斜、凹凸のない、フローリングなど硬めの床（クッション性のある床は取り回しが重くなり転倒してしまう可能性があります）

試用期間中のサポート

デモ機貸出をご希望の際は、代理店がお客様の元へ実機をお持ちし、実機の説明、貸出、貸出後のアフターフォローをさせていただきます。
使い方レクチャーをオンラインでご希望の際はご相談ください。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　株式会社FUJI
〒472-8686　愛知県知立市山町茶碓山 19 番地
TEL 0566-55-8800　MAIL hug@fuji.co.jp
所属部署　RS 事業本部　第四営業部第2営業課

販売開始

2018 年4月

販売価格

880,000 円（非課税）

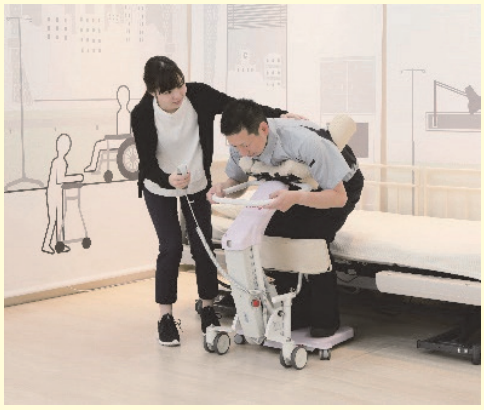
TAIS コード

01666-000002

機器の仕様

移乗サポートロボット Hug L1

寸法（全長× 全幅× 全高）：880 × 550 × 850 ～ 1200mm
総重量：30kg
最大使用者体重：100kg
動作条件　温度：0～40℃　／　湿度：20～90% RH
バッテリー　型式：鉛蓄電池　／　定格電圧：DC24V
充電時間：8時間　／　最大使用回数：100 回



機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社FUJI

製品名　　**移乗サポートロボット Hug L1　01666-000002**

型　番　　L1-01

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・障がい者）	【高齢者・障がい者】 ・適用身長（目安）140 ～ 180cm ・適用体重（目安）～ 100kg ・要介護度（目安）1~4 ・移乗動作に補助が必要な方 ・端座位がとれる方 ・上半身がしっかりしており脇で挟む力がある方 ・介助者の指示が理解できる方
	専門職の関与	介護を受ける方の症状・身体機能、介護する方の体力や機器への適応能力などに合わせて、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談すること
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）:水が直接かかる場所（浴室:床が濡れている程度であれば問題ない）・屋外・段差を越えての使用・クッション性が強い床や畳・傾斜・凹凸のある場所、滑りやすい床 ・その他：ペースメーカーを使用している方への使用
使用上の注意	注意事項	・被介助者の症状にあわせて使用すること ・2人以上を移乗させないこと ・操作は必ず介助者が行うこと ・最大使用者体重（100kg）を超える荷重を加えないこと ・被介助者を乗せた状態で長距離移動・長時間放置をしないこと ・湿気の多い場所に長時間放置しないこと ・使用可能温度以外の場所で使用しないこと ・本体に水を直接かけないこと ・取扱説明書をよく読んだ上で使用すること
	安全に利用するための配慮	・滑りやすい床、やわらかい床、段差・傾斜・凹凸のある場所・屋外で使用しないこと ・周囲環境に注意すること（本体と建物の一部、家具、人などに接触しないか確認） ・介助者・被介助者ともにかかとが低く、つま先がとがっていない靴を着用すること（介助者はスリッパや裸足で操作しないこと） ・介助者・被介助者ともに衣服の前面に装飾がついていないこと ・髪が長い場合は束ねること ・マフラーやストールなど首に巻いている場合は取り外すこと
	倫理面の配慮	（個人情報などプライバシーに関わる記録をする機能なし）
使用方法	使用方法	【準備】 ①非常停止ボタンが解除されているか確認 ②動きが止まるまで、「すわる」ボタンを長押しし、身体保持部を開始位置に移動する 【操作】 ①足裏をフットプレートに置き、さらに上半身が身体保持部にふれるまで近づける ②身体保持部に体重が掛かるように、介護を受ける方の上体を乗せる ※身体保持部バーの先端が脇下から出ていること・胸が身体保持部に密着していること・身体保持部の下端部が太腿上にあること・膝が膝当てに当たっていること・足がフットプレートに乗っていることを確認 ③「たつ」ボタンを押して、起立する。身体条件に合わせて上げ過ぎないように注意 ④ハンドルを持って、ゆっくりと移動する。後ろへの倒れるおそれがある方は後ろに回りこむ ⑤介護を受ける方のひざ裏が移動先の座面に触れるまで調整する ⑥「すわる」ボタンを押して座らせる。浅座り防止には車いすの位置を介護を受ける方側に調整する ⑦介護を受ける方の上体を起こし、両足をフットプレートから降ろす
	使用環境	・動作環境：温度　0～ 40℃、湿度　20 ～ 90%RH ・周辺に干渉するものがない場所 ・座面高さ：40 ～ 60cm 以内 ・水が直接かからない場所
	使用場面	・移乗動作：ベッド⇔車いす、車いす⇔シャワーチェア、車いす⇔トイレ ・立位保持：トイレでの排泄ケア、脱衣場での更衣介助
	習熟期間	生活場面での使用まで1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・対象者の体調、症状の確認 ・Hug に対する不安・恐怖をなくすための声掛け
	介護者に対する安全面の配慮	・不安定なスリッパや裸足で操作しないこと
効果	使用することで実現する高齢者への効果	トイレでの排泄、残存機能の活用による ADL 向上、精神的負担軽減
	使用することで実現する介護者への効果	腰痛予防、身体的・精神的負担の軽減、一人での移乗介助が可能、業務効率向上
	使用することで実現する施設への効果	人材確保促進、労働環境改善、職場の魅力向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣場、リビング
	サイズ	Hug L 1-01：全長 880 ×全幅 550 ×全高 850 ～ 1200（mm）
	重量（バッテリー含む）	Hug L 1-01：30kg
	材質	本体　鉄 カバー　ABS
	形状	床走行式
	電源・バッテリー	型式：鉛蓄電池、定格電圧：DC24V、充電時間：8時間、最大使用回数：100 回（使用環境による）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	連続使用時間	2分（その後 18 分間休めること）
	連続使用回数	連続使用は故障の恐れあり
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	充電器：ＰＳＥ（電気用品安全法） アクチュエータ：ＣＥマーク
	防水・防塵加工	なし
	稼働方式	モーター
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	【準備】 ・非常停止ボタンが解除されているか確認 ・動きが停止するまですわるボタンを長押しする ・対象者の近くまでゆっくりと近づける 【片付け】 ・保管場所へ戻してキャスターをロックする
	保管方法	・キャスターをロックする ・使用後はこまめに充電する
	メーカーによるメンテナンス	なし
	ユーザーによるお手入れ	お手入れ前にキャスターをロック・非常停止ボタンを押す ①水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、かたく絞って拭く ②水で浸した布をかたく絞って水拭き（中性洗剤を拭き取る） ③乾いた布で乾拭き
	消耗品の有無	あり
	保証期間	1年
	修理対応期間	保守部品供給：5年（調達可能期間は対応）
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	本体：880,000 円（非課税）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	山型膝当て（膝が横に開いてしまう方用）・分割膝当て（左右の足の長さが異なる方用）・立位サポートベルト・Hug クッション（胸・脇）
問合せ先	緊急時の問合せ先	0566-55-8800　／　hug@fuji.co.jp
	デモ・貸出	対応可能
	よくある質問（Q&A）	Q：介護保険の対象か？ A：対応している Q：補助金対象か？ A：各種補助金に対応している。(各自治体により異なる為、詳細は各都道府県、市町村に確認要) ・介護ロボット補助金／・エイジフレンドリー補助金／・コロナ対策補助金など Q：片麻痺の方、認知症の方に使えるか？ A：使える方もいる。使えるか確認した上で導入のこと Q：清掃はどのように行うか？ A：次亜塩素酸　1％、アルコール等の清掃可能 Q：浴室内で使用できるか？ A：防水仕様ではないが、脱衣場での使用はできる。また、水がかからなければ利用可能 Q：トイレではどの程度スペースが必要か？ A：便器の根元から 1 m程度スペースが必要。ポータブルトイレとの相性も良い Q：導入実績はあるか？ A：Hug シリーズ 3,000 台出荷している。(在宅・施設・病院 etc.) Q：Hug Ｔ 1 との違いは何か？ A：小型で軽量コンパクトなつくりのため、取り回しがし易く、狭い間取りの場所でも使用いただける

パンフレット等

製品カタログ　https://www.fuji.co.jp/items/hug/hugl1

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=HCVnBYI9jy8

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社FUJI

移乗サポートロボット Hug T1

品番・型番
T1-02

機器の概要

機器の機能

座位間の移乗動作、トイレや脱衣所での立位保持、更衣介助をサポートする製品です。一人介助を可能にし、さらに介助者の腰痛予防に役立ちます。スリングシート不要なので準備に手間取らず、簡単リモコン操作で技量に頼らない移乗が可能です。
人が立ち上がる動作を再現しているため、残存機能を活かせます。また、身体保持部分の高さ調節が可能なため、幅広い体格の方にお使いいただけ、安定した姿勢保持を実現します。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

段差、傾斜、凹凸のない、フローリングなど硬めの床（クッション性のある床は取り回しが重くなり転倒してしまう可能性があります）

試用期間中のサポート

デモ機貸出をご希望の際は、代理店がお客様の元へ実機をお持ちし、実機の説明、貸出、貸出後のアフターフォローをさせていただきます。
使い方レクチャーをオンラインでご希望の際はご相談ください。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　株式会社FUJI
〒472-8686　愛知県知立市山町茶碓山 19 番地
TEL 0566-55-8800　MAIL hug@fuji.co.jp
所属部署　RS 事業本部　第四営業部第2営業課

販売開始

2019 年 10 月

販売価格

980,000 円（非課税）

TAIS コード

01666-000003

機器の仕様

移乗サポートロボット Hug T1

寸法（全長 × 全幅 × 全高）：950 × 620 × 880 ～ 1350mm
総重量：35kg
最大使用者体重：100kg
動作条件　温度：0 ～ 40℃　／　湿度：20 ～ 90% RH
バッテリー　型式：鉛蓄電池　／　定格電圧：DC24V
充電時間：8 時間　／　最大使用回数：100 回

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社FUJI

製品名　　**移乗サポートロボット Hug T1　01666-000003**

型　番　　T1-02

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・障がい者）	【高齢者・障がい者】 ・適用身長（目安）140 ～ 180cm ・適用体重（目安）～ 100kg ・要介護度（目安）1～4 ・移乗動作に補助が必要な方 ・端座位がとれる方 ・上半身がしっかりしており脇で挟む力がある方 ・介助者の指示が理解できる方
	専門職の関与	介護を受ける方の症状・身体機能、介護する方の体力や機器への適応能力などに合わせて、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談すること
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：水が直接かかる場所（浴室：床が濡れている程度であれば問題ない）・屋外・段差を越えての使用・クッション性が強い床や畳・傾斜・凹凸のある場所、滑りやすい床 ・その他：ペースメーカーを使用している方への使用
使用上の注意	注意事項	・被介助者の症状にあわせて使用すること ・2人以上を移乗させないこと ・操作は必ず介助者が行うこと ・最大使用者体重（100kg）を超える荷重を加えないこと ・被介助者を乗せた状態で長距離移動・長時間放置をしないこと ・湿気の多い場所に長時間放置しないこと ・使用可能温度以外の場所で使用しないこと ・本体に水を直接かけないこと ・取扱説明書をよく読んだ上で使用すること
	安全に利用するための配慮	・滑りやすい床、やわらかい床、段差・傾斜・凹凸のある場所・屋外で使用しないこと ・周囲環境に注意すること（本体と建物の一部、家具、人などに接触しないか確認） ・介助者・被介助者ともにかかとが低く、つま先がとがっていない靴を着用すること（介助者はスリッパや裸足で操作しないこと） ・介助者・被介助者ともに衣服の前面に装飾がついていないこと ・髪が長い場合は束ねること ・マフラーやストールなど首に巻いている場合は取り外すこと
	倫理面の配慮	（個人情報などプライバシーに関わる記録をする機能なし）
使用方法	使用方法	【準備】 ①動きが停止するまですわるボタンを長押し、身体保持部を開始位置に移動する 【操作】 ①足裏をフットプレートに置き、さらにひざが ひざパッドにふれるまで近づける ②「+」を押して身体保持部バーが脇下に軽くふれるまで上げる ③身体保持部に体重が掛かるように、介護を受ける方の上体を乗せる ※身体保持部バーの先端が脇下から出ていること・身体保持部バーが脇下に触れていること・胸が身体保持部に密着していること・膝が膝当てに当たっていること・足がフットプレートに乗っていることを確認 ④「たつ」ボタンを押して、起立する。 身体条件に合わせて上げ過ぎないように注意 ⑤ハンドルを持って、ゆっくりと移動する。後ろへの倒れるおそれがある方は後ろに回りこむ ⑥介護を受ける方のひざ裏が移動先の座面に触れるまで調整する ⑦「すわる」ボタンを押して座らせる。浅座り防止には車いすの位置を介護を受ける方側に調整する
	使用環境	・動作環境：温度　0～40℃、湿度　20 ～ 90%RH ・周辺に干渉するものがない場所 ・座面高さ：40 ～ 60cm 以内 ・水が直接かからない場所
	使用場面	・移乗動作：ベッド⇔車いす、車いす⇔シャワーチェア、車いす⇔トイレ ・立位保持：トイレでの排泄ケア、脱衣場での更衣介助
	習熟期間	生活場面での使用まで1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・対象者の体調、症状の確認 ・Hug に対する不安・恐怖をなくすための声掛け
	介護者に対する安全面の配慮	・不安定なスリッパや裸足で操作しないこと
効果	使用することで実現する高齢者への効果	トイレでの排泄、残存機能の活用による ADL 向上、精神的負担軽減
	使用することで実現する介護者への効果	腰痛予防、身体的・精神的負担の軽減、一人での移乗介助が可能、業務効率向上
	使用することで実現する施設への効果	人材確保促進、労働環境改善、職場の魅力向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣場、リビング
	サイズ	Hug T 1-02：全長 950 ×全幅 620 ×全高 880 ～ 1350（mm）
	重量（バッテリー含む）	Hug T 1-02：35kg
	材質	本体：鉄 カバー：ＡＢＳ
	形状	床走行式
	電源・バッテリー	型式：鉛蓄電池、定格電圧：ＤＣ２４Ｖ、充電時間：８時間、最大使用回数：100 回（使用環境による）
	連続使用時間	2分（その後 18 分間休めること）
	連続使用回数	連続使用は故障の恐れあり

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	充電器：ＰＳＥ（電気用品安全法） アクチュエータ：ＣＥマーク
	防水・防塵加工	なし
	稼働方式	モーター
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	【準備】 ・電源スイッチを押して、電源を入れる ・動きが停止するまですわるボタンを長押しする ・リモコンの高さ調節の「+」ボタンを押して、身体保持部を上昇させる ・対象者の近くまでゆっくりと近づける 【片付け】 ・保管場所へ戻してキャスターをロックした後、電源スイッチを押して電源を切る
	保管方法	・キャスターをロックする ・使用後はこまめに充電する
	メーカーによるメンテナンス	なし
	ユーザーによるお手入れ	お手入れ前にキャスターをロック・電源が入っていないことを確認する ①水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、かたく絞って拭く ②水で浸した布をかたく絞って水拭き（中性洗剤を拭き取る） ③乾いた布で乾拭き
	消耗品の有無	あり
	保証期間	1年
	修理対応期間	保守部品供給：5年（調達可能期間は対応）
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	本体：980,000 円（非課税）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	フラット膝当て・立位サポートベルト・Hug ベルト&クッション（脇・胸）
問合せ先	緊急時の問合せ先	0566-55-8800　／　hug@fuji.co.jp
	デモ・貸出	対応可能
	よくある質問（Q&A）	Q：介護保険の対象か? A：対応している Q：補助金対象か? A：各種補助金に対応している。（各自治体により異なる為、詳細は各都道府県、市町村に確認要） ・介護ロボット補助金／・エイジフレンドリー補助金／・コロナ対策補助金など Q：片麻痺の方、認知症の方に使えるか? A：使える方もいる。使えるか確認した上で導入のこと Q：清掃はどのように行うか? A：次亜塩素酸　1%、アルコール等の清掃可能 Q：浴室内で使用できるか? A：防水仕様ではないが、脱衣場での使用はできる。また、水がかからなければ利用可能 Q：トイレではどの程度スペースが必要か? A：便器の根元から1m程度スペースが必要。ポータブルトイレとの相性も良い Q：導入実績はあるか? A：Hug シリーズ 3,000 台出荷している。（在宅・施設・病院 etc.） Q：Hug L 1との違いは何か? A: 身体保持部の高さ調整が可能なため、より幅広い体格の方に対応でき、その方に合った自然な立ち上がりをすることができる。また、バッテリーの取り外しができるため、充電する場所を選ばない

パンフレット等

製品カタログ　https://www.fuji.co.jp/items/hug/hugt1

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=lkOqKd3llp4&t=3s

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

アイ・ソネックス株式会社

スカイリフト

品番・型番
SL-2018R

機器の概要

機器の機能

起立姿勢で移乗・移動ができるスタンディングリフトです。車いすやトイレへの移乗はもちろん、下衣の着脱、臀部の清潔保持、パッドの交換等、排泄ケアをサポートします。1 人介助の実現、介助者の腰痛予防だけではなく、要介護者が気兼ねなく介助を頼める、下肢機能の維持・改善が期待できる等、双方が安心して使用できます。車いすと同等サイズのコンパクトさで小回りがきき、ボタンは「あがる」、「さがる」だけの簡単操作です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

- 100V 電源（充電用）
- 電動ベッドへの移乗：
  ボトムフレーム下の高さ 75mm 以上
- 車いすへの移乗：
  前輪キャスターの内幅 362mm 以上
- 洋式便器への移乗：
  洋式便器の幅 327mm 以下
- フローリング等、硬めの床

試用期間中のサポート

ご希望がある場合は、最寄りの営業所よりスタッフが訪問の上、フィッティングやデモンストレーションを行います。遠隔地や訪問が困難な場合は、オンラインやお電話にてサポート致します。

貸出期間	2 週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 アイ・ソネックス株式会社
岡山県岡山市中区江並 100 番地 7
TEL 086-200-1550 MAIL info@nasent.net
所属部署 営業部

販売開始

2021 年 2 月

販売価格

528,000 円（非課税）

TAIS コード

00149-000055

機器の仕様

スカイリフト

・サイズ：幅 50.3 ×高さ 137.3 ×奥行 96.4cm
・重量：42kg
・適応対象者：身長／ 145 ～ 175cm、体重／ 100kg 未満
・バッテリー内蔵型（家庭用ＡＣ 100V で充電）
・安全装置：停止センサー（挟み込みを防止）、
緊急下降ボタン、自動電源オフ機能

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　アイ・ソネックス株式会社

製品名　　スカイリフト　00149-000055

型　番　　SL-2018R

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】・適用身長（目安）145cm ～ 175cm ・適用体重（目安）100kg 未満 ・ベッドに自力、またや一部介助で端座位が可能な方 ・座位から立位までの下肢関節の可動域がある程度保たれている方 ・片麻痺、両下肢麻痺、四肢麻痺があっても下肢に体重をかけることが可能な方 【介護者】・操作方法を正しく理解できる方
	専門職の関与	重度の骨粗しょう症、変形性関節症のある方は、専門職に相談の上、使用すること
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：水分が直接かかる環境、凹凸のある床
使用上の注意	注意事項	・高温、多湿な場所では保管しない ・バッテリーは残量に関わらずこまめに充電する
	安全に利用するための配慮	・段差の乗り越えや斜面地の移動、急激な横移動はしない ・可動部や伸縮部に触れたり、隙間に手指を入れない
	倫理面の配慮	記録や情報を収集する機能はなし
使用方法	使用方法	①座位になる（ベッドでの端座位、車いす座位など） ②スリングをセットし、スリングと背中の中心を合わせる ③リフトに足を乗せる ④胸パッドを腹部に当てて、前輪キャスターをロックする ⑤膝に合うように膝パットの位置を調整する ⑥胸パッドを下げる ⑦スリングのループをフックにかけ、ずり上がりがないか確認する ⑧不快感がないか等表情を見ながら上昇する ⑨移動・移乗する
	使用環境	・使用できない環境：水分が直接かかる場所（屋外、浴室）
	使用場面	ベッド⇔車いす、車いす⇔トイレ、車いす⇔シャワーキャリー等への移乗・移動、立位訓練
	習熟期間	1 か月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・体調がすぐれない場合は、使用を控えること ・不安や痛み、疼痛がないか表情や姿勢をよく観察して使用する
	介護者に対する安全面の配慮	足先を覆う履物を着用の上、使用すること
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・トイレでの排泄や排泄量の増加等、排泄の質が向上 ・気兼ねからの解放や視線が変わることによる精神的負担の軽減 ・下肢の屈伸動作による下肢関節の可動域を維持・改善
	使用することで実現する介護者への効果	・腰痛等、身体的負担の軽減　・業務効率の改善　・ゆとりあるケアの実現
	使用することで実現する施設への効果	・労働環境の向上　・転倒事故の防止　・職場の魅力向上（人材確保の促進）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣所
	サイズ	幅 503mm ×奥行 964mm ×高さ 1373mm
	重量（バッテリー含む）	42kg（バッテリー含む）
	材質	本体：スチール、スリング：ポリエステル
	形状	スタンディング
	電源・バッテリー	バッテリー駆動（家庭用ＡＣ 100V 充電）
	連続使用時間	連続的に使用を続けると待機中ランプが点灯、約 5 分間休止させること。
	連続使用回数	（バッテリー残量 50%まで）約 60 往復
	使用時の音	プッシュ音（昇降ボタン操作時、電源 ON/OFF 時）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	緊急発報の方法	アラート音（挟み込み防止センサー作動時、バッテリー残量低下時、連続使用による過負荷状態時） ライト点滅（緊急下降ボタン／挟み込み防止センサー作動時）
	防水・防塵加工	なし
	稼働方式	電動アクチュエータ
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	【準備】電源スイッチを入れて3秒間待機後、操作開始 【片付け】バッテリー残量に関わらず、使用後はこまめに充電する
	保管方法	・電源を切り、キャスターロックをして保管 ・長期間使用しない場合は、3 か月に 1 回充電すること
	メーカーによるメンテナンス	なし（導入後のフォローアップは有り）
	ユーザーによるお手入れ	本体：水で薄めた中性洗剤での清拭後、乾いた布で拭き取り スリング：付属の洗濯ネットに入れて洗濯 定期的に安全点検を行うこと
	消耗品の有無	バッテリー、専用スリングシート
	保証期間	購入日から 1 年間
	修理対応期間	生産終了から 7 年間
	耐用年数	6 年
コスト	本体・付属品の定価	本体：528,000 円（非課税）、専用スリングシート：35,200 円～（税込）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	バッテリー交換（約 1 ～ 2 年おきに）
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	本体：なし、専用スリングシート：オプション品あり
問合せ先	緊急時の問合せ先	アイ・ソネックス株式会社　営業部　TEL:086-200-1550
	デモ・貸出	デモ・貸出ともに対応
	よくある質問（Q&A）	Q. 麻痺のある方でも使用可能か? →下肢に体重をかけることができる場合、使用可能 Q. スリングは M と L どちらがいいか? →サイズ目安（胴周り）　M:65 ～ 90cm、L:85 ～ 110cm Q. お風呂場でも使用可能か? →水分が直接かかる場所では使用不可。脱衣所での使用や、シャワーキャリーへの移乗は可能 Q. 導入後、組み立てが必要か? →操作ハンドルのみ取付が必要（付属の六角棒スパナを使用）

パンフレット等

製品カタログ　https://www.nasent.net

取扱説明書　https://www.nasent.net

使用方法等の動画　スカイリフト活用事例（在宅／特別養護老人ホーム）
https://youtu.be/WpCp92kwlGs

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社アイザック

移乗・移動ロボット Keipu-Sb

品番・型番
AIZ-39

機器の概要

機器の機能

従来の車いすと違い、手すり、椅子の位置が上下機構や後部からの馬乗り型で乗り込むことで移乗時の介護者の腰痛を無くします。利用者の乗り込む際の落下の危険性を削減します。便座への移乗についても介護者の負担を軽減します。被介護者も移乗時に、手すり、椅子の位置が上下機構により移動動作が容易になります。トイレなどの狭い場所においてはその場回転機能により機器の方向を容易に変えられます。さらには、椅子の上下機能により介護者の目線が高くなり自立支援での効果が得られます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

家庭用コンセントが必要です。段差乗越えが最大 5mm のためバリアフリーの環境が必要。保管場所は、湿度 40% 以上 70% 以下（建築物衛生法の管理基準値）の範囲内で保管。浴室など湿気、水分のある所での使用、保管は厳禁

試用期間中のサポート

貸出中のトラブルは、メーカーより直接対応いたします。なお、貸出先様の故意による故障につきましては別途修理費用が発生いたします。貸出先様の所在地により、サポート対応までの時間が変わります。

貸出期間	1 週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社アイザック
福島県会津若松市山見町 25-9
TEL 0242-85-8590 MAIL anzai @ aizuk.jp
所属部署 研究開発部 担当者名 安斎美穂

販売開始

2021 年 6 月

販売価格

900,000 円（非課税）

TAIS コード

01689-000002

機器の仕様

移乗・移動ロボット Keipu-Sb

寸法（全長×全幅×全高）：750mm × 605 mm× 1165 mm（最大）、総重量（バッテリ含）：54.1kg、駆動モータ：DC ブラシレスモータ 24V180W × 2、バッテリ：リチウムイオン二次電池（着脱式）、充電器：電源 AC100V ～ 240V・50/60Hz・1.3~0.6A、左右駆動輪 / 前後キャスタ：エアレスタイヤ 200 mm、前後キャスタ径 100mm、制動方式：モータ回生制動＋無励磁作動形ブレーキ、操舵方式：ジョイスティック操舵、最高速度：1.5km、実用登坂可能斜度（停止可能斜度）：6 度（勾配 10%、路面状況による）、最小回転半径：0.38 m、段差乗り越し高さ：5 mm、連続走行可能距離：最大約 3.6km（条件：荷重 75Kg, 速度 1.5Km/h, 気温 0 ℃、平坦路）、利用者最大荷重（積載物含む）：75Kg、シート昇降機構：電動シリンダ（DC モータ 24V, 2.7AMax）、その他の機能：駆動輪ブレーキ開放機能（左右独立）、衝突回避機能（近距離減速）：0.7~1.5m 以内で減速 50%,0.7m 以内で走行停止、無線操作機能：電波到達操作可能距離（10 m）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社アイザック

製品名　**移乗・移動ロボット Keipu-Sb　01689-000002**

型　番　AIZ-39

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 ・適用身長（目安）145 ～ 180cm ・適用体重（目安）～ 75kg（実測値では、100kg は可能） ・ベッドサイドで端坐位（手すりにつかまっても）の姿勢を保てる方 【介護者】特に限定はなし
	専門職の関与	特に専門職の関与は必要としない
禁止事項	禁止事項	・屋外（建物内の中庭 / 屋外も含む） ・使用できない環境（場所）：浴室内および湿気の多いところ ・その他：水分による洗浄など
使用上の注意	注意事項	移乗後、シートベルトを利用し、介護者の体を固定すること
	安全に利用するための配慮	段差 5mm 以上の乗り越えは不可。傾斜の 6 度以上の上り降りは安全のため避けること 乗車時の服装は、マフラーや裾の長い物での乗車は避けること。タイヤに巻き込む可能性があるため
	倫理面の配慮	特になし
使用方法	使用方法	屋内の移乗・移動に使用すること 施設 / 病院などの大型施設内でも可能 公共施設の屋内でも利用可能
	使用環境	温度 10~35℃ 湿度 40% -70%
	使用場面	短距離での移動を推奨 ベッド→ Keipu →トイレ ベッド→ Keipu →リハ室 ベッド→ Keipu →食堂 など
	習熟期間	短時間での利用習熟が可能（20 分ほど）
	高齢者に対する安全面の配慮	認知症などの方は、利用不可（介助者の見守りがある場合は可）
	介護者に対する安全面の配慮	乗車時の服装は、マフラーや裾の長い物での乗車は避けること。タイヤに巻き込む可能性があるため 履物は、着用して、底が滑りにくいものを着用すること
効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の落下リスク低減 自立支援効果（自立移動、および目線が高くなるため他者との会話チャンスが広がる）
	使用することで実現する介護者への効果	移乗時の被介護者の落下リスク低減 介護者の身体的腰痛の削減 移乗時の一人介護（介護時間の短縮）
	使用することで実現する施設への効果	対外的に施設環境の改善 労働環境の改善（スピーディーな移乗、移動が可能）廃用症候群の予防 利用者の自立心の向上

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、食堂、リハ室へ移動
	サイズ	幅 750mm ×奥行 605mm ×高さ 1165mm
	重量（バッテリー含む）	54.1kg
	材質	鉄およびアルミ材、手すり / シート部分：レザー
	形状	後ろのリフト移動機
	電源・バッテリー	バッテリー：リチウムイオン二次電池
	連続使用時間	2.5 時間
	使用時の音	駆動輪のモーター音、手すり、シートの上下時のモーター音
	緊急発報の方法	アラート音
	安全性の認証取得	ISO13482 準拠
	防水・防塵加工	家庭用防水程度
	稼働方式	モーターによる稼働
	必要な通信環境	スマートフォンの利用により、遠隔操作が可能
	データの記録機能、有無と内容	特になし
	他の機器との連携・互換性	特になし
メンテナンス	準備・片付け	電源 off 後に、収納場所で保管
	保管方法	水分・湿気のないところ
	メーカーによるメンテナンス	訪問してメンテナンス
	ユーザーによるお手入れ	樹脂表面のアルコールでの拭き掃除
	消耗品の有無	バッテリー消耗時は交換が必要
	保証期間	導入後、3ヶ月
	修理対応期間	5 年
	耐用年数	7 年
コスト	本体・付属品の定価	本体：¥900,000（非課税）
	設置導入に伴う費用	輸送料及び設置調整料
	ランニングコスト	特になし
	教育研修費	特になし
オプション	追加できる機能	物入用カゴ装着・シートベルト（L サイズ、M/S サイズ）
問合せ先	緊急時の問合せ先	（株）アイザック　0242-85-8590
	デモ・貸出	対応可
	よくある質問（Q&A）	バッテリーは、どれぐらい持つか?→連続移動で約90分 充電時間は?→約3時間30分で満充電する

パンフレット等

製品カタログ　https://www.aizuk.jp

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-11 移乗支援

株式会社あかね福祉

移乗用介護ロボット「移乗です」

品番・型番

AKI-1001

機器の概要

機器の機能

座位姿勢の要介護者の太ももの下に差し込んだ“持ち上げプレート”をアクチュエータの動力を使いリモートコントローラを操作し要介護者を移乗可能な高さに上昇させます。リモートコントローラにはメモリー機能が標準装備されており、３つの高さ設定が可能。移乗先へは予め設定した高さに自動停止させることができます。手動停止も可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

使用するベッドのベースフレームと床との隙間が 65mm 以上ある事。移乗先に車いすを使用する場合は、肘台が跳ね上がり又は取り外し出来る事。移乗先が他の場合、持ち上げプレートの左右展開を阻害しない事。ベッドからの移乗を行う場合はベッド脇に 120cm のスペースがある事。移乗ですに利用者を乗せて長距離の移動はお止めください。床並びに走行面が平面で段差が無い事。

試用期間中のサポート

使用上の不明点、問い合わせのご相談を頂いた際は、電話並びにリモート（WEB 面談）にて対応します。利用者の状況や使用環境、使用目的等を確認させて頂き、ご提案をさせていただきます。

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	5台

問い合わせ先 株式会社あかね福祉
福島県郡山市安積町荒井字雷神 16-1
TEL 024-937-5022 MAIL me-ka@akane-fukushi.co.jp
所属部署 メーカー事業部 担当者名 池田・橋本

販売開始

2021 年 9 月

販売価格

オープン価格

TAIS コード

01341-000009

機器の仕様

移乗用介護ロボット「移乗です」

寸法 : 幅 760 ×奥行 730 ×高さ 957mm
材質 : 本体（スチール / ステンレス）マット部分（発砲ポリウレタン）
質量 : 本体（アクチュエータ・バッテリーを含む）38kg
アクチュエータ : 推力 1000N
ストローク :250mm　12V モーター
バッテリー :NI-MH10 セル　DC12V/3.6Ah
充電器 :inAC100-240V outDC12V
耐荷重 :80kg　安全ベルト（付属品）
材質 : ポリエステル 100%
寸法 :1770mm × 190mm
質量 :200g

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社あかね福祉

製品名　**移乗用介護ロボット「移乗です」 01341-000009**

型　番　AKI-1001

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者及び障がい者】 ・適用身長（目安）140cm ～ 175cm　・適用体重（目安）80kg まで 歩行が困難又は不安定な方で座位姿勢、前傾姿勢ができる、もしくは支えれば座位姿勢ができる身体状態の方
	専門職の関与	必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：斜面等平面ではない場所、段差のある場所 ・その他：高温・多湿な場所・浴室での使用
使用上の注意	注意事項	湿気・水気の多い場所での保管はしないこと。移乗以外での使用はしないこと。歩くスピード以上での使用はしないこと
	安全に利用するための配慮	安全ベルトを装着して平面で使用し、昇降させる前に姿勢の確認を行うこと。移動はゆっくりと行うこと
	倫理面の配慮	対象者を長時間、持ち上げた状態（足が床に付かない状態）で放置しないこと
使用方法	使用方法	ベッド上で端座位姿勢をとって頂く。「移乗です」を利用者の前に近づけ、前傾姿勢をとって頂き安全ベルトを装着する。利用者の太もも下に持ち上げプレートを差し込む（左右とも）昇降レバーを操作して利用者のお尻及びつま先が上がるまで持ち上げる。移乗先に移動したら昇降レバー又はメモリを操作して着座させ、持ち上げプレートを外し安全ベルトを解除して終了
	使用環境	・動作環境：(気温 5 度以上 40 度未満) ・使用できない環境：水中・屋外・その他水分が機器にかかる環境
	使用場面	ベッド⇔車椅子⇔ポータブルトイレ⇔食事椅子⇔入浴用搬送車など
	習熟期間	基本の操作手順がわかれば 30 分で使いこなすことは可能。1 分以内で移乗ができるようになるには 1 週間ほど使い込めば可能
	高齢者に対する安全面の配慮	座位姿勢及び前傾姿勢である事と高く持ち上げ無い。安全ベルトが装着できる事
	介護者に対する安全面の配慮	持上げ動作及び無理な姿勢等腰への負担がない
効果	使用することで実現する高齢者への効果	対面による介助に加え、抱きかかえない移乗介助なので痛みや恐怖などの緊張感を感じさせないので、生活行動が増える。異常行動の減少
	使用することで実現する介護者への効果	介助時の腰への負担軽減、腰痛リスクの軽減、一人移乗が可能になる。利用者の表情を見ながら移乗ができる安心感
	使用することで実現する施設への効果	労働環境改善、職場の魅力向上、腰痛による休職や離職の削減、高齢職員の継続勤務等経営環境の改善が図れる。介護事故の軽減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	使用場所：居室・脱衣場など床が平面の場所。幅 120cm のスペースを設けられる事
	サイズ	幅 760mm ×奥行 730mm ×高さ 957mm
	重量（バッテリー含む）	38kg（バッテリー含む）
	材質	本体（スチール / ステンレス）マット部分（発砲ポリウレタン）
	形状	頑丈な金属フレームに昇降用アクチュエータを搭載 身体の触れる部分は発砲ポリウレタン素材で保護
	電源・バッテリー	充電時間 4~8 時間
	連続使用時間	連続した昇降動作は5分以内、2分間の小休止を挟む事で使用可能
	連続使用回数	満充電からの昇降可能回数は約 200 回
	使用時の音	アクチュエータ音、電源オン・オフ、メモリ設定音、停止音
	緊急発報の方法	エラー時（負荷オーバー）は両端の LED ランプが点滅と同時にアラート音

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	安全性の認証取得	充電アダプターにＰＳＥマーク
	防水・防塵加工	ボックス内に制御基盤、バッテリーなどを収納し防塵対応、防水加工無し
	稼働方式	バッテリーによるモーター（アクチュエータ）駆動
	必要な通信環境	無し
	データの記録機能、有無と内容	無し
	他の機器との連携・互換性	無し
メンテナンス	準備・片付け	適切な場所に保管し、使用開始時はバッテリーの残量確認
	保管方法	極度に湿度の高い場所を避け、安定した室温、湿度環境
	メーカーによるメンテナンス	故障・破損時は代替え機を準備したうえで対応
	ユーザーによるお手入れ	汚れ除去（中性洗剤使用）・各部消毒・バッテリー充電
	消耗品の有無	マット部分・グリップ・バッテリー・キャスター・安全ベルト
	保証期間	1 年間
	修理対応期間	6 年間
	耐用年数	6 年間
コスト	本体・付属品の定価	本体：オープン価格（非課税）　安全ベルト：15,000 円
	設置導入に伴う費用	一律 15,000 円
	ランニングコスト	バッテリー充電の電気代のみ・他故障時の修理費など
	教育研修費	オンライン指導は無料。　現地研修は 50,000 円 / 日及び実費交通費
オプション	追加できる機能	無し
問合せ先	緊急時の問合せ先	024-937-5022
	デモ・貸出	対応可能

パンフレット等

製品カタログ　https://www.akane-fukushi.co.jp/item_ijou/

使用方法等の動画　https://www.akane-fukushi.co.jp/item_ijou/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-12 移乗支援

アルジョ・ジャパン株式会社

サラフレックス

品番・型番

HEB0000-28

機器の概要

機器の機能

サラフレックスは、自身の脚で立ちたいという利用者の意思と尊厳を尊重し、また介助者の身体的負担を軽減するために開発された電動立位補助機です。人間工学に基づき、自然な動きで無理なく利用者を立ち上がらせます。車いす・トイレ・シャワーチェアへの移乗や着替えが一人介助で安全に行え、また起立姿勢で脚に自重負荷をかけることにより、下肢訓練や拘縮予防のリハビリにも利用できます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

【推奨環境】
・硬めの床材（毛足の長い絨毯以外）
・周辺に干渉するものがない場所
・車いす用トイレへの移乗を推奨
・防水性能：IPX4（ハンドコントローラー部は完全防水のIPX7）

試用期間中のサポート

安全にお使い頂く為に試用前に製品説明と実演をご提供致します。運用のご相談や使用方法についてご不明点等ございましたらお気軽にご連絡下さい。直接訪問が難しい場合はオンラインによるリモート式対談も承ります。

貸出期間	通常1−2週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 アルジョ・ジャパン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-8 ランディック第2虎ノ門ビル9階
TEL 03-6435-6401 MAIL nobuaki.nakanishi@arjo.com
所属部署 営業部 担当者名 中西伸明

機器の仕様

サラフレックス

【製品仕様】
最大安全耐荷重 200 kg
製品重量 52 kg（体重計付 53,6 kg）
全長 996 mm
最小持ち上げ高さ 991 mm
最大持ち上げ高さ 1518 mm
全高 1162 mm
シャーシ高 100.5 mm
閉脚時外寸レッグ幅 660 mm
開脚時外寸レッグ幅 1029 mm
バッテリー 24V ＤＣ 4Ah
バッテリー 3.8 kg
本体保護等級ＩＰ２４
ハンドコントロール保護等級ＩＰＸ７
低摩擦キャスター　後方２キャスターはブレーキ付
充電残量表示（ＢＤＩ）－電池の再充電が必要な時表示します
サービスメーターがモーターの合計使用時間を表示します
緊急停止及びシステム故障時の停止機能
【適合規格】
ＥＮ／ＩＥＣ 60601-1（TÜV SÜD）
ＥＮ ISO 10535：2006（TÜV SÜD）

販売開始

2019 年 10 月

販売価格

1,440,000 円（非課税）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　アルジョ・ジャパン株式会社

製品名　**サラフレックス**

型　番　HEB0000-28

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】・適用身長（目安）145 ～ 195cm ・適用体重（目安）45 ～ 200kg 【介護者】機器の操作が理解できる介護者
	専門職の関与	・専門職の関与は特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外での使用（凹凸のある道等）
使用上の注意	注意事項	・推奨しない保管場所:湿度が高い場所（80%以上）や濡れた場所での長期保管（製品の腐食防止の為）
	安全に利用するための配慮	広さ、床面の状態、障害物の確認等
	倫理面の配慮	利用者への同意やプライバシーに関する配慮等
使用方法	使用方法	【機器操作方法の流れ】※使用前に必ず操作説明を受けること （車いすからサラフレックスへの移乗） 1. 起動：本体の電源ボタン緑を押す 2. 脚部幅調整：車いすの幅に合わせてシャーシ脚部を電動ボタンで開く 3. 移乗用ベルト（以下ベルト）装着：車いすに座っている利用者の腰部から腹部にかけて立位補助ベルトを巻き、ベルトのバックル2箇所をしっかり留める 4. フレックスへ移乗：利用者の正面までサラフレックスを近づけ、フットプレートに足を乗せる。レッグサポートに膝が付く程に更に近づける 5. ベルトを本体へ取付：ベルトのクリップ部を本体持ち上げアーム先のフックに掛ける 6. 起立昇降：利用者に立ち上がる旨を声かけしてから電動昇降ボタンの上ボタンを押し起立していく 7. 移動：対面式ですので利用者と会話を楽しみながら介助者は後方歩行もしくは平行の向きで移動する。（移動中はシャーシ脚部を閉じた方が移動しやすい） ※初回もしくは慣れていない利用者や怖がりな利用者は臀部が浮く程度の高さから移乗を始めること ※臀部が完全に浮いた後は長時間の移動・移乗は控え、簡潔に行うこと
	使用環境	・動作環境：温度 -25°～ 70°、湿度 10%～ 80%
	使用場面	ベッド⇔車いす、車いす⇔トイレ、車いす⇔シャワーチェアー等
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで約1～2か月
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認
効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の緊張緩和による負担軽減と拘縮予防。尊厳の維持
	使用することで実現する介護者への効果	介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる。介護者高齢化による身体的理由の離職軽減
	使用することで実現する施設への効果	労働環境改善、職場の魅力向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室、トイレ
	サイズ	幅 660mm ×奥行 996mm ×高さ 1162mm
	重量（バッテリー含む）	52kg

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー	0から満充電まで6時間程度
	連続使用時間	2–3時間程度
	連続使用回数	100 回程度
	使用時の音	充電残量が 10% を下回るとビープ音が発報
	安全性の認証取得	EN / IEC 60601-1 認証、EN ISO10535:2006 認証
	防水・防塵加工	IPX4　※ハンドコントローラー部はIPX7
	稼働方式	SaraFlex アームの上昇と下降、脚部の開閉機能
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	あり：(データ内容：利用頻度、総ストローク回数等)
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	特になし
	保管方法	電源ボタンを「OFF」に切り替え、ブレーキをかけて保管
	メーカーによるメンテナンス	不具合などがあれば弊社フィールドサービス事業部まで問合せること
	ユーザーによるお手入れ	適宜製品のクリーニング又は消毒
	消耗品の有無	有（移乗用スリング、バッテリー等）
	保証期間	無償保証期間：購入日から1年間
	修理対応期間	製造販売終了後、7～ 10 年間まで
	耐用年数	平均耐用年数：10 年
コスト	本体・付属品の定価	本体定価 1,440,000 円（非課税）付属品定価（腹部ベルト）56,000 円（非課税） ※本体1台につきベルト1枚までが非課税
	設置導入に伴う費用	本体と付属品費用+配送費用
	ランニングコスト	特になし
オプション	追加できる機能	特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6435-6401
	デモ・貸出	常時承っている。気軽に相談すること

パンフレット等

製品カタログ	https://www.arjo.com/ja-jp/products/safe-patient-handling/standing-and-raising-aid/sara-flex/
取扱説明書	https://qbank.arjo.com/productdocumentation/04.KL.00.JA%20rev.%207.pdf
使用方法等の動画	https://www.youtube.com/watch?v=ONQqvnRIvIg&t=1s

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-13 移乗支援

アルジョ・ジャパン株式会社

マキシムーブ

品番・型番
KMCEXN-D-28

機器の概要

機器の機能

マキシムーブは、ご自身の力で動けない利用者の移乗支援を一人介助で行えるように設計された移乗機器です。垂直昇降式で床からの移乗もでき持ち上げ時に不快な揺れが生じません。オプションバーの組み合わせで、移乗、着替え、トイレ、入浴など幅広い用途にご利用頂けます。センサーが搭載されたスプレッダーバー部により利用者を的確な位置に移乗します。移乗シートは低摩擦で肌に優しい素材で利用者を安全に包み込みます。

※実機は低床キャスターです

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

【推奨環境】
・硬めの床材（毛足の長い絨毯以外）
・周辺に干渉するものがない場所
・車いす用トイレへの移乗を推奨
・防水性能：IPX4（ハンドコントローラー部は完全防水のIPX7）

試用期間中のサポート

安全にお使い頂く為に試用前に製品説明と実演をご提供致します。運用のご相談や使用方法についてご不明点等ございましたらお気軽にご連絡下さい。直接訪問が難しい場合はオンラインによるリモート式対談も承ります。

貸出期間	通常1−2週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 アルジョ・ジャパン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-8 ランディック第2虎ノ門ビル9階
TEL 03-6435-6401 MAIL nobuaki.nakanishi@arjo.com
所属部署 営業部 担当者名 中西伸明

販売開始

2018 年 8 月

販売価格

1,700,000 円（非課税）

機器の仕様

マキシムーブ

【製品仕様】
最大安全耐荷重 227 kg（延長ジブ使用時 130 kg）
本体重量（スプレッダーバーとバッテリーを含む）70 kg
上昇時の最高値 1575 mm
下降時の最小値 225 mm
上下昇降ストローク長 1350 mm
保管時のサイズ（高さ）1402 mm
閉脚時外寸（幅）718 mm
開脚時外寸（幅）1196 mm
閉脚時内寸（幅）578 mm
開脚時内寸（幅）1074 mm
リフトの保護等級ＩＰＸ４
コントロール手元スイッチの保護等級ＩＰＸ７
バッテリー 24 V、4Ah
バッテリー充電インジケーター
サービスメーター – 合計使用時間（時間単位）を表示
緊急停止及びシステム故障時のオーバーライド
自動安全停止機能（下降時の障害物接触で作動）
低床用＆低摩擦キャスター（後方２輪ブレーキ付）
オプション：計量測定機能（後付け不可）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　アルジョ・ジャパン株式会社

製品名　　**マキシムーブ**

型　番　　KMCEXN-D-28

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】・適用身長　特になし ・適用体重　227kg 未満の方 【介護者】機器の操作が理解できる介護者
	専門職の関与	・専門職の関与は特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外での使用（凹凸のある道等）
使用上の注意	注意事項	・推奨しない保管場所:湿度が高い場所（80%以上）や濡れた場所での長期保管（製品の腐食防止の為）
	安全に利用するための配慮	広さ、床面の状態、障害物の確認等
	倫理面の配慮	利用者への同意やプライバシーに関する配慮等
使用方法	使用方法	【機器操作方法の流れ】※ご使用前に必ず操作説明を受けること （車いすからマキシムーブへの移乗） 1. 起動：本体の電源ボタン緑を押す 2. 脚部幅調整：車いす幅に合わせてシャーシ脚部を電動ボタンで開く 3. 移乗用スリング（以下：スリング）の敷き込み：車いすの背もたれと利用者の隙間からスリング臀部の縁を車いすの座面付近まで差し込む 4. スリング大腿部を利用者に沿って広げ大腿部下に敷き込み、腿内側にスリングの脚部クリップがくるようにする 5. スリングをマキシムーブへ取付：本体のスプレッダーバーにスリングのクリップが取り付けられる位置までマキシムーブを近づける 6. 利用者を乗せて上昇：コントローラーの「上ボタン」を押し上昇する。利用者は前方のバー部分に手で掴まることができる ※揺れが無く、垂直に上昇しますので怖がりな方でも安心して乗ることができる 7. 移動：対面式なので利用者と会話を楽しみながら介助者は後方歩行もしくは平行の向きで移動する。（移動中はシャーシ脚部を閉じた方が移動しやすい） ※利用者を乗せて上昇する際は、クリップ部にテンションが掛かった時に一時停止し、クリップ4箇所がスプレッダーバーに掛かっていることを確認すること ※臀部が完全に浮いた後は長時間の移動は控え、簡潔に行うこと
	使用環境	・動作環境：（温度 5°～ 40℃、湿度 15%～ 93%）
	使用場面	ベッド⇔車いす、車いす⇔トイレ、車いす⇔シャワーチェアー等
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで約1～2か月
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認
	介護者に対する安全面の配慮	腰の負担が無い姿勢での介助が可能
効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の緊張緩和による負担軽減と拘縮予防。尊厳の維持
	使用することで実現する介護者への効果	介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる。介護者の高齢化による身体的理由の離職軽減
	使用することで実現する施設への効果	労働環境改善、職場の魅力向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室、トイレ
	サイズ	幅 770mm ×奥行 1118mm ×高さ 1402-2213mm
	重量（バッテリー含む）	64.5kg

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー	0から満充電まで6時間程度
	連続使用時間	2−3時間程度
	連続使用回数	100 回程度
	使用時の音	昇降音
	緊急発報の方法	バッテリー残量低下時にピープ音にて発報
	安全性の認証取得	IEC 60601-1-1 適合、ISO 10535 取得
	防水・防塵加工	IPX4　※ハンドコントローラー部はIPX7
	稼働方式	垂直昇降式
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	あり：(データ内容：利用頻度、総ストローク回数等)
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	特になし
	保管方法	電源ボタンを「OFF」に切り替え、ブレーキをかけて保管
	メーカーによるメンテナンス	不具合などがあれば弊社フィールドサービス事業部まで問合せること。
	ユーザーによるお手入れ	洗浄方法（清拭）：温水と中性洗剤で湿らせた布で残留物を除去しながら拭き取る。洗剤が残っているときは、きれいな水ですすぐ。最後に乾いた布で拭き取ること
	消耗品の有無	有（移乗用スリング、バッテリー等）
	保証期間	無償保証期間：購入日から1年間
	修理対応期間	製造販売終了後、7〜10 年間まで
	耐用年数	平均耐用年数：10 年
コスト	本体・付属品の定価	本体定価 1,700,000 円（非課税）
	設置導入に伴う費用	なし
オプション	追加できる機能	計量測定機能　※計量測定無しとは品番と定価が異なる
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6435-6401
	デモ・貸出	常時対応可能

パンフレット等

製品カタログ　https://qbank.arjo.com/productdocumentation/Arjo.Spec%20Sheet.Move.1.0.JP.JA.pdf

取扱説明書　https://qbank.arjo.com/productdocumentation/001.25060.JP%20rev.19.pdf

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=M12VEI7ycgE

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

A-14 移乗支援

アルジョ・ジャパン株式会社

マキシツイン

品番・型番
KTBB2ESX2JP KTBB2EEX2JP KTBB2FEX2JP KTBB4BSU2JP KTBB4BSX2JP

機器の概要

機器の機能

マキシツインは移乗に多くの介助が必要～全介助の方を対象とした移乗機器です。
本製品特徴の一つ「ツインマスト設計」は、本体にかかる荷重を均等に分散し、取り回しや走行性を高めています。また人間工学に基づいたデザインで、介助者の操作性を向上させています。ハンガーは揺れを少なくする工夫がされており、対象者の不安感を軽減します。
自動安全停止機構を備えており、安全面においても十分配慮された移乗介助機器です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

【推奨環境】
- 硬めで平らな床材の場所（毛足の長い絨毯以外）
- 周辺に干渉するものの無い場所
- 防水性能：IPX4（ハンドコントローラー部は完全防水の IPX7）

試用期間中のサポート

安全にお使い頂く為に試用前に製品説明と実演をご提供致します。運用のご相談や使用方法についてご不明点等ございましたらお気軽にご連絡下さい。直接訪問が難しい場合はオンラインによるリモート式対談も承ります。

貸出期間	通常1-2 週間程度
貸出可能台数	1 台

問い合わせ先 アルジョ・ジャパン株式会社
〒105-0001　東京都港区虎ノ門 3-7-8　ランディック第2虎ノ門ビル 9 階
TEL 03-6435-6401　MAIL nobuaki.nakanishi@arjo.com
所属部署 営業部　担当者名 中西伸明

機器の仕様

マキシツイン

販売開始

2018 年 4 月

販売価格

1,000,000 円から
(品番によって異なります)

TAIS コード

01746-000007

【製品仕様】
最大安全耐荷重 :182kg
製品重量 :58kg
最小持ち上げ高さ :230mm
最大持ち上げ高さ :1460mm
全高 :1370mm
閉脚時外寸レッグ幅 :630mm
開脚時外寸レッグ幅 : 1371mm
バッテリー 24V DC 2.5Ah

本体保護等級 IP24
ハンドコントロール保護等級 IPX7
低摩擦キャスター　後方 2 キャスターはブレーキ付
充電残量表示（BDI）－電池の再充電が必要な時表示します
サービスメーターがモーターの合計使用時間を表示します
緊急停止及びシステム故障時の停止機能
【適合規格】
EN/IEC 60601-1 (TÜV SÜD)
EU 医療機器規制　2017/745　準拠

機器の使用場面

製　品

メーカー名　アルジョ・ジャパン株式会社

製品名　**マキシツイン　01746-000007**

型　番　KTBB2ESX2JP、KTBB2EEX2JP、KTBB2FEX2JP、KTBB4BSU2JP、KTBB4BSX2JP

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 ・適用身長　特になし ・適用体重　182kg 未満の方 【介護者】機器の操作が理解できる介護者
	専門職の関与	・専門職の関与は特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外での使用（凹凸のある道等）
使用上の注意	注意事項	・推奨しない保管場所:湿度が高い場所（75%以上）や濡れた場所での長期保管（製品の腐食防止の為）
	安全に利用するための配慮	広さ、床面の状態、障害物の確認等
	倫理面の配慮	利用者への同意やプライバシーに関する配慮等
使用方法	使用方法	スリングを対象者に装着し、マキシツイン本体にスリングを取り付けた後に本体を操作する。目的の場所（車いすやトイレ、ベッド等）に移乗する。移乗後は対象者からスリングを取り外す
	使用環境	・動作環境：(温度 10 ～ 40℃、湿度 30%～ 75%)
	使用場面	ベッド⇔車いす、車いす⇔トイレ、車いす⇔シャワーチェアー等
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで約 1 ～ 2 か月
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認
	介護者に対する安全面の配慮	腰の負担が無い姿勢での介助が可能
効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の緊張緩和による負担軽減と拘縮予防。尊厳の維持
	使用することで実現する介護者への効果	介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1 人移乗が可能になる。介護者の高齢化による身体的理由の離職軽減
	使用することで実現する施設への効果	労働環境改善、職場の魅力向上、人材定着の促進
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室、トイレ
	サイズ	幅 755mm ×奥行 1,298mm ×高さ 1,370mm
	重量（バッテリー含む）	58Kg
	材質	スチール
	形状	ツインマスト構造
	電源・バッテリー	0 から満充電まで 6 時間程度
	連続使用時間	4.5 時間
	連続使用回数	70 回程度

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用時の音	昇降音
	緊急発報の方法	バッテリー残量低下時にピープ音にて発報
	安全性の認証取得	CE2797
	防水・防塵加工	IPX4　※ハンドコントローラー部は IPX7
	稼働方式	バッテリー
	必要な通信環境	不要
	データの記録機能、有無と内容	なし
メンテナンス	準備・片付け	特になし
	保管方法	ブレーキをかけて保管
	メーカーによるメンテナンス	フィールドサービス事業部：03-6435-6401
	ユーザーによるお手入れ	洗浄方法（清拭）：温水と中性洗剤で湿らせた布で残留物を除去しながら拭き取る 洗剤が残っているときは、きれいな水ですすぐ。最後に乾いた布で拭き取る
	消耗品の有無	有（移乗用スリング、バッテリー等）
	保証期間	無償保証期間：購入日から 1 年間
	修理対応期間	製造販売終了後、7 ～ 10 年間まで
	耐用年数	平均耐用年数 :10 年
コスト	本体・付属品の定価	本体定価 1,000,000 円から
	設置導入に伴う費用	なし
オプション	追加できる機能	購入後に追加できるオプションなし
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6435-6401
	デモ・貸出	常時対応可能

パンフレット等

製品カタログ	https://qbank.arjo.com/productdocumentation/Arjo.Maxi%20Twin.Specs.2.0.JP.JA.pdf
取扱説明書	https://qbank.arjo.com/productdocumentation/04.KT.00_21JA.pdf
使用方法等の動画	https://www.youtube.com/watch?v=GBGVsbGEHaE

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

日本ケアリフトサービス株式会社

SOEL® MX-Air
ソエル エムエックス エア

品番・型番
MX-AR-101

機器の概要

機器の機能

SOEL MX-Air は、専用のスリングシートを使用し、力任せに抱え上げず、安全に移乗介助を行うことができます。介護者のハンドルの操作に合せてアシスト機能が働き、本体の移動に力やコツを要さず、絨毯等の柔らかい床材上でも楽に移動できます。さらに、スロースタート／ストップ機能で要介護者の揺れを軽減します。要介護者に安全で優しいケアを提供し、介護者の介助負担を軽減することができる介護リフトです。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

- 動作保証条件：温度 5℃～ 40℃・湿度 20% ～ 80%
- 傾斜、溝、段差がない場所
- 水飛沫がない環境
- 介助動作に必要十分なスペースがあり、周囲に妨げるものがない環境

試用期間中のサポート

介護職員向けの介護リフトの使用方法研修の実施や、ご施設の介護環境、リフト導入・定着状況に合わせた研修メニューをご利用いただけます。その他、訪問、またはオンラインでのサポート対応が可能です。

貸出期間	2週間程度／応相談
貸出可能台数	通常1台／応相談

問い合わせ先 日本ケアリフトサービス株式会社
〒664-0871　兵庫県伊丹市堀池 5-1-8
TEL 0120-188-027　MAIL info@j-carelift.com
所属部署 総合窓口　担当者名 山本結香

販売開始

2023 年 4 月

販売価格

1,500,000（非課税）円

TAIS コード

01540-000012

機器の仕様

SOEL® MX-Air　ソエル エムエックス エア

本体重量：80kg
最大吊上げ荷重：100kg
昇降範囲：1200mm
吊上げ高さ：580mm ～ 1780mm（床からハンガーまでの高さ）
昇降速度：上昇 32mm/ 秒・下降 33mmm/ 秒（無負荷時）
高さ：1515mm ～ 2110mm
奥行：1250mm
幅：854mm
脚幅：700mm ～ 1075mm（開閉幅）
脚部高さ：65mm
キャスター径：前輪 50mm・中輪 150mm・後輪 75mm
本体バッテリー：鉛蓄電池 24V-2.9Ah
充電方法：本体プラグ充電
※満充電約 4 ～ 5 時間・30 回昇降可能（100kg 負荷時）
アシスト用バッテリー：リチウムイオン 14.4V-3.3Ah
充電方法：バッテリーパック専用充電器
※満充電約 3 時間
防水性能：本体 IPX4・手元スイッチ IPX6
オプション：体重測定器・ハンガーサイズ [S・M・L]
機能：移動アシスト機能・スロースタート／ストップ機能・音声アナウンス機能・脚部電動開閉・緊急停止機能・緊急降下機能など

機器の使用場面

製　品

メーカー名　日本ケアリフトサービス株式会社

製品名　SOEL® MX-Air　ソエル エムエックス エア 01540-000012

型　番　MX-AR-101

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 ・適用身長 なし ・適用体重 100kg以下 【介護者】 取扱説明書を理解し、正しい操作で要介護者に適した移乗介助ができる介護者
	専門職の関与	専門の医師や理学療法士、作業療法士などに、要介護者の症状・状況を確認した上で使用する
禁止事項	禁止事項	使用できない環境（場所）： ・野外、傾斜地、溝や段差がある場所 ・多湿、水飛沫がかかる環境 その他： ・最大使用者体重（100kg）を超えての使用 ・指定適合品以外の製品と組みわ合わせた使用 ・修理・分解・改造
使用上の注意	注意事項	・直射日光が当たる場所、高温、多湿な場所での保管はしない ・バッテリーの充電量が十分であることを確認する
	安全に利用するための配慮	・日常点検、お手入れ、定期的なメンテナンスを実施する ・介助動作に必要十分なスペースがあり、周囲に妨げるものがないことをあらかじめ確認する ・要介護者に応じた姿勢保持のため、適切なスリングシートを選定し、正しく装着する
	倫理面の配慮	要介護者のプライバシー保護、意見・意向の尊重、身体的尊厳の尊重
使用方法	使用方法	要介護者に適合するスリングシート（リフト専用の吊り具）を装着し、本体のハンガーにスリングシートをかけ、要介護者を吊り上げて目的の場所（ベッド、車椅子、トイレ等）へ移動・移乗します。
	使用環境	・動作環境：温度5℃～40℃・湿度20%～80%RH
	使用場面	・移乗［ベッド⇔車椅子・車いす⇔トイレ・車椅子⇔シャワーキャリー等］ ・歩行訓練（歩行訓練用スリングシートを使用）
	習熟期間	約10日～1か月（使用環境・使用頻度などによる）
	高齢者に対する安全面の配慮	・健康状態の確認 ・症状・状況に合った適切なスリングシートの選定
	介護者に対する安全面の配慮	介助時の不良姿勢防止、腰痛予防
効果	使用することで実現する高齢者への効果	筋緊張緩和、拘縮予防、座位姿勢の改善
	使用することで実現する介護者への効果	・腰痛予防など介助時の身体的な負担の軽減 ・移乗介助が一人できるようになる
	使用することで実現する施設への効果	要介護者の事故・ケガの防止、労働災害の防止、離職防止、生産性の向上、経費削減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣室など
	サイズ	幅700mm～1075mm×奥行1250mm×高さ1515mm～2110mm
	重量（バッテリー含む）	本体重量：80kg（バッテリーを含む）
	材質	マスト部：アルミニウム・脚部：スチール
	形状	・ベルト昇降式マスト ・スリングシートがハンガーのフックから外れることを防止するセーフティラッチ構造
	電源・バッテリー	・本体バッテリー：鉛蓄電池 24V−2.9Ah ・アシスト用バッテリー：リチウムイオン 14.4V−3.3Ah ・ＡＣアダプター：100～240V・50／60Hz
	連続使用時間	2分（休止時間18分）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	連続使用回数	30回昇降可能（満充電・100kg負荷時）
	使用時の音	昇降音
	緊急発報の方法	アシスト用バッテリーの充電残量不足時、故障・異常発生時に音声通知
	安全性の認証取得	充電用ＡＣアダプター：PSE認証
	防水・防塵加工	本体：IPX4・手元スイッチ：IPX6
	稼働方式	バッテリー駆動
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	・準備：日常点検を実施する ・片付け：使用しないときはハンガーを一番上まで上げる
	保管方法	直射日光の当たる場所、高温、多湿、低温、乾燥、ほこりの多い場所を避ける
	メーカーによるメンテナンス	販売店または直接メーカーまでお問い合せのこと
	ユーザーによるお手入れ	水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭いた後、水拭きで洗剤をよくふき取り、乾いた布で水分を拭き取る
	消耗品の有無	本体バッテリー、アシスト用バッテリーパック、巻き上げ（昇降）ベルト、マストローラー、マストフリクションプレート
	保証期間	1年間
	修理対応期間	製造販売終了後、8年間
	耐用年数	8年
コスト	本体・付属品の定価	1,500,000円（非課税）
	設置導入に伴う費用	応相談
	ランニングコスト	応相談
	教育研修費	応相談
オプション	追加できる機能	スリングシート各種、体重測定器、ハンガーサイズ［S・M・L］
問合せ先	緊急時の問合せ先	0120-188-027
	デモ・貸出	対応可能
	よくある質問（Q&A）	Q. 何名の要介護者を対象に使用することができるか? A. 使用する介護環境により、複数の要介護者を対象に使用できる。詳しくは相談のこと Q. スリングシートはどのような種類・サイズがあるか? A. 別途スリングシートの総合カタログを参照のこと Q. 充電が切れた際、満充電までどれくらい時間がかかるか? A. 本体バッテリーは約4～5時間、アシスト用バッテリーは約3時間

パンフレット等

製品カタログ　https://jcls.jp/products/mx-air/

使用方法等の動画　https://youtu.be/nSNZOa73qPE

使用方法等の動画　https://youtu.be/-iRFlpeXg2g

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

B-01 移動支援

RT . ワークス株式会社

ロボットアシストウォーカーRT. 1

品番・型番

RT1-01RDN (レッド)
RT1-01BKN (ブラック)

機器の概要

機器の機能

ハンドルに手を添えて歩くだけの簡単操作で、センサーとモータを使ったロボット技術により坂道を上る時はパワーアシストで軽々と楽に、坂道を下る際には自動減速を行い、さらに手をハンドルから離すと自動ブレーキがかかるので安心、快適な歩行をサポート。又、通信機能を搭載、ＧＰＳとインターネットを利用した様々なサービスで歩行距離等の確認、「見守り機能」や「緊急通知機能」で離れて暮らす家族にも安心を提供します。

機器の写真

機器の貸出

試用期間中のサポート

RT. ワークスサポートセンターにて、電話・メールで使用方法等サポート致します。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　RT．ワークス株式会社
〒537-0025　大阪市東成区中道 1-10-26
TEL フリーコール　0120-959-537　MAIL support-rtw@rtworks.co.jp
所属部署 RT．ワークス　サポートセンター　担当者名 松井由江

販売開始

2015 年 7 月

販売価格

250,800 円（税込）

TAIS コード

01560-000002

機器の仕様

ロボットアシストウォーカーRT．1

・サイズ：全幅 510 ×全長 601 ×高さ 819 ～ 1019mm
※折畳可能、車トランク積載可能
・重量：約 15kg
・ハンドル形状：Ｔ字型（シルバーカータイプ）
・ハンドル高さ：750 ～ 950mm（５段階調節可能）
・荷物積載重量：10kg
・電源：リチウムイオンバッテリー（専用充電器付属）
・充電時間：約２時間
・連続動作時間：連続歩行４時間以上
・防水機能：防雨型（ＩＰＸ３規格準拠）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　RT．ワークス株式会社

製品名　　**ロボットアシストウォーカーRT．1　01560-000002**

型　番　　RT1-01RDN（レッド）、RT1-01BKN（ブラック）

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	・歩行に少し不安のある方 ・生活環境に坂道等が多い方 ・傾いた道路などで蛇行歩行により歩行安定が図れない方 ・買い物など重い荷物を積載しての歩行シーンが多い方 ・リウマチや手のこわばりなどブレーキ操作が難しい方 ・パーキンソン病や股関節可動域性制限のある方
使用上の注意	注意事項	・座面の上に乗ったり、ペット等の生体運搬には使用しない ・歩行以外の用途に使用しない ・急な坂道では使用しない ・雨の日は使用しない
	安全に利用するための配慮	電源「切」やバッテリー残量無しの際には坂道を歩行しない
使用方法	使用方法	バッテリーを装着し、電源を入れて押し歩く
	使用環境	屋外、屋内、0～ 40℃
	使用場面	・お買物（重い荷物を積載して歩行） ・散歩 ・リハビリ
	高齢者に対する安全面の配慮	・ハンドル高さを適正に調整する ・アシスト力、ブレーキ力、速度制限の設定値を適正に設定する
効果	使用することで実現する高齢者への効果	歩行時の転倒防止、歩行意欲の向上により歩行距離、歩行時間、外出頻度の増加
	使用することで実現する介護者への効果	歩行介助時の負担軽減（付き添い介助から見守り介助へ）
	使用することで実現する施設への効果	利用者の転倒未遂 / 事故率の低減 / 歩行介助の負担軽減による職員の離職率低減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋外、屋内、傾斜路面
	サイズ	使用時　W510 × L601 × H819 ～ 1019mm （ハンドル高さ H750 ～ 950mm で5段階調節可能） 折畳時　W510 × L487 × H714mm
	形状	四輪シルバーカー（手押し車型）
	重量	約 15kg
	積載量	最大 10kg
	電源・バッテリー	リチウムイオンバッテリー（専用充電器付属）
	充電時間	約2時間
	連続使用時間	連続歩行4時間以上
	緊急発報の方法	緊急時アラート音発声： 転倒時 「転倒しています」 傾斜 10 度以上を感知時 「急斜面です、注意してください」 バッテリー残量が少ない 「バッテリー残量が少なくなっています、お早めに充電してください」 前輪が地面から浮いている時 「前のタイヤが地面から離れました、タイヤを地面に下して歩いて下さい」 緊急時メール通知（ネットワーク機能）： カート転倒やバッテリ残量がなくなった時など異常状態を関係者宛にメール送信

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	安全性の認証取得	・生活支援ロボットの安全性に関する国際規格ISO13482認証取得 ・バッテリー充電器はPSE（電気用品安全法）適合
	防水・防塵加工	防雨型（IPX3規格準拠）
	稼働方式	電源ボタンを押下
	必要な通信環境	ネットワーク機能作動に3G通信環境が必要
	データの記録機能、有無と内容	ネットワーク機能を本体に内蔵、専用サーバーで歩行記録等記録
	他の機器との連携・互換性	ネットワーク機能により、歩行記録等はパソコン、スマートホンにて確認可能
メンテナンス	準備・片付け	バッテリーの充電
	保管方法	直射日光や雨、露を受けない風通しの良い場所で保管
	ユーザーによるお手入れ	・ハンドル / 車体 / タイヤ等に過度なガタがないことを確認 ・手動ブレーキが正常に作動することを確認 ・車体の汚れは絞った濡れ布で拭き取る
	消耗品の有無	・タイヤ（前・後） ・バッテリーパック
	保証期間	お買い上げ日より1年間
	耐用年数	約5年間
コスト	本体・付属品の定価	本体　250,800 円（税込）
	ランニングコスト	1回の充電にかかる電気代 / 概算　1.14 円
オプション	追加できる機能	通信サービス / おさんぽけあサービス ※ネットワーク機能を利用するには別途契約が必要
問合せ先	緊急時の問合せ先	RT. ワークス　サポートセンター　0120-959-537
	よくある質問（Q&A）	Q：車に載せることは可能か？ A：折り畳んだ状態で、タクシー等のトランクにも搭載可能

パンフレット等

製品カタログ　https://www.rtworks.co.jp/

取扱説明書　https://www.rtworks.co.jp/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

B-02 移動支援

RT . ワークス株式会社

ロボットアシストウォーカーRT. 2

品番・型番

RT2-01RD (レッド)
RT2-01CG (シャンパンゴールド)

機器の概要

機器の機能

ロボット技術により路面状況や速度超過などを検知し、自動の電動アシスト機能が安心・快適な歩行を実現。上り坂はパワーアシストで楽にのぼれ、下り坂では適度に減速、傾いた道もハンドルをとられることなく進み、速度超過の際には自動減速して転倒を防ぎます。歩行レベルや使用環境に合わせて速度やブレーキなどを４段階に調節可能、音声で歩行距離等を教えてくれるおしゃべり機能付き。介護保険の福祉用具レンタル対象。

機器の写真

機器の貸出

試用期間中のサポート

RT. ワークスサポートセンターにて、電話・メールで使用方法等サポート致します。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　RT．ワークス株式会社
〒537-0025　大阪市東成区中道 1-10-26
TEL フリーコール　0120-959-537　MAIL support-rtw@rtworks.co.jp
所属部署 RT．ワークス　サポートセンター　担当者名 松井由江

販売開始

2016 年 7 月

販売価格

147,180 円（税込）

TAIS コード

01560-000003

機器の仕様

ロボットアシストウォーカーRT．2

・サイズ：全幅 550 ×全長 740 ×高さ 735 ～ 860mm
※折畳可能、車トランク積載可能
・重量：約 9kg
・ハンドル高さ：725 ～ 850mm（6 段階調節可能）
・荷物積載重量：5kg
・電源：リチウムイオンバッテリー（専用充電器付属）
・充電時間：約 3 時間
・連続動作時間：連続歩行 4 時間以上
・防水機能：防雨型（ＩＰＸ３規格準拠）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　RT．ワークス株式会社

製品名　　**ロボットアシストウォーカーRT．2　01560-000003**

型　番　　RT2-01RD（レッド）、RT2-01CG（シャンパンゴールド）

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	・歩行に少し不安のある方・生活環境に坂道等が多い方 ・リウマチや手のこわばりなどブレーキ操作が難しい方、歩行器をあきらめた方 ・パーキンソン病や股関節可動域性制限のある方 ・傾いた道路などで蛇行歩行により歩行安定が図れない方 ・買い物など重い荷物を積載しての歩行シーンが多い方 ・適応身長：135 ～ 165cm（165 ～ 185cm の方向けにトールタイプも有り）
使用上の注意	注意事項	・座面の上に乗ったり、ペット等の生体運搬には使用しない ・歩行以外の用途に使用しない ・急な坂道では使用しない ・雨の日は使用しない
	安全に利用するための配慮	・電源「切」やバッテリー残量無しの際には坂道を歩行しない
使用方法	使用方法	バッテリーを装着し、電源を入れて押し歩く https://www.youtube.com/watch?v=lXKZQR8iApc
	使用環境	屋外、屋内、0～ 40℃
	使用場面	・お買物（重い荷物を積載して歩行） ・散歩 ・リハビリ
	高齢者に対する安全面の配慮	・ハンドル高さを適正に調整する ・アシスト力、ブレーキ力、速度制限の設定値を適正に設定する
効果	使用することで実現する高齢者への効果	歩行時の転倒防止、歩行意欲の向上により歩行距離、歩行時間、外出頻度の増加
	使用することで実現する介護者への効果	歩行介助時の負担軽減（付き添い介助から見守り介助へ）
	使用することで実現する施設への効果	利用者の転倒未遂 / 事故率の低減 / 歩行介助の負担軽減による職員の離職率低減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋外、屋内、傾斜路面
	サイズ	使用時　W550 × L740 × H735 ～ 860mm （ハンドル高さ H725 ～ 850mm で6段階調節可能） 折畳時　W260 × L740 × H735mm
	形状	四輪歩行器（手押し車型）
	重量	約 9kg
	積載量	最大 5kg
	電源・バッテリー	リチウムイオンバッテリー（専用充電器付属）
	充電時間	約3時間
	連続使用時間	連続歩行4時間以上
	緊急発報の方法	緊急時アラート音発声： 転倒時 「転倒しています」 傾斜 10 度以上を感知時 「急斜面です、注意してください」 バッテリー残量が少ない 「バッテリー残量が少なくなっています、お早めに充電してください」 前輪が地面から浮いている時 「前のタイヤが地面から離れました、タイヤを地面に下して歩いて下さい」

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	安全性の認証取得	・生活支援ロボットの安全性に関する国際規格ISO13482認証取得 ・バッテリー充電器はPSE（電気用品安全法）適合
	防水・防塵加工	防雨型（IPX3規格準拠）
	稼働方式	電源ボタンの押下
メンテナンス	準備・片付け	バッテリーの充電
	保管方法	直射日光や雨、露を受けない風通しの良い場所で保管
	ユーザーによるお手入れ	・ハンドル / 車体 / タイヤ等に過度なガタがないことを確認 ・手動ブレーキが正常に作動することを確認 ・車体の汚れは絞った濡れ布で拭き取る
	消耗品の有無	・タイヤ（前・後） ・バッテリーパック
	保証期間	お買い上げ日より1年間
	耐用年数	約5年間
コスト	本体・付属品の定価	本体　147,180 円（税込）
	ランニングコスト	1回の充電にかかる電気代 / 概算　1,14 円
問合せ先	緊急時の問合せ先	RT. ワークス　サポートセンター　0120-959-537
	よくある質問（Q&A）	Q：おしゃべり機能の音量調整は可能か？ A：音量はオフも含めて 8 段階で調節可能。尚、音量オフ設定でも転倒時等の緊急時音声は必ず発するようになっている

パンフレット等

製品カタログ　https://www.rtworks.co.jp/

取扱説明書　https://www.rtworks.co.jp/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/channel/UCXp4R-FA-aMveFQGgixiaWw

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

B-03 移動支援

パナソニック株式会社

Walk training robo

品番・型番

KY-WTR502S

機器の概要

機器の機能

本機器は、運動負荷と歩行の可視化で科学的に歩く力を鍛えます。手軽に個人に合わせた運動負荷の設定ができ、記録も自動で残るので、継続性の高い歩行トレーニングを提供できます。施設利用者の体力維持・向上が期待でき、日常生活の活性化を支援します。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

屋内の平坦な床面の場所でのみ使用ください。（濡れた床、屋外、スロープ、階段付近や段差のある場所は使用禁止）

試用期間中のサポート

現地でのご説明、オンラインを活用したご説明など、施設様のご要望に応じます。

貸出期間	1ヶ月 （お問い合わせください）
貸出可能台数	お問い合わせください

問い合わせ先 パナソニック株式会社
大阪府門真市大字門真 1006 番地
MAIL wtr_sales@gg.jp.panasonic.com
所属部署 アクティブエイジングデザインプロジェクト

販売開始

2021 年 5 月

販売価格

お問い合わせください

機器の仕様

Walk training robo

重量：約 20kg
電源方式：充電式リチウムイオン電池
連続使用可能時間：約 4 時間（1 回の満充電において）
実運用可能時間：約 6 時間（1 回の満充電において）
充電時間：約 4 時間
ＬＣＤ / タッチパネル：液晶画面サイズ 10V 型
カードリーダ：ＮＦＣ方式
サイズ：幅 約 63cm x 縦 約 60cm x 高さ 約 80 ～ 94cm
（ハンドル高さ調節可能）
通信方式：4G 回線

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　パナソニック株式会社

製品名　　Walk training robo

型　番　　KY-WTR502S

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	主に杖などの歩行補助具を利用し始め、歩くことの不安から外出や歩行量が減ってきている高齢者の方、要支援 1- 要介護 2 相当、フレイル手前の方が対象。※健常な方でもトレーニングのために利用可能
禁止事項	禁止事項	・屋内の平坦な床面の場所でのみ使用（濡れた床、屋外、スロープ、階段付近や段差のある場所等は使用禁止） ・体内埋め込み型医療電子機器を利用されている方には使用しない ・自分で絶対に修理・分解・改造をしない
使用上の注意	注意事項	・体調が優れないときはトレーニングを中止する ・利用者の心身の状態に合った、無理のない運動を行う
使用方法	使用方法	電源を押して、画面上の利用者を選択の上、歩行トレーニングを実施
	使用環境	屋内の平坦な床面の場所
	使用場面	歩行のトレーニング
	高齢者に対する安全面の配慮	・個人に合わせてハンドル高さを調整可能 ・軽い負荷がかかるため、転倒予防に繋がる
効果	使用することで実現する高齢者への効果	運動機会の増加、効率的なトレーニングの実施、歩行記録の見える化による運動促進
	使用することで実現する介護者への効果	歩行記録の自動化、付き添い介助から見守り介助による負担軽減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内の平坦な床面の場所
	サイズ	幅 約 63cm x 縦 約 60cm x 高さ 約 80 ～ 94cm (ハンドル高さ調節可能)
	重量	約 20kg
	電源・バッテリー	リチウムイオン電池
	充電時間	約 4 時間
	連続使用時間	約 4 時間 (実運用可能時間 約 6 時間)

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用時の音	歩行時には音楽が流れるとともに、達成度に応じて声がけ
	緊急発報の方法	歩く速度が早くなりすぎると、音声でお知らせ
	防水・防塵加工	IPX2 相当
	必要な通信環境	4G 通信環境が必要
	データの記録機能、有無と内容	通信機能を本体に内蔵、専用サーバーで歩行記録等記録
	他の機器との連携・互換性	歩行記録等はパソコンなどのブラウザで保存可能（PDF、CSV）
メンテナンス	準備・片付け	ロボット本体の充電
	ユーザーによるお手入れ	・ハンドルやタイヤに不具合がないことを確認する ・汚れがある場合は適切に拭き取る
	消耗品の有無	・タイヤ ・リチウムイオン電池
	保証期間	レンタル品により契約期間中はメーカーにてメンテナンス
コスト	設置導入に伴う費用	無償
	ランニングコスト	サービス利用料（機器貸与料、データ保管料、保守料）
問合せ先	緊急時の問合せ先	wtr_sales@gg.jp.panasonic.com
	よくある質問（Q&A）	https://tech.panasonic.com/jp/walk_training/faq.html

パンフレット等

製品カタログ　https://tech.panasonic.com/jp/walk_training/

使用方法等の動画　https://youtu.be/u_7B7efoX6c

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

B-04 移動支援

AssistMotion 株式会社

curara

品番・型番
WR

機器の概要

機器の機能

同調制御法による制御で、人とロボットがお互いにリズムを合わせて歩行訓練します。訓練中のリアルタイム歩行状態表示や動作変更機能があり、専用スマホで簡単に操作できます。また歩行訓練の前後の歩行状態の解析機能を有しており、モニタリング資料を自動作成します。用途に合わせた構造変更機能があるので、多様なニーズや症例に合わせて構造を変更できます。重度の歩行障害の方には免荷装置との併用も可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

- 動作時：温度 10 ～ 35℃、湿度 20 ～ 85%（結露しないこと）
- 保管時：温度 -10 ～ 40℃、湿度 20 ～ 90%（結露しないこと）
- 直射日光の当たらない場所で保管して下さい。

試用期間中のサポート

現地又はオンラインでの導入ご説明は必ず行います。更にご利用中不明なことが生じた場合もお電話やオンラインなどで対いたします。

貸出期間	1ヶ月から可能です
貸出可能台数	ご相談

問い合わせ先 AssistMotion 株式会社
〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目16番24号 信州大学オープンベンチャー・イノベーションセンター206
TEL 0268-75-8124 MAIL ueda-office@assistmotion.jp
所属部署 総務 担当者名 竹内志津江

販売開始

2021年12月

販売価格

1,232,000～
1,749,000円

機器の仕様

curara

本体サイズ：幅45㎝×高さ78㎝×奥行27㎝
本体重量：約2.9Kg
モータ出力：最大6Nm
稼働時間：1時間
電源：リチウムイオンバッテリ、充電器付属
補助部位：股関節、膝関節
使用場所：屋内
動作環境：周囲の温度10～35℃
湿度20～85%（結露しないこと）
適用身長：145㎝～175㎝
適用ウエストサイズ：60㎝～100㎝（延長ベルト使用時も含む）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　AssistMotion 株式会社

製品名　curara

型　番　WR

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	・適用身長（目安）145～175cm ・腹　　囲　60～100cm
禁止事項	禁止事項	・本製品は医療機器ではない。医療目的で使用しないこと ・本製品は、歩行運動や歩行練習の補助を目的とする。これらの目的以外には使用しないこと ・体内埋込型医療電子機器・生命維持用電子機器等を装着している人には使用しないこと ・本製品の分解・改造・修理は絶対にしないこと。火災・感電・ケガをするおそれがある。製品が損傷・破損するおそれがある ・本製品に水がかからないようにすること。火災・感電・製品の故障の原因となる ・下記の症状がある方には使用しないこと。症状が悪化する恐れがある ・関節障害または、骨に脆弱性がある方 ・意識障害の恐れがある方 ・妊娠されている方
使用上の注意	注意事項	・適応身長および適応ウエストサイズ外の人は使用しないこと。（体格が製品に合わない人は無理に使用しないこと。）ケガの原因になる ・本製品を装着したまま、走らないこと ・本製品を装着したまま、後ろ向きに歩行したり、しゃがみこんだり、寝転ばないこと ・本製品から異常な振動や異音が生じるなどの異常が発生した場合は、ただちに電源を切り使用を停止すること ・ちり・ほこりが極端に多い場所では使用しないこと。製品が故障するおそれがある ・揮発性ガスや腐食性ガスが発生する場所では使用しないこと。事故や製品が故障するおそれがある ・本製品を落としたり、ぶつけたりした場合は、使用をお控えること 思わぬ事故につながるおそれがある
	安全に利用するための配慮	・必ず介助者を伴って使用すること
使用方法	使用方法	・ロボット本体の電源と専用スマホの電源をオンにして、操作モードを選択して使用する
	使用環境	・屋内の平らな床面のスペース
	使用場面	・歩行トレーニング
	高齢者に対する安全面の配慮	・歩行速度やアシストの強さの調節ができる
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・歩行時の歩幅の拡張や歩行速度の向上、歩行の安定性
仕様、構造	本体サイズ	幅45cm×高さ78cm×奥行27cm
	本体重量	2.9kg
	モータ出力	最大6Nm
	稼働時間	1時間
	バッテリ	リチウムイオン電池　充電器付属
	補助部位	股関節、膝関節
	使用場所	屋内
	動作環境	周囲の温度10～35℃　湿度20～85%（結露しないこと）
	適用身長	145cm～175cm　（推奨）
	適用ウエストサイズ	60cm～100cm（着衣時）※腰延長ベルト使用時も含む

製品情報

	項 目	内 容
メンテナンス	準備・片付け	ロボット本体のバッテリと専用スマホの充電
	保管方法	専用スタンドに掛けておく
	メーカーによるメンテナンス	6か月を超えてご使用する場合は、6か月ごとに定期点検を行う
	ユーザーによるお手入れ	・ロボット本体の各部分のネジなどの緩みがないか確認する ・異音がしないか確認する ・汚れがある場合は硬く絞った布でふき取る
	消耗品の有無	・バッテリ、腰部ベルト、大腿ベルト、下腿ベルト、腰部延長ベルト
	保証期間	購入から1年
	修理対応期間	1年目は無償対応。その後は有償
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	販売価格（税込）：フルセット1,749,000円、ハーフセット1,232,000円
問合せ先	緊急時の問合せ先	AssistMotion株式会社　curaraサポート窓口 電話：0268−75−8124　　メール：c−support@assistmotion．jp

パンフレット等

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=SHHJmWH4QBA

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社 INOWA

体感型歩行自立支援システム Arbre

機器の概要

機器の機能

圧力センサ内蔵シューズと振動ベルトにより高齢者の歩行時のつまづきを防止するとともに、正しい歩容を促すことができます。このシステムは、日常生活および施設内で簡便に高齢者自らが装着ができ、歩行自立支援を促すことができます。また、介護者などの介護を提供する方が振動ベルトを同時に装着することで歩行動態を共有可能であり、日常生活の歩行自立支援をパートナーと効果的に実施できます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

一般的な通所施設、老人福祉施設等で安全に歩行ができる環境（病院に併設でも可）

試用期間中のサポート

操作方法の問い合わせ、異常の場合は、メールまたは、電話・FAX にて、下記問合せ先に連絡することにより対応。

貸出期間	3ヶ月以内
貸出可能台数	3 台

問い合わせ先 株式会社 INOWA
東京都港区麻布十番 2-12-5-701
TEL 03-5730-0282 FAX 03-5730-0283 MAIL kiyoshi.fujinawa@requa.jp
担当者名 藤縄（ふじなわ）

販売開始

2022 年 6 月

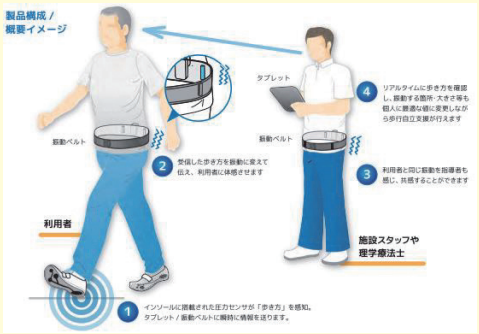
販売価格

装置の組み合わせにより
39 ～ 140 万円（税込）

機器の仕様

体感型歩行自立支援システム Arbre

足圧状況を感知する高齢者向けシューズ・歩き方を提示する振動ベルト・評価、記録用のタブレットから構成される。
①シューズ：高齢者向けシューズ「あゆみ」、圧力センサー内蔵インソール（「あゆみ」は、徳武産業株式会社の登録商標）
②振動ベルト：受信ユニット、振動子内蔵ベルト
お使いいただくには、ｉＯＳ端末（ｉ Phone、ｉ Pad）が必要です。AppleStore より無料でダウンロード頂けます。計測データの解析用に Windows ＰＣ用アプリケーションのご用意があります。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社 INOWA

製品名　**体感型歩行自立支援システム「Arbre」**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	通所施設や老人福祉施設、在宅等で歩行自立支援が必要な方（特に体力低下等で、歩行時のつまづき等が生じやすくなっている高齢者）
	対象者（介護者）	通所施設や老人福祉施設、在宅等で高齢者に介護を提供する方（介護士・看護師・理学、作業療法士、ご家族など）
禁止事項	禁止事項	使用環境温度（0-40℃（結露無きこと））外での使用 保管環境温度（-10 ～ 50℃（結露無きこと））外での保管 煙や異臭、異音がしたまま使用しない 異常・故障時には直ちに使用を中止する 本製品が変形したり、割れ目などの破損個所があったりした場合使用を中止する 本製品の改造、分解しない 先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるなどの衝撃を与えない 本製品に水をかけない、異物を入れない シューズコントローラに内蔵されているリチウムイオン電池を取り外さない
使用上の注意	注意事項	屋内だけでなく屋外での利用も可能であるが、防水、防滴加工を行っていないので、水たまり等の水没等により故障の原因になり得るので注意を要する
使用方法	使用方法	①シューズ・振動ベルトの電源を入れ、装着する ②スマートフォンまたはタブレットの電源を入れ、専用のアプリケーションを起動する ③歩行とそれに伴う振動を体感する ※詳細は取り扱い説明書に記載
	使用環境	①自宅 ②通所施設 ③老人福祉施設
	使用場面	①自宅：外出時のつまづき防止 ②通所施設：転倒予防訓練の補助 ③老人福祉施設：屋内移動時・外出時のつまづき防止
効果	使用することで実現する高齢者への効果	利用者自身の「歩き方」を振動の体感によって正しく理解し、つまづきを防止しつつ、歩き方を修正することができる
	使用することで実現する介護者への効果	介護者が振動ベルトを共有することで、つまづきを防止し、歩き方を修正することができる
	使用することで実現する施設への効果	つまづきを防止することで転倒予防の推進、定量的にアセスメントしつつ歩行や外出機会をより多く創出することで自立支援効果を高めることができる
仕様、構造	構成要素	①シューズ 高齢者向けシューズ「あゆみ」、センサー内蔵インソール　（「あゆみ」は、徳武産業株式会社の登録商標） ②振動ベルト 受信ユニット、振動子×４個、バッテリ、ベルト お使いにはｉＯＳ端末（iPhone、iPad）が必要です
	サイズ	シューズ ・S サイズ：22.5cm ～ 23.5cm ・M サイズ：24.0cm ～ 25.5cm ・L サイズ：26.0cm ～ 27.0cm 振動ベルト ・対応腹囲：50 ～ 80cm、70 ～ 120cm
	電源	シューズ ・バッテリ内蔵コントローラ 容量　110m　電圧　3.3V 振動ベルト ・モバイルバッテリ（標準 4,000 m A）市販品で対応可能

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	質量	シューズ ・S サイズ 片側　217.0g ・M サイズ 片側　249.5g ・L サイズ 片側　257.5g 振動ベルト ・323.5g
	通信仕様	シューズ⇔ベルト間　　2.4Ghz 帯 オリジナル通信 ベルト⇔スマートフォン、タブレット間 Bluetooth4.2
	電池の持ち	シューズ：連続使用で 7 時間振動 ベルト：連続使用で 50 時間
メンテナンス	準備・片付け	①シューズおよび振動ベルトコントローラの充電
	保管方法	保管環境温度（-10 ～ 50℃（結露無きこと））内で保管
	メーカーによるメンテナンス	異常や交換の必要がある場合は、製造元に連絡により対応
	ユーザーによるお手入れ	使用する靴、ベルトなどの清掃・消毒作業
	保証期間	1 年（バッテリは除く）
コスト	本体・付属品の定価	①靴・ベルト1本（約39万円　税込） ②靴3足・ベルト 2 本（約98 万円　税込） ③解析用アプリケーション（22 万円　税込）④収納バック他（6万円　税込） ※レンタル利用の設定も御座います（月額　約2万円　税込より）
問合せ先	緊急時の問合せ先	TEL・FAX：03-5730-0282/03-5730-0283 E-mail：kiyoshi.fujinawa@requa.jp 藤縄（ふじなわ）
	よくある質問（Q&A）	●シューズコントローラの電源ＬＥＤが点灯しないとき ・シューズ用コントローラの内蔵バッテリを充電する （内蔵バッテリは連続 7 時間、使用可能） ●振動ベルトコントローラの電源ＬＥＤが点灯しないとき ・モバイルバッテリを充電する ・モバイルバッテリとＵＳＢ接続ケーブルのゆるみが無いことを確認する ●振動ベルトが振動しないとき ・シューズのコントローラの電源ＬＥＤが点灯しているか、確認する ・振動ベルトのコントローラの電源ＬＥＤが点灯しているか確認する ・スマートフォンまたは、タブレットで入力値がグラフに表示するか確認する ・シューズのコントローラ及び、振動ベルトのコントローラの電源を入れなおす ●振動ベルトが振動しているのに、タブレットのトレーニングまたは計測画面の下部にグラフ表示がされないとき ・振動ベルトコントローラと、タブレットはBluetoothで接続される。 Bluetoothで接続されるデバイス（ペアリング）があるか確認する ・ペアリングができているがデータが表示されていない場合 振動ベルトコントローラの電源を OFF した後に ON する。 タブレットの設定画面のBluetooth設定で OFF →ONし、画面上でペアリングを確認する ●タブレットがフリーズした場合 ・タブレットの電源ボタンを押して、電源をOFF→ONしてシステムを再起動する

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

B-06 移動支援

株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ

RE-Gait®

品番・型番

RE-JP-RHB30

機器の概要

機器の機能

歩く時に足首が適切に使えないと、つまずいて転んだり、足を大きく回して歩いたりするようになります。RE-Gait®（リゲイト）は、靴内のセンサで歩行を検知し、足首の動きを適切にサポートすることで、正しい歩容を促します。小型軽量で、個別に歩行パターンをプログラム化することができ、日常生活でも施設内でも誰でもどこでも簡便に歩行補助を行うことができます。歩容の改善により転倒予防、自立支援を助けます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

一般的な通所施設、老人福祉施設、ご自宅等で安全に歩行ができる環境。広い水平な平面が取れ、明るく、周りに障害物や人が少ない広い室内や廊下でご使用ください。

試用期間中のサポート

使用上の不明点、問い合わせのご相談を頂いた際は、電話・メールまたはWEB面談にて対応します（広島近隣でしたら訪問可能です）。ご利用者の状況や使用環境等を確認させて頂き、ご提案をさせていただきます。

貸出期間	2週間、4週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ
〒730-0015　広島県広島市中区橋本町9−7 4階
TEL 082-563-5019　MAIL contact@spacebio-lab.com
所属部署 取締役　担当者名 下田智大

販売開始

2016 年 10 月

販売価格

オープン価格

機器の仕様

RE-Gait®

「RE-Gait®」には、「再び（re）歩く（gait）」の意が込められている。「歩ける感動をもう一度……」をコンセプトに開発されました。

■構成内容（1 セット）
1) コントローラ…1 台
2) 装具…左右各 1 脚
3) タブレット…1 台
4) その他付属品…靴（大、小　各 2 足（左右））（装着側と高さを揃えるため、同一形状の補高された靴を用意）

■サイズ・重量
装具本体装置サイズ：
W 300mm × D 160mm × H 350mm
装具本体重量：約 1.4kg（シューズを除く）
コントローラサイズ：
W 250mm × D 50mm × H 200mm
コントローラ重量：約 1.3 kg(バッテリーを含む)

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ

製品名　RE-GaitR®

型　番　RE-JP-RHB30

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	高齢者・脳卒中患者など
禁止事項	禁止事項	以下に当てはまる方は利用対象外 ・「MAS（Modified Ashworth Scale）3」以上の筋緊張が強く他動運動が困難な方 ・体重が 90kg 以上の方 ・RE-Gait 専用靴が履けない方 ・歩行（立脚）時に踵から前足部への体重移動がし難い方 ・クロートゥの方 その他、取扱説明書に記載の注意・禁止事項
使用上の注意	注意事項	禁忌 ・極度の筋緊張や脱力がある方 ・重度の認知症及び精神遅滞を有する方 ・起立性低血圧がある方 ・心筋梗塞の既往、合併を有する方 その他、取扱説明書に記載の注意・禁止事項
	安全に利用するための配慮	平地利用を基本とし、坂道や階段では、RE-Gait を使用した状況でも利用者の身体症状に問題がないと判断した場合のみ利用可能。歩行に不安のある方は、安全を確認して使用のこと
	倫理的の配慮	利用者への同意やプライバシーに関する配慮など
使用方法	使用方法	①装具・専用シューズを装着 ②コントローラを装着（介護者がコントローラを持ち、利用者に並走する形態でも可） ③必要に応じて、コントローラに設定情報を転送
	使用環境	広い水平な平面が取れる、明るく周りの視野が確保でき、周りに障害物や人が少ない広い室内や廊下など
	使用場面	移動、歩行練習など
	高齢者に対する安全面の配慮	上記注意事項や使用環境等を守っていただき、初回利用時は介護者の付き添いを原則とする。歩行に少しでも不安があれば、見守りを行うこと
	介護者に対する安全面の配慮	コントローラを介護者が持つ場合、装具ケーブルの長さに注意して、利用者との距離を適切に確保すること
効果	使用することで実現する高齢者への効果	足のつま先が上がりやすくなり、突っかかりが減少し、転倒のリスクが減少。歩行速度の上昇や歩幅の拡大により、楽に歩行距離が伸ばせる
	使用することで実現する介護者への効果	転倒リスクが減少するため、見守り等の負担が軽減される
	使用することで実現する施設への効果	利用者（高齢者）の活動量を増やせることで自立度が高くなり、職員の負担も軽減できるため、施設全体の動きが活性化し、生産性が生まれ、介護以外の活動時間も増える可能性がある
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内
	サイズ	コントローラ：幅 250mm、奥行き 50mm、高さ 200mm 装具：幅 300mm、奥行き 160mm、高さ 350mm
	形状	装具は短下肢装具のような形状で、靴（L と 4L）が標準装備
	重量	コントローラ：約 1.3kg、装具：約 1.4kg(靴を除く)
	電源・バッテリー	バッテリー（リチウムイオン）
	充電時間	3時間程度
	連続使用時間	5時間程度（使用状況により変動）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	緊急発報の方法	機器エラー時は、コントローラの LED が赤色に点灯・点滅
	稼働方式	モーターとバッテリーによる稼働
	データの記録機能、有無と内容	付属のタブレットに、利用者のデータを記録可能
メンテナンス	準備・片付け	利用者の足のサイズにあった靴（L と 4L）とセンサーに交換
	保管方法	0℃～ 35℃、結露しない湿度 90%以内の暗所（直射日光が当たらない所）に保管
	メーカーによるメンテナンス	購入半年後に1回無償メンテナンス実施。その後は有償
	ユーザーによるお手入れ	外装、パッド等の汚れを中性洗剤で拭き取り
	消耗品の有無	有り
	保証期間	1年
	修理対応期間	5年（ただし、部品の在庫・入手可能性の状況により変動）
	耐用年数	5年（消耗部品は別）
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	特になし（ただし、歩行が不安定な方は平行棒や手すり、杖など使用すると良い）
	教育研修費	納品時に無償実施。その後は都度相談
オプション	追加できる機能	歩行に合わせた音の発生など（ユーザーからのニーズ歓迎）
問合せ先	緊急時の問合せ先	082-563-5019（河原、下田）

パンフレット等

製品カタログ	導入検討のお客様、デモ機をご利用のお客様、製品購入のお客様にご提供しております。
取扱説明書	デモ機をご利用のお客様、製品購入のお客様にご提供しております。
使用方法等の動画	デモ機をご利用のお客様、製品購入のお客様にご提供しております。

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

アロン化成株式会社

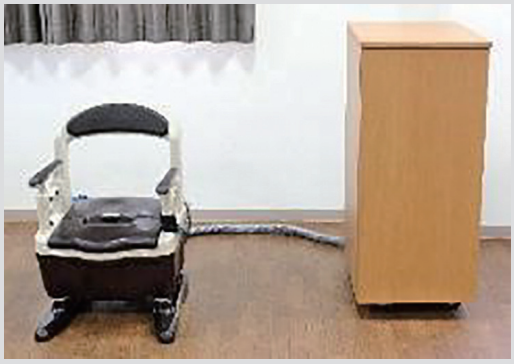
水洗ポータブルトイレ キューレット

品番・型番
191-902
191-810

機器の概要

機器の機能

水洗ポータブルトイレ「キューレット」は、新幹線のトイレと同じ仕組みです。 ボタンを押すと少量の洗浄水 (約 500cc) により排泄物がトイレから吸い取られるので、お部屋のニオイが気になりません。トイレはキャスター付でお部屋の好きなところに移動が可能です。
室内仕様の真空ユニットにもキャスターが付いており、部屋から部屋への移動が可能です。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

電源が必要です。
貸出品は基本発送させていただきますので、到着時に受け取りをお願いします。
設置につきましては同封されている説明書を参考に受取先様で実施していただく必要があります。

試用期間中のサポート

電話対応以外に、Webex や Zoom でのオンライン製品説明、相談及びフォローが可能です。
導入検討のための社内会議等で、製品説明が必要であれば、対応いたしますので是非ご相談ください。

貸出期間	要相談
貸出可能台数	要相談

問い合わせ先 アロン化成株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋 2-8-6
TEL 03-3502-1448　MAIL takuya_sakaguchi@aronkasei.co.jp
所属部署 ライフサポート事業部新分野開拓 G　担当者名 坂口　拓也

販売開始

2016 年 6 月

販売価格

693,000 円～

TAIS コード

00221-000511

機器の仕様

水洗ポータブルトイレ キューレット

排水方法が 2 種類選択でき、真空ユニット屋外仕様は排水工事を行い汚水を直接下水へ排水できます。真空ユニット室内仕様は給排水工事が不要なので、今までベッド近傍への水洗ポータブルトイレ設置を諦めていた介護施設やマンションでも設置できます。
室内仕様はトイレ部の背面にある給水タンクに定期的に水を補充します。排水は真空ユニット内の密閉容器に 6 回分程度貯留が可能なため処理の手間が軽減でき、介護者にも被介護者にも建物にも負担の少ない介護が実現できます。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　アロン化成株式会社

製品名　**水洗ポータブルトイレ キューレット　00221-000511**

型　番　191-902、191-810

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	・機能回復途中であり、共有トイレの使用が困難な高齢者 ・感染予防の観点から、共有トイレの使用が適切ではない高齢者 ・その他の対象高齢者 1. 排泄姿勢が取れること 2-1. 夜間に自力または介助によりポータブルトイレへ移乗ができること 2-2. 夜間ポータブルトイレを使用できるが諸事情によりおむつを使用しているかた
	対象者（介護者）	・汚水タンク（約 6kg）の運搬に支障がない人
禁止事項	禁止事項	・アースを確実に取り付けること ・毎回ご使用の前にネジやボルトがゆるんでいないか、各部にガタツキなど、異常がないか点検すること ・絶対に分解・修理・改造をしないこと ・電源は、交流 100V 以外では使用しないこと ・電源プラグ・電源コードを破損するようなことをしないこと。また、電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと ・不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと ・故障したままで使いつづけないこと ・子どもを遊ばせる等、他の用途では使用しないこと ・体重が 100kg を超える方は使用しないこと ・ペーパーホルダーを手すりがわり、ひじ掛けがわりにしないこと。立ち座り時にペーパーホルダーに力を加えないこと ・物をのせたまま移動させないこと ・介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと ・給水タンクに熱湯、消毒液、アルカリイオン水、芳香剤、薬品等、常温の上水道以外の水を入れないこと ・給水ホースと電源プラグやコンセントを接触させないこと ・トイレの排水ホースは扉（ドア）などで挟まれる場所には設置しないこと ・真空ユニット（室内仕様）は台車等に乗せて移動しないこと ・水の掛かる場所に水洗スイッチを設置しないこと ・トイレ背部の表示基板に物を置かないこと ・汚水タンクを真空ユニットから取り出す際は前面パネルを引っ張らないこと ・その他詳細は当社 HP 公開の製品説明書の「警告事項」を参照
使用上の注意	注意事項	・排水ホースを外す際は汚水漏れに注意すること ・水を流す際は排水ホースを接続すること ・凍結による破損の予防をおこなうこと ・汚水タンクを真空ユニットにセットする際は奥まできちんと差し込むこと ・長期間使用しないときは、汚水タンクの中を洗浄しておくこと ・真空ユニット底面が汚れた場合は拭き掃除をすること ・たばこなどの火気類を近づけないこと ・温水洗浄便座に便座カバーをつけないこと ・無理な段差や凹凸面では、キャスター移動をおこなわないこと ・排水ホース、洗浄水ホースを踏みつけたり、折り曲げたり、潰したりしないこと ・汚物・トイレットペーパー以外のものを流さないこと ・次にあげるものではお手入れしないこと シンナー、クレゾール、酸、アルカリ性洗剤、塩素系薬剤（洗剤）をかけての殺菌、消毒、タワシ、研磨剤入りのスポンジ、磨き粉、その他製品を傷つけるもの ・戸外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと ・製品の上に重量物をのせた状態で保管しないこと ・湿気の多い場所で保管しないこと ・その他詳細は当社 HP 公開の製品説明書の「注意事項」を参照
	安全に利用するための配慮	製品説明書内の「禁止事項」「注意事項」を確認のうえ利用。
	倫理面の配慮	排水時の音を抑え、高齢者の使用時の気兼ねと、同室者に迷惑がかからないようにしている
使用方法	使用方法	【製品設置後】 ・トイレ部背面の給水タンクへ定期的に水を給水する。（約 6 リットル） ・水洗ボタンを押して排泄物を流す ・汚水タンクに汚水が溜まったら定期的に汚水を排水する。（約 6 リットル）
	使用環境	製品説明書内の「禁止事項」「注意事項」を確認のうえ使用
	使用場面	・使用場所は、主に施設系のサービス事業者を想定している ・使用場面は夜間の使用を想定している。日中は本製品を部屋の隅に移動する
	高齢者に対する安全面の配慮	製品説明書の「ご使用の前に」「使いましょう」を参照
	介護者に対する安全面の配慮	製品説明書の「ご使用の前に」「使いましょう」を参照

製品情報

	項 目	内 容
効果	使用することで 実現する高齢者への効果	・水洗式のポータブルトイレであることから、通常のポータブルトイレと比べてニオイの問題が軽減でき、高齢者の気兼ねが無くなることから、高齢者のトイレの自立を促進できる。また高齢者を取り巻くニオイの環境が改善され、自身でトイレを行えるのも相まって、QOLの向上が図れる ・多床室の介護事業所ではニオイの問題からポータブルトイレが使用しにくいが、水洗式のポータブルトイレであればそういった気兼ねが解消できる ・ポータブルトイレの使用を敬遠する高齢者に対して、快適なトイレ環境を提供できることから、必要以上の共有トイレへの誘導が減ることにより、共有トイレ移動中の転倒予防も図れる
	使用することで 実現する介護者への効果	・ポータブルトイレの使用を敬遠する高齢者に対して、快適なトイレ環境を提供できることから、必要以上の共有トイレへの誘導が減ることにより、職員の負担軽減が図れる ・ニオイの問題が改善できることにより、職員の職場環境のニオイ環境の改善が図れる。職員にとってニオイは大きな問題であり、精神的負担の軽減につながる ・排泄を 6 回分溜められる。通常のポータブルトイレではニオイの問題で定期的にバケツ交換している介護事業所の職員の負担軽減が図れる
	使用することで 実現する施設への効果	・職場環境のニオイが低減されることにより、職員の精神的負担の軽減が図れる ・必要以上の共有トイレへの誘導が減ることにより、介護負担の軽減が図れる ・ポータブルトイレで、バケツを短い時間で交換している職員の介護負担軽減が図れる ・高齢者の夜間排泄の自立促進を図れることにより、職員の少ない夜間業務の介護負担軽減が図れる ・介護負担軽減が図れると同時に、職員は空いた業務時間を他の介護サービスに回せる ・室内仕様は工事不要で移動可能であることから、昼間は移動させて夜間は設置する、感染症発生時の緊急時に使用する、など様々な使用状況や環境に対応できる
仕様、構造	サイズ	樹脂製トイレ：幅 49.5 ×奥行 67 ×高さ 75 ～ 85cm (便座までの高さ：35cm ～ 45cm 1cm ピッチ) 真空ユニット（室内仕様）：幅 44.5 ×奥行 65 ×高さ 101.5cm
	重量	樹脂製トイレ：約 15kg 真空ユニット（室内仕様）：約 54kg
	材質	樹脂製トイレ 本体：ポリプロピレン ひじ掛け・脚部：ABS樹脂 背もたれクッション・ひじ掛けクッション：EVA樹脂 脚ゴム（先端・前・後）：エラストマー 便座：ポリプロピレン（抗菌加工） 真空ユニット（室内仕様） 外装ケース：合板／スチール 汚水タンク・汚水タンクふた：ポリプロピレン 汚水タンクふたパッキン：合成ゴム
	定格消費電力	320W（1 回運転消費電力 3.2W）
	給水タンク容量	5 リットル
	汚水タンク容量	10 リットル
メンテナンス	準備・片付け	・トイレ部背面の給水タンクへ定期的に水を給水する（約 6 リットル） ・(室内仕様のみ）6 回排水作業を行うと自動的にそれ以上流れなくなる。その場合は汚水タンク内の汚水をトイレに流すなど処理をする
	保管方法	製品説明書内の「禁止事項」「注意事項」を確認のうえ保管
	ユーザーによるお手入れ	製品説明書内の「お手入れをしましょう」の内容に従い、定期的に手入れを行う
	消耗品の有無	有
	保証期間	1 年
	修理対応期間	保証内容に準ずる
コスト	本体・付属品の定価	693,000 円～
	ランニングコスト	水道代・電気代
オプション	追加できる機能	温水洗浄機能付きトイレの家具調トイレもある
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-3502-1448
	よくある質問（Q&A）	ご不明な点はお気軽にお問い合わせください

パンフレット等

製品カタログ　https://www.aronkasei.co.jp/anju/products/533617/

取扱説明書　https://www.aronkasei.co.jp/anju/wp-content/themes/anju_theme/media/manual/01haisetsu/jyushi_portable/qretto_jyushi_manual.pdf

使用方法等の動画　https://youtu.be/j9vSEB0AK6A

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社アム

水洗式ポータブルトイレ「流せるポータくん」3号洗浄便座付き

品番・型番
SPF15-3-SB

機器の概要

機器の機能

流せるポータくんは電動ポンプ圧送式水洗トイレです。ボタンを押すだけで汚物を排水設備に流します。汚物処理の必要が無いので、①介護負担が軽減②居室の臭い③利用者の気兼ねによる我慢が無くなります。流せるポータくんをご利用頂いた施設さんからは業務改善だけでなく、転倒転落防止に役立つ等、現場の介護スタッフ様の評判も良好です。室内の洗面設備を利用出来れば最短２時間程度で設置可能で、直ぐにご利用頂けます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

電源・給排水設備を必要としますが、お部屋での導入方法等ご提案致します。

試用期間中のサポート

機器・設備の保守・メンテナンス等 ご要望下さい。

貸出期間	2～3ヶ月程度
貸出可能台数	2台

問い合わせ先 株式会社アム
〒929-0426　石川県河北郡津幡町竹橋西 179-1
TEL 076-288-8655　MAIL pota@am-co.co.jp
所属部署 福祉事業部　担当者名 河口泰範

販売開始

2016 年 1 月

販売価格

382,800 円（税込）

TAIS コード

00994-000013

機器の仕様

水洗式ポータブルトイレ「流せるポータくん」3号洗浄便座付き

□効果・効能
①介護者のバケツ清掃の時間が無くなります。
②居室内の臭いが無くなります。
③利用者の臭いや遠慮からの我慢が無くなります。
④転倒転落等の事故防止に繋がります。
⑤排尿排泄が増えて、積極的に水分摂取するようになります。
□適用
座位が保てる方 又は介助者や補助器具を使って座位を保てる方
□外形寸法
[幅]58cm[奥行]71cm[高さ]60cm　[座面高さ] 標準便座 39cm
洗浄便座付き 41cm
重量：25kg
電源：AC100V (50Hz/60Hz)
定格消費電力：310W/306W(50Hz/60Hz)
使用者体重：80kg 以下
□材質
[本体] ＦＲＰ樹脂、ポリエチレン
[手すり] ステンレス、ウレタンフォーム
[ホース] 軟質塩化ビニル
[壁ジョイント] 塩化ビニル、黄銅
※通常の水洗トイレと同じ様に洗剤・掃除ブラシ等で掃除出来ます。

機器の使用場面　手押し

機器の使用場面　足踏み

製　品

メーカー名　株式会社アム

製品名　水洗式ポータブルトイレ「流せるポータくん」3号洗浄便座付き 00994-000013

型　番　SPF15-3-SB

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	座位が保てる方 又は介助者や補助器具を使って座位を保てる方
	対象者（介護者）	介護者全員が対象 ※使用に訓練や研修は必要ない
禁止事項	禁止事項	トイレットペーパー・排泄物 以外の物は流せない
使用上の注意	注意事項	停電時は使用出来ない
	安全に利用するための配慮	使用者体重 80kg 程度にすること
	倫理面の配慮	利用者の状態・意向に沿って目隠しパーテーション等を使用すること
使用方法	使用方法	通常、ボタンを押すだけ ※スイッチは変更出来る
	使用環境	給排水の設備が必要
	使用場面	バケツ式のポータブルトイレと同じ
	高齢者に対する安全面の配慮	移乗・機器の利用に介助が必要な場合は介助が必要
効果	使用することで実現する高齢者への効果	自発的な排泄、積極的な水分補給、トイレ回数の増加、ADL低下防止
	使用することで実現する介護者への効果	バケツ清掃の時間と手間の削減
	使用することで実現する施設への効果	居室の臭いの削減、利用者のQOL向上、利用者家族の満足
仕様、構造	外形寸法	[幅]58cm[奥行]71cm[高さ]60cm
	座面高さ	標準便座 39cm 洗浄便座付き 41cm
	重量	25kg
	電源	AC100V (50Hz/60Hz)
	定格消費電力	310W/306W(50Hz/60Hz)
	使用者体重	80kg 以下
	材質	[本体] ＦＲＰ樹脂、ポリエチレン
		[手すり] ステンレス、ウレタンフォーム
		[ホース] 軟質塩化ビニル
		[壁ジョイント] 塩化ビニル、黄銅

製品情報

	項 目	内 容
メンテナンス	準備・片付け	設置時に配管取付けが必要。以降は特になし
	保管方法	特になし
	メーカーによるメンテナンス	定期メンテナンス等は不要
	ユーザーによるお手入れ	通常の水洗トイレと同様に清掃すること
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	メーカー保証1年間、保証期間後も部品交換等の対応をする
	修理対応期間	地域に依る
	耐用年数	なし
コスト	本体・付属品の定価	本体希望小売価格 ¥382,800（税込）
	ランニングコスト	電気・上下水道を使用する
	教育研修費	必要なし
オプション	追加できる機能	標準便座タイプ、暖房便座タイプ、脱臭機能、リモコン付き
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社アム北陸本社【TEL】076-288-8655
問合せ先	よくある質問 (Q&A)	詰まりませんか？と質問を頂く事が多い 下記のＱＲコード又は web サイトから動画を参照すること

パンフレット等

製品カタログ　http://www.pota-kun.jp

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=7lYVNFiqLK8

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

日本セイフティー株式会社

ラップポン・プリート（S）普通便座（ベージュ）

品番・型番
PLSEN12BJH

機器の概要

機器の機能

ラップポン・プリート（S）は、自動ラップ式排泄処理ユニットが搭載されたポータブルトイレです。水を使わず、熱圧着によって排泄物を１回毎フィルムの中に密閉します。臭いや菌をフィルムの中に閉じ込めてしまうので、部屋に臭いが充満してしまったり、二次感染防止など衛生的にご利用いただけます。バケツの洗浄も不要です。リモコンを押すだけの簡単操作で、熱圧着から、切離しまでを自動にて行います。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

消費電力：動作時 75W、待機時 5W 以下
電源：ＡＣ 100V ± 10V
※フィルムの熱圧着には、電力が必要となりますので上記の電源を確保できる環境が必要となります。

試用期間中のサポート

ラップポンセイフティーコール：
0120-208-718
受付時間：月～金　9：00 ～ 17：30
※土・日・祝祭日・年末年始除く
e-mail:kaigo@nihonsafety.com

貸出期間	２週間～１ヶ月
貸出可能台数	１台

問い合わせ先 日本セイフティー株式会社
東京都千代田区一番町 21 番地　一番町東急ビル 11F
TEL 03-6369-2223　MAIL yuko.toyama@nihonsafety.com
所属部署 ラップポン事業部　担当者名 外山ゆう子

販売開始

2022 年 5 月

販売価格

149,600 円（税込）

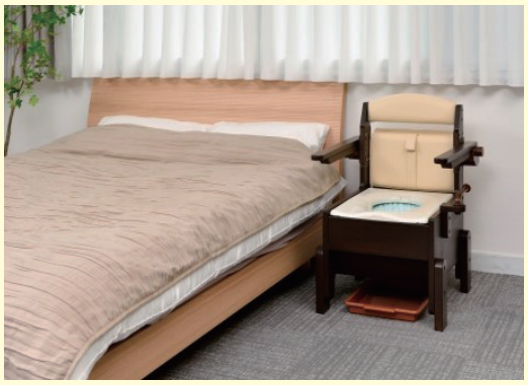
TAIS コード

00942-000019

機器の仕様

ラップポン・プリート（S）普通便座　（ベージュ）

同じ自動ラップ式排泄処理ユニットが搭載されたポータブルトイレはラップポン・プリート（S）とラップポン・ブリオ（S）の 2 タイプがあります。
ラップポン・プリート（S）：本体約 27Kg、W542 × D510 × H800、830、860mm、肘掛跳ね上げ、後脚キャスター付、3 色より選択可能。
※販売製品は、それぞれ普通便座、やわらか便座、暖房便座より選択することができますが展示・実使用共に貸出は普通便座のみとなります。
※ラップポン・プリート（S）は展示・実使用両方への貸出が可能でございます。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　日本セイフティー株式会社

製品名　ラップポン・プリート（S）普通便座（ベージュ）　00942-000019

型　番　PLSEN12BJH

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	・共有トイレまでの移動が排泄までに間に合わない方 ・夜間の共有トイレまでの移動が不安な方 ・頻尿疾患の方 ・おむつだけに頼らず、自立排泄を目指す方 ・感染予防の観点から、共有トイレの使用が適切ではない高齢者
	対象者（介護者）	・バケツタイプのポータブルトイレでの排せつ物処理の負担や個室に広がる排泄物の臭いにストレスを感じている方
禁止事項	禁止事項	・専用のフィルムカセット以外は使用しない ・便座に腰掛けた状態でラップ（熱圧着処理）しない
使用上の注意	注意事項	・使用前に必ずフィルムが設置されているのを確認する ・新しいフィルムを取り付けたら、必ずフィルムのラップ（熱圧着処理）をしてから使用する ・専用の凝固剤以外は使用しない。また凝固剤は適量を使用する ・ラップ（熱圧着処理）済みフィルムは直ちにトレーより取り除き、下に残っていないことを確認してから使用する
	安全に利用するための配慮	・水平で安定した場所で使用する
	倫理面の配慮	プライバシーの確保、ご本人・ご家族の意向の尊重
使用方法	使用方法	①座面を開いて専用凝固剤「カタメルサー T3」をスコップ約 1 杯分入れる ②便座に深く腰掛けて排泄をする ※男性も座って排泄をしてください ③排泄終了後に便座から立ち上がってからリモコンの「おす」の作動ボタンを約 1 秒長押しする ※ラップ（熱圧着処理）が終了するまで、絶対にフィルムを引っ張らず、フィルムが切り離されるまでは連続して使用しないでください ④リモコンの作動中ランプが消灯していることを確認してからトレーを引き出し、ラップ（熱圧着処理）された汚物を捨てる
	使用環境	電源が確保できる環境
	使用場面	・ベッドサイドに設置して排泄に使用 ・感染症対策などで、排水設備が整っていない部屋での隔離処理が必要になった際に、水が使用できない環境で水洗トイレと同じ感覚にて衛生的に使用をしたい場合
	高齢者に対する安全面の配慮	・使用者自身が身体の安定を十分に保てない場合は、介助者の付き添いのうえ使用する
	介護者に対する安全面の配慮	・使用の際は、身体状況によって介助者の付き添いや専門家に相談する
効果	使用することで実現する高齢者への効果	排泄物を密封することで、利用者は自尊心をもった排泄が出来る。また、排泄物を毎回個包装にするために室内への臭いの拡散を防ぎ、介助者や利用者の臭いに対する心的負担や排泄物を他の方に片付けさせてしまうといった心的負担を取り除くことが可能である また、菌もフィルム内に閉じ込めるため二次感染の予防効果が有る リモコンを押すだけで、その後は切離しまでを自動で行う簡単操作のために、排泄の自立支援に繋がる
	使用することで実現する介護者への効果	熱圧着にて排泄物を毎回ラップすることにより、排泄物が直接トイレに触れることが無いため排泄介護の中でも介助者の負担が大きいバケツ洗浄や後片付けの手間から開放される。排泄物を毎回個包装にするために室内への臭いの拡散を防ぎ、臭いに対する心的負担を取り除くことが可能である また、処理の際に手が排泄物に触れてしまうリスクが無いため菌もフィルム内に閉じ込めるため二次感染の予防効果が有る
	使用することで実現する施設への効果	熱圧着にて排泄物を毎回ラップすることにより、排泄物が直接トイレに触れることが無いため排泄介護の中でも介助者の負担が大きいバケツ洗浄や後片付けの手間から開放される。排泄物を毎回個包装にするために室内への臭いの拡散を防ぎ、介助者や利用者の臭いに対する負担を取り除くことが可能である また、処理の際に手が排泄物に触れてしまうリスクが無く、また菌もフィルム内に閉じ込めるため二次感染の予防効果が有る。また、施設においては介護・福祉施設にて義務化となっている BCP 対策としても活用することが可能である

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	製品名	ラップポン・プリート（S）普通便座　ベージュ
	品番	PLSEN12BJH
	材質	椅子：ラバーウッド（ウレタン塗装）・スチール、便座：ポリプロピレン樹脂
	電源 / 入力電圧	ＡＣ 100V ± 10V
	消費電圧	動作時 75W、待機時 5W 以下
	寸法	組立時：W542 × D510 × H800 ～ 860mm 座幅：420mm 座面から便座までの高さ：400mm、430mm、460mm　※ 3 段階で調節が可能 便座から肘掛までの高さ：180mm、210mm、240mm　※ 3 段階で調節が可能
	質量	本体約 27Kg
	最大使用者体重	100Kg 以下
	周囲温度	動作時：0℃～+ 40℃、非動作時：－ 20℃～+ 60℃
	周囲温度	動作時:20 ～ 80%（ただし結露なきこと）、非動作時:5 ～ 95%（ただし結露なきこと）
	周囲雰囲気	腐食性ガスの無いこと
	安全機能	挟み込み防止機能
メンテナンス	準備・片付け	・便座などの汚れををふき取ってから保管する ・お手入れや点検・長期間使用しない時・保管をする時には、電源プラグをコンセントから抜く ・保管する場合はセットされているフィルムカセットを外してから保管する
	保管方法	保管場所：室温が 0℃～+ 40℃で、湿度の低い屋内が最適
	メーカーによるメンテナンス	不具合があった場合にはラップポンセイフティーコールに連絡 ※状況に応じて、代替機の発送、修理箇所の特定、状況連絡、修理等を実施
	ユーザーによるお手入れ	本体およびトレー：硬めに絞ったやわらかい布にて水拭き。汚れが落ちにくい時はやわらかい布にうすめた中性洗剤を含ませて清拭きする。定期的に椅子本体のネジにゆるみがないか確認する
	消耗品の有無	有：フィルムカセット、専用凝固剤カタメルサー T3
	保証期間	本体：1 年
	修理対応期間	保証期間：無償、保証期間以後：有償 ※交換部品の保有期間は該当製造終了後 6 年
	耐用年数	原則 5 年。但し、消耗部材の定期交換が必要
コスト	本体・付属品の定価	本体:149,600 円（税込）、フィルムカセットタイプ 3（約 60 回分）:2,420 円（税込）、専用凝固剤カタメルサー T3（約 60 回分）：1,210 円（税込）
	ランニングコスト	フィルムカセットタイプ 3 および専用凝固剤カタメルサー T3 は消費に併せて継続購入する消耗品
	教育研修費	必要なし
オプション	追加できる機能	やわらか便座、暖房便座、専用バッテリー
問合せ先	緊急時の問合せ先	ラップポンセイフティーコール：0120-208-718
	よくある質問（Q&A）	ご不明な点はお気軽にお問い合わせください

パンフレット等

製品カタログ　https://wrappon.com/catalog

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=zyPbgpGgiXQ&t=1s

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

排尿予測デバイス「DFree」

品番・型番
DFree-U2

機器の概要

機器の機能

超音波センサーで膀胱の大きさを捉え、排尿タイミングをお知らせする世界初の排泄予測デバイス「DFree（ディー・フリー）」です。排尿前後のお知らせを事前に行うことで、トイレ誘導とおむつ交換の空振り削減や、利用者の自立排泄と失禁減少をサポートします。また、夜間の起き上がりを検知する機能も搭載されており、夜間の転倒予防にも役立ちます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

ご利用には、DFree 本体と中継機に加えて、消耗品として、装着補助シート・テープと超音波用のジェルが必要となります（試用貸出期間中は無償サンプル提供）。Ｗｉ－Ｆｉの環境がない場合でも別途SIMカードを使って、利用できます。

試用期間中のサポート

オンラインによる研修、電話・メール等による問い合わせ対応及びフォローアップ

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
〒107-0052　東京都港区赤坂二丁目 10 番 9 号　ラウンドクロス赤坂 9 階
TEL 03- 5459- 1295　MAIL care@www-biz.co
所属部署　カスタマーサポート　担当者名　小林正典

販売開始

2021 年6月

販売価格

330,000 円（税込）

機器の仕様

排尿予測デバイス「DFree」

■デバイス仕様
・大きさ：W51 × D36 × H17（mm）
・重さ：26 g
・防水性：水洗い可能
・通信方法：Bluetooth
・動作時間：約 26 時間（満充電には約 4 時間必要）
・その他：ケーブルレス、充電式リチウムイオン電池

■アプリ仕様
・スマートデバイス：ｉＯＳ（12.0 以上）
・パソコン：Google Chrome 推奨

機器の使用場面

製　品

メーカー名　トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

製品名　**排尿予測デバイス「DFree」**

型　番　DFree-U2

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	排泄時の介助が必要な高齢者
	対象者（介護者）	排泄の介助を行う介護者
禁止事項	禁止事項	充電しながら、利用しないこと 肌に赤みやかぶれが発生した場合、利用を中止すること ペースメーカー等、医療機器との併用はしないこと
使用上の注意	注意事項	汚れが発生した場合、水洗いすること 利用者の半径 10 ～ 15m 程度に中継機を設定すること
	安全に利用するための配慮	充電しながらの利用はできないように配慮している 専用の装着シート（メディカルテープ）を準備しており、肌への負担を最小限にするよう配慮をしている
	倫理面の配慮	・センサーにより収集した超音波による膀胱データは個人を特定しない形で当社のサーバーにアップロードされる ・データは当社クラウドサーバー（AWS）のセキュアな環境にて保管・管理されている
使用方法	使用方法	超音波センサーを下腹部に装着し、膀胱の尿のたまり具合をモニタリング 膀胱の尿のたまり具合を 10 段階で数値化し、iPad/iPhone/PC 等に表示 尿が一定量たまると、トイレ誘導のタイミングをお知らせする
	使用環境	Ｗｉ－Ｆｉ完備（各居室まで）の施設または、ドコモ回線の電波が届く施設 ※ドコモ回線を利用する場合、通信料別途
	使用場面	トイレ誘導時の空振り減少 トイレでの自立排尿うながし おむつ・パッド交換の最適化
	高齢者に対する安全面の配慮	・充電中は使用できないように配慮している ・利用者が食べられない大きさになっている
	介護者に対する安全面の配慮	・充電中は使用できないように配慮している
効果	使用することで実現する高齢者への効果	自立支援（自立排泄向上、失禁減少）
	使用することで実現する介護者への効果	排泄介助業務の負担軽減
	使用することで実現する施設への効果	消耗財（おむつ・パッド等）の減少
仕様、構造	大きさ	W51 × D36 × H17 (mm)
	重さ	26g

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源	内臓リチウムイオン電池
	動作時間	約 26 時間（満充電には約4時間必要）
	通信方式	Bluetooth® LE 5.0
	1台の利用可能人数	同時の複数名への利用は不可、異なる時間帯であれば可能
	衛生面への配慮	アルコール消毒等をしっかりと行い、汚れ等がある場合は水洗い可能
メンテナンス	準備・片付け	機器を充電して、中継機を通信可能な場所にセット
	保管方法	直射日光の当たらない場所
	メーカーによるメンテナンス	なし（故障等の場合、無償交換）
	ユーザーによるお手入れ	有（アルコール消毒・水洗い）
	消耗品の有無	有
	保証期間	3年
	修理対応期間	3年
	耐用年数	3年
コスト	本体・付属品の定価	1台 330,000 円（税込）
	ランニングコスト	消耗品（ジェル・装着シート）、通信費（Ｗｉ－Ｆｉを利用できない場合）
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	排泄ケア記録（無料）、おむつ・尿とりパッド月額定額プラン
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-5459-1295
	よくある質問（Q&A）	以下よりご確認ください https://tayori.com/faq/ 1b 4d 9ef23e7016eb3994162ac 6bc306754e84a 1f

パンフレット等

製品カタログ　https://dfree.biz/professional/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=wzlb68WQBD8

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社リリアム大塚

リリアムスポット 2

品番・型番
USP200

機器の概要

機器の機能

超音波で膀胱内の尿のたまり具合の目安の確認ができます。音声ガイダンスと音で操作をナビゲートすることにより、ボタン１つで操作することが可能です。尿のたまり具合の目安を 10 段階の目盛りで表示し、トイレ介助の適切なタイミングの予測を支援します。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

貸出に際しては、超音波ジェルや充電ケーブルなど必要なアイテムをセットでお貸しいたします（往復送料当社負担）。

試用期間中のサポート

ご不明な点がございましたらリリアム大塚サポートセンターへご連絡ください。

貸出期間	1 週間から（応相談）
貸出可能台数	1 台（応相談）

問い合わせ先　株式会社リリアム大塚
〒252-0239　神奈川県相模原市中央区中央1-1-1　ジブラルタ生命相模原ビル
TEL 0120-543-563　MAIL Lilium-inq@otsuka.jp
所属部署　リリアム大塚サポートセンター

販売開始

2021年8月

販売価格

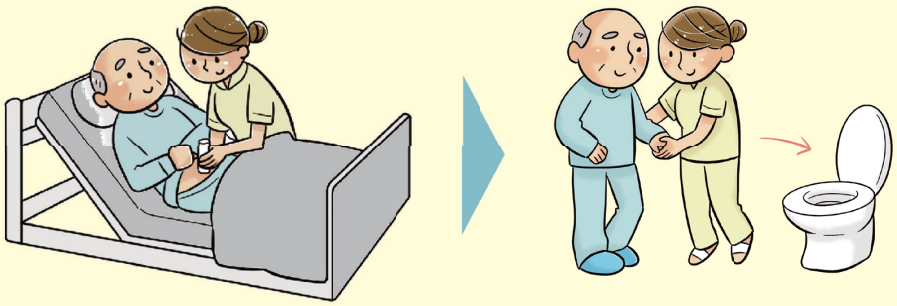
99,000円（税込）

機器の仕様

リリアムスポット 2

サイズ：幅45×奥行40×高さ150mm、重量：160g、材質：ＡＢＳ樹脂、電源：内蔵充電池（マイクロＵＳＢ充電ケーブル付属）、音声ガイダンス用スピーカー、有機ＥＬ表示ディスプレイ搭載。

効率的なトイレ誘導に



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社リリアム大塚

製品名　**リリアムスポット 2**

型　番　USP200

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	尿意が曖昧な方や尿意を頻繁に訴える方など
	対象者（介護者）	トイレ誘導による負担を感じている方など
禁止事項	禁止事項	本製品を水洗いしない、火気に近づけない、電子レンジに入れない等
使用上の注意	注意事項	・利用時には、必ず超音波ジェルをつけること ・濡れた手で触ったり、お風呂などで使用しないよう注意すること ・高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けること
	安全に利用するための配慮	製品本体より音声ガイダンスが流れる。その他、取扱説明書を確認すること
	倫理面の配慮	個人情報保護規定を制定し情報管理を徹底している
使用方法	使用方法	・プローブ部にジェルを塗り、ボタンを押すと起動と同時に測定が開始される ・画面のゲージが一番高くなる位置（尿が多いところ）を探し、音声ガイダンスに沿って本体を傾けると結果が表示される ・詳細については、必ず取扱説明書や動画を参照すること
	使用環境	ベッドや椅子があるスペースで使用すること
	使用場面	・トイレ誘導のタイミングがうまく合わずに失禁されている方の確認に ・尿意が曖昧な方に対して尿のたまり具合の確認とトイレ誘導に ・尿意を頻繁に訴える方に対しての尿のたまり具合の確認に ・排尿後の尿出し切れているかの確認（医療と介護の切り分け）　など
	高齢者に対する安全面の配慮	音声ガイダンスの音量調整機能あり
	介護者に対する安全面の配慮	落下防止の為、ストラップホールがある
効果	使用することで実現する高齢者への効果	頻尿症状を有する方に対する期待される効果として、排尿回数減少と 1 回排尿量の増加 ※効果的なトイレ誘導については、超音波支援トイレ誘導として、本邦でも多くの研究成果が報告され、排尿習慣の再学習として、一定の有効性が示されている
	使用することで実現する介護者への効果	トイレ誘導回数の低下と心理的負担が軽減する可能性
	使用することで実現する施設への効果	おむつ廃棄にかかる費用削減や排尿自立による要介護度が改善する可能性
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	ベッド付近や、トイレ付近など
	サイズ	幅 45mm ×奥行 40mm ×高さ 150mm
	形状	スティック状
	重量	0.16kg
	電源・バッテリー	充電式電池（充電用ケーブル付属）定格：ＤＣ 2.4V/1.7W
	充電時間	2 時間
	連続使用時間	100 分
	使用時の音	あり。音声ガイダンスの音量調整機能（無音= 0, 1, 2）
	1台の利用可能人数	施設に 1 台もしくはフロアに 1 台設置することで複数人数の利用が可能
	衛生面への配慮	衛生面については、使用後、一般的な消毒用アルコール（エタノール 70%など）による拭き取りを行うことで、消毒と清掃の上使用可能
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	なし
	防水・防塵加工	ＩＰＸ１（プローブ部のみ防水対応として滴下する水に対する保護）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	必要な通信環境	不要
	必要なシステム・設備	不要
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	充電ケーブル（同梱）により使用前に充電すること。使用後はジェルをふき取ること
	保管方法	ほこりの多いところ、高温多湿、直射日光を避け、結露しないように保管
	メーカーによるメンテナンス	保証期間中は無償で補修を実施する
	ユーザーによるお手入れ	本製品のご使用後は、プローブ部をティッシュペーパーなどできれいに拭き取り常に清潔に保つこと
	消耗品の有無	超音波ジェル（貸与時に同梱）
	保証期間	1 年間
	修理対応期間	保証期間を超えても対応可能
	耐用年数	1 年間
コスト	本体・付属品の定価	99,000 円（税込・送料無料）
	ランニングコスト	充電にかかる電気代以外には、超音波ジェルの費用がかかる
	教育研修費	不要
オプション	追加できる機能	プログラムアップデートがあった場合、随時機能を更新する（未定）
問合せ先	緊急時の問合せ先	リリアム大塚サポートセンター　0120-543-563（フリーダイヤル）
	よくある質問（Q&A）	Q どの姿勢で使用したらよいか？ A 仰向け（顔・体を上に向けること）に寝た姿勢での使用を推奨している Q 服や下着の上から使用可能か？ A 服や下着の上からは使用不可。 直接肌にあてて使用すること。 　また、肌に密着させるために、使用の際には「超音波ジェル」が必要になる Q 充電はどのようにしたらよいか？ A 付属のＵＳＢケーブルを使用してＵＳＢ－ＡＣアダプター（必要に応じ用意） 　あるいはパソコンから行うことができる。 　なお、ＵＳＢ－ＡＣアダプターは次の仕様を満たす製品を使用すること 　①本体にＰＳＥマークがあること 　②入力がＡＣ 100V であること 　③出力が５Ｖ １Ａであること

パンフレット等

使用方法等の動画　https://www.lilium.otsuka/lilium_spot/movie/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

新東工業株式会社

Aiserv® 排泄検知システム

機器の概要

機器の機能

1．ウェアラブルセンサなのでベッドはもちろんデイルーム・車いすでも使えます。
2．離れていても排泄（便）を通知。排泄の履歴も記録します。
3．リアルタイムで排泄を検知。利用者に清潔な状態を維持できます。
4．運用が簡単でコンパクトです。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

1. 連続稼働時間は約7日間です。
2. 排泄センサを便や尿に浸した状態で使用しないでください。
3. 排泄センサは、新東工業株式会社指定の撥水性の不織布袋に入れて使用ください。

試用期間中のサポート

1. 直接訪問によるご説明をいたします。（オンラインでのご説明も可能です）
2. ご試用中、定期的な訪問とお電話によるサポートいたします。

貸出期間	1ケ月～2ケ月
貸出可能台数	10 台

問い合わせ先 新東工業株式会社
〒442-8505　愛知県豊川市穂ノ原三丁目1番地
TEL 0533-95-4020　MAIL info-aiserv@sinto.co.jp
所属部署 アイサーブ事業グループ　担当者名 古川・島崎

販売開始

2021 年 1 月

販売価格

297,000 円（税込）

機器の仕様

Aiserv® 排泄検知システム

1．サイズ（センサ本体）H65mm × W50mm × D13mm
2．重量　24g（電池含まず）
3．検出方式　ガス検知式
4．電池 / 連続稼働時間　CR2032/ 約 7 日間

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　新東工業株式会社

製品名　　Aiserv® 排泄検知システム

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・自分でトイレに行けない方 ・便意を表現できない方 ・排泄（便）でお困りのすべての方 【介護者】・業務の負担軽減をしたい方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内 ・その他：分解、アルコールでの掃除、表示端末OSのアップデート
使用上の注意	注意事項	1. 誤飲による窒息（電池・不織布袋など） 2. センサを下敷きにした場合、褥瘡が発生する 3. 取扱説明書を確認の上、ご使用 4. ご試用前に覚書の手続きいただき注意事項を理解する
	安全に利用するための配慮	1. 便や尿に浸した状態で使用しない 2. 認知症のある方は、使用前に十分検討する
	誤報の有無	1. 感度設定がうまくできていない場合 2. 利用者それぞれに個人差があるため感度調整が必要
	使用上の注意	1. よごれた場合は水洗い 2. アルコールを使用しない 3. 表示端末OSのアップデートはしない 4. 専用の不織布袋に入れて使用する
	倫理的の配慮	施設から家族に同意
使用方法	使用方法	1. センサスイッチON 2. センサを不織布袋にIN 3. おむつに装着
	使用方法（再設定）	連続7日間でボタン電池交換
	使用環境	Ｗｉ－Ｆｉが構築されている環境
	使用場面	利用者の排泄物（便）を素早く検知し、おむつを取り替えたい場合
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで約1日間
	高齢者に対する安全面の配慮	電池等、不織布など誤飲しないように注意を促す
	介護者に対する安全面の配慮	ボタン電池を1週間で交換
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	皮膚を清潔に保つ
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の業務負担の軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	排泄ケアの質の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	ベッド・デイルーム・車いす
	設置場所	おむつにセンサを不織布袋に入れ装着
	設置方法	不織布に入れた状態で使用　おむつの内側に取り付ける おむつに面ファスナーで装着
	サイズ	H65mm × W50mm × D13mm
	形状	直方体（隅角部は曲面）
	重量（バッテリー含む）	24g（電池含まず）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ボタン電池　CR2032　1 個　排泄センサ 1 台　不織布（100 枚）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用時の音	1. 排泄検知後メロディが流れる 2. 消音可能
	安全性の認証取得	リスクアセスメント（外部機関　東京海上日動リスクコンサル）実施済
	防水・防塵加工	簡易な防水加工済み
	検知方式（センサー、画像など）	においセンサで検知
	検知範囲	排泄センサから表示端末への通知距離（5 ～ 10m で検知）
	反応速度（タイムラグ）	リアルタイム通知（通信環境による）
	最大見守り人数	1人 / 台
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要）
	必要なシステム・設備	特になし（新東工業にてセンサ・表示端末を準備） 新東工業㈱専用アプリを使用。
	データの記録機能、有無と内容	1. 日時（自動） 2. 種別（自動） 3. 性状（手入力） 4. 便量（手入力） 5. 血液混入（手入力） 6. 尿量（手入力）
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	メーカー1年保証　万が一不具合の場合、電話にて対応
	ユーザーによるお手入れ	不織布の交換
	消耗品の有無	1. 不織布袋 2. マジックテープ 3. 電池
	保証期間	1年
コスト	本体・付属品の定価	297,000 円（税込み）
	設置導入に伴う費用	本体以外のコストは不要
	ランニングコスト	ボタン電池1個（寿命約7日 / 個）　不織布袋 100 枚　付
	教育研修費	事前の説明会（WEB会議）実施
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	新東工業株式会社　新規事業PJ推進　アイサーブ事業グループ
	デモ・貸出	無料貸出（期間あり）

パンフレット等

製品カタログ　https://www.sinto.co.jp/aiserv/haisetsu.html

使用方法等の動画　https://youtu.be/ozOIpw_MlNQ

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

C-07 排泄支援

富士フイルムメディカル株式会社

iViz air

品番・型番
FWU シリーズ

機器の概要

機器の機能

iViz air は、スマホの様な直感的操作が可能であり、対象物の距離計測ができます。また排泄ケア向けのＡＩ技術を活用して開発した膀胱尿量自動計測や、直腸観察ガイドなどのアシスト機能を搭載。導尿や摘便を適切なタイミングで処置することで、患者の身体的・精神的負担の軽減を目指すことが出来ます。医師や看護師は、モニターで患者や患者家族にその場で診断結果を共有し、治療方針を話し合うことができます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

100V 電源（充電用）

試用期間中のサポート

排尿自立、排便自立のために、超音波をより有効にご使用いただけるよう、使用のコツをサポート。
購入時のご相談。

貸出期間	1 週間※要相談
貸出可能台数	1 台

問い合わせ先 株式会社豊通オールライフ
〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 11-27
TEL 052-533-5198
所属部署 事業企画グループ

販売開始

2019 年 12 月

販売価格

968,000 円（税込）

機器の仕様

iViz air

ワイヤレス超音波画像診断装置「iViz air（アイビズ エアー）」は、ポケットサイズの 5.5 インチ画面のスマートフォン型本体と、ワイヤレスのプローブで構成されており、介護や在宅医療で高画質な超音波画像の描出を可能にします。Ｗｉ－Ｆｉで接続して使用するワイヤレス超音波画像診断装置です。本体とプローブを合わせてわずか 345g と小型・軽量で携帯性に優れ、233 万画素の鮮明で高精細な画像を提供します。プローブの電源を入れて 20 秒で（*1）検査可能と、高い機動性を備えています。従来ケーブルで接続していたプローブと本体をワイヤレスで接続することにより、検査時のプローブの自由な取り回しを可能にし、また、ケーブルの接触不良による断線リスクを低減されています。

(*1) プローブ電源 OFF、タブレットスリープ状態から、プローブ電源ボタン押下でスリープ解除、アプリを立ち上げ、B モード画面が表示されるまでの時間。ただし、電波状態は良好なものとする。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　富士フイルムメディカル株式会社
（製造販売業者：富士フイルム株式会社　認証番号：301ABBZX00003000）

製品名　iViz air

型　番　FWU シリーズ

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（介護者）	超音波を用いて体内の形状、性状又は動態を可視化したい介護者
	専門職の関与	看護師、医師
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：水中
使用上の注意	注意事項	関連情報に記載している取扱説明書を参照
	安全に利用するための配慮	関連情報に記載している取扱説明書を参照
使用方法	使用方法	・関連情報に記載している取扱説明書を参照
	使用環境	・動作環境： 5 ～ 35 ℃ 15 ～ 90 %RH（結露なきこと） 700 ～ 1060 hPa ・使用できない環境：水中
	使用場面	・排尿、排便の介助について必要性を把握する為に、膀胱内の尿や便のあるなしの可視化が必要な場面
	習熟期間	トレーニングを経て習熟可能
効果	使用することで実現する高齢者への効果	尿や便が溜まっているかを確認でき、排便や排尿を促す事が可能。また、トイレへのタイミングの空振りを低減できる
	使用することで実現する介護者への効果	排泄の必要性を見極めるために、体内の可視化をすることが出来る
	使用することで実現する施設への効果	従業員の負荷を軽減することができるので、従業員の労働環境改善になる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	①使用場所：居室、屋外（水没、水中使用不可） ②利用に必要なスペース：身体へプローブをあてられる程度のスペース
	サイズ	プローブ：約 72.8（幅）x 約 178.5（高さ）x 約 29.0（奥行き）mm タブレット：約 70（幅）x 約 147（高さ）x 約 8.9（奥行き）mm
	重量（バッテリー含む）	プローブ：約 190g タブレット：約 167g
	材質	プラスチック、他
	電源・バッテリー	プローブ用 ＡＣ充電アダプタ： 100-240 ＶＡＣ 0.32-0.19 Ａ 50-60 Hz
	充電時間	完全放電から4時間以内
	連続使用時間	3時間以上（連続スキャン時間）（*2） （*2）新品のバッテリー、常温、デフォルト設定、バッテリーフル充電状態の場合
	使用時の音	無し
	防水・防塵加工	プローブ先端部：ＩＰＸ７ プローブ全体：ＩＰＸ１ タブレット：ＩＰＸ５／ＩＰＸ８、ＩＰ６Ｘ

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	アシスト力を発揮する部位	膀胱内尿量の計測
	最大アシスト力	排尿の為の尿量把握
	稼働方式	バッテリ駆動
	利用可能人数	1台につき、1名の利用可能
	データの記録機能、有無と内容	あり：内部保存、外部出力：静止画 ＰＮＧ形式、動画 ＭＰ４形式、保存ボタン押下後 30 秒（Prospect）
	他の機器との連携・互換性	あり：ＰＮＧ形式のデータ出力で、ＵＳＢメモリーへのデータ出力可能
メンテナンス	準備・片付け	電源を OFF にし、清浄な状態であることを確認する
	保管方法	〈保管の条件〉 -20 ～ 40 ℃ -20 ～ 50 ℃（1 か月以内） 10 ～ 90 %RH（結露なきこと） 700 ～ 1060 hPa
	メーカーによるメンテナンス	〈業者による保守点検等〉 定期的な保守点検は必要としない 保守点検ないしバッテリ交換が必要な場合には、指定する業者に依頼すること
	ユーザーによるお手入れ	清浄な状態であることを確認すること。 オプション機器、附属品の洗浄・消毒方法は、取扱説明書等の指示に従って行うこと
	消耗品の有無	エコー用ゼリー
	保証期間	メーカー保証：1年間
	修理対応期間	サービスサポート期間内
	耐用年数	〈耐用期間〉 5 年
コスト	本体・付属品の定価	968,000 円
	ランニングコスト	超音波ゼリーを購入する必要あり
問合せ先	緊急時の問合せ先	iViz air コールセンター 電話：0800-888-8806
	デモ・貸出	あり

パンフレット等

製品カタログ	https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/ultrasound/iviz-air/iviz-air-convex
取扱説明書	https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/ultrasound/iviz-air/iviz-air-convex/movies
使用方法等の動画	https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/ultrasound/iviz-air/iviz-air-convex/movies

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社エフエージェイ

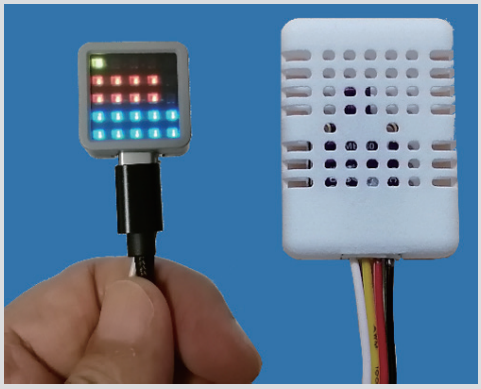
おむつモニター mini

品番・型番
om-mini

機器の概要

機器の機能

◆排便と排尿を高精度で検知します。オナラは検知しません。
◆寝具の暑すぎ、寒すぎを判定します。
◆毎日のセンサー交換も電池交換も不要です。
◆オムツ交換時にリセットスイッチを押すだけの簡単操作です。
◆センサーはシーツの下に固定します。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

100V のコンセントが必要
防水シートの下は、センサーが動作しません
ニオイがこもる掛け布団が必要

試用期間中のサポート

電話または email で対応
(平日9時から 17 時)

貸出期間	2週間
貸出可能台数	10台

問い合わせ先　株式会社エフエージェイ
〒241-0826　横浜市旭区東希望が丘 7-25　芙蓉ビル
TEL 045-532-5581　MAIL faj@fajpn.com
所属部署　技術　担当者名　美藤　均（ミトウ）

販売開始

2021 年 5 月

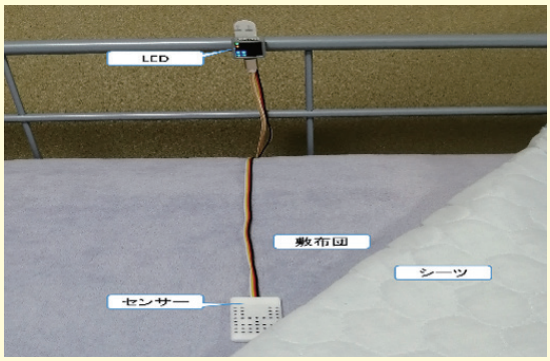
販売価格

16,500 円（税込）

機器の仕様

おむつモニター mini

◆センサー：ニオイ、湿度、温度
　サイズ：50 × 30 × 7mm
◆ＬＥＤ表示器：多色ＬＥＤ 25 個
　サイズ：24 × 24 × 13mm
◆ＵＳＢアダプター：ＡＣ 100V 入力、5V 出力
◆接続ケーブル：4 色　1m
◆ＵＳＢ接続ケーブル：ＵＳＢ　Ｃ、長さ 2m



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社エフエージェイ

製品名　おむつモニター mini

型　番　om-mini

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・介護者に排泄を通知できない、寝たきりの人 【介護者】・ＬＥＤ表示器の点灯具合を見て排便と排尿を判断する ・寝具内部の温度が 32 度前後であれば、快適な寝具と判断できる
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：防水シーツの下
使用上の注意	注意事項	・設置個所はシーツの下で膝の中間辺りにセンサーを固定する ・センサー接続ケーブルは細くて弱いので、取扱いは注意 ・シーツ交換でセンサーが移動する場合は、テープで固定する ・センサーは防水ではない
	安全に利用するための配慮	電源ケーブルがあるため、コードは高齢者の手の届かない場所に設置する
	誤報の有無	一番上のＬＥＤが点滅している場合は正常。点灯や消えている場合は、故障又はコネクタの接触不良
	使用上の注意	排便レベルが低いままの場合はセンサー位置が下腹部から離れすぎないこと
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	見廻りのときＬＥＤの点灯色と点灯数を見て、排便か排尿かを判断
	使用方法（再設定）	オムツ交換の後にＬＥＤ面を押しリセットとすれば、排泄の監視を再開
	使用環境	気温：10 度から 50 度
	使用場面	ベッドに横たわった人で排泄を介護者に告げられない人の排泄を知らせる
	習熟期間	即使用可能
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	おむつを開かずに排泄が分かるので、安眠を妨げない
	機器を使用することで実現する介護者への効果	介護者はＬＥＤの点灯を見るだけで排泄が分かるので、定時巡回の時間が短縮される
	機器を使用することで実現する施設への効果	夜間の介護者の少ない時間の介護者の作業が低減する
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	在宅、施設
	設置場所	シーツの下の下腹部に近い膝近傍にセンサーを設置し、ＬＥＤは高齢者に見えなくて介護者に見える個所に設置する
	設置方法	敷布団のシーツの下で膝の中間辺りに、センサを固定する (防水シートの下では作動しない)
	サイズ	センサー：50 × 30 × 7mm ＬＥＤ：24 × 24 × 13mm センサーケーブル：1m
	重量（バッテリー含む）	ＬＥＤ表示部：7g センサー部：15g

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	◆センサー：ニオイ、湿度、温度　サイズ：50 × 30 × 7mm ◆ＬＥＤ表示器：多色ＬＥＤ 25 個　サイズ：24 × 24 × 13mm ◆ＵＳＢアダプター：ＡＣ 100V 入力、5V 出力 ◆接続ケーブル：４色　1m ◆ＵＳＢ接続ケーブル：ＵＳＢ　Ｃ、長さ 2m
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ PSE マーク）取得
	防水・防塵加工	防水加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	センサー：ニオイ、湿度、温度
	検知範囲	下腹部近傍
	反応速度（タイムラグ）	排便は約 10 分　排尿は数分
	最大見守り人数	1人／台
	必要な通信環境	なし
	必要なシステム・設備	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不具合の場合は郵送で交換
	ユーザーによるお手入れ	特になし
	消耗品の有無	センサーが濡れてしまったときは、センサー交換 (¥7,000)
	保証期間	半年
	耐用年数	センサーは約2年
コスト	本体・付属品の定価	16,500 円
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	弊社 tel　045-532-5581
	デモ・貸出	あり

パンフレット等

製品カタログ　https://fajpn.com/app-def/S-102/wp/omutu-mini/

取扱説明書　https://fajpn.com/app-def/S-102/wp/omutu-mini/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=s5CeuOapbHE

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

エコナビスタ株式会社

ライフリズムナビ®+Dr.

品番・型番
LRN－YSD601

機器の概要

機器の機能

ライフリズムナビ®+Dr.は、高齢者施設における「予見する介護」をITでサポートいたします。
これまでの見守りサービスでは、異変に気付くことができるのは事故が起こってからでした。
本来の「見守り」というのは、事故が起こってから対応することではなく、事故の予兆を見つけ、危険の芽を早期に摘むこと。
その理想を実現するために開発しました。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

電源を1口（5V3A）を使用しますので、ベッド付近に電源（専属延長コード）をご用意ください。
管理画面閲覧・設定用のPCは必ずご用意ください。ＬＴＥ電波の届かないところでは使用できません。

試用期間中のサポート

オンラインによる設置、設定支援。
各種設定アドバイス。

貸出期間	2週間前後 延長可
貸出可能台数	*要相談

問い合わせ先　エコナビスタ株式会社
〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町 3-1　KKD ビル 6F
TEL 050-5526-3869 ※平日 10：00～18：00 MAIL support@econavista.com
所属部署　ライフリズムナビ　サポート

販売開始

2022 年 1 月

販売価格

257,037 円（税込）

機器の仕様

ライフリズムナビ®+Dr.

1. ベッドセンサーマット　幅 790 ×奥行 685 mm、2. 見守りシステム親機　幅 200 ×奥行 205 ×高さ 35mm

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　エコナビスタ株式会社

製品名　　ライフリズムナビ®+Dr.

型　番　　LRN－YSD601

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい方など
	専門職の関与	看護師、機能訓練指導員にも情報共有し、アセスメントに活用
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：当社指定の設置場所以外の使用（居室内限定） ・その他：分解、過電流、改造
使用上の注意	注意事項	・ベッドマットセンサー他、指定位置からずれると正しく動作しません ・たこ足配線せず、専属の電源を使用すること
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手や指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・対象者が使用推奨位置から外れて就寝している場合 ・ベッド付近に干渉をする機器がある場合（酸素濃縮装置など）
	使用上の注意	・正しい設置位置で使用する
使用方法	使用方法	・センサー設置後、管理画面での状態確認 ・ログによる生活リズムの把握 ・睡眠ログによる睡眠の質の把握 ・必要に応じてアラート設定（トイレ、長時間トイレ、ドア開け閉め、センサー反応なし、体動、離床）
	使用方法（再設定）	管理画面で再設定を行う
	使用環境	・居室内での使用のみ対応
	使用場面	・生活リズムの把握からアセスメントを立案する ・排泄コントロール、下剤服用タイミングの最適化を図る ・起き上がりなど早期状態把握が必要な場合 ・居室内での生活状況を把握したい
	習熟期間	・基本操作1週間　・データ蓄積後の分析3か月
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・ギャッジアップ時に配線が引っかからないように注意する ・ベッドの振りまわしの際には電源コードを抜く
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室内
	設置場所	ベッドマットレス等寝具の下（布団対応）
	設置方法	ベッドセンサーマット（ずれ防止バンド）
	サイズ	1. ベッドセンサーマット　幅790×奥行685mm、2. 見守りシステム親機（マットセンサーユニット一体型）　幅200×奥205×高さ35mm
	重量（バッテリー含む）	ベッドセンサーマットおよび親機 1,150ｇ
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	センサーユニット本体のみＡＣ電源

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ・スマホ、タブレットアプリ使用時読み上げ機能使用可
	防水・防塵加工	防水加工なし
	検知方式（センサー、画像など）	圧力センサー（空気）
	検知範囲	ベッド上 居室内およそ 30㎡（遮蔽物などがない場合）
	反応速度（タイムラグ）	・3～5秒以内（※通知が届くまでは通信環境による影響あり）
	最大見守り人数	上限なし
	必要な通信環境	・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz もしくは有線ＬＡＮ通信 ・ＬＴＥ通信対応
	必要なシステム・設備	表示端末ＰＣ必須 スタッフステーション表示用モニタ（サブモニタ）
	データの記録機能、有無と内容	・睡眠　・体動　・中途覚醒　・心拍　・呼吸　・湿度 ・室温　・各種アラート履歴
	他の機器との連携・互換性	・介護ソフトとの記録連携
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	特になし
	消耗品の有無	特になし
	修理対応期間	ご利用開始から5年を目途
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	257,037 円（税込）
	設置導入に伴う費用	現地確認の上
	ランニングコスト	1ベッドセンサー（システム親機）1,500 円／月
	教育研修費	別途
オプション	追加できる機能	人感センサー、温湿度センサー、あけしめセンサー、エアコン連携コントローラー、顔認証カメラ、居室内カメラ、バイタル計測機器、呼び出しボタン、見守りコール
問合せ先	緊急時の問合せ先	050-5526-3869 ※平日 10:00 ～ 18:00
	デモ・貸出	対応
	よくある質問（Q&A）	Q．ベッドセンサーだけで使用可能か？ A．可能 Q．システム専用のＰＣは必要か？ A．不要 Q．Android 端末で使用可能か？ A．可能。iOS とどちらでも使用可能 Q．端坐位の状態は検知可能か？ A．不可。ベッドから起き上がりの際の体動を検知する Q．アラートの個別設定は可能か？ A．可能。個人ごとに時間帯設定可能 Q．１施設でどのくらいの導入が推奨されるか？ A．業務効率化の観点から全室での導入を推奨している Q．この商品は在宅介護見守りにも使用可能か？ A．在宅介護の遠隔見守り用に「ライフリズムナビ +HOME」がある。詳しくは、在宅用見守り専用メールアドレス（zaitaku@econavista.com）宛へ問い合わせ

パンフレット等

製品カタログ　https://info.liferhythmnavi.com/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-02 見守り・コミュニケーション

株式会社ツカモトコーポレーション

AlgoSleep　介護用見守りセンサー

品番・型番

SC300M

機器の概要

機器の機能

非接触シートセンサーによって
〇一括で複数人のベッド上の状態とバイタルをモニタリング
〇転倒予防や徘徊ケアを促す「起き上がり」と「離床」を通知
〇バイタルが設定閾値を超えたことを通知
〇差別化された自動睡眠分析機能で利用者の睡眠情報をケアプランに活用
〇排泄・排尿検知を通知する非接触おむつセンサー（アルゴディテクト）と連携することができ、介護現場での業務負担軽減と生産性の向上に活用可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

Ｗｉ－Ｆｉ環境、スマートフォンなどが必要となりますが、ご相談の上状況に応じて弊社からモバイルルータやスマートフォン等の貸与させて頂きます。

試用期間中のサポート

機器トラブル、使用方法がわからない等ございましたら担当までお気軽にお問い合わせください。
*営業部時間外の場合は対応までお時間をいただく場合がございます。

貸出期間	2週間～1か月程度 延長等対応可能
貸出可能台数	～30台　*要相談

問い合わせ先　株式会社ツカモトコーポレーション
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目6番5号
TEL 03-3279-6847　MAIL solution@tsukamoto.co.jp
所属部署 新規担当　ソリューション DIV　担当者名 渡邉

販売開始

2020 年 10 月

販売価格

レンタル
月額 3,300 円（税込）

機器の仕様

AlgoSleep　介護用見守りセンサー

センサーシートをマットレスの下 (利用者肩甲骨の下あたり) に敷き使用します。センサーが取得した生体情報はＷｉ－Ｆｉを通じてクラウドサーバーにアップロードされ、ＰＣブラウザやスマートフォンのアプリで確認できます。アプリではリアルタイムモニタリング、アラート通知、睡眠レポート機能が利用できます。
リアルタイムモニタリングは離床 / 座位 / 臥床 / 体動中 / 睡眠の状態をリアルタイムに表示します。モニタリング画面を利用して、目覚めている要介護者へ優先的にケアを行うなど、状況に応じたケアが可能になります。同時に利用者の心拍と呼吸数を計測し、画面に数値を表示します。
アラート機能は測定中のデータに基づき異変を感知し、お知らせをする機能です。迅速な対応の補助によりスタッフの精神的負担軽減をサポートします。
睡眠レポート機能では睡眠の得点をはじめ、レム睡眠やノンレム睡眠などの睡眠の深度やリズムに関する個別の睡眠傾向や特徴の把握と心拍や呼吸数の推移も確認することができます。
さらに、非接触おむつセンサー「アルゴディテクト」との連携により、睡眠を妨げず、おむつ介助の業務軽減も図ることが可能となります。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ツカモトコーポレーション

製品名　**AlgoSleep　介護用見守りセンサー**

型　番　SC300M

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・高齢者施設、障害者支援施設の利用者、在宅サービス利用者（転倒リスクのある方、認知症の方、生活リズムの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方） 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、と感じている方
	専門職の関与	・不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：ストーブなどの火気の近くやホットカーペットなどの暖房器具の上、トラックや電車が頻繁に通道路脇などの振動が多い場所。電波障害を受けやすい電子機器は本製品からの電波障害がないことを確認してから使用する ・分解、改造、修理をしない
使用上の注意	注意事項	・本製品を医療用または診断設備として使わない ・センサーマットのカバーが破れていないか確認し、破れた状態では使用しない ・湿気やほこりの多い場所や、保管温度範囲（0～50 度）外の場所に放置しない ・お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ・長時間使用しない場合は、必ずＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
	安全に利用するための配慮	・付属のＡＣアダプタ以外は使用しない ・電源プラグは根元まで確実に差し込む ・電源プラグのホコリ等は定期的にとる ・センサーマットおよび通信ユニットを水につけたり、水をかけたり、水をこぼしたりしない ・濡れた手でＡＣアダプタやセンサーマットプラグの抜き差しをしない ・センサーマットの上に立ったり、飛び跳ねたり、不安定な場所・姿勢で使用しない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・電源コードやセンサーマットケーブル（特にセンサーマットケーブル接続部）に負荷をかけたり、傷つけたりしない ・センサーマットを強く折り曲げない ・通信ユニットやＡＣアダプタを落としたり、強い衝撃を与えない ・濡れた手で操作しない ・センサーマットは一人用の測定機である
使用方法	使用方法	・ＡＣアダプタのアダプタプラグを、通信ユニットのアダプタプラグ差込口に接続し、電源プラグをコンセントに差し込み、通信ユニットの電源スイッチをONにする
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続、通信ユニットの電源スイッチを ON にする
	使用環境	・センサーマットはできるだけ硬い素材の上に敷いてご使用いただくことを推奨している ・ストーブなどの火気の近くや、ホットカーペットなどの暖房器具の上で使用しないこと ・湯たんぽ等をご使用の場合は、センサーマットと直接触れないようにすること。火災や事故・故障の原因になるため ・本製品の使用温度範囲は5℃～ 35℃である ・センサーマットは一人用の測定機である。ベッドでパートナーや子供、ペットと一緒に寝る場合は、正しい測定ができない ・振動が多い場所では測定しないこと。測定または測定結果に誤差が生じる原因になるため ・電波障害を受けやすい電子機器は本製品からの電波障害がないことを確認してから使用すること
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守りが必要な場合
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・移動の際はケーブルを踏まないように注意する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒リスクの軽減 ・睡眠の質の向上 ・排泄の自立支援によるＱＯＬ向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・利用者の状況を把握することで状況に応じた対応が可能になる ・アラート機能を利用して利用者の異変に素早く気付くことができる ・睡眠の可視化により、ケアプランの改善に活かすことができる
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上 ・エビデンスデータの保持 / 訴訟リスクの軽減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・屋内、介護施設内居室（個室・多床室）　*Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリアに限る
	設置場所	・ベッドフレームとマットレスの間 ・ベッドフレームの間からベッドに干渉しないようにアダプターのコードを配置する
	設置方法	・カラダの上下方向に対して垂直になるようにセンサーマットの上辺が肩位置にくるように設置する
	サイズ	センサーマット：W802×D252×H12mm 通信機器本体：W181×D40×H121mm

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	形状	画像参照
	重量（バッテリー含む）	センサーマット：0.4kg　　通信機器本体：0.4kg
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・センサーマット ・通信ユニット ・ＡＣアダプタ
	緊急発報の方法	・スマートフォンアプリ上にて音、振動、アイコンでお知らせ
	安全性の認証取得	・アダプタは◇ＰＳＥマーク取得 ・認証機器のクラス分類：一般医療機器 ・医療機器届出番号：13BX10246000001
	防水・防塵加工	・センサーマットの隙間や通信ユニットに水が入らないように注意すること
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（振動センサー、空圧検知センサー等）
	検知範囲	・ベッド上（*ベッドの個体により影響される可能性あり）
	反応速度（タイムラグ）	・5-10 秒程度（*Ｗｉ－Ｆｉ環境による影響あり） ・生体情報は約１分ごとに更新
	最大見守り人数	・1人 / 台 ・施設 / アカウント毎の上限はなし
	必要な通信環境	・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz が必要 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境がない場合は弊社にてモバイルルーターの貸与可能 ・データ閲覧にはインターネット環境が必要
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマートフォン） パソコン、タブレットはブラウザでの閲覧、スマートフォンでは専用アプリでの閲覧が可能
	データの記録機能、有無と内容	・1分毎に表示する情報：臥床、座位、離床、心拍数、呼吸数 ・アラート機能により通知された時間や項目は 24 時間保存 ・睡眠の質を独自のアルゴリズムに基づいて、点数評価で表示 ・点数評価に基づいて、日報 / 週報 / 月報の単位で、詳細データを確認が可能 ・睡眠得点以外に、心拍数データ、呼吸数データ、離床回数、覚醒、REM睡眠時間、浅い睡眠（N1/ N2）の時間、深い睡眠（N3/ N4）の時間等の睡眠ステージ分析が時間推移で表示可能
	他の機器との連携・互換性	・なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、メール、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ ・定期的な稼働状況の確認（リモート）
	ユーザーによるお手入れ	・ご使用端末（スマートフォン）の充電 ・コントローラ・センサが汚れたときは乾いた柔らかい布で拭き取ること ・汚れがひどいときは水または家庭用中性洗剤を含ませた布をよく絞ってから拭き、その後乾いた布で拭き取ること
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	契約期間中は無償対応（お客様瑕疵の場合を除く）
	修理対応期間	契約期間中
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	レンタル　3,300 円 / 月額（税込）
	設置導入に伴う費用	無償
	ランニングコスト	レンタル費用のみ
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	モバイルルータ、スマートフォン（iPhone）の貸与（デモ期間のみ）
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ツカモトコーポレーション　新規担当　ソリューション DIV TEL：03-3279-6847
	デモ・貸出	承っている。お気軽にお問い合わせのこと

パンフレット等

製品カタログ　https://www.algosleep.info/

取扱説明書　必要な方はお問い合わせください。

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/@AlgoSleep_official

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

トーテックアメニティ株式会社

見守りライフ

品番・型番
TM-100

機器の概要

機器の機能

●見守りライフとは●
介護施設で特に重要な業務のひとつである「見守り」を、離床センサやカメラを活用し、転倒転落事故の防止・急変への備え・状態把握の３つの面でサポート。居室内の見える化により、「介護現場の生産性」と「介護の質」向上を支援します。介護ソフトとの連携により、記録や転記の手間を削減します。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

基本的にお客様にご用意いただくものはございませんが下記をお知らせください。
・ナースコール接続する場合、お使いのナースコールメーカ名、及び接続端子のピン数。
・タブレットやパソコンの有無。

試用期間中のサポート

ご不明点やご要望がある際は電話もしくはオンライン(Zoom)にてご対応いたします。
受付時間　9:00 ～ 17:30（土日祝日は除く）

貸出期間	１ヶ月
貸出可能台数	２台

問い合わせ先 トーテックアメニティ株式会社
〒451-0045　愛知県名古屋市西区名駅 2-27-8　名古屋プライムセントラルタワー　11F
TEL 052-533-6919　MAIL mlife@totec.co.jp
所属部署 見守りライフ推進室　担当者名 星澤　有紀

販売開始

2022 年 2 月

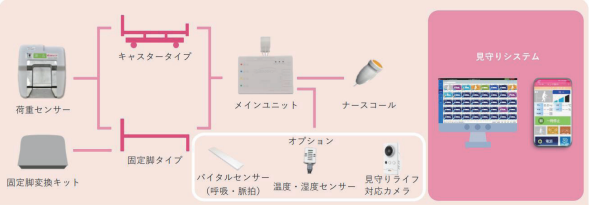
販売価格

オープン価格

機器の仕様

見守りライフ

～いまのベッドに取り付けるだけで使用できます。～
【離床センサ】
・通知のタイミングは『先行動作（動き出し・起き上がり・端座位）離床・徘徊・戻り通知』を選択できます。選択はスマートフォン等で簡単に変更できます。
・ベッドに寝るだけで体重の測定が可能です。
・検知した情報をナースコール・スマホアプリで通知します。現在ご利用中のナースコールとの連携が可能です。
【見守りシステム】
・入居者様のリアルタイムの状態を、パソコンやタブレットなどで同時に見守る事が可能です。
●オプション●
・睡眠の浅い深いを判定できます。
・バイタル（呼吸・脈拍）の異常を検知して画面上に通知します。
・温湿度の異常を検知してアラート表示することが可能です。
・カメラ映像で居室内のリアルタイムの状態を閲覧・記録が可能です。
【データ活用】
・睡眠時間や体重の変化を記録します。
・入居者様の生活リズムを可視化し、ケアプランへ活用できます。
・記録されたデータは PDF で出力でき、ミーティングやご家族様へのご提供資料として活用できます。
・介護ソフトと連携して記録の転記の手間を省けます。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　トーテックアメニティ株式会社

製品名　**見守りライフ**

型　番　TM-100

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒転落リスクのある方,徘徊予防の必要な方,ショートステイ等の生活リズムが把握できていない方など 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務負担を軽減したい、夜間の見守りで不安を感じる方、従来の床マットセンサーでは介助が間に合わないと感じている方、入居者の活動状況を客観的に把握したい方など 【経営者】・人件費を削減したい、介護スタッフの離職率を抑えたい、入居率をアップさせたい等の課題を抱えている方
	専門職の関与	・システム運用にあたり専門職の関与は不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）： 規定外のベッド（6 脚ベッド、敷布団等、床面との接触が 4 点以上）への設置 ・その他： 分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール、水洗い等
使用上の注意	注意事項	・接続中のセンサー接続ケーブルを引っ張らない
	安全に利用するための配慮	・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手や指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない ・ケーブルの配線を整える
	誤報の有無	誤報は非常に少ないが、下記の場合に誤報の可能性がある ・利用者以外がベッドに乗ったとき ・ベッド上に利用者以外の重量物を乗せたとき ・事前にセンサーに設定した情報と、実測値が大きく乖離するとき ・センサー接続ケーブルがしっかり挿し込まれていない、または指定の場所以外に接続した場合
	使用上の注意	・ベッドが周りの壁や机などに触れないようにする ・センサーはベッド脚下に配置し、正しく配線する ・ベッドの高さを一番下まで下げた際、ベッドフレーム等がセンサーに接触しないようにする（特に低床ベッド・超低床ベッドなど） ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・メインユニットとセンサーはペアのため、ペア以外での接続はできない
	倫理的の配慮	・収集した利用者のデータ（名前、生活リズム、体重、バイタルなど）は許可なく利用しない ・利用停止後、入力した個人情報を匿名加工している
使用方法	使用方法	・センサー設置後、利用者ごとにアラート通知タイミングを設定し、離床センサーとして使用 ◆アラート通知タイミング：動き出し・起き上がり・端座位・離床・徘徊検知・ベッド戻り ・利用者がベッドに寝たままの状態で体重測定 ・各居室の利用者の状態を、詰所のパソコンやタブレットから同時にリアルタイムで確認し、介助の優先順位を判断して訪室 ・センサーにより蓄積された利用者の日々の活動状況を把握・分析し、ケアプラン作成や 24 時間シートの見直しなどに活用
	使用方法（再設定）	【別の利用者へ再設置・設定する場合】 ①センサーを移動及び再設置し、ＡＣアダプタを接続する ②必要に応じて情報や通知タイミングを再設定
	使用環境	・温度：15 ～ 45℃ ・湿度：85%RH 以下（但し、結露しないこと） ・設置場所が平面であること ・ベッドを利用 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境（クラウドシステムを使用する場合）
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握したい場合 ・動き出しや起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・見守りケアからデータ活用まで
	習熟期間	・ある程度使いこなすようになるまで約 2 週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・センサーを高齢者が接触する位置や向きに設置しない ・メインユニットをできる限り高齢者の視界に入らないようにする ・ケーブル類は、足元に引っかからないよう配線する
	介護者に対する安全面の配慮	・センサーの移動・再設置の際は、慣れるまで複数人で対応する ・ケーブル類は、足元に引っかからないよう配線する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落などの事故リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減（特に、人手の少ない夜間帯）、利用者の生活リズムや行動パターンの把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR 等）、人件費削減、離職率の抑制、入居率の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	介護施設や病院内の居室（個室・多床室）
	設置場所	・荷重センサー：ベッドの各脚の下 ・メインユニット：ヘッドボード、フットボード、サイドフレーム等 ・バイタルセンサー（オプション）：ベッドのマットレス等の下 ・温湿度センサー（オプション）：ヘッドボード ・見守りライフ対応カメラ：ベッド全体が映る場所
	設置方法	・荷重センサー：ベッドの各脚の下に敷く ・メインユニット：ヘッドボード、フットボード、サイドフレーム等に引っかける（付属フックあり） ・バイタルセンサー（オプション）：ベッドのマットレス等の下に固定して敷く ・温湿度センサー（オプション）：ベッドボード等に固定する ・見守りライフ対応カメラ：ベッド全体が映る場所に設置
	サイズ	・荷重センサー：約 235（L）×210（W）×48（H）mm ・メインユニット（フック部含まず）：約 105（L）×150（W）×36.6（H）mm ・バイタルセンサー（オプション）：約 64（L）×320（W）×14（H）mm ・温湿度センサー（オプション）：約 28（L）×43（W）×13.7（H）mm ・見守りライフ対応カメラ（オプション）：約 60（D）×37（W）×106（H）mm

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	形状	 荷重センサー　メインユニット　バイタルセンサー　温湿度センサー　見守りライフ対応カメラ
	重量（バッテリー含む）	・荷重センサー：約 1700g ・メインユニット（フック部含む）：約 250g ・バイタルセンサー（オプション）：約 260g ・温湿度センサー（オプション）：約 8g ・見守りライフ対応カメラ（オプション）：約 128g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣ 100V、50/60Hz、付属ＡＣアダプタ使用、消費電力 4.5W
	使用時の音	センサーに不具合がある場合はブザー音を発報
	緊急発報の方法	・パソコン、タブレット、スマートフォン等へ音とアイコンでお知らせ ・ナースコールシステムを介して PHS へ通知
	安全性の認証取得	・かわさき基準（KIS）認証・ACアダプタは PSE 認証 ・メインユニット内のＷｉ－Ｆｉチップは技適適用
	防水・防塵加工	本製品は防水・防塵仕様ではないため、水に濡れないよう注意。
	検知方式（センサー、画像など）	・荷重センサー（ベッド上の利用者の荷重の分布・変化で検知） ・バイタルセンサー（ドップラー方式）
	検知範囲	・ベッド上・ベッドから荷重が抜けた際の離床
	反応速度（タイムラグ）	・即時通知（2 秒以内） ※有線ケーブルでのナースコール通知の場合はタイムラグなし 無線式による通知の場合はＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり
	最大見守り人数	・無制限（ただし、一度に画面上に表示できる人数は最大 40 名）
	必要な通信環境	・見守りシステム（同時見守り）利用時、Ｗｉ－Ｆｉ環境（インターネット接続）が必要 ※離床センサーとしてのみ利用する場合は不要
	必要なシステム・設備	・閲覧用の端末（パソコン、タブレット、スマートフォン等、現在お使いの端末を利用可能） ・ナースコールシステム ・クラウドサーバーのため、専用サーバーの設置は不要 ・追加のパソコン、ソフト、システム等は不要
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時、検知状態を記録、検知履歴一覧の表示可能 ・1 分毎に記録する情報：臥床、睡眠、動き出し、起き上がり、端座位、離床 ・オプションで記録する情報：睡眠の深さ、バイタル（脈拍・呼吸数）、温湿度 ・1 分毎に記録した利用者の状態及び居室の状況を 1 日 24 時間分、居室ごとにグラフと表で表示。日付を指定して過去の記録も表示可能。最大 5 年間分のデータを蓄積可能 ・蓄積したデータは PDF で出力可能
	他の機器との連携・互換性	・ナースコール（国内主要メーカー）との連携可能 ・『福祉見聞録』（株式会社東経システム）、『ほのぼの NEXT』（ND ソフトウェア株式会社）、『CARE KARTE』（株式会社ケアコネクトジャパン）、『wiseman』（株式会社ワイズマン）、『WINCARE』（富士通株式会社）との連携可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、オンラインや電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置を行う ・クラウドサーバーの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・センサーはＡＣアダプターを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとる 定期的にＡＣアダプターを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除く ※アルコール、シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しない
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	・1 年間
	修理対応期間	・5 年間
	耐用年数	・約 5 年
コスト	本体・付属品の定価	・オープン価格
	設置導入に伴う費用	・別途相談
	ランニングコスト	・見守りシステム（パソコン等による一括管理画面）としてご利用の場合、別途見守りライフ月額利用料（クラウド利用料）が必要 ・オプションで「バイタルセンサー」「温湿度センサー」「睡眠の深さ判定」「介護ソフト連携」「見守りコール（スマートフォンアプリ）」を利用する場合は、別途オプション利用料が必要
	教育研修費	・初期導入時に実施（設置導入費に含む）
オプション	追加できる機能	・ナースコール連携、バイタルセンサー、温湿度センサー、見守りライフ対応カメラ
問合せ先	緊急時の問合せ先	・052-533-6919
	デモ・貸出	・052-533-6919
	よくある質問（Q&A）	Q1. ベッドはどのタイプでも対応しているか? また、エアーマットは対応しているか? A1. 介護ベッド、キャスター付きベッド、超低床ベッド、一般ベッドなど対応可能。また、エアーマットにも対応。 事前に使用可能かどうか問い合わせてほしい Q2. Ｗｉ－Ｆｉ環境は必要か? A2. 離床センサとしてナースコール連携のみ利用ならＷｉ－Ｆｉ環境は不要。見守りシステムとしても利用する場合（パソコンやスマートフォンで状況を確認する）は必要

パンフレット等

製品カタログ　https://www.totec-mlife.jp/materials/index.html

使用方法等の動画　https://youtu.be/XmBqK59oVNw

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

キング通信工業株式会社

シルエット見守りセンサ

品番・型番
WOS-321

機器の概要

機器の機能

ベッド上の起き上り / はみ出し / 離床を区別して検知し、介護者にお知らせします。利用者の様子をシルエット画像で確認することができ、プライバシーを保護しながら事故発生を予防します。センサ1台から運用可能で、居室間の移設も可能です。検知時のシルエット画像が履歴に保存される為、施設内の情報共有やご家族への説明に役立ちます。常時録画ができるオプションソフトにより、データ分析も可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）、表示端末（パソコン、タブレット、スマホなど）
※機器運用に必要な周辺機器（無線ＬＡＮアクセスポイント、表示端末）の貸出も可能ですので、施設側で特にご用意いただくものはございません。

試用期間中のサポート

使用方法の説明
設置・設定方法の問い合わせ対応

貸出期間	2週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　キング通信工業株式会社
〒158-0092　東京都世田谷区野毛 2-6-6
TEL 03-3705-8113　MAIL e-takahashi@king-tsushin.co.jp
所属部署　営業統括本部　営業推進課　担当者名　髙橋絵理子

販売開始

2022 年　1月

販売価格

363,000 円（税込）

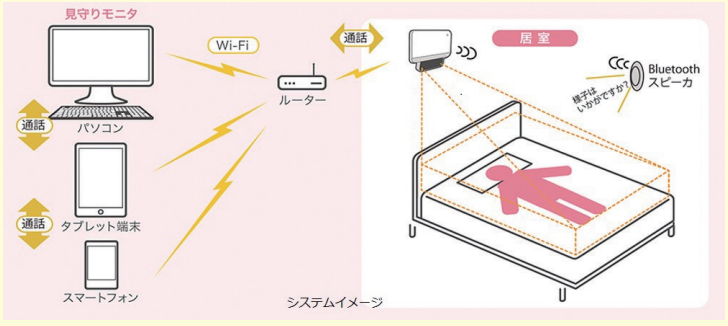
TAIS コード

01558-000004

機器の仕様

シルエット見守りセンサ

電源電圧：ＡＣ 100V ± 10V　50/60Hz
消費電力：ＡＣ 100V 時最大 7W
周囲温度：0℃～ 40℃（屋内）
通信：有線ＬＡＮ
　　(1 ポート、通信速度:10Mbps/100Mbps/1000Mbps)
　　または無線ＬＡＮ（2.4GHz / 5GHz 帯）
取付方式：壁面設置または自立型ポール設置
サイズ・重量：125（H）× 170（W）× 100（D）mm
　　約 440g
材質：ＰＣ／ＡＢＳ樹脂



機器の使用場面　　システムイメージ

製　品

メーカー名　キング通信工業株式会社

製品名　**シルエット見守りセンサ　01558-000004**

型　番　WOS-321

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・徘徊や転倒・転落リスクの高い方、障がい者の方、見守りが必要な方等 【介護者】 ・画像で確認したいがプライバシーが気になる、離れた場所から様子を確認したい、夜間巡回の負担を軽減したい、ベッドから移動される際の動き出しを知りたい、ベッドからの転倒・転落時の状況を知りたい方など
	専門職の関与	・特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・表示された電源電圧の範囲外での使用、分解、改造、濡れた手での接触、水や異物の機器内への混入、機器に物を載せる、布をかぶせる
使用上の注意	注意事項	・設置時にしっかり機器を固定する ・不安定な場所に設置しない ・本体を低い位置に設置しない ・ポール設置時は簡単に手の届く場所や、通路に設置しない ・各種接続ケーブルにつまずかないように処理をする ・センサにつかまらない ・シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤を含む薬品等で拭かない ・ｍｉｃｒｏＳＤカードは本体電源が切れている時に取り出し、挿入を行う ・次のような場所には設置しない - 湿気、油煙、ほこりの多い場所 - 腐食性ガスの発生する場所 - 水、油、薬品、導電性の異物が装置内に入るおそれのある場所 - 使用温度範囲（0℃～ 40℃）以外の温度になる場所 - 振動の激しい場所や衝撃の加わる場所 - 高出力のアンテナや溶接機等、著しく電磁ノイズの発生が懸念される場所 - テレビ、アンプ、スピーカ、ＯＡ機器など磁気を帯びた物に極端に近い場所 - 熱器具の近くや直射日光が当たる場所
	安全に利用するための配慮	・ＡＣアダプタのプラグとコンセントとの接続部分などのほこりやゴミを定期的に乾いた布で取り除く ・正常に機能するように、日常点検、定期点検、清掃を実施する
	誤報の有無	・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境（太陽光、家具の位置等）による場合
	使用上の注意	・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	倫理的の配慮	・使用前にご本人、ご家族のセンサ利用の同意を得る。
使用方法	使用方法	・アプリケーションで機器の設定（見守りエリア、お知らせの種類等）を行い、居室（利用者）の様子を確認する
	使用方法（再設定）	・ベッドやセンサを動かした際に見守りエリア設定でベッド位置を指定する
	使用環境	・ベッド全体が画角に入る位置に設置（壁面又はポール） ・高さ 1.8 m以上、ベッドからの距離 3 m以内 ・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）の電波が届く場所
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・転倒・転落や徘徊リスクがあり、ベッドからの動きを早期に検知したい場合
	習熟期間	・基本操作はスマートホンの操作に慣れていれば即日 ・詳細設定等を利用者、状況ごとに設定できるまで約 1 ヵ月
	高齢者に対する安全面の配慮	・利用者が接触しない場所に設置する。電源ケーブルを固定する
	介護者に対する安全面の配慮	・機器の移設の際に落下させないよう注意する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・ベッドからの転倒、転落リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・訪室回数の減少による身体的、心理的負担の軽減 ・見える化による心理的負担の軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上 ・労働環境改善、職場の魅力向上（ＰＲ等） ・エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設、病院のベッド周辺（個室、多床室問わず）
	設置場所	・ベッド周辺の設置高 1.8 m以上

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置方法	・壁面設置 ・自立型ポール設置 付属のブラケットを使用、ポール設置の際はポール設置用金具を使用
	サイズ	125（H）×170（W）×100（D）mm
	形状	持ち運びが容易なコンパクトな箱型
	重量（バッテリー含む）	約 440g（ＡＣアダプタ含まず）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・AC アダプタ ・取付用ブラケット ・ポール設置用金具
	使用時の音	検知時、表示端末からお知らせ音が鳴る。ON/OFF、音楽、音量は設定変更可能 センサ本体から音は出ない
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコン変化でお知らせ
	安全性の認証取得	・JIS C7550:（IEC62471）の免除グループ（ 何らの光生物学的傷害も起こさないもの）に準拠 ・VCCI クラス B
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	・赤外線センサ（TOF方式）
	検知範囲	ベッド上およびベッド周辺
	反応速度（タイムラグ）	0.5 秒～設定可能（※通知が届くまではWiFi環境による影響あり）
	最大見守り人数	・1 システム最大 48 床（1 ベッド 1 センサー）
	必要な通信環境	・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz / 5GHz もしくは有線ＬＡＮ通信速度 10Mbps/100Mbps/1000Mbps
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・異常検知した前後のシルエット動画記録（前後 15 秒、30 秒、60 秒、120 秒、180 秒から選択） ・操作履歴、機器異常等 ・追加オプションで常時録画（プライバシーに配慮したシルエット動画）
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・機器本体とアプリケーションのバージョンアップ ・故障時の修理対応（訪問 / センドバック）
	ユーザーによるお手入れ	・うすめた中性洗剤を布に含ませ、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後、乾いた布で拭く ・ＡＣアダプタのほこりの除去
	消耗品の有無	なし
	保証期間	1 年間無償修理対応
	修理対応期間	7 年間
	耐用年数	約 7 年
コスト	本体・付属品の定価	363,000 円（税込）
	設置導入に伴う費用	設置台数、施設の通信環境による
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	常時録画、利用者の活動データ自動分析
問合せ先	緊急時の問合せ先	キング通信工業株式会社　03-3705-8111
	デモ・貸出	可能（台数、期間については別途ご相談のこと）
	よくある質問（Q&A）	Q：メンテナンス費用やアプリケーション更新料は必要か。A：必要なし

パンフレット等

製品カタログ　https://www.king-tsushin.co.jp/solution/wos_solution/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=bKChOq5Anjc

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

エイアイビューライフ株式会社

A.I.Viewlife

品番・型番

IRセンサー
型番：IRRN201J

機器の概要

機器の機能

業界初の広角赤外線（ＩＲ）センサーによって、24 時間 365 日昼夜を問わずに危険予兆動作・危険動作検知（プライバシー保護付き）で居室全体を見守り、不必要な訪室の低減や生体異常検知による看取り対応、検知録画・常時録画によるエビデンス取得、感染症対策としての遠隔アクセス機能による接触回数削減、職員による声かけやロボットによる自動声かけ機能で見守り支援を行う等、介護現場での「様々な課題解決」を実現します。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・ノートＰＣ型サーバー設置場所の確保（ステーション等）
・Ｗｉ－Ｆｉ環境（Ｗｉ－Ｆｉ環境が無い場合は、弊社にて簡易無線Ｗｉ－Ｆｉ環境を構築）
・推奨接続方法：ノートＰＣ型サーバーとＩＲセンサー間は有線ＬＡＮ接続
ノートＰＣ型サーバーとモバイル端末はＷｉ－Ｆｉ接続

試用期間中のサポート

弊社が取付・設置実施後の操作説明会を実施。土日祝日含め電話やメール等のフォローの他、遠隔操作サポート（インターネットを介し同じ画面を見て設定調整や検知設定など）
※緊急時は担当営業へ時間外連絡可能

貸出期間	10日間前後（要相談）
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　エイアイビューライフ株式会社
〒102-0092　東京都千代田区隼町2番13号　US半蔵門ビル201
TEL 03-6261-6327　FAX 03-6261-6328　MAIL support@aiview.life
所属部署　事業推進　担当者名　横沢・磯部・渡邉

販売開始

2018 年 10 月

販売価格

IRセンサー本体単価
363,000 円（税込）

機器の仕様

A.I.Viewlife

＜システム＞
●業界初の広角赤外線レーザーを採用し、３次元画像を用いた高度な動作検知アルゴリズムを搭載
・対象エリア：ベッドエリア含む居室全体、共用部（共同生活室、エントランス等）
・危険予兆動作：起き上がり、端座位、ベッド立位、離床、入退室、トイレ IN
・危険状態：転倒、うずくまり、横たわり、トイレ異常、生体異常
●プライバシー保護された画像での閲覧・検知・録画データの通知・記録保存（常時録画機能あり）
●バイタル（体動・呼吸）情報での閲覧・検知データの通知・記録保存（グラフ表示）
●感染症対策（要介護者の日常生活動作や危険状態を訪室せず遠隔にて把握可能）
●居室タイプ：多床室・個室、床マットや布団（畳）も設定可能
●無拘束・非接触方式
●他システム連携：ナースコール（アイホン / ケアコム / ナカヨ）、介護記録ソフト（ほのぼの / ワイズマン / 福祉の森 / ケアカルテ）
＜ NW 環境＞
●ＩＲセンサー：ＬＡＮ配線によるＰｏＥ給電＋データ通信
●生体センサー：ＵＳＢケーブルによる給電＋データ通信
●ＬＡＮ：1000BASE CAT5e 以上
●Ｗｉ－Ｆｉ：2.4/5Ghz 帯（モバイル端末）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　エイアイビューライフ株式会社

製品名　　A.I.Viewlife

型　番　　IRセンサー　型番：IRRN201J

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・疾患：認知症、急変する疾病、精神疾患（躁うつ病等）のある方 ・心身機能：知的低下、生活動作機能の低下、精神ストレスがある方 ・活動：能動的な通知が難しい、歩行が不安定、疾患リスクの高い方 【介護者】・非拘束 / 非接触で複数の高齢者を同時に見守りたい、訪室の優先順位を正しく判断したい、業務（特に夜間）の負担軽減をしたい、自立支援促進と重度化防止をしたい、転倒原因を特定して予防策につなげたいなど
	専門職の関与	・ＩＣＦ（国際生活機能分類）の専門知識をもつ有識者の関与が望ましい
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内、高温多湿な場所、屋外 ・その他：特になし　完全非接触仕様であるため安全性は確保されている （天井からのLAN配線&給電および天井へのセンサー設置）
使用上の注意	注意事項	・特になし システムは、自己診断機能と死活監視機能にて常時動作確認が行われており、異常発生時にはユーザーへの通知とともに自動停止する
	安全に利用するための配慮	・見守りの開始／停止は使用者が操作できるため、正しい設定がされていることをサーバーまたはモバイル端末にて確認する ・「見守り中」の表示がされていなければ、通知（危険予兆動作、危険動作等）はされない
	誤報の有無	下記の条件下では誤検知が発生する ・正しい見守り設定がされていない 例：検知項目、ベッド、出入口、トイレ位置情報 ・ネットワーク環境による影響 例：無線Ｗｉ－Ｆｉの電波が受信できない環境
	使用上の注意	・天井に設置したセンサー前に遮蔽物を置かない ・サーバーＰＣの電源をオフにしない、電源が抜けないようにする
	倫理的の配慮	・システム使用前に、ご本人・ご家族への説明を行い使用許諾を得る ・個人情報を含まないプライバシー保護された画像とする
使用方法	使用方法	・見守り開始ボタンを押す 前提条件として見守り設定（検知項目、ベッド位置、出入口、トイレ等）が完了していること ・検知項目に合致した動作時に、サーバー経由にて検知履歴情報がモバイル端末へアラート通知される ・通知後は、対象居室のリアルタイム画像にて様子を確認でき、必要であれば検知時の前後画像を確認・保存することもできる
	使用方法（再設定）	・居室のレイアウトが変わった場合は、見守り設定（ベッド位置のみ）をモバイル端末から変更および生体センサーの向きを変更して、見守りを開始する ・居室を変更する場合は、見守り設定（検知項目、センサー位置設定、ベッド位置、入退室、トイレ等）をモバイル端末から行い、見守りを開始する
	使用環境	・室内温度：50度未満 ・居室全体が見える位置への設置 ・トイレ異常検知は、ポータブルトイレでも可 ・センサーレンズを覆い隠さない事 ・ベッドでも敷布団でも利用可 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境（2.4G or 5G）
	使用場面	・24 時間 365 日昼夜を問わず居室の様子や検知を確認する場合 ・転倒リスクの高い方の転倒要因を常時録画から分析する場合 ・安眠状態や安静状態を確認する場合 ・認知症者の退室や不審者の入室を把握したい場合 ・トイレに入ったタイミングを知りたい場合 ・日常生活動作を把握したい場合 ・共用部での動作を検知したい場合 ・突発的な生体異常（看取り）を検知したい場合
	習熟期間	・モバイル端末の操作に慣れるまでの期間
	高齢者に対する安全面の配慮	・非接触型で天井設置を推奨しており、天井からの LAN 配線（ＰｏＥ給電）により AC 電源等への接触事故を回避、天井等高い位置に設置されているためコード類に触れることも無い ・落下対策として、専用取付金具は耐荷重 7kg のマグネットを使用
	介護者に対する安全面の配慮	・非接触型で天井設置を推奨しており、天井からのLAN配線（ＰｏＥ給電）によりAC電源等への接触事故を回避できる ・センサー自体も天井等高い位置に設置されているためコード類に触れることも無く、ベッド昇降によるコード等の切断故障も回避できる ・センサーの異常時には自己診断および死活監視機能にて通知および自動停止する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・ＡＤＬの把握、転倒事故防止、自立度向上、重度化防止、ストレス低減、感染症防止、夜間安眠による日中活動量の増加
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・夜勤業務負担軽減、訪室回数の低減、ストレス低減、訴訟リスク回避、感染症防止
	機器を使用することで実現する施設への効果	・介護職員離職回避、介護職員募集時のPR、訴訟リスクの回避、介護職員を守るエビデンス、人件費削減（介護保険制度改定時）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設内・病院内の居室（個室・多床室）、共用部、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア
	設置場所	・居室の天井や壁　※設置面が十分な重量（450g）を保持できる強度を有していること
	設置方法	・専用取付マグネット使用（耐荷重 7kg）または専用取付金具（石膏ボード用釘利用）使用
	サイズ	・111x116x38(mm)
	形状	・BOX型
	重量（バッテリー含む）	・450g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・距離センサー：PoE−HUBからのLANケーブル給電 ・生体センサー：距離センサーからのUSBケーブル給電
	使用時の音	・無音
	緊急発報の方法	・モバイル端末（Android/iPhone）へポップアップ通知+アラート音または音声（例：起き上がりましたよ）、モニタPCのブラウザ画面への通知表示

製品情報

	項 目	内 容
	安全性の認証取得	・EMS準拠
仕様、構造	防水・防塵加工	・なし
	検知方式（センサー、画像など）	・距離センサー：広角赤外線（IR）レーザー方式（TOF：Time Of Flight） ・生体センサー：24GHz マイクロ波ドップラー方式
	検知範囲	・距離センサー：距離：6m 未満、画角：水平：90°、垂直：70° ・生体センサー：距離：3m 未満、電波：水平：28°、垂直：70°
	反応速度（タイムラグ）	・検知判定時間：2 ～ 4 秒以内　※ 2 秒は確定待ち時間を含む ・通知時間：1 ～ 5 秒以内　※Ｗｉ－Ｆｉ環境により変動する
	最大見守り人数	・1システム最大 200 床（1ベッド1センサー）　・1ベッド／台
	必要な通信環境	・各居室へのLANケーブル配線（ＰｏＥ給電）、施設内のＷｉ－Ｆｉ環境整備 ※ナースコールとの連動も可能（ＰＨＳ方式／Ｗｉ－Ｆｉ方式）
	必要なシステム・設備	・専用サーバー（LinuxOS）　・専用ソフトウェア　・タブレット端末（Android/iPhone） ・NW機器（ＰｏＥ－ＨＵＢ、Ｗｉ－Ｆｉアクセスポイント、LANケーブル（cat5e以上）
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時 / 検知項目 / 検知状態 / ルーム名 / センサー名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成 / エクスポート可能、常時録画データを用いた分析も可能 ・随時記録する情報：位置情報（ベッド、居室、トイレ、不在等） ・バイタル情報：5 秒毎の呼吸レベル / 体動レベル ・要介護者の状態及び居室の状況を 1 日 24 時間分、居室単位でグラフ化して表示可能 ・日付を指定して過去の記録も表示可能 ・検知した場合、検知の前後数十秒間の画面を表示（最大 2 分間） ・呼吸・体動の履歴データを 1 ヵ月分記録可能 ・検知履歴データの保存期間は約 3 ヶ月、常時録画の保存期間は 1 ～ 2 週間（センサー台数による） ・ＣＳＶファイルの履歴データとＡＶＩの動画ファイルのエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能 ・介護記録ソフトとの連携可能 ・他の見守りセンサーとの連動可
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時にはオンサイト対応 ・不具合の場合はリモート対応。必要に応じてオンサイト対応 ※ハード問題の場合は、代替機（クローン）送付にて即システム稼動 ・定期バージョンアップは、リモートアクセスにて実施
	ユーザーによるお手入れ	・モバイル端末の充電のみ
	消耗品の有無	・なし
	保証期間	納品後 1 年間メーカー保証、有償にて 4 年間延長保証有り
	修理対応期間	・センサー、サーバー：最大 5 年間（以降は最新機種への有料交換） ・モバイル端末（本体）は製造メーカーによる保証内容及び期間に準じる
	耐用年数	・センサー、サーバー：最大 5 年間
コスト	本体・付属品の定価（税込）	定価：赤外線センサー：363,000 円・生体センサー：110,000 円・サーバー：770,000 円・専用ソフトウェア：550,000 円・モバイル端末：67,100 円　※ NW 機器と工事は別途要御見積
	設置導入に伴う費用（税込）	短期貸出時は無料 購入時：IR センサー取付作業費 3,850 円 / 台、生体センサー取付作業費 3,850 円 / 台、設置設定費 16,500 円 / 台、サーバーキッティング費 77,000 円 その他：4 年延長保証費用、オプション連携ソフトウェアなどは御見積時に算出
	ランニングコスト	・なし
	教育研修費	・なし
オプション	追加できる機能	・介護記録ソフト連携（ほのぼの / ワイズマン / ケアカルテ / 福祉の森） ・ナースコール連携（アイホン社 / ケアコム社 / ナカヨ社） ※ソフト環境や機器型番については事前確認必要
問合せ先	緊急時の問合せ先	・エイアイビューライフ株式会社 TEL：03-6261-6327 ／ FAX：03-6261-6328　e-mail：support@aiview.life
	デモ・貸出	・あり
	よくある質問（Q&A）	＜貸出時の質問＞ Q1：使い方や設定は難しいか？ A1：弊社が遠隔で設定変更を行うので、当日の夜勤から使用可能（ネットワーク環境によっては遠隔サポート出来ない場合もある） Q2：移動しやすいか？ A2：貸出期間中は居室を変更することは想定していない。但し、ベッドを移動することは可能 Q3：通知が届かない、検知が届かないのですがどうしたら良いか？ A3：まず、モバイル端末のＷｉ－Ｆｉ接続の有無を確認すること。またＰＣのモニター画面のルーム一覧にて、対象居室のセンサーが接続されていることを確認のこと。それでも検知が届かない場合はリモートアクセスにて弊社が対応する Q4：記録した動画を取り出しすことは可能か？ A4：ＰＣのモニター画面にて、対象居室のセンサー検知履歴一覧画面からエクスポートボタンを押下するとブラウザで設定した保存先に保存される

パンフレット等

製品カタログ　https://aiview.life/document/

使用方法等の動画　https://youtu.be/f_uVz4y0syM

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社TAOS研究所

見守りセンサ AiSleep

品番・型番
MAT-WF01

機器の概要

機器の機能

電源を入れるだけでお試し導入が可能となる見守りシステムです。
基本機能は、リアルタイムで「バイタル（心拍・呼吸）」及び「ベッド上での４つのステータス（離床・起き上がり・覚醒・睡眠」を計測し、24 時間の睡眠状態（深い・浅い・ＲＥＭ・覚醒）、ゆらぎ健康度の解析を行います。
利用者・職員の健康・安全・改善機能を搭載しています。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・居室内のベッド付近に電源があること
・貸出し時はモバイルルーターにて提供するため、施設通信環境（Wi-Fi環境）に依存せずに使用可能

試用期間中のサポート

・定期的な稼働状況の確認（リモート）
・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う

貸出期間	1週間～3週間（要相談）
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社TAOS研究所
神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15　パレアナビル 8 F
TEL 045-620-7647　MAIL taosnews@itaos.org
所属部署 営業部

販売開始

2018 年 10 月

販売価格

オープン価格

TAIS コード

01945-000001

機器の仕様

見守りセンサ AiSleep

●ベッドマットの下に敷いて使用するマット型センサ
●ベッド上に寝ているだけで非接触にてプライバシーに配慮した見守りが可能
●３つの基本機能、①リアルタイム機能　②レポート解析機能　③高速検知・高精度
①リアルタイム機能：「バイタル情報（心拍・呼吸）」と「ベッド上の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）」を高速検知し、転倒・転落リスクへの早期対応、夜間帯の介護者の精神的負担を軽減。
②レポート解析機能：夜間帯の「離床回数」や「睡眠の質（深い・浅い・ＲＥＭ・覚醒）」のステージごとの睡眠時間を数値化することで利用者の熟睡度の変化が確認でき、夜間巡視の効率化やケアプランの改善に活用が可能。
③高速検知・高精度：起き上がり・離床を高速検知し、通信環境に依存することなく安定的な通知が可能。
●運用方法は「オンプレミスサーバー運用」「クラウドサーバー運用」の２種類から選択可能。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社TAOS研究所

製品名　　**見守りセンサ AiSleep　01945-000001**

型　番　　MAT-WF01

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方・認知症の方・健康意識の高い方 【介護者】・徘徊予防の必要な認知症の方、介護従事者の負担軽減および作業の効率化、介護サービスの拡充を考えている施設経営者・運営者
	専門職の関与	・専門職の関与の必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：高温多湿場所・屋外・Ｗｉ－Ｆｉ等通信（モバイルルーターの通信）が届かないエリア ・お客様による修理・分解・改造
使用上の注意	注意事項	・振動がある環境で使用しないこと（検出が正しく行われない可能性有） ・正しい設置位置（胸部下あたり）のベッドマット下に敷き使用すること ・リクライニングベッド等でギャッジアップした姿勢で使用する際、センサマット部分のずり下がりを防ぐために結束バンド等で設置位置を固定すること ・ベッドマットの厚さは 20cm 未満を推奨（一般的なエアマットは測定可能だが特別仕様の物はその限りではない。）
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認し、電源を入れる。 ・コードやチューブの上に物をのせない ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。）
	誤報の有無	・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・センサマット部分を正しい設置位置（ベッドマット下に設置し、胸部下あたりの位置）で使用する ・電源が正しく入っていること
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・収集したデータはシステム外で利用しない
使用方法	使用方法	・コンセントにＡＣアダプターをさして使用
	使用方法（再設定）	・ＡＣアダプターを抜き差し
	使用環境	・モバイルルーターにて提供【通信環境（Ｗｉ－Ｆｉ環境）に依存せずに使用可能】
	使用場面	・施設・在宅サービスでの高齢者の見守り ・夜間の訪室回数の削減を行いたいとき ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき。 ・離床や起き上がりなどの状態を早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・夜間帯の睡眠（覚醒・深い・浅い・ＲＥＭ） ・呼吸状態を把握したい場合
	習熟期間	・リアルタイム機能：（バイタル状態把握・ベッド上のステータス）は導入直後より活用可能 ・解析機能：（睡眠や呼吸の長時間にわたる状態把握、夜間帯の離床回数、ゆらぎ健康度）はデータの蓄積期間約1週間程度を要してから活用すると有効
	高齢者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する ・認知症の方への配慮として、コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・不要な訪室回数が減るので睡眠の質が高くなり、安眠できる ・プライバシーに配慮した見守りができる ・早期状態検知が可能なため、転倒・転落のリスクの低減につながる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・夜間帯の状態把握（バイタル・ベッド上の状態）が可能なため精神的負担の軽減 ・リアルタイムで（睡眠・覚醒、離床・起き上がり）状態が把握できるので優先順位をつけて効率的な訪室が可能
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、ケアの質の向上と時間の確保、労働環境改善による職員の離職率の削減と有能な人材の確保、未経験者のスタッフの介護スキルの定量化、夜間の状態（離床回数・睡眠の状態把握等）エビデンスデータの蓄積により事故発生時の訴訟リスクの回避や施設のサービス拡充等PRに寄与し他施設との差別化が可能
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・使用場所（屋内・介護施設・病院内）　居室（個室・多床室）、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア ・設置場所：ベッドのマット下（エアマット可）
	設置場所	・ベッドのマットレス下（エアマット可）胸部下あたりに設置
	設置方法	・ベッドのマットレス下（エアマット可）胸部下あたりに設置 ギャッジアップ等のリクライニングベッド仕様の場合、ずれ落ちが心配な場合は結束バンドでマット部分をベッドに固定する
	サイズ	・センサマット：835×290×19mm、コアユニット：105×105×25mm
	重量（バッテリー含む）	・センサマット：376g、コアユニット：86g

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源･バッテリー（本体、端末、センサー等）	・センサマット、コアユニット、電源コード
	使用時の音	・なし
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等使用される表示端末に通知 表示アイコンの点滅及びアラートによる発報
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得 ・内部無線ＬＡＮ通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	・センサマット部分について、防水加工有り
	検知方式（センサー、画像など）	・空気圧センサ
	検知範囲	・ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	・２秒以内（※通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり）
	最大見守り人数	・1システム最大 200 床（1ベッド1センサ） ・1人 / 台
	必要な通信環境	【クラウドサーバー利用の場合】 ・インターネット環境 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要） 【オンプレサーバー利用の場合】 ・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz 【mini サーバー利用の場合】 ・特になし
	必要なシステム・設備	【クラウドサーバー利用の場合】 ・追加のＰＣ、ソフト、システムは不要 【オンプレサーバー利用の場合】 ・専用サーバー、専用ソフトウェア 【mini サーバー利用の場合】 ・専用サーバ、専用ミニルーター
	データの記録機能、有無と内容	【施設・デバイス管理】施設名、介護グループ名、計測者名、居室番号、デバイスＩＤ 【睡眠日誌】指定した利用者ＩＤ日時を指定する ・睡眠スコア、睡眠効率、総睡眠時間、睡眠潜時、各睡眠ステージ（深い・浅い・ＲＥＭ・覚醒）の時間と割合をグラフ化、寝返り回数、離床回数 ・平均心拍数、平均呼吸数 ・無呼吸度、ゆらぎ健康度 【睡眠週報】指定した利用者ＩＤ日時を指定する（最大１年間分を出力） ・24 時間のベッド上の状態（離床・起き上がり・覚醒・浅い睡眠・深い睡眠・ＲＥＭ） ・保存期間は基本１年間 ・ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・不具合の場合、基本的には電話及びメール等にて対応。必要に応じて、不具合の確認･適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・特になし
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	・1年間
	修理対応期間	・1年間
	耐用年数	・約5年
コスト	本体・付属品の定価	・オープン価格
	設置導入に伴う費用	・オンプレミスサーバ、クラウドサーバ運用の場合：初期設置費用（現地デバイス設置･登録作業費用） ・ミニサーバ運用の場合：なし
	ランニングコスト	・オンプレミスサーバ、ミニサーバ運用の場合：なし ・クラウドサーバ運用の場合：通信費用が発生
	教育研修費	・なし
オプション	追加できる機能	・Bluetooth による外部機器のインターフェイス
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社TAOS研究所　営業部： TEL：045-620-7637　　MAIL：taosnews@itaos.org
	デモ・貸出	・あり
	よくある質問（Q&A）	Ｑ１．ベッドマットの厚さは何 cm まで対応しているか？ また、エアマットは対応しているか？ Ａ１．20cm の厚さのベッドマットまでを推奨。 また、エアマットにも対応。（特殊なエアマットの場合は事前に使用可能か問い合わせのこと。） Ｑ２．Ｗｉ－Ｆｉ環境は必要か？ Ａ２．お貸出し期間中のご利用でしたらＷｉ－Ｆｉ環境は不要。 本導入をご検討の場合は以下の環境が必要。 【クラウドサーバー利用の場合】　・インターネット環境 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要） 【オンプレサーバー利用の場合】　・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz 【mini サーバー利用の場合】　・特になし

パンフレット等

製品カタログ　　https://aisleep.jp/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

凸版印刷株式会社

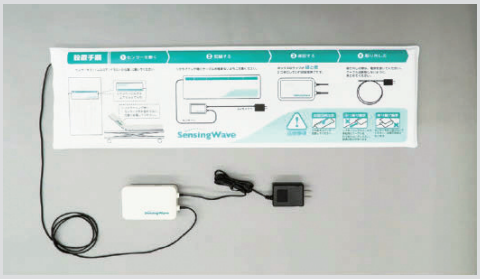
SensingWave® 介護・睡眠見守りシステム

品番・型番
1803CI

機器の概要

機器の機能

ベッドマットレスの下に敷いて使用するシート型非接触見守りセンサーです。寝ている利用者のバイタル情報（心拍相当数･呼吸相当数）や睡眠の質（深い / 浅い）、離床・入床状態をセンシングします。従来の製品と異なり、利用者がしっかり眠れているかどうかを確認できるため、夜間の巡視効率化やケアの質向上、ケアプラン改善にも活用可能です。また、データはクラウド上に蓄積されるため、遠隔での情報共有が可能です。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

本体通信にはモバイルルータ付機器の貸出を行います。
データ確認用のＰＣ・タブレット・スマートフォンのいずれか（インターネットにつながるもの）をご準備ください。

試用期間中のサポート

試用期間開始時の職員への勉強会や、期間中の不明点への回答、使用期間後のフィードバックまで一貫して対応いたします。

貸出期間	1～2週間 *要相談
貸出可能台数	1 ～ 2 台　*要相談

問い合わせ先　凸版印刷株式会社
〒110-8560　東京都台東区台東 1-5-1
TEL 03-3835-6462　MAIL sensing.w@toppan.co.jp
所属部署　環境デザイン事業部　まちづくり本部　担当者名　伊藤

販売開始

2018 年 4 月

販売価格

オープン価格

機器の仕様

SensingWave®
介護・睡眠見守りシステム

シート部分をマットレス下に敷き（利用者の胸の下あたり）、電源を入れるだけで設置完了です。マットレスは、厚さ約 20cm まで対応可能です（一部エアマットも可）。基本的にはＷｉ－Ｆｉへ接続しますが、環境が無い施設はモバイルルーターの提供も行っています（オプション）。計測したデータはクラウドサーバーに蓄積され、パソコンやスマートフォンのウェブブラウザで閲覧します。専用端末や専用ソフトのダウンロードは必要なく、インターネットに繋がっている端末であればお使いいただけます。データの閲覧は、購入時に発行するＵＲＬと、ＩＤ・パスワードで可能です。「一覧画面」「詳細画面」「レポート」が閲覧できます。管理画面では、「設置機器の場所」「利用者情報」「アラート通知」の設定ができます。機器の利用者や設置場所を変更する場合は、管理画面から簡単に設定が可能です。「アラート通知」は、施設の担当者が、利用者の状態によって通知するイベント（「覚醒」「離床」等）と通知する時間帯、タイミングを設定することができます。機器の使用方法や、管理画面の操作方法に関してはマニュアルを用意しております。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　凸版印刷株式会社

製品名　SensingWave® 介護・睡眠見守りシステム

型　番　1803CI

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、新規入居の方、看取りの方など 【介護者】・夜間の巡視効率化やケアの質向上、プラン改善を希望している方 ・業務負荷軽減を希望している方
禁止事項	禁止事項	お客様による修理・分解・改造
使用上の注意	注意事項	火気・水などの液体に注意すること タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えないこと
	安全に利用するための配慮	指定する設置条件や設置方法以外での使用は避けること
	使用上の注意	リクライニング時に、折れ曲がる部分には設置しないこと 振動がある環境で使用しないこと（検出が正しく行われない可能性有） 正しい設置位置（ベッド上部から 50cm の位置 ）で使用すること
使用方法	使用方法	コンセントにＡＣアダプターをさして使用
	使用環境	・2人以上で使用しないこと ・振動が生じる環境で使用しないこと ・気温：0～ 40℃ 湿度：10 ～ 90% RH
	使用場面	・転倒・転落や徘徊のリスクを軽減したい場合 ・離れた場所にいる利用者の状況把握 ・夜勤時の訪室頻度削減等業務負荷や効率化を進めたい場合 ・ケアの質向上を図りたい場合
仕様、構造	設置場所	ベッドのマットレス等の寝具の下
	設置方法	センサー本体のイラストが記載されている面を上にして、 ベッドのマットレスの下に敷いて使用
	サイズ	センサーマット部 225mm × 750mm 制御通信 ＢＯＸ 部 111 × 74 × 30mm（突起部含まず）
	形状	シート型センサー
	重量（バッテリー含む）	750g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	コンセントが1口必要

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	検知方式（センサー、画像など）	振動センサー
	最大見守り人数	1台につき1名
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要）
	必要なシステム・設備	インターネットにつながるPC・タブレット・スマートフォン
	データの記録機能、有無と内容	有（保存期間は1ヶ月）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不具合・故障時対応
	保証期間	1年
	修理対応期間	1年間は取り扱い起因でない場合、無償対応。それ以降は費用発生（内容によって金額は異なる）
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	基本的には無。※設置環境の状況による
	ランニングコスト	オープン価格
オプション	追加できる機能	モバイルルータ（利用先でＷｉ－Ｆｉが整っていない場合必要）
問合せ先	緊急時の問合せ先	凸版印刷株式会社（TEL：03-3835-6462）

パンフレット等

製品カタログ　https://solution.toppan.co.jp/lifesensing/service/sensingwave.html

事例紹介動画　https://www.youtube.com/watch?v=NVrxGGe2ryI

製品商品動画　https://www.youtube.com/watch?v=Vnrq7dX9-ww

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

ノーリツプレシジョン株式会社

見守りシステム Neos+Care（ネオスケア）

品番・型番
CIS-CSS5-L1/ 5-L2

機器の概要

機器の機能

居室内に取り付けたセンサーにより、危険につながる動作を正確に見つけて通知します。万が一の事故があっても、画像をすぐに確認して、状況を把握できるから安心。無駄な訪室が激減します。再発防止にも使えます。介護施設で使われる様々なシステムと連携・集約することでスタッフの利便性を向上し、作業を効率化できます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

貸出機は仮設用のポール設置となります
＜仮設条件＞
天井高さ 2,200 ～ 2,600mm ポールの固定できない構造体は不可。
AC100Vコンセント
Wi-Fi通信環境
ネットワーク環境についてはご相談ください。

試用期間中のサポート

コールセンターによる電話サポート
営業日時：月曜～土曜日 9 時 -16 時
弊社または販売パートナーが取付・設置および取扱説明も可能です。
※エリアにより費用が発生する場合がございます。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　ノーリツプレシジョン株式会社
〒640-8550　和歌山県和歌山市梅原 579-1
TEL 073-456-3966　MAIL robotcare.nkw@noritsu.com
所属部署 新規事業部 新規事業企画営業課　担当者名 巽敦司

販売開始

2023 年 4 月

販売価格

タイプ別に価格が異なるため、
ご相談ください

機器の仕様

見守りシステム Neos+Care（ネオスケア）

施設の規模・通信環境に合わせて 4 種類の中から選択頂くことが可能です。
①オンプレサーバー・センサー有線型
②オンプレサーバー・センサー無線型
③サーバレス・センサー有線型
④サーバレス・センサー無線型
電源：有線ＬＡＮ接続時 12.95W 以下（ＰｏＥにて給電）
　　無線ＬＡＮ接続時 ＡＣ１００Ｖ
検知方法：赤外線距離センサーを使った非接触方式
取り付け方法：居室内のベッドが見わたせる壁に専用アタッチメントで取り付け。予備アタッチメントを取り付けている居室には、センサーを簡単に移設可能。
使用対象ベッドサイズ：横幅 90 ～ 100cm 縦幅 210cm 以下 高さ 30cm ～ 50cm
使用時温度環境：室内（周囲温度）5 ～ 40℃ / 室内（周囲湿度）10 ～ 80%結露なきこと

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　ノーリツプレシジョン株式会社

製品名　　**見守りシステム Neos+Care（ネオスケア）**

型　番　　CIS-CSS5-L1/5-L2

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、介護現場における人員体制の効率化と、利用者のケアの質の向上、職員の負担軽減はかりたい方
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：直射日光のあたる場所、Ｗｉ－Ｆｉ電波強度が弱い場所 ・電気設備の法定点検時や落雷が予測される場合は、コンセント、ＬＡＮケーブルを抜くこと
使用上の注意	注意事項	本製品は、見守りを必要とされている方の危険予兆動作を検知するための支援機器であり、危険予兆動作を完全に検知し、危険防止できることを保証するものではない。なお、当社は、本製品に起因する被介護者または介護者の損害について責任を負わない
	安全に利用するための配慮	・使用中に本製品から煙や異音、異臭が発生したり、本製品が異常に熱くなった場合は、速やかに使用を中止すること ・当社が指定していない機器の接続および、ソフトウェアの使用が原因で本製品に発生した故障については、当社は一切責任を負わない。ＯＳ（Operating System）の各種設定、ハードディスク内のデータ構造および、データの変更が原因でパソコンに発生した故障についても、当社は一切責任を負わない（マニュアルに記載している内容以外は、変更しない） ・タコ足配線をしない。火災や感電の原因になる ・センサーユニットのレンズ部分を直接手で触ったり、汚さない。汚れると正しく検知できなくなる。汚れた場合は、乾いた布（クリーニングクロスなど）で清掃する ・本製品には、フォールトトレランス機能（不具合に対して自動的に対応できる機能または性能）はない。本製品は、本製品に不具合が発生し、または本製品が機能しなかった場合に死亡、重大な人身損害、または重大な物理的損害もしくは環境の破壊につながることが合理的に考えられるようなエンベデッドシステムでの使用（以下「リスクの高い状況での使用」といいます）を前提として設計されたものではなく、かかる使用を意図したものではありません。弊社は、リスクの高い状況での使用を目的として、本製品を使用、頒布、または本製品の使用を再許諾するライセンスを許諾されるものではない。リスクの高い状況での使用は、いかなる場合も禁止する ・外光が入る場合は、カーテンを使用すること。強い光があたると検知ができない場合がある ・センサーユニットは赤外線カメラを使用している。他の赤外線機器を同じ部屋で使用しないこと。正しく検知できなくなる恐れがある
	誤報の有無	・センサーとベッドの位置関係が仕様外の場合 ・センサーと見守り対象者の間に障害物がある場合 ・検知エリア内に見守り対象者以外の人がいる場合 ・直射日光もしくは、赤外線等のノイズがある場合 ・センサーの位置調整が正しく行われていない場合 ・検知項目の選択が正しく行われていない場合
	使用上の注意	・センサーとベッドの位置関係は仕様の範囲内で使用すること ・センサーと見守り対象者の間に障害物が無いようすること ・直射日光もしくは、赤外線等のノイズが入らないようにすること ・センサーの位置調整が正しく行うこと ・検知項目の選択が正しく行うこと ・モバイル端末を持つ介護職員の活動範囲において、Ｗｉ－Ｆｉハンドオーバーが機能するようにＷｉ－Ｆｉネットワーク環境を整備すること ・Ｗｉ－Ｆｉ接続型のセンサーを使用する場合はセンサー設置場所の電波強度 -60dBm を確保すること
	倫理的の配慮	使用前に、対象者の方ご本人および家族の同意を取得することが望ましい
使用方法	使用方法	----- 使用開始前の点検 ・スマートフォンの電源をONにする。　・ネオスケアのアプリを起動する ・ログインを行う。　・各居室の見守りが開始されていることを確認する ----- 動作検知時の対応 ・動作検知があった居室をリアルタイム画像で確認する ・訪室の必要が無い場合は「確認のみ」をタップする ・訪室の必要が有る場合は「見守り一時停止」をタップし、訪室作業が終わった時点で「見守り再開」をタップする
	使用方法（再設定）	1. メニューアイコンより「見守り終了」を選択　2. メニューアイコンより「見守り設定」を選択 3. 検知項目と体格を選択　4. ベッドの高さ・位置に合わせてベッド枠を調整
	使用環境	使用時温度環境：室内（周囲温度）5～40℃ / 室内（周囲湿度）10 ～ 80%結露なきこと
	使用場面	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、介護現場における人員体制の効率化と、利用者のケアの質の向上、職員の負担軽減はかりたい方
	習熟期間	・通常使用のみの一般職員：1週間程度　・システム管理者の場合：1～2ヶ月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・センサー移動時の高所作業に注意する

製品情報

	項 目	内 容
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	介護品質の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	介護施設・障害者施設・病院内の居室（個室・多床室）
	設置場所	メーカーまたは販売会社が施設様の目的に合った推奨場所を提案いたします ＜以下は基本数値＞ 床から 2000mm ～ 2300mm　　ベッド横 側端から 1200mm ～ 2100mm ベッド頭側 側端から 1100mm ～ 1600mm　　ベッド足下 側端から 800mm ～ 1600mm
	設置方法	・壁付け　　・専用取付金具使用
	サイズ	全幅 165.5mm 全高 165.5mm 全奥行 94.5mm コードは含まない
	形状	箱型
	重量（バッテリー含む）	1.06kg
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	センサー本体 サーバ　※オンプレサーバモデルの場合 モバイル端末
	使用時の音	設定変更可能
	緊急発報の方法	モバイル端末にポップアップと音で発報
	防水・防塵加工	防水・防塵加工なし　※携帯するスマホについては、防水・防塵タイプのご紹介あり
	検知方式（センサー、画像など）	・赤外線距離センサー　　・弊社独自の画像解析アルゴリズム
	検知範囲	センサーより直線距離で 4mm（センサー⇔ベッドの一番遠い角まで）
	反応速度（タイムラグ）	即時通知（NW環境による影響あり）
	最大見守り人数	1センサーにつき、1人
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ環境 有線ＬＡＮ環境（オンプレサーバモデルおよびセンサー有線モデルの場合）
	必要なシステム・設備	・表示端末（タブレット、スマホ等） ・専用サーバー、専用ソフトウェア、NW機器
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能。保存期間については、モデルタイプにより異なる。
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携可能（オプション）　　・ＩＰインカムとの連携可能（オプション） ・介護プラットフォームとの連携（オプション）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・センドバック対応　　・コールセンターによる問診ヘルスチェックも可能
	ユーザーによるお手入れ	・タブレット端末の充電
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	1年
	修理対応期間	販売から5年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格 販売店にお問合せのこと
	設置導入に伴う費用	販売会社にお問合せのこと
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	販売会社にお問合せのこと
オプション	追加できる機能	・介護記録連携　　・ＩＰインカム連携　　その他
問合せ先	緊急時の問合せ先	試用開始時にご連絡いたします。
	デモ・貸出	販売会社にお問合せのこと
	よくある質問（Q&A）	オンラインデモも承っている

パンフレット等

製品カタログ　　https://neoscare.noritsu-precision.com/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-09 見守り・コミュニケーション

株式会社 Z-Works

ライブコネクト

機器の概要

機器の機能

居室に設置した複数のセンサーにより「睡眠状態」や「心拍」「呼吸」「トイレ回数」などを検知することで利用者の状態や行動を可視化し 24 時間見守ります。
異常を検知した場合、リアルタイムにスタッフ様に通知し重大事故 (転倒) を防止すると共に、利用者に合わせた異常検知の設定が可能なため、作業 (介助) の効率化を図ることが可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・ベッドサイドの電源コンセントを 1 口使用します。
・4G 通信が可能なこと。

試用期間中のサポート

・スタッフ様向け説明会を複数回実施
・メール、電話、リモートによるサポート

貸出期間	1 ヶ月
貸出可能台数	5 台を 3 セット

問い合わせ先 株式会社 Z-Works
東京都新宿区下落合 4-21-19　目白 LK ビル 7F
TEL 03-5988-7403　MAIL uchino@z-works.co.jp
所属部署 事業企画本部　担当者名 内野智彰

販売開始

2018 年 9 月

販売価格

161,750 円
（税別、標準構成）

機器の仕様

ライブコネクト

主な機能・特徴
・Ｗｉ－Ｆｉが不要なため工事不要で簡単に導入可能です。
・「睡眠状態」や「心拍」「呼吸」「トイレ回数」など利用者の状態を可視化出来ます。
・夜間もライブコネクトで見守ることで、巡視回数の削減と接触機会の削減が可能です。
・「見守りシステムが沢山ありすぎて選べない」「効果が出るか不安」「使いこなせるか不安」などの不安を解決！トライアルプログラムをご用意していますので導入前にお試しいただけます。
・各種補助金やリースにも対応しております。
※独自のナースコールシステムやスタッフ間通話機機能、介護記録ソフトとの連動も可能です！

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社 Z-Works

製品名　**ライブコネクト**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい
	専門職の関与	必要ありません。
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室や 4G の電波が届かない場所 ・分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜く
	安全に利用するための配慮	・電源ケーブルやセンサーケーブルの挟み込みが無いか確認する ・浴室などの水場では使用しない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・4G 回線や Z-WAVE の電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・スプリング式のベッドでは使用できない ・4G 回線エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・センサを遮るような物の配置をしない
	倫理的の配慮	・利用者（特に女性）のプライバシーに配慮し、画像は撮らない、残さない仕様を基本とする
使用方法	使用方法	・モニターに表示した居室の状態を確認し訪室 ・アラートの種類：離床、トイレ反応、ドア開閉、温度異常、心停止など
	使用方法（再設定）	・ベッドサイドのコンセントに電源を接続 ・ベッドフレームにバイタルセンサーと離床センサーを設置 トイレやドアにセンサーを設置 ・設置後 24 時間後、以後1週間ごとにセンサーの閾値を自動調整
	使用環境	・気温 0℃～ 40℃ ・結露しないこと ・センサーを覆い隠さない事 ・ベッドを利用 ・4G 回線 ・Ｗｉ－Ｆｉ適応予定（要相談）
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・離床など早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約 2 週間～ 2 か月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルをベッドフレームに固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・ベッドを移動する場合は電源を抜く ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減（夜間巡視の削減）、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR 等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内　居室（個室・多床室）、4G 回線が届くエリア、ベッドのヘッドボード
	設置場所	・ヘッドボードに通信機器を吊り下げ ・バイタルセンサー、離床センサーをベッドフレームに設置 ・トイレ内とドアに各種センサー設置 ・スタッフ待機場所にモニターを設置

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置方法	・ヘッドボードに通信機器を吊り下げ ・バイタルセンサーはベッドフレームに固定 ・離床センサー、トイレセンサー、ドアセンサーは両面テープにて固定
	サイズ	通信機器は W300mm × D300mm 程度 バイタルセンサーは W800mm × D20mm 程度 離床センサー、トイレセンサーは W30mm × D30mm 程度 ドアセンサーは W50mm × D10mm 程度
	重量（バッテリー含む）	2kg 程度
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	通信機器は電源ケーブル 離床センサー、トイレセンサー、ドアセンサーは電池駆動
	使用時の音	異常県知事にアラート音を発報
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ・ランプ赤色点滅、及び警告音
	安全性の認証取得	ＰＳＥ、技適、ＫＩＳ
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（振動センサー、赤外線）
	検知範囲	バイタルセンサー：ベッド付近 離床センサー、トイレセンサー 5m 程度
	反応速度（タイムラグ）	1 秒～ 5 秒程度
	最大見守り人数	1 モニタの最大表示数は 144 床
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉなどのネットワーク環境は不要 4G 回線提供エリアであることが必要
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・夜間の在床時間、睡眠時間、覚醒回数、離床回数、トイレ回数を 1 ヶ月程度さかのぼって閲覧可能
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携 ・カメラ機能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問 ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・タブレット端末の充電 ・センサーの電池交換
	消耗品の有無	電池
	保証期間	1 年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	51,750 円～ 330,000 円（税込）
	設置導入に伴う費用	100,000 円～ 400,000 円（税込）
	ランニングコスト	2,000 円～ 5,500 円（税込）
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	「カメラ機能」「ナースコール機能」「通話機能」「介護記録ソフト連携機能」
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-5988-7403
	デモ・貸出	あり
	よくある質問（Q&A）	Q. Ｗｉ－Ｆｉ環境は必要ですか？ A. 必要ありません。4G 回線を使用しますので、ネットワーク工事が不要です Q. 本当に効果があるか？使いこなせるか不安です A.2 か月間のトライアルプランあり。(有償) をご用意していますので、是非お試しください

パンフレット等

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=t5eIZGCT9SQ

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

コアフューテック株式会社

e 伝之介くん

品番・型番
EDS-01SSCMR000

機器の概要

機器の機能

「離床」してからの駆けつけで手遅れとならぬ様、「起床」、「端座位」にまで遡っての検知通知を、１台のセンサーに集約して行います。センサーマットの持つ、「どける」、「またぐ」、「つまづく」、「折れ曲げ断線」と言う弱点がありません。高性能赤外線カメラを通しての画像を、富士通の特許による画像処理技術で解析する事で、利用者の動きを認識します。感染症に強い、非接触型センサーです。第３者は認識しません。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

1　小型ＰＣを内蔵する電子機器であり、丁寧なお取り扱いをお願いします。
2　カメラにに対しての強い西日による逆光等の場合は、カーテンのご使用をお願いします。
3　認識精度向上の為、枕元周辺には物を置かないでください。

試用期間中のサポート

メール及び、ズームによる Web 対応を行います。

貸出期間	１ヶ月（応相談）
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 コアフューテック株式会社
〒211-0004　神奈川県川崎市中原区新丸子東 2-888 KTS ビル 2 階
TEL 044-430-5501　MAIL e_dennosuke@corefutec.co.jp
所属部署 介護機器事業部　担当者名 松本正己

販売開始

2019 年 4 月

販売価格

184,800 円（税込）

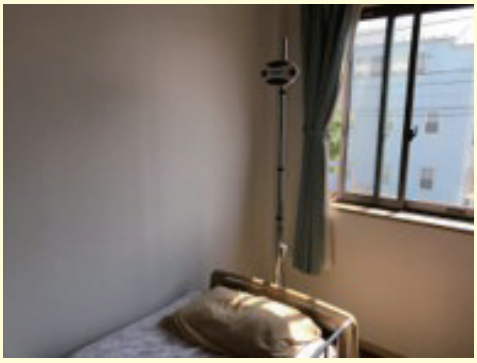
TAIS コード

01903-000001

機器の仕様

e 伝之介くん

1　電源：ＡＣ 100V
2　消費電力：7.7w
3　取り付け・配線工事：不要
4　本体サイズ・重量：L:200mm X W:120mm X H:50mm / 320g
5　検知方法：ＬＥＤ照射による赤外線カメラでの画像を内蔵画像処理ソフトで解析。
6　通知方法：①ナースコール、②独自ワイヤレスチャイム（据え置き型：見通し約 100m / ポータブル型：見通し約 80m）、③独自無線（見通しで 1,000m）
7　取り付け方法：①スタンドタイプ、②壁付けタイプ
8　標準カラー：①アイボリーホワイト、②ダークグレー（つや消し）



機器の使用場面

製　品

メーカー名　　コアフューテック株式会社

製品名　　e 伝之介くん　01903-000001

型　番　　EDS-01SSCMR000

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	在宅（同居）、介護施設、医療機関、障がい者施設での、高齢者、障がい者の自立支援を目指した見守り
	専門職の関与	特に必要としない
禁止事項	禁止事項	機器を破損する動きの恐れのある利用者への使用は控えること
使用上の注意	注意事項	「どける」、「またぐ」、「つまづく」、「折れ曲げ断線」等、センサーマットの持つ弱点はない。また、多くのＩＴ系センサーの様に多機能ではないが、手の届きやすい価格に押さえている
	安全に利用するための配慮	①電源はＡＣ１００Ｖである。ＡＣアダプターは、より安全性が求められる、「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）を取得している ②ワイヤレスチャイムについては、当社名義にて、日本電波法による認証を取っている。認証番号は、「007-AH0122」である。その他、使用上安全に対する特別な注意が必要な点はない。小型ＰＣ、電子基板、高性能カメラ、ＬＥＤライト等を内蔵する電子機器のため、丁寧な取り扱いをお願いしたい
	誤報の有無	①１秒間に7コマの画像を取り込んで解析をしているが、利用者の動きが著しく早い場合は、7コマの画像では追いきれないケースがある ②利用者が「起床」しながらも、「起床」の通知により駆けつけてみれば横になっておられるケースがあるが、誤報ではない ③利用者がベッドから離れている時に、介護者等他の方がベッドに入れば「検知」・「通知」するが、誤報ではない
	使用上の注意	①カメラに西日等、強い光が当たる場合や、②枕元にぬいぐるみ等、利用者の頭部と誤認しかねない物を置いている場合は、正常に作動出来ない事がある。①カーテンを引いたり、②枕元をスッキリとしておくこと
	倫理的の配慮	利用者のプライバシーに配慮し、画像は撮らない、残さない事を基本としている。しかし、ご家族・施設様双方の個別の理由により、どうしてもご覧になりたいとの要望もある。ご本人様・ご家族様のご同意を頂いた上で、オプションとして、センサーが認識・通知した時のみ（拘束にならない様）、画像で状況を確認する事が出来る様な対応を考えている
使用方法	使用方法	電源を入れると、センサーは自動的に起動し、ベッド・利用者を認識の後、自動で、「起床」、「端座居」、「離床」の認識・検知・通知を開始する。ＰＣ、追加ソフト、取り付けに伴う特別の工事等は不要
	使用方法（再設定）	必要な時に、必要な場所に移動し、電源を入れれば、認識・通知を始める
	使用環境	コンピューター、カメラ、ＬＥＤライト、画像解析ソフト内蔵のデリケートな電子光学機器である。例えば、利用者が在室で無い場合に、室温が 40℃以上になる様な環境での設置は控えること
	使用場面	在宅・介護施設・医療施設・障がい者施設において、「離床」してからの駆けつけで手遅れとならぬ様、「起床」、「端座位」にまで遡っての検知通知を、1台のセンサーに集約して行う事ができる。遍く普及しているセンサーマットと異なり、「どける」、「またぐ」、「つまづく」、「折れ曲げ断線」と言う弱点はない。また、第３者は認識せず、感染症に強い非接触型である
	習熟期間	家電と同様、設置後2～3日で使いこなせる様になる
	高齢者に対する安全面の配慮	①接触型のセンサーマットと異なり、「非接触型」にする事で、利用者及び介護者様双方に対して、感染症のリスクを軽減出来る ②本体は樹脂成型により出来ており、部品成型材料の耐熱性につき、「荷重たわみ温度試験」を実施している ③ＬＥＤライトによる温度上昇をコントロールする機器をつけている
	介護者に対する安全面の配慮	介護者に対する、格別の危険な要素はない
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	優しく見守られており、何かあればすぐに駆け付けてくれるといる安心感から、利用者ご自身にも自分で出来る事は自分でやろうと言う自立の意識が芽生える。また、ご自分で呼ばなくても、センサーが代わりに呼んでくれると言う事で、「気が楽だ。」と仰る利用者もいる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	①転倒事故→大腿骨骨折→死亡リスクの増大や、一人歩き（徘徊）の不安に対する介護職員の心理的・身体的なストレスを大きく緩和する事で、介護職員の離職理由の上位に入る、「心身の不調」を減らす効果がある ②センサーマットの様に、利用者が、「どける」、「またぐ」、「つまずく」事による検知・通知漏れが無く、事故率を減少出来る ③センサーマットの様な、汚れに対するクリーニングの手間がかからず、介護者への負担が軽減できる
	機器を使用することで実現する施設への効果	①事故リスクの低減により、空室率を低く抑え、施設経営の安定化に寄与する ②「身体拘束廃止未実施減算」の可能性の回避 ③今後共、増額の見込まれる、「夜間職員配置加算増額」の活用 ④介護職員の離職理由の削減（上記 15）により、求人問題に悩むケースが減少する
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	利用者の寝室のベッドの頭部側
	設置場所	ベッドの頭部側に設置
	設置方法	①壁付け、②スタンド設置タイプ。その他、環境に合わせたこまめな対応は出来る範囲で行う

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	サイズ	本体：L 200mm × W 120mm × H 50mm
	形状	コンパクトな楕円形
	重量（バッテリー含む）	本体：320g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	外部電源（ＡＣ 100 Ｖ）
	使用時の音	無音
	緊急発報の方法	「緊急時」だけでは無く、常に、検知・通知を続ける
	安全性の認証取得	「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）を取得している
	防水・防塵加工	防水・防塵対応とはなっていない
	検知方式（センサー、画像など）	赤外線カメラで取り込んだ画像を、本体に内蔵する画像処理ソフトで解析し、「起床」、「端座居立ち上がり」、「離床」を認識し、介護者に通知する
	検知範囲	ベッド回り
	反応速度（タイムラグ）	1 秒間に 7 コマで取り込んだ画像を、内蔵画像処理ソフトで瞬時に解析し、独自無線・ナースコールを通じて通知する。殆どリアルタイムでの、検知・通知である
	最大見守り人数	1 名
	必要な通信環境	ナースコール、または独自無線システムにて通報する為、専用の通信環境は不要
	必要なシステム・設備	見守りセンサーとしての機能は、全て本体に内蔵・完結しており、追加のＰＣ、ソフト、システム等は一切不要
	データの記録機能、有無と内容	お求めやすい価格設定にする為に、「起床」、「端座居立ち上がり」、「離床」の検知・通知のみに特化させており、データの記録はしない。将来の市場からの要望に対しての拡張性は持っている
	他の機器との連携・互換性	オプションとして、検知・通知状況確認用のカメラとの接続が可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不具合の場合、電話、Zoom 等の Web にて対応する。必要な場合は、現地に出向き、不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	熱、埃等の環境にご注意頂く他は、格別のお手入れは必要ない
	消耗品の有無	摩耗・消耗部品を使っておらず、部品交換の必要はない。除：ＬＥＤライトの寿命（3-4 年）による交換
	保証期間	購入後 3 ヵ年
	耐用年数	発売後間もなく、実績年数の測定は出来ないが、設計上は、ＬＥＤライトの寿命が 3 年 -4 年であり、それを交換すれば、5-6 年の 使用には耐えられると想定している
コスト	本体・付属品の定価	[基本セット] ①本体価格：¥184,800-　②ワイヤレスチャイム（受信器）：¥5,500-　③送信器：¥4,400- ④取付スタンド：¥18,700- [追加ユニット] ⑤見張り番Ⅲ受信機：¥63,800-　⑥見張り番Ⅲ送信器：¥27,500- ⑦ナースコール：現在ご使用中の仕様に合わせて、別途お見積もり ※価格は全て税込
	設置導入に伴う費用	上記「本体・付属品の定価」の、本体・付属品の価格以外にかかる費用はない
	ランニングコスト	①摩耗・消耗部品を使っておらず、部品交換の必要はない（除：ＬＥＤライトの寿命による交換） ②通信機能を持たせていないため、通信費用等も不要
	教育研修費	特になし
オプション	追加できる機能	画像による確認機能
問合せ先	緊急時の問合せ先	電話：044-430-5501、メール：e_dennosuke@corefutec.co.jp
	デモ・貸出	対応中・リース・レンタルも応相談

パンフレット等

製品カタログ　https://e-dennosuke.com/

取扱説明書　https://e-dennosuke.com/support/

使用方法等の動画　https://e-dennosuke.com/support/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

フランスベッド株式会社

見守りケアシステム M-2

品番・型番
M2

機器の概要

機器の機能

センサーがベッド利用者の体動や動作を検知し、ナースステーションに通知します。『動き出し』・『起き上がり』・『端座位』・『離床』・『離床管理』の５つの通知モードから選んで設定でき、ベッドからの転倒、転落の危険性を軽減するほか、認知症の方の徘徊による事故等の予防につながります。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

ナースコールの状況により、別途分配器をお買い求めいただく場合もあります。また、利用者のリアルタイムの状態表示をさせるオプション機能を選ばれる場合は施設内において Wi－Fi 環境及びパソコンが必要となります。

試用期間中のサポート

貸出先施設様の所在地の管轄営業所にてフォローいたします。

貸出期間	2 週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 フランスベッド株式会社
〒106-0032　東京都港区六本木 4-1-16
TEL 03-5549-2936　MAIL chizuwa_shigeki@francebed.jp
所属部署 法人企画部 法人企画課　担当者名 千頭和 重基

販売開始

2017 年 5 月

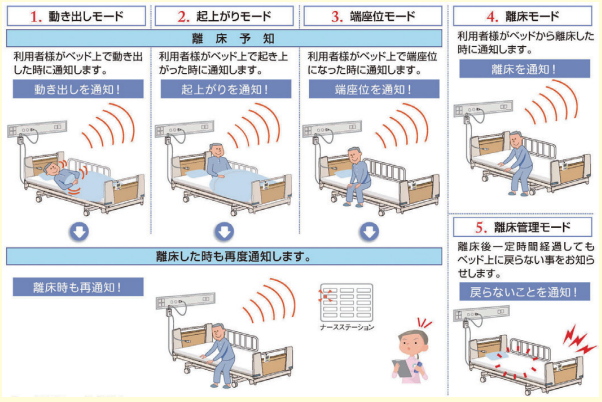
販売価格

オープン価格

機器の仕様

見守りケアシステム M-2

ベッドに内蔵された４つのセンサーが、ベッド上の利用者の状態を自動認識、見守りが出来るベッドとなります。特に「誰もが簡単に操作、運用出来る事」に配慮しておりますので、複雑な設定等を行う事なくどなたでも簡単に操作出来る機器となっております。ベッドをナースコールと接続致しますので、利用者の状態で通知が必要な場合はナースコールへ正確に発報を行います。また、自動体重測定機能やＷｉ－Ｆｉを活用したリアルタイムでのベッド複数台の見守りにも対応、別売りのオプションをご購入頂く事で、居室内の温湿度や利用者のバイタルデータも見守る事が可能となります。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　　フランスベッド株式会社

製品名　　**見守りケアシステム M-2**

型　番　　M2

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・足腰の弱った方や認知症の方など、転倒リスクのある方 【介護者】・見回り業務などにより、患者の状態を細かく把握することが必要とされている方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造
使用上の注意	注意事項	・コントローラ、分配器を落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないこと ・見守り中に利用者以外の方がベッドに腰かけたり、また重い物（30kg 以上）を載せるなどしないこと
	安全に利用するための配慮	・コントローラのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないこと ・濡れた手でコントローラを操作したり、ＳＤカードやコネクタの抜き差しを行ったり、水やジュースなど液体をこぼさないこと
	誤報の有無	・見守り中にベッドの昇降動作をしたり、ヘッドボードやサイドレールを取り外した場合 ・最終設定中にベッドに寄り掛かったり、不要なものをベッドの上に置いた場合
	使用上の注意	・コントローラ、分配器を落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないこと ・コントローラのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないこと ・見守り中に利用者以外の方がベッドに腰かけたり、また重い物（30kg 以上）を載せるなどしないこと
使用方法	使用方法	・ベッドに内蔵した 4 つのセンサがベッド上の利用者の状態や体動、離床動作を検知し、ナースコールへ通知する ・通知モードを「動き出し」「起上がり」「端座位」「離床」「離床管理」の 5 つのモードから選択でき、利用者の状態に合わせた使用ができる。「動き出し」「起上がり」「端座位」モードでは離床時にも再度通知される ・介助時等に一時停止をしても、ベッドに戻られた際に自動で見守りを再開する
	使用方法（再設定）	・搬送などで電源を差し直した場合でも、「新規⇔継続」選択画面が表示され前回の設定内容を継続することができる ・利用者がベッドに横になる度に自動調整を行っている。利用者が変わり、体重や身長が違ったとしても設定変更する必要はない
	使用環境	・室温：15 ～ 45℃、湿度：35 ～ 85% RH ・突起物の無い水平かつ頑強な場所
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・動き出しなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合
	高齢者に対する安全面の配慮	センサーは内蔵型でケーブル類の露出はない
	介護者に対する安全面の配慮	・コントローラのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないこと ・コントローラを取り外す際は、必ず電源を切ってから外すこと
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒・転落のリスク低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・利用者の状態の見守りによる負担軽減 ・不要な訪室回数の低減による介護負担の軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	・利用者の状態の見守りによる負担軽減 ・不要な訪室回数の低減による介護負担の軽減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設内の居室
	設置場所	・ナースコール設備付近 ・突起物の無い水平かつ頑強な場所

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置方法	・センサ中継コードを分配器（別売）に接続 ・既存のナースコール設備より、ナースコール子機を外し、分配器のナースコール接続口に接続 ・分配器のコードをナースコール設備のコンセントに接続
	サイズ	コントローラー：116（L）×110（W）×25（H）mm
	使用時の音	接続先のナースコールシステムによる。またはＷｉ－Ｆｉ、有線ＬＡＮ仕様の場合は、サーバー（ＰＣ）による
	緊急発報の方法	・ナースコールシステムを介して親機やＰＨＳなどに通知 ・Ｗｉ－Ｆｉ、有線ＬＡＮ仕様の場合は、サーバー（ＰＣ）より警告音とアイコン赤点滅表示にて通知
	安全性の認証取得	・センサはベッドに付属。ベッドはＰＳＥ準拠 ・Ｗｉ－Ｆｉモジュールは技適取得品（※Ｗｉ－Ｆｉ仕様のみ）
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーは荷重変化により検知（歪ゲージ方式）
	検知範囲	・ベッド上の動作
	反応速度（タイムラグ）	・離床、動き出しモード：即時 ・起上がり、端座位モード：即時 （※通知が届くまでの時間は、接続先のナースコールシステム、またはＷｉ－Ｆｉ環境による。）
	最大見守り人数	・ベッドにセンサー内蔵のため、１ベッドあたり１人 ・Ｗｉ－Ｆｉ、有線ＬＡＮ仕様の場合、１つのサーバー（ＰＣ）に最大 20 ベッド接続可能
	必要な通信環境	・ナースコールシステムを利用して通知する場合は特に無し Ｗｉ－Ｆｉ仕様の場合 ・各居室内まで電波が届くＷｉ－Ｆｉ環境　対応規格:2.4GHz(IEEE802 11b/g/n) 有線ＬＡＮ仕様の場合 ・各居室へのＬＡＮケーブル配線
	必要なシステム・設備	・ナースコールシステム ・専用サーバー（ＰＣ）、専用ソフトウェア（※オプションのＷｉ－Ｆｉ、有線ＬＡＮ仕様のみ）
	データの記録機能、有無と内容	・データ登録数：制限なし ・解析内容（ログ全体画面）：体動レベル、利用者の状態および設定状態を表示 ・解析内容（週別解析結果）：1 週間分の離床、臥床、アラームをグラフ表示 ・アウトプット（レポート印刷）：すべての解析内容項目を印刷可能
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能　・介護記録ソフトとの連携可能
メンテナンス	消耗品の有無	・特になし
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	別途御見積
オプション	追加できる機能	Ｗｉ－Ｆｉ仕様、有線ＬＡＮ仕様、バイタルセンサー、温度・湿度センサー
問合せ先	緊急時の問合せ先	平日９時～18時　03-5549-2936　フランスベッド株式会社 法人企画課
	よくある質問（Q&A）	Q どのくらいの体重利用者まで可能か? A 30kg～135kg の範囲で使用可能

パンフレット等

製品カタログ　https://medical.francebed.co.jp/iryofukushi/mimamori_m2/

使用方法等の動画　https://youtu.be/8ReiWH9pUrI

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社 AXIVE

CareVision(ケアビジョン)

品番・型番
CVF20220501

機器の概要

機器の機能

「骨格で転倒検知」
AIが関節位置を推論して得た骨格情報だけで姿勢動作を認識し、転倒検知をおこなって通報します。
居室・トイレなど、プライバシーを守ることが重要な場（介護スタッフの目が届きにくい場）の見守りに最適です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

インターネット環境（無い場合は、挿すだけで繋がるネット回線をご案内できます）
設置前にメーカーがご訪問して環境と設置個所の確認を行います。

試用期間中のサポート

設置はメーカー（㈱ AXIVE）が行います。
操作方法をご案内し、稼働状況をメーカーが遠隔でモニターいたします。
不具合等問題が発生した場合はメーカーが修復にまいります。

貸出期間	3週間
貸出可能台数	4台

問い合わせ先 株式会社 AXIVE
東京都千代田区九段南 1-5-6　りそな九段ビル5F　KS フロア
TEL 03-4572-2989　MAIL otsuki@axive-ai.co.jp
所属部署 お客様相談室　担当者名 大槻知史

販売開始

2022 年 4 月

販売価格

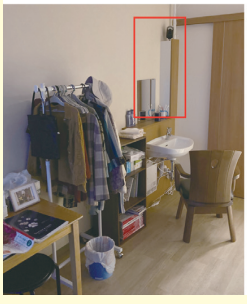
5年分ランニングコスト込み
1台 2,000,000 円(税込)
5台 5,500,000 円(税込)
(原則5台以上)

機器の仕様

CareVision(ケアビジョン)

見守る場（居室・トイレ）に設置する「感知器」と「検出機」
感知器と検出器を連携させる「ルーター」で構成されます。

設置例



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社 AXIVE

製品名　CareVision(ケアビジョン)

型　番　CVF20220501

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・例：自立維持のケアを進めたい方、転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】 ・例：複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい方
	専門職の関与	必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止すること。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜くこと
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・電源が切れている場合 ・機器の出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・感知領域がズレた時 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や干渉など居室環境による場合
	使用上の注意	・感知器を遮るような物の配置をしない、直射日光の当たる場所に配置しない ・正しい設置位置（床から 200cm 以上の位置 ）で使用する ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・サーバーＰＣの電源が抜けないようにする
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する （骨格検知を利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る） ・利用者のプライバシーに配慮し、画像は撮らない、残さない仕様を基本としている ・システムが認識・通知した時のみ、骨格情報で状況を確認する事が出来る様な対応をしている ・利用停止後、データを破棄する
使用方法	使用方法	・使用時の基本ステップ（見守りの際の準備（機器の調整等）、高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、アラートの内容等をふまえ訪室） ・アラートの種類：「転倒」
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続する ・必要に応じ、しきい値を再設定 ・コントローラーで調整
	使用環境	・気温0℃～40℃ ・湿度60% 以下（但し、結露しないこと） ・感知器を覆い隠さない事 ・居室全体を感知できる位置への設置 ・インターネット環境
	使用場面	・夜間巡回代行（訪室代行） ・トイレ見守り ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・通常の見守りケア
	習熟期間	・習熟の必要はない
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	眠りの質の向上（良眠時間増）、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、夜間訪室巡回など夜勤負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（ＰＲ等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	使用場所：屋内、介護施設・病院内　居室（個室）　多機能トイレ（介助できる広さ）、原則Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア（有線敷設も対応可能）
	設置場所	感知器（居室・トイレ） ・床から高さ2m 以上 ・居室の天井や壁　※接地面が十分な重量を保てること （状況に応じてポール設置等で対応可能） ルーターおよび検出器 ・通常のＰＣと同様、スタッフスペース等。但し、Ｗｉ－Ｆｉ接続が可能な場所
	設置方法	感知器 ・壁付け、天井ポール、専用スタンドから選択 ・専用取付ブラケット使用 ルーターおよび検出器 ・特殊な設置方法はなし

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	サイズ	感 知 器：約 41（W）×31（D）×95（H）mm ※突起部、スタンド除く ルーター：約 48（W）×129.5（D）×170（H）mm ※突起部、スタンド除く 検 出 器：210（W）×203（D）×62.2（H）mm ※ＡＣ／ＤＣアダプター等除く
	形状	感 知 器：箱型 ルーター：箱型 検 出 器：箱型
	重量（バッテリー含む）	感 知 器：約 75g　※本体のみ（バッテリーなし） ルーター：約 0.7kg ※本体のみ（バッテリーなし） 検 出 器：約2kg※本体のみ（バッテリーなし）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	感 知 器：電源ケーブルのみ（バッテリーなし） ルーター：電源ケーブルのみ（バッテリーなし） 検 出 器：電源ケーブルのみ（バッテリーなし）
	使用時の音	無音
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ あるいは ・ナースコールシステムを介して通知
	防水・防塵加工	防水防塵加工無
	検知方式（センサー、画像など）	関節推論 AI および姿勢動作認識 AI で検知
	検知範囲	対角線上10m以内
	反応速度（タイムラグ）	・1秒以内　（※通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり）即時通知
	最大見守り人数	・1 システム最大5床（1 居室 1 センサー） ・検出機 1 台あたり1室 ・上限なし
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境 2.4GHz 帯でシステムにルーターも込み ・各居室へのＬＡＮケーブル配線（通信速度 10Mbps/100Mbps）にも対応可能
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等） ・専用サーバー、専用ソフトウェア、ＮＷ機器込み ・追加のＰＣ、ソフト、システム等は不要
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能 ・記録する情報：転倒検知前後の動作のスケルトン（関節位置を線で結んだひとがた）動画（約10分） ・異常検知した動画のみの記録や追加オプションで常時録画 ・脈・呼吸のデータを 1 週間分記録可能 ・保存期間は基本 1 ヶ月
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能（有償） ・介護記録ソフトとの連携可能（有償） ・検知・通知状況確認用のカメラとの接続が可能（カメラの性能により限界がある）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問 ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・ホコリの除去
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	機器は1年、ソフトは5年
	修理対応期間	5年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	5年分ランニングコスト込み 1台 2,000,000 円（税込） 5台 5,500,000 円（税込） （原則5台以上）
	設置導入に伴う費用	インターネット増設の場合の敷設工事は NTT 東日本の規程料金
	ランニングコスト	本体価格とランニングコストを案分することができる
	教育研修費	無料
問合せ先	デモ・貸出	3週間

パンフレット等

製品カタログ　https://carevision-ai.com/

取扱説明書　https://carevision-ai.com/

使用方法等の動画　https://youtu.be/BVqgAYj90bQ?list=TLGGdXoy2--ptPYyMjA1MjAyMg

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社エイビス

エイビスみまもりシステム

品番・型番
AIVS-001-01

機器の概要

機器の機能

◇[ベッド上にいる][起き上がり][離床][異常な動き（痙攣等）]などの状態変化をモニタリング。
◇利用者ごとの危険レベルを設定し、必要な状態でアラーム通知。正確な判定で誤報が少ない。
◇アラームの通知機能は３種類から選択。
・パソコンで管理して携帯端末へお知らせするネットワーク型
・既設のナースコールでお知らせするナースコール型
・簡易受信機でお知らせする通報器型

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

※販売価格は共通セットのみ

必要な機器はお貸ししますので特に必要ありません。

試用期間中のサポート

基本的に電話にて運用サポート。必要に応じて、リモートソフトウェアを利用、訪問してレクチャー。

貸出期間	7～30日間
貸出可能台数	2台

問い合わせ先　株式会社エイビス
〒870-0026　大分県大分市金池町 3-3-11
TEL 097-536-0999　MAIL m_kubo@aivs.co.jp
所属部署 介護事業本部　担当者名 久保雅紀

販売開始

2014 年 6 月

販売価格

198,000 円（税込）

機器の仕様

エイビスみまもりシステム

【共通セット】
・情報ボックス、パネルセンサー（マットレスの下に設置）。
【ネットワーク型】
・パソコン みまもり支援システムをセットアップ。ブラウザでベッド一覧やアラーム通知の受信。
・無線ＬＡＮ 携帯端末を持ったスタッフの動線は網羅したエリアが必要。
・スマホ　アンドロイドに専用のアプリをインストールして使用。
・ネットワークカメラ ベッドサイドに設置すれば、アラーム通知時に状況を映像で確認できる。
【ナースコール型】
・ナースコール分配器　アイホン社、ケアコム社、それぞれのコネクタ形状に合わせて用意。
【通報器型】
・簡易型通知装置　無線でアラーム通知時に音でお知らせ。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社エイビス

製品名　**エイビスみまもりシステム**

型　番　AIVS-001-01

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
	専門職の関与	特に必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外、高温多湿なところ ・分解、改造、過負荷、過電流、洗浄
使用上の注意	注意事項	・強い衝撃を与えない。　・水に浸けたり、濡らしたりしない ・ＡＣアダプターのコードに傷をつけない ・たこ足配線などコンセントの定格を超えて使用しない ・濡れた手でＡＣアダプターのプラグの抜き差しはしない ・本製品を使用中に煙が出たり、焦げた匂いがしたときなどは、直ちに使用を止めてプラグをコンセントから抜く ・スプリング式のマットレスの下では使用できない
	安全に利用するための配慮	・利用者の触れないところに設置する ・未使用時の保管は、暗所で濡れたり埃が入らないようにする
	誤報の有無	・センサー感度設定（自動調整）がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・（無線ＬＡＮを利用する場合）電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・意図した設置位置で使用する ・利用者マニュアルに従って使用する
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得するべき ・施設にてオプションのカメラを利用するかどうかについてよく検討し、使用するのであれば運用ルールを定める ・利用者のプライバシーに配慮し、映像は残さない仕様を基本としている ・センサーが認識・通知した時のみ、画像で状況を確認する事が出来る様な仕様になっている
使用方法	使用方法	・使用開始時はパネルセンサーと情報ＢＯＸを設置、電源投入のみ ・アラートの種類：「起き上がり」「離床」「寝返り」「安否確認」
	使用方法（再設定）	・電源の投入時に初期化され、自動設定
	使用環境	・気温 0℃ ～ 40℃ ・湿度 20% ～ 80%以下、但し結露しないこと
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケアまで
	習熟期間	・アラーム検知だけであれば即使用できる
	高齢者に対する安全面の配慮	・高齢者が触れる場所に機器を設置しない ・電源ケーブルは整理する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッドを移動しない
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減（訪室巡視が減らせる）
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（ＰＲ等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設・病院内　居室（個室・多床室）
	設置場所	・センサーはベッドのマットレス等の寝具の下。機器類はベッドの下
	設置方法	・センサーはベッドのマットレス等の寝具の下に置く。機器類はベッドの下に置く。
	サイズ	パネルセンサー：サイズ：600×180×10mm、情報ボックス：110×105×26mm
	形状	センサーはパネル型
	重量（バッテリー含む）	パネルセンサー：1100g、情報ボックス：170g

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	コンセント接続
	使用時の音	無音
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ・ナースコールシステムを介して通知
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得 ・内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	無し
	検知方式（センサー、画像など）	・振動センサーなどで検知
	検知範囲	・ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	・１秒以内　（※通知が届くまではＷｉーＦｉ環境による影響あり）
	最大見守り人数	・上限なし
	必要な通信環境	・無線ＬＡＮもしくは有線ＬＡＮ通信速度 10Mbps/100Mbps） ・ナースコールに接続すれば通信環境は不要
	必要なシステム・設備	・パソコン、スマホ、専用ソフトウェア、ネットワーク機器 ・ナースコールに接続すればＰＣ、ソフト、システム等は不要
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名、検知履歴一覧の表示 ・記録する情報：乗床、寝返り、起き上がり、離床（心拍数・呼吸数はバイタルセンサー接続時） ・記録した利用者の状態及び居室の状況を１日 24 時間分、居室単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能 ・ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能 ・検知状況確認用のカメラとの接続が可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	・アンドロイド端末の充電 ・コントローラ・センサはＡＣアダプターを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとる
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	ご購入後1年間
	修理対応期間	5年間
	耐用年数	約5年間
コスト	本体・付属品の定価	198,000 円（税込）
	設置導入に伴う費用	アラームの通知方式による
	ランニングコスト	無し
	教育研修費	別途相談
オプション	追加できる機能	カメラ、バイタルセンサー
問合せ先	緊急時の問合せ先	090-8222-4823　久保
	デモ・貸出	090-8222-4823　久保

パンフレット等

製品カタログ　https://aivs.co.jp/service/mimamori/

使用方法等の動画　https://youtu.be/rX9gaCTHV_s

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

ミネベアミツミ株式会社

ベッドセンサーシステムベーシック

品番・型番
F21-0071

機器の概要

機器の機能

【機器の特徴】
センサーをベッド脚下に設置することで参考体重測定と離床アラームの２つの機能をシンプルに実現。手のひらサイズのコントローラーで操作ができるため、誰でも簡単にご使用いただけます。
誤報の少ない端座位・離床検知により、ベッドからの転倒転落予防に活用。車いす体重計で体重測定が困難な方・体重管理が日々必要な方に設置することで、体重測定業務の負担軽減にお役立ていただけると考えております。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

お問い合わせください。

試用期間中のサポート

試用開始時の職員様への勉強会や、期間中の不明点への回答、各担当がサポートいたします。

貸出期間	1 日～ 1 週間程度
貸出可能台数	1 台

問い合わせ先　ミネベアミツミ株式会社
〒105-8317　東京都港区東新橋 1-9-3
TEL 0120-288435(平日 9 時～ 17 時)　MAIL bss-sales@minebeamitsumi.com
所属部署 国内営業部 インダストリアルテクノロジーセールス メディカルソリューションセールスユニット　担当者名 田中 洋平

販売開始

令和 3 年 3 月

販売価格

オープン価格

TAIS コード

02024-000001

機器の仕様

ベッドセンサーシステムベーシック

【仕様】
センサーユニット (4 台) ＋ジャンクションボックス (1 台) ＋コントローラー (1 台) でベッド 1 床分の構成。専用ケーブル接続することで、ナースコール連携可能。
設置可能ベッドについては、お問合せ下さい。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　ミネベアミツミ株式会社

製品名　ベッドセンサーシステムベーシック　02024-000001

型　番　F21-0071

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、参考体重測定したい方 【介護者】 ・従来の簡易センサーで対応が難しいと感じている（センサーをよけてしまう等） ・効率よく体重測定業務をしたい
	専門職の関与	・必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止し、電源アダプタを抜いてください。）
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・センサーユニット、コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手や指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない）
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合
	使用上の注意	・センサ - を遮るような物の配置をしない、直射日光の当たる場所に配置しない ・キャスター、固定脚への設置について、正しい位置で使用する
	倫理的の配慮	・基本機能をご説明し、施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	・利用者の体重値を基にアラーム設定し、状況に応じて再設定をする ・ベッドへ臥床時に参考体重測定をする
	使用方法（再設定）	・センサーにベッドを設置し、各コード、ＡＣアダプタを接続し、コントローラで「0」ボタンを押下する ・利用者の状況に応じて、アラーム設定をする
	使用環境	・推奨使用範囲：15 ～ 32℃、40 ～ 70%ＲＨ（結露なきこと） ・一般介護用ベッド（センサーユニットとの干渉がないこと） ・マットレスについて、自動体位変換機能付きエアマット、その他特殊なマットを除いたもの
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・端座位、離床など早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り
	習熟期間	・使いこなせるようになるまで 1 週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する ・利用者が臥床したままセンサーユニットに載せない
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒、転落リスクの低減。定期的な参考体重測定ができる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・訪室等の業務負担軽減。体重測定業務の省略
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、労働環境改善、職場の魅力向上

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・センサーユニット設置時に必要な空間として幅 275mm 以上、長さ 410mm 以上、高さ 35mm 以上
	設置場所	・一般的な居室（多床室、個室）
	設置方法	・センサーユニットを設置する ・ナースコール連携機器（使用する場合のみ）を接続する ・センサーユニットとジャンクションボックスを接続する ・コントローラーとジャンクションボックスを接続する
	サイズ	・センサーユニット：265 mm × 398 mm × 25 mm (突起部を含まず) ・ジャンクションボックス：98 mm × 160 mm × 44 mm（突起部を含まず） ・コントローラー：88 mm × 140 mm × 30 mm（突起部を含まず）
	重量（バッテリー含む）	・約 10kg
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・センサーユニット：2,200g ・ジャンクションボックス：約 240g ・コントローラー：約 400g（ケーブルを含む）
	防水・防塵加工	・無
	検知方式（センサー、画像など）	・荷重センサーで検知
	検知範囲	・ベッド内に体が収まらない場合は不可 ・利用者の体重 30 ～ 150kg の範囲で検知または利用者とベッド総重量合計 80 ～ 400kg の範囲で検知
	反応速度（タイムラグ）	・即時通知
	最大見守り人数	・1 人 / 台
	必要な通信環境	・特になし
	必要なシステム・設備	・特になし
	データの記録機能、有無と内容	・参考体重値については過去 7 回分記録 ・アラーム通知は 100 回分記録
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・機器本体が必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問 ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	・機器が濡れた場合は乾いた布などでふき取る
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	1 年
	修理対応期間	保証期間に準ずる
	耐用年数	約3年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	0120-950-008 受付時間：月～金 9:00 ～ 16:45（ただし、祝祭日および弊社休業日を除く）
	デモ・貸出	0120-288435（平日 9 時～ 17 時）

パンフレット等

製品カタログ　https://pr.minebeamitsumi.com/bedsensorsystem/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=tA9MVOUcClc

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

積水化学工業株式会社

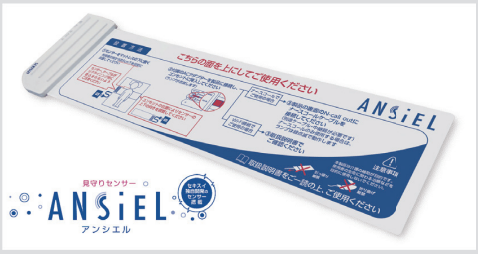
見守りセンサー「ANSIEL」

品番・型番
AS-101

機器の概要

機器の機能

マットレスの下に ANSIEL を設置することで、ナースコール接続（別途接続機器が必要）では３つの状態を（①体動・②起始・③起上）通知します。
Ｗｉ－Ｆｉ環境下では起上り検知と在床管理が可能です。ＰＣ接続によるブラウザ画面、スマホやタブレット用専用アプリにより６つの状態（①入床・②在床・③体動・④起始・⑤起上・⑥不在）に加え、心拍・呼吸および覚醒・浅眠・睡眠の検知が可能です。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

ＡＣ 100 Vの電源が必要です。
ナースコール接続時には、中継器・専用ケーブルなどの接続機器が必要です。
Ｗｉ－Ｆｉ接続時には、①Wi-Fi環境②ＰＣ・スマホ・タブレットの何れかが必要です。
※Ｗｉ－Ｆｉ環境は条件があるため、事前にご確認をお願いします。

試用期間中のサポート

ご要望に応じ、現地での設置サポート、リモートによるサポート等を行います。
また、専任担当者を配置しお電話によるサポートも行います。

貸出期間	2週間程度
貸出可能台数	5台

問い合わせ先 積水化学工業株式会社
東京都港区虎ノ門 2-10-4
TEL 03-6748-6525 MAIL atsushi.wada@sekisui.com
所属部署 開発研究所　SD プロジェクト 担当者名 和田

販売開始

2020 年 2 月

販売価格

オープン

TAIS コード

01962-000001

機器の仕様

見守りセンサー「ANSIEL」

1．使用温度範囲 5 ～ 35° C
2．使用湿度範囲 30 ～ 80%
3．保管温度範囲 0 ～ 40° C
4．保管湿度範囲 10 ～ 80%
5．定格入力電圧 AC100V ～ 240V / 50-60Hz
6．出力電圧 / 電流 DC9V ± 5% / 1.3A
7．Ｗｉ－Ｆｉ規格ＩＥＥＥ 802.11b/g/n（2.4GHz）
8．商品寸法本体:W × D × H=800 × 230 × 22 (mm)
9．ＡＣアダプタ:W × D × H=34 × 45.5 × 24.7 (mm)
10．商品重量本体：590（g）ＡＣアダプタ：80（g）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　積水化学工業株式会社

製品名　**見守りセンサー「ANSIEL」01962-000001**

型　番　AS-101

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒転落リスクのある方 ・認知症の方 ・日常生活動作・危険予兆動作 ・危険動作などの把握を必要とする方 ・徘徊予防の必要な方 【介護者】・従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい方 ・業務の負担軽減をしたい
	専門職の関与	特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：ベッドマットレスや敷布団以外のところ ・センサーを折り曲げない、引っ張らない　センサー及びコード類を傷つけない　センサーに殺虫剤、洗剤などの薬剤を触れさせない　センサーに重量物を置かない　センサーに落下などの強い衝撃を与えない　センサーに布や布団で包んで使用しない　使用温度、湿度範囲外での使用、保管をしない　水につけない　温熱器具に直接接触させない　火の気に近づけない　適合する設置環境、方法以外で使用しない　凹凸な面や柔らかい面に設置しない　裏向きに設置しない　付属のＡＣアダプター以外使用しない　ＡＣ100V以外のコンセントでは使用しない　付属のＡＣアダプターに無理な力を加えない、埃を付着させない　2人以上（ペットも不可）で使用しない　電子レンジなど電波を発生する電化製品や装置を同じ部屋に置かない　USBポートはメンテナンス用のため通常時は使用しない
使用上の注意	注意事項	操作を十分に理解した上で使用する　　利用者に合わせた調整をすること
	安全に利用するための配慮	禁止事項に記載
	誤報の有無	・感度設定、調整がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・センサーの設置位置が適当な場所にされていない場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境により強度が不足している場合
	使用上の注意	・センサー、センサー本体に接続されているケーブルがベッド可動部に挟まれない様注意すること。事故や故障につながるおそれがある。 ・センサー本体に接続されているケーブルがリクライニング時に外れないことを確認すること。 ・利用者の肩より約 5cm 下を目安にセンサー本体が設置されていない場合、適切に通知出来ない可能性がある ・センサー本体の設置位置に注意すること ・設置面が商品の幅より狭い場合は、センサー本体のシート側を余らす形で使用可能だが、環境によっては適切に通知出来ない場合がある
	倫理的の配慮	・施設からご家族様に同意書を取得されることが望ましい。
使用方法	使用方法	①付属のＡＣアダプターをセンサー本体に接続し、コンセントに挿入する ②センサーをマットレスの下に敷く（肩から5cm 下を目安） ナースコール接続（別途接続機器が必要）では3つの状態を（①体動・②起始・③起上）通知。 Ｗｉ－Ｆｉ環境下では起上り検知と在床管理が可能。ＰＣ接続によるブラウザ画面、スマホやタブレット用専用アプリにより6つの状態（①入床・②在床・③体動・④起始・⑤起上・⑥不在）に加え、心拍・呼吸の通知が可能
	使用方法（再設定）	・ＡＣアダプタの接続 ・Ｗｉ－Ｆｉと機器の接続 ・利用者に合わせた体重設定もしくは自動調整を使用した設定
	使用環境	1. 使用温度範囲5～ 35° C　　2. 使用湿度範囲 30 ～ 80% 3. 保管温度範囲0～ 40° C　　4. 保管湿度範囲 10 ～ 80% ナースコールとの有線接続もしくはＷｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケア
	習熟期間	設置位置の把握などで1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・電源コードを目立たないようにする ・電源コードに引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源コードに引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒、転落リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減 ・生活リズムの把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・ベッド上（マットレス下）もしくは敷布団下
	設置場所	・ベッドマットレス等の寝具の下（肩の位置から5cm 程度下に配置）
	設置方法	・ベッドマットレス等の寝具の下に敷く
	サイズ	商品寸法本体：W × D × H= 800 × 230 × 22（mm）
	形状	デバイス部+シート状
	重量（バッテリー含む）	本体重量：590g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣアダプタ：80g
	使用時の音	電源ON時に小さな電子音
	緊急発報の方法	・緊急発報機能なし（機器異常時に点灯ランプが赤く点灯）
	安全性の認証取得	・内部通信モジュールは技適取得 ・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇PSEマーク）取得
	防水・防塵加工	特になし
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（圧電センサー）
	検知範囲	・ベッド上（センサ上）
	反応速度（タイムラグ）	・5秒程度（通知時に通信環境の影響あり）
	最大見守り人数	・1名／台
	必要な通信環境	・ナースコール機器もしくはＷｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルーターが必要）
	必要なシステム・設備	・ナースコールシステムもしくは表示用端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・動作履歴、心拍・呼吸検知履歴のデータ出力
	他の機器との連携・互換性	一部ナースコール、ドア開閉センサー、温湿度センサー
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合時のお問い合わせ対応（本体修理対応など） ・クラウドサーバーの定期メンテナンス、システム改修
	ユーザーによるお手入れ	・表示用端末の充電、メンテナンス
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	製品出荷日より1年間
	修理対応期間	製造後5年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6748-6525
	デモ・貸出	https://www.s-ansiel.com/contact/
	よくある質問（Q&A）	特になし

パンフレット等

製品カタログ　https://www.s-ansiel.com/

取扱説明書　https://www.s-ansiel.com/download/

使用方法等の動画　https://www.s-ansiel.com/movie.php

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社アルコ・イーエックス

ペイシェントウォッチャープラス

品番・型番
PWS-R3L02

機器の概要

機器の機能

ペイシェントウォッチャープラスは、常に利用者を見守り数秒間隔で現在の画像を画面に表示。この画面を適宜観察する事で、お部屋に行かなくても状況を確認できます。また、利用者の動きを音とアイコンでお知らせも可能で、施設のナースコールへ接続すればナースコールからお知らせも可能です。標準装備のＵＳＢメモリでの録画や、オプションでバイタルセンサーや環境センサーを接続する事で、利用者の心拍数・呼吸数、お部屋の温度・湿度・CO2 濃度を計測して異常があればお知らせも可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・本事業における試用貸出に限り、受信機としてご利用いただける端末を1台貸出可能です。
それ以外に施設様のパソコン等を受信機として使用する場合には、インターネットにつながっている必要がございます。

・ソフトバンク株式会社のサービスエリア内にあり、本体を取り付けたい場所の通信状態が良好である事。

問い合わせ先 株式会社アルコ・イーエックス
〒312-0036　茨城県ひたちなか市津田東 4-10-5
TEL 029-275-8072　MAIL alco-ds@alco-ex.jp
所属部署 営業部　担当者名 瀧村

販売開始

2019 年 10 月

販売価格

272,800 円（税込）

TAIS コード

01803-000003

機器の仕様

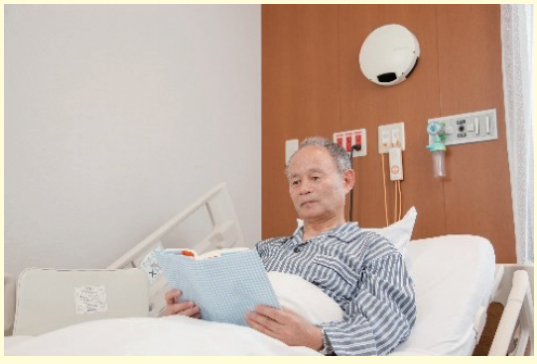
ペイシェントウォッチャープラス

電源：AC100 50/60Hz
消費電力：19W（最大）
外形寸法：直径 250mm ×高さ 75mm
質量：約 840g
設置位置：ベッド頭部側中央、高さ約 1.7m
対応ベッドサイズ：シングルベッド

試用期間中のサポート

お困りの際には電話にてリモート対応したします。
万が一ハードの故障の場合は代替機をご用意して対応いたします。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	2台



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社アルコ・イーエックス

製品名　**ペイシェントウォッチャープラス　01803-000003**

型　番　PWS-R3L02

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方など 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など
	専門職の関与	必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）： 浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他： 分解、改造等
使用上の注意	注意事項	本装置が収集するデータや表示情報は看護や医療の情報としては使用不可
	安全に利用するための配慮	コードの上に物をのせないこと
	誤報の有無	利用者以外の方が近くにいると、その方の動きを検知する場合がある
	使用上の注意	インターネット通信状況や設置環境その他の原因で、お知らせが漏れたり誤ったお知らせをする場合がある
	倫理的の配慮	施設様からご家族様へ同意を得る
使用方法	使用方法	本体の電源を入れて、パソコン等で専用ページのＵＲＬを入れてログインする
	使用方法（再設定）	本体を別の部屋に移動（本体の移動は容易に行える）
	使用環境	5℃～40℃　湿度 80% 以下（但し、結露しないこと）
	使用場面	いつでも様子を見たいときにご確認いただける
	習熟期間	難しい設定はないのですぐにご利用いただける
	高齢者に対する安全面の配慮	コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめたり隠していただく
	介護者に対する安全面の配慮	本体取付方法を遵守していただく
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	安全性向上、眠りの質の向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	無駄な訪室を減らし負担の軽減、精神的なストレス軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	サービス向上、従業員を守る（エビデンス）、人件費削減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内
	設置場所	ベッド頭部側中央、高さ約 1.7m
	設置方法	壁付け・天井ポール設置・専用スタンド
	サイズ	直径 250mm ×高さ 75mm
	形状	円形
	重量（バッテリー含む）	約 840g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	AC100V 50/60Hz
	使用時の音	お知らせ発生時には本体からは音はならない
	緊急発報の方法	パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ
	防水・防塵加工	防塵加工実施済み
	検知方式（センサー、画像など）	画像解析

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	検知範囲	ベッド周辺 30cm 程度
	反応速度（タイムラグ）	約1～3秒程度
	最大見守り人数	上限なし
	必要な通信環境	インターネット回線
	必要なシステム・設備	お知らせを受け取る為の、インターネットが繋がっているパソコンやスマホ等（すでにお持ちの設備をご利用いただける）
	データの記録機能、有無と内容	検知発生を自動で記録。また、録画用メモリを使い録画する事で約4～5日分程度の録画が可能
	他の機器との連携・互換性	無し
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	定期的な稼働状況の確認（リモート）
	ユーザーによるお手入れ	本体カメラ部の清掃
	消耗品の有無	無し
	保証期間	1年間
	修理対応期間	特に定め無し
	耐用年数	約4年
コスト	本体・付属品の定価	272,800 円（税込）
	設置導入に伴う費用	本体設置費用・ＰＣ等の初期設定費（別途お見積もり）
	ランニングコスト	１台当たり月額（税込） ＳＩＭモデル：1,100 円　or　3,300 円 （リアルタイム画像のコマ送り周期間隔によって２プランあり） Ｗｉ－Ｆｉモデル：550 円
	教育研修費	無し
オプション	追加できる機能	ナースコール接続・バイタルセンサー接続・環境センサー接続
問合せ先	緊急時の問合せ先	アルコ・イーエックス　029-275-8072
	デモ・貸出	可能
	よくある質問（Q&A）	Ｗｉ－Ｆｉ環境が必要ですか？　→　本体にＳＩＭが入っているので不要

パンフレット等

製品カタログ　https://www.alco-ex.jp/product_patientwatcher.html

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=lyiD20BxPIQ

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-17 見守り・コミュニケーション

ドーンコーラス合同会社

高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム「もりん2」

品番・型番
MR-S2

機器の概要

機器の機能

ベッド上での入居者の状態（座位、離床、臥床、寝返り）や室温・湿度を検知しスマホやタブレット等に表示
相部屋、個室に対応
検知時間約１秒
呼吸等による微振動も検知
設置・移設が簡単、工事不要（センサーはマットレスの下に置くだけ）
入居者に見えないように設置可能（入居者のストレス軽減）
「心拍数・呼吸数・体動量」をリアルタイムに一覧表示（オプション）
過去データを見やすいようグラフ化して表示

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

お客様にご用意頂くものは特にありません。
タブレットやＷｉ－Ｆｉルーター等も含めて、機器一式を設定済みの状態でお送りします。
お客様ご自身で設置が可能（両面テープで固定したりケーブル接続のみ）です。

試用期間中のサポート

月～金：9:00 ～ 17:00 が原則ですが、土日祝日や定時外でも可能な限り対応致します。
電話・E-mail での対応となります。

貸出期間	約1ヶ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　ドーンコーラス合同会社
〒102-0074　東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5F・KS フロア
TEL 03-6869-4120　MAIL support@dawnchorus.co.jp
担当者名　橋本健一

販売開始

2020 年5月

販売価格

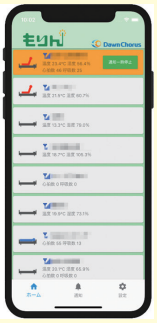
165,000 円（税込）

機器の仕様

高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム

「もりん2」

型番　MR-S 2
電源　ＡＣ 100 Ｖ（50/60 Ｈｚ）
電源電圧　ＤＣ９Ｖ（付属の専用ＡＣアダプタをご使用ください）
消費電力　0.35W
動作可能環境温度　５℃～ 35℃（結露しないこと）
機能　利用者の状態（臥床、座位、離床、寝返り、体動停止）を検知、居室の室温・湿度を計測、離床後の経過時間を計測
無線到達距離　室内 60m。子機から一番近い親機との距離、または子機と子機との距離の目安です。
もりんは子機同士が数珠つなぎになるので、実際は親機が 60m 以上離れていても到達する可能性が高いです。
搭載センサー、素子　高精度校正済温度・湿度センサー×１個
独自開発微振動検知センサー x ２個
温度測定可能範囲　-10 ～ 85℃　精度 ± 0.4℃
湿度測定可能範囲　０～ 80%　精度 ± 4 %
外部端子　振動センサー用端子 x ２個、ナースコールユニット・バイタルセンサー２兼用端子 x １個
外形寸法（mm）
本体　幅 150 x 奥行 58 x 高さ 180（突起物含む）
振動センサー（１個）　幅 80 x 奥行 45 x 高さ 22.5（突起物含む）
質量　本体 187g
振動センサー（１個）42g



機器の使用場面

製　品

メーカー名　ドーンコーラス合同会社

製品名　**高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム「もりん 2」**

型　番　MR-S2

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、訪室の回数を減らしたい、利用者の排泄の失敗を減らしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方、利用者の風邪・熱中症予防をしたい、利用者のご家族への説明参考資料や介護サービスの改善をしたい
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、改変
使用上の注意	注意事項	絶対に分解・改造・修理をしない 絶対に未使用（将来の拡張用）端子には他の機器等を接続しない 親機や子機の内部に、異物を入れたり差し込んだりしない 屋外で使わない 湿気の多いところや水気のあるところで使わない ぬれた手でさわらない。液体でぬらさない 高温になるところで使わない 電源やＡＣアダプタ、電源プラグ・コードについて 　付属のＡＣアダプタ以外のものは使わない 　束ねたり折り曲げたり重いものを乗せたりしない。傷んだものは使わない 　引っ張らない。コードを持って抜かない 　ぬれた手でさわらない 　プラグやコンセントの差し込みが緩いときは使わない 子機の設置について（壁への取りつけ） 　設置した子機につかまったり、無理な力や体重をかけたりしない
	安全に利用するための配慮	異常を感じた時は直ちにＡＣアダプタをコンセントから抜き使用を中止する 親機や子機やＡＣアダプタが破損したときは、ただちに使用を中止する 落雷の恐れがあるときや雷の発生時には、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて使用を中断する 電源やＡＣアダプタ、電源プラグ・コードについて 　交流 100V のコンセントを使う 　ＡＣアダプタの電源プラグの刃および、刃の取り付け面に付着したほこりは、乾いた布でよく拭きとる 　システムは、スタッフの業務の支援のために利用する。不具合発生時などに重大な事故につながる可能性がある 子機の設置について 　手順にしたがいしっかりとおこなう 　設置方法及び運用には、利用者の状況を考慮し、充分に注意をはらう 親機と子機の取り扱いについて 　親機や子機に無理な力を加えない。センサーがはずれたり故障の原因になる つぎのような場所で使ったり保管しない。故障の原因になる 　湿気の多いところや水気のあるところ 　直射日光があたるところ 　衝撃や振動が加わるところ
	誤報の有無	センサーが正しい位置に設置できてない場合 機器の接続が正しくできてない場合
	使用上の注意	センサーは正しい位置に設置する シーツ交換等でマットレスをめくった場合は、確認ＬＥＤが点滅するまで（1～10 分程度）ベッドには触れない
	倫理的の配慮	プライバシーに配慮し、カメラ等の画像による判定は行っていない 視界に入る機器等が気になる障害をお持ちの方に配慮し、センサーや子機を隠せる（利用者から見えないように設置できる）構造になっている
使用方法	使用方法	もりん画面は3種類。「ホーム画面かんたん表示」、「ホーム画面詳細表示」、「生活記録画面」 座位で通知 利用者が座位になった時点で通知 ベッドから降りて歩き始めてしまう前に、早めに気づくことが可能 離床で通知 利用者がベッドから降りた場合に通知 介助無しに1人で歩くことはできるけれど徘徊の心配があるときや、特に夜間に長い時間ベッドから離れたら通知がほしいときなどに使用 体動停止で通知（詳細表示のみ） 利用者がベッド上にいる状態で体動が停止した、もしくは振動センサーで検知できないレベルまで体動が小さくなった場合に通知。※ 離床した場合は、体動停止として認識しない 心拍数で通知（詳細表示のみ、バイタルセンサーを接続した場合に可能） 室温で通知（詳細表示のみ） 「生活記録画面」 居室での状態（臥床、寝返り、座位、離床）、室温・湿度などは、すべて1分ごとに保存
	使用方法（再設定）	子機移動による再設定等の作業は特に不要。
	使用環境	動作可能環境温度 5℃～35℃ ※結露しないこと 子機の設置場所は任意（利用者から見えない位置に設置可能） Ｗｉ－Ｆｉ環境は任意（タブレットやスマホを居室で使用したい場合のみ）
	使用場面	・利用者の異常を素早く検知（座位や離床検知から通知まで約１秒）し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒、転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケア ・看取りケア（呼吸停止、体動停止） ・居室の室温や湿度をスタッフルームで把握したい場合 ・直射日光の当たる居室で使用したい場合 ・センサーマットをまたいでしまう利用者を見守りたい場合 ・臥床中に手や足を上げる利用者を見守りたい場合 ・頻繁にベッドを移動したり高さを調整したりする場合（ベッド移動、高さ変更での調整不要） ・頻繁にセンサーを居室間で移動した場合（移設がかんたん） ・Ｗｉ－Ｆｉ環境がない施設で使用したい場合（Ｗｉ－Ｆｉは必須ではない） ・機器購入後、毎月の保守費用やクラウド使用料の支払い等を避けたい場合
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで数日～数週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・高齢者が触れる場所に子機を設置しない（ベッド下など見えない場所に子機を設置する） ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する

製品情報

	項 目	内 容
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、徘徊の早期発見、眠りの質の向上、排泄の失敗削減、介護サービスの向上、風邪・熱中症予防
	機器を使用することで実現する介護者への効果	排泄の失敗削減、夜間の訪室回数削減、夜間介護時の精神的負担軽減、職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）、離職率低減、利用者が万が一亡くなった場合のご家族への早期連絡、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内居室（個室・多床室）
	設置場所	親機：スタッフルーム 子機と振動センサー：利用者のベッド（センサーはマットレスの下）
	設置方法	振動センサー：マットレスの下へ両面テープで固定 子機：ベッドのヘッドボード等へフックで吊り下げ、またはベッド下に結束バンド等で固定など
	サイズ	振動センサー 幅 80mm x奥行 45mm x高さ 22.5mm（突起物含む） 子機本体 幅 150mm x奥行 58mm x高さ 180mm（突起物含む）
	形状	写真参照
	重量（バッテリー含む）	質量　本体 187g 振動センサー（1個）42g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣアダプタ
	使用時の音	無音、通知の時は「ポーン」という通知音
	緊急発報の方法	パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ナースコールシステムを介して通知もオプションで可能
	安全性の認証取得	ＡＣアダプタは『特定電気用品』用の認証（◇PSEマーク）取得 内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	独自開発の振動センサーで検知
	検知範囲	ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	約1秒以内（座位、臥床、離床、寝返り）
	最大見守り人数	親機1台あたり 20 名 1人 / 台
	必要な通信環境	親機と子機は独自のメッシュネットワークで接続するため特に通信環境は不要 （スマホやタブレットを居室へ携帯したい場合はＷｉ－Ｆｉ環境必要）
	必要なシステム・設備	■施設にＷｉ－Ｆｉネットワークが無い、または独立して運用する場合 スタッフルームのみでの閲覧前提：タブレットまたはＰＣが１台以上、Ｗｉ－Ｆｉルーターが１台 ■施設にＷｉ－Ｆｉネットワークが導入済みで接続可能な場合 スタッフルームのみで閲覧する場合：タブレットまたはＰＣが１台以上 更にスタッフがスマホを携帯する場合：スマホが必要台数 ■ナースコール連動（オプション）が必要な場合はナースコールシステム
	データの記録機能、有無と内容	データの記録機能有り １分毎に記録した利用者の状態及び居室の状況を１日 24 時間分、居室単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能 １分毎に記録する情報：臥床、寝返り、座位、離床、室温、湿度、電波圏内・圏外、電波強度（心拍数・呼吸数・体動量はバイタルセンサー接続時） ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	ナースコールと連動可能 ＲＥＳＴ ＡＰＩにより各居室のセンサーの状態取得や通知条件の設定が可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不要
	ユーザーによるお手入れ	親機・子機が汚れた場合は、電源を切り、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとる
	消耗品の有無	無し
	保証期間	購入後1年
	修理対応期間	5年
コスト	本体・付属品の定価	子機 MR-S 2 ¥150,000（税込） 親機 MR-M 1 ¥140,000（税込） バイタルセンサー2 MRP-V 2 ¥80,000（税込） ナースコールユニット MRP-N 1 ¥40,000（税込） 中継機 MRP-T 1 ¥40,000（税込）
	設置導入に伴う費用	別途見積（お客様ご自身で設置できるようになっている）
	ランニングコスト	発生しない（保守料、クラウド使用料等は不要）
	教育研修費	無料（出張費用は別途発生）
オプション	追加できる機能	バイタルセンサーによる心拍数、呼吸数、体動量の検知・通知 ナースコールとの連携、ナースコール端末（ＰＨＳ等）のみでの運用機能
問合せ先	緊急時の問合せ先	購入されたお客様、デモ機をご利用のお客様には携帯電話番号をお知らせ
	デモ・貸出	デモ機をご用意している（無料）。デモ機セットにはタブレットやＷｉ－Ｆｉルーターなどが含まれ、すべて設定済みでお貸ししている。お客様ご自身で、箱を空けてから 30 分～１時間程度でデモ機のお試しを開始可能。 約１ヶ月間、無料でお試し可能
	よくある質問（Q&A）	弊社ホームページを参照

パンフレット等

製品カタログ　https://dawnchorus.co.jp

取扱説明書　**デモ機をご利用のお客様、製品購入のお客様にご提供しております。**

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

テクノホライゾン株式会社

睡眠見守りシステム　みまもり～ふ

品番・型番
CS-1000/CS-2000

機器の概要

機器の機能

■見守り
離れた場所から利用者の在床／離床、睡眠状態を確認できます。

■睡眠の深さまで解析
睡眠時の体動、呼吸、心拍から睡眠の深さを解析します。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

電源：AC100V（50/60Hz）電源供給
通信環境：Ｗｉ－Ｆｉ環境がなくとも、モバイルルーターの同時貸出しにより、近距離であれば一時的に試用可能。

試用期間中のサポート

現地での設置、操作説明。
試用期間中の問い合わせ対応。
現場業務への導入相談。

貸出期間	2 週間前後
貸出可能台数	2 台

問い合わせ先　テクノホライゾン株式会社
〒457-0078　愛知県名古屋市南区塩屋町一丁目3番地4
TEL 052−811−5261　MAIL mimamoleaf-sales@th-grp.jp
所属部署 ELMO ジャパン事業本部　営業統括 2 部　担当者名 間瀬英男

販売開始

2019 年 12 月

販売価格

オープン価格

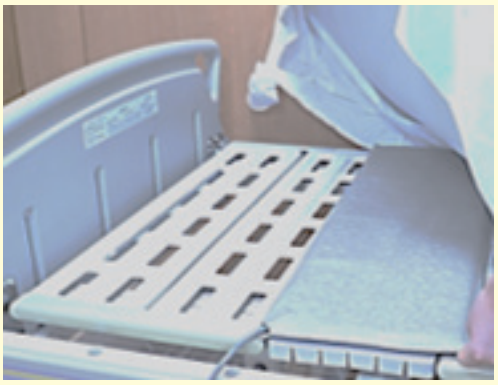
TAIS コード

02000-000001（CS-1000）
02000-000002（CS-2000）

機器の仕様

睡眠見守りシステム　みまもり〜ふ

○ CS-1000（有線 LAN 接続モデル）
コアユニット：サイズ 105 × 25 × 105mm, 重量 82g
センサーマット：サイズ 760 × 15 × 180mm, 重量 232g
○ CS-2000（W i − F i 接続モデル）
コアユニット：サイズ 105 × 25 × 105mm, 重量 82g
センサーマット小：サイズ 760 × 15 × 180mm, 重量 232g
センサーマット大：サイズ 830 × 19 × 285mm, 重量 500g



機器の使用場面

製　品

メーカー名　テクノホライゾン株式会社

製品名　睡眠見守りシステム　みまもり~ふ　02000-000001（CS-1000）、02000-000002（CS-2000）

型　番　CS-1000/CS-2000

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・夜間の見守りが必要な方、認知症の方、徘徊予防の必要な方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内など高温多湿なところ、屋外
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない
	安全に利用するための配慮	・通電状態では電源アダプタの端子に手や指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・設置もしくは移設時のセンサ感度調整がうまくできていない場合 ・（失報）無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・心拍および呼吸音が伝わりやすいように胸の下の位置で使用する ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信するため、端末を利用する際に電波が安定して届く場所に設置する ・コアユニットの水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・サーバーＰＣの電源が抜けないようにする
	倫理的の配慮	・利用停止後、記録を破棄する ・オプションのクラウドカメラを利用する場合には、本人、家族の同意書を得るよう運用上のアドバイスをしている
使用方法	使用方法	通知の種類：「離床」「心拍・呼吸の異常」「システム不通」
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続する ・ＰＣのアプリを起動する ・コアユニットのリセットボタンにてしきい値（センサ感度）を再設定
	使用環境	・ベッドを利用 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・心拍、呼吸異常がある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア
	習熟期間	・操作説明後すぐにご利用可
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、睡眠の把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	使用場所：介護施設・病院内居室（個室・多床室）、在宅介護現場 通信が届くエリア
	設置場所	・コアユニット：ベッド側面、壁もしくは床 ・センサーマット：ベッドのマットレスの下
	設置方法	・コアユニット：両面テープで固定、もしくは背面の壁掛けねじ用のフック穴にて設置 ・センサーマット：ベッドのマットレスの下、胸の辺りに敷く
	サイズ	○CS−1000（有線LAN接続モデル） コアユニット：サイズ 105×25×105mm センサーマット：サイズ 760×15×180mm ○CS−2000（Ｗｉ－Ｆｉ接続モデル） コアユニット：サイズ 105×25×105mm センサーマット小：サイズ 760×15×180mm センサーマット大：サイズ 830×19×285mm
	形状	コアユニット：手のひら大の箱型 センサーマット：シート状

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	重量（バッテリー含む）	○CS−1000（有線LAN接続モデル） コアユニット：82g センサーマット：232g ○CS−2000（Ｗｉ－Ｆｉ接続モデル） コアユニット：82g センサーマット小：232g センサーマット大：500g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	コアユニット
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	・スマホ・タブレット等へ音のお知らせ（プッシュ通知、メール通知）
	安全性の認証取得	・医療機器届出番号取得 23B2X10051000001（CS−1000） 23B2X10051000002（CS−2000）
	防水・防塵加工	浴室など湿気の異常に高い場所では使用しない。センサーマットが汚れた場合には中性洗剤などで拭き取り、乾燥させる
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（マイクセンサー、圧力検知センサー）
	検知範囲	・在床時
	反応速度（タイムラグ）	・離床検知3秒〜5秒（※通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり）
	最大見守り人数	・1ベッド1センサー ・サーバ用パソコン1台にて100台
	必要な通信環境	・CS−1000：有線ＬＡＮ ・CS−2000：無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHzのみの対応となる ・プッシュ通知、メール通知にはインタネット環境が必要
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等） ・専用ソフトウェア
	データの記録機能、有無と内容	・検知項目：心拍、呼吸、離床、起き上がり、睡眠、覚醒 ・検知状態：覚醒、浅睡眠、深睡眠、REM睡眠、睡眠評価、離床回数、無呼吸回数、ゆらぎ健康度 ・記録再生可能
	他の機器との連携・互換性	・一部ナースコールと連動可能 ・一部介護記録ソフトとの連携可能 ・検知・通知状況確認用のカメラとの接続が可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	・端末の充電・ホコリの除去
	消耗品の有無	マット（経時劣化により検知に影響ある場合は交換）
	保証期間	納品設置後1年
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	ランニングコスト	クラウドサーバで管理する場合は月々のクラウド利用料の支払
	教育研修費	特になし
オプション	追加できる機能	クラウドカメラと連携
問合せ先	緊急時の問合せ先	テクノホライゾン株式会社　ＥＬＭＯジャパン事業本部　営業統括2部052−811−5261
	デモ・貸出	可能
	よくある質問（Q＆A）	Q1：寝具の厚さに制限はあるか? A：厚さ20cm 未満のマットレスを使用のこと Q3：機器の耐久温度は?何度まで使用可能でか? A：推奨使用温度は10〜40℃で、最大許容温度は50℃になる

パンフレット等

製品カタログ　https://www.technohorizon.co.jp/lp/cs-1000/index.html

取扱説明書　https://www.technohorizon.co.jp/lp/cs-1000/index.html

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=1oJ-hgTQdAQ

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ユタカ電子製作所

VitalVoice オンライン自動モニタリングシステム ※旧つながるくん

品番・型番

VX-2

機器の概要

機器の機能

利用者は弊社開発のバイタルウォッチを装着いただくだけで 24 時間自動モニタリングを行い「①脈拍」「②血圧」(参考値)「③酸素濃度」「※④体温（参考値)」を 2 分毎に自動計測可能
計測したバイタルデータは人数制限なく、施設の管理ＰＣへデータが集約され、覚醒や各種バイタル異常を検知した場合は音声アラートと表示で通知を行う事ができます。
※④は 4 分毎に計測
※上記は施設版で在宅版とは仕様が異なります

機器の写真（中央）

機器の貸出

必須環境・推奨環境

弊社機器のご利用には、以下が必要となります。
①インターネット環境（ご利用になる居室へのＷｉ－Ｆｉ又は LAN の整備が整っていること)
※ご利用中のルーターに同時接続台数 11 台以上の空きが必要となります。
②ＰＣ（画面の解像度がＦｕｌｌ－ＨＤ以上のもの、単独での使用が望ましい）

試用期間中のサポート

機器の設定や使用方法等試用期間中にご不明な点がございましたら、以下の宛先にご連絡ください

貸出期間	2 週間程度
貸出可能台数	最大 10 組

問い合わせ先　（株）バイタルヴォイスマーケティング
〒719-1161　岡山県総社市宿 345
TEL 0866-31-5775（平日 9:00-18:00 に限る）　MAIL support@vitalvoice.jp
所属部署　営業部　担当者名　行田（ユキダ）/ 木原

販売開始

2022 年 8 月

販売価格

1 組 /275,000 円

TAIS コード

02031-000001

機器の仕様

VitalVoice オンライン自動モニタリングシステム ※旧つながるくん

①バイタルウォッチ（光学式 / 赤外線センサ搭載）→
　利用者が装着
②専用送受信機（ゲートウェイ）→
　利用者の居室へ設置（給電は 100V）
③管理用ＰＣ（施設手配）→
　専用アプリケーションにて操作
＜通信経路＞
　①バイタルウォッチから②専用送受信機
　　無線（ブルートゥース）接続
　②専用送受信機から③管理用ＰＣ
　　Ｗｉ－Ｆｉ又は有線 LAN 接続

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ユタカ電子製作所

製品名　VitalVoice オンライン自動モニタリングシステム　※旧つながるくん　02031-000001

型　番　VX-2

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など
	専門職の関与	特にございませんが、バイタルデータへの知識がある方の方が望ましい
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：専用送受信機の設置場所は利用者居室のみとなり、水回り高温多湿を避けた場所でご利用ください ・装着者の身体状況：装着者に極度の褥瘡等がある方
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点：ベルトによる締め付けに問題のある方 ・その他注意点： <バイタルウォッチ> 腕または足首等皮膚の露出がある場所での測定が可能ですが、血液がサラサラになるお薬等を服薬の場合は内出血を起こす場合がある <専用送受信機> ・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止しする。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜くこと
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点： <バイタルウォッチ> 防塵防水規格であるＩＰ 67 を取得しており日常生活では特に制限なくご利用いただけますが、入浴時はお湯で膨張する可能性があるため取り外すことを推奨している <専用送受信機> 水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	<バイタルウォッチ> ・必ずご利用前にカフ式血圧計等で計測した血圧（上下）と脈拍の安定値をキャリブレーション（校正）として入力してからご利用する。キャリブレーションを行わずに測定したバイタルデータは誤差が生じる可能性がある ・ウォッチ装着時に大きく隙間が出来た状態では正しく測定できない場合がある ・施設通信環境（無線Ｗｉ－Ｆｉ）の電波強度や居室環境によって通信がうまく行えない場合がある
	使用上の注意	・センサを遮るような物の配置をしない、直射日光の当たる場所に配置しない ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・サーバーＰＣ及び専用送受信機の電源が抜けないようにする ・バイタルウォッチのバッテリーを定期的に充電する
	倫理的の配慮	利用者のプライバシーに関する情報収集・活用に関しては事前に重要事項説明書及び同意書を取得させていただいた上で、データを暗号化し管理する
使用方法	使用方法	<初期設定> ・バイタルウォッチの充電及びキャリブレーション設定 ・専用送受信機および管理ＰＣの各種設定及びネットワーク調整 <アラートの種類> ・脈拍（上下）異常、酸素濃度異常、体温異常、心肺停止検知、覚醒検知、バッテリー低下検知、通信異常検知
	使用方法（再設定）	・必要に応じバイタルウォッチのキャリブレーション再設定を行う ・必要に応じ管理用ＰＣのアラートに関する閾値及び計測時間を調整
	使用環境	・気温 0℃～ 40℃ ・湿度 20 ～ 80% 以下（但し、結露しないこと） ・Ｗｉ－Ｆｉ (2.4Ghz) 又は有線LAN環境 ・管理用アプリケーション：Windows7 ～ 11 ・管理ＰＣモニター解像度：Ｆｕｌｌ－ＨＤのみ対応 ・ルーターの同時接続台数：使用台数＋１の空きが必要
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア ・複数名の方を一括して見守りしたい場合
	習熟期間	利用者によっては 24 時間ウォッチを装着する事に違和感がある方もいらっしゃいますので、習熟には 1 週間程度必要な場合がある
	高齢者に対する安全面の配慮	<専用送受信機> ・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	<管理用ＰＣ> ・常にＡＣアダプターより給電し使用すること ・アプリケーションおよびＰＣの電源を切らないこと
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク軽減、また重症化を未然に防止
	機器を使用することで実現する介護者への効果	介護従事者の労務軽減、感染リスク軽減、看取り、バイタルチェック自動化
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR 等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	使用場所：屋内、介護施設・病院内　居室（個室・多床室）、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア
	設置場所	<専用送受信機> Ｗｉ－Ｆｉ通信又は有線 LAN、及び 100V 電源を備えた居室 <管理用ＰＣ> Ｗｉ－Ｆｉ通信または有線 LAN、及び 100V 電源を施設の事務所等
	設置方法	<専用送受信機> 専用フックによる壁掛け、金属部分へのマグネット設置、水平な場所への平置き
	サイズ	バイタルウォッチ：幅 37mm ×奥行 13mm ×高さ 50mm 専用送受信機　：幅 205mm ×奥行 50mm ×高さ 125mm
	形状	バイタルウォッチ：時計型センサ 専用送受式　　：名刺サイズの箱型（送受信アンテナあり）
	重量（バッテリー含む）	バイタルウォッチ：36g（バッテリー含む） 専用送受信機　：350g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	バイタルウォッチ：リチウムイオンバッテリー　充電 100V/2A 以内 専用送受信機　：AC85 ～ 240V
	使用時の音	専用送受信機：ブザー機能あり（任意設定可能） 管理用ＰＣ　：テキストメッセージ及び音声メッセージ通知（任意設定可能）
	緊急発報の方法	バイタル異常及び覚醒検知時はネットワークを通じ管理ＰＣへアラートをテキストと音声メッセージで通知
	安全性の認証取得	規格に基づいた電波であり、総務省の技術認定適合証明を取得する 工事設計認証番号 217-210234
	防水・防塵加工	防水加工あり：防水性能ＩＰＸ７取得 防塵加工あり：防塵性能ＩＰ６Ｘ取得
	検知方式（センサー、画像など）	<バイタルウォッチ> 脈拍　　：青色 LED による光学式測定 血圧　　：取得した脈拍データを解析し計算式で算出 酸素濃度：赤色 LED による光学式測定 体温　　：赤外線検知による測定
	検知範囲	<バイタルウォッチ> ・手首、足首等、体表面の露出がある箇所でウォッチバンドが固定できる箇所 ・ウォッチバンドは過度の隙間がない事が前提
	反応速度（タイムラグ）	・２分毎に最新の4バイタル数値、バッテリー残量を転送 ・アラート及び脱着判定については即時通知
	最大見守り人数	上限なし（但し施設通信環境及びルーター性能により制限あり）
	必要な通信環境	・利用者居室へのＷｉ－Ｆｉ（安定した電波）又は有線 LAN ネットワーク環境 ・ご利用中のルーターＩＰアドレス空き（ルーター同時接続台数の空きは、DHCP 接続でご利用製品組数+1 個が必要。例：30 台導入の場合、31 個のＩＰアドレスを使用する） ・Ｗｉ－Ｆｉは 2.4GHz のみ対応
	必要なシステム・設備	<弊社手配> ・専用アプリケーションソフト、バイタルウォッチ、専用送受信機 <施設様手配> ・管理用ＰＣ（Windows7-11 の OS を搭載した画面解像度ＦｕｌｌーHD以上搭載機）　※単独使用が望ましい ・タブレット端末（スマホ）※ご利用を希望される場合のみ
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサーＩＤ・利用者名 ・個々の検知履歴一覧表示・エクスポート可能 ・２分毎に記録する情報：脈拍（上下）、血圧（上下）、酸素濃度 ・４分毎に記録する情報：体温　※全てバイタルウォッチ装着時 ・２分毎、４分毎に記録した利用者の状態を毎日 24 時間分記録、利用者単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能 ・バイタル異常検知した時刻、状態、処置対応を記録可能 ・覚醒を検知した時刻、処置対応を記録可能 ・保存期間は管理用ＰＣの記録容量による（増設も可能） ・各種 CSV ファイルのデータエクスポート機能有り ・4バイタルのグラフ等画像、印刷出力機能あり（範囲は任意指定） ・利用者単位のバイタルチェック（朝、昼、夕）を4バイタル自動記録、１週間分まとめて出力可能（過去データ含む）
	他の機器との連携・互換性	予定あり（他社介護記録ソフトとの API 連携に向け調整中）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問 ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・バイタルウォッチの充電（１週間に１度、20 分程度） ・バイタルウォッチ本体の清掃（清掃用アルコール塗布した布で拭き取り） ・専用送受信機ホコリの除去
	消耗品の有無	バイタルウォッチ：内蔵バッテリー、バンド
	保証期間	レンタル期間中継続
	修理対応期間	レンタル期間中対応（故意による破損等除く）
	耐用年数	約５年
コスト	本体・付属品の定価	■レンタル：1セット　16,500 円 / 月（管理用ＰＣ除く） ■販売：1セット 275,000 円（初期設定・設置費用は別途お見積もり）
	設置導入に伴う費用	上記定価×利用者数に応じ別途お見積もり
	ランニングコスト	■レンタル：レンタル価格に含む　■販売：1セット 2,750 円 / 月
	教育研修費	それぞれの価格に含む
オプション 問合せ先	追加できる機能	複数端末によるリモート接続
	緊急時の問合せ先	①株式会社バイタルヴォイスマーケティング　TEL:0866-31-5775（平日 9:00-18:00 に限る） ②ＶＶ カスタマーサポート　E-mail：support@vitalvoice.jp
	デモ・貸出	有り（期間：2 週間程度、台数最大 10 セット）　※数に限りがるため事前予約制

パンフレット等

製品カタログ　https://vitalvoice.jp/products/

使用方法等の動画　https://youtu.be/2ohiD4h-zHM

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-20 見守り・コミュニケーション

株式会社シンセイコーポレーション

Care-Top

品番・型番

CT-001

機器の概要

機器の機能

Care-Top はＡＩ機能が搭載されており、介護施設スタッフの業務負担軽減と質の向上に繋がるようにベッド利用者の状態がリアルタイムで管理・運用が可能です。異常が出た時は、ＰＣおよびスマートフォンでアラート通知される為、介護する方とベッド利用者の安心と安全をサポートします。

コントローラー　センサー

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

アクセス可能なＷｉ－Ｆｉ環境をご用意ください。
管理画面閲覧用のＰＣ、設定用のスマートフォンをご用意ください。

試用期間中のサポート

オンラインによる設置・設定支援。
各種アドバイス

貸出期間	2週間前後～延長可
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社シンセイコーポレーション
兵庫県姫路市豊沢町 111 シンセイビル
TEL 079-286-8640 MAIL yamagishi@shinseicorp.com
所属部署 営業本部営業第 2 部 担当者名 山岸

販売開始

2020 年 4 月

販売価格

オープン価格

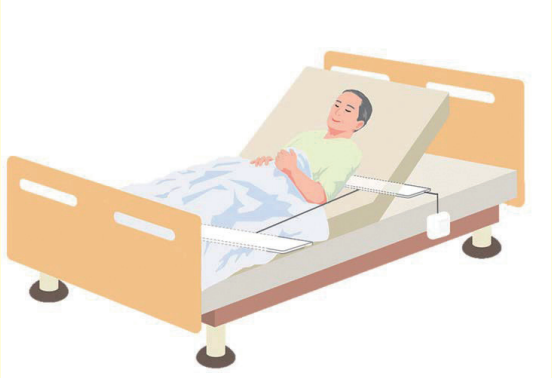
TAIS コード

01987-000001

機器の仕様

Care-Top

使用場所：居室内
設置場所：マットレス下
設置方法：マジックバンドでセンサー、コントローラー固定
1) センサー仕様
サイズ：400 × 70 × 8（mm）
重量：約 230g
材料：ＰＣ＋ＡＢＳ
ケーブル：長さ 1.5m（Mini USB）
2) コントローラー仕様
サイズ：115 × 115 × 32（mm）
重量：約 180g
材質：ＡＢＳ
Ｗｉ－Ｆｉ：2.4GHz 規格 IEEE 802.11b/g/n
温度・湿度センサー搭載
給電：ＡＣアダプタ 5V/1.5A



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社シンセイコーポレーション

製品名　Care-Top　01987-000001

型　番　CT-001

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、徘徊予防の必要な方、看取りの方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい方 ・夜間の巡視効率化やケアの質の向上を希望されている方 ・業務の負担軽減をしたい方 ・費用面で設備更新や導入に悩まれている方
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・浴室内、高温・多湿になる場所への設置 ・屋外への設置 ・お客様による修理、分解、改造
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプタへ無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、異臭がする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止する（電源をオフにし、その後電源アダプタを抜く）
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・指定する設置条件や設置方法以外での使用は行わない
	誤報の有無	・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・正しい設置位置（ベッド上部から 50cm ～ 60cm の位置）で使用する ・スプリング式のベッドでは使用しない ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内で使用する（電波の届く場所にて使用する） ・水濡れに注意する（故障の原因となる） ・サーバーＰＣの電源が抜けないようにする
使用方法	使用方法	・見守り時の基本ステップ：ステーションからの端末確認、アラートの内容等をふまえ訪室 ・アラートの種類：起き上がり、覚醒、離床、頻繁体動、体動なし、心拍、呼吸、無呼吸
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続 ・必要に応じ、利用者、ベッド、センサーの紐付け設定
	使用環境	・気温 0℃～ 40℃　・湿度 15% ～ 70%（但し、結露しないこと） ・マットレス下に正しい設置位置で使用 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・転倒・転落や徘徊のリスクを軽減したい場合 ・夜勤時の訪室頻度削減等業務負荷や効率化を進めたい場合 ・ケアの質向上を図りたい場合
	習熟期間	設置位置の把握などで 1 週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・電源コードを目立たないようにする ・電源コードに引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない（電源ケーブルが断線する可能性がある為） ・電源コードに引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒・転落のリスク低減 ・眠りの質の向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り ・生活リズムの把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減　・ケアの質の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	ベッド上（マットレス下）
	設置場所	ベッドマットレス等の寝具の下（ベッド上部から 50cm ～ 60 cmの位置）
	設置方法	ベッドマットレス等の寝具の下に敷く

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	サイズ	・センサー寸法：400×70×8（mm） ・コントローラー寸法：115×115×32（mm）
	重量（バッテリー含む）	センサー重量：230g・コントローラー重量：180g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣ 100V 電源
	使用時の音	アラート通知の際に電子音
	緊急発報の方法	緊急発報機能なし（機器異常時に LED ランプが赤く点灯）
	安全性の認証取得	・TELEC 準拠 ・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得
	防水・防塵加工	特になし
	検知方式（センサー、画像など）	圧電センサー・重力センサー
	検知範囲	ベッド上（センサー上付近まで対応可）
	反応速度（タイムラグ）	・覚醒、離床検知：5 秒以内　・心拍、呼吸値：20 秒～ 60 秒以内 （※Ｗｉ－Ｆｉ環境による影響あり）
	最大見守り人数	1名 / 台
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ環境（周波数 2.4GHz/ 規格 IEEE802.11b/g/n）
	必要なシステム・設備	表示用端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時、検知項目、検知状態、ルーム名、検知履歴一覧の表示 ・記録する情報：離床、覚醒、起き上がり、離床、心拍数、呼吸数、温度、湿度など ・記録した利用者の状態及び居室の状況を 24 時間分、居室単位でグラフ化 して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能 ・ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	・一部のナースコールと連合可能 ・一部の介護記録ソフトとの連携可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（クラウドサーバーの場合はリモート対応） ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合、現地作業でなければ解消が難しい不具合発生時に訪問 ・日常的な不具合は、電話にて対応。必要に応じ、現地で不具合の確認、適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を実施 ・サーバーの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	コントローラ・センサはＡＣアダプタを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭きとる
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	原則購入後 1 年間
	修理対応期間	特になし
	耐用年数	約 5 年（使用状況による）
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	特になし
	ランニングコスト	別途相談
	教育研修費	別途相談
オプション	追加できる機能	特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	079-286-8640 山岸
	デモ・貸出	079-286-8640 山岸
	よくある質問（Q&A）	マニュアル参照

パンフレット等

製品カタログ　https://care-top.shinseicorp.com/care-top_catalog.pdf

取扱説明書　https://care-top.shinseicorp.com/manual/care-top_manual.pdf

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

バイオシルバー

aams. 介護

品番・型番
B018-AAMSKS

機器の概要

機器の機能

・利用者の心拍、呼吸、体動、離床の状態をリアルタイムで確認
・利用者の睡眠状態を 3 段階で表示
・異変発生時はアラートでお知らせ
・利用者の起き上がりのお知らせ（オプションセンサー使用時）
・睡眠状態、離着床、アラート履歴の記録（30 日分）の閲覧、帳票出力

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

稼働できる環境を作るアクセスポイントもセットに含めて貸し出しますので、特に制限はありません。施設側で稼動をしているＷｉ－Ｆｉが設置されているのであれば、そのＷｉ－Ｆｉを使ってお試しいただくことも可能です。

試用期間中のサポート

平日 10：00 ～ 17：00 まで、弊社お客様窓口にてお電話対応を承ります。
（お電話でのお問い合わせをお願いいたします）

問い合わせ先　バイオシルバー
大阪府大阪市中央区内本町 2-3-8　ダイアパレスビル本町 609 号
TEL 06-6910-7016　MAIL e.nishijima@biosilver.co.jp
所属部署　営業部　担当者名　西嶋

販売開始

2019 年 2 月

販売価格

オープン価格
参考価格（税込）：195,800 円

TAIS コード

01332-000042

機器の仕様

aams. 介護

センサー本体マット部サイズ：
　幅 760 ×奥行 550 ×高さ 12mm
センサー本体ユニット部サイズ：
　幅 115 ×奥行 25 ×高さ 161.5mm
分配器サイズ：幅 49 ×奥行 85 ×高さ 31.5mm
センサー本体マット部材質：塩化ビニール
センサー本体ユニット部材質：ＡＢＳ樹脂
センサー本体電源：ＡＣアダプター（付属）

貸出期間	通常、1 ～ 2 週間程度（期間は要望に応じて柔軟に対応可）
貸出可能台数	通常 1 セット（要望に応じて数セットまで対応可）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　バイオシルバー

製品名　　aams. 介護　01332-000042

型　番　　B018-AAMSKS

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・体調の悪化が懸念される方 ・徘徊や転倒のリスクがある方 ・対象者の生活のリズムを把握したい場合 【介護者】・介護者の肉体的、精神的な負担を軽減させたい場合
	専門職の関与	特に必要ないが、恒常的に見守り対応をしている看護師や介護士にアラートの設定基準等を決めていただく場合あり（体調管理に重点を置く場合）
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：ほこりが多い場所、衝撃や振動が加わる場所、風の影響を大きく受ける場所、不安定な場所、冷暖房器具の近く、磁気を発するものの近く、直射日光の当たる場所、落下の可能性がある場所、熱のこもる場所、水分や湿気の多い場所 ・その他：分解、修理、改造、60℃以上のものに近づける　等
使用上の注意	注意事項	・センサーマットの設置場所はマットレスの下に設置する。適正な設置位置は、利用者の肩から腰の間位置（胸の真下が最善）になるのでそこに設置する ・利用者の体動やシーツ交換作業、ベッドのギャッチアップ等で設置位置が移動してしまう場合があるので、定期的に設置位置の確認を実施する
	安全に利用するための配慮	・ＡＣアダプター等のケーブルを無理に曲げたり、上に重い物を載せない ・ケーブルを抜く時はケーブル部分を引っ張らず、プラグを持って抜く ・濡れた手で製品に触れない ・分解・修理・改造を行わない ・センサーマットを 60℃以上の物に近付けない ・液体をかけない ・結露した状態で使用しない ・液体の近くや油の散る場所、湿気やほこりの多い場所には置かない
	誤報の有無	センサーマットの設置位置が適正ではない場合や、センサーマットの感度レベルが適正ではない場合に発生する可能性あり
	使用上の注意	・センサーマットの設置場所はマットレスの下に設置する。適正な設置位置は利用者の肩から腰の間位置（胸の真下が最善）になるのでそこに設置する ・利用者の体動やシーツ交換作業、ベッドのギャッチアップ等で設置位置が移動してしまう場合があるので、定期的に設置位置の確認を実施する
	倫理的の配慮	・オプションのカメラを併用する場合には同意を得て、アラート発生後にカメラ画面を表示する仕様になっている（常時映像を見る事はできない）
使用方法	使用方法	ステーションにてＰＣで見守り（常に見ている必要はない）、もしくは介護者がタブレット、スマートフォン等の端末を持ちながら見守りを行う 予め設定をしておいたアラート条件が成立するとアラートが発生し、ＰＣ、タブレット、スマートフォン等に知らせる アラート、睡眠状態の記録が 30 日分自動保存される
	使用方法（再設定）	・設置場所を移動した場合：センサーマットを設置し直し、ＡＣアダプターを再接続 ・センサーマットを他の方に使用する場合:センサーマットの名称登録等の情報変更、感度調整、アラートの種類やしきい値、秒数の再設定
	使用環境	・ベッド、布団どちらでも使用可 ・マットレスは厚さ 20cm まで可 ・エアマットとの併用可（一部エアマットでは使用できない場合がある）
	使用場面	・被介護者の体調変化をリアルタイムで感知したい場合 ・徘徊、転倒リスクのある方の見守りを行いたい場合 ・看取りが必要となった場合の状態変化をお知らせしたい場合 ・被介護者の方の生活リズムを把握したい場合（夜はよく寝られているか、どれくらいの頻度でトイレに行かれるか等）
	習熟期間	目安の期間等は特にないが、運用にあたり習熟は必要
	高齢者に対する安全面の配慮	センサーユニット部に接続するＡＣアダプター等のケーブルを被介護者が触ったり引っ張ったりしないよう配慮する
	介護者に対する安全面の配慮	センサーマットとセンサーユニットの接続部やＡＣアダプター等のケーブルをベッド移動時にキャスター等に巻き込まないように配慮する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒する前や、急な体調変化に対応ができる ・マットレスの下に設置するため完全非接触で目にも触れにくく、センサーを使用しているという心理的不安が生じにくい
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・訪室の合間の状態把握 ・心理的、肉体的な負担の軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	・転倒事故の予防 ・被介護者の安全に対する意識が高い施設であるという評価が得られる ・介護者の肉体的、心理的負担の軽減につながる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内（ベッド、布団等） 無線にて使用する場合はＷｉ－Ｆｉが届くエリア
	設置場所	マットレスや布団の下で、心臓の真下の位置に設置する

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置方法	マットレスを一時的に取り除いて、ベッドのボトムとマットレスの間、利用者の肩から腰の間位置（胸の真下が最善）に敷き込む オプションセンサーの感圧センサーを使用する場合は、センサーマットを敷いた位置よりもやや肩寄りに設置する
	サイズ	本体マット部：幅 760 ×奥行 550 ×高さ 12mm 本体ユニット部：幅 115 ×奥行 25 ×高さ 161.5mm
	形状	センサーマット
	重量（バッテリー含む）	本体：680g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	本体：ＡＣアダプター
	使用時の音	ＰＣ等、見守りをする端末からアラート音（音声は選択可）が出る （センサーマットからはアラート音等の音声は出ない）
	緊急発報の方法	・ＰＣ等の見守りをする端末からのアラート音と表示でお知らせ ・ナースコールに接続している場合、ナースコールからもお知らせ
	安全性の認証取得	かわさき基準（ＫＩＳ）認証
	防水・防塵加工	センサーマット：防滴仕様
	検知方式（センサー、画像など）	圧力センサー（空気） マットレスを介して被介護者の生体信号によって発生した微小な振動を感知して見守りを行う
	検知範囲	センサーマット上
	反応速度（タイムラグ）	0.5 秒以内
	最大見守り人数	上限なし 実績としては 100 床以上の見守りを行っているケースあり
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ環境を含めて一式提供可能なため、通信環境がない場合でも導入可 既存の通信環境（無線 / 有線）を使用しての導入も可
	必要なシステム・設備	専用の管理マスターサーバー 画面表示用の機器（モニター、ＰＣ、タブレット、スマートフォン等）
	データの記録機能、有無と内容	・アラート記録、睡眠状態などを自動で 30 日分保存、蓄積（それ以降は自動で上書き） ・自動保存されているデータの帳票出力、ＣＳＶファイル出力機能あり ・オプションのカメラを併用する場合、録画可能
	他の機器との連携・互換性	・分配器を接続することで各種ナースコールと接続可能 ・カメラとの連携可能（オプション）　・各種介護記録ソフトとの連携可能（オプション） ・インカムとの連携可能（オプション）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・お客様窓口からの定期的な使用状況ヒアリング　・不具合の際の対応（電話、現地訪問等）
	ユーザーによるお手入れ	・タブレット、スマートフォン等を使用して見守る場合は端末の充電　・ホコリの除去
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	1 年間
	修理対応期間	現時点では期間の設定はなし
	耐用年数	約 5 年（使用状況等により異なる）
コスト	本体・付属品の定価	ナースコール接続セット：オープン価格（参考価格：税込¥195,800） 本体センサーマット：オープン価格（参考価格：税込¥184,800）
	設置導入に伴う費用	要相談
	ランニングコスト	なし（クラウドタイプの場合はサーバーの月額使用料が発生する）
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	オプションセンサー（感圧センサー、人感センサー等）を使うことで、起き上がり時や端座位時にアラートを発生させることが可能
問合せ先	緊急時の問合せ先	平日 10:00 ～ 17:00 は弊社お客様窓口にて対応　TEL：06-6809-7716
	デモ・貸出	対応可（随時実施）
	よくある質問（Q&A）	http://www.biosilver.co.jp/question/

パンフレット等

製品カタログ　http://www.biosilver.co.jp/wp/wp-content/themes/biosilver/pdf/biosilver_catalog_dl.pdf

使用方法等の動画　**限定公開設定のため、貸出先にのみ URL を送付いたします。**

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社メディカルプロジェクト

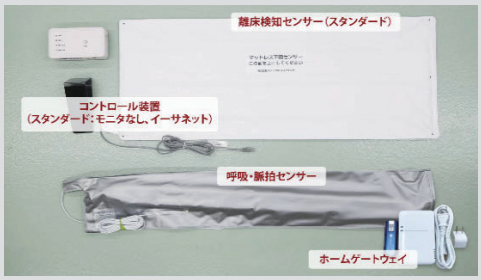
シッタープロ

品番・型番
M1900S

機器の概要

機器の機能

「シッタープロ」は、マットレスの下にセンサー置き、体動から呼吸･脈拍を検出し、遠隔からPCやスマホ、タブレットにてモニタリングを行うシステムです。また、オプションの環境センサー、トイレセンサーを使用することにより、室内の温度・湿度・照度・トイレの利用状況の見守りを行うことが可能になります。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

シッタープロのアプリケーションは、ｗｅｂブラウザ（動作保証：Google Chrome）で動作します。インターネット利用可能なPC、スマートフォン、タブレットをご用意ください。

試用期間中のサポート

試用開始前、訪問による取り扱い説明を行います。試用期間中、ご不明な点がございましたら、お電話、メールにて承ります。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社メディカルプロジェクト
〒420-0026　静岡県静岡市葵区大鋸町 1-12
TEL 054-252-1141　MAIL info1@medicpro.co.jp
所属部署 営業部　担当者名 足立匡弥

販売開始

2019 年 11 月

販売価格

319,000 円～（税込）

機器の仕様

シッタープロ

マットレス下に空圧センサーシート、離床センサーシートを置きコントロール装置に接続します。
コントロール装置へ接続したホームゲートウェイから検出データをクラウドサーバーへ送信します。
インターネット接続された端末にてモニタリングを行います。オプションの環境センサー、トイレセンサーはホームゲートウェイに接続した通信用ドングルと無線接続されます。各センサーから得られるデータは職員の任意の設定でアラート通知されます。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社メディカルプロジェクト

製品名　シッタープロ

型　番　M1900S

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	・看取り期で頻回な見守りが必要な利用者 ・在宅独居にて訪問サービスを利用している高齢者
禁止事項	禁止事項	見守りセンサーは体動を検知する装置であり、体動の異常を予防、治療するものではない ・磁気共鳴画像診断装置（ＭＲＩ）と併用しないこと ・高気圧酸素治療装置内で使用しないこと。火災の原因となる ・引火性、加熱性ガス及び高濃度酸素の環境下では使用しないこと。火災の原因となる ・本機器を分解したり改造したりしないこと。火災や感電の原因となる ・機器に異常または故障が発見された場合は直ぐに使用を中止して販売店か発売元へ連絡すること ・本装置は診断のためにのみ使用されるものであり、睡眠時無呼吸症の監視や生命維持などの環境下で、無呼吸モニタとして使用しないこと ・設定の変更を行う場合は、医療従事者に相談の上、設定値の確認をすること ・勝手に修理改造を行わないこと。測定器が破損し、重大な事故が起こる恐れがある
使用上の注意	注意事項	・取扱説明書に記載された使用方法に従って使用すること ・本品に水などの液体をかけないこと ・ぶつける、曲げる、落下させるなどの衝撃を本品に与えないようにすること ・センサーのケーブル接続部分を無理に引っ張らないこと。また移動時にケーブル接続部を持たないこと ・使用しない時、及び異常が見つかった時はＡＣアダプターをコンセントから抜くこと ・本品は、患者監視装置の代わりとなるものではない。また本製品は、確認する唯一の指標とみなすべきではない ・本品が故障した時は、必ず販売店か発売元に問合せること ・運搬輸送時に強い衝撃が加わらないように注意すること ・付属品や機器の廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適切に処理すること
	安全に利用するための配慮	本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に仕様できる状態であることを確認すること。点検後、機器の異常や故障が考えられる場合は、直ぐに使用を止め、販売店か発売元に点検・修理を依頼すること
	誤報の有無	・使用しているマットレスによっては感度調整が必要 ・各センサーの設置場所による
	使用上の注意	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に仕様できる状態であることを確認すること。点検後、機器の異常や故障が考えられる場合は、直ぐに使用を止め、販売店か発売元に点検・修理を依頼すること
	倫理的の配慮	・プライバシーに配慮したアイコン表示 ・施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	取扱説明書、アプリケーション操作説明書に記載された使用方法に従って使用すること
	使用方法（再設定）	取扱説明書、アプリケーション操作説明書に記載された使用方法に従って使用すること
	使用環境	・周囲温度　10℃～ 40℃、周囲湿度　20% ～ 80%、 周囲気圧　700hPa ～ 1060hPa 以内 ・モニタリングのための端末はインターネットに接続できる環境であること
	使用場面	・看取りケア ・在宅独居の高齢者の異変検知
	習熟期間	・特になし
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルは固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に固定する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動しない ・電源ケーブル等は足元に引っかからないような位置に配置する

製品情報

	項 目	内 容
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒予防 ・バイタル異常の早期発見 ・快適な生活環境の維持
	機器を使用することで実現する介護者への効果	看取り期の見守りによる職員の負担の軽減等
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室内
	設置場所	・ベッド ・トイレ ・リビングスペース等
	設置方法	取扱説明書、アプリケーション操作説明書に記載された使用方法に従って使用すること
	サイズ	・コントロール装置　165mm×78mm×32mm ・空圧検知センサーシート　830mm×140mm×30mm ・離床検知センサーシート　760mm×120mm×20mm ・ゲートウェイ　110mm×70mm×48mm
	重量（バッテリー含む）	・コントロール装置　210g　・空圧検知センサーシート　170g ・離床検知センサーシート　670g　・ゲートウェイ　190g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣ／ＤＣ電源アダプタ（１２Ｖ）
	使用時の音	特になし
	緊急発報の方法	・モニタリング用端末へアラート表示 ・登録されてる端末へメール通知 ・ナースコール
	安全性の認証取得	特になし
	防水・防塵加工	特になし
	検知方式（センサー、画像など）	・空圧センサー ・距離センサー ・赤外線センサー
	検知範囲	・ベッド上 ・トイレセンサー（距離センサー）　10cm～80cm ・リビングセンサー（赤外線センサー）　4m～5m　120°
	反応速度（タイムラグ）	インターネット環境による
	最大見守り人数	上限なし
	必要な通信環境	モニタリングにはインターネット環境が必須
	必要なシステム・設備	モニタリング用ＰＣ、タブレット、スマホ
	データの記録機能、有無と内容	・アイコン表示（臥床、離床、体動、活動中、トイレ利用、緊急通知、中断、エラー表示） ・呼吸、脈拍、温度、湿度、照度のグラフ表示 ・各種アラート表示 ・データの保存期間3年間
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールとの連動可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不具合の場合、電話にての対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	空圧センサーシートへの空気充填
	消耗品の有無	・空圧センサーシート ・離床センサーシート
	保証期間	ご購入から1年
	修理対応期間	特に設定なし
	耐用年数	使用状況による
コスト	本体・付属品の定価	319,000 円（税込）（ご購入から1年間のクラウド利用料含む）
	設置導入に伴う費用	別途
	ランニングコスト	2年目以降のクラウド利用料（都度お見積り）
	教育研修費	特になし
オプション	追加できる機能	特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	TEL：054-252-1141　平日 9:00～18:00
	デモ・貸出	可能

パンフレット等

製品カタログ　http://www.medicpro.co.jp/sitterpro/index.html

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-23 見守り・コミュニケーション

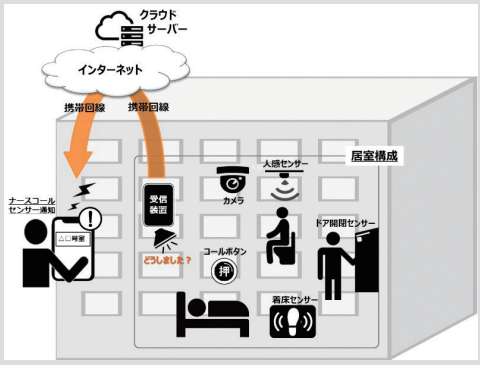
株式会社 FEN

どこでもナースコール・見守りセンサー

機器の概要

機器の機能

Ｗｉ－Ｆｉ不要、工事不要で初期コストを抑え簡単に導入ができるナースコール＆見守りシステムで、ナースコール・見守りセンサー・見守りカメラ・インカム機能を持つ無線システムです。無線・電源レスでコールボタン、センサーは自由に設置でき、着床センサーには煩わしいケーブルがありません。お部屋毎に必要なものを必要な台数選んで無駄を省き、レンタル利用により初期コスト最小にします。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

ナースコール、着床センサー、ドアセンサー、カメラ、インカム等のご試用する機能をお部屋毎にお知らせください。
携帯電波が入る環境であれば、すぐに利用可能で配線作業などの工事は不要なため、施設スタッフによる設置が可能です。
すでにＷｉ－Ｆｉ環境があるようでしたら、その環境を利用することもできますのでご相談ください。

試用期間中のサポート

適時サポート致します。

貸出期間	1～2ヶ月程度
貸出可能台数	3部屋相当

問い合わせ先　株式会社 FEN
〒135-0042　東京都江東区木場 2-7-23　第一びる本館 3F
TEL 03-4431-1896　MAIL info@kfen.co.jp
所属部署 通信エンジニアリング部通信技術部　担当者名 小野永久

販売開始

2020 年4月

販売価格

月額レンタル
2,750 円（税込）～
（構成による）

機器の仕様

どこでもナースコール・見守りセンサー

・クラウドシステム
・Android スマートフォン (スタッフ端末)
・コールボタン：Bluetooth 対応
・見守りセンサー（着床 / ドア / 人感）：Bluetooth 対応
・ネットワークカメラ：Ｗｉ－Ｆｉ対応

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社 FEN

製品名　　どこでもナースコール・見守りセンサー

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、徘徊予防の必要な方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい ・業務の負担軽減をしたい ・費用面で設備更新や導入に悩まれている方
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・高温・多湿になる場所への設置はできない ・屋外には設置できない
使用上の注意	注意事項	・高温・多湿になる場所への設置はできない ・屋外には設置できない
	安全に利用するための配慮	・着床センサーは、マット本体がすべる場合は、テープで固定してすること
	誤報の有無	電波環境による
	使用上の注意	受信端末とコールボタン及び各種センサー、カメラは、適切な距離以内でご利用下さい。位置変更する場合は、かならず動作確認をすること
	倫理的の配慮	・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得ること （システム側で動画保存はしていない）
使用方法	使用方法	スマートフォンでの操作のため、特に難しいことはない 機器の設置も簡単です。
	使用方法（再設定）	設置居室が変わった時は、呼出名称の変更が必要なため、担当者へ知らせること
	使用環境	・温度0℃～ 50℃ ・湿度 80% 以下（結露しないこと）
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合
	習熟期間	即日（シンプルな機能で、操作は簡単）
	高齢者に対する安全面の配慮	・機器の電源コンセントは、高齢者が誤って外すことがない場所に接続すること
	介護者に対する安全面の配慮	コールボタンは、壊れていないかなどの動作確認を年に1回行うこと
効果	機器を使用することで 実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減
	機器を使用することで 実現する介護者への効果	負担軽減、介護者同士のコミュニケーション向上 (インカム利用時)
	機器を使用することで 実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内居室 (個室・多床室)、 携帯電波が届くエリア、既設Ｗｉ－Ｆｉ通信が届く場所
	設置場所	・着床センサー：ベットの足元 ・ドアセンサー：扉 ・人感センサー：天井 ・受信装置、カメラ：電源が確保できる場所
	設置方法	受信端末とコールボタン及び各種センサー、カメラは距離 10m 以内で見通しが利く範囲に設置する設置は、適切な位置に両面テープやマジックテープ固定する
	サイズ	H100xW65xD14mm(受信端末)、H500xW500xD 8mm(着床センサー)、H58xW49xD 9mm(開閉センサー・人感センサー)、H120xW80xD80mm(カメラ)
	形状	写真参照
	重量（バッテリー含む）	96g(受信端末)、1.0kg(着床センサー)、21g(開閉センサー・人感センサー)、120g(カメラ)

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	受信端末：ＡＣ 100V 電源 各センサー：電池内蔵 カメラ：ＡＣ 100V 電源
	使用時の音	・スマホの音設定による ・コールボタン押下時のみGW端末 (受信) よりピンポン音あり
	緊急発報の方法	スマホに通知
	安全性の認証取得	・ＰＳＥ、ＥＭＳ準拠
	防水・防塵加工	防水加工：無 防塵加工：無
	検知方式（センサー、画像など）	・ドアセンサー：マグネット ・着床センサー：圧力 ・人感センサー：赤外線
	検知範囲	・人感センサー：距離3m、範囲2m
	反応速度（タイムラグ）	即時通知
	最大見守り人数	上限なし
	必要な通信環境	なし
	必要なシステム・設備	なし
	データの記録機能、有無と内容	センサー検知日時とスタッフ応対日時の記録（要望に応じてデータ提供）
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・クラウドサーバーの定期メンテナンス ・不具合時の電話対応 ・センサー電池残量低下のアナウンスと交換品発送 ・機器故障時に交換品の発送
	ユーザーによるお手入れ	・スマートホン端末の充電 ・センサー電池消耗および機器故障時に本体撤去と返送および交換品の設置
	消耗品の有無	・スマートホンのバッテリー（無償交換） ・GW端末のバッテリー（無償交換） ・各センサーに内蔵された電池（無償交換）
	保証期間	永久保証 (スマホについては、無償交換は1回のみ)
	修理対応期間	交換品を提供
	耐用年数	3～5年
コスト	本体・付属品の定価	なし（レンタル提供）
	設置導入に伴う費用	初回設置費無料ですが遠方の場合は、経費を頂く場合がある
	ランニングコスト	レンタル費用に含まれる
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	受信端末のインターネット接続環境は、Ｗｉ－Ｆｉ環境として提供可能
問合せ先	緊急時の問合せ先	貸出担当者
	デモ・貸出	info@kfen.co.jp
	よくある質問（Q&A）	Q1. 既設ナースコールとの連動はできますか A1. できません Q2. 他社の見守りセンサー用のＷｉ－Ｆｉ環境として使用できますか A2. できます Q3. スマホは共用できますか A3. 可能です。

パンフレット等

製品カタログ　https://www.kfen.co.jp/technology/nursecall/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ヒート

みてるもん２

品番・型番
S30N D20 B20-M

機器の概要

機器の機能

・計量コンパクト　どこでも設置
・トイレキャッチとしてトイレの見守り
・階段前、エレベーター前の侵入禁止区域の見守り
・窓、エントランスなど逃亡防止

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・100V コンセントがある場所
・湿気のかかる場所、直射日光が当たる場所には設置しないでください。

試用期間中のサポート

電話対応・メール

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社ヒート
〒341-0031　埼玉県三郷市岩野木 58-1
TEL 048-933-9202　MAIL ootuki@heat-heat.com
担当者名 大月輝彦

販売開始

2014 年5月

販売価格

71,500 円（税込）

機器の仕様

みてるもん2

・ナースコール連動
・ナースコールのない場所には無線式を用意
・コンセントがあればすぐ稼働
・コンセントのない場所では、充電式

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ヒート

製品名　みてるもん2

型　番　S30N・D20・B20-M

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ベッドから転倒・転落の危険がある方。移動に付き添いが必須の方 【介護者】 ・マットセンサーの誤報による駆けつけ動作の削除。夜間見回りの低減。高齢者のトイレ待機の時間低減。従事者全般（パート従業員も範疇）
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室等、高温多湿なところ ・その他：分解・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・直射日光の当たる場所には設置しない ・湿気・水滴のかかるような場所に設置しない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止し、すぐに電源アダプタを抜くこと
	安全に利用するための配慮	・ケーブルを引っ張らない ・ケーブルに物を載せない、踏まない ・電源やナースコール接続ケーブルを外すときは必ずコネクターをもって行う ・足で蹴らない
	誤報の有無	高齢者がベッドから転倒する時の軌跡を想定した場所にセンサーを設置すれば誤作動は極端に減らすことが出来る
	使用上の注意	・直射日光の当たる場所には設置しない ・湿気・水滴のかかるような場所に設置しない ・エアコン送風機の風が直接当たる場所には設置しない
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	対象者の行動から設置場所決定 →手をかざしながらセンサーの反応を確認しながら角度調整 →見守り開始 →ナースコールが反応 →介護者が現場に急行し、対応
	使用方法（再設定）	→対応後、解除ボタンを押して見守り再開始
	使用環境	・施設内の居住空間全般 ・100V 電源がある部屋
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・他の居住者に暴力をふるう恐れの方
	習熟期間	・一週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担低減
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、労働環境改善、職場の魅力向上、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内　居室（個室・多床室）
	設置場所	介護従事者の手の届く場所
	設置方法	自由にどこでも設置できるのが本商品の特徴で、介護従事者の手の届く場所
	サイズ	幅 100 ×高さ 220 ×奥行 100mm
	形状	円筒+箱

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	重量（バッテリー含む）	510g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	AC電源
	使用時の音	無音
	緊急発報の方法	・ナースコールシステムを介して通知 ・ランプ赤色点滅、及び警告音
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇PSEマーク）取得 ・内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	防水加工の無 防塵加工の無
	検知方式（センサー、画像など）	焦電型赤外線センサー（人感センサー）
	検知範囲	・直線 4.5m　範囲±7°
	反応速度（タイムラグ）	0.5 秒
	最大見守り人数	・1人 / 台 ・上限 124
	必要な通信環境	・ナースコール ・独自無線システムのため、専用の通信環境は不要 ・NET 環境があるならクラウド対応可
	必要なシステム・設備	・ナースコールがあるなら連動
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示・エクスポート可能、蓄積データを用いた対象者の行動予測
	他の機器との連携・互換性	・ナースコール連動
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合が生じた場合、弊社まで送って頂き、メンテナンス後宅配便にて返送
	ユーザーによるお手入れ	特に無し
	消耗品の有無	特に無し
	保証期間	購入後3か月
	修理対応期間	弊社到着後1週間で返送
	耐用年数	約 10 年
コスト	本体・付属品の定価	① ¥71,500（税込） ②ナースコール連動分配 BOX ¥19,800
	設置導入に伴う費用	特に無し
	ランニングコスト	電気代のみ
	教育研修費	特に無い。
オプション	追加できる機能	・クラウド対応とシステム構築
問合せ先	緊急時の問合せ先	048-933-9202
	デモ・貸出	2週間
	よくある質問（Q&A）	ナースコール連動をご要望の場合、故障 / 破損したナースコールボタンを郵送すること。メーカー・型式によってナースコール端子が 20 種類以上存在するので、合わせる必要があるので協力願いたい。また、コネクターメーカーが倒産し、端子を購入できない場合は対応できないのでご容赦願いたい

パンフレット等

製品カタログ　https://www.heat-heat.com/carerobot

取扱説明書　https://www.heat-heat.com/carerobot

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

三昌商事株式会社

見守りシステム “CareBird”

機器の概要

機器の機能

マットレスの下に設置した非接触バイタルセンサーを使って、利用者の体動（脈拍･呼吸）を測定し、見守りします。また、離床する前に利用者がベッド上で上体を起こした事を職員に通知する事により転倒予防に繋がります。
お部屋全体を感知するルームタイプのセンサーもあり、用途に応じて見守りシステムのサービスを提供致します。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

[Ｗｉ－Ｆｉ環境がある場合]
2.4GHz 帯 IEEE802.11b/g/n IPv 4 による固定 IP をセンサーおよび制御端末に割当致します。
[Ｗｉ－Ｆｉ環境がない場合]
ご利用頂く環境にＷｉ－Ｆｉ環境がない場合は、当社にてご用意致します。

試用期間中のサポート

平日（9時～ 17 時 30 分）で、E−mail 及びお電話でサポート致します。
クラウド型見守りシステムですので、リモート対応も可能で御座います。

貸出期間	約1ヶ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 三昌商事株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-18-17（明産西新橋ビル）
TEL 03-6203-1888　MAIL takase@sansho-shoji.co.jp
所属部署 アライアンス事業部　担当者名 高瀬正章

販売開始

2016 年4月

販売価格

オープン価格

機器の仕様

見守りシステム “CareBird”

マットレスの下に設置した非接触バイタルセンサーを使って、入居者の体動（脈拍・呼吸）を測定し、見守ります。また、睡眠状態を確認する事もできます。見守りシステム “CareBird” を活用することにより、入居者の生活リズムを把握やスタッフの業務負担軽減などお役に立てます。
クラウド型見守りシステムであり、入居者の状況は、パソコンやタブレット、スマートフォンで施設外でも確認する事が出来ます。バイタル異常発生時や、上体を起こし離床する前にスタッフに音と共に報知致します。また、ナースコールとの連携も可能であり、施設でご利用頂いている端末に通知を行います。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　三昌商事株式会社

製品名　**見守りシステム “CareBird”**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止すること。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜くこと
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・直射日光による精度低下時、画面降下による設定相違時 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・正しい設置位置（ベッドマットの下）で使用する ・スプリング式のベッドでは使用できない ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる）
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・利用停止後、データを破棄する
使用方法	使用方法	・使用時の基本テップ（見守りの際の準備（機器の調整等）、高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、アラートの内容等をふまえ訪室）） ・アラートの種類：（[離床]「バイタル異常」[起き上がり]）
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続する ・必要に応じ、しきい値を再設定
	使用環境	・Ｗｉ－Ｆｉは貴所のインフラを利用し、2.4GHz 帯 IEEE802.11b/g/n IPv4 による固定ＩＰをセンサーおよび制御端末に割当することを前提。また、ＷＡＮ側ではＳＳＬ通信に 443 ポートの使用が可能であること ・センサーを設置する居室内の推奨電波強度は、-60dBm を目安とする
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア
	習熟期間	・お使い後直ぐに習熟頂けます
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する。
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・生活リズムの把握、転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR 等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・使用場所 (屋内、介護施設・病院内　居室 (個室・多床室)
	設置場所	・ベッドマット下に設置 ・居室の天井や壁　※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること
	設置方法	・壁付け・天井ポール設置・専用スタンド設置 ・専用取付金具使用 ・ベッドのマットレスの下に敷く
	サイズ	320(W) × 64(H) × 14(D)mm
	形状	筐体
	重量（バッテリー含む）	395g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	機器のパーツ（本体、制御端末）
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	・パソコン：音とアイコンでお知らせ ・スマホ・タブレット：Ｅ−ＭＡＩＬやＬＩＮＥで通知 ・ナースコールシステムを介して通知
	安全性の認証取得	・ＰＳＥ、ＥＭＳ準拠 ・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得 ・ＥＡＥ認可取得
	防水・防塵加工	・防水加工：無 ・防塵加工：無
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知 (2.4GHz 帯 マイクロ波ドップラー方式の非接触バイタルセンサー ・画像解析
	検知範囲	・ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	・10 秒（設定値は複数あり）
	最大見守り人数	・上限なし
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境 (ない場合は当社で準備致します) ・各居室へのＬＡＮケーブル配線、施設内のＷｉ－Ｆｉ環境整備 ・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ)2.4GHz
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等） ・ソフトやシステム等のダウンロード不要
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能 ・1 時間、24 時間、10 日間、2 か月間グラフあり ・睡眠 / 臥床、左右、脈拍、呼吸グラフあり ・保存期間は基本 2 ヶ月
	他の機器との連携・互換性	・なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・特になし
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	・1 年間
	修理対応期間	・1 年間は無償対応
	耐用年数	・非接触バイタルの為、軽減劣化に優れております
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格（ご利用台数によって、異なる）
	設置導入に伴う費用	オープン価格（ご利用台数によって、異なる）
	ランニングコスト	オープン価格（ご利用台数によって、異なる）
	教育研修費	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6203-1888
	デモ・貸出	あり
	よくある質問（Q&A）	当社HPを参照（https://carebird-portal.com/）

パンフレット等

製品カタログ　https://carebird-portal.com/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社コンフォート

エンジェルアイ

品番・型番
CFT-012

機器の概要

機器の機能

要介護者側に設置したカメラと介護者側（複数）の端末間で、映像を見ながら双方会話、ボタンで介護者へメールを送信、センサーにより起床・着床等を端末へ通知、オプション設定で端末から遠隔スイッチ制御可能です。画像情報と合わせて、遠くにいながらでも要介護者の合図を受け取ることも可能となり、介護従事者の負担軽減が可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

インターネット環境
Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要）

試用期間中のサポート

不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて現地対応。

貸出期間	1か月
貸出可能台数	200 台

問い合わせ先 株式会社コンフォート
兵庫県姫路市西庄甲 155-1
TEL 079-292-4164 MAIL s_itou@itoden-eng.co.jp
担当者名 伊藤茂男

販売開始

2019 年 5 月

販売価格

98,000 円（税込）

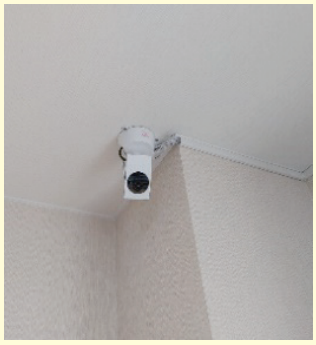
TAIS コード

01204-000010

機器の仕様

エンジェルアイ

通信はＷｉ－Ｆｉで費用が安価。インターネット環境があれば遠隔から見守り可能。夜間も鮮明に状況把握。64 Ｇマイクロ ＳＤにて１週間録画（上書き）。温度、音、赤外線センサー、動体検知で通知。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社コンフォート

製品名　エンジェルアイ　01204-000010

型　番　CFT-012

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・独居老人、在宅介護者、転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
	専門職の関与	なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ ・分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止すること。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜くこと
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる）
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る ・利用者（特に女性）のプライバシーに配慮する
使用方法	使用方法	・使用時の基本テップ（見守りの際の準備（機器の調整等）、高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、アラートの内容等をふまえ訪室）
	使用方法（再設定）	なし
	使用環境	・センサーレンズを覆い隠さない事 ・居室全体が見える位置への設置 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り
	習熟期間	1週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、睡眠の把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内　居室（個室・多床室）、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア、居室の頭部
	設置場所	・ベッド頭部側中央 ・居室の天井や壁　※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置方法	・壁付け・天井ポール設置・専用スタンド設置 ・専用取付金具使用
	サイズ	センサー兼送受信機：幅 90 ×高さ 140 ×奥行 90mm モーションセンサー：幅 59 ×高さ 80 ×奥行 46mm
	重量（バッテリー含む）	センサー兼送受信機：190g　モーションセンサー：106g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	センサー兼送受信機、モーションセンサー
	使用時の音	電子音
	緊急発報の方法	センサー検知時にアラーム、電子音で報知 オプションでポップアップメール通知が可能 センサーが作動すると音と光で報知する
	安全性の認証取得	PSE，EMS準拠　賠償責任保険加入
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	センサー検知時にアラーム、電子音で報知 オプションでポップアップメール通知が可能 センサーが作動すると音と光で報知する
	検知範囲	最大 100m
	反応速度（タイムラグ）	0.5 秒以内
	最大見守り人数	1カメラ3センサー、オプションで1ベット 16 センサー
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要）
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等） ・タブレット端末（スマホ）
	データの記録機能、有無と内容	64ＧＢ マイクロSDにて1週間録画（上書き）
	他の機器との連携・互換性	ナースコール、アレクサ、グーグルホームとの連動可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	・本体カメラ部の清掃 ・ホコリの除去
	消耗品の有無	電池
	保証期間	2年
	修理対応期間	10 年
	耐用年数	約 20 年
コスト	本体・付属品の定価	98,000 円 (税込)
	設置導入に伴う費用	20,000 円 (税込)
	ランニングコスト	Ｗｉ－Ｆｉ通信費用
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	ポップアップメールによる通知
問合せ先	緊急時の問合せ先	㈱コンフォート　電話 06-6326-1739
	デモ・貸出	あり

パンフレット等

製品カタログ　https://www.itoden-eng.co.jp

取扱説明書　https://www.itoden-eng.co.jp

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社リンクジャパン

スマートナースコール eBell（イーベル）

品番・型番
BE1

機器の概要

機器の機能

●工事不要
eBell は工事を一切必要とせず、介護施設や自宅等、場所を選ばずに利用シーンに合わせて、すぐに利用可能です。
●ワンタッチでビデオ通話開始、スマホから呼びかけ
現場スタッフが手持ちのスマホで、どこにいても通知を受け取り即座にビデオ通話が開始されます。
利用者の様子が気になる時は、スマホからの呼びかけも可能で、スマートナースコールとしても活用できます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・常時接続できるインターネット環境（2.4GHz 帯のＷｉ－Ｆｉ）が必須です。
・アプリ対応のスマホまたはタブレット端末（iOS11 以上、Android 7.0 以上）が必要です。

試用期間中のサポート

・メール、チャット、電話対応
・オンライン対応（zoomなど）

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	5台

問い合わせ先　株式会社リンクジャパン
〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東 2 丁目 9-5　池松ビル 4F
TEL 070-4400-5549　MAIL suishin@linkjapan.co.jp
所属部署 営業部　担当者名 堂山哲雅

販売開始

2020 年 3 月

販売価格

43,780 円（税込）

機器の仕様

スマートナースコール eBell（イーベル）

動画保存場所：microSD カード（最大 128G）
有効画素数：200 万画素
視野角対角：120° / 水平 :100° / 垂直 :55°
通信：IEEE802.11b/g/n（2.4GHz ～ 2.4835GHz）
電源：ＡＣ / ＤＣアダプター 5V-1A
動作環境：温度　-20℃～ 50℃、湿度　<90%
マイク＆スピーカー：内蔵（アプリで双方向通話可能）
ナイトビジョン：“赤外線ナイトビジョン、昼 / 夜モード自動切り替え”
ビデオ解像度：1080p（1920 × 1080）
同時通話数：制限なし（※Ｗｉ－Ｆｉの接続上限数による。）
遠隔録画確認：可
サイズ：115mm × 45mm × 26mm
重量：78g

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社リンクジャパン

製品名　　スマートナースコール　eBell（イーベル）

型　番　　BE1

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のナースコールの更新料を抑えたい
	専門職の関与	・特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外 ・分解、改造、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止すること。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜くこと）
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合 ・出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合
	使用上の注意	・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる）
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る
使用方法	使用方法	・スマホを 2.4GHz のＷｉ－Ｆｉに接続し、アプリをダウンロード。アプリの案内にそってセットアップ ・使用方法 高齢者→呼び出したいときに、ボタンを押す 介護スタッフ→対象者がボタンを押すと通知があり通話やビデオ通話が可能、高齢者の様子が気になる際はスマホから呼びかける
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続する ※Ｗｉ－Ｆｉネットワークが変更する場合は、再セットアップの必要あり
	使用環境	・温度　-20℃～ 50℃ ・湿度　<90%（但し、結露しないこと） ・居室全体が見える位置への設置 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の状況把握を行いたいとき ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア ・ナースコールとして活用したい
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約２週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	すぐに呼びかけ可能なため安心感を与えられる、遠方のご家族とコニュニケーションができる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（ＰＲ等）、既存ナースコールと比べ導入料を抑えられる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内　居室（個室・多床室）、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア
	設置場所	・居室の天井や壁　※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置方法	・壁付け（両面テープ、固定ネジ）
	サイズ	115mm × 45mm × 26mm
	重量（バッテリー含む）	78g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	micro ＵＳＢケーブル、ＵＳＢアダプター（5V 1A）
	使用時の音	呼び出し時に、本体スピーカーから音が鳴る
	緊急発報の方法	呼び出しがあった場合、スマホ・タブレット・パソコン等へ通知がくる
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（赤外線センサー）
	検知範囲	・動体検知
	反応速度（タイムラグ）	・約２秒 呼び出しボタンが押されてから、スマホに通知がくる速度 ※Ｗｉ－Ｆｉ環境による影響あり
	最大見守り人数	・１つのアプリで管理でき、登録数に上限なし
	必要な通信環境	・常時接続可能なインターネット環境 ・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz
	必要なシステム・設備	・使用端末（iOS11 以上・Android 7.0 以上のタブレット、スマホ）
	データの記録機能、有無と内容	・呼び出し時の通知履歴を確認できる、また誰が対応したのか担当者を設定することができる ・microSD カードで録画可能（常時録画、動体検知時、無効）
	他の機器との連携・互換性	・呼び出しボタンと連動可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、メール・チャット・電話にて対応。現地対応が可能な場合は、不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・スマホ・タブレット端末の充電 ・本体カメラ部の清掃 ・ホコリの除去
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	一年間
	耐用年数	約7年
コスト	本体・付属品の定価	43,780 円（税込）
	設置導入に伴う費用	設置費用は実費
	ランニングコスト	サービス利用料：月額　1,100 円 / 台（税込）
オプション	追加できる機能	インカム機能（アプリ間通話）
問合せ先	緊急時の問合せ先	070-4400-5549
	デモ・貸出	070-4400-5549
	よくある質問（Q&A）	Ｑ インターネットの環境がないが、使用できるか？ Ａ インターネット環境（2.4GHz のＷｉ－Ｆｉ）が必須となる。オプションで 2.4GHz に接続できるＳＩＭルーターの提供も可能

パンフレット等

製品カタログ　https://linkjapan.co.jp/product/ebell/

取扱説明書　https://linkjapan.co.jp/wp-content/manual_eMamo/Index.html

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

アールジービー株式会社

つながROOM「テンシル」

品番・型番
VC1BBUS02

機器の概要

機器の機能

カメラではなく、高性能なミリ波レーダーセンサーで、入居者の動きを検知する見守りシステムです。検知した情報は、パソコンやタブレットから閲覧でき、複数の入居者の情報を見守ることが出来ます。転倒を検知した場合は、ポップアップ表示と音でお知らせし、同時に指定の電話やメールにもお知らせを発信します。また、居室内およびベッド上の在・不在の検知が可能です。将来的には離床の検知も可能です。

[表面]

[裏面]

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

Ｗｉ－Ｆｉ環境必須（2.4GHz対応）、
電源
※壁付けに限ります

試用期間中のサポート

操作説明や設置対応など、不明点があればお気軽にお問合せ頂ければメールや電話などでサポートさせて頂きます。場合によっては訪問も可能です。（要相談）

貸出期間	1ヶ月程度
貸出可能台数	1～5台

問い合わせ先 アールジービー株式会社
〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目8−22　よしみビル3F
TEL 092−413−2634　MAIL eiichi−s@rgbnt. com
所属部署 つながRoom室　担当者名 才田榮一

販売開始

令和5年5月

販売価格

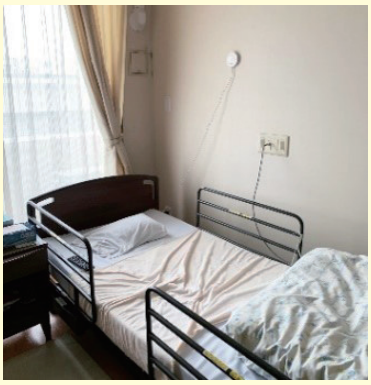
オープン価格

TAISコード

機器の仕様

つながROOM「テンシル」

・Ｗｉ－Ｆｉ（2.4GHz）環境必須。
・壁もしくは天井への取付け（壁の場合は、裏面の両面テープで貼付け。天井の場合は、工事が必要）
・電源は、USB（DC5V/ 最大 10W）ＡＣアダプタ。
・壁取付の場合、製品の中心箇所が床面から 150cm の高さに壁面と平行に設置。検知範囲は、16m^2 の範囲内。
・転倒検知は AI による機械学習で蓄積された判断基準により人の転倒に共通する動きを捉え適切に判断する。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　　アールジービー株式会社

製品名　　つながROOM「テンシル」

型　番　　VC1BBUS02

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい ・業務の負担軽減をしたい
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：Ｗｉ－Ｆｉのないところ、金属製の物体がある近くへの設置、ドア・ドア枠・窓・鏡などの設置、本棚・テレビ・視界を遮るような物体の後ろ側への設置 ・その他：分解、改造
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・ベッドがセンサー反応エリア内に入るようにセンサーを設置する
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する
	誤報の有無	・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度（適正DBの範囲内：−70DB以内推奨）や居室環境による場合 ・禁止事項の項目に該当している設置場所に設置した場合 ・センサーが正しく設置されていない場合
	使用上の注意	・正しい設置位置（壁付けの場合、床面から150cm の位置かつ接地面とセンサーが平行）で使用する ・センサを遮るような物の配置をしない ・周波数2.4GHzのＷｉ－Ｆｉ環境で運用する
	倫理的の配慮	・利用者のプライバシーに配慮し、映像・画像を撮らないセンサー仕様を基本としている
使用方法	使用方法	【使用時の基本ステップ】 ①センサーを正しく設置する 壁面の場合：センサーの中心が床面から150cm の位置に設置する。その時の注意事項は次の通り ・壁面とセンサーが平行になるようにすること（床面とは垂直に） ・センサーのボタンが上向き（コードが下向き）になるようにすること ・なるべく部屋の真ん中付近に設置すること 〜その他の注意事項〜 ・近傍にセンサーを遮るような物（メタル系の物）の配置をしないようにする ・ドア、ドア枠、窓、鏡などにには設置しない ・本棚、テレビ、視界を遮るような物体の後ろ側には設置しない ②電源コードを入れる ③管理画面にて、センサーが認識されているか確認する ※確認できない場合は、メーカーに連絡 ※業者がセンサーのＷｉ－Ｆｉ設定をしていることが前提 【高齢者の見守り時の基本ステップ】 ①Ｗｉ－Ｆｉ環境のある場所で管理画面にアクセスする（お使いのＰＣやタブレットから）もしくは、常にＰＣなどで管理画面を開いておく ②管理画面からは、各部屋別に入居者さまの状態が確認できるので、常に見える場所において定期的にチェックする ③「転倒」アラートが発生した場合、管理画面上にポップアップ画面と音でお知らせ。同時に、登録された電話番号に電話連絡。メール設定をした場合は、メール連絡が入る ④アラートの内容をふまえ、訪室する アラートの種類：「転倒」「BedIN」「BedOut」「在室」「不在」など ※「BedOut」「退室」の通知機能も実装予定
	使用方法（再設定）	・設置位置の移動後には、ＡＣアダプタを接続する・Ｗｉ－Ｆｉ強度を確認する ・必要に応じ、しきい値を再設定
	使用環境	・Ｗｉ－Ｆｉ環境（2.4GEHz） ・センサを遮るような物の配置をしない
	使用場面	・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し、早期発見を行いたいとき
	習熟期間	・管理画面の操作方法を覚えるには、1日〜1週間程度 ・細かなしきい値などの設定まで含めると1ヶ月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する ・掃除などで電源ケーブルを抜いてしまわないように周知徹底する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒・転落のリスク低減 ・眠りの質の向上 ・転倒時等に早期発見できる安心感
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減（特に夜間巡回など回数軽減） ・睡眠の把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、訴訟リスクの回避
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	介護施設・病院内　居室（個室・多床室） Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア必須
	設置場所	・居室の壁 ・トイレや浴室の壁　等
	設置方法	・壁付け（両面テープで壁に貼り付け） ・天井（専用の工事必要）※要相談
	サイズ	直径9cm ×奥行き1.5cm

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	形状	円柱形
	重量（バッテリー含む）	110g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	本体（センサー+電源コードＵＳＢ） ＡＣ電源アダプタ（5V／3A対応のシングルポート）
仕様、構造	使用時の音	ビープ音
	緊急発報の方法	・パソコン・タブレット等へ音とポップアップでお知らせ ・電話通知（スマホやＰＨＳなど） ・メール通知 ・本体から警報ブザー音及びＬＥＤ点滅（黄色）
	安全性の認証取得	＜センサー本体＞ ・技術基準適合証明取得（TELEC 認証） ・ＦＣＣ認証（日本のＶＣＣＩ規格クラスAに相当） ・ＣＥマーク／ＵＫＣＡマーク ＜ＡＣアダプタ＞ ・ＰＳＥ準拠
	防水・防塵加工	防水加工　ＩＰ54取得 防塵加工　無
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（ミリ波レーダー）
	検知範囲	・壁付けの場合：最大　4m×4m ・天井付の場合：最大　5m×4m
	反応速度（タイムラグ）	・転倒通知：即時認識し、転倒してから90秒後に発報 ・その他：60秒毎に更新 ※通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり
	最大見守り人数	・1ベット1センサーが基本 ・1部屋に複数台設置可（例：寝室、トイレ、浴室など） ※転倒通知は、1人のみが在室している場合に発報（複数人在室している場合は、発報しない）
	必要な通信環境	・無線LAN（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット等） ・追加のＰＣ、ソフト、システム等は不要
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、蓄積データを用いて分析も可能 ・1分毎に記録する情報：BedIn、BedOut、在室、不在 ・都度記録する情報：転倒 ・1分毎に記録した利用者の状態及び居室の状況を8時間以内、24時間以内、1週間以内、1ヶ月以内で絞り込み、居室単位、状況別で表示。過去の記録も表示可能 ・データの保存期間は、基本1年間（予定） ・ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有（予定）
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能 ・介護記録ソフトとの連携可能（クラウドソフトに限る） ・転倒検知は、スマホやPHSなどの電話にコール可。メール通知も可
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問 ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・タブレット端末等の充電
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	1年間
	修理対応期間	約10年
	耐用年数	約10年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	機器（センサー）購入費用
	ランニングコスト	月額利用料　3,500円（1台につき）
オプション	追加できる機能	・離床の検知（予定） ・検知結果検証（予定）
問合せ先	緊急時の問合せ先	アールジービー㈱　092-413-2634
	デモ・貸出	可能　※問合せ後詳細打合せ必要
	よくある質問（Q＆A）	Q）オンプレ環境でも導入可能か? A）別途開発が必要ではあるが、可能。

パンフレット等

製品カタログ　https://tsunaga-room.jp/tenshiru/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=ZmBYijOTDLc&t=1s

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

加藤電機株式会社

見守りシステム SANフラワーXヘルシーライフ

品番・型番
ARMK-200

機器の概要

機器の機能

事業所から発信機を携帯した利用者が離設・帰設された際、ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナを通じて介護スタッフなどへメールにて通知します。発信機は長期間連続稼働（約１．５ヶ月）するため、充電の手間や充電切れが少なく安心です。また、捜索機器で最小誤差５０ｃｍまで誘導され、発見することができます。専用シューズは発信機の携帯忘れ防止に効果的です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナを設置するスペースと一般家庭用のＡＣ１００Ｖコンセントから電源が取得できれば大丈夫です。面倒な電源工事は不要です。ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナは、コンパクトサイズで場所をとりませんので、設置するスペースも簡単に確保いただけます。

試用期間中のサポート

ご用命いただければ、担当スタッフが現地に出向き、機器の設置・使用方法を詳しく説明いたします。また、取扱説明書や動画をご用意しております。ご不明な点など、お気軽にご相談ください。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	3台

問い合わせ先 加藤電機株式会社
〒475-8574　愛知県半田市花園町6−28−10
TEL 0569-21-6182　MAIL sa2_nagoya@kato-denki.com
所属部署 営業部　担当者名 吉澤、榎本

販売開始

2017年6月

販売価格

210,870円（税込）

TAISコード

01572－000007

機器の仕様

見守りシステム SANフラワーXヘルシーライフ

GEOフェンスSANアンテナ：38 × 160 × 100 mm（突起部を除く）、約 257g、内蔵バッテリー：1100 mAh（リチウムイオン電池）
小型SANタグ（発信機）：約 29 × 34 × 10.5mm（突起部を除く）、約9g、内蔵バッテリー:120mAh、充電方法:マイクロUSB充電
SANレーダー（捜索機器）：約 68 × 114 × 14mm、約70g、内蔵バッテリー：300mAh、充電方法：マイクロUSB充電
ヘルシーライフ500（専用シューズ）：SS（21.0～21.5cm）、S（22.0～22.5cm）、M（23.0～23.5cm）、L（24.0～24.5cm）、LL（25.0～25.5cm）、3L（26.0～26.5cm）、4L（27.0～27.5cm）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　加藤電機株式会社

製品名　　見守りシステムSANフラワーXヘルシーライフ　01572−00007

型　番　　ARMK−200

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・施設・病院に入居・入院している徘徊予防の必要な方、認知症の方 【介護者】・介護従事者の負担軽減および作業の効率化、介護サービスの向上を考えている施設経営者・運営者
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等の高温多湿なところ、ガラスが無く鉄筋コンクリートでおおわれている部屋 ・必ず専用の電源アダプタを使用すること ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないこと ・火の中に投入したり、加熱しないこと ・加熱用機器（電子レンジ）や高圧容器に入れないこと ・導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を、電源アダプタ端子に接触させたり内部に入れたりして電源アダプタ端子をショートさせないこと ・高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないこと ・分解・改造・修理はしないこと。ＳＡＮアンテナの改造は電波法違反になる ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止すること。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜くこと
使用上の注意	注意事項	・通電状態では電源アダプタの端子に手や指など身体の一部が触れないようにすること ・電源アダプタは家庭用交流 100 Ｖ（ＡＣ 100 Ｖ）コンセントに接続すること。指定以外の電源電圧では使用しないこと ・小さなお子様やペットがいるご家庭では手の届かない所に設置すること ・水などの液体をかけないこと。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしないこと
	安全に利用するための配慮	・暑い場所（使用：50℃以上、充電：40℃以上）や寒い場所（使用：－ 10℃以下、充電：0℃以下）では使用しないこと ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと。落下してけがの原因になる
	誤報の有無	小型ＳＡＮタグ所持者が施設から外出していなくても、電波が何らかの要因で遮断されると通報（メール）する 例：携帯電話が通話できないような部屋などに小型ＳＡＮタグ所持者が居る場合
	使用上の注意	・ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナは電波を利用する機器である。電波環境が良く見通しの良い窓際などに設置すること ・床から約１ｍの場所に設置すること ・金属や水は電波を通さないため、設置する時は注意すること ・上層階がある建物の場合、上層階に設置するほど見守りエリアは広くなる ・振動が多い場所や、気化した薬品が充満していた場所や薬品に触れる場所はへの設置避けること。また、電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオなど）も避けること
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	・ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナを設置し、専用サイトでメール通知先の設定を行う ・小型ＳＡＮタグを対象の方に携帯させる ・ＳＡＮレーダーに小型ＳＡＮタグのＩＤを登録する ・自宅や施設（ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ）から出た時や帰宅した時にメール通知する ・捜索が必要な場合、ＳＡＮレーダーで対象のＩＤを選択して、近隣にいないか移動しながら確認する ・ＳＡＮレーダーで発見した後は画面に従い移動すると対象者に近づき、発見できる
	使用方法（再設定）	同一住所での移動では特に再設定の必要なし。電源を差し込むだけで大丈夫である
	使用環境	・暑い場所（使用：50℃以上、充電：40℃以上）や寒い場所（使用：－ 10℃以下、充電：0℃以下）では使用しないこと ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと。落下してけがの原因になる
	使用場面	徘徊予防の必要な認知症の方に小型ＳＡＮタグを携帯させる。施設から離設した際に、介護スタッフにメールで知らせる。介護スタッフはＳＡＮレーダーを用いて、小型ＳＡＮタグを携帯した人を探す
	習熟期間	ＳＡＮレーダーを使用した捜索訓練を３回程度
	高齢者に対する安全面の配慮	小型ＳＡＮタグを誤飲しないように注意すること
	介護者に対する安全面の配慮	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと。落下してけがの原因になる
効果	機器を使用することで 実現する高齢者への効果	早期発見により高齢者の怪我などのリスクを下げることにつながる
	機器を使用することで 実現する介護者への効果	介護者、スタッフの代わりに入居者を見守る。万一の徘徊による行方不明の際でも、捜索への時間、人材が大幅に軽減できる
	機器を使用することで 実現する施設への効果	入居者への見守りがされていることで、施設の信用を保つことにつながる。また入居希望されるお客様にも安心いただける
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナは事務所など窓のある部屋に設置する
	設置場所	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：－ 10℃～ 50℃（床から１ｍ以上の高さを推奨）
	設置方法	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：据え置き（床から１ｍ以上の高さを推奨）
	サイズ	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：38 × 160 × 100 mm（突起部を除く） ＳＡＮレーダー：約 68 × 114 × 14 mm 小型ＳＡＮタグ：約 29 × 34 × 10.5 mm（突起部除く）
	形状	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：箱型
	重量（バッテリー含む）	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ（バッテリー含む）：約 257 ｇ ＳＡＮレーダー（バッテリー含む）：約 70 ｇ 小型ＳＡＮタグ（バッテリー含む）：約９ｇ
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：ＡＣ 100 Ｖ　50／60 Ｈｚ、内蔵バッテリー：1,100 ｍＡｈ（リチウムイオン電池） ＳＡＮレーダー：300 ｍＡｈ、マイクロＵＳＢ充電、連続待受時間約 3,000 時間（約４ヶ月） 小型ＳＡＮタグ：120 ｍＡｈ、マイクロＵＳＢ充電、連続動作時間約 1,200 時間（約 1.5 ヶ月）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用時の音	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：起動音以外特になし（緊急地震速報付） ＳＡＮレーダー：ボタン操作時、捜索時に電子音が鳴る 小型ＳＡＮタグ：音なし
	緊急発報の方法	パソコン・スマホ・タブレット等へメールでお知らせ
	安全性の認証取得	ＰＳＥ
	防水・防塵加工	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：室内設置のため防水加工なし ＳＡＮレーダー：生活防水 小型ＳＡＮタグ：生活防水
	検知方式（センサー、画像など）	特定小電力無線 920 MH z 帯を活用した捜索システム
	検知範囲	市街地で約 0.5 ～ 300 m
	反応速度（タイムラグ）	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：約１分（通信環境やメール受信環境による） ＳＡＮレーダー：リアルタイム
	最大見守り人数	ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナ：最大 100 人 ＳＡＮレーダー：捜索ＩＤを切り替えるため無制限
	必要な通信環境	特になし（ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナに通信モジュール内蔵）
	必要なシステム・設備	パソコン・スマホ・タブレット等のメールを受信できる機器
	データの記録機能、有無と内容	小型ＳＡＮタグとＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナの通信記録（最大 300 件、30 日経過後に自動削除）
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	なし
	ユーザーによるお手入れ	小型ＳＡＮタグとＳＡＮレーダーの充電
	消耗品の有無	靴、バッテリー
	保証期間	購入から1年（ただし消耗品は除く）
	修理対応期間	都度
	耐用年数	約10年
コスト	本体・付属品の定価	210,870円（税込）
	設置導入に伴う費用	初期登録料 10,780円（税込）が別途必要
	ランニングコスト	ＳＡＮサービス利用料　初回２年間は無料 ３年目以降継続してＳＡＮフラワー見守りサービスご利用の場合は、月額費用 4,180 円（税込）が必要
	教育研修費	内容により相談
オプション	追加できる機能	とくになし
問合せ先	緊急時の問合せ先	加藤電機株式会社　TEL0569−21−6182 お問い合わせフォームはQRコードを読み取ること
	デモ・貸出	可能（要問い合わせ）
	よくある質問（Q&A）	Ｑ：小型ＳＡＮタグはどのように携帯すればいいのか？ Ａ：小型ＳＡＮタグを収納できる介護シューズ（ヘルシーライフ 500）を利用すること。またＳＡＮタグは小型なため、カバンなどに入れておくことができるが、別売りのお守り袋やフック付の袋に入れて携帯することもできる Ａ：家から外出したことをお知らせしてくれる機能はあるか？ Ｑ：外出した時に設定したメール（最大５ヶ所）に通知することができる。ＧＥＯフェンスＳＡＮアンテナは、ＧＥＯエリアを形成することができる。設置も簡単で 100 Ｖコンセントを差すだけである。また、自宅に帰宅した際にもメール通知を受けられるので、遠く離れていても見守ることが可能 Ａ：ＳＡＮレーダーは、建物の中に隠れている人も探せるか？ Ｑ：捜索可能。水や金属以外は電波を通過するため屋内にいる人も捜索可能。 また、山の中や地下など携帯電話の電波が入らない場所でも、専用の電波で捜索しているため捜索可能である Ｑ：小型ＳＡＮタグの電池残量はどうやって確認できますか？ Ａ：小型ＳＡＮタグ動作ＬＥＤにて電池残量を色（緑／橙／赤）で確認することができる 緑：電池残量は十分 橙：電池残量が少なくなっている。早めの充電をお薦めする 赤：充電が必要 Ｑ：身体への影響は？ペースメーカーを使っていても大丈夫か？ Ａ：体への影響が少ない低電磁波を使用している。医療用電気機器や心臓ペースメーカーなどを使用されている場合には、電波によりそれらの装置・機器に影響を与える場合があるので、医療用電気機器等をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響を確認すること

パンフレット等

製品カタログ　https://www.anshin-anzen.com/san-flower/user/product/

取扱説明書　https://www.anshin-anzen.com/san-flower/download/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=9KXhX6nVkys

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社インフィック・コミュニケーションズ

LASHIC-care（ラシクケア）

機器の概要

機器の機能

介護事業者が開発した見守りシステム。室内センサー、ベッドセンサー、ナースコールの３種類を基本セットとしています。居室内及びベッド上の在／不在、温度、湿度、照度、運動量、心拍数等、センサーが取得した情報をクラウド上で解析し、居室内の状況をPC等の画面に表示。異変検知時はアラートで通知し、カメラを使わずに完全非接触での見守りを実現します。ナースコールはアラートと同様に通知され、インカムとの連動も可能。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

ベッドの近くに、電源を１口ご用意ください（延長ＯＡタップをセットでお貸出します）。
閲覧用ＰＣ、タブレットは必ずご用意ください。
既設のＷｉ－Ｆｉの有無を問わず使用可能です。ただし、Ｗｉ－Ｆｉを使用しない場合、3Gの電波が届くことが条件となります。

試用期間中のサポート

見守りシステムを活用してケアをどのように変えていくか、同業者の目線からアドバイスやサポートを行います。

貸出期間	２週間　延長可
貸出可能台数	３セット

問い合わせ先　株式会社豊通オールライフ
〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅４丁目 11-27
TEL 052-533-5198　所属部署　事業企画グループ

販売開始

2018 年 4 月

販売価格

76,340 円（税込）

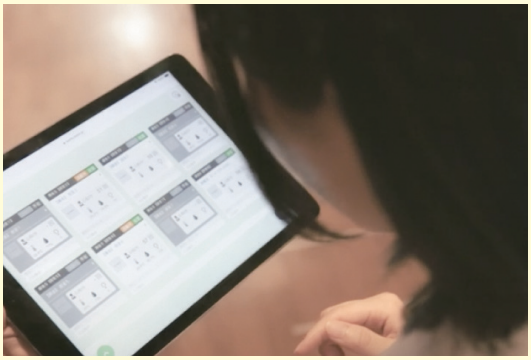
機器の仕様

LASHIC-care（ラシクケア）

センサー類はインターネット環境が必須。Ｗｉ－Ｆｉ、3G 回線、有線ＬＡＮともに可能。
物理的な専用配線は一切不要、電源を差すだけで使用可能。
閲覧側端末は、ＰＣ、タブレット、スマホ（Android、iOS）等の、インターネットブラウザを開くことができる端末、アプリがインストールできる端末が必要（スマホアプリ使用時）。

1. 親機（データ送信機器）
   H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm / 170g / AV100V
2. 室内センサー
   H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm / 120g / AV100V
3. 睡眠センサー親機
   H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm / 160g / AV100V
4. 睡眠センサーマット
   H1.0cm × W110.0cm × D80.0cm / 1.6kg / 電源不要
5. ナースコール
   H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm / 200g / AV100V / 音声通話可能

料金体系は、システム初期費用と月額利用料の構成となっています。
※販売価格欄には、システム初期費用（フルセット）を記載



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社インフィック・コミュニケーションズ

製品名　LASHIC-care（ラシクケア）

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・すべての高齢者（自立度を問わない） 【介護者】・将来の人手不足に課題を感じておりセンサーによる見守り導入に関心のある事業者、ケアの質を維持向上させるべくケアの手法を変えていきたいと考えている事業者、など
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等の水回り、結露の出やすい環境、高温多湿な場所、屋外 ・その他：分解、改造、専用ＡＣアダプタ以外での電源供給、その他目的外での使用
使用上の注意	注意事項	・認知症の程度により、センサーの存在や電源コードが気になってしまう利用者には、設置位置を工夫すること ・ベッドセンサーの設置位置がずれると正しく動作しないことがあるため、設置位置を確認すること
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない（ベッドセンサーは生活防水あり、多少の失禁であればビニールカバーにつき問題なし）
	誤報の有無	・ケーブル類の抜け、挿しが甘い　などの場合 ・インターネット環境によるセンサーデータの送信遅延などが誤報に感じられる場合あり
	使用上の注意	・検知範囲内の至近距離に物を置かない（室内センサー） ・正しい設置位置で使用する ・取扱説明書に記載の使用方法に準拠する
	倫理的の配慮	・カメラ使用せず、完全非接触であり、プライバシーに特に配慮した設計となっている ・サービス区分により必要な場合、家族からの同意を得ること
使用方法	使用方法	・センサー設置後、ユニット画面・個人画面での状態確認、把握 ・24 時間グラフを活用したアセスメント、それに伴うケアへの落とし込み ・ユニット画面を活用した夜勤帯の業務のやり方変更 ・個人毎のアラート設定の調整
	使用方法（再設定）	・端末の挙動が不安定な時は、ＡＣアダプタを抜き差しすることによる再起動を行う ・そのほか、管理画面上での再設定を行う
	使用環境	・居室内に限る　・Ｗｉ－Ｆｉネットワークがある、または、3G 回線の電波が届くこと ・介護ベッド推奨、ただし一般ベッドでも対応可能（ベッドセンサー）
	使用場面	・夜勤帯の訪室業務を削減し、ケアが必要な方へ必要なタイミングでケアを届ける ・生活リズムの変化や、いつもと違う事象を捉えて根拠を持ったアセスメントに基づき、日々のケアの方針に活かす ・その方の自立を支援、アセスメントを活かした先回りのケア、必要な部分のみへの支援 ・ベッドから降りている間、居室内での活動の様子を把握
	習熟期間	・閲覧画面、管理画面の操作方法　10 日間 ・センサー機器類の取扱い　1ヶ月 ・アセスメントに活かせるレベルで使いこなせるようになるまで　3ヶ月
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、付属品はベッド下などへ格納する ・高齢者が触れる場所に機器を置かない
	介護者に対する安全面の配慮	・ベッド移動の際はコードの接続状況に注意して行う ・ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・自立度の維持、向上 ・いつもと変わらない環境での見守りで、よい精神状態の維持
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・間接業務の時間を直接業務に充てられる ・ケアをすべき方へより厚くケアを届けることができる
	機器を使用することで実現する施設への効果	自立度の維持、ケアの質向上、離職防止、採用強化、エビデンスの強化、コスト削減、未経験者・初心者・外国人材の受け入れ
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・居室内　・Ｗｉ－Ｆｉが届く、または 3G 電波が届く環境
	設置場所	・ベッド反対側の壁面（室内センサー） ・ベッドマットレスとベッドの間（ベッドセンサー）
	設置方法	・ピン類（壁掛けフック等）を壁面に指し、引っ掛ける（室内センサー） ・結束バンド等を使用し介護ベッドのフレームに固定（ベッドセンサー）
	サイズ	1. 親機（データ送信機器）H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm 2. 室内センサー　H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm 3. 睡眠センサー親機　H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm 4. 睡眠センサーマット　H1.0cm × W110.0cm × D80.0cm 5. ナースコール　H14.4cm × W11.4cm × D3.0cm

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	形状	1. 親機（データ送信機器）箱型　2. 室内センサー　箱型 3. 睡眠センサー親機　箱型　4. 睡眠センサーマット　マットレス型 5. ナースコール　箱型
	重量	1. 親機（データ送信機器）170g　2. 室内センサー　120g 3. 睡眠センサー親機　160g　4. 睡眠センサーマット　1.6kg 5. ナースコール　200g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ベッドセンサーマット以外はＡＣ電源供給
	使用時の音	・高齢者側：ナースコールの音声のみ ・介護者側：ナースコールの音声・呼び出し音、緊急時のアラート音
	緊急発報の方法	・ＰＣ、タブレット等へ、画面表示でお知らせ ・ナースコール、ベッドセンサーの緊急性高いアラートは、スマホアプリへプッシュ通知（アラート音あり）
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知
	検知範囲	・センサーを頂点に、約 100°の円錐状　距離は実測 10m 以上可能　・ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	・緊急性の高いもの）即時～５秒以内（ネットワーク環境による前後あり） ・一般的な変化のお知らせ）即時～１時間に１回の定期処理
	最大見守り人数	・１セットあたりひとり　・最大セット数に上限なし
	必要な通信環境	・Ｗｉ－Ｆｉ または　3G 電波　が届くこと　または　有線ＬＡＮ
	必要なシステム・設備	・表示端末（ＰＣ、タブレット又はスマホ）　・ナースコールを使用する場合、スマホ
	データの記録機能、有無と内容	・開発中
	他の機器との連携・互換性	・インカム、介護記録ソフトと連携可能（当社指定メーカーのみ）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ、新機能追加
	ユーザーによるお手入れ	特になし
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	特段の定めなし
	修理対応期間	制限なし
	耐用年数	約５年～ 10 年
コスト	本体・付属品の定価	76,340 円（税込）（室内センサー、ベッドセンサー、ナースコール）
	設置導入に伴う費用	現地確認の上算定
	ランニングコスト	センサー１台あたり 1,078 円（税込）
	教育研修費	別途ニーズに応じてカスタマイズ可能
オプション	追加できる機能	インカム、バイタル測定機器（予定）
問合せ先	緊急時の問合せ先	050-1790-0601　※平日　9:00-18:00
	デモ・貸出	可能
	よくある質問（Q&A）	Q：一種類のセンサーのみ、ナースコールのみでも使用できるか? A：可能。組み合わせは自由に設定できる Q：専用ＰＣが必要か? A：不要。WEB ブラウザが開ければどの端末からでも閲覧が可能。 Q：Android のスマホでも使えるか? A：iOS と Android 両方使用できる Q：スマホがないと使用できないか? A：ナースコールを使わない場合には、スマホは必須ではない

パンフレット等

製品カタログ　https://lashic-care.jp/

取扱説明書　同上

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=EyLK6M2wWRU

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社マクニカ

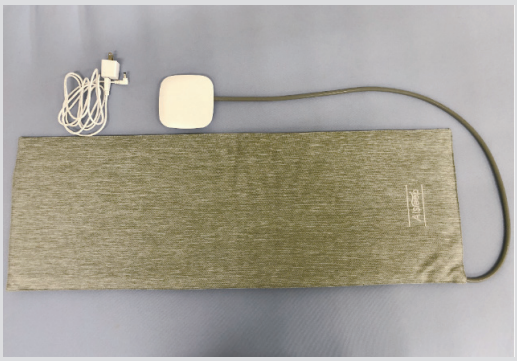
AttentiveConnect（アテンティブコネクト）

品番・型番
M100640728

機器の概要

機器の機能

離床時の検知スピードは、約３秒。間に合う介護を実現します。また、リアルタイムにバイタルを測定できるため、看取りでのご利用や、睡眠レポートによる、睡眠状態の確認も行う事が可能です。
また、カメラ機能の拡張も予定しており、ベッドセンサーとカメラの組み合わせの見守りも実現可能に致します。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

推奨は、施設内に 2.4GHz のＷｉ－Ｆｉが敷設されている事になりますが、Ｗｉ－Ｆｉが敷設されていない場合でも、持ち運び可能なポケットＷｉ－Ｆｉで導入されている施設様もいらっしゃいますので、ご相談ください。

試用期間中のサポート

デモ機の貸出し前に、使用方法の説明を実施させて頂き、その後、貸出期間中は、常時フォローさせて頂きます。機械が不得意と言う方でも安心してお使い頂ける様、サポートさせて頂きますので、ご安心ください。

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	1 台

問い合わせ先 株式会社マクニカ
神奈川県横浜市港北区新横浜 1-6-3
TEL 045-470-9831 MAIL caring_solution@macnica.co.jp
所属部署 フィネッセカンパニー 担当者名 西田　有佑

販売開始

2020 年 10 月

販売価格

110,000 円（税込）
※別途ランニングコストが必要

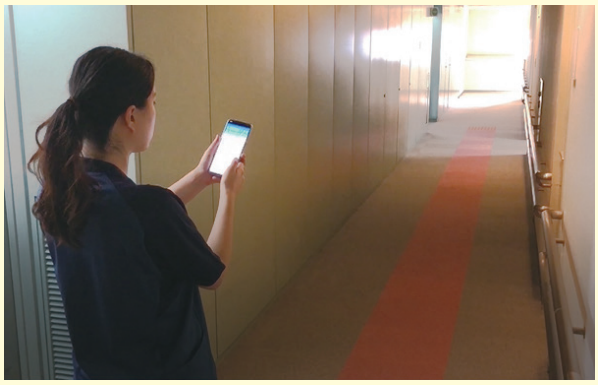
TAIS コード

02093-000001

機器の仕様

AttentiveConnect（アテンティブコネクト）

・ベッドセンサー
信号方式、複合型空気圧力変化検知機構
・センサーマット（チューブ含）：
寸法（mm）：835 × 290 × 19、質量 (g)：376 ± 25
・コアユニット
使用電源：USB 5.0V, 500mA、使用温度：0 ～ 40℃
湿度：結露しないこと、質量 (g)：86 ± 10
寸法（mm）：105 × 105 × 25
・無線LAN外部通信
Ｗｉ－Ｆｉ通信規格：802.11b/g/n 対応
周波数範囲：2.4GHz-2.5GHz
通信モジュール：ＣＥ／ＦＣＣ／技適認定



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社マクニカ

製品名　AttentiveConnect（アテンティブコネクト）　02093-000001

型　番　M100640728

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・ベッド上からの転倒リスクのある方、看取りケアが必要な方 【介護者】・従来のマットセンサー等で、アラートが鳴ってからの介助では間に合わないと感じている方、転倒リスクがある方でベッド上からの立ち上がりを遠隔で検知したいと思っている方、看取りケアで心拍 / 呼吸の生存確認を常にチェックしたい方など
	専門職の関与	特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外、浴室、高温多湿なところ ・その他：分解、改造、過電流
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れない様に設置すること ・白い箱（センサー本体）を踏んだり、蹴ったりしない様に注意すること
	安全に利用するための配慮	・白い箱（センサー本体）内に電気部品を使用しておりますため、水や液体をかけない様、注意すること
	誤報の有無	・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度が、極端に弱い場合
	使用上の注意	・灰色のセンサーマットは、胸の下あたりに敷くこと ・体圧分散のマットレスをご使用の場合は、それ専用のセンサーマットがあるため、申しつけること
使用方法	使用方法	・インターネットをご利用できるＰＣ / タブレット / スマートフォンから、弊社指定のＵＲＬへアクセスする ・ログイン画面より、弊社指定のパスワードでログインする ・設置方法はとても簡単で、センサーマットと本体の白い箱を接続し、センサーマットをマットレスの下に敷き、ＡＣ電源を挿すだけである ・施設内 / 自宅 / 外出先、どこからでも確認が可能である ・アラートの種類は、起き上がり時の「座位」、起き上がった後の「離床」心拍・呼吸時の「異常」がある
	使用環境	・マットレスの下に設置 ・使用温度：0 ～ 40℃ ・湿度：結露しないこと ・Ｗｉ－Ｆｉ通信規格：802.11b/g/n 対応 ・周波数範囲：2.4GHz-2.5GHz
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の心拍 / 呼吸異常を知りたいケース ・起き上がりで早期検知が必要なケース ・利用者の転倒・転落や徘徊リスクがあるケース ・看取りケアが必要なケース
	習熟期間	1ヶ月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コードを触ったり引っ張ったりしないよう隠すこと ・本体の白い箱（センサー本体）を蹴ったり、踏んだりしない様、可能であれば、ベッドフレームなどに吊るして固定すること
	介護者に対する安全面の配慮	・本体の白い箱（センサー本体）を蹴ったり、踏んだりしない様、可能であれば、ベッドフレームなどに吊るして固定すること
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	・転倒事故リスクの軽減、ＱＯＬの向上、労働環境の改善
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・屋内 ・Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア
	設置場所	・灰色のセンサーマットを、ベッドのマットレスの下に設置 ・センサーマットを、利用者の胸の下に設置
	設置方法	・ベッドのマットレスの下に敷くこと
	サイズ	・縦：290mm x 横：835mm

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	形状	・長方形
	重量（バッテリー含む）	・約 376g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・ＵＳＢ 5.0V, 500mA
	使用時の音	・アラート発生時に、アラートを知らせる音が鳴る
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ
	安全性の認証取得	・通信モジュール：ＣＥ／ＦＣＣ／技適認定済み ・付属ＡＣアダプタ：ＰＳＥ取得済み
	検知方式（センサー、画像など）	・空気圧力変化検知機構
	検知範囲	・ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	・座位の検知まで約３秒 （通知が届くまではＷｉ－Ｆｉの環境による影響あり）
	最大見守り人数	・上限無し
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要）
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・弊社クラウド上に下記を保存致します ・アラート 検知日時、検知項目、対象者、アラート発報から解除までの時間 ・心拍、呼吸 1分毎に記録しており、レポートとして表示可能 最大で1ヶ月分の確認が可能 ・睡眠 24 時間毎の睡眠状態をレポートとして表示可能 最大で2週間分の確認が可能
	他の機器との連携・互換性	・カメラ機能連携 ・介護記録連携（今年度中） ・ナースコール連携（今年度中） ・温湿度センサー（予定） ・赤外線センサー（予定） ・ドア開閉センサー（予定）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・遠隔によるクラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ ・不具合の場合、電話やオンラインにて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置を実施
	ユーザーによるお手入れ	・特に無し
	保証期間	・販売から１年間
	修理対応期間	・特に無し
	耐用年数	・約５年
コスト	本体・付属品の定価	・110,000 円
	設置導入に伴う費用	・無し
	ランニングコスト	・問い合わせること
	教育研修費	・無し
オプション	追加できる機能	・カメラ機能
問合せ先	緊急時の問合せ先	caring_solution@macnica.co.jp
	デモ・貸出	caring_solution@macnica.co.jp

パンフレット等

製品カタログ　https://www.macnica.co.jp/business/healthcare/products/134605/

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-32 見守り・コミュニケーション

株式会社フューチャーインク

Vital Beats 3in1

機器の概要

機器の機能

AI 搭載ベッドセンサ Vital Beats 3in1 は、マットレスの下に設置した薄型センサで、心拍数・呼吸数・眠りの深さがリアルタイムで確認できます。また離床状態や体位判定の機能も一つのセンサにてお使いいただけ、離れた場所でも利用者の状態を確認する事ができます。
インターネット接続可能な環境下で用いる web クラウドシステムの CarePatrol にて状態をモニターします。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

稼働に必要な環境は一式揃えた状態でお貸出しいたします。
※コンセント（電源）が必要です。
また、通信環境として KDDI の通信環境を利用いたしますので、通信機器の通信圏外の場合には利用いただけません。

試用期間中のサポート

販売主体となりますエヌ・デーソフトウェアにて全般的に受付ます。
平日9：00～17：00　電話にて受付・回答
貸出時も開梱から設置までご説明し、難しい設定なくご利用いただけます。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　エヌ・デーソフトウェア株式会社
TEL 0238-47-6900
担当者名　サポートセンター（VitalBeats 担当）

販売開始

2022 年 5 月

販売価格

198,000 円 (税込)

機器の仕様

Vital Beats 3in1

簡単に設置できる見守りベッドセンサーです。高い検知能力で・離床準備＆離床感知・リアルタイム睡眠判定・就寝体位判定・温湿度計測を利用者に触れることなく計測できます。Ｗｉ－Ｆｉ (2.4G もしくは 5.0G) データ送信され、サーバー蓄積後パソコンやタブレット端末で、各ベッドの状態（睡眠・覚醒・離床・体位・温湿度）を把握することができ、介護施設だけでなく在宅介護の見守りにも利用できます。また「離床」においては予兆を知ることもできます。

・シートセンサ：寸　法 750mm × 250mm × 2mm ～ 10mm ± 10%　重量 505g ± 20%　材質ＰＶＣ樹脂
・通信機：寸法 98mm × 212mm × 43mm ± 10%　重量 280g ± 10%　材質ＡＢＳ樹脂
・ＡＣ電源：ケーブル長 1.5m ± 20%　重量 66g ± 10%
・通信規格：Ｗｉ－Ｆｉ 802.11 b/g/n:2.4GHz　Ｗｉ－Ｆｉ 802.11ac/n/a:5Ghz
・電気的定格：通信機 DC5V/800mA　ＡＣ電源 AC100-240V 50/60Hz/ 出力 DC5V/2A
・消費電力：3.5W

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社フューチャーインク

製品名　Vital Beats 3in1

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方 ・体位変換が必要な方 【介護者】 ・職員の業務負担を軽減 ・利用者の睡眠の状態を把握 ・離床検知（危険予兆動作）の把握 ・就寝時体位判定（褥瘡予防）
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	【使用できない環境（場所）】 ・振動のある場所　電気毛布との併用 ・一人用の装置用（二人以上での使用不可） ・浴槽内や水の近くでの使用（生活防水を施している） 【その他】 ・分解・改造・機器への接触・過負荷・過電流・改変・改造・オーバーホール ・心拍計、呼吸計の代用にはならない。心拍、呼吸のデータは診断目的には利用不可。
使用上の注意	注意事項	・通信機の電源は付属のＡＣ電源ケーブルを使用すること ・通信機とシートセンサ及びＡＣ電源のコードはしっかりと接続すること ・電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないこと。 ・電源コードやセンサケーブルなどをシートセンサや通信機に巻き付けないこと ・不使用時には電源プラグをコンセントから抜くこと ・接続ケーブルを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグ部分を持って抜くこと ・濡れた手でケーブルの抜き差しはしないこと ・電源プラグにほこりを付着させないこと ・ケーブル類はベッド付近の歩行の妨げにならないように、余分なＡＣ電源ケーブルとセンサケーブルは別々に固定すること ・シートセンサを強く折り曲げたり、刃物などで傷をつけないこと ・火気に近づけないこと ・お手入れをするときは電源を切ること ・シートセンサを 50℃以上のものに近づけないこと ・電気カーペット、電気毛布などの暖房機器との併用は避けること ・振動のある場所では使用しないこと ・一人用の装置のため二人以上での、使用は不可 ・通信機と外部通信機器との間には金属等の電波を遮断するものを設置しないこと ・心臓ペースメーカーなどの医療機器と併用する場合は、各医療機関や施設の案内および指示に従い、安全を確認してから使用すること ・本製品を落としたり、ぶつけたりしないこと ・本製品は完全防水構造ではないので、浴槽内や水の近くでの使用や保管をしないこと ・本製品の分解・修理・改造を行わないこと ・ＡＣ 100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、電源プラグを差し込まないこと ・タコ足配線は行わないこと ・本製品は日本以外では使用不可 ・ルーターは通信機からの電波が十分届く範囲に設置すること
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認すること ・使用上の注意を確認すること
	誤報の有無	・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合、nosignal 表示となる
使用方法	使用方法	使用者のベッドマットレス下にシートを固定、通信機をヘッドボードに固定、ホームルーターおよび通信機をコンセントに繋ぎ電源を入れる。モニターはインターネット接続可能なＰＣ等にて carepatrol サイトへアクセスし情報確認を行う
	使用方法（再設定）	carepatrol にてベッド設定の変更を行う
	使用環境	・使用時：湿度 0～40℃　湿度 10～90% RH ・Ｗｉ－Ｆｉ（無線 LAN）が必要となる 　利用する為には、各通信事業者が提供するサービスの契約が必要 ※ルーターは通信機からの電波が十分届く範囲に設置すること ※マットレスの厚さは材質によるが約 20 ㎝まで対応している ※注意 一部の、ウォーターベッド、スプリングマット、褥瘡予防マット、エアーマットなどで利用できない場合がある
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・体位変換が必要な方
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約3日間
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れた状態でベッドを移動しない ・ケーブルを繋いだ状態でベッド移動しない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒や転落のリスク低減 ・眠りの質の向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の業務負担を軽減 ・利用者の睡眠の状態を把握 ・離床検知（危険予兆動作）の把握 ・就寝時体位判定（褥瘡予防）
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上 ・労働環境改善
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・屋内での介護施設・病院内　居室（個室・多床室）、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア、居室の頭部
	設置場所	【通信機】 ・ベッドのヘッドボードかフットボードに設置 【シートセンサ】 ・ベッドのマットレスまたは敷布団の下に設置

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置方法	【通信機】 ・通信機に付属するフックをベッドのヘッドボードもしくはフットボードに取付する 【シートセンサ】 ・ベッドのマットレスまたは敷布団の下にシートセンサを設置する ・シートセンサの印刷面が表面に来るように使用する ・設置位置が利用者の鳩尾を目安に肩甲骨から腹部の間になるように固定ベルトの長さを調節して設置する
	サイズ	【シートセンサ】寸法 750mm × 250mm × 2mm ～ 10mm ± 10% 【通信機】寸法 98mm × 212mm × 43mm ± 10% 【ＡＣ電源】ケーブル長 1.5m ± 20%
	形状	シート型センサ
	重量（バッテリー含む）	【シートセンサ】505g ± 20% 【通信機】280g ± 10% 【ＡＣ電源】66g ± 10%
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	【通信機】 DC5V/800mA ＡＣ 電源：入力 ＡＣ 100-240V 50/60Hz / 出力 DC5V/2A
	使用時の音	・無音
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ
	安全性の認証取得	一般医療機器 届出番号：06B3X10003000002
	防水・防塵加工	・本製品は完全防水構造ではないので、浴槽内や水の近くでの使用や保管をしないこと ※生活防水を施している
	検知方式（センサー、画像など）	・センサで検知（センサにかかる振動（圧力変化）を解析している）
	検知範囲	【シートセンサ】 ・ベッドのマットレスまたは敷布団の下にシートセンサを設置 ・シートセンサの印刷面が表面に来るように使用する ・設置位置が利用者の鳩尾を目安に肩甲骨から腹部の間になるように設置する ※マットレスの厚さは材質によるが約 20 ㎝まで対応している ※注意 一部のウォーターベッド、スプリングマット、褥瘡予防マット、エアーマットなどで利用できない場合がある
	反応速度（タイムラグ）	・30秒毎に送信 ※通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり
	最大見守り人数	・1 システム表示上限なし（1 ベッド 1 センサ） ・1 人 / 台（通信機・シートセンサ・ＡＣ電源） ※Ｗｉ－Ｆｉ環境による影響あり
	必要な通信環境	通信環境要 ・インターネット環境 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルータが必要） ・各居室へのＷｉ－Ｆｉ環境整備 ・無線 LAN（Ｗｉ－Ｆｉ）802.11 b/g/n：2.4GHz もしくは 802.11 ac/n/a：5Ghz
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等） ・ネットワーク機器 ・CarePatrol
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサ番号、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能 ・30秒毎に記録する情報：就床・離床、睡眠深度、体位、ベッドサイド室温・湿度 ・30秒毎に記録した利用者の状態及び居室の状況を 1 日 24 時間分、利用者単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能 ・異常報知した場合、アラートを発報 ・脈・呼吸のデータを継続的に記録可能 ・保存期間は 5 年 ・CSV ファイルのデータエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合・故障時対応 ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問対応（状況によっては有償対応） ・不具合の場合、必要に応じて現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う。（状況によっては有償対応）
	ユーザーによるお手入れ	・本製品の汚れは固く絞った濡れたやわらかい布等で軽く拭くようにする
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	・1年
	修理対応期間	・1年間は取り扱い起因でない場合は、無償対応 以降は有償修理の扱い
	耐用年数	・5年（自己認証による） ただし、消耗部品であるＡＣ電源の交換を行った場合による
コスト	本体・付属品の定価	¥198,000（税込）
	設置導入に伴う費用	別途お見積り
	ランニングコスト	CarePatrol システム利用料（施設単位年間 6 万円）
	教育研修費	・特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	エヌ・デーソフトウェア株式会社 0238−47−6900
	デモ・貸出	可能

パンフレット等

製品カタログ　http://www.futureink.co.jp/

取扱説明書　http://www.futureink.co.jp/

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ハピネスコーポレーション

Iot 見守りシステム Happiness 絆

機器の概要

機器の機能

介護者の声を基に開発した「Happiness 絆」の特徴は見やすい・分かりやすい・操作しやすい事です。「パソコンが苦手」「毎日使っても苦にならない」など、現場で働く介護者の意見を取り入れながら作り、タッチするだけのシンプル操作です。自動化したことにより操作するボタンがほとんどないため、導入後すぐに使えるというメリットがあります。「業務の見える化」「働き方改革」を推進したい介護施設をサポートします。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・居室内のベッド付近に電源があること
・居室とスタッフステーションの距離：貸出の際は、簡易的に独立したネットワークでシステムを稼働させるため、居室とスタッフステーションの距離はＷｉ－Ｆｉが届く範囲内（管理サーバ&モニター設置場所より 10 m程度）

試用期間中のサポート

試用期間開始時の勉強会や、期間中の不明点への回答、試用期間後のフィードバックまで一貫してご対応いたします。

貸出期間	1週間程度
貸出可能台数	1式※要相談

問い合わせ先　株式会社ハピネスコーポレーション
〒106-0032　東京都港区六本木7-7-7　トライセブン六本木8階
TEL 0120-335-873　MAIL s.kimoto@happiness-corp.co.jp
所属部署　代表取締役 CEO　担当者名　木元修二

販売開始

2020 年 10 月

販売価格

オープン価格

機器の仕様

Iot 見守りシステム Happiness 絆

入居者の急な体調変化への対応や、夜勤時における排泄の確認など、介護の仕事はこまめな確認を要する場面があります。そんな介護者の負担軽減と状況把握を目的に開発したのが Iot 見守りシステム「Happiness 絆」です。センサーをマットレスやシーツの下にセットするだけの非接触式なので、入居者は不快を感じることなく日常生活を送ることができます。同システムは、以下３つを自動化することで「業務の見える化」「働き方改革」を推進したい施設をサポートします。

①バイタルセンサー：マットレスの下にセットした専用センサーが入居者の呼吸数や心拍数の異常をキャッチしてお知らせします。
②離床センサー：入居者がベッドから起き上がると離床検知センサーが作動し、すぐにお知らせするので、慌てることなく離床介助ができます。
③非接触おむつセンサー：入居者がおむつの中に排尿・排泄すると、厚さわずか 0.35mm のシート型センサーがキャッチしてお知らせします。

・オプションでカメラも取り付けられます。
・感染症リスク対策として接触回数削減などにも有効です。
・独自のナースコールシステムやスタッフ間通話機能もございます。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ハピネスコーポレーション

製品名　**Iot 見守りシステム Happiness 絆**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方、睡眠時におむつを使用している方 【介護者】 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など ・夜間の巡視効率化やケアの質向上を希望している方
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外など ・お客様による分解、改造、修理など ・管理用パソコンは、本製品専用として使用すること
使用上の注意	注意事項	・本製品を医療用または診断設備として使わない ・利用者が触れない所に設置する ・湿気やほこりの多い場所に放置しない ・お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ・高温になる場所（ストーブなどの火のそばなど）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止すること。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜くこと
	安全に利用するための配慮	・指定する設置条件や設置方法以外での使用は避けること ・付属のＡＣアダプタ以外は使用しない ・電源プラグは根元まで確実に差し込む ・電源プラグのホコリ等は定期的にとる ・コントロールボックスを水につけたり、水をかけたり、水をこぼしたりしない ・濡れた手でＡＣアダプタやプラグの抜き差しをしない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合 ・貸出用のＰＣがスリープモードになっている場合
	使用上の注意	・電源コードやセンサーマットケーブル（特にセンサーマットケーブル接続部）に負荷をかけたり、傷つけたりしない ・センサーを強く折り曲げない ・コントロールボックスやＡＣアダプタを落としたり、強い衝撃を与えない ・リクライニング時に、折れ曲がる部分には設置しない ・端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる）
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意を得る。
使用方法	使用方法	・異常を検知しするとモニター、タブレット、スマートフォンに通知されるので、画面をタップする事で対応することができる ・非接触おむつセンサーを使用する際は、おむつ交換後にコントロールボックスのリセットボタンを押してセットする
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続にする ・非接触おむつセンサーを使用する際は、おむつ交換後にコントロールボックスのリセットボタンを押してセットする
	使用環境	・Ｗｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・通常の見守りケアから看取りケアの場合 ・おむつの中に排尿・排泄があった場合 ・業務負担を軽減したい場合 ・業務効率を向上させたい場合
	習熟期間	・バイタルセンサーおよび離床センサーについては導入後すぐ非接触おむつセンサーについては利用者の排尿・排泄のパターンを把握する期間（約2週間程度）
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・移動の際はケーブルを踏まないように注意する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒リスクの軽減 ・睡眠の質の向上 ・おむつ交換までの不快感の減少
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・利用者の状況を把握することで状況に応じた対応が可能になる ・アラート機能を利用して利用者の異変に素早く気付くことができる ・排尿・排泄が有った場合に迅速に対応できる
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上 ・労働環境の改善 ・紙おむつの使用の低減 ・エビデンスデータの保持 / 訴訟リスクの軽減 ・夜勤時の訪室頻度削減等業務負荷や効率化の実現
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・屋内、介護施設や病院内　居室（個室・多床室） ・Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア
	設置場所	・センサー類はベッドのマットレス等の寝具の下 ・カメラはベッド頭部側中央など任意の場所
	設置方法	・バイタルセンサーはマットレスの下、利用者の肩付近に設置 ・離床センサーはマットレスの下、利用者のみぞおち付近に設置 ・非接触おむつセンサーはマットレスとシーツの間、臀部付近に設置

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	サイズ	・バイタルセンサー　830mm × 140mm　厚さ 30mm ・離床センサー　760mm × 120mm　厚さ 20mm ・非接触おむつセンサー (M)　470mm × 370mm　厚さ 0.35mm ・非接触おむつセンサー (L)　590mm × 460mm　厚さ 0.35mm
	形状	塩化ビニール　ケーブル長 : 3 m
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・コントロール装置　電源 ＡＣ / ＤＣ 電源アダプタ（12V） ・装置サイズ幅 165 ×高さ 78 ×厚さ 32mm
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ
	安全性の認証取得	ＥＭＣ準拠　適合 ・安全性試験　適合 ・ＡＣアダプタ　「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得 ・内部通信モジュールは技適取得 ・医療機器　クラスⅠ（体動センサ）届出　＊機種による
	防水・防塵加工	防水・防塵加工なし
	検知方式（センサー、画像など）	・バイタルセンサー : 空圧方式 ・離床センサー : 接点方式 ・非接触おむつセンサー : 静電容量検知方式
	検知範囲	・ベッド上（＊ベッドの個体により影響される可能性あり）
	反応速度（タイムラグ）	・0.5 秒以内 (通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり)
	最大見守り人数	1人 / 台 1システム / 上限なし（要相談）
	必要な通信環境	・各居室へのＬＡＮケーブル配線、施設内のＷｉ－Ｆｉ環境整備、インターネット環境 (電波調査を行い必要な通信環境を把握)
	必要なシステム・設備	専用パソコン、専用ソフトウェア、ネットワーク機器 専用スマートフォン、専用タブレット
	データの記録機能、有無と内容	・１分毎に記録する情報 : 離床、心拍数・呼吸 ・データーの保存期間は専用サーバー本体の記憶媒体に比例 ・ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	・専用ナースコールと連携可能 ・介護記録ソフトとの連携可能（要相談）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、電話やメールによる受付 ・システムにメンテナンスが必要と判断した場合は遠隔作業、または現地作業によるメンテナンスを実施 ・ご要望に応じて、保守契約あり
	ユーザーによるお手入れ	・タブレット端末の充電 ・本体カメラ部の清掃 ・ホコリの除去 ・空圧検知センサーの空気充填 ・コントローラ・センサーはＡＣアダプターを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとる
	消耗品の有無	・タブレット端末のバッテリーや電池（有償交換） ・非接触おむつセンサーのカバー
	保証期間	導入日から1年間（お客様瑕疵の場合を除く） 2年目以降は保守契約あり※詳細は問合せ
	修理対応期間	導入日から1年間（お客様瑕疵の場合を除き無償対応） 2年目より保守契約締結の場合、お客様瑕疵の場合を除き無償対応 ※2年目より1年間の更新契約（選択可）
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	システム製品につき、施設規模による
	設置導入に伴う費用	設置工事費、配線・電源工事費 ※設置環境の状況による
	ランニングコスト	インターネットプロバイダー費用　光回線費用
	教育研修費	初回は無料で実施 2回目からは1回　50,000 円
オプション	追加できる機能	専用ナースコール、居室用カメラ
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ハピネスコーポレーション（TEL : 0120-335-873）
	デモ・貸出	対応可能 ※お気軽にお問合せのこと
	よくある質問（Q&A）	Q : お試しに対する費用負担はあるか? A : 無料である。使用状況をご確認頂いてから、レンタルや購入となる

パンフレット等

製品カタログ　　メールにて PDF データをお送りします。

使用方法等の動画　https://youtu.be/pFee7EdMYDc

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-34 見守り・コミュニケーション

株式会社フォーエヴァー

【睡眠!ケア】 いきいきセンサー

品番・型番
SC-01

機器の概要

機器の機能

見守りセンサーとしては最小クラスのセンサーを「１つ」ベッドの脚に挟むだけ！！
日々の業務を増やすことなく、心拍、呼吸、離着床行動を見守れる機器です。
一度設置をすればメンテナンスがほとんど必要なく、利用者からは手の届かない場所に設置が可能です。
存在感が極めて薄いため利用者自身も機器の存在を感じず、安心してお使いになれます。
また、クラウド環境を利用するため、離れた場所でもモニタリング可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・Ｗｉ－Ｆｉ環境及びインターネット環境
（ベッドの脚元まで通信電波が届くこと）
・Google Chrome が使用できるＰＣ又はタブレット
・スマホ（Android8.0 以上、ｉＯＳ 14 ～ 16）※通知に必要

試用期間中のサポート

ご不明点があれば電話もしくは、オンライン（ZOOM）にてご対応いたします。
受付時間　9：00 ～ 17：30　（土日祝日は除く）

貸出期間	２週間程度
貸出可能台数	２台

問い合わせ先　株式会社フォーエヴァー
大阪府大阪市北区豊崎 5-6-10　商業ビル
TEL 06-6486-1054　MAIL ikiiki@fvr.co.jp
所属部署 営業部　担当者名 岡・池永

販売開始

令和 4 年 4 月

販売価格

オープン価格

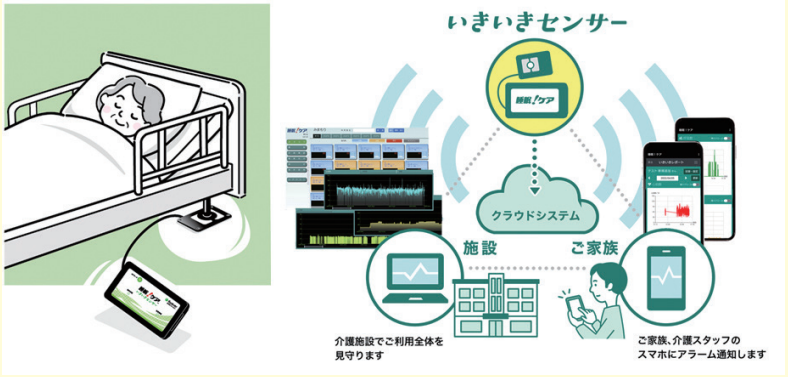
TAIS コード

02074-000001

機器の仕様

【睡眠!ケア】 いきいきセンサー

●掌サイズのセンサー一つで、心拍、呼吸を測定し、離着床行動をリアルタイムで検知します。
●離床通知が即座にＰＣ、スマホに届くため、夜間巡視回数の効率化に役立ちます。
●取得したバイタルデータはクラウド環境に保存します。
●施設や離れた場所から利用者の状況をＰＣやタブレットから見守れるので、介護施設だけでなく在宅介護でも利用できます。
●睡眠状況（深い睡眠・浅い睡眠・覚醒）を割り出すことができます。
●睡眠のデータは週間、月間に分けて帳票出力できるので、見える化された活動の状況から生活リズムを知ることで、昼夜逆転生活を防ぎ身体や心をよりよくケアすることができます。
●データを統計活用することでトイレ誘導やケアプランの作成・改善にも役立ちます。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社フォーエヴァー

製品名　　【睡眠!ケア】　いきいきセンサー　02074-000001

型　番　　SC-01

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・転倒転落リスクのある方、徘徊予防の必要な方、障害者の方、生活リズムを把握したい方など 【介護者】・離れた場所から複数の利用者状況を見守りたい、夜間の巡回の負担を軽減したい、入居者の生活リズムを客観的に把握したい方など
	専門職の関与	特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール、水洗い等
使用上の注意	注意事項	・製品を医療用、診断用として使わない ・振動の多い場所や、磁気を帯びた電化製品の近くで使わない
	安全に利用するための配慮	・附属のＡＣアダプター以外は使用しない　・電源プラグは根元まで確実に差し込む ・電源プラグのホコリ等は定期的に取る　・濡れた手でＡＣアダプタを触らない
	誤報の有無	・センサー位置がずれた場合　・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・センサー部以外に負荷をかけないようにする ・センサーの利用は一人用の測定器の為、複数人で利用しない
	倫理的の配慮	・取得した利用者の情報を許可なく利用しない
使用方法	使用方法	・付属の専用ＡＣアダプターを使用しセンサーとコンセントをつなぐ ・センサーとＷｉ－Ｆｉ環境の接続設定をする　・ベッドの脚の下にセンサー部を設置する ・利用者毎にベッド基準値を設定する ・離床を検知するとスマホやタブレットに通知する ・通知の種類：離床、長時間離床 ※ベッド基準値：離床状態のベッドの重みと就床状態のベットの重みの中間の値 離床通知：利用者がベッドから離れた時の通知 長時間離床通知：利用者が離床して、設定された時間までにベッドに戻らなかった時の通知
	使用方法（再設定）	・いきいきセンサーの電源を入れ、ベッドの脚の下にセンサー部を設置する ・必要に応じ、センサーとＷｉ－Ｆｉ環境の接続設定をする ・スマホアプリかＰＣの【睡眠!ケア】にログインする ・必要に応じ、ベッド基準値を再設定する
	使用環境	・適用温度：0℃から40℃　・適用湿度：95%未満 ・センサーの設置場所が平面であること ・脚のあるベッドタイプの寝床であること ・Ｗｉ－Ｆｉを利用したインターネット接続を利用する ・センサーは一人用の測定機器のため、ベッドでパートナーや子供、ペットと一緒にご利用する場合、正しく測定することができない ・振動が多い場所では測定しないでください。測定結果に影響する恐れがある ・電波障害を受けやすい電子機器のそばで利用しない（例：電子レンジ、冷蔵後等）
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く知りたい場合　・夜間巡回の負担を軽減したい場合 ・利用者の生活リズムを把握したい場合　・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・個人に合った生活改善を介護サービスとして補助する目的
	習熟期間	・基本操作は、スマホの操作になれていれば即日利用可能 ・統計データの活用には１～２ヵ月のデータ蓄積が必要
	高齢者に対する安全面の配慮	・センサーを利用者が接触する位置や向きに設置しない ・ケーブル類は、足元に引っかからないよう配線する
	介護者に対する安全面の配慮	・センサーの移動・再設置の際は、慣れるまで複数人で対応する ・ケーブル類は、足元に引っかからないよう配線する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・体調の急激な変化に対応できる　・昼夜逆転生活を改善するための指標になる ・転倒・転落・徘徊のリスク低減　・介護サービスのタイミングによって睡眠を妨げられることがなくなる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・直接居室に訪問することなくベッドでの臥床離床を把握でき、夜間の見回り業務が軽減できる ・訪室のタイミングによる居住者と介護者との間の諍いが無くなる ・「訪室時に床に倒れているかも」といった不安から解放され、精神的な負担軽減が見込める ・バイタル情報や睡眠状況の統計から、利用者の生活リズムを把握することで、利用者の睡眠を妨げることなくおむつ替え等介護サービスの行うことが可能になる ・上記の結果、利用者と介護者お互いに負担を感じない介護サービスを実現することができる
	機器を使用することで実現する施設への効果	・巡回回数を減らすことができ、利用者一人ひとりのケアの質が向上する ・業務軽減の結果、業務の時間効率が向上する ・職員の心理的・肉体的負担が軽減するため、離職率の抑制に繋がる ・見守り機器導入のＰＲができ、入居者募集の促進や職場の魅力向上に繋がる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設、病院内、在宅の居室（Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア）
	設置場所	・ベッドの脚の下（4本脚のうちいずれか1本）
	設置方法	・ベッドの脚の下に一枚敷く
	サイズ	本体：129.5mm×72mm　厚さ 16mm　　センサー：85mm×60mm　厚さ 8mm
	形状	本体・センサー部：板状

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	重量（バッテリー含む）	185g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣ 100－240V、50/60Hz
	使用時の音	Android ＯＳ、ｉＯＳの通知音（スマホの設定より変更可能）
	緊急発報の方法	・スマホアプリ上にて音、ポップアップでお知らせ（通知音はスマホの設定より変更可能） ・ＰＣの管理画面のアイコンと通知バナーよりお知らせ
	安全性の認証取得	・ＡＣアダプターは◇ＰＳＥマーク取得　・内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	防水加工無し　防塵加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	・振動センサー及び荷重センサー
	検知範囲	・ベッドの脚部
	反応速度（タイムラグ）	・通知：２秒～７秒　・データ取得：５秒毎　（※Ｗｉ－Ｆｉ環境による影響あり）
	最大見守り人数	・センサー1人 / 台　・システム見守り人数　上限なし
	必要な通信環境	・インターネット環境　・無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz/5GHz（ない場合、モバイルルータが必要） ・データの閲覧にはインターネットが必要
	必要なシステム・設備	・通知音を受け取る端末：(Android ＯＳ、ｉＯＳのスマホ、タブレット) ・表示端末　ＰＣ、タブレットはブラウザーで閲覧、スマホとタブレットは専用アプリで閲覧が可能 ※１：専用機器の購入は必要ありません。現在お使いの物を利用可能 ※２：Android ＯＳ 8.0 以上、またはｉＯＳ 14～16 以上であること
	データの記録機能、有無と内容	・体動、心拍、呼吸、離床状態のデータ　・離床通知機能より通知された日時のデータ ・心拍・呼吸・離床データから割り出した睡眠データ
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動（※メーカーなどご相談のこと）　・介護ソフトとの連携（※ご相談のこと）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認　・不具合の場合、メール、電話にて受付 ・システム稼働状況の確認　・システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・離床通知を受け取る端末の充電（ＰＣ、タブレットやスマホの携帯端末） ・汚れた場合、水または家庭用中性洗剤を含ませた布をよく絞ってから拭き、その後乾いた布で拭き取ること
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	購入いただいた日から１年（メーカー保証）
	修理対応期間	契約期間中
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	オープン価格
	ランニングコスト	システム利用料：オープン価格
	教育研修費	無し
オプション	追加できる機能	カスタマイズご相談
問合せ先	緊急時の問合せ先	06-6486-1054
	デモ・貸出	あり
	よくある質問（Q&A）	Q. ベッドの形に制限はあるか? A. 足のあるベッドタイプであれば使用可能 布団やマットレスのみは利用不可 Q. 何 Kg まで荷重を乗せられるか? A. ベッドの荷重含めて、300Kg まで可能 Q. 使用するパソコンの指定はあるか? A. 現在お使いになっているＰＣで利用可能 推奨のスペックは、ＯＳ：Windows10、ブラウザー：GoogleChrome78 以上 Q. 使用するスマホの指定はあるか? A. Android8.0 以上、またはｉＯＳ 14～16 以上

パンフレット等

製品カタログ　https://www.fvr.co.jp/ikiiki/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=3SkgbcSJLwA

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

システムファイブ株式会社

介護施設向け見守りシステム「すいすいケア」

品番・型番
S2C

機器の概要

機器の機能

「すいすいケア」は、センサーとカメラで介護施設の見守り業務改善を支援します。手のひらサイズのコンパクトなセンサーとカメラで使いやすい見守り機器です。センサーは端座位や起上がり、ドアの開閉などを検知可能、ベッド周辺にとどまらず施設全体を見守ることが出来ます。カメラ映像は居室内では、プライバシーに配慮してセンサー反応時のみ見ることが出来ます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

居室内まで電波の届くＷｉ－Ｆｉ環境が必要です。まだＷｉ－Ｆｉ環境が整っていない場合、弊社より通信機器の貸出も可能です。

試用期間中のサポート

・使用機器の設置は弊社スタッフがお伺いします。その際に操作説明会も行います。
・使用中の疑問点などは随時、サポート窓口にて承ります。

貸出期間	２週間～１ヶ月
貸出可能台数	４台

問い合わせ先 システムファイブ株式会社
〒852-8053　長崎県長崎市葉山1丁目9番31号日障シャトービル2階
TEL 095-856-6061　MAIL info@sfk-nga.co.jp
所属部署 営業部　担当者名 杉永

販売開始

2020 年 10 月

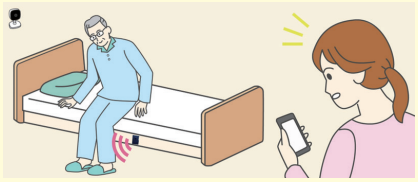
販売価格

構成により価格が異なるため、お問合せください。

機器の仕様

介護施設向け見守りシステム「すいすいケア」

【センサーとカメラが連動】端座位や起上がりの動作をセンサーが検知するとスマートフォンとパソコンに通知。カメラ映像を確認できます。しっかり確認して、駆けつけの要否・優先順位を決めることが出来ます。
【コンパクトなセンサーとカメラ】センサーとカメラは 10 センチ以下のコンパクトサイズ。センサーは電池駆動で約 3 年の動作。職員様で気軽に取り扱うことが出来ます。
【カメラ録画機能】カメラ映像を夜間もしっかり録画。もしもの事故の際に録画映像を検証することで、事故の再発防止対策を行うことが出来ます。
【プライバシー機能】カメラ映像は居室内では、プライバシーに配慮してセンサー反応時のみ見ることが出来ます。



（利用シーン）

（システム画面）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　システムファイブ株式会社

製品名　**介護施設向け見守りシステム「すいすいケア」**

型　番　S2C

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方 【介護者】 ・プライバシーに配慮しつつカメラを使った見守りを行いたい方 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：Ｗｉ－Ｆｉの電波強度が十分ではない場所 ・その他：分解、改造、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れないところに設置する ・センサー部には負荷がかからないようにする ・本製品は、利用者における介護施設の管理に用いることを予定しているが、完全かつ網羅的な利用者の見守りを保証するものではない。利用者の施設における施設利用者の安全配慮については、利用者の責任において判断するものとする
	安全に利用するための配慮	・利用者が触れないところに設置する ・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・センサを遮るような物の配置をしない ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・センサーおよび受信機の電源が抜けないようにする
	倫理的の配慮	・施設からご本人・家族の同意書を取得する ・基本機能としてセンサーが認識・通知した時のみ、カメラ映像で状況を確認する事が出来る仕様としている
使用方法	使用方法	・見守り対象者／エリアにセンサーおよびカメラを設置する ・センサーに反応があった場合、スマートフォン／ＰＣにアラート通知があり、カメラ映像で状況を確認する ・センサーによるアラートは、「起上がり」「端座位」「ある地点の通過」「ドアの開閉」により発報する ・アラートの発生時、状況を記録し確認することが出来る
	使用方法（再設定）	・移動時はセンサー／カメラ／受信機を取り外し、次の見守り対象の居室に設置する ・管理画面でセンサー／カメラと居室の紐付けを再設定する
	使用環境	・屋内での使用（ただし結露しないこと） ・Ｗｉ－Ｆｉの電波強度が十分であること
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・共用部などの見守り
	習熟期間	・スマートフォンの扱いに慣れている方であれば1日で使いこなせる ・概ね1週間程度で使いこなすことが可能である
	高齢者に対する安全面の配慮	・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・状況に応じた適切な訪室 ・転倒事故発生時に、録画映像をもとに正確な状況把握と転倒対策が可能 ・不要な訪室の削減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・不要な訪室の削減 ・アラート同時発生時の優先順位付けを適切に行うことが出来る ・業務負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故の再発防止 ・労働環境改善／職場の魅力向上（ＰＲ等） ・録画によるエビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設・高齢者施設・障害者支援施設 ・居室内、廊下などの共用エリア ・Ｗｉ－Ｆｉの電波強度が十分であるエリア
	設置場所	・センサー：ベッドフレーム ・カメラ：天井や棚の上など
	設置方法	・センサーは両面テープ等で固定 ・カメラは専用治具やネジで固定
	サイズ	・センサー：47mm（Ｗ）×55mm（Ｈ）×18.5mm（Ｄ） ・受信機：124.3mm（Ｗ）×35mm（Ｈ）×67mm（Ｄ） ・カメラ：67.6mm（Ｗ）×98.9mm（Ｈ）×54.8mm（Ｄ）
	重量（バッテリー含む）	・センサー：15g ・受信機：185g（ＡＣアダプタ含む） ・カメラ：150g（ＡＣアダプタ含む）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・センサー：ボタン電池 ・受信機：ＡＣアダプタ ・カメラ：ＡＣアダプタ
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ
	安全性の認証取得	・内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（赤外線センサー）
	検知範囲	・距離5m、水平方向（38度）／垂直方向（22度）
	反応速度（タイムラグ）	・1秒以内　（※通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり）
	最大見守り人数	・1利用者あたり、最大4種のセンサーを利用可能 ・最大設置床数：150床
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・無線LAN（Ｗｉ－Ｆｉ）2.4GHz環境
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等） ・専用サーバーＰＣ
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・居室名、検知履歴一覧の表示、エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能 ・ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有 ・カメラ映像は約1週間保存
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールとの連携可能（メーカーについてはお問合せのこと） ・眠りスキャンとの連携可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・電話、メールでの問い合わせ受付 ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問
	ユーザーによるお手入れ	・スマートフォン、タブレット端末の充電 ・センサーのボタン電池交換（数年ごと）
	消耗品の有無	・センサー用ボタン電池
	保証期間	・機種により異なる
	修理対応期間	・機種により異なる
	耐用年数	・機種により異なる
コスト	本体・付属品の定価	・構成により異なる
	設置導入に伴う費用	・構成により異なる
	ランニングコスト	・構成により異なる
	教育研修費	・導入時に無償で実施
問合せ先	緊急時の問合せ先	（TEL）095−856−6061 システムファイブ株式会社 すいすいケアサポート係
	デモ・貸出	・あり
	よくある質問（Q&A）	Q. カメラは夜間でも見られるか? A. ご利用可能。ナイトモードに自動で切り替わる Q. 専用ＰＣが必要か? A. 必要。新規でご購入のこと Q. ｉPhoneも利用出来るか? A. ｉPhone／ｉPadとも利用可能

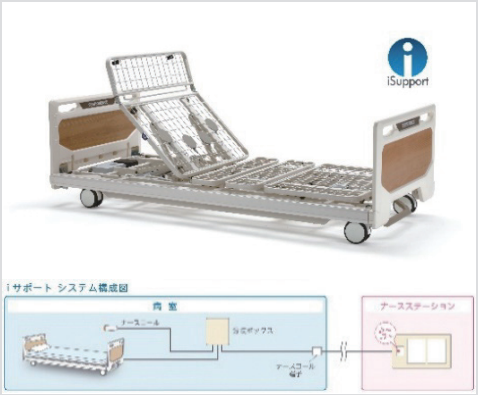
シーホネンス株式会社

ベッド内蔵型見守りセンサー「iサポート」搭載　Xシリーズ

機器の概要

機器の機能

「ｉサポート」は、非接触・無拘束で利用者の自立行動を尊重しつつ、シンプルかつ本質的に必要なサポートができるベッド内蔵型見守りセンサーです。
お使いのナースコールを通じて、利用者のベッド上での起き上がり・離床・徘徊などの状態をリアルタイムにスタッフに知らせることができるので、転倒や転落などのリスク低減や、適切なタイミングでスタッフが訪室するなどの介護業務効率化にもお役立ていただけます。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

お使いのナースコール設備によって分岐ボックスのコネクタ形状が異なりますので、適合確認が必要です。（分岐ボックスが必要ない場合もございます。）

試用期間中のサポート

使い方や設定などでお困りごとがございましたら、最寄りの弊社支店・営業所の担当スタッフがサポートいたします。また貸出期間などについてはご要望をお聞きしますのでお申しつけください。

貸出期間	2週間～
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　シーホネンス株式会社
〒537-0001　大阪府大阪市東成区深江北三丁目 10 番 17 号
TEL　06-6973-3471　MAIL　strategy@seahonence.co.jp
所属部署　事業戦略室　担当者名　藤田　泉

販売開始

2018 年 11 月

販売価格

795,960 ～
1,246,300 円（税込）

機器の仕様

ベッド内蔵型見守りセンサー「iサポート」搭載　Xシリーズ

ベッドに内蔵されたセンサーにより、利用者の起き上がり・離床・徘徊の状態を検知し、分岐ボックスを介して現在お使いのナースコールにお知らせします。
【アラート設定】操作コントローラーの４つのボタン〔起き上がり（感度調節可能）・離床・見守り〕から１つを選んで押すだけで設定完了。体重の入力や、利用者がベッドに戻った際の再設定も不要です。
【誤操作防止ロック機能】操作コントローラー裏面のロック機能を活用することで、意図しない設定変更や電源の切替を防止します。
【足元灯（オプション）】利用者が離床しようとする動作を検知して点灯します。足元を照らすので、夜間のトイレの際に躓いて転倒するなどのリスクを低減します。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　シーホネンス株式会社

製品名　　**ベッド内蔵型見守りセンサー「iサポート」搭載　Xシリーズ**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・ベッドからの転落・転倒や徘徊リスクがある方 【介護者】・導入または検討中の見守り機器が複雑な設定のため、使用に不安を感じている場合 ・適切なタイミングで訪室し、業務効率化をしたい場合
禁止事項	禁止事項	・ベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れない ・ベッドの上で飛び跳ねたりしない ・分解、改造はしない
使用上の注意	注意事項	・電源プラグやセンサー出力ケーブルはしっかりと差し込むこと ・ベッド設置後、センサーが正しく通知することを確認してから使用すること
	安全に利用するための配慮	取扱説明書に記載の注意事項に沿って、使用すること
	誤報の有無	下記状況などによっては、誤って離床の通知をする場合がある ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合
	使用上の注意	・分岐ボックスは接続するナースコールシステムにより形状が異なる（詳しくは弊社カスタマーサポートまたは営業担当者に確認）
使用方法	使用方法	・アラート設定：操作コントローラーの4つのボタンから1つを選んで押すのみ ・アラートの種類：「起き上がり（感度調節可能）」「離床」「見守り」 ・動作ロック機能：コントローラー裏面のロックダイヤルスイッチを付属のダイヤルキーで回転させることで、電源の切替や意図しない設定変更を防止
	使用方法（再設定）	センサー発報後、利用者がベッドに戻られた際も再設定不要
	使用環境	・背ボトムの内蔵センサー付近や座ボトムの下の障害物を取り除く
	使用場面	・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合
	高齢者に対する安全面の配慮	低床ベッドのため、安心して利用可能
	介護者に対する安全面の配慮	ベッドの高さ調整機能により、床高が 67.5（72.5）cm までの任意の位置まであげることができるので、介助時の腰痛リスクも軽減される ※カッコ内は、低床 30cm モデルご利用の場合
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落事故、徘徊リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	簡単設定と高い検知率により負担軽減につながる。根拠をもったタイミングでの適時の訪室により、介護業務の効率化が期待できる
	機器を使用することで実現する施設への効果	利用者にとってより安全な療養環境の実現と、スタッフの負担軽減により働き方改革の実現が期待できる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室
	設置場所	居室
	設置方法	居室内の任意の場所に設置し、ベッドの電源プラグをコンセントにつなぐ

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	サイズ	〔樹脂ボード〕：(83cm 幅) 総全長 210 ×全幅 93cm ／ (90cm 幅) 総全長 210 ×全幅 100cm 〔スチールフレームボード〕：(90cm 幅) 総全長 212 × 100.5cm 〔整形ボード〕：(83cm 幅) 総全長 212 ×全幅 93.5cm ／ (90cm 幅) 総全長 212 ×全幅 100.5cm 〔木製ボード〕：(83cm 幅) 総全長 211.5 ×全幅 95.5cm ／ (90cm 幅) 総全長 211.5 ×全幅 102.5cm
	重量（バッテリー含む）	最大 110kg 程度
	電源・バッテリー (本体、端末、センサー等)	ベッドのコンセント接続により使用可能
	緊急発報の方法	ナースコールシステムを介して通知する
	検知方式（センサー、画像など）	センサー
	検知範囲	ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	即時
	最大見守り人数	1人 / 台
	必要な通信環境	特になし
	必要なシステム・設備	ナースコールシステム
	データの記録機能、有無と内容	無
	他の機器との連携・互換性	お使いのナースコールシステムと連携
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	弊社　各支店・営業所からサービススタッフ派遣によるメンテナンス対応可
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	1年
	耐用年数	6 ～ 8 年
コスト	本体・付属品の定価	i サポート搭載ベッド本体 795,960 ～ 1,246,300 円 (税込)
	設置導入に伴う費用	台数・運搬費・設置搬入費等の諸条件により異なります（別途ご相談）
	ランニングコスト	無
	教育研修費	無
オプション	追加できる機能	離床連動型　足元灯（オプション）
問合せ先	緊急時の問合せ先	シーホネンス（株）　カスタマーサポート　TEL：0120-20-1001
	デモ・貸出	可

パンフレット等

製品カタログ　http://www.seahonence.co.jp/hp/sensor/i-support_characteristic.html

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

竹中エンジニアリング株式会社

サーバー内蔵予測型見守りセンサー

品番・型番
HC-MR2

機器の概要

機器の機能

センサーを壁面に取り付け、１台で「起き上がり」「端座位」「離床」「柵越え」「ずり落ち」「転倒」「うずくまり」「入室」「退室」の９つの検知動作をご利用者の状態に合わせて選択し、モバイル端末にシルエット画像でお知らせします。
状況が見える化できるため、無駄な訪室が激減し、「スタッフ様の負担軽減」とご利用者の「転倒事故の予防」または「感染症対策」としてご活用いただけます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・貸出機は、仮設置用の三脚となります。
・ＡＣ100Vコンセント
・Ｗｉ－Ｆｉ通信環境

試用期間中のサポート

・電話によるサポート（平日：9:00 ～ 17:45）
・弊社または販売店が仮設置・および取扱説明を行うこともできます。
（エリアにより費用が発生する場合がございます）

貸出期間	２週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 竹中エンジニアリング株式会社
京都市山科区東野五条通外環西入 83-1
TEL 075-593-3172 MAIL hcd@takex-eng.co.jp
所属部署 ヘルスケア事業部 担当者名 坂野

販売開始

2020 年 3 月

販売価格

オープン価格

機器の仕様

サーバー内蔵予測型見守りセンサー

電源：ＰｏＥ給電（有線ＬＡＮ接続時）：15.4W 以下
電源ユニットより給電（無線ＬＡＮ接続時）：ＡＣ 100V　50Hz / 60Hz
検知方法：赤外線距離センサーを使った非接触方式
取り付け方法：居室内のベッドが見わたせる壁に専用の取付板で取り付け。
使用対象ベッドサイズ：横幅 90 ～ 100cm
縦幅 210cm 以下
高さ 30cm ～ 50cm
使用可能周囲温度：+5 ～ +40℃

機器の使用場面

製　品

メーカー名　竹中エンジニアリング株式会社

製品名　**サーバー内蔵予測型見守りセンサー**

型　番　HC-MR2

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・徘徊や転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、利用者のケアの質の向上を図りたい、プライバシシーに配慮したシルエット画像でいつでも利用者の状況を確認したい
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：強い太陽光が検知エリアに入る場所、Ｗｉ－Ｆｉ電波強度が弱い場所 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・指定の電源電圧以外で使用しない ・タコ足配線をしないこと。火災や感電の原因になる ・センサーユニットのレンズ部分を直接手で触ったり、汚さない。汚れると正しく検知できなくなるため、汚れた場合は、乾いた布（クリーニングクロスなど）で清掃すること ・設置時はしっかり機器を固定し不安定な場所に設置しないこと ・ＬＡＮケーブルに躓いて怪我をしないように、処理を行うこと ・外光が入る場合は、カーテンを使用すること。強い光があたると検知ができない場合がある ・センサーユニットは赤外線カメラを使用しているため、他の赤外線機器を同じ部屋で使用しないこと。正しく検知できなくなる恐れがある ・ポール設置時は簡単に手の届く場所や通路に設置しないこと
	安全に利用するための配慮	・本製品には、フォールトトレランス機能（不具合に対して自動的に対応できる機能または性能）はない。本製品は、本製品に不具合が発生し、または本製品が機能しなかった場合に死亡、重大な人身損害、または重大な物理的損害もしくは環境の破壊につながることが合理的に考えられるようなエンベデッドシステムでの使用（以下「リスクの高い状況での使用」という）を前提として設計されたものではなく、かかる使用を意図したものではない。弊社は、リスクの高い状況での使用を目的として、本製品を使用、頒布、または本製品の使用を再許諾するライセンスを許諾されるものではない。リスクの高い状況での使用は、いかなる場合も禁止する
	誤報の有無	・センサーとベッドの位置関係が仕様外の場合 ・センサーと見守り対象者の間に障害物がある場合 ・検知エリア内に見守り対象者以外の人がいる場合 ・直射日光もしくは、赤外線等のノイズがある場合 ・センサーの位置調整が正しく行われていない場合 ・検知項目の選択が正しく行われていない場合
	使用上の注意	・センサーとベッドの位置関係は仕様の範囲内で使用すること ・センサーと見守り対象者の間に障害物が無いようにすること ・直射日光もしくは、赤外線等のノイズが入らないようにすること ・センサーの位置調整を正しく行うこと ・検知項目の選択を正しく行うこと ・モバイル端末を持つ介護職員の活動範囲において、Ｗｉ－Ｆｉハンドオーバーが機能するようにＷｉ－Ｆｉネットワーク環境を整備すること ・Ｗｉ－Ｆｉ接続型のセンサーを使用する場合はセンサー設置場所の電波強度 -60dBm を確保すること
	倫理的の配慮	使用前に、対象者本人および家族の同意を得て、同意書を取得することが望ましい
使用方法	使用方法	1. モバイル端末の電源をＯＮにする 2. 予測型見守りセンサーのアプリを起動する 3. ログインを行い各居室の見守りが開始されていることを確認する 4. アラームが鳴ったらモバイル端末を取り出して画面にタッチし、リアルタイム画像で確認する 5. 訪室の必要が無い場合は「確認のみ」をタップする 6. 訪室の必要が有る場合は「見守り一時停止」をタップし、訪室作業が終わった時点で「見守り再開」をタップする
	使用方法（再設定）	メニューアイコン「見守り設定」にて、検知項目と体格を選択し、ベッドの高さ・位置に合わせてベッド枠を調整する
	使用環境	・使用可能周囲温度 5℃～ 35℃（結露・氷結なきこと） ・センサー部を覆い隠さない事 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境が整備されている事
	使用場面	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、介護現場における人員体制の効率化と、利用者のケアの質の向上、職員の負担軽減はかりたい方
	習熟期間	・通常使用のみの一般職員：1週間程度　・システム管理者の場合：1～2ヶ月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・センサー移動時の高所作業に注意する

製品情報

	項 目	内 容
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒、転落リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	介護の質の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	介護施設・障害者施設・病院内の居室（個室・多床室）
	設置場所	<設置可能高さ>　床面から 2000mm ～ 2300mm <ベッドまでの距離>　ベッド横 側端から 1200mm ～ 2100mm ベッド頭側 側端から 1100mm ～ 1600mm ベッド足下 側端から 800mm ～ 1600mm
	設置方法	・壁付け ※天井付けも可能だが、震災等を考慮し推奨しない ・専用取付板使用　・オプション品「ポールセット」による設置
	サイズ	W190×H190×D110（mm）コードは含まない
	形状	箱型
	重量（バッテリー含む）	1.35kg
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・センサー本体：ＰｏＥ給電方式　・モバイル端末：専用バッテリー ・電源ユニット：ＡＣ 100V
	使用時の音	設定変更可能
	緊急発報の方法	モバイル端末にポップアップと音で発報
	防水・防塵加工	防水・防塵加工なし　※モバイル端末については、防水・防塵タイプの紹介あり
	検知方式（センサー、画像など）	赤外線センサー
	検知範囲	センサーより直線距離で4m（センサー⇔ベッドの一番遠い角まで）
	反応速度（タイムラグ）	即時通知（通知時に通信環境の影響あり）
	最大見守り人数	1名／台
	必要な通信環境	・Ｗｉ－Ｆｉ環境 ・有線ＬＡＮ環境
	必要なシステム・設備	・表示端末（タブレット、スマホ等） ・専用サーバー、専用ソフトウェア、NW機器
	データの記録機能、有無と内容	検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、 検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携可能（オプション） ・ＩＰインカムとの連携可能（オプション）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合時の問い合わせ対応 ・必要に応じて、現地で不具合の確認や適切な処置を行う ・センドバックでの修理対応
	ユーザーによるお手入れ	モバイル端末の充電、定期的な動作確認、メンテナンス
	消耗品の有無	モバイル端末のバッテリー
	保証期間	出荷日より1年間
	修理対応期間	販売から5年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格 販売店に問合せ
	設置導入に伴う費用	販売店に問合せ
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	弊社、または最寄りの販売店に問合せ
オプション	追加できる機能	・電源ユニットによるＷｉ－Ｆｉ無線化　・ポールセットによる簡単設置
問合せ先	緊急時の問合せ先	試用開始時に連絡
	デモ・貸出	弊社、または最寄りの販売店に問合せ
	よくある質問（Q&A）	オンラインデモあり

パンフレット等

製品カタログ　https://hc.takex-eng.co.jp/product/8577/34

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=lFP8WjeuNDw

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

竹中エンジニアリング株式会社

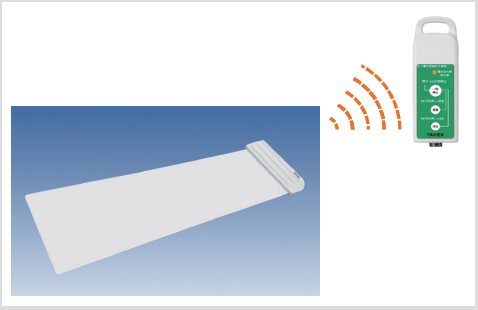
ベッドモニターケア

品番・型番
MR-BMC1

機器の概要

機器の機能

センサーをベッドのマットレスの下に敷いて、既存のナースコールと連動したり、弊社ワイヤレス機器と連携したり、Ｗｉ－Ｆｉと連携して、スマートフォンやＰＣで遠隔より心拍や呼吸の確認、または状態通知したり、ライフログを記録することができます。



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・ＡＣ100Vコンセント
・ナースコール接続時、分配コンセントや接続ケーブルが必要です。
・Ｗｉ－Ｆｉ接続時は、
①Ｗｉ－Ｆｉ通信環境
②モバイル端末、タブレット端末、ＰＣのいずれかが必要です。

試用期間中のサポート

・電話によるサポート（平日：9:00～17:45）
・弊社または販売店が仮設置・および取扱説明を行うこともできます。
（エリアにより費用が発生する場合がございます）

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 竹中エンジニアリング株式会社
京都市山科区東野五条通外環西入 83-1
TEL 075-593-3172 MAIL hcd@takex-eng.co.jp
所属部署 ヘルスケア事業部 担当者名 坂野

販売開始

2022 年 3 月

販売価格

オープン価格

機器の仕様

ベッドモニターケア

電源入力：ＡＣ 100V　50Hz ／ 60Hz
（ＡＣアダプタ付属）
消費電力：5.3W
消費電流：200mA 以下
Ｗｉ－Ｆｉ規格：IEEE 802.11b/g/n（2.4GHz）
外部出力：無電圧接点ａ接点（接点容量ＤＣ 30V・1A）
使用可能周囲温度：+5℃～ +35℃（結露・氷結なきこと）
設置場所：屋内（ベッドのマットレスの下）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　竹中エンジニアリング株式会社

製品名　**ベッドモニターケア**

型　番　MR-BMC1

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・徘徊や転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、利用者のケアの質の向上を図りたい
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：ベッドマットレスや敷布団以外のところ Ｗｉ－Ｆｉ環境下において、Ｗｉ－Ｆｉ電波強度が弱い場所 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・センサーを折り曲げない、引っ張らない　・センサー及びコード類を傷つけない ・センサーに殺虫剤、洗剤などの薬剤を触れさせない　・センサーに重量物を置かない ・センサーに落下などの強い衝撃を与えない　・センサーに布や布団で包んで使用しない ・使用温度、湿度範囲外での使用、保管をしない　・水につけない、火の気に近づけない ・温熱器具に直接接触させない　・適合する設置環境、方法以外で使用しない ・凹凸な面や柔らかい面に設置しない　・裏向きに設置しない ・付属のＡＣアダプター以外使用しない　・指定の電源電圧以外では使用しない ・付属のＡＣアダプターに無理な力を加えない、埃を付着させない ・2人以上（ペットも不可）で使用しない ・電子レンジなど電波を発生する電化製品や装置を同じ部屋に置かない
	安全に利用するための配慮	・正動作することを、日常点検、定期点検にて確認する
	誤報の有無	・感度設定、調整がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・センサーの設置位置が適当な場所にされていない場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境により強度が不足している場合
	使用上の注意	・センサー本体に接続されているケーブルがベッド可動部に挟まれない様に注意すること。事故や故障につながるおそれがある ・センサー本体に接続されているケーブルがリクライニング時に外れないことを確認すること ・利用者の肩より約 5cm 下を目安にセンサー本体が設置されていない場合、適切に通知出来ない可能性がある ・センサー本体の設置位置に注意すること ・設置面が商品の幅より狭い場合は、センサー本体のシート側を余らす形で使用することは可能だが、環境によっては適切に通知出来ない場合がある
	倫理的の配慮	使用前に、対象者本人および家族の同意を得て、同意書を取得することが望ましい
使用方法	使用方法	1. 付属のＡＣアダプターをセンサー本体に接続し、コンセントに挿入 2. センサーをマットレスの下に敷き、ご利用者に合わせた自動調整を行う 3. ナースコール接続（別途接続機器が必要）の場合、3つの状態を検知して通知する 4. Ｗｉ－Ｆｉ環境下では起上り検知と在床管理が可能。ＰＣ、モバイル端末やタブレット端末の専用アプリにより6つの状態に加え、心拍・呼吸の通知やライフログの確認や取得が可能
	使用方法（再設定）	・ＡＣアダプタの接続　・Ｗｉ－Ｆｉと機器の接続 ・利用者に合わせた体重設定もしくは自動調整を使用した設定
	使用環境	・使用可能周囲温度 5℃～ 35℃（結露・氷結なきこと） ・ナースコールとの有線接続もしくはＷｉ－Ｆｉ環境が整備されている事
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合　・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り
	習熟期間	設置位置の把握、アプリを使いこなすまでに1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・電源コードを目立たないようにする　・電源コードに引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源コードに引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒、転落リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	介護の質の向上

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・使用場所：屋内、介護施設・病院内　居室（個室・多床室） ・ベッドマットレス下、もしくは敷布団下
	設置場所	・ベッドマットレスや敷布団の寝具の下
	設置方法	・ベッドのマットレス下や寝具の下に敷く
	サイズ	W800 × D230 × H22（mm）AC アダプタは含まない
	形状	デバイス部+センサーシート部
	重量（バッテリー含む）	本体重量：590g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣアダプタ：80g
	使用時の音	電源ON時に小さな電子音
	緊急発報の方法	・緊急発報機能なし（機器異常時に点灯ランプが赤く点灯）
	安全性の認証取得	・内部通信モジュールは技適取得 ・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得
	防水・防塵加工	特になし
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（圧電センサー）
	検知範囲	・ベッド上（センサ上）
	反応速度（タイムラグ）	・5秒程度（通知時に通信環境の影響あり）
	最大見守り人数	1名／台
	必要な通信環境	ナースコール機器もしくはＷｉ－Ｆｉ環境（ない場合はモバイルルーターが必要）
	必要なシステム・設備	・ナースコールシステムもしくは表示用端末（ＰＣ、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・検知履歴、心拍数、呼吸数の測定履歴を記録可能。
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールとの連動可能（別売の分配コンセントや接続用ケーブルが必要）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合時のお問い合わせ対応　・必要に応じて、現地で不具合の確認や適切な処置を行う ・メーカー直送での修理対応　・クラウドサーバーの定期メンテナンス、システム改修
	ユーザーによるお手入れ	・モバイル端末の充電、定期的な動作確認、メンテナンス
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	出荷日より1年間
	修理対応期間	販売から5年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格 販売店に問合せ
	設置導入に伴う費用	最寄りの販売店に問合せ
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	弊社、または最寄りの販売店に問合せ
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	試用開始時に連絡
	デモ・貸出	弊社、または最寄りの販売店に問合せ
	よくある質問（Q&A）	・オンラインデモもあり ・ナースコール連動の場合、必要機器選定のため、お気軽に問合せいただきたい

パンフレット等

製品カタログ　https://www.takex-eng.co.jp/ja/products/item/9110/

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=1YbScDXm7F8

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-39 見守り・コミュニケーション

株式会社フルコミュニケーション

まもりん

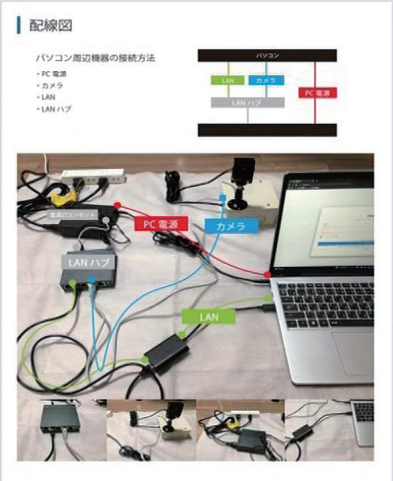
品番・型番

MMLN-011

機器の概要

機器の機能

主要機能としては入居者様の危険行動（転倒、起床しない、徘徊）の感知、アラート通知。①人物検出②シルエット表示③モーション検知④行動判定⑤アラート通知



機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

施設内のＷｉ－Ｆｉ設備が完備され、携帯の電波が繋がる環境であればＳＩＭ付のノートＰＣを郵送致します。携帯の電波が入らない環境の場合はご相談下さい。環境に合わせて対応を行います。カメラは高さがある位置からお試し頂く環境を推奨します。カメラの設置箇所に関しても随時、環境確認を行い対応致します。

試用期間中のサポート

スケジュールが合えば対面での説明。難しい場合はオンラインにて説明。リモートでの遠隔操作可能。

貸出期間	2カ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社フルコミニュケーション
東京都豊島区南池袋 1-16-15 ダイヤゲート 5 階
TEL 080-6072-1108 MAIL kota.s61108@gmail.com
所属部署 なし 担当者名 井上孝太

販売開始

令和 4 年 12 月

販売価格

250,000 円（税込）

機器の仕様

まもりん

・徘徊、離設等の危険行動の管理体制の強化
・見守りの人員削減・リアルタイムでの行動確認による職員の負担、ストレス軽減・夜間の行動パターンをデータ化し介護プランの見直しに繋げる
・事故の原因分析、改善策、報告の効率化

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社フルコミニュケーション

製品名　まもりん

型　番　MMLN-011

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・主要機能としては入居者の危険行動（転倒、起床しない、徘徊）の感知、アラート通知 【介護者】 ・複数の入居者を同時に遠隔見守りが可能。日々の行動データを自動的に日報化するＤＸ化をオプションで採用可能
	専門職の関与	特に無し。リモートで弊社エンジニア操作可能
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：特に無し ・その他：分解、改造、改変
使用上の注意	注意事項	入居者の手の触れない箇所ところに設置する。基本的には高温状態になると自動制御されるが万が一煙、匂い、異常音がする際は電源をオフ、LAN配線を抜くこと
	安全に利用するための配慮	水等の液体をカメラ付近にかけない
	誤報の有無	アラート通知の不具合が生じた場合はカスタマーセンターへ連絡。リモートでエンジニアが動作、不具合の確認を行う
	使用上の注意	水濡れには注意する。故障の原因に繋がる為 管理ＰＣの電源が抜けないようにする
	倫理的の配慮	施設から家族に同意書を取得する カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る オプションとして、同意を得た上で、センサーが認識・通知した時のみ、画像で状況を確認する事が出来る様な対応をしている 利用停止後、データを破棄する
使用方法	使用方法	管理ＰＣの設定ページにて各居室のアラートレベルの設定。その後、入居さんに合わせて施設側でのアラートレベルを検証。効率の良いレベルで使用開始。随時、変更可能
	使用方法（再設定）	管理ＰＣの再起動
	使用環境	室温 35 度以上、-10 度以下の場合はカメラの画像処理等に不具合が生じる場合がある。カメラの目隠しにならない様にする
	使用場面	少人数で複数の見守りが必要な場合 起床時の早期検知が必要な場合 転倒・転落や徘徊リスクがある場合 認知症の方の見守り 通常の見守りケアから看取りケア
	習熟期間	2～３カ月
	高齢者に対する安全面の配慮	コードは全て天井位置のみでモールで隠す。カメラＢＯＸをビスで固定し落下制御
	介護者に対する安全面の配慮	コードは全て天井位置のみでモールで隠す。カメラＢＯＸをビスで固定し落下制御
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	基本的に転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上※ 認知症の方の行動パターンをデータ化。モーション検知によるリハビリ方法の改善に繋がる動作状況をデータ化
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減。介護時の姿勢をデータ化し腰痛予防。行動パターンがデータ化する事で引継ぎ内容が具体的になる
	機器を使用することで実現する施設への効果	業務効率の向上。事故時の検証、報告の精度ＵＰ。離職率の軽減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、共同スペース
	設置場所	居室、許容スペース 2M 以上。死角にならない箇所
	設置方法	壁付け
	サイズ	カメラ本体＝ 4.2 × 3.6 × 4.2cm ケース＝ 10 × 10 × 6cm
	形状	プラスチックＢＯＸ
	重量（バッテリー含む）	1kg

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＰＣ。LANケーブル。モーター。プラスチックＢＯＸ。カメラ
	使用時の音	無し
	緊急発報の方法	管理ＰＣでアラート通知
	防水・防塵加工	カメラはなし
	検知方式（センサー、画像など）	画像解析によるアラート通知
	検知範囲	7M 以内
	反応速度（タイムラグ）	1 ～ 3 秒
	最大見守り人数	ＰＣ 1 台で 20 カメラ対応
	必要な通信環境	施設内Ｗｉ－Ｆｉ整備。但し、施設内Ｗｉ－Ｆｉが無い場合は御社にて準備、郵送する
	必要なシステム・設備	専用のＰＣ
	データの記録機能、有無と内容	検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析可能 1 分毎に記録する情報：起床、寝返り、座位、離床等の動作 1 分毎に記録した利用者様の状態及び居室の状況を 1 日 24 時間分、居室単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能 ・保存期間は基本 1 ヶ月。オプションで 6 カ月 1 年とサーバー代で変動 ・ＣＳＶファイルのデータエクスポート機能有
	他の機器との連携・互換性	介護記録ソフトとの連携可能 その他、介護ロボットのＡＰＩは随時開発
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	リモートでのメンテナンス。システムアップデート 不具合の場合、ハード備品（カメラ、モーター）は 2 年以内、無償交換。2 年以降、状況により都度相談
	ユーザーによるお手入れ	管理ＰＣ、カメラ付近の埃を定期的に掃除。
	消耗品の有無	特に無し
	保証期間	2年
	修理対応期間	システムは随時エンジニア対応。カメラは 2 年
	耐用年数	約 10 年以上
コスト	本体・付属品の定価	250,000 円
	設置導入に伴う費用	0
	ランニングコスト	オプション以外は0
	教育研修費	0
オプション	追加できる機能	行動記録の自動日報化（介護保険請求資料の作成）
問合せ先	緊急時の問合せ先	080-6072-108/0120-55-3197
	デモ・貸出	あり

パンフレット等

製品カタログ　　**作成中**

使用方法等の動画　**作成中**

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

介護ロボット トイレ見守り kizkia-Knight T

品番・型番

センサー：MD-MelDIR-AD13
ゲートウェイ：AGL3100-C11Z

機器の概要

機器の機能

プライバシーに配慮してトイレ内をシルエットで見守る機器です。
・トイレ内での転倒やうずくまりをAIが検知して職員に通知します。スマホやタブレットでシルエット映像を確認し、駆けつけ要否や対応優先度を判断可能です。
・設定時間以上の長時間トイレ滞在を通知することで事故リスクを軽減します。
・センサーからの温度データのみでシルエットを生成することでプライバシーに配慮します。
・工事不要で取付や移動が容易です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・Ｗｉ－Ｆｉでのインターネット接続が必須となります。（モバイルＷｉ－Ｆｉルーター可）
・スマートフォン・タブレット（ｉPhone、ｉPad、Android）が必要です。
※弊社から貸出可能な場合もございますのでご相談下さい。

試用期間中のサポート

試用開始時は原則現地訪問にて設置・操作説明の対応をいたします。
期間中のサポートは平日：10：00～17：00 弊社担当へのメールまたはお電話にて承ります。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
〒108-0023　東京都港区芝浦 4-13-23　MS 芝浦ビル
TEL 03-5445-7306　MAIL kizkia_sales@mdis.co.jp
所属部署 流通・サービス営業部　担当者名 小山　和也

販売開始

令和 3 年 7 月

販売価格

231,000 円～（税込）

機器の仕様

介護ロボット トイレ見守り kizkia-Knight T

温度データを取得する「センサー」と通信を制御する「ゲートウェイ」をトイレに設置し、見守りアプリをスマートフォン等（i Phone、i Pad、Android）にインストールして使用。
センサーは小型で、両面テープで設置可能。取り外しも簡単。Wi-Fi で繋がるインターネット環境があればすぐに利用できる。
センサーはトイレ背面の壁面（高さ 160 ～ 180 センチ）に設置する。
見守りアプリ上で各トイレの状況は「空き」「使用中」「見守り中」「倒れこみ」が一覧で表示される。
トイレ内での転倒や長時間滞在を検知した場合、スマートフォンに通知される。
過去の転倒時の録画履歴画像をアプリで確認できる。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

製品名　**介護ロボット トイレ見守り kizkia-Knight T**

型　番　センサー：MD-MelDIR-AD13　ゲートウェイ：AGL3100-C11Z

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒などの危険動作を把握する必要のある方 ・トイレ内の様子を把握したい方 【介護者】 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りし、訪室回数の低減など、業務の負担軽減をしたい方
	専門職の関与	設置時の初期設定について、販売店またはメーカの関与が必要。
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）:高温多湿なところ、水がかかるところ、Ｗｉ－Ｆｉの電波が届かないところ、屋外 ・その他：分解、改造
使用上の注意	注意事項	・センサーの方向が変化すると検知に影響が出るため、センサーの向きを変えない ・温度変化の大きい場所（ヒーターの吹き出し口近くなど）に設置しない
	安全に利用するための配慮	・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・温度の大幅な変化による精度低下時 ・センサーの向きの変化による設定相違時 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度低下時
	使用上の注意	・センサを遮るような物の配置をしない、直射日光の当たる場所に配置しない ・正しい設置位置（床から 1600 ～ 1800mm ほどの位置）で使用する ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信するため、機器を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・電源を入れた直後からステータスＬＥＤが点灯するまでの間に、基準の温度を取得するため、電源を入れた後や、ゲートウェイの再設定をした直後は、センサーから離れ、熱源（人など）を映さない
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・利用者のプライバシーに配慮し、本機器は映像ではなく赤外線センサーにより温度データを取得する仕組みとなっている。温度データを変換し映像化して表示する機能があるが、個人を特定できる映像ではない。また、異常検知時のデータを履歴として保持するが、保持期間を過ぎたらデータは削除される仕様としている
使用方法	使用方法	・使用時の基本ステップ 機器の設置と初期設定。スマートフォン（またはタブレット）へアプリのインストール ・高齢者の見守り時の基本ステップ スマートフォン確認、アラートの内容等をふまえ訪室 ・アラートの種類 トイレ内での、転倒、長時間の滞在（入退室の状況）をアラートする
	使用方法（再設定）	・機器を移動しない場合は、電源ボタン押下で電源ON／OFFすることにより、自動的に再設定される ・機器を移動した場合やネットワーク環境が変化した場合は、必要に応じて、ネットワーク環境や検知の感度（しきい値）を、販売店やメーカーが再設定する ・夜間（初期設定では 2:00 頃）に、基準温度が自動的に再設定される
	使用環境	・電源：ＡＣ 100 Ｖ 50 ／ 60 Ｈｚ ・動作温度範囲：−5℃～+45℃ ・動作湿度範囲：15%～85%（結露なきこと） ・防水防滴対応：適用なし。（保証外） ・洋式便座の背後の高さ 1600mm ～ 1800mm ・無線ＬＡＮ（ＩＥＥＥ 802.11 a／b／g／n）によるインターネット接続
	使用場面	・トイレにいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・転倒リスクがある場合
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約1カ月
	高齢者に対する安全面の配慮	・高齢者が触れる場所に機器を置かない （施設の環境によるが、トイレへの機器設置時に、ゲートウェイ部はプラスチックの防水ケースに格納し、センサー部を接続するケーブルはモールで保護する設置方法を推奨している）
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒リスク、ヒヤリハットの減少 ・自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・高齢者の生活リズムの把握、ケアプランの見直し ・職員の負担軽減 （訪室回数の削減、見回り業務の効率化、高齢者への対応時間の増加、職員の休憩時間の確保）
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・トイレ（屋内）、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア ・介護者が見守りに使用するアプリをインストールするスマートフォンまたはタブレット。ｉＰｈｏｎｅ、ｉＰａｄ、Ａｎｄｒｏｉｄに対応

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置場所	・洋式トイレであること ・便器の背面に壁面があり、背面の壁面に床から 1600 ～ 1800mm の位置にセンサーが設置できること ・ＡＣ 100Ｖ電源（一般的なコンセント）１口
	設置方法	・センサー部は、便器背面の壁にファスナーテープ付きの両面テープで設置 ・ゲートウェイ部は、便器の近くに、防水ケースに入れて設置 ・センサー部とゲートウェイ部の接続ケーブルをモールで保護
	サイズ	センサー：55.0 × 33.0 × 20.0mm（電源ケーブル除く） ゲートウェイ：140 × 59.9 × 31.0mm（突起部、アンテナを除く）
	形状	－（サイズに記載の通り）
	重量（バッテリー含む）	約 240g（ＡＣアダプター、ケーブル、センサー含まず）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	センサー部：ゲートウェイ部より電源供給されるため電源不要 ゲートウェイ部：ＡＣ100Ｖ 50／60Ｈｚ 電源
	使用時の音	ほぼ無音
	緊急発報の方法	・見守り用アプリをインストールしたスマートフォン・タブレットにプッシュ通知およびアプリ内のアイコン表示でお知らせ
	安全性の認証取得	・アダプタは◇ＰＳＥマーク取得 ・ゲートウェイ部は技適取得
	防水・防塵加工	防水・防塵加工なし
	検知方式（センサー、画像など）	・赤外線センサーで検知
	検知範囲	・概ね一般個室トイレの広さを網羅 （床から 1800mm の位置に設置した場合、最大で奥行約 5000mm ×幅約 5400mm が撮像範囲の目安）
	反応速度（タイムラグ）	・通知が届くまではＷｉ－Ｆｉ環境による影響あり。通常は数秒以内
	最大見守り人数	・トイレ１ヶ所 / 台
	必要な通信環境	・Ｗｉ－Ｆｉ（無線LAN（ＩＥＥＥ 802.11ａ／ｂ／ｇ／ｎ））によるインターネット接続
	必要なシステム・設備	・見守りアプリをインストールするスマートフォン・タブレット（ｉPhone、ｉPad、Android）
	データの記録機能、有無と内容	・異常検知した時点の画像を記録
	他の機器との連携・互換性	・kizkia-Knight Ｔ（トイレ見守り）の見守りアプリと同じアプリで、kizkia-Knight Ｒ（居室見守り）も利用可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・特になし
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	機器購入後１年間
	修理対応期間	機器購入後１年間
	耐用年数	約５年間
コスト	本体・付属品の定価	210,000 円（税抜）　※ 10 台・５年パックでの１台当たりの本体価格
	設置導入に伴う費用	設置作業費は都度お見積りとなります
	ランニングコスト	５年間不要　※５年間の利用権を製品に含む
	教育研修費	設置時に操作説明を実施
オプション	追加できる機能	・kizkia-Knight Ｔ（トイレ見守り）とは別サービスとして kizkia-Knight Ｒ（居室見守り）を追加可能
問合せ先	緊急時の問合せ先	試用時に調整する
	デモ・貸出	デモ対応可
	よくある質問（Q&A）	https://www.mdis.co.jp/service/kizkia-knight/qa.html

パンフレット等

製品カタログ　https://www.mdis.co.jp/service/kizkia-knight/thermal-sensor.html

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=vbdarWZok2I

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ソルクシーズ

見守り支援システム「いまイルモ」

機器の概要

機器の機能

見守り支援システム「いまイルモ」は、一人暮らしの高齢者の生活の様子を離れた場所から確認できるクラウド型のシステムです。みまもりセンサーはカメラを使わずプライバシーに配慮し、人感センサー、照度センサー、温度・湿度センサーを搭載しデータを取得します。データを分析することで、利用者に最適なケアプラン作成が可能となり、ＱＯＬ向上へと繋がります。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・貸出対象は、小規模多機能型居宅介護や訪問介護・看護の事業者になります。利用者の在宅で見守り強化に最適です。
・見守り支援システム（クラウド）の確認用として、パソコン・タブレット・スマートフォンのいずれか（インターネットにつながるもの）が必要となります。
・みまもりセンサーには、ＳＩＭカードが内蔵されています。設置場所のインターネット環境は必要ありません。

試用期間中のサポート

試用開始前は、取扱説明をさせていただきます。また、試用期間中ご不明点等ございましたら、電話、メールにてご連絡いただけましたらご対応致します。

貸出期間	2週間程度
貸出可能台数	1セット （機器構成は要相談）

問い合わせ先　株式会社ソルクシーズ
〒108-0022　東京都港区海岸3- 9-15　LOOP-X ビル5階
TEL 03-6722-5716　MAIL support@imairumo.com
所属部署 IoT 事業推進室　担当者名 亀山

販売開始

2014 年 10 月

販売価格

オープン価格
（機器費用・月額費用）

機器の仕様

見守り支援システム「いまイルモ」

【みまもりセンサー】
外形寸法：76（W）× 27（D）× 135（H）mm
※突起物除く
質量：各センサー約 120g ※ＡＣアダプター含まず
材質：ＡＢＳ樹脂
電源：AC100V-240V 50/60Hz
搭載センサー:温度センサー、湿度センサー、照度センサー、モーションセンサー、微動センサー (子機のみ搭載)
【ドアセンサー】
外形寸法：44 × 60 × 23mm
質量：約 34.5g(電池除く)
電源：単４電池２本
【バイタルセンサー（ベッドタイプ）】
外形寸法：340（W）× 18（D）× 64（H）mm
質量：508g（本体 424g+AC アダプタ 84g）± 5 g
電源：AC100V-240V 50/60Hz

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ソルクシーズ

製品名　**見守り支援システム「いまイルモ」**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・一人暮らしの高齢者（日中独居も対象） 【介護者】 ・在宅している利用者の見守りを強化し、ＱＯＬ向上の為に、最適なケアプランを提供したいと考えられている介護事業者
禁止事項	禁止事項	・屋外での使用は禁止する。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤作動する場合がある ・本体は精密な電子機器の為、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けること
使用上の注意	注意事項	・万一、異常が発生したとき 本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源プラグをコンセントから抜くこと ・異物を入れないこと 本体内部に金属類を差し込まないこと。また、水などの液体が入らないように注意すること ※万一異物が入った場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜くこと ・落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源プラグをコンセントから抜いて使用を中断すること ・水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはしないこと ・分解しないこと ケースは絶対に分解しないこと。感電の危険がある ・付属のＡＣアダプター以外の物を使用しないこと
	安全に利用するための配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	使用上の注意	・親機、子機間の無線通信は見通しの良い場所で 40m 以内となるが、遮蔽物等の影響により有効距離が短くなる事があるので設置の際は注意すること。（妨害電波、金属のドアやコンクリートの壁がある場合、2 階建ての場合等） ・電源コードはしっかりと機器に差し込むこと。通電の確認の為、電源を入れてから 30 秒程経ってからお知らせボタンを押して光と音が出れば正常に通電している
	倫理的の配慮	事業者から家族に同意書を取得してもらうこと
使用方法	使用方法	・使用開始時に、『利用開始メール』が登録してあるメールアドレスに送られる。メールに記載されているＵＲＬにアクセスし、手順に沿って進めて行くと初期設定が完了し、利用を開始することができる
	使用環境	・消費電流　親機：800mA 子機：60mA ・動作温度　0℃～ 40℃（結露無きこと）
	使用場面	・在宅している方の見守り強化を行いたい場合 利用者が独居で、身内の方の見守りがうまくできていない場合や、利用者は自宅で過ごし続けたいが、家族の不安が解消できず施設入所を希望している場合など ・医療連携を行いたい場合
	習熟期間	・基本的な利用方法は1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・過度の見守りを行わなくても独居の方の生活状況の把握ができるので、見守られる方が自由に生活することができる ・見守られる方が何かを身に付けたり何かをする必要がなく、設置するセンサーも生活の妨げにならないデザインのため、ストレスを感じずに普段通りの生活を送ることができる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・利用者の生活状況の把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	・ケアの質の向上 ・労働環境改善 ・職場の魅力向上（ＰＲ等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居間、寝室、トイレなど
	設置場所	居室の壁、高さ約 1.2m 位置。（設置場所の状況によって調整は行う）
	設置方法	壁付け。または、専用スタンドに設置
	サイズ	【みまもりセンサー】 外形寸法：76（W）×27（D）×135（H）mm ※突起物除く 【ドアセンサー（※オプション）】 外形寸法：44×60×23mm 【バイタルセンサー（ベッドタイプ）（※オプション）】 外形寸法：340（W）×18（D）×64（H）mm
	形状	コンパクトな箱型
	重量（バッテリー含む）	【みまもりセンサー】 質量：各センサー約 120g ※ＡＣアダプター含まず 【ドアセンサー（※オプション）】 質量：約 34.5g（電池除く） 【バイタルセンサー（ベッドタイプ）（※オプション）】 質量：508g（本体 424g+ ＡＣアダプタ 84g）± 5g

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	【みまもりセンサー】 電源：AC100V-240V 50/60Hz 【ドアセンサー（※オプション）】 電源：単4電池2本 【バイタルセンサー（ベッドタイプ）（※オプション）】 電源：AC100V-240V 50/60Hz
	緊急発報の方法	・メールで通知 ・見守り画面での通知
	安全性の認証取得	内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	防水加工・防塵加工は無し
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（人感センサー、温湿度センサー、照度センサー）
	検知範囲	・モーションセンサー　検出距離：最大5M　検出距離角度：82 度 ・微動センサー　検出距離：最大2M　視野角：91 度 ・温度センサー　標準検出範囲：-40 ～ +80℃（精度± 0.5℃） ・湿度センサー　標準検出範囲：0～ 99.9%RH（精度±3%RH） ・照度センサー　感度波長範囲：300 ～ 820nm
	最大見守り人数	・1セット1名 ・複数人を一覧表示し管理することも可能
	必要な通信環境	・特になし（みまもりセンサーには、ＳＩＭカードが内蔵されている。設置場所のインターネット環境は必要なし）
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）※インターネットに接続できるもの
	データの記録機能、有無と内容	・有（保存期間は1年間）
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能（アイホン社）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	特になし
	ユーザーによるお手入れ	特になし
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	購入後1年間
	修理対応期間	特になし
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	無し（通常、設置については、お客様に行ってもらっている）
	ランニングコスト	オープン価格
	教育研修費	無し
オプション	追加できる機能	・ドアセンサー ・バイタルセンサー（脈拍・呼吸）
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ソルクシーズ いまイルモサポート窓口 E-Mail：support@imairumo.com TEL：03-6722-5716 受付時間：10:00 ～ 17:00 （土日祝日年末年始休業日除く）
	デモ・貸出	同上
	よくある質問（Q&A）	HP の『よくあるご質問』を参考すること https://www.imairumo.com/faq.html

パンフレット等

製品カタログ　（製品概要）https://www.imairumo.com/kaigo/

使用方法等の動画　https://youtu.be/Unxu8-v6M9c

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ミオ・コーポレーション

iTSUMO アイ

品番・型番
AV-G2-0N0WF

機器の概要

機器の機能

危険エリアに対象人物が侵入した際、センサー本体内蔵スピーカーからアラート音で報知します。
オプションで介護者のスマートフォン等に報知できます。外部通信機能は分離可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

アプリ使用時の場合、Ｗｉ－Ｆｉ環境が必須です。
またアプリをインストールやアプリ閲覧のスマフォもしくはタブレットが必要です。
ios、android 対応の端末をご準備ください。

試用期間中のサポート

・設置、設定のレクチャー
・アプリ使用方法の説明

貸出期間	1 週間～
貸出可能台数	5 台

問い合わせ先 株式会社ミオ・コーポレーション
神奈川県横浜市都筑区中川中央 2-5-9
TEL 045-624-9928 MAIL info@mio-corp.co.jp
所属部署 センサー事業部 担当者名 榎本洋輔

販売開始

令和 3 年 12 月

販売価格

オープン価格

TAIS コード

01461-000009

機器の仕様

iTSUMO アイ

設置は天井付近の高い位置から下向き 45 度の角度で、部屋全体を撮影できることが重要です。また、危険エリアが確実に撮影エリアに入っていることを確認してください。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ミオ・コーポレーション

製品名　iTSUMO アイ　01461-000009

型　番　AV-G2-0N0WF

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・徘徊症状がある方、徘徊予兆がある方 【介護者】 ・徘徊をする前に対象者が外に出る事を知りたい方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内、高温多湿な環境 ・その他：備え付けの電源、ＡＣアダプターをご使用のこと
使用上の注意	注意事項	・センサーの設置はレンタル会社様（提供会社）に行ってもらうこと センサーの場所変更、落下による再取り付けなどもレンタル会社（提供会社）に確認し行ってもらうこと ・防水非対応なため、濡れる場所への設置はお控えください
	安全に利用するための配慮	・通電状態では電源アダプタの端子に手や指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない）
	誤報の有無	・指定した人物以外にも指定エリア内に侵入をすると検知する （誤報ではないが対象者オンリーの識別が不可） ・直射日光による精度低下時、画面降下による設定相違時 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合）
	使用上の注意	・真っ暗闇ではセンサーが人を検知する事が出来ない 豆電球ほどの明るさ（0.3lｘ以上）の明るさが必要
	倫理的の配慮	・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る ・利用者（特に女性）のプライバシーに配慮し、画像は撮らない、残さない仕様を基本としている
使用方法	使用方法	・センサーの設置⇒レンタル会社（提供会社） ・アプリ設定⇒レンタル会社（提供会社） ・取り扱い説明書、要確認
	使用方法（再設定）	・レンタル会社（提供会社）に確認
	使用環境	・室内で使用 ・アプリ使用時⇒Ｗｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・徘徊前に高齢者が外にでるのを知りたい ・徘徊防止をしたい
	習熟期間	・うまく使いこなすまで約1−2か月
	高齢者に対する安全面の配慮	・コードを引っ張ったり、電源を抜かない ・センサーを設置した場所から勝手に動かさい、落とさない
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブルが普段の動線の邪魔にならないよう配慮する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・徘徊防止 ・徘徊による二次事故の防止
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・徘徊を事前に知る事で二次事故の防止
	機器を使用することで実現する施設への効果	・職員の負担低減 ⇒アプリで実際の様子を遠隔で確認可能
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・玄関、窓など高齢者が外出する出入口
	設置場所	・外出する出入り口付近
	設置方法	・壁づけ、三脚設置
	サイズ	縦75×横50×厚さ65（mm）
	形状	楕円
	重量（バッテリー含む）	100g

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣアダプター、電源ケーブル、雲台、取り付けネジ
	使用時の音	アプリより音の有無を選択可能（初期は音無し）
	緊急発報の方法	・アプリよりプッシュ通知 ・ＬＥＤランプ変化（緑⇒紫色） ・センサーから警報音を鳴らす
	安全性の認証取得	・ＦＣＣ、ＩＣ、ＭＩＣ ・ＰＳＥマーク取得
	防水・防塵加工	ともに無し
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（ＡＩチップで指定エリアに人が侵入した事を検知）
	検知範囲	・侵入検知エリア 約1m～10m
	反応速度（タイムラグ）	・2－3秒以内
	最大見守り人数	複数人可能（最大7人ほど）
	必要な通信環境	アプリ使用時 ・Ｗｉ－Ｆｉ必須 ・アプリ確認のため、スマフォもしくはタブレット（ｉｏｓ、androidのどちらか）
	必要なシステム・設備	アプリ使用時 ・Ｗｉ－Ｆｉ必須 ・アプリ確認のため、スマフォもしくはタブレット（ｉｏｓ、androidのどちらか）
	データの記録機能、有無と内容	アプリ使用時 ⇒ ・事故検出の前10秒の様子の動画を3か月保存
	他の機器との連携・互換性	現状予定なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	アプリ⇒定期的にファームウェアの更新あり
	ユーザーによるお手入れ	・ホコリ除去
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	1年間
	修理対応期間	代替え機（交換）発送（予備品を準備のため即時対応）
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	代理店、販売店に確認
	ランニングコスト	アプリ使用時、月額費用発生（代理店、販売店に確認）
	教育研修費	特になし
オプション	追加できる機能	特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	アーバンテックTEL：0744- 23- 1260 ミオ・コーポレーション：i nfo@mio-corp.co.jp
	デモ・貸出	代理店、販売店に確認
	よくある質問（Q&A）	取り扱い説明書に記載

パンフレット等

製品カタログ
取扱説明書　https://www.techno-aids.or.jp/PDFFile/01461000009_1.pdf

使用方法等の動画　**現在用意中**

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

メティスコム

見守りセンサー“ヴェスタ”

品番・型番
V2023-001

機器の概要

機器の機能

ミリ波センサーを利用し、居室内において入居者の転倒検知、居室内入居者の行動の可視化を可能とします。ナースコール連携することでボタンを押せない状態でも転倒検知が可能となります。
＊ナースコールメーカー仕様によります

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

Ｗｉ－Ｆｉ（設置する部屋に電波が届くこと）、100Ｖ電源　センサー１個につき電源1つ（設置する居室内に１個を前提とする）。100Ｖコンセントからセンサーまでの電気工事（配線）が必要です。ナースコール連携の場合、ナースコールの電源コンセントと接続する専用ケーブルが必要です。その他、ＰＣ及びモニターの準備通知するスマホが必要です

試用期間中のサポート

電源、ナースコール連携など設置サポート。転倒検知、行動の分析など可視化された情報の提供。工事費については、施設様にてお願いします。

貸出期間	１ヶ月程度
貸出可能台数	５台

問い合わせ先 メティスコム
〒220-0012　神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1 横浜ランドマークプラザ 5F
TEL 090-8452-5250　MAIL shuichi.watanabe@metiscom.co.jp
担当者名 渡部秀一

販売開始

2023 年 9 月

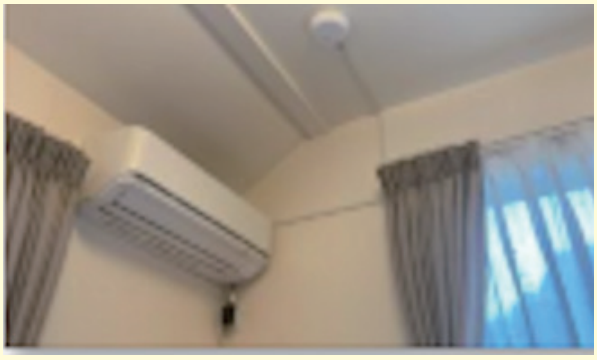
販売価格

1台 ¥8,000 ～ / 月

機器の仕様

見守りセンサー“ ヴェスタ ”

既存のナースコールシステムと連携をし、居室内でボタンを押せない状況下での転倒を検知します。
転倒の際は、ドア前ランプ点灯、事務所への通報、ピッチへの通知をします。
（＊通知方法は、ナースコールシステムの仕様によります）
ナースコール接続実績は、アイホン社製、ケアコム社製です。（それ以外はテストが必要）。
その他の機能として、ベッドからのずれ落ち通知、在 / 不在、睡眠、トイレなど入居者の状況把握があります。
（＊製品サポートは 2024 年予定）



機器の使用場面

製　品

メーカー名　メティスコム

製品名　**見守りセンサー“ヴェスタ”**

型　番　V2023-001

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、日常の生活動作の把握を必要とする方 【介護者】 ・複数の高齢者を同時にかつ遠隔に見守りをしたい。業務の負担軽減をしたい。ベッド、トイレ以外の場所で転倒検知をして、早期に対応したい方。プライバシーの関係でカメラ等を利用したくない方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：直接水がかかる可能性のある浴室内は使用禁止、脱衣室は使用可能 ・その他：分解、改造など
使用上の注意	注意事項	センサー検知エリアは、平面で4.5m×4.5m。トイレに扉がある場合、トイレ内の情報を検知できないため、トイレの出入り口部分を検知、入室時間を計算する事で緊急時に対応する
	安全に利用するための配慮	電源は、手などが届かないところから取る。配線は、天井、壁の高い位置をはわす
	誤報の有無	無線Ｗｉ－Ｆｉの環境が弱く、部屋まで届かない場合
	使用上の注意	センサーの妨げになる衝立、テレビなどは、置く場所を考慮する
	倫理的の配慮	センサーにより行動を可視化するため、施設から家族に同意書を取得する。（画像は撮らない）
使用方法	使用方法	・使用時の基本ステップ：機器設置、動作確認 ・高齢者の見守り時の基本ステップ：事務所内のモニターもしくは各種通知（携帯への通知、ナースコール連携の場合は、その仕様による通知）アラート内容に合わせて居室訪問、対応
	使用方法（再設定）	部屋ごとに設置するため、部屋を変える場合は再設定が必要
	使用環境	・居室内のセンシングする位置を考慮して天井にセンサーを設置。Ｗｉ－Ｆｉに接続
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を早く検知して、対応をする ・転倒リスクがあり、転倒を早期に発見する場合
	習熟期間	センサーが学習するために2週間ほどかかる（提供するクラウド側）
	高齢者に対する安全面の配慮	高齢者が届かないところの電源を利用し、ケーブルは届かない位置をはわす
	介護者に対する安全面の配慮	電源確保の位置を考慮
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	巡回以外での転倒状態の可視化。転倒リスクのある方の居室内の改善、歩行訓練などのリハビリ
	機器を使用することで実現する介護者への効果	巡回など職員の負担軽減。巡回以外で転倒を早期に発見できる
	機器を使用することで実現する施設への効果	労働環境の改善、採用などＰＲ効果　エビデンスデータ（データを元にした家族への説明）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	使用場所：居室内、トイレなど　Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア
	設置場所	居室の天井、壁
	設置方法	センサーを固定する専用器具をビス止め　配線は、モール等でカバーする
	サイズ	直径　8cm　厚さ　1cm
	形状	円形
	重量（バッテリー含む）	800g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	機器本体に記載
	使用時の音	なし

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	安全性の認証取得	・ＰＳＥ 対象外 ・アダプター：利用しているＡＣアダプターは、◇ＰＳＥマークの入っているものを推奨 ・内部通信モジュール：レーダー、無線通信、無線技術適合　取得済み ・ＫＩＳ基準　まだ未取得、申請予定 ・医療機器：認定無し
	防水・防塵加工	防水加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	ミリ波センサーで検知
	検知範囲	平面　4.5m×4.5m
	反応速度（タイムラグ）	90秒以内　センサー受信後、通常の転倒検知はとしては転倒後5分で設定（みなし転倒があるため）
	最大見守り人数	一部屋　1センサー　1人
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ環境　ナースコール連携の場合、専用のコンセント
	必要なシステム・設備	表示装置　パソコン、モニター、スマホ。　ナースコール連携の場合、ナースコールシステム
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名、検知履歴一覧の表示、エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能
	他の機器との連携・互換性	ナースコール連携が可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	定期的な稼働状況の確認（リモート）
	ユーザーによるお手入れ	特に無し
	消耗品の有無	特に無し
	保証期間	1年
	耐用年数	約3年
コスト	本体・付属品の定価	サブスクモデル　毎月の利用料（ランニングコスト部分に記載）
	設置導入に伴う費用	電源環境　実費　設置サポート　台数による
	ランニングコスト	毎月の利用料　¥8,000～10,000／月　利用サービスによる
オプション	追加できる機能	業務ソリューションとＡＰＩ連携
問合せ先	緊急時の問合せ先	045- 285- 3667
	デモ・貸出	実証を希望の場合、要相談

パンフレット等

製品カタログ　https://www.metiscom.co.jp

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ラムロック

―みまもり CUBE―

品番・型番
CUBE-00002-A

機器の概要

機器の機能

『みまもり CUBE』のカメラ映像を独自の画像認識技術で解析を行い、高齢者の徘徊（外出）や離床を検知して画像付きメールでＥ－MAIL 配信。内蔵スピーカーによる音声で警報。
スピーカー・マイク機能により対話も可能です。
『みまもり CUBE』（スタンドアローンモデル）はＳＩＭカード内蔵しているのでＷｉ－Ｆｉ環境不要です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

- Ｅ－MAIL が受信できる携帯電話またはスマホ等
- みまもり CUBE 設置場所から５メートル範囲内に AC100V コンセント１口が必要
- NTTdocomo の LTE サービスエリア内に限ります

試用期間中のサポート

ラムロックオペレーションセンター【受付時間：月～土　9：30 ～ 18：00/ 固定電話からは：0120-306-692　携帯・PHS：0948-96-8160】にてサポートいたします。

貸出期間	２週間～１ヶ月程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　株式会社ラムロック
〒820-1111　福岡県飯塚市勢田 1950-1
TEL 0948-92-3156　MAIL shishidou@ramrock.co.jp
所属部署 サービス事業本部　担当者名 獅子堂正哉

販売開始

2018 年 6 月

販売価格

146,300 円（税込）

TAIS コード

01325-000012

機器の仕様

—みまもり CUBE—

通知スケジュール : 通知する時間と通知しない時間を 1 時間単位（曜日毎）で設定できます。録画保存期間 : みまもり CUBE 本体の microSD カード (64GB) に記録されます。（保存期間：約 7 日間）/ 録画再生 : 録画から任意の時間を指定し、× 1 倍速× 2 倍速× 4 倍速× 8 倍速で再生できます。/ スキップ再生 : 録画の中から検知箇所のみを頭出し再生できるスキップ再生機能です。/ 録画のダウンロード : 録画を avi 形式に変換してダウンロードする機能です。/ モザイク設定 : プラバシー保護の対策として、映像中の指定したエリアにモザイク処理をする機能です。/ 集音機能 : みまもり CUBE に内蔵しているマイクで周囲の音を集音してスマートフォンから聴くことが可能です。/ 呼びかけ機能 : スマートフォンから各みまもり CUBE 毎に呼びかけることが可能です。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ラムロック

製品名　—みまもり CUBE—　01325-000012

型　番　CUBE-00002-A

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方 【介護者】 ・高齢者を遠隔で見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・起動：みまもり CUBE に付属されている ＡＣ アダプターをコンセントに差し込むと起動が始まる ・シャットダウン：ＡＣ アダプターをコンセントから抜き取ると自動的にシャットダウンする ・再度起動する場合はみまもり CUBE 正面（左側）の赤いランプが消灯していることを確認して、ＡＣアダプターをコンセントに差し込むと起動する。赤ランプが完全に消えた状態から起動すること ・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行う。 画角が変わると再度検知設定が必要になる
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・検知設定がうまくできていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行います。 画角が変わると再度検知設定が必要になる
	使用上の注意	・センサを遮るような物の配置をしない ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・利用の際は NTTdocomo のＬＴＥサービスエリア内に限る
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する（同意書のフォーマットあり） ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る ・利用者のプライバシーに配慮し、任意の場所へのモザイク加工も可能（ライブ映像・録画映像を選択）
使用方法	使用方法	・使用時の基本ステップ（機器設置→ラムロックオペレーションセンターに電話し、検知内容を伝える→インターネット回線を用いてリモートで設定） 高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、検知の内容等をふまえ訪室） ・検知種類：「動き出し」「起き上がり」「端座位」「離床」「ドアの出入り」「危険箇所の立ち入り」等
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続する ・ラムロックオペレーションセンターにてリモート検知設定
	使用環境	・気温 0℃～ 40℃ ・センサーレンズを覆い隠さない事 ・検知対象が見える位置への設置 ・NTTdocomo のＬＴＥサービスエリア内
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約 2 ～ 3 週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の身体的・精神的負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（ＰＲ等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内　居室（個室・多床室） ＬＴＥ通信（Docomo）が届くエリア
	設置場所	・居室内での離床検知用途の場合:ベッド頭部側又は足側　天井付近（高さ 2.2 ～ 2.7 m程度）場合によりベッド側面の壁へ設置 ・施設又は居室からの離設・徘徊検知用途の場合：対象の出入り口より（距離 2.5 ～ 3.0 m程度）
	設置方法	・壁固定（同梱の専用取付金具） ・突っ張り棒設置（別売り）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	サイズ	高さ 9cm、幅 9cm、奥行き 10cm
	形状	立方体
	重量（バッテリー含む）	310g 以下
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	みまもり CUBE 本体、電源アダプター
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ画像付きメール（E メール）で通知
	安全性の認証取得	ＰＳＥ準拠
	防水・防塵加工	防水加工無し 防塵加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	・画像認識
	検知範囲	・検知距離最大 10 メートル ・取付位置高さ 2.2 ～ 2.7 メートル※推奨 ・対象までの距離 2.5 ～ 3.0 メートル※推奨
	反応速度（タイムラグ）	・3 秒以内 （※みまもり CUBE 及び受信する機器の通信状況により異なる。）
	最大見守り人数	・1 システム最大 1 床（1 ベッド 1 センサー）
	必要な通信環境	・NTTdocomo のＬＴＥサービスエリア内
	必要なシステム・設備	検知受信端末・表示端末（パソコン・タブレット・スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	録画機能：SD3.0(UHS-I) × 1ch 64GB 内蔵 常時 7 日間保存可能 （録画データのエクスポート可能）
	他の機器との連携・互換性	・なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・システムバージョンアップ ・不具合の場合、電話にて対応。リモートサポート 必要に応じて現地で不具合の確認・適切な処置
	ユーザーによるお手入れ	・ホコリの除去
	消耗品の有無	・赤外線ＬＥＤ ・ＳＤカード（有償交換）
	保証期間	購入日より 1 年間
	修理対応期間	購入日より 1 年間
	耐用年数	約 5 年
コスト	本体・付属品の定価	146,300 円（税込）
	ランニングコスト	画像認識サービス利用料：2,090 円（税込）/ 月額 データ通信量：1,650 円 /10GB（税込）/ 月額
	教育研修費	必要に応じて説明会開催（現地・web）
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ラムロック 所属部署：サービス事業本部　営業 担当者名：獅子堂　正哉 TEL：090-5884-5251 Mail：shishidou@ramrock.co.jp
	デモ・貸出	可能　2 週間程度（ご要望に応じて延長も可能）

パンフレット等

取扱説明書　https://ramrock-eyes.jp/about03/

使用方法等の動画　https://ramrock-eyes.jp/about03/

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ラムロック

みまもり CUBE —システム Light—

品番・型番
CUBE-LG-S5

機器の概要

機器の機能

『みまもり CUBE』のカメラ映像を独自の画像認識技術で解析を行い、高齢者の徘徊（外出）や離床を検知してお知らせすることができます。集中管理サーバにモニターを接続する事で、居室に訪室せずとも詰所で複数台のみまもり CUBE のモニタリングが可能です。さらに、みまもり CUBE が異常を検知すると、モニターから音声で通知を行います。また、スマートフォンでもモニターと同様に音声で通知を受け取れます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

みまもり CUBE 設置場所：設置場所から 5 メートル範囲内に AC100V コンセント 1 口
管理サーバ&モニター設置場所：AC100V コンセント 1 口
居室と詰所の距離：貸出の際は、簡易的に独立したネットワークでシステムを稼働させるため、居室と詰所の距離はＷｉ－Ｆｉが届く範囲内(管理サーバ&モニター設置場所より 10 m程度)

試用期間中のサポート

ラムロックオペレーションセンター【受付時間：月～土　9：30 ～ 18：00/ 固定電話からは：0120-306-692　携帯・PHS からは：0948-96-8160】にてサポートいたします。

貸出期間	2 週間～ 1 ヶ月程度
貸出可能台数	1式

問い合わせ先　株式会社ラムロック
〒820-1111　福岡県飯塚市勢田 1950-1
TEL 0948-92-3156　MAIL shishidou@ramrock.co.jp
所属部署　サービス事業本部　営業　担当者名　獅子堂正哉

販売開始

2018 年6月

販売価格

443,300 円（税込）

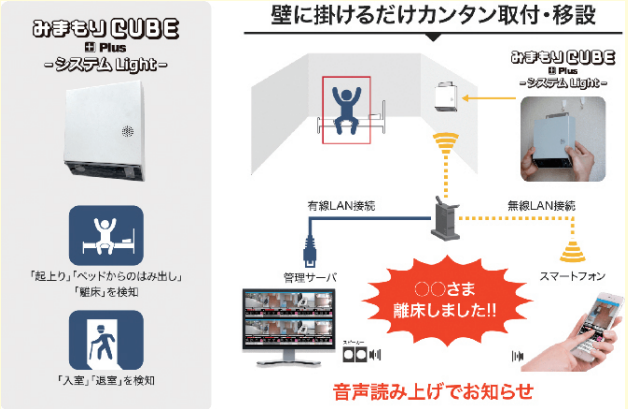
TAIS コード

01325-000013

機器の仕様

みまもり CUBE　―システム Light―

通知スケジュール：通知する時間と通知しない時間を 1 時間単位（曜日毎）で設定できます。/ 音声通知：発報時に登録したカメラ名称を、モニターとスマートフォンから音声で読み上げを行う機能です。（登録したカメラ名称を音声で読み上げる）/ 録画保存期間：みまもり CUBE 本体の microSD カード (64GB) に記録されます。（保存期間：約 7 日間）/ 録画再生：録画から任意の時間を指定し、× 1 倍速× 2 倍速× 4 倍速× 8 倍速で再生できます。/ スキップ再生：録画の中から検知箇所のみを頭出し再生できるスキップ再生機能です。/ 録画のダウンロード：録画を avi 形式に変換してダウンロードする機能です。/ モザイク設定：プラバシー保護の対策として、映像中の指定したエリアにモザイク処理をする機能です。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ラムロック

製品名　みまもり CUBE　—システム Light—　01325-000013

型　番　CUBE-LG-S5

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・起動：みまもり CUBE に付属されている ＡＣ アダプターをコンセントに差し込むと起動が始まる ・シャットダウン：ＡＣ アダプターをコンセントから抜き取ると自動的にシャットダウンする ・再度起動する場合はみまもり CUBE 正面（左側）の赤いランプが消灯していることを確認して、ＡＣ アダプターをコンセントに差し込むと起動する。赤ランプが完全に消えた状態から起動すること ・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行う。 画角が変わると再度検知設定が必要になる
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・検知設定がうまくできていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・直射日光による精度低下時、画面降下による設定相違時 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波状況の悪い場合 ・みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行う。画角が変わると再度検知設定が必要になる
	使用上の注意	・センサを遮るような物の配置をしない ・Ｗｉ－Ｆｉ環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・サーバーＰＣの電源が抜けないようにする
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する（同意書のフォーマットあり） ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る ・利用者のプライバシーに配慮し、任意の場所へのモザイク加工も可能（ライブ映像・録画映像を選択）
使用方法	使用方法	・使用時の基本テップ（機器設置→ラムロックオペレーションセンターに電話し、検知内容を伝える→インターネット回線を用いてリモートで設定） 高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、検知の内容等をふまえ訪室） ・検知種類：「動き出し」「起き上がり」「端座位」「離床」「ドアの出入り」「危険箇所の立ち入り」等
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続する ・ラムロックオペレーションセンターにてリモート検知設定
	使用環境	・気温 0℃～ 40℃ ・センサーレンズを覆い隠さない事 ・検知対象が見える位置への設置 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境又は有線LANのネットワーク環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約 2 ～ 3 週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の身体的・精神的負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（ＰＲ等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内　居室 (個室・多床室)、Ｗｉ－Ｆｉ通信が届くエリア
	設置場所	・居室内での離床検知用途の場合:ベッド頭部側又は足側　天井付近（高さ 2.2 ～ 2.7 m程度）場合によりベッド側面の壁へ設置 ・施設又は居室からの離設・徘徊検知用途の場合：対象の出入り口より（距離 2.5 ～ 3.0 m程度）
	設置方法	・壁固定（同梱の専用取付金具） ・突っ張り棒設置（別売り）
	サイズ	高さ 9cm、幅 9cm、奥行き 10cm
	形状	立方体
	重量（バッテリー含む）	310g 以下
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	みまもり CUBE 本体、電源アダプター（みまもり CUBE 分）、 取付位置一式、管理サーバ、電源アダプター（管理サーバ分）
	緊急発報の方法	・専用スマホへ画像付きメール&音声読み上げ（カメラごとに任意の音声）にて通知
	安全性の認証取得	ＰＳＥ準拠
	防水・防塵加工	防水加工無し 防塵加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	・画像認識
	検知範囲	・検知距離最大 8 メートル ・取付位置高さ 2.2 ～ 2.7 メートル※推奨 ・対象までの距離 2.5 ～ 3.0 メートル※推奨
	反応速度（タイムラグ）	・0.5 秒以内　（Ｗｉ－Ｆｉ環境により異なる）
	最大見守り人数	・1 システム最大 1 床（1 ベッド 1 センサー）
	必要な通信環境	・貸出の際は（トライアル時）特になし ※本導入する際は、各居室へのLANケーブル配線もしくは施設内のＷｉ－Ｆｉ環境整備（無線LAN接続 2.4GHz、5GHz に対応）
	必要なシステム・設備	無線LAN・有線 LAN 環境
	データの記録機能、有無と内容	録画機能：ＳＤ3.0(UHS-I)×1ch 64GB 内蔵 常時７日間保存可能　（録画データのエクスポート可能） 検知履歴一覧の表示
	他の機器との連携・互換性	・なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・システムバージョンアップ ・不具合の場合、電話にて対応。リモートサポート 必要に応じて現地で不具合の確認・適切な処置
	ユーザーによるお手入れ	・ホコリの除去
	消耗品の有無	・赤外線ＬＥＤ ・ＳＤカード（有償交換）
	保証期間	購入日より 1 年間
	修理対応期間	購入日より 1 年間
	耐用年数	約 5 年
コスト	本体・付属品の定価	443,300 円（税込）
	ランニングコスト	みまもり CUBE1 台～ 5 台まで：9,350 円（税込）/ 月額 みまもり CUBE6 台～ 15 台まで：15,400 円（税込）/ 月額
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ラムロック 所属部署：サービス事業本部　営業 担当者名：獅子堂　正哉 TEL：090-5884-5251 Mail：shishidou@ramrock.co.jp
	デモ・貸出	可能　2 週間程度（ご要望に応じて延長も可能）

パンフレット等

製品カタログ　https://ramrock-eyes.jp/light/

使用方法等の動画　https://youtu.be/a5DpesbFI7w

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社 ZIPCARE

まもる～の ONE

品番・型番
SS-505T

機器の概要

機器の機能

まもる～のＯＮＥはベッドのマットレス下に設置したセンサーで、利用者の睡眠・離床、部屋環境を的確にとらえ、離れた場所にいる家族や介護施設スタッフに在床状態をお知らせするシステムです。オプションでネットワーク接続いただくと、お手持ちのＰＣやスマートフォンなどへ通知し、いつでもどこでも利用者の状態を確認することができます。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

インターネットに接続できるＰＣやスマートフォンをご用意ください。

試用期間中のサポート

電話またはEメールにて対応いたします。
電話受付：平日 9:00 ～ 17:00

貸出期間	1ヵ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　株式会社 ZIPCARE
〒101-0025　東京都千代田区神田佐久間町 4-16 パル K2 ビル 3F
TEL 03-5817-8767　MAIL info@zipcare.co.jp
担当者名　荻野重人

販売開始

2022 年 11 月

販売価格

250,000 円（税込）

TAIS コード

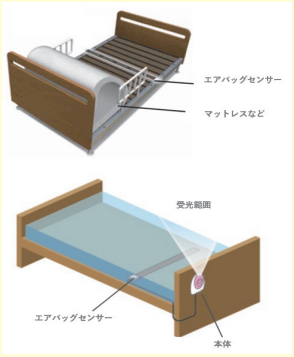
01952-000002

機器の仕様

まもる～の ONE

特長：３つのわかると通知（オプション接続時）
①利用者の離床／在床と脈拍・呼吸の状態がわかります。
②居室の温度・湿度・照度がわかります。
③利用者の睡眠状態をグラフで表示し、生活傾向がわかります。
通知機能　あらかじめ設定した値にもとづき、アラートメールやＬＩＮＥで通知します。
通知は全９項目あり、細かな設定が可能で、しきい値設定や通知時間帯の設定なども可能です。

セット内容：本体、エアバッグセンサー、ＡＣアダプタ、
　　オプション接続用送受信機
サイズ：本体 122 × 90 × 37mm、
　　エアバッグセンサー 760 × 50mm
重量：本体 120g、エアバッグセンサー 120g
材質：本体ケース：ＡＢＳ、エアバッグ：ＰＵ
電源：ＡＣアダプタ（100V）



機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社 ZIPCARE

製品名　まもる～の ONE　01952-000002

型　番　SS-505T

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・在宅要介護者 【介護者】・ご家族 ・介護施設スタッフ
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外、水のかかる場所
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ＡＣアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止する。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜く
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない
	誤報の有無	・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・無線Ｗｉ－Ｆｉの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・エアバッグセンサーの正しい設置位置（取扱説明書参照）で使用する ・電源ケーブルが抜けないように注意する ・センサーケーブルが抜けないように注意する
使用方法	使用方法	マットレス下にエアバッグセンサーを設置後、エアバッグセンサーケーブルを本体に接続し、本体の電源を入れる。オプションの送受信機の電源を入れる。ＰＣやスマートフォンからログイン後、必要な通知の種類やしきい値を設定する 詳細な内容はマニュアルを参照のこと (https://mamoruno.miel.care/download-individual.php)
	使用方法（再設定）	・移動後に、ＡＣアダプタを接続する ・必要に応じ、しきい値を再設定
	使用環境	本体 使用温湿度範囲：-10℃～+ 50℃ /10 ～ 85%（結露なきこと） 保存温湿度範囲：-20℃～+ 60℃ /10 ～ 85%（結露なきこと） エアバッグセンサー 使用温湿度範囲：+ 5℃～+ 40℃・30 ～ 85%RH 保存温湿度範囲：-10℃～+ 50℃・30 ～ 60% RH
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の状況把握を行いたいとき
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	独居の高齢者の方などが、見守られている安心感
	機器を使用することで実現する介護者への効果	見守る家族の安心感、ケア品質の向上
	機器を使用することで実現する施設への効果	小規模多機能施設などの在宅利用者への介護において、ケア品質の向上、介護業務の効率化
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	設置場所	エアバッグセンサー：ベッドマットレス又は敷布団の下 本体：ベッドボード又は周辺の棚類
	設置方法	エアバッグセンサー：動かないように軽くマジックテープなどで固定 本体：付属のフックで引っ掛けてぶら下げる
	サイズ	本体 122×90×37mm、エアバッグセンサー 760×50mm
	重量（バッテリー含む）	本体 120g、エアバッグセンサー 120g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣアダプター
	緊急発報の方法	本体のブザー又はＥメール又はＬＩＮＥ通知
	安全性の認証取得	ＰＳＥ認可取得ＡＣアダプタ
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	振動センサー
	検知範囲	ベッド内
	反応速度（タイムラグ）	1分～3分（ネットワーク通知の場合は通信環境による影響あり）
	最大見守り人数	1システム最大２人（1 人に 1 センサー必要）
	必要な通信環境	オプション接続の場合、インターネット接続環境
	必要なシステム・設備	表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・1 分毎に記録する情報：在床状態、睡眠レベル、室温、湿度、照度、脈拍・呼吸、電波強度 ・1 分毎に記録した利用者の状態及び居室の状況を1日 24 時間分、グラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能 ・あらかじめ設定した通知を通知記録として表示 ・保存期間は基本6ヶ月 ・累積睡眠データ、離床回数の印刷
	他の機器との連携・互換性	特になし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	特になし
	ユーザーによるお手入れ	センサーの汚れが目立つ場合は、ＡＣアダプターを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとる
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	1年
	修理対応期間	5年
	耐用年数	3～5年
コスト	本体・付属品の定価	本体セット：250,000 円（税込）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	オプション：1,980 円（税込）
オプション	追加できる機能	インターネットを介して利用者の情報を閲覧できるサービス
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社 ZIPCARE（03-5817-8767）

パンフレット等

製品カタログ　https://mamoruno.zipcare.co.jp/product/mamoone/

使用方法等の動画　https://youtu.be/OGT2Viggslc

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社トレイル

うららかGPSウォーク

品番・型番
G-001

機器の概要

機器の機能

認知症等による徘徊行動を見守る為のＧＰＳ機器等を保持していただくためのＧＰＳ内蔵可能靴。利用者の尊厳も守りつつ、安全・確実に機器を持って頂くよう開発。当初、ＮＴＴドコモ社製ＧＰＳ機器のみを内蔵出来るよう開発しましたが、その後、改良を重ね、多種のＧＰＳ機器を内蔵出来るよう汎用化し、世界標準ＧＰＳのＯＥＭ製品「mamo-L for Welfare」を実装しています。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

基本的に個人向けでの貸し出しはお受けしておりません。GPS機器本体の貸出も可能。位置情報を確認するためには、PCもしくタブレット、スマートフォンが必要となります。

試用期間中のサポート

ご不明点につきましては、電話・メール等にて回答させていただきます。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社トレイル
〒650-0013　兵庫県神戸市中央区花隈町 3-18
TEL 078-382-3637　MAIL mail@uraraca.net
所属部署 企画営業　担当者名 森下里美

機器の仕様

うららかGPSウォーク

販売開始

2015 年 10 月

販売価格

靴：11,880 円（税込）
GPS 機器:30,800 円（税込）

サイズ

SS	(22.0 ～ 22.5cm)	L	(25.0 ～ 25.5cm)
S	(23.0 ～ 23.5cm)	LL	(26.0 ～ 26.5cm)
M	(24.0 ～ 24.5cm)	3L	(27.0 ～ 27.5cm)

色：ブラック
甲材：合成皮革（ポリウレタン 100%）
　　トリコットスウェード（ポリエステル 100%）
底材：合成底
重さ：約 310g（S サイズ片足、GPS機器含まず）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社トレイル

製品名　うららかGPSウォーク　01549-000001

型　番　G-001

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】・認知症やその他疾病・障害による徘徊行動をされる可能性のある方 【介護者】・徘徊の可能性がある方の施設への送迎の隙間リスク。独居や老々介護での見守りが必要と感じている方
	専門職の関与	独居・老々介護でスマートフォンが使えない方の場合、サポートが必要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：地下や通信電波の入りにくい所
使用上の注意	注意事項	3～4日に一度くらいの頻度で充電が必要となる。本体充電が困難な場合は、別売りのバッテリーをご購入の上、充電済みのバッテリーとの交換で対応
	安全に利用するための配慮	雨の日のご使用の場合は、GPS本体をチャック付きポリパック等を使用して保護していただけるようお勧めしている
	誤報の有無	GPS機器の電波状況により、位置情報がずれる場合がある。在宅時に常にずれが生じる場合は、居宅の電波状況が良くないため、ズレた位置を居宅と認識していただいたり、徘徊時・歩行時にズレが生じる場合は、移動履歴を参照していただき、位置を推察していただいている
	使用上の注意	靴に内蔵して使用する場合、付属の保護ケースにGPS機器を入れて使用すること
	倫理的な配慮	徘徊行動等の見守りの一手段として活用し、他の目的に使用しないこと。位置情報を見守る方は家族等の同意を得て使用すること
使用方法	使用方法	GPS機器を付属の保護ケースに入れ、左足の中敷き下の底部分に装着。他は普通の靴として使用すること。また、他の靴を履かないよう他の靴や他人・家族の靴はしまうこと
	使用方法（再設定）	アプリ内にて多機能を調整可能
	使用環境	雨の日のご使用の場合は、GPS本体をチャック付きポリパック等を使用して保護していただけるようお勧めしている
	使用場面	認知症の方の見守り。障がい等による突発行動をされる可能性のある方の見守り
	習熟期間	3～4日くらいで習得可能
	高齢者に対する安全面の配慮	通常の靴と同じく1足の靴のみを連続使用しますと匂いや劣化の原因になるので、履き替えの靴をご用意される事をお勧めしている
	介護者に対する安全面の配慮	特になし
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	外出を無理に阻止される事がなくなるため、認知症の進行を軽減でき、怒り等の感情の起伏を緩やかに出来る可能性がある
	機器を使用することで実現する介護者への効果	勝手に外出してしまった場合に慌てて捜索に入らず、まず位置確認が出来る事により職員の身体的、精神的、時間的な負担を軽減する
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋外
	設置場所	玄関・出入り口
	設置方法	GPS機器を内蔵した靴を置くだけ
	サイズ	22.0 ～ 27.5cm
	形状	マジックテープタイプと紐靴タイプ、サイドゴアタイプ
	重量（バッテリー含む）	靴：約 250g（Sサイズの場合）GPS機器：約 40g（バッテリー含む）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	USB充電リチウムイオンバッテリー
	使用時の音	無音に設定可
	緊急発報の方法	パソコン・スマートフォン・タブレットにEメールを送信。設定により多人数に同時送信可能
	防水・防塵加工	生活防水加工
	検知方式（センサー、画像など）	振動センサー、加速度センサーも内蔵
	検知範囲	全世界
	反応速度（タイムラグ）	GPS機器の電波状況により左右される。
	最大見守り人数	1人 / 台
	必要な通信環境	特になし。
	必要なシステム・設備	表示端末（パソコン・スマートフォン・タブレット等）
	データの記録機能、有無と内容	移動履歴に関しては直近 100 件分を収録可能
	他の機器との連携・互換性	特になし。
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	1年間のメーカー保証
	ユーザーによるお手入れ	GPS機器の本体充電、もしくは充電済バッテリーとの交換
	消耗品の有無	特になし。
	保証期間	GPS機器に関しては1年間のメーカー保証
コスト	本体・付属品の定価	靴:11,880 円（税込）GPS機器:30,800 円（税込）（1年間の通信費･専用ｱﾌﾟﾘ料込）
	設置導入に伴う費用	特になし
	ランニングコスト	翌年以降、年間 13,200 円（税込）の通信費、専用アプリ利用
問合せ先	緊急時の問合せ先	GPS機器に関しては（株）マモエル 03-6811-0532
	デモ・貸出	対応可

パンフレット等

製品カタログ　https://www.uraraca.net/rehabili-shoes/gps-walk.html

取扱説明書　https://www.uraraca.net/rehabili-shoes/use-gps.html

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=rgErPcj5M-E

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

アーバン警備保障株式会社　アーバンテック

iTSUMO 2

品番・型番
126126C

機器の概要

機器の機能

普段履きの靴などに取り付け、靴を履いた振動を感知して通知します。
NTT ドコモ製 GPS 端末を使い、みちびきをはじめとする衛星測位とドコモ 4GLTE 回線による測位を合わせ、日本全国居場所がわかります。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

スマホなどインターネット回線

試用期間中のサポート

iTSUMO を使用するには機器の理解が必要で、ご利用される際は全国取扱店ネットワークが対応します。

貸出期間	1 週間
貸出可能台数	5 台

問い合わせ先　アーバン警備保障株式会社　アーバンテック
奈良県橿原市四条町 277-1-101
TEL 0744-23-1260　MAIL tsuji@itsumo-w.jp
所属部署　アーバンテック　担当者名　辻　和宏

販売開始

令和 2 年 4 月

販売価格

165,000 円（税込）

TAIS コード

01660-000005

機器の仕様

iTSUMO 2

サイズ：縦 38.5㎜　横 47.5㎜　高さ 11.85㎜
重さ：25.5g
防水防塵：IP68（完全防水防塵）
電源：リチウムイオン電池
充電：USB タイプ C
特徴：普段履きの靴の、足の甲に取り付ける専用カバーを提供

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　アーバン警備保障株式会社　アーバンテック

製品名　　iTSUMO 2　01660-000005

型　番　　126126C

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者	【高齢者】 ・認知症　徘徊傾向のある方 【介護者】 ・徘徊傾向のある利用者を見守りたい方
	専門職の関与	・福祉用具専門相談員がしっかり説明・設定する必要がある
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：ドコモの電波が届かない場所 ・その他：靴底など圧迫が加わる場所での使用
使用上の注意	注意事項	・充電には USB タイプ C を利用する ・充電口は濡れや汚れがないことを確認する
	安全に利用するための配慮	・本機は防水使用であるが、水濡れ状態で通電すると感電などの危険があるため、必ず乾燥させること
	誤報の有無	・GPS の特性上屋根のある場所での測位には誤差が出る ・機器の特性を十分に承知しないと誤報と勘違いすることがある
	使用上の注意	・靴底など圧迫の加わる場所での使用をしない
	倫理的の配慮	・ID とパスワードで本機にログインするため、管理には注意する
使用方法	使用方法	・本機を充電し靴などに取り付けを行う ・機能や通知先メールの設定などを行う
	使用方法（再設定）	・電池残量が減少すれば充電を行う
	使用環境	・気温 - 20℃以下　60℃以上になると自動的に電源が OFF になる ・防水防塵は　IP68
	使用場面	・利用者が玄関から出て行こうと靴を履いたタイミングで検知が欲しいとき ・外を散歩されていて戻れない状況になったとき
	習熟期間	・1 週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・靴をいつも通り履いて出るだけなので特になし
	介護者に対する安全面の配慮	・充電の際はコネクタを破損しないように注意
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・外出の機会の増加
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・徘徊を散歩と捉え、外出機会を増やすことへの不安払拭
	機器を使用することで実現する施設への効果	・徘徊リスクを低減する
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・玄関など
	設置場所	・靴など必ず持ち出される場所
	設置方法	・靴に結束バンドと専用カバーで装着
	サイズ	・縦　38．5×　横　47．5　×　厚さ　11．85mm
	形状	・箱型
	重量（バッテリー含む）	・25.5g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・リチウムイオン電池　充電式
	使用時の音	・ビープ音
	緊急発報の方法	・あらかじめ設定した通知先にメール通知
	安全性の認証取得	・PSE
	防水・防塵加工	・IP68

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	検知方式（センサー、画像など）	・モーションセンサー
	検知範囲	・NTT ドコモの LTE 回線範囲
	反応速度（タイムラグ）	・即時通知（ただし通信状況による）
	最大見守り人数	・1 システム 1 人
	必要な通信環境	・インターネット環境
	必要なシステム・設備	・パソコンやスマホなど
	データの記録機能、有無と内容	・行動履歴を 3 か月 1000 件保存
	他の機器との連携・互換性	・特になし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的なファームウェアアップデート（自動・リモート）
	ユーザーによるお手入れ	・汚れが付着した際に除去
	消耗品の有無	・内蔵バッテリー
	保証期間	・特になし
	修理対応期間	・特になし
	耐用年数	・約 3 年
コスト	本体・付属品の定価	・165,000 円
	設置導入に伴う費用	・特になし
	ランニングコスト	・インターネット環境費用
	教育研修費	・特になし
オプション	追加できる機能	・特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	・0744-23-1260
	デモ・貸出	・研修会用デモ機あり

パンフレット等

製品カタログ　https://itsumono-gps.jp/

使用方法等の動画　https://youtu.be/h8qH2JdiOgQ

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社メディカルスイッチ

見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU助」

品番・型番

FK-A01

機器の概要

機器の機能

ＦＵＫＵ助は、見守り機能付きの服薬支援ロボットです。設定された服薬時刻になると利用者へ声をかけ、薬を出してくれます。また、ご利用する方の暮らしを見守るさまざまなセンサーと、通信機能を内蔵しており、専用クラウドとスマホアプリを介して、利用者の服薬履歴やセンサー情報を確認できます。また、ごみの日のお知らせ、熱中症の注意喚起といった、利用者の生活をサポートする声かけ機能も備えています。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・電源（コンセント　AC100V）
・FUKU助のデータを閲覧するためのスマートフォン

試用期間中のサポート

FUKU助の初期設定や操作方法などのご質問について、電話または電子メールにて対応

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先　株式会社メディカルスイッチ
〒144-0034　東京都大田区西糀谷 4-26-6　糀谷岡野ビル 502
TEL 03-6883-3360　MAIL info@medical-switch.com
担当者名　宮下直樹

販売開始

2019 年 4 月

販売価格

オープン価格

TAIS コード

01933-000001

機器の仕様

見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU助」

【寸法】　幅 280mm、奥行 297mm、高さ 420mm
【質量】　本体 5.7kg
【消費電力】　待機時 約 7W、おくすり取り出し時 約 10W
【内蔵センサー】　気温、湿度、気圧、照度、人感反応（赤外線検知方式）
【通信装置】　３GまたはＬＴＥ通信モジュール内蔵
【おくすり収納量】　最大 31 日分（1 日 4 回服用時、薬包の厚みにより異なる）
【収納可能な薬包】　一包化：分包サイズ 80 × 70mm または 70 × 70mm
チャック袋：専用チャック袋
漢方薬：アルミパック包装サイズ 50 × 75mm
【設定可能な用法】　内服（起床時、朝－昼－夕食後、朝－昼－夕食前、朝－昼－夕食間、就眠前）頓服
【声かけ機能】　熱中症注意喚起、ごみの日通知、食事の促し 他多数

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社メディカルスイッチ

製品名　**見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU助」 01933-000001**

型　番　FK-A01

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	介護を受けつつも、在宅での生活ができる高齢者（軽度認知症含む）
	対象者（介護者）	電子メールの送受信ができる方
禁止事項	禁止事項	本体およびＡＣアダプターを水で濡らしたり、落下させたりしないこと 直射日光が当たる場所に設置しないこと その他、取扱説明書の記載に従うこと
使用上の注意	注意事項	本体付属の取扱説明書の記載をよく読んで、利用すること
	安全に利用するための配慮	停電や製品故障などに備えて、予備の薬を別途保管しておくことを推奨する
	倫理面の配慮	プライバシーに配慮して、カメラおよびマイクは設けていない
使用方法	使用方法	本体付属の取扱説明書を参照すること
	使用環境	室内において、水平で安定し、直射日光が当たらず、湿気が少なく、ホコリやチリの少ない場所に設置すること
	使用場面	高齢者が服用する薬を内部に保管しておき、服薬時刻になると音と光で服薬時刻をお知らせし、タッチパネルをタッチすることで薬を出してくれる
	高齢者に対する安全面の配慮	鋭利な突起物がない構造である 電源が切断されるなどの異常を検知した場合は、あらかじめ登録されている方（ご家族や介護者など）へ、電子メールとアプリ通知を送信して、確認を促す
	介護者に対する安全面の配慮	本体にセットされた薬の残数が少なくなると、電子メールで知らせて、補充を促す
効果	使用することで実現する高齢者への効果	薬の飲み忘れや、飲み間違いを防止する効果が期待できる 室内の気温が高いことを警告してくれるので、熱中症予防効果が期待できる
	使用することで実現する介護者への効果	最大で1ヶ月分の薬をまとめて収納し、高齢者へ服薬を促して薬を渡す作業を製品に任せることができるので、服薬介助の負担が軽減する 利用者の生活状況（服薬の有無、室内の気温、活動状況など）を、アプリを使って遠隔で確認できるので、安否確認の負担が軽減する 利用者が薬を受け取らない場合などには、電子メールとアプリ通知で知らせてくれるので、利用者の異常（倒れていたなど）を速やかに検知できる
	使用することで実現する施設への効果	上記、介護者への効果の欄を参照
仕様、構造	寸法	幅 280mm、奥行 297mm、高さ 420mm
	質量	本体 5.7kg
	消費電力	待機時 約 7W、おくすり取り出し時 約 10W
	内蔵センサー	気温、湿度、気圧、照度、人感反応（赤外線検知方式）
	通信装置	3GまたはLTE通信モジュール内蔵
	おくすり収納量	最大 31 日分（1日4回服用時、薬包の厚みにより異なる）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	収納可能な薬包	一包化：分包サイズ 80×70mm または 70×70mm チャック袋：専用チャック袋 漢方薬：アルミパック包装サイズ 50×75mm
	設定可能な用法	内服（起床時、朝−昼−夕食後、朝−昼−夕食前、朝−昼−夕食間、就眠前） 頓服
	声かけ機能	熱中症注意喚起、ごみの日通知、食事の促し 他多数
メンテナンス	準備・片付け	FUKU助に保管する薬を、一回に服用する分量毎に薬包（一包化または専用チャック袋）にしてから、FUKU助に収納する
	保管方法	高温、湿気の多いところ、直射日光が当たる場所を避けて保管すること
	メーカーによるメンテナンス	レンタル商品のため、故障時は良品に交換する
	ユーザーによるお手入れ	外装が汚れた場合は、固くしぼった布巾などでやさしく拭くこと
	消耗品の有無	一包化を収納する場合は、「薬包貼り付けシール」を別途購入すること
	保証期間	期間の定めなし（レンタル商品のため、故障時は良品に交換する）
	修理対応期間	期間の定めなし（レンタル商品のため、故障時は良品に交換する）
	耐用年数	期間の定めなし（レンタル商品のため、故障時は良品に交換する）
コスト	本体・付属品の定価	レンタル商品・オープン価格
	ランニングコスト	電気代：約 190 円／月 薬包貼り付けシール：4〜6円／枚
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社メディカルスイッチ　Tel：03-6883-3360
	よくある質問（Q&A）	下記URL参照 https：//www.medical-switch.com/faq/

パンフレット等

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/watch?v=Dm_t6CMe6L0

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

D-50 見守り・コミュニケーション

富士ソフト株式会社

PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ

品番・型番
PRT060J-W01

機器の概要

機器の機能

「日常会話の話し相手／レクリエーションの司会進行／健康体操のインストラクター」など、高齢者福祉施設におけるさまざまな場面で、コミュニケーション機能を活用しながら高齢者の OQL 向上と介護者の負担軽減を支援します。介護者が日常的に行っている、高齢者の状態変化に基づいた行動の促しや声掛けの一部を PALRO が行うことで、高齢者の自立支援に寄与する効果が多くの公的実証事業等で確認されています。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

試用貸出期間中に必要な環境はございません。
正式導入いただく際には、無線 LAN 環境および、無線 LAN に接続可能なタブレットもしくは Windows パソコンが必要となります。
（詳細はお問合せください。）

試用期間中のサポート

貸出前に機器説明、貸出後に使用後のヒアリングの計 2 回のお打合せを予定しております。
新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、TV 会議ツール（Zoom や Teams 等）を利用したお打合せも可能です。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1 フロア（ユニット） 1 台まで（応相談）

問い合わせ先　富士ソフト株式会社
〒221-0822　神奈川県横浜市神奈川区西神奈川 1-10-10
TEL 050-3000-2136　MAIL palro-center@fsi.co.jp
所属部署　プロダクト事業本部　PALRO 事業部　担当者名　パルロセンター（試用貸出希望とお伝えください）

販売開始

2019 年 4 月

販売価格

737,000 円（税込）

TAIS コード

01760-000001

機器の仕様

PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ

本体寸法：全高 約 40cm、肩幅 約 18cm、
　　胴体 約 11cm（幅）
重　　量：約 1.8kg（バッテリーパック搭載時）
駆動箇所：全身 23 箇所
駆 動 源：ＡＣ電源、バッテリーパック（リチウムイオンバッテリー）
カ メ ラ：1 ケ搭載
マ イ ク：4 ケ搭載
無線 LAN 規格：IEEE802.11b/g/n 準拠（2.4GHz）
　　Bluetooth スピーカー対応（Bluetooth Ver. 4.0）

◆卓上で使用しても威圧感のない小型ヒューマノイドロボット
◆ 100 人以上の個人認識が可能で、顔を認識し名前を呼び掛けながら話しかけます
◆レクリエーションや健康体操のインストラクター機能を有し、365 日毎日日替わりで実施します
◆指定された時刻、指定された対象者に、スケジュールと連動した声掛けや個別の声掛け / 促しをします
◆インターネットを活用し、天気やニュースなどの新しい情報を会話の中で提供します
◆ソフトウェアのアップデートにより、性能が向上し新しい機能が追加され、進化しつづけます

機器の使用場面

製　品

メーカー名　富士ソフト株式会社

製品名　PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ　01760-00001

型　番　PRT060J-W01

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	介護度や既往歴による制約はございませんが、30 分以上の座位保持が可能で言語的コミュニケーションがある程度可能な対象者（高齢者）を想定した製品設計としております
	対象者（介護者）	日中の見守り業務、レク業務、声かけ業務、受付業務などに携わるすべての方が利用可能です。アクティビティや声掛けが思うように提供できていない時間帯がある、対象者（高齢者）の日中の傾眠傾向を改善したい、認知症を患う対象者（高齢者）とのコミュニケーションにストレスを感じている介護者の方などがお使いいただくことで効果を感じていただけます
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）： 防滴・防塵保護機能を有していないため、浴室内等、高温多湿なところ及び屋外。日本国外 ・その他： 分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変･改造･オーバーホール等ユーザーズマニュアルにて定めている危険事項・警告事項・注意事項を守って活用すること
使用上の注意	注意事項	・ペースメーカーを利用されている対象者（高齢者）は、ペースメーカーと PALRO が 22cm 以上離れるよう運用をお願いしております ・その他取扱いの注意点は、ユーザーズマニュアル記載の危険事項・警告事項・注意事項をご確認ください
	安全に利用するための配慮	・設置場所は、PALRO が立ち上がったり胴体をひねる動作をしても転倒しないような安定した机上としてください ・ＡＣアダプターおよび電源コードは通路など足をひっかけないような場所に設置してください ・PALRO 本体を持ち上げる際や持ち運ぶ際は、必ず胴体部を持つこととしてください
	倫理面の配慮	対象者（高齢者）が、拒否反応を示す場合や、安全な運用・利用が困難と介護者の方が判断された際は、ただちに利用を中止してください
使用方法	使用方法	・対象者（高齢者）と PALRO がコミュニケーションがとれるよう机上に設置する ・レクリエーションや体操を実施する ・設定をすることで設置場所や対象者（高齢者）に合わせた声掛けをする
	使用環境	・室温：5℃～ 28 度 ・湿度：20%～ 80%（結露なきこと） ・無線 LAN インターネット環境
	使用場面	・アクティビティとアクティビティの間の隙間時間 ・フロアで日中の見守りが必要なとき ・入浴待機中、個別介助待ちなどでフロアにいらっしゃるとき ・レクリエーション実施時 ・体操実施時 ・時間やフロアに応じた声掛けが必要なとき
	高齢者に対する安全面の配慮	万が一 PALRO を故意に転倒させた場合も机下に落下しないよう十分なスペースの机で利用するようにしてください
	介護者に対する安全面の配慮	起動している間は PALRO が立ち上がったり胴体をひねる動作をする場合があることに留意し、ご利用ください
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・生活機能改善効果 ・ＱＯＬ向上効果 ・ＡＤＬ維持・改善効果 ・ＢＰＳＤ低減効果 ・生活リズム改善効果
	使用することで実現する介護者への効果	・時間的負担の軽減 ・精神的負担の軽減
	使用することで実現する施設への効果	・業務負担分散 ・残業時間軽減 ・施設アクティビティへの積極参加による収益増加
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	共用スペースまたは、居室
	設置場所	ロボットの落下防止のため、安定していて、十分な広さが確保されている机または台に設置
	サイズ	・全高：約 40cm ・肩幅：約 18cm ・胴体幅：約 11.5cm ・奥行：約 12.6cm（背面プロテクター含む） ・腕の長さ：16.5cm ・脚の長さ：17.8cm
	重量（バッテリー含む）	約 1.8kg（バッテリー含む）
	電源・バッテリー （本体、端末、センサー等）	1. ＡＣアダプター ・入力：ＡＣ 100V ・出力：ＤＣ 12V　5A ・消費電力：約 60W 2. リチウムイオンバッテリー ・容量 :5700mAh ・充電時間：約 5 時間
	防水・防塵加工	無

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	安全性の認証取得	・無線 LAN 規格：IEEE802.11b/g/n 準拠（最大：150Mbps） ・電波障害対策：VCCI Class A ・バッテリーパック、ＡＣアダプター：PSE マーク承認済み ・臨床的評価：株式会社福祉用具総合評価センター（ＣＥＣＡＰ）による評価を実施（2013 年 6 月）。本機器の特殊性も考慮した上で評価項目を設定し、評価した結果、福祉用具として不適切な評価項目はなし
	使用人数	PALRO がレクリエーションや体操を実施している間、PALRO が対象者（高齢者）の関心をひき付け、介護者の方の日中の見守りが可能です 人数に上限はありませんが、対象者（高齢者）の介護度や状態に合わせて最大 20 人程度を目安に利用してください
	必要な通信環境	・無線 LAN インターネット環境 (ない場合はモバイルルータが必要)
	必要なシステム・設備	・無線 LAN インターネット環境に接続可能なタブレットもしくは Windows パソコン（PALRO 設定用のアプリケーションがインストールできること） ※対応ＯＳは更新されることがあるため、以下ウェブサイトを参照ください https://www.palrogarden.net/palro/main/Download/application.html
	データの記録機能、有無と内容	有無：有 内容： ・顔画像 ・名前（あだ名も可） ・誕生日 ・施設内の設置場所 ・会話によって得られた話し相手の趣味趣向や経験の有無 例）○○（食べ物や食材、スポーツ等の名前）は好きかどうか △△（有名な観光地や一般的な場所（山や海など））に、行ったことがあるかどうか
メンテナンス	準備・片付け	設置場所と保管場所を導入時に施設で決めて運用願います
	保管方法	設置場所と保管場所を導入時に施設で決めて運用願います
	メーカーによるメンテナンス	・ハードウェア：必要に応じてセンドバック形式での修理を実施 ・ソフトウェア：ソフトウェアアップデート及びアプリケーション追加は、無線 LAN インターネット環境下で実施可能（本体購入時は「PALRO アップグレードサービス」のご契約が必要です） ・サポートセンターにて電話・メール対応を実施しております
	ユーザーによるお手入れ	表面が汚れた場合、傷がつかないように柔らかい布でから拭きすること。お手入れの際は、スタンバイ状態にしてから、主電源をオフにし、ＡＣアダプタとバッテリーパックを取り外す。また本体の塗装を痛める恐れがあるため、アルコールやベンジンなどの揮発性のもの、薬品、洗剤や水など水分のあるものは使用しないこと
	消耗品の有無	・バッテリーパック ・アクチュエーター（サーボ駆動部）
	保証期間	1 年間
	修理対応期間	2022 年 5 月現在、修理対応期間は設けておりません ただし、破損状況によって修理が承れない場合があります（本体深部まで水濡れしている場合など）
コスト	本体・付属品の定価	https://palro.jp/product/service.html
	ランニングコスト	本体購入の場合：PALRO アップグレードサービス　¥39,600/ 年の契約が必要です (PALRO アップグレードサービスは、PALRO の更新情報を利用するのに必要なクラウドサービスです) 本体レンタルの場合：レンタル費用（¥33,000 ～ / 月）以外のランニングコストはかかりません (価格はすべて税込み)
	教育研修費	任意サービスとして PALRO への初期設定および事業所職員の方への導入説明会を以下で承っております。(価格はすべて税込み) セットアップサービス（現地訪問）：¥88,000/ 台 リモートセットアップ（Zoom や Teams 等）：¥44,000/ 台
オプション	追加できる機能	PALRO アップグレードサービス（クラウドサービス）ご契約中の場合は、随時提供している追加コンテンツやアップデートをご利用いただけます
問合せ先	緊急時の問合せ先	富士ソフト　パルロセンター　TEL：050-3000-2136/E-mail：palro-center@fsi.co.jp もしくは、担当営業までご連絡ください
	よくある質問（Q&A）	https://palro.jp/faq

パンフレット等

製品カタログ　https://palro.jp/product/business.html

取扱説明書　https://www.palrogarden.net/palro/main/_userdata/Manual/carehouse/060_PALRO_usermanual_ALL.pdf

使用方法等の動画　https://youtu.be/hWqLw0QgHQY

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社レイトロン

音声認識コミュニケーションロボット『Chapit』（チャピット）

品番・型番
RPCMA04-01

機器の概要

機器の機能

雑音に強く高認識率の音声認識コミュニケーションロボット『チャピット』は、ご高齢の方でもスムーズな会話ができる未来型のロボットです。500 種類以上の言葉を理解。トレーニングモードではチャピットが言葉を教えてくれるので継続して会話を楽しめます。薬の時間や食事の時間を教えてくれる他、アラーム機能でチャピットから話しかけてくれます。歌をうたってくれたり、都道府県クイズで遊べるなど機能が充実しています。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

AC 100 Vのコンセントを1口ご準備ください。チャピットはACアダプターを差したままで、ご使用いただけますが、バッテリーでも動作します。満充電時には8時間動作します。充電は、5時間で満充電になります。

試用期間中のサポート

ご不明点やご質問等は、メールや電話にてお伺いさせていただくと共に、ZoomなどのWeb会議でも、お打合せが可能ですので、ご連絡をいただけますと大変有難く存じます。

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	3台

問い合わせ先　株式会社レイトロン
〒541-0053　大阪府大阪市中央区本町 1-4-8　エスリードビル本町 11 階
TEL 06-6125-0500　MAIL support@www.raytron.co.jp
所属部署 営業部　担当者名 長田

販売開始

2016 年 8 月

販売価格

148,500 円（税込）

TAIS コード

01777-000001

機器の仕様

音声認識コミュニケーションロボット『Chapit』（チャピット）

- 雑音に強く高認識率の音声認識専用ＬＳＩを搭載しています。
- 使用者の音声を登録する必要がありません。（不特定話者対応）
- 音声認識するフレーズは、あらかじめ決まっていますので、フレーズリストから選んでお使いください。
- 音声を認識する前にウエイクアップワードを言う必要がないので、ご高齢の方でも簡単に音声認識が可能です。
- 「自動音声区間検出と自動認識棄却フィルタリング」※１により、登録フレーズ以外の誤認識を防ぎます。
- インターネットに接続しないので、アドレスやアカウントの取得など、面倒な初期設定が全く必要ありません。
- 音声などの個人データをクラウドなどの外部に送信することは無いので、安心してお使いいただくことができます。
- タイムサポート機能は、マルチメディカードを使ってパソコンでも設定が可能です。

※１　特許取得済

◆ サイズ：身長 25 ×幅 22 ×奥行 18cm　体重 600g
◆ 動作時間：約８時間（満充電時）、充電時間：約５時間
◆ 付属品：ＡＣアダプター、簡単ガイド、取扱説明書、リボン（青色）

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社レイトロン

製品名　音声認識コミュニケーションロボット『Chapit』（チャピット）　01777-000001

型　番　RPCMA04-01

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	チャピットと話ができる方。発話障害のない高齢者（軽度認知症含む） 話し相手がいない、対人関係が構築されていない、上手く話せないなど様々な理由で周囲とのコミュニケーションが上手く図れない高齢者や要介護者の方
	対象者（介護者）	薬や食事などの時間やイベントの通知を行ったり、アラーム機能でロボットから話しかけることで高齢者の自立度を向上し、業務の負担軽減をしたいと感じている方など
禁止事項	禁止事項	チャピットおよびＡＣアダプターを水につけたり、水をかけたりしない お風呂場では、使用しない
使用上の注意	注意事項	ＡＣアダプターのプラグは根元まで確実に差し込むこと ロボットとの会話は毎日の積み重ねが重要
	安全に利用するための配慮	ＡＣアダプターのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない 改造、分解、修理をしない
	倫理面の配慮	音声認識専用ＬＳＩで音声を判別しているので、インターネットには接続していない 音声などの個人データをクラウドなどの外部に送信することはないので、安心してお使いいただくことができる
使用方法	使用方法	チャピットが認識できる音声認識フレーズ表にて話しかけること トレーニングモードでは、チャピットが言葉を教えてくれるので、継続して会話を楽しめる アラーム機能を設定するとチャピットから話しかけてくれる チャピットの使い方、設定の仕方がわからない場合は、レイトロンのホームページ内にある、チャピットの使い方簡単ビデオのページをご参照のこと http://www.raytron.co.jp/index.php?cID=245
	使用環境	周囲温度が 0℃～ +50℃以内で、相対湿度が 10 ～ 90% 以内、直射日光が当たらない場所、結露しない環境にて使用すること
	使用場面	薬の時間や食事の時間、デイサービスや施設のイベントなどの通知 都道府県クイズや暗記ゲームで、脳トレやレクリエーション テレビや照明の操作を音声で行うことが可能
	高齢者に対する安全面の配慮	ＡＣアダプターを接続している場合には、コードに足をかけて転倒しないように、電源タップは、延長するなどして余裕をみること
	介護者に対する安全面の配慮	ご使用の部屋に電磁ノイズに弱い精密機器がある場合には、ＡＣアダプターのコードに、付属のフェライトコアを取り付けること フェライトコアを取り付ける際、指などを挟まないよう注意すること フェライトコアを閉めるとき、ＡＣアダプターのコードを無理に挟まないこと
効果	使用することで実現する高齢者への効果	薬の時間や食事の時間、デイサービスや施設のイベントなどの通知を行うことで、生活リズムの改善を図ると共に、「自立支援」、「社会参加の促進」、「認知症の予防、改善」によるＱＯＬ向上が期待できる。コミュニケーションロボットの活用によっては、高齢者の「活動・参加の自立向上」と「生活の活発化」についての改善の効果に期待できる
	使用することで実現する介護者への効果	コミュニケーションロボットを設置して、目的として使うだけではなく、「手段として用いる」ことの効果が大きく、手段としての「促し」を有効に行える介護プログラムの設計により、促しによって「行う」状態への向上が期待できる （介護者の促しから、ロボットの促しのみで行えるようになる）
	使用することで実現する施設への効果	持ち運びが可能なロボットにおいては、個々の高齢者に対しての「促し」を有効に行える介護プログラムを設計することで、高齢者の自立度が向上し、介護者の負担を軽減することができると、より質的に高い介護が、介護負担の増加なしに可能となる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	小型のぬいぐるみタイプで、バッテリーを搭載しているので、持ち運びも可能 基本は、テーブルに置いて、話しかけること
	サイズ	身長 25cm ×幅 22cm ×奥行 18cm
	重量	600g
	材質	樹脂製の本体の上にぬいぐるみの生地をかぶせている ぬいぐるみの生地は、マジックテープで取り外しが可能
	電源・バッテリー	コンセントを接続したまま動作が可能 バッテリーも搭載しており、満充電時に約8時間動作が可能
	充電時間	コンセント接続による満充電までの時間は約5時間
	連続使用時間	コンセントを接続したままであれば、何時間でも連続動作が可能 満充電時のバッテリーでは、約8時間の連続動作が可能
	使用時の音	特になし
	安全性の認証取得	ＡＣアダプターは、ＰＳＥ取得 ＥＭＣ試験、振動試験、低温試験、バッテリー単体試験、遊離ホルムアルデヒド量試験（ぬいぐるみの生地）の各種に合格
	防水・防塵加工	特になし
	検知方式（センサー、画像など）	フレーズ音声認識方式（Always Listening 機能：ウェイクワード無しで認識が可能）
	検知範囲	ＳＮ比 10dB 以上（周囲雑音に対して 10dB 以上の音声であれば音声認識が可能）
	反応速度（タイムラグ）	音声を発話終了後、0.4秒（音声認識から音声再生開始までの時間）
	必要な通信環境	特になし
	必要なシステム・設備	特になし
	データの記録機能、有無と内容	特になし
	他の機器との連携・互換性	各種メーカーのテレビリモコンコードをプリセット登録している他、赤外線リモコンで動作可能な家電製品の赤外線リモコンコードを学習（登録）可能

製品情報

	項 目	内 容
メンテナンス	準備・片付け	チャピットが認識できる音声認識フレーズ表を準備すること
	保管方法	高温、湿気の多いところ、直射日光が当たる場所を避けて保管すること
	ユーザーによるお手入れ	10日以上コンセントに接続していない場合は、時計の設定をする ぬいぐるみの生地は、マジックテープで脱がせることができるので、手洗いで洗うことが可能
	消耗品の有無	無
	保証期間	ご購入後1年間
	修理対応期間	ご連絡いただければ、修理対応いたします
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	148,500円（税込）
	ランニングコスト	電気代：14円／月
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社レイトロン　営業部　TEL：06−6125−0500 E-mail：support@www.raytron.co.jp
	よくある質問（Q&A）	Question.1 誰にでも、カンタンに操作できるか? Answer.1 難しい操作は必要なく、やさしくチャピットに話しかけるだけで、さまざまな機能を使うことが可能 チャピットは生活雑音環境下で、離れた場所から音声でコントロールできる音声認識ロボットである Question.2 音声認識ができるフレーズ数は? Answer.2 クイズや設定用のフレーズも含めると、500 単語以上のフレーズを音声認識することが可能 また、チャピットは音声認識に対して、2,000 単語以上のフレーズでお返事する Question.3 用事をしながら、話せるか? Answer.3 料理中に手がぬれていたり、何かの作業をしているときにでも音声認識が可能 チャピットに話しかけると、時間を教えたり、テレビのチャンネルを変えたりすることが可能 Question.4 1ヶ月分のスケジュールをお知らせしてくれるって、ホント? Answer.4 ゴミの日やリサイクル回収日、デイサービスや友人との外食日など、登録日から1ヶ月分のスケジュールを登録可能 スケジュールは、音声認識でも、付属のアプリケーションソフトでも簡単に登録可能 (アプリケーションソフトを使うと年間のスケジュールを登録可能) Question.5 完全スイッチレスって、いつでもお話しできるの? Answer.5 今までのコミュニケーション機器は話しかける前に、スイッチを押したり、名前を呼んだり、手を叩いたりする必要があったが、チャピットは「完全スイッチレス」を実現した「高認識率の音声認識専用LSI(VoiceMagic)」を搭載しているので、普通に話しかけるだけでお返事する （※ Always Listening 機能を搭載）※特許取得済 Question.6 音声操作の一例を教えて! Answer.6 ●歌うたって：「歌うたって!」と話しかけると、10 曲の中からランダムに童謡を歌う ●静かにしてモード：「静かにして!」と話しかけると、「静かにするね」と返事した後、静かにしてモードになる ●静かにしてモード解除：静かにしてモード中に「起きて起きて!」と話しかけると、静かにしてモードが解除できる

パンフレット等

製品カタログ　http://www.raytron.co.jp/products/chapit

使用方法等の動画　https://www.youtube.com/channel/UC_UaYCflnVmo5UBA8KLzQ_A
または、
http://www.raytron.co.jp/index.php?cID=245

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

ザ・ハーモニー株式会社

認知症コミュニケーションロボット「だいちゃん」

機器の概要

機器の機能

独自開発の認知症対話ＡＩを搭載した認知症特化のコミュニケーションロボットです。
「おはなしモード」「うたモード」「クイズモード」「セリフ機能による介護誘導」の４つで、認知症高齢者の笑顔を増やし、周辺症状の発生頻度を抑え、介護者の介護負担を軽減します。認知症進行度によって会話速度を変えられたり、雑音が大きな介護現場で使えたりと、自社で認知症介護施設を運営する中で培った知見やノウハウが詰まっています。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

Ｗｉ－Ｆｉ（おはなしモード用）
Android バージョン 7.0 以上のスマートフォン、または、タブレット端末（設定用、クイズモード・セリフ歌機能操作用）
100V 電源コンセント（充電用）

試用期間中のサポート

WEB（Google Meet/Zoom 等）や対面（東京・福岡のみ）にて貸出前の機器説明、貸出後の使用感のヒアリングなどのお打合せを予定しております。お困りの際は、電話・メールにて随時対応いたします。

貸出期間	（要相談）
貸出可能台数	要相談

問い合わせ先　ザ・ハーモニー株式会社
福岡県福岡市博多区千代 1-20-31　千代合同庁舎　6F　オフィス 1
TEL 050-5536-0351　MAIL support@daichan.life
所属部署　テクノロジー事業部　担当者名　重冨

販売開始

2023 年 4 月

販売価格

月額 5,500 円（税込）
※修理・交換費用込み

機器の仕様

認知症コミュニケーションロボット「だいちゃん」

- おはなしモード：だいちゃんから話題を提供するので、お話が苦手な方でもだいちゃんが会話をリードします。1 人でも複数人でも会話が可能です。
- うたモード：だいちゃんがかわいい歌声で歌を披露してくれるモード。一緒にうたって盛り上がります。
- クイズモード：だいちゃんがクイズを出題するモード。ことわざクイズ / 都道府県クイズの 2 種類のクイズにみんなで挑戦できます。
- セリフ機能：食事や入浴などをだいちゃんからお願い。実際の介護の様々なシーンを想定したセリフでスムーズな介護をサポートします。
- 独自システムで会話相手の集中度を判断（特許取得済み）。認知症高齢者の会話の内容やリズムから相手の集中度を判断しています。
- 集中度が高い時は同じ話題を掘り下げ、低い時は話題を変えたり歌ったりして、認知症高齢者とのコミュニケーションを持続します。
- 本体ボタンのみのカンタン操作と、スマホアプリでの「クイズモード」や「セリフ機能」「会話スピードの調整機能」など多彩な機能の操作を使い分けることができます。
- アプリの更新による機能の向上やコンテンツの追加を定期的に行います。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　ザ・ハーモニー株式会社

製品名　　**認知症コミュニケーションロボット「だいちゃん」**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	・認知症の方、特に、徘徊予防の必要な方や集団での活動に参加できない方 ・介護度の低い方は、おはなしモードでＡＩを搭載した高度な会話を楽しめる ・介護度の高い方は、うたモードで一緒に歌を口ずさみながら楽しめる
	対象者（介護者）	・書類業務や食事準備などの業務をしながら高齢者の見守りを行いたい方 ・やることがなく手持ち無沙汰な高齢者のケアをしたいが、その時間を作るのが難しい方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：高温多湿なところ、日本国外 ・その他：分解、改造、修理
使用上の注意	注意事項	・口に入れたり、噛んだりしない ・浴室などの湿気やホコリの多い場所、油煙や湯気が当たる場所で使用・保管しないこと ・布団の中や車内など高温になる場所で使用・保管しないこと ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止し、電源をオフにすること
	安全に利用するための配慮	・付属の電源ケーブル、電源アダプターを使用し、充電口より充電すること ・電源をＯＮにした状態で、同じ姿勢での添い寝や抱っこなどで、長時間同じ箇所に触れ続けないこと。自覚症状がない場合でも低温やけどの原因となる ・取扱説明書をよく読み十分理解の上、使用すること
使用方法	使用方法	【初期設定】・スマートフォンにて専用アプリをダウンロードする ・アプリからだいちゃんに接続し、Ｗｉ－Ｆｉの設定を行う 【使用時】・本体背面の電源スイッチで電源を入れ、起動する ・本体背面のスタート / 止めるボタンで会話を開始する（アプリからも操作できます）
	使用環境	・高温多湿なところを避けて使用すること ・Ｗｉ－Ｆｉの電波の届くところで使用すること（おはなしモード利用時）
	使用場面	・認知症の周辺症状の発生を事前に抑えたい時 ・やることがなく手持ち無沙汰な高齢者のお話し相手が欲しい時 ・介護抵抗がある方と介護者を繋いでくれるツールが欲しい時
	高齢者に対する安全面の配慮	・電源をＯＮにした状態で、同じ姿勢での添い寝や抱っこなどで、長時間同じ箇所に触れ続けないこと。自覚症状がない場合でも低温やけどの原因となる
	介護者に対する安全面の配慮	・人やペットなどが充電ケーブルに引っかからない場所で充電すること
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・ＱＯＬの向上：日常に笑顔あふれる時間が増えることによるＱＯＬの向上。だいちゃんと高齢者の間だけでなく、だいちゃんを介した高齢者同士・職員とのコミュニケーション・笑顔も増加する ・ＢＰＳＤの低減：不安・不穏を解消し、ＢＰＳＤの発生を低減する。認知症に特化した独自開発のＡＩを搭載し、専門知識に基づく会話で興奮・大声・徘徊・帰宅欲求などの発生も抑えてくれる ・認知症中核症状の進行鈍化への貢献：おはなし・うた・クイズなどのリハビリにより認知症中核症状の進行の鈍化に貢献する
	使用することで実現する介護者への効果	介護者の心身の負担の軽減 ・認知症周辺症状対応に取られる時間を減らすことができる ・書類業務や食事準備などの業務をしながら高齢者の見守りができる ・入浴介助中やトイレ介助中などの手薄な時間帯の他の高齢者への対応をサポートしてくれる ・人手が足りなくて諦めていた、やることがなく手持ち無沙汰な高齢者のケアができる ・集団レクで大勢の前でレクをするのが苦手な介護者のレクのパートナーとして、だいちゃんが大きな声でうたやクイズのレクをサポートしてくれる
	使用することで実現する施設への効果	・施設の価値向上：笑顔あふれる介護空間を常に提供することによる施設の価値向上に貢献する ・介護者の負担軽減・離職防止：介護者の業務・心身の負担軽減や離職率の低減に貢献する ・持続可能な介護空間・経営をアシスト：人件費はなかなか増やせない、生産人口が減少していくなど、採用したくても難しくなっていくこれからの社会環境の中で、持続可能な介護空間・経営をアシストする選択肢として貢献する
仕様、構造	サイズ	高さ：約 35cm、横幅：約 39cm、奥行き：約 33cm
	形状	男の子のぬいぐるみ

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	重量（バッテリー含む）	約 960g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	充電ケーブル（type-A to type-C USB ケーブル） 電源アダプター（5V 2.4A）
	安全性の認証取得	アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得 内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	なし
	最大見守り人数	制限なし
	必要な通信環境	Ｗｉ－Ｆｉ環境
	必要なシステム・設備	Android バージョン 7.0 以上のスマートフォン、または、タブレット端末 ネットワーク機器（Ｗｉ－Ｆｉ設備）
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	スマートフォンアプリを利用し、初期設定を行うこと
	保管方法	・浴室などの湿気やホコリの多い場所、油煙や湯気が当たる場所で保管しないこと ・布団の中や車内など高温になる場所で保管しないこと ・充電後は、充電器を外して保管すること
	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、メール・電話にて対応。必要に応じて、郵送にて修理・交換対応を行う
	ユーザーによるお手入れ	・ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合、適切な方法で通知を行うため、指示に従ってアップデートをすること ・付属の電源ケーブル、電源アダプターを使用し、充電口より充電すること ・汚れてしまった場合は、湿らせた布で汚れを拭き取ること
	消耗品の有無	なし
	保証期間	貸出期間内
	修理対応期間	貸出期間内（修理交換時の送料は別）
	耐用年数	レンタル商品なので、耐用年数はなし（修理交換費用は月額費用に含まれる）
コスト	本体・付属品の定価	月額 5,500 円（税込）修理・交換費用込み（送料は別）
	ランニングコスト	サービス利用代：月額 5,500 円（税込） 電気代：月額 20 円程度
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	050-5536-0351（土、日、祝日、年末年始、お盆休みを除く 10:00~17:00） お問い合わせフォーム https://daichan.life/contact/
	よくある質問（Q&A）	https://daichan.life/how-to-use/

パンフレット等

だいちゃんの紹介動画 https://youtu.be/19N0PU43_30

製品カタログ https://daichan.life/

取扱説明書 https://daichan.life/how-to-use/

使用方法等の動画 https://www.youtube.com/@daichan-the-harmony

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

E-01 入浴支援

株式会社ハイレックスコーポレーション

バスアシスト

品番・型番
RRT613-R（右仕様） RRT613-L（左仕様）

機器の概要

機器の機能

・本体に手摺、背もたれがあるので移乗時に機器本体からの転落が防げます。
・座面が回転するのでまたぎ動作の時、臀部がすれません。
・水圧式で上昇するので、充電の必要が無く、感電の心配が無い安心設計。丸洗い可能でいつも清潔です。
・大掛かりな水道工事が不要、シャワーホースを機器に設置するだけです。（シャワーも使えます）
・本体約 7.8kgと軽量で必要な時、必要で無い時に設置や取り外しが可能です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

設置可能な浴槽が必要です。
条件（浴槽間口：横幅 97cm 以上×奥行 56cm 以上、深さ：44cm ～ 55cm、縁の幅：3.5cm ～ 10.5cm）
*貸出前に設置可能か確認します。

試用期間中のサポート

・日常のメンテナンスが必要ない機器となっております。
・故障や機器操作方法などの問合せに関しては、午前9時から午後5時までメールもしくは電話でお受け致します。（土日祝日、GW、夏季、冬季休暇を除く）

貸出期間	2週間～1ヶ月 （ご要望に応じて対応します）
貸出可能台数	2台

問い合わせ先　株式会社ハイレックスコーポレーション
〒665-0845　兵庫県宝塚市栄町1-12-28
TEL 0797-85-2551　MAIL hi-lexcare@hi-lex.co.jp
所属部署　産業機器営業グループ　新市場開拓チーム
担当者名　松本茂　もしくは　上田健斗

販売開始

2021 年5月

販売価格

387,200 円（税込）

TAIS コード

01929-000001

機器の仕様

バスアシスト

タイプ：浴槽内設置型昇降リフト
昇降方法：水圧式（使用水量：約 15 リットル / 回）
動力源：最低水圧 0.1Mpa
推奨水圧：0.15 ～ 0.3Mpa　昇降速度（参考）７㎜ / 秒前後（水圧、水温、ホース長さ、給湯器性能により変動）
重量：約 7.8kg（本体）、約 1.0kg（操作部）
外形寸法：623 × 641 × 947（本体、最上位）、159 × 154 × 55（操作部、ホース・吸盤類を除く）
ご使用体重：35 ～ 80kg、最大使用荷重：80kg

機器の使用場面

製　品

メーカー名　　株式会社ハイレックスコーポレーション

製品名　　**バスアシスト　01929-000001**

型　番　　RRT613-R（右仕様）、RRT613-L（左仕様）

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 ・適用身長（目安）140 ～ 180cm ・適用体重（目安）35 ～ 80kg ・座位が保てる方 【介護者】機器の操作が理解でき、介護可能な健康状態の方
	専門職の関与	専門職の方は必要ないが、必ず付き添いの方が必要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：全ての浴槽に設置できないので貸出前に設置可能か確認要 ・その他：大浴場への設置はできない
	安全に利用するための配慮	・機器への移乗は必ず介護者が付き添い、ゆっくり移乗して転倒を予防する ・コントローラは手の届く所に設置して緊急時に停止できるようにする
	倫理面の配慮	機器使用の画像撮影などの高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報集・活用等。同意書の取得
使用方法	使用方法	座って移乗する為のシャワーチェア等の準備及び高さ調整、低身長の方は踏み台を準備する ①シャワーチェア等からバスアシトへの移乗 ②足を浴槽内へ移動させる ③レバーの操作にて座面を下降させる ④コントローラの操作にて座面を上昇させる ⑤足を浴槽外へ出す ⑥シャワーチェアへ移乗する 介助者は移乗の補助、機器の操作、見守りを行う
	使用環境	・動作環境:近くにシャワーホースがあり、十分な水圧がある（最低水圧:0.1Mpa、推奨水圧：0.15 ～ 0.3Mpa） ・使用できない環境：シャワー水栓への接続が出来ない、全ての浴槽に設置できないので貸出前に設置可能か確認要
	使用場面	シャワーチェア⇔バスアシスト本体への移乗 浴槽底への出入り
	習熟期間	操作が簡単で、2から3日あれば十分に使いこなせる
	高齢者に対する安全面の配慮	足や手が機器に挟まれる場合があるので使用時に利用者の足や手の位置を介護者は確認する
	介護者に対する安全面の配慮	特になし
効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の緊張緩和による負荷軽減、抱え上げの廃止による皮膚の擦れ低減
	使用することで実現する介護者への効果	介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる
	使用することで実現する施設への効果	労働環境改善、職場の魅力向上

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	浴室
	サイズ	幅 623mm ×奥行 641mm ×高さ 947mm
	重量（バッテリー含む）	本体：約 7.8kg、 操作部：約1kg
	材質	本体 アルミ、ポリプロピレン、座面 ポリエチレン、バックレスト ポリプロピレン、サイドレスト ＥＶＡ樹脂、コントローラー ＡＢＳ樹脂、ステンレス
	形状	浴槽内椅子設置型
	電源・バッテリー	必要なし、シャワーの水圧利用
	連続使用時間	特に設定無し
	連続使用回数	特に設定無し
	使用時の音	水が、本体に流れる音のみ
	緊急発報の方法	無し
	安全性の認証取得	無し
	防水・防塵加工	必要なし
	稼働方式	水圧による上下昇降
	必要な通信環境	無し
	データの記録機能、有無と内容	無し
	他の機器との連携・互換性	無し
メンテナンス	準備・片付け	ハンドルによる機器の着脱、水洗い、乾燥
	保管方法	本体に注入された水を抜いた後、乾燥させる
	メーカーによるメンテナンス	特に必要無し
	ユーザーによるお手入れ	中性洗剤をスポンジにつけ、丸洗い可能
	消耗品の有無	特になし。
	保証期間	1年間
	修理対応期間	生産終了後5年間
	耐用年数	4年間
コスト	本体・付属品の定価	387,200 円（税込）
	設置導入に伴う費用	初期設置工事、機器調整費用：別途相談
	ランニングコスト	約2円 / 1昇降（水道代）
	教育研修費	無し
オプション	追加できる機能	無し
問合せ先	緊急時の問合せ先	0797-85-2551
	デモ・貸出	有り

パンフレット等

製品カタログ　http://www.hi-lex.co.jp

使用方法等の動画　http://www.hi-lex.co.jp/business/house/bath_assist.html

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

E-02 入浴支援

株式会社ミクニライフ&オート

ミクニマイティエースII浴室セット

品番・型番

ACE-MBRW

機器の概要

機器の機能

電動巻き上げ式の介護用リフト。
【主な機能】本体ユニット部分（駆動部）＝ベルト昇降式・アーム部分＝手動旋回式・リモコン＝電波式ワイヤレスリモコン、検知器（センサー）＝吊り上げ時に張力がかかると感知し、作動を停止、非常降下＝停電時等に手動で降ろす事が出来る安全装置です。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

浴室の現場下見をさせていただき、設置に必要な部材を用意します。脱衣所のコンセント（ＡＣ100V）を1箇所お借りします。在来工法の浴室、又はユニットバス・システムバスでも対応が可能です。

試用期間中のサポート

試用開始後（導入時）にスタッフ向けの勉強会を実施。試用期間中、万が一不具合等で作動しなかった場合の代替品対応、吊り具のご相談対応も可能。

貸出期間	1ヶ月～2ヶ月程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社ミクニライフ&オート
〒349-1145　埼玉県加須市間口456−1
TEL 0480-31-8541　MAIL fukushi@mikuni.co.jp
所属部署 ケア事業部　担当者名 岩木、倉林

販売開始

2004 年 4 月

販売価格

615,000 ～円
（本体のみ。オプション品･工事費･吊り具は別途）

機器の仕様

ミクニマイティエースⅡ浴室セット

支柱設置式の入浴用介護リフト（入浴支援ロボット）です。駆動方式は電動垂直昇降式で、巻き上げベルトが上下します。アームは手動で旋回させます。最大吊り荷重は 90kg の設定となり、90kg を超える過負荷がかかると過電流を検知し、安全上の理由で停止します。手動旋回式のアームは、第一アーム＆第二アームの組み合わせで曲げ伸ばしができ、直径約 2,000mm の範囲で旋回します。旋回範囲内では吊り降ろしの位置が自由に設定でき、巻き上げベルトは垂直に 1600mm 昇降するので、掘り下がった浴槽に対しても有効です。リフトが上昇する際、ストラップに張力がかかった段階を感知し、ベルトの巻き上げを制御し、停止する動作を行います。吊り具の掛け忘れが無いか？きちんと掛かっているか？を確認する為に機械的に一時停止をする重要な機構を兼ね備えています。

機器の使用場面

製　品

メーカー名　株式会社ミクニライフ&オート

製品名　**ミクニマイティエースⅡ浴室セット**

型　番　ACE-MBRW

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	【高齢者】自力で立位をとることが困難で、座位をとっての自力移乗も困難な方。2人以上の介護職員から抱え上げや全介助を受けないと入浴が困難な方
	対象者（介護者）	【介護者】一日に何人も、全介助や部分介助が必要な利用者、又は体重の重い利用者の入浴介助動作を行わなければならない介護スタッフの方々で、負担軽減を行いたいと思われている方
禁止事項	禁止事項	【使用出来ない条件】体重が90kg を超える利用者に対しての使用。過負荷、過電流
使用上の注意	注意事項	設置場所に関しては、浴室の構造によって適切な取付方法を検討する事
	安全に利用するための配慮	リモコンスイッチが落下や水没をしないように注意する事。（ストラップ等の取付を推奨、脱衣所での保管）
	倫理面の配慮	利用者を脱衣させたまま使用するので、浴室内という観点から、プライバシーの確保に配慮が必要
使用方法	使用方法	リモコンスイッチで、巻き上げベルトの伸縮は「上」下」の操作。アーム部分は手動で旋回させて、移乗する元の位置から移乗先まで動かす
	使用環境	浴室内・脱衣所等、入り口や浴槽跨ぎに段差のある環境
	使用場面	脱衣所⇔洗い場⇔浴槽間、洗い場⇔浴槽間、脱衣所⇔洗い場間
	高齢者に対する安全面の配慮	身体への圧迫や締め付け等の拘束感、及び転落や落下・転倒による事故等が無く、安全に入浴動作が出来る点
	介護者に対する安全面の配慮	浴室という、滑りやすい環境・特に裸足での介助動作の為に無理な姿勢や不安定な大勢をとっての転倒や腰痛、腱鞘炎等を防ぐ事が出来る点
効果	使用することで実現する高齢者への効果	高齢者の身体機能面と介助者の負担面から、浴槽の中へ入って身体を温める事を諦めてしまい、シャワー浴で対応していた方々が、浴槽へ出入りする事が可能となる。それによって、日常生活の一環となる入浴動作が行えるようになり、新陳代謝による血行の改善や運動効果、身心的にも清潔や生活の活力を保つ事が出来るようにもなる
	使用することで実現する介護者への効果	介護者が、無理な姿勢や力を入れた介助動作をとる事がなく、安全に利用者の入浴動作を支援する事が出来る点
	使用することで実現する施設への効果	・介護職員の人員不足等により、対応が難しかった入浴支援動作も本機器を使う事によって最低限の人員で対応が出来る点。また、利用者と介護者の双方が、安全に入浴及び入浴支援が出来る点から、(主に）職員の身体を守る為の対策をとっている施設という評判につながり、差別化になって人材も確保出来る点
仕様、構造	使用場所・スペース	浴室･脱衣所。スペースに関しての制限は特に無いが､移動をお考えのスペース（A点からB点）の距離が直径で2100mm 程度が好ましい。ユニットバスへの設置も可能
	サイズ	支柱の長さ:2500mm までの寸法で任意。アームの長さは、最長:900mm、最短:700mm の設定につき、移動の距離によって設定が可能
	重量	本体重量：24kg
	材質	アルミ、ステンレス、樹脂、ゴム、その他
	電源	ＡＣ100V
	連続使用時間	規定なし
	連続使用回数	規定なし
	使用時の音	スイッチ操作時に「ピー音」が1回鳴る。作動時には、モーター・ベルト巻き上げ音がする
	緊急発報の方法	リモコンスイッチの電池残量が無くなりかけると、操作時に手元ランプが点滅し、「ピー音」が鳴り続ける。本体部分に過負荷（過電流）がかかると、パイロットランプが点滅する
	防水加工	本体：防水加工、リモコン：防水加工（ＩＰＸ6）

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	安全性の認証取得	・JIS　T　9241準拠（静的強度試験・静的負荷試験・連続運転試験・放射妨害電磁界強度試験） ・JIS　D　0204準拠（高温試験・低温試験・騒音試験 ・JIS　C　0034（耐水試験） ・JIS　Z　0232（振動試験）
	昇降速度	（m／min）上昇：1.9m／下降：3.4m
	稼働方式	本体ユニット部分は、工具なしで取り外して持ち運びが可能
	検知方式	センサーで、安全性を検知（過電流式変位センサ）
	他の機器との連携・互換性	お身体に装着する吊り具部分（分離型シャワーキャリー等）との互換がとれ、種類を変えることが可能
メンテナンス	準備・片付け	使用前にメイン電源（スイッチ）を入れ、使用後には電源を切る
	保管方法	本体は浴室内でそのまま保管が可能。操作用リモコンは、使用後に脱衣所等の湿気の無い場所で保管のこと
	メーカーによるメンテナンス	使用頻度により、1年又は3年に1度の定期点検（メンテナンスパック）を推奨
	ユーザーによるお手入れ	使用後は電源を切っておくこと。乾いた布での拭き掃除程度で大丈夫
	消耗品の有無	関節部・先端部のゴム部品、シャワーキャリーのシート生地部分は消耗品
	保証期間	1年間
	修理対応期間	本製品の生産・販売終了後から約6年
	耐用年数	8年（設計上の標準使用期間として設定）
コスト	本体・付属品の定価	本体：¥615,000（※オプション品は別途）／取付部材：¥45,000～¥85,000／バスキャリー¥205,000（その他種類あり）設置費用及び送料：別途
	ランニングコスト	電気代：約200円／1ヶ月（1時間／1日ご使用×30日間の計算）
	教育研修費	スタッフに対する、本機器の使用方法を含めた勉強会（費用は別途）
オプション	追加できる機能	一時停止機構の設定（検知出来る負荷・体重の設定）
問合せ先	緊急時の問合せ先	㈱ミクニライフ&オート　TEL：0480−31−8541
	よくある質問（Q＆A）	①浴室で使用するが、湿気等大丈夫か？　→　本体は防水仕様になっており、錆びにくい材質を使用している。浴室での使用は問題なし ②浴室内で電気を使用して、心配はないか？　→　交流ＡＣ100Vを直流ＤＣ24Vに変圧しており、浴室で使用しても感電や漏電等の心配はない ③ユニットバスでも設置が出来るか？　→　可能。過去に設置した浴室の半分以上がユニットバスである。施工方法については別途弊社まで問い合わせのこと ④その他

パンフレット等

製品カタログ
取扱説明　https://www.mikuni-la.co.jp

使用方法等の動画　https://youtu.be/k-jTWPQY1Mw

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

コニカミノルタ QOL ソリューションズ株式会社

HitomeQ ケアサポート（ヒトメク ケアサポート）

機器の概要

機器の機能

最先端の AI 搭載型行動分析センサーがご入居者様の行動を解析し、客観的 " アセスメント "、事実に基づく " 計画立案 "、スタッフ間で標準化された " 介護の実施 "、継続的な " 評価 " というデジタル介護過程を実現！ケアが必要なご入居者様に必要なケアを必要なだけ提供することで、スタッフの業務負担軽減や施設経営の安定につながります。
導入時から導入後も、データを活用した継続的な伴走支援が施設運営を安心サポートします。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

絶対条件はありませんが、事前の打合せが必要です。

試用期間中のサポート

設置場所の調査、設置および設置後の動作確認、操作方法の説明ならびに定着・活用支援を行います。
また、試用期間中はご使用状況をモニタリングしサポートします。

貸出期間	要相談
貸出可能台数	5 台

問い合わせ先 コニカミノルタ QOL ソリューションズ株式会社
〒104-0032　東京都中央区八丁堀 3-27-10
TEL 03-6262-1552　MAIL hitomeq-info@konicaminolta.com
所属部署 ソリューション営業部　担当者名

販売開始

2016 年 4 月

販売価格

施設規模による

機器の仕様

HitomeQ ケアサポート（ヒトメク ケアサポート）

介護施設のケア品質向上と業務負担軽減を両立する 3 つのポイント
1)ICT 環境の提供
・最先端の AI 搭載型行動分析センサーが、ご入居者様の居室内の行動を解析
・必要な時だけスマートフォンに通知が来て、様子がわかるプライバシー設計
・スマホ活用でスタッフ間連携が向上
2) デジタル介護過程の実践支援
・ご入居者様の状態や傾向を正しくデータで把握し、ケア計画やケアプランへ反映
・「アセスメント」→「計画立案」→「介護の実施」→「評価」の介護過程全般で活用
・多職種間での意識統一やケアを標準化
3) サクセスサポート
・機器習熟からデータ活用まで、導入～稼働後も施設を伴走支援
・介護初任者研修修了者やスマート介護士資格取得者がサポートするから安心！
・24 時間 365 日、システムの稼働状況を遠隔監視

機器の使用場面

製　品

メーカー名　コニカミノルタ QOL ソリューションズ株式会社

製品名　**HitomeQ ケアサポート（ヒトメク ケアサポート）**

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 認知症の方、転倒リスクのある方
	対象者（介護者）	・介護業務の身体的／精神的負担を軽減したい ・転倒事故の対策をしっかり取りたい、軽減したい ・科学的介護を進めていきたい ・ご利用者様からの呼出に優先順位をつけて対応したい ・ご利用者様へのサービス提供時間を増やしたい ・介護者の満足度を向上させたい
禁止事項	禁止事項	・各機器は本システムで提供される機能利用以外の目的で使用しないこと。また、利用者がソフトウェアの追加、変更などを行うことについては禁止 ・ご入居者様、スタッフ様のプライバシ保護や、ウイルス感染等のセキュリティリスク管理の観点から、管理サーバに対し、USB メモリ、USB ハードディスク、プリンターなどは接続しないこと ・各機器の分解は絶対に行わないこと ・水漏れさせない ・落としたり、強い衝撃を与えたり曲げたりしないこと
使用上の注意	注意事項	・歩行中に、通話やライブ映像閲覧を使用すると、ノイズ、途切れが発生する可能性があります。場合によっては切断されることがある ・行動分析センサーの検出を妨げるような障害物は置かない
	倫理面の配慮	ご入居者様のプライバシーに配慮し、行動分析センサーから通知がなければ様子見はできない
使用方法	使用方法	・携帯端末から専用アプリを起動 ・スタッフ様は個別IDとパスワードにて携帯端末にログイン ・ご入居者様の居室でケアコールが押された時、または居室に設置した行動分析センサーが注意行動を認識した時に携帯端末に映像を通知 ・画面をタップすることで対応 ・携帯端末を使い居室ースタッフ様、スタッフ様同士の会話
	使用環境	ケアコールの通知を受けなければならない場所をカバーするＷｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・業務の負担軽減を図りたい ・転倒事故を減らしたい ・ケア品質の向上を図りたい ・エビデンスに沿ったケアを実施したい
	高齢者に対する安全面の配慮	ケアコールスイッチはワイヤレスとなっており紛失に注意
	介護者に対する安全面の配慮	なし
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・映像に基づいた転倒対策 ・ご入居者様の行動に合わせた訪室対応 ・ご入居者様の睡眠状態を把握し安眠を妨げない夜間巡視 ・ご入居者様に最適なケアの提供
	使用することで実現する介護者への効果	・介護業務の身体的・精神的負担の軽減 ・ご利用者様からの呼出に優先順位をつけた対応 ・ご利用者様へのサービス提供時間を増加 ・介護者の満足度向上
	使用することで実現する施設への効果	・介護業務の生産性が向上しご入居者様と触れ合う時間が増える ・職場環境が活性化する ・離職率低下、入職率向上
仕様、構造	使用場所	介護施設・高齢者施設（居室内、トイレ、脱衣所、浴室）※居室以外はケアコールのみ
	設置場所	天井（行動分析センサー）、居室・トイレ等壁面（ケアコール）
	サイズ	行動分析センサー：W198mm x D220mm x H65mm（箱型）、ケアコールスイッチ：W36mm x D16mm x H98mm
	重量	行動分析センサー：845g、ケアコールスイッチ：40g
	電源	行動分析センサー：PoE給電、ケアコールスイッチ：ボタン電池
	通知方法	携帯端末：音、振動、アイコンによるお知らせ クライアントPC：画面表示によるお知らせ

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	安全性の認証取得	無線モジュールは技術基準適合認証取得
	防水・防塵加工	ケアコール（防水タイプ）あり
	検知方式	弊社開発の画像解析による
	反応速度（タイムラグ）	即時通知（ネットワークによる）
	最大設置床数	200床
	必要な通信環境	インターネット環境、Ｗｉ－Ｆｉ環境　※Ｗｉ－Ｆｉ不要プラン（LTE対応）あり 対象機器にはLANケーブルにて接続
	必要なシステム・設備	・ハードウェア 行動分析センサー、ケアコールスイッチ、一時停止スイッチ、スマートフォン ・ソフトウェア ケア通知（携帯端末アプリ）、ケアモニター（ＰＣWebアプリ）、ケアルーペ（データ可視化用ＰＣWebアプリ） ※ネットワーク構築機器除く
	データの記録機能、有無と内容	・通知の履歴 通知日時、通知種（起床／離床／転倒･転落／ケアコール／連携センサー等）、場所（居室名、トイレ）、入居者名、対応スタッフ名 ・生活リズム（睡眠／覚醒／ベッド外／居室外） ・ご入居者様行動起点の記録映像 ・指標化されたご入居者様情報 ・介護記録 サービス実施記録、介護記録、フローチャート
	他の機器との連携・互換性	介護記録ソフト連携
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	電話、メール、専用コミュニティサイトからの受付 システム稼働状況は、リモートによる常時監視。 システムにメンテナンスが必要と判断した場合は、リモートあるいは訪問によるメンテナンスを実施
	ユーザーによるお手入れ	携帯端末の充電
	消耗品の有無	あり（ケアコール用電池）
	保証期間	契約形態による
	修理対応期間	契約形態による
	耐用年数	契約形態による
コスト	本体・付属品の定価	契約形態による
	ランニングコスト	契約形態による
	教育研修費	契約形態による
オプション	追加できる機能	・各種介護記録ソフトやセンサーマットなどと連携可能。※対応メーカーについてはお問い合わせのこと ・介護記録ソフトやデータ活用メニューなど様々オプションサービスございますので、お気軽に相談のこと
問合せ先	緊急時の問合せ先	24時間365日サポートセンター
	よくある質問（Q&A）	Q. 居室毎の通知設定はできるか? A. 可能。入居者様に応じて各通知のオン／オフ設定が可能

パンフレット等

製品カタログ　https://qol.konicaminolta.jp/hitomeq/top/2307

取扱説明書　https://qol.konicaminolta.jp/hitomeq/movielibrary/2307

使用方法等の動画　https://qol.konicaminolta.jp/hitomeq/youtube/2307

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

NEC プラットフォームズ株式会社

NEC サニタリー利用記録システム

品番・型番
NWA-A10508-F0W-01
他

機器の概要

機器の機能

トイレ利用者の排泄状況および排泄情報が自動記録されるとともに、スマートフォンにリアルタイムに通知されます。また、過去の統計情報を日／週／月単位で確認できます。オプションの個人識別センサを利用することにより、複数の利用者を自動で識別し、利用者ごとに排泄情報を管理できます。対応する介護記録ソフトと記録データを連携し、介護記録ソフト上で排泄記録を見ることができるオプションサービスがあります。

機器の写真

機器の貸出

必須環境・推奨環境

・インターネットにアクセスできるＷｉ－Ｆｉ環境
・スマートフォン／タブレット端末（Android,iPhone,iPad 対応）
・トイレ設備（既存トイレ）および電源（ＡＣ 100V）
・プリンタ（排泄記録の印刷をする場合）

試用期間中のサポート

ヘルプセンター（月～金：9:00～12:00、13:00～17:00）によるメールでのサポート
弊社による設置、使用方法の説明を致します。

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	1-2 台程度（要相談）

問い合わせ先　NEC プラットフォームズ株式会社
所属部署　オプティカルネットワークプロダクツ事業部
Web　https://www.necplatforms.co.jp/solution/sanitary/
MAIL　support_sanitary@necpf.jp.nec.com

販売開始

2021/12/1

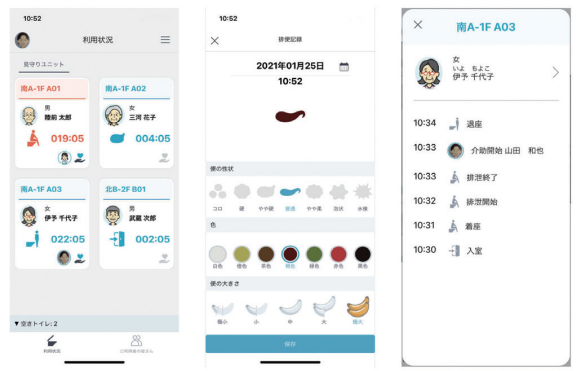
販売価格

構成により価格が異なるためご相談ください。

機器の仕様

NEC サニタリー利用記録システム

サイズ：[排泄検知ユニット]　76mm × 32mm × 30mm
　　[制御ボックス]　210mm × 50mm × 245mm
　　[個人識別センサ]　50mm × 51mm × 179mm
防水性能：ＩＰＸ５（排泄検知ユニット）
ネットワーク：無線ＬＡＮ　ＩＥＥＥ 802.11 b/g/n（2.4GHz）
動作環境：0 ～ 40℃、10 ～ 90%（結露しないこと）
排泄情報：[排尿] 時間（5 段階）、色（9 段階）
　　[排便] 性状（7 段階）、量（5 段階）、色（7 段階）
　　ブリストルスケールやＰ〇〇マスター「おまかせうんチッチ」に準拠
通知情報：入室、着座、排泄開始、排泄終了、退座、退室
◆ほとんどの便器にそのまま設置できます。また、簡単に清掃ができます。
◆センサデータは機器に保存せずに即時廃棄しますので、プライバシーに配慮しています。
◆取り外し簡単なので、個人トイレ間の移設も職員自ら行うことができます。



機器の使用場面

製　品

メーカー名　NEC プラットフォームズ株式会社

製品名　**NEC サニタリー利用記録システム**

型　番　NWA-A10508-F0W-01 他

製品情報

	項 目	内 容
適用	対象者（高齢者）	・介助付き有無問わず座位でトイレ利用される方、とくにトイレでの排泄状況の把握がし辛い方や、トイレでの排泄前後に介助が必要とするがそれを伝えられない方
	対象者（介護者）	・高齢者の尊厳を配慮したトイレ見守りをしたい方、トイレ介助の負担を軽減したい方、排泄情報を自動的に記録したい方など
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：トイレ以外の場所、和式便器、特殊な形状の便器 ・その他：分解、改造、オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜くこと ・タコ足配線は行わない ・清掃時はコンセントから電源プラグを抜くこと
	安全に利用するための配慮	・制御ボックスや個人識別センサには水などの液体をかけない。水などが直接かかる場所や湿気の多い場所で使用しない
	倫理面の配慮	・利用者本人、家族、介護者から同意書を取得する ・センサー情報は保存せず、即時廃棄し、プライバシーに配慮している ・サービス利用解約後、サーバの個人情報を廃棄する
使用方法	使用方法	利用者はこれまでどおりトイレを利用するだけとなる。 施設職員はスマートフォンにアプリを入れて利用者登録等を行うことで利用する
	使用環境	・気温 0℃～ 40℃ ・湿度 10% ～ 90%（但し、結露しないこと） ・センサーレンズ、カメラを覆い隠さない事 ・入室時に顔が捉えられる位置へ個人識別センサを設置 ・便器を利用 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境
	使用場面	・離れた場所から利用者のトイレの利用状況を把握したいとき ・適切なタイミングで利用者のトイレ介助を行いたいとき ・利用者へヒアリングすることなく排泄状況を把握したいとき ・排泄情報を自動的に記録したいとき
	高齢者に対する安全面の配慮	・制御ボックスやケーブルは足元が引っかからない位置に配置する ・ケーブル類はケーブルモール等で固定する
	介護者に対する安全面の配慮	・制御ボックスやケーブルは足元が引っかからない位置に配置する ・ケーブル類はケーブルモール等で固定する
効果	使用することで実現する高齢者への効果	尊厳の確保、ＱＯＬ向上、自立支援向上
	使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、高齢者の排泄状況の把握
	使用することで実現する施設への効果	作業時間の削減、確認者の主観を排除した排泄情報の自動記録
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	Ｗｉ－Ｆｉ通信（2.4GHz）が届くトイレ
	設置場所	[排泄検知ユニット]　便器 [制御ボックス]　便器付近の床 [個人識別センサ]　トイレ内の壁（共用トイレの場合）
	設置方法	[排泄検知ユニット]　専用固定金具で便器へ取付け [制御ボックス]　床置き [個人識別センサ]　壁取付け（共用トイレの場合）
	サイズ	[排泄検知ユニット]　76mm × 32mm × 30mm [制御ボックス]　210mm × 50mm × 245mm [個人識別センサ]　50mm × 51mm × 179mm
	重量（バッテリー含む）	1.2kg（ＡＣアダプタ含む）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ＡＣ 100V

製品情報

	項 目	内 容
仕様、構造	使用時の音	状況に応じて制御ボックスからブザー音やスマホから通知音、音声読み上げあり
	緊急発報の方法	スマホにアラート通知が発せらる
	安全性の認証取得	・ＡＣアダプタは「特定電気用品」用の認証（◇ＰＳＥマーク）取得 ・かわさき基準（ＫＩＳ）認証 ・内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	防水性能：ＩＰＸ５（排泄検知ユニット）
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで入退室検知、画像解析で個人識別 ・センサーで着座、退座検知、画像解析で排泄物識別
	検知範囲	・共用トイレの場合は、2.4m x 2.4m 以内のトイレ空間であること
	最大見守り人数	・共用トイレの場合、１つのトイレ空間内に利用者１人まで（介護者を含めて３人まで）
	必要な通信環境	・Ｗｉ－Ｆｉ環境（2.4GHz）およびインターネット環境
	必要なシステム・設備	・専用アプリをインストールしたスマートフォン、タブレット等 ・プリンタ（排泄記録の印刷をする場合）
	データの記録機能、有無と内容	・排泄情報 ［排尿］時間（5 段階）、色（9 段階） ［排便］性状（7 段階）、大きさ（5 段階）、色（7 段階） ブリストルスケールやＰ〇〇マスター「おまかせうんチッチ」に準拠 ・時刻情報 入室日時、着座日時、排泄開始日時、排泄終了日時、退座日時、退室日時
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・リモートから制御ボックスのソフトウェアバージョンアップ ・不具合の場合、電話、メールにて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・排泄検知ユニットの清掃 ・制御ボックスの清掃 ・個人識別センサの清掃
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	１年間（最長４年間までの延長保証サービスあり）
	耐用年数	約５年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	ランニングコスト	オープン価格
オプション	追加できる機能	・介護記録ソフトとの連携
問合せ先	緊急時の問合せ先	support_sanitary@necpf.jp.nec.com

パンフレット等

製品カタログ　https://www.necplatforms.co.jp/solution/sanitary/

使用方法等の動画　https://youtu.be/qfd0Huw5-zA

製品に関する具体的な詳細については各企業にお問合せ下さい。

介護ロボットの試用貸出リスト

厚生労働省　老健局高齢者支援課
〒 100-8916　東京都千代田区霞が関 1-2-2
電話：03-5253-1111（代表）

事業委託先：公益財団法人テクノエイド協会
〒 162-0823　東京都新宿区神楽河岸 1 番 1 号セントラルプラザ 4 階
電話：03-3266-6880

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業	公益財団法人　北海道科学技術総合振興センター	新製品・新技術開発（既製品の改良を含む）に関する取組の費用について支援 ※介護ロボット等に限らない	下記の要件を全て満たす中小企業者、組合等。 （1）「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村の区域内に本社を有する企業 ※「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村は以下のとおり。 札幌市と連携市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町） （2）設立後１年以上経過し、事業を継続して実施する見通しがあること など	補助対象経費の2/3を補助	2023年4月5日～5月18日	採択件数：7件 総額（予定）：43,000,000円 【実績】 採択件数：8件 総額：42,990,000円 ※介護ロボット等の開発案件はなし	採択件数：2件 総額：10,000,000円	部署	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター　ビジネスソリューション支援部
									担当者	
									電話番号	011-792-6119
									FAX番号	011-747-1911
									E-mail	hcluster@noastec.jp
									HP_URL	https://www.noastec.jp/
2	小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業	一般財団法人さっぽろ産業振興財団	開発の前段階の取組（試験、試作、調査等）、新製品・新技術開発の取組、開発の後段階の取組（販路開拓・拡大）に関する費用について支援 ※介護ロボット等に限らない	下記の要件をすべて満たす小規模企業。 （1）「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村の区域内に本社を有する企業 ※「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村は以下のとおり。 札幌市と連携市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町） （2）設立後１年以上経過し、事業を継続して実施する見通しがあること など	本補助金はものづくり分野への補助金であり、その中で介護ロボットに類する案件については加点となるスキーム。 補助対象経費の2/3を補助。	2023年5月8日～6月14日	採択件数：10件 総額（予定）：19,300,000円 【実績】 ※介護ロボット等の開発案件はなし	※介護ロボット等の開発案件はなし	部署	一般財団法人さっぽろ産業振興財団　食・ものづくり産業振興部ものづくり産業振興課
									担当者	
									電話番号	011-817-7890
									FAX番号	011-815-9321
									E-mail	ken-sato@sec.or.jp
									HP_URL	https://sec.or.jp/hanro-kakudai/subsidy/small-business/

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
3	医療機関ニーズ対応型開発補助金	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	医療機関等の現場における新たなニーズ及び現場における課題解決を目的とした研究開発・事業化を促進	①札幌市内に本社を有する企業 ②札幌市外に本社を有する企業で札幌市内に事業・営業拠点を有する企業	取組に直接必要となる経費 例）原材料・消耗品費、機器リース料、機器購入費、施設及び設備等賃借料、産業財産権等出願費、外注費等 ①補助率10/10 ②補助率1/2	2023年4月4日～6月30日	採択件数：5件 総額：5,000,000円	採択件数：3件 総額： 2,367,281円	部署	研究開発支援部
									担当者	
									電話番号	011-708-6392
									FAX番号	011-747-1911
									E-mail	
									HP_URL	http://www.noastec.jp
4	デジタルヘルス事業化支援補助金	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	ヘルスケア・医療・バイオ分野において、人工知能（AI）、画像解析、ロボット技術、IoT、ウェアラブルデバイス、ビッグデータ解析、仮想現実（VR）、5G通信等のデジタル技術を活用して行う技術・製品開発について支援	①札幌市内に本社を有する企業 ②札幌市内に本社を有する大企業、または札幌市内に事業・営業活動の拠点を有する市外本社企業 ※なお、札幌市内にプログラミング、研究開発、試作、製造等を行う体制・人員を有すること（通常の営業拠点のみである場合は、原則として不可）	取組に直接必要となる経費 例）共同研究費、原材料・消耗品費、人件費、外注費、産業財産権等出願費等 ①補助率2/3 ②補助率1/2	2023年4月4日～6月30日	採択件数：2件 総額：5,000,000円	無し ※R5からの補助金	部署	研究開発支援部
									担当者	
									電話番号	011-708-6392
									FAX番号	011-747-1911
									E-mail	
									HP_URL	http://www.noastec.jp

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	令和５年度青森県医福工連携製品開発事業費補助金	青森県	次のいずれかの事業。 (1)医療・介護関連機器等の商品・試作品開発に向けた基礎的な調査。 (2)自社で開発・製造した商品・試作品の顧客ニーズ評価及び顧客ニーズに基づく。	県内に事業所を有する中小企業者等で、医療機関・介護福祉施設・大学・研究所等の専門機関と連携して補助事業を行う者	・補助対象経費の２分の１に相当する額又は1,000,000円のいずれか低い額以内の額	一次公募：令和５年９月12日～29日 二次公募：令和５年10月30日～11月20日	一次公募採択済件数：２件 二次公募：１～２件程度	採択件数：２件 総額：2,000,000円	部署	新産業創造課
									担当者	
									電話番号	017-734-9420
									FAX番号	-
									E-mail	sozoka@pref.aomori.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/sozoka/koubo_ifukukouhojyokin_r5-2.html
2	八戸市中小企業振興条例新事業活動に対する助成	八戸市	新商品の開発または生産、新役務の開発または提供、商品の新たな生産または販売の方式の導入、役務の新たな提供の方式の導入等に対する助成	市内に主たる事業所のある中小企業者	・先駆的または革新的な取り組みであり、市内の中小企業者等への波及効果が見込まれる事業であること。 ・補助率1／2 ・上限200万円（経営革新計画認定事業及び事業承継を契機に実施する事業は300万円）	6月30日～8月5日、9月8日～10月13日に実施	採択件数：未定	採択件数：１件（介護ロボット関連の採択は無し）	部署	商工課
									担当者	
									電話番号	0178-43-9242
									FAX番号	0178-43-2146
									E-mail	shoko@city.hachinohe.aomori.jp
									HP_URL	https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/shokoka/zigyosya_sogyosyashien/3/5098.html
3	イノベーティブ産業集積促進事業補助金	八戸市	成長ものづくり分野である自動車、航空宇宙、医療福祉に取り組む事業に対し、拠点開設や展示会出展、試作開発等に係る費用を補助	八戸圏域連携中枢都市圏内（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の企業（大企業・中小企業不問）	【試作開発事業について】 ・対象経費・・・原材料費、技術導入費、外注加工費、委託費、その他必要な経費 ・補助率1／2 ・上限200万円	2023年12月28日まで	採択件数：未定	採択件数：0件	部署	産業労政課
									担当者	
									電話番号	0178-43-9048
									FAX番号	0178-43-2146
									E-mail	sangyo@city.hachinohe.aomori.jp
									HP_URL	https://www.city.hachinohe.aomori.jp/jigyoshamuke/yuchi_sogyo_zigyosyashien/kigyoyuchi/8052.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
4	研究開発資金助成事業	公益財団法人八戸地域高度技術振興センター	高度技術の開発、高度技術を利用した新製品の開発又は製品の高付加価値化等に対する助成	八戸地域高度技術産業都市地域（八戸市、十和田市、三沢市、おいらせ町、六戸町、東北町、五戸町、階上町、南部町）内の事業者（個人事業主も可）	対象経費：研究開発に要する原材料及び副資材購入費等 ・補助率1／2 ・上限100万円	2023年５月８日～６月23日	採択件数：０件	採択件数：２件（介護ロボット関連の採択は無し）	部署	(公財)八戸地域高度技術振興センター
									担当者	
									電話番号	0178-21-2131
									FAX番号	0178-21-2119
									E-mail	hc21@hachinohe-ip.co.jp
									HP_URL	http://www.hachinohe-ip.co.jp/index2.htm
5	産学官共同研究開発支援事業（八戸市委託事業）	㈱八戸インテリジェントプラザ	産学官連携による新製品や新技術の開発当に取り組む企業に対する補助	八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）内の事業者	対象経費：研究開発のために要する、設備機器購入費、原材料購入費、技術指導料等 【パイロット事業枠】 ・補助率10／10 ・上限25万円 【成果育成枠】 ・補助率１／２ ・上限200万円	2023年7月31日まで	採択件数：１件（介護ロボット関連の採択は無し）	採択件数：２件（介護ロボット関連の採択は無し）	部署	㈱八戸インテリジェントプラザ
									担当者	
									電話番号	0178-21-2111
									FAX番号	0178-21-2119
									E-mail	
									HP_URL	http://www.hachinohe-ip.co.jp

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	ヘルステック等製品化促進事業費補助金	岩手県	県内ものづくり中小企業が、今後成長が期待されるヘルステック等分野の製品開発や事業化に取り組む場合に要する経費を一部補助	岩手県内に生産拠点又は開発拠点を有する岩手県内ものづくり中小企業	【補助対象事業】 医療、介護、福祉等の人の健康に係る課題を解決する機械器具、ソフトウェア及びそれらを使用したサービスの製品開発又は事業化 【対象経費】直接人件費、謝金、旅費、事務経費、委託費、使用料･手数料、外注費、原材料費、機械器具費、負担金、ソフトウェア開発費、認証等取得費、知的財産権経費 【補助率、上限】 補助対象経費の1/2以内で、上限150万円	第一次公募：令和5年7月13日から令和5年8月25日まで 第二次公募：令和5年9月20日から令和5年10月13日まで	採択件数：７件	-	部署	商工労働観光部　ものづくり自動車産業振興室
									担当者	
									電話番号	019-629-5553
									FAX番号	019-629-5569
									E-mail	AB0005@pref.iwate.jp
									HP_URL	https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/monozukuri/iryoukiki/1066394.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　宮城県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	ウェルビーイングビジネス開発委託事業【募集終了】	公益財団法人仙台市産業振興事業団	「健康福祉」のほか、「よく・生きる」という意味を持つ「Well-being（ウェルビーイング）」分野に存在する諸課題を解決し、仙台・宮城のさらなる産業発展に資するサービスや製品のビジネス化をサポートする。	健康福祉分野において、仙台フィンランド健康福祉センターの機能を活用してビジネス開発を行う法人および個人のうち、要領記載の要件を満たすもの	開発に必要な試作費、人件費等	2023年3月23日～5月9日（募集終了）	採択件数（予定）：4件 総額（予定）：10,000,000円	採択件数：6件 総額：10,000,000円 ※R4年度は「健康福祉サービス・機器ビジネス開発委託事業」として実施	部署	FWBC推進室
									担当者	
									電話番号	022-303-2666
									FAX番号	022-303-2667
									E-mail	rdunit@sendai.fwbc.jp
									HP_URL	https://sendai.fwbc.jp/
2	CareTech効果実証サポート補助金事業【募集終了】	公益財団法人仙台市産業振興事業団	製品・サービスについて実証試験フィールドを提供し、効果検証によるブラッシュアップを後押しするとともに ICT利活用を促進する。	・仙台市内に事業所、または開発拠点を有する中小企業 ・仙台市に事業所開設の予定がある中小企業 ・仙台市の中小企業と連携し補助事業を行う中小企業 ・仙台市内の介護事業所が抱える課題解決に資すること	介護現場が抱える課題の解決を目的とした、自社で開発・製造した既存のICT機器・サービス、または開発中あるいは機能を拡充中のICT機器・サービスを用いた実証試験を行うこと 補助率10/10	2023年4月11日～10月24日（募集終了）	採択件数（予定）：3件 総額（予定）：600,000円	採択件数：0件 総額：0円	部署	FWBC推進室
									担当者	
									電話番号	022-303-2666
									FAX番号	022-303-2667
									E-mail	rdunit@sendai.fwbc.jp
									HP_URL	https://sendai.fwbc.jp/
3	ニーズリサーチ委託事業【募集終了】	公益財団法人仙台市産業振興事業団	介護現場ニーズ深堀調査～ソリューションビジネス企画～試作のプロセスをサポートすることにより、ニーズ志向かつ競争力の高い製品開発を後押しする。また、開発委託事業への質の高い案件応募を促す。	・仙台圏内に事業所、または開発拠点を有する中小企業 ・仙台圏内での事業所開設または事業進出の予定がある中小企業	健康福祉分野及び介護福祉現場における諸課題の解決を目的とした、自社で開発あるいは改良を検討中のICT機器・サービスについて、ニーズ深堀調査及びマーケティング調査、分析等を踏まえ、開発または改良に向けた仕様設計をまとめること	2023年4月11日～10月24日（募集終了）	採択件数（予定）：3件 総額（予定）：900,000円	採択件数：3件 総額：900,000円	部署	FWBC推進室
									担当者	
									電話番号	022-303-2666
									FAX番号	022-303-2667
									E-mail	rdunit@sendai.fwbc.jp
									HP_URL	https://sendai.fwbc.jp/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	ヘルスケア・医療機器等開発支援事業（開発型）	秋田県	現場ニーズに対応した医療・福祉・ヘルスケア関連機器等の開発に関する費用について支援	秋田県内に企業活動の拠点（開発拠点、生産拠点等）を有する中小企業者又はコンソーシアム。	【補助対象事業】 医療・福祉・ヘルスケア関連機器等の開発 【対象経費】 直接人件費、謝金、旅費、原材料費、機械器具費、共同研究費、外注委託費、認証取得関連費等 【補助率、上限】 補助対象経費の1/2以内で、上限150万円	令和5年4月14日～11月30日	採択件数（予定）：5件 総額（予定）：7,500,000円	採択件数：5件 総額：7,196,000円	部署	地域産業振興課　医療福祉産業チーム
									担当者	
									電話番号	018-860-2246
									FAX番号	018-860-3887
									E-mail	induprom@pref.akita.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/14149

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　山形県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	令和５年度やまがた産業技術振興基金による助成金交付事業（研究開発支援事業）	公益財団法人山形県産業技術振興機構	新たな技術等の開発や地域の資源等を活用した新製品開発など、新規事業の創成や新事業展開のための研究開発に取り組む事業 ※介護ロボット等に限らない	山形県内に主たる事務所、事業所を有する中小企業者	①補助率 補助対象経費の1/2以内 ②補助上限額 400万円	2023年６月12日～６月16日	採択件数： 20件程度	採択件数： 20件	部署	振興部プロジェクト推進課
									担当者	
									電話番号	023-647-3163
									FAX番号	023-647-3139
									E-mail	
									HP_URL	http://www.ypoint.jp/
2	令和５年度山形県医療機器等開発促進事業費補助金交付事業	公益財団法人山形県産業技術振興機構	医療現場のニーズに基づいて、大学・医療機関等との連携により医療機器等の開発に取り組む事業 ※介護ロボットに限らない	①山形県内に事業所（本社又は生産若しくは製造に関する事業所に限る）を有すること ②製造業又は情報サービス業に属する事業を主たる事業として営む者であること	①補助率　補助対象経費の2/3（大企業及びみなし大企業にあっては1/2） ②補助上限額　100万円	2023年５月15日～６月２日	採択件数： ３件程度	採択件数： ３件	部署	振興部
									担当者	
									電話番号	023-647-3163
									FAX番号	023-647-3139
									E-mail	
									HP_URL	http://www.ypoint.jp/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	地域復興実用化開発等促進事業	福島県	福島イノベーション・コースト構想の重点分野(廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙)について、地元企業及び地元企業との連携による地域振興のための実用化開発等に要する経費の一部を補助	・地元企業等：福島県浜通り地域等に本社、試験・評価センター、研究開発拠点、生産拠点等が所在する企業、国立研究開発法人である研究所、大学もしくは国立高等専門学校機構又は農業協同組合その他の法人格を有する団体等 ・地元企業等と連携して実施する企業(全国の企業が対象)	中小企業：【補助率】2/3（※3/4） 【上限額】7億円 大企業：【補助率】1/3（※1/2） 【上限額】7億円 ※連携協定書等に基づいて福島県浜通り地域の自治体と連携して事業を実施する企業等については()内の補助率を適用する。	【継続提案】2023年2月13日(月)～3月2日(木) (応募受付終了) 【新規提案】2023年2月13日(月)～4月7日(金) (応募受付終了) 追加公募　実施なし	採択件数： 50件 総額（予定）： 5,020,000,000円	採択件数： 60件 総額： 5,645,378,000円	部署	商工労働部　産業振興課
									担当者	
									電話番号	024-521-7283
									FAX番号	024-521-8886
									E-mail	business@pref.fukushima.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/jitsuyoka/
2	ロボット関連産業基盤強化事業	福島県	ロボットへの実装につながる可能性のある要素技術の研究開発又はロボット本体の開発について、対象経費の一部を補助	福島県内に本社、試験・評価センター又は研究開発拠点、研究成果を用いた生産拠点のいずれかが所在する企業	中小企業：補助対象経費上限額1000万円の3/4（最大750万円）を補助 大企業：補助対象経費上限額1000万円の2/3（最大666.6万円）を補助	公募2023年3月9日～4月26日（応募受付終了）	採択件数：13件 総額95,240千円 （応募受付終了）	採択件数：13件 総額：95,811千円	部署	商工労働部次世代産業課
									担当者	
									電話番号	024-521-8568
									FAX番号	024-521-7932
									E-mail	next-generation@pref.fukushima.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021f/r5robotkiban.html
3	福島市医療福祉機器等産業創出支援事業	福島市	市内の中小企業者が医療福祉機器等関連産業分野における機器の製品化や企業の技術の高度化を図るため、医療福祉機器に係る製品開発等を行い、本市経済の活性化及び発展に寄与すると判断される場合、その開発事業に要する経費の一部を補助する。	中小企業基本法に規定する製造業者及び製造に関する業務を営むもので、福島市内に主たる事業所又は工場を有し、かつ、原則として事業による市税を納入している企業者	補助対象経費の2/3（千円未満切捨て）以内で上限300万円 ■補助対象経費 市場調査費、デザイン開発費、原材料及び副資材費、機械装置及び工具器具、外注加工費、技術指導費、産業財産権取得費、販路開拓費 ※人件費（従業員給与等）、間接経費（振込手数料、運送料、交通費、通信費、光熱費、収入印紙代等）は対象外	令和5年4月3日～５月10日	採択件数：4件 総額：12,000,000円	採択件数：4件 総額：17,858,000円	部署	商工観光部　産業雇用政策課　産業政策係
									担当者	
									電話番号	024-515-7746
									FAX番号	024-535-1401
									E-mail	sangyou@mail.city.fukushima.jp
									HP_URL	https://www.city.fukushima.fukushima.jp/sangyou-seisaku/shigoto/sangyo/sangyoshinko/15032601.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
4	イノベ重点分野実証実験支援事業助成金	南相馬市	イノベ重点分野（※）の実証実験を南相馬市内で行う場合、その経費を助成します。 ※イノベ重点分野とは、「廃炉」、「ロボット・ドローン」、「エネルギー・環境・リサイクル」、「農林水産業」、「医療関係」、「航空宇宙」の6分野。ただし、当助成金では「農林水産業」は対象外です。	市外の事業者、大学、研究機関、団体等	助成率1/2　限度額 60万円/年度 　なお、市と協定締結していベンチャーキャピタル等から投資、融資を受けている場合は、助成率3/4　限度額 200万円/年度に助成率、限度額がアップします。 　※限度額になるまで、何度でも申請可能です。	随時受付	採択件数： 18件 総額（予定）： 10,000,000円	採択件数： 9件 総額： 5,268,000円	部署	商工観光部商工労政課
									担当者	
									電話番号	0244-24-5326
									FAX番号	0244-23-7420
									E-mail	robotsuishin@city.minamisoma.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/business/robot_drone/2/20143.html
5	基盤技術産業高度化支援事業補助金	南相馬市	製造業者等の先端技能育成と連携強化を図るため、試作品等開発の取組に対し、補助金を交付する。	・市内で日本標準産業分類項目表に掲げる製造業を営む方 ・市内で福島イノベーション・コースト構想の重点分野（以下、本項において「イノベ重点分野」といいます。）のうち農林水産業を除いた事業を営む方	試作品等開発事業に要する費用のうち、 ・補助対象経費の2分の1以内（250万円を上限とする） ・福島県地域復興実用化開発等促進事業費補助金で採択された事業者の場合は補助残額の2分の1以内（500万円を上限とする） ・イノベ重点分野（農林水産業を除く）の事業者であって、福島県地域復興実用化開発等促進事業費補助金で試作品等開発に係る補助を受けるため外部審査を受け採択された事業者のうち、市長が特に優良と認める事業者の場合は補助残額の3分の2以内（1000万円を上限とする） ※ 補助金の申請は1民間事業者1回限りです。	随時受付	採択件数： 18件 総額（予定）： 81,000,000円	採択件数： 9件 総額： 42,027,000円	部署	商工観光部商工労政課
									担当者	
									電話番号	0244-24-5335
									FAX番号	0244-23-7420
									E-mail	syokorosei@city.minamisoma.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/sections/16/1620/16202/7/1036.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
6	南相馬市創業者支援事業助成金	南相馬市	先進的な技術、設計・デザイン、アイデアの活用及び隠れた価値の発掘を行う新たなビジネスにより、需要及び雇用を創出する事業を行い、かつ、南相馬市内で新たに創業する者に対し、創業しやすい環境づくりを行い、創業に必要な資金を助成します。	助成金を申請する年度内に南相馬市内で新たに創業を行う方であって、株式会社ゆめサポート南相馬から事業に係る指導、調整等を受けた方。 （個人の場合は、市内に住所を有する方に限る） 「新たに創業を行う」とは、以下のいずれかの場合をいいます。 （1）事業を営んでいない者であって、市内で個人開業又は会社の設立を行い、その代表となる場合 （2）市外で事業を営んでおり、新たに南相馬市内に事業所を設置する場合	補助対象となる経費 ①法人設立経費 ②事務所賃借料 ③住居賃借料 ④事務所改装費 ⑤雇用者賃金 ⑥研究開発費 ⑦販路開拓費 ⑧利子補給金 ⑨クラウドファンディング手数料 上記のほか、事業を実施するために必要とされる経費 補助率・補助上限度額 ①助成率　２／３以内※ ②助成限度額　５００万円※ ※ 旧避難指示区域内での創業又は市と協定を締結しているベンチャーキャピタル等から資金調達を受けている者の場合は助成率３／４以内、助成限度額６００万円となります。	R5年度は公募終了。	採択件数：3件 総額（予定）： 16,000,000円	採択件数：3件 総額： 16,000,000円	部署	商工観光部商工労政課
									担当者	
									電話番号	0244-24-5335
									FAX番号	0244-23-7420
									E-mail	syokorosei@city.minamisoma.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/sections/16/1620/16202/7/14989.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　茨城県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	工業振興支援事業補助金 ※介護ロボット等に限定した助成ではありません	水戸市	新製品及び新技術の開発に係る経費を補助	水戸市内に事業所を有し、製造業又は情報通信業を主な事業として営むもの ※上記のものが、介護機器の新製品及び新技術の開発を行う際は対象になる可能性があります	補助対象経費の３分の１又は1,000,000円のいずれか低い金額 （対象経費） ・原材料の購入又は機械若しくは工具の購入若しくは賃借に係る経費 ・機械又は工具の試作又は改良に係る経費 ・外部の者に行わせる加工に係る経費 ・技術指導の受け入れに係る経費	2023年4月1日～2024年3月31日	採択件数：８件 総額： 4,745,250円 ※予算残額：0円 ※内、介護ロボット等は無し	採択件数：５件 総額： 4,978,450円 ※内、介護ロボット等は無し	部署	産業経済部商工課
									担当者	
									電話番号	090-232-9135
									FAX番号	090-232-9232
									E-mail	commerce@city.mito.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.mito.lg.jp/page/2904.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業 ２．戦略産業等分野 ②技術高度化助成事業	公益財団法人栃木県産業振興センター	中小企業者等が行う戦略３産業（医療福祉機器産業等）、食品関連産業又は 未来３技術（AI・IoT・ロボット技術等）に係る技術の高度化や新技術 ・新製品 ・新役務 の開発に要する経費への助成。	とちぎ医療福祉機器産業振興協議会等、とちぎ未来技術フォーラム又はフードバレーとちぎ推進協議会のいずれかの会員である中小企業者	【対象経費】謝金、旅費、研究開発事業費(原材料費、機械装置又は工具器具の 借用 ・ 購入 ・ 試作 ・ 改良 ・ 据付け ・ 修繕に要する経費、 他者が所有する産業財産権の導入に要する経費、外注加工費、検査分析費)、事業運営費（会場借料、印刷製本費、資料購入費、通信運搬費、借料又は損料、調査研究費、消耗品費）、委託費、その他の経費 【限度額】300万円以内 【助成率】 ２／３ 以内	（第１次） 2023年8月9日～９月７日 （第２次） 2023年10月30日～11月22日	非公開	【交付決定】 2件6,000,000円	部署	産業振興部 戦略産業振興チーム
									担当者	
									電話番号	028-670-2601
									FAX番号	028-670-2611
									E-mail	senryaku@tochigi-iin.or.jp
									HP_URL	http://www.tochigi-iin.or.jp/index/3/2/

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　群馬県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	ぐんまＤＸ技術革新補助金	群馬県	次のいずれかの枠に該当し、生産性・企業価値の向上を実現する革新的な製品・技術・サービス等の開発。 (1)デジタル実装枠 (2)ビジネスモデル変革枠	県内に主たる事業所を有する中小企業者	・開発事業に要する経費のうち、補助対象となる経費（原材料費、機械装置費、委託費、システム開発費、クラウドサービス利用費、知財出願費等）の一部を補助 ・補助限度額：５００万円 ・補助率：１／２	2023年4月3日～5月12日	採択件数： 10件 総額：50,000,000円	採択件数： 14件 総額： 51,644,000円	部署	産業経済部　地域企業支援課
									担当者	
									電話番号	027-226-3352
									FAX番号	027-223-7875
									E-mail	kigyouka@pref.gunma.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.gunma.jp/site/hojokin/10638.html
2	ぐんま技術革新チャレンジ補助金	群馬県、共同実施市町村（※２５団体：前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、上野村、下仁田町、甘楽町、東吾妻町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町）	中小企業者が自ら行う、ものづくりやサービス等に係る新技術・新製品の開発や地域特色を生かした新製品開発。	共同実施市町村内に主たる事業所を有する中小企業者	・開発事業に要する経費のうち、補助対象となる経費（原材料費、機械装置費、委託費、システム開発費、クラウドサービス利用費、知財出願費等）の一部を補助 ・補助限度額　８０万円 （県・市町村　各４０万円） ・補助率：１／２（小規模事業者は４／５）	（１次募集）2023年4月3日～5月12日 （２次募集）2023年6月上旬～8月中旬 ※２次募集期間については、市町村毎に個別設定	採択件数： 50件 総額： 20,000,000円（県予算分）	採択件数： 27件 総額： 10,540,000円	部署	産業経済部　地域企業支援課
									担当者	
									電話番号	027-226-3352
									FAX番号	027-223-7875
									E-mail	kigyouka@pref.gunma.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.gunma.jp/site/hojokin/10638.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	次世代ものづくり技術活用製品開発費補助金	埼玉県産業労働部	高度なデジタル、バイオ、マテリアル、カーボンニュートラルに関する技術または製品を開発するための経費を助成する。	県内中小企業、大学、研究機関(県内中小企業でない場合は、共同開発体に県内中小企業が含まれていることとする)	補助率：補助対象経費の3分の2以内(県内小規模企業者は4分の3以内) 補助金額：上限1,000万円 補助金の支払い：精算払い	令和5年4月3日～令和5年5月16日	採択件数： 12件 総額(予定)： 100,000,000円	採択件数： １4件 総額： 79,432,883円	部署	産業創造課
									担当者	
									電話番号	048-830-3735
									FAX番号	048-830-4816
									E-mail	a3760-03@pref.saitama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0812/r5-hojyo.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　千葉県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	千葉県医療機器等開発支援補助事業	千葉県	以下の２カテゴリに関する費用について補助 ①製造販売業者等と連携した医療機器及び医療・健康・福祉・介護関連の機器等の研究・製品開発 ②医療機器及び医療・健康・福祉・介護関連の機器等の臨床試用、性能評価、薬事審査及び承認・認証	主たる事業の実施地が千葉県内である中小企業者	事業内容①②のいずれかのうち、補助対象経費の2/3を補助	1次募集 2023年4月3日～4月20日 2次募集 2023年7月3日～7月20日	採択件数： 未定 総額（予定）： 30,000,000円	採択件数： 6件（うち1件廃止） 総額： 12,152,000円	部署	商工労働部産業振興課
									担当者	
									電話番号	043-223-2778
									FAX番号	043-222-4555
									E-mail	sangyo-b@mz.pref.chiba.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/kenkou/kobo/hojokin3.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	新製品・新技術開発助成事業	公益財団法人東京都中小企業振興公社	実用化の見込みのある新製品・新技術の自社開発を行う都内中小企業者等に対し、試作開発における経費の一部を助成	・都内の本店又は支店で実質的な事業活動を行っている中小企業者（会社及び個人事業者）等 ・都内での創業を具体的に計画している個人	【助成対象期間】 令和5年9月1日～令和7年5月31日（最長1年9カ月） 【助成対象経費】 原材料・副資材費、機械装置・工具器具費、委託・外注費、産業財産権出願・導入費、専門家指導費、直接人件費 【助成限度額】 1,500万円 【助成率】 1/2以内	＜申請書類提出期間＞令和5年3月13日（月）～4月5日（水）17時00分	―	採択件数：41件	部署	助成課
									担当者	
									電話番号	03-3251-7895
									FAX番号	
									E-mail	
									HP_URL	https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyo/shinseihin.html
2	TOKYO戦略的イノベーション促進事業	公益財団法人東京都中小企業振興公社	都内中小企業等が「イノベーションマップ」に基づき、自社のコア技術を基盤として、社外の知見やノウハウを活用して行う革新的な技術・製品開発を支援する助成事業です。	・都内の本店又は支店で実質的な事業活動を行っている中小企業者(会社及び個人事業者)等 ・都内での創業を具体的に計画している者	【助成対象期間】 令和6年1月1日から令和8年12月31日まで（最長3年） 【助成限度額】 8,000万円（申請下限額:1,500万円） 【助成率】 助成対象と認められる経費の2/3以内 【対象分野】 東京都が作成した「イノベーションマップ」の開発支援テーマに該当すること 【助成対象経費】 原材料・副資材費、機械装置・工具器具費、委託・外注費、専門家指導費、直接人件費、規格等認証・登録費、産業財産権出願・導入費、展示会等参加費、広告費	【申請エントリー期間】 令和5年6月30日から8月8日 【申請期間】 令和5年8月10日～8月30日 【申請方法】 国（デジタル庁）が提供する「Jグランツ」による電子申請 ※事前に「GビズIDプライムアカウント」の発行が必要です。発行には2週間ほどかかりますのでご注意ください。	―	採択件数：14件	部署	助成課
									担当者	
									電話番号	03-3251-7895
									FAX番号	
									E-mail	
									HP_URL	https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyo/tokyo-innovation.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　神奈川県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	川崎市福祉製品等開発支援補助金	川崎市	福祉製品、共用品及び福祉サービスの開発及び改良等にかかる経費を助成	市内事業者又は市外事業者（当補助対象事業を市内事業者と共同で行う者） ※川崎市ウェルフェアテクノロジーフォーラムへの参画が条件	【補助対象経費】 専門家謝金、原材料費、消耗品費、機械工具等費、外注加工費、研究開発委託費、産業財産権導入費、技術指導費等 【補助率】 ２／３以下 【補助限度額】 １００万円 【条件】 ・Kawasaki Welfare Technology Lab（通称「ウェルテック」）で事前に相談をし、助言に基づき実施する事業であること等	令和5年5月17日（水）～令和5年8月7日（月）	採択件数：未定 総額（予定）：3,000,000円	採択件数：3件 総額：2,433,000円	部署	経済労働局イノベーション推進部
									担当者	
									電話番号	044－200－2513
									FAX番号	044－200－3920
									E-mail	28innova@city.kawasaki.jp
									HP_URL	https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000151059.html
2	川崎市公募型福祉製品等開発委託事業	川崎市	多様な人が暮らす社会で、誰もが安全・安心に暮らすための手助けとなる画期的な製品等の開発を有識者とともに伴走支援する事業	以下の①～③のいずれかに該当する企業であること。 ① 川崎市内に事業所等の拠点を持つ企業 ② 事業開始から３年以内に川崎市内への拠点の立地を具体的に検討している、川崎市外の企業 ③ 川崎市内に拠点を持つ企業と、共同で製品等の開発を予定している川崎市外の企業	【対象経費】 専門家謝金、原材料費、消耗品費、機械工具等費、外注加工費、研究開発委託費、産業財産権導入費、印刷製本費、補助員人件費、技術指導費、消費税等 【事業費】 ２００万円まで支援 【条件】 委託期間終了の２月までに成果発表が可能なプロトタイプ等以上の製品等が完成する見込であること等	令和5年5月16日（火）～令和5年6月30日（金）	採択件数：１件 総額（予定）：2,000,000円	R4実績なし ※R5開始事業のため	部署	経済労働局イノベーション推進部
									担当者	
									電話番号	044－200－3226
									FAX番号	044－200－3920
									E-mail	28innova@city.kawasaki.jp
									HP_URL	https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000151065.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
3	相模原市中小企業研究開発補助金	相模原市	■市内中小企業者の新製品・新技術開発や新分野進出を支援するため、研究開発に要する経費の一部を補助	■相模原市内に事業者を有し、補助対象事業に係る研究開発拠点が市内である中小企業者等 ■市税に未納の税額がない者	■補助率：補助対象経費の2分の1以内 ■補助額：1案件あたり50万円以上100万円以下 ※ただし、産学連携枠や行政課題対応枠による研究開発テーマについては、50万円以上150万円以下 ■補助対象経費：①原材料費、②機械装置・工具器具費、③外注加工費、④技術指導受入れ費、⑤直接人件費、⑥研究開発委託費（中小企業団体のみ）	■令和5年4月17日から5月31日まで	採択件数：2件 総額（予定）：2,500,000円	【一般型】 採択件数：2件 総額：2,000,000円 【新型コロナウイルス関連型】 採択件数：1件 総額：3,000,000円 ※R4年度は新型コロナウイルス感染症対策に資する新製品・新技術の研究開発に必要な経費を補助（R5年度は実施なし）	部署	産業支援課
									担当者	
									電話番号	042-707-7154
									FAX番号	042-754-1064
									E-mail	sangyou.s@city.sagamihara.kanagawa.jp
									HP_URL	https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/sangyo/sangyo/1026664/1003291/josei/1003311.html
4	大和市企業活動振興条例	大和市	事業所の新設や経営規模の拡大等を行う企業に対して奨励金として交付します（上限あり）。	対象は統計法に基づく日本標準産業分類に規定する、製造業、情報通信業、自然科学研究所のいずれかの業種 新規立地奨励金：大和市内に事業所を有しない企業が、市内において新たに操業を開始する場合（資本投資額1千万円以上）。 事業拡大奨励金：市内で継続して３年以上操業している企業が、事業の拡大のために市内において事業所を増設又は既存事業所の移設・建て替えを行う場合（資本投資額1千万円以上）。 設備投資奨励金：市内で継続して３年以上操業している企業が、事業の拡大のために市内において事業所の設備を拡大または更新する場合（資本投資額1千万円以上）。	ロボット産業（ロボットの生産に係る産業で、医療福祉関連ロボット及び防災関連ロボットであるもの）の場合は、新規取得した土地を除く固定資産の固定資産税及び都市計画税見込額の１２倍（新規立地奨励金、事業拡大奨励金は２億円が上限。設備投資奨励金は１億円が上限）となります。 ※ロボット産業以外は、新規取得した土地を除く固定資産の固定資産税及び都市計画税見込額の６倍（新規立地奨励金、事業拡大奨励金は１億円が上限。設備投資奨励金は５千万円が上限）となります。	随時	ー	ー	部署	産業活性課
									担当者	
									電話番号	046-260-5135
									FAX番号	046-260-5138
									E-mail	sk_sangy@city.yamato.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.yamato.lg.jp/gyosei/soshik/40/sangyo/kigyoushien/hojokintou/4191.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
5	生活支援ロボット研究開発補助金	大和市	生活支援ロボットの研究開発に要する費用を一部補助します。	市内に事業所を有する中小企業者で、神奈川版オープンイノベーションに参加し、かつ、応用開発ステージ等で採用された技術等をもつ者。	研究開発費用（調査研究費用、実証実験費用、原材料費用、設計費用、加工製造費用等）の3分の1（上限500,000円）	随時	採択件数：1件 総額（予定）：500,000円	ー	部署	産業活性課
									担当者	
									電話番号	046-260-5135
									FAX番号	046-260-5138
									E-mail	sk_sangy@city.yamato.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.yamato.lg.jp/gyosei/soshik/40/sangyo/kogyo/robotkatsuyo/4233.html
6	LIP.横浜　トライアル助成金	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団	健康・医療分野の基礎研究成果や臨床ニーズ等の実用化に向けた産学連携事業の推進につながる取組のうち、研究成果やアイディア等を具体化する試作品の開発や次の研究ステップに進むために必要なデータの取得およびその検証に対する研究開発費の助成	・中小企業であって、横浜市内に本店を登記している、もしくは、申請事業を実施するための開発拠点を有する者 ・大学等であって、横浜 大学・都市パートナーシップ協議会会則第3条に規定する者 ・研究機関、病院等であって、横浜市内に申請事業を実施するための研究開発拠点を有する者	・研究成果やアイディア等を具体化する部品・製品・ソフトウェアの開発や試作品の開発 ・研究アイディアに基づく予備試験又は仮説検証 （助成率：対象経費の10/10以内、1申請あたりの助成限度額：中小企業は200万円、大学等は100万円）	令和5年4月1日（土）～令和5年5月12日（金）	採択件数（予定）：10件程度	採択件数11件	部署	事業企画部
									担当者	
									電話番号	045-502-4810
									FAX番号	045-502-9810
									E-mail	nakama@kihara.or.jp
									HP_URL	https://kihara.or.jp/

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
7	次世代事業創出デザイン支援事業	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	次世代を担うロボット等の新製品・新サービス・新ビジネス開発に関わる総合支援	神奈川県内に事業所を有する中小企業者、又は、神奈川県内に事業所を有する中小企業者を構成員に含むグループ	モデルプロジェクトとしてデザイン開発費（200万円以内）・知財戦略コンサルティング費・３Dプリンタに関わる試作に関わる費用一部負等	令和５年3月1日（水）～4月14日（金）	採択件数： ３件程度 総額： 6,283,000円	採択件数： ５件 総額： 6,283,000円	部署	事業化支援部
									担当者	
									電話番号	046-236-1500
									FAX番号	046-236-1527
									E-mail	moriya-t@kistec.jp
									HP_URL	https://www.kistec.jp/
8	産学公連携事業化促進研究事業	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	中小企業等の開発ニーズと大学等の研究シーズをつないだ研究課題を募集、採択し、産技総研、企業、大学等が互いにリソースを提供しながら国等の競争的研究資金の獲得を視野に入れ、概ね3年以内の事業化計画に基づいて共同で研究を推進するための支援	研究シーズ（大学／企業）、開発ニーズ（企業）がそれぞれ1法人以上のチームによる申請	チーム内に1法人以上、神奈川県内に主たる事業所を有する中小企業等であること 当所の研究者がチーム内に入って共同で研究を行えるテーマであること	令和５年3月1日（水）～3月23日（木）	採択件数：4件程度 総額：6,000,000円／3年／チーム	採択件数：5件 総額：6,000,000円／3年／チーム	部署	事業化支援部
									担当者	
									電話番号	046-236-1500
									FAX番号	046-236-1527
									E-mail	sm-j.s.ken9@kistec.jp
									HP_URL	https://www.kistec.jp/sup_comm/r5_koubo/

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　新潟県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	技術アイデア実行支援補助金	公益財団法人新潟市産業振興財団	新潟市内の中小事業者が自社製品の生産性強化や品質の向上、新事業への展開、新製品開発のために取り組む研究、技術開発について支援 (※対象は介護機器に限りません。)	新潟市内に本社又は主たる事業所を有する中小事業者	・補助上限額100万円 ・補助対象経費の2/3以内を補助	【1次】2023年6月1日～6月30日 【2次】2023年8月28日～9月22日	採択件数： ５件 総額（予定）： 4,200,000円	採択件数：４件 総額： 2,680,000円	部署	ビジネス支援センター
									担当者	
									電話番号	025-226-0550
									FAX番号	025-226-0555
									E-mail	info@niigata-ipc.or.jp
									HP_URL	https://niigata-ipc.or.jp/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	令和5年度ヘルスケア産業育成創出事業（ヘルスケア製品開発特別枠）	公益財団法人富山県新世紀産業機構	とやまヘルスケアコンソーシアムが、毎年トレンドに沿って設定した製品テーマに関する研究開発を補助することにより、迅速に利用者視点の製品の開発を図るもの。	富山県内に事業所を有する企業の研究者と大学等高等教育機関、公的試験研究機関の研究者等で構成される共同研究開発グループ	補助対象経費の２／３以内	2023年4月18日～5月18日	採択件数： 1件 総額（予定）： 5,000,000円	採択件数： 1件 総額： 5,000,000円	部署	ヘルスケア担当
									担当者	
									電話番号	0766-24-7112
									FAX番号	0766-24-7122
									E-mail	health@tonio.or.jp
									HP_URL	https://www.tonio.or.jp/
2	令和5年度ヘルスケア産業育成創出事業（ヘルスケア製品開発加速化枠）	公益財団法人富山県新世紀産業機構	富山県に蓄積された産業基盤や資源を活用したヘルスケア分野の新技術・新商品の開発、および事業化に資する研究開発を補助することにより、ヘルスケア関連製品の開発を図るもの。	富山県内に事業所を有する企業の研究者と大学等高等教育機関、公的試験研究機関の研究者等で構成される共同研究開発グループ	補助対象経費の２／３以内	2023年4月18日～5月18日	採択件数： 2件 総額（予定）： 10,000,000円	募集せず	部署	ヘルスケア担当
									担当者	
									電話番号	0766-24-7112
									FAX番号	0766-24-7122
									E-mail	health@tonio.or.jp
									HP_URL	https://www.tonio.or.jp/

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　石川県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	成長戦略ファンド 新商品・新サービス開発支援事業助成金	公益財団法人 石川県産業創出支援機構	社会課題解決に向けた新商品・新サービスの開発・販路開拓支援	県内中小企業等	中小企業等　3,000千円　2/3　（3年以内）	2023年8月1日～9月25日	未定	実績なし	部署	成長プロジェクト推進部 新商品･サービス開発支援課
									担当者	
									電話番号	076-267-5551
									FAX番号	076-268-1322
									E-mail	shigen@isico.or.jp
									HP_URL	
2	成長戦略ファンド補助金 イノベーション創出支援枠	公益財団法人 石川県産業創出支援機構	①ＤＸ製品・サービス開発支援 ②国プロジェクトステップアップ支援事業	①県内中小企業を代表者とする県内外の企業又は大学・公設試等による２者以上の連携体 ②県内企業単独又は県内中小企業を代表者とする県内外の企業又は大学・公設試等による２者以上の連携体	①3,000万円以内　2/3　（３年以内） ②500万円以内　10/10　（1年以内）	2023年8月1日～9月25日	未定	実績なし	部署	成長プロジェクト推進部 イノベーション支援課
									担当者	
									電話番号	076-267-6291
									FAX番号	076-268-1322
									E-mail	project@isico.or.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	成長産業チャレンジ支援事業補助金	福井県	県内企業が実施する成長産業への参入や市場拡大のための技術開発および大学や研究機関、金融機関等と連携して実施する技術開発を支援	A. 県内企業 B,C 県内中小企業	A. 成長産業可能性調査試験 100万円（補助率2/3以内、1年以内） B. 早期事業化技術開発 500万円（補助率2/3以内、1年以内） C. 地域経済牽引型技術開発 3,000万円（補助率2/3以内、2年以内、1,500万円/年）	令和５年３月６日（月）　～　令和５年４月３日（月）１７時	採択件数：13件	採択件数：12件	部署	産業技術課
									担当者	
									電話番号	0776-20-0374
									FAX番号	0776-20-0646
									E-mail	sangyo-gijutsu@pref.fukui.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/chisangi/sangakukan/seichosangyo.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　山梨県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	やまなしイノベーション創出事業費補助金	山梨県	中小企業が行う成長分野への進出に向けた研究開発及び小規模事業者が行う経営革新や事業承継に向けた取り組みに対し助成する。	山梨県内に本店、製造拠点又は研究開発拠点を有する（補助事業期間内に有する予定も含む）中小企業者	対象分野：「環境・エネルギー」、「医療機器・ヘルスケア」、「スマートものづくり」、「知事が認める分野」 （１）一般枠 ・補助上限額：20,000千円 ・対象事業者：中小企業 ・補助対象経費の1/2以内 （２）小規模事業者枠 ・補助上限額：5,000千円 ・対象事業者：小規模事業者 ・補助対象経費の2/3以内	第１回公募 令和5年7月11日～令和5年8月10日 第２回公募（１２月上旬～１月中旬を予定） ※一般枠のみ	採択件数（予定）：6件 総額（予定）：60,000,000円	採択件数：7件 総額：49,651,000円	部署	成長産業推進課
									担当者	
									電話番号	055-223-1565
									FAX番号	055-223-1569
									E-mail	horiuchi-wfvj@pref.yamanashi.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.yamanashi.jp/seichosangyo/innovation_hojyo/innovation_hojyokin.html
2	中小企業・小規模企業振興基金助成事業（新製品・新技術研究開発助成事業）	公益財団法人やまなし産業支援機構	新製品・新技術開発等の研究開発に要する経費の一部を助成	山梨県内に事業所を有する中小企業や小規模企業、中小企業や小規模企業のグループなど	助成限度額：100万円 助成率：対象経費の2/3以内	2023年6月1日～2023年7月31日	採択件数：5件 総額（予定）：4,578,029円	採択件数：5件 総額：4,666,666円	部署	新産業創造部新事業創造課
									担当者	
									電話番号	055-243-1888
									FAX番号	055-243-1885
									E-mail	sinjigyo@yiso.or.jp
									HP_URL	https://www.yiso.or.jp/subsidy/promote1.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
3	山梨みらいファンド（成長分野スタートアップ資金助成事業業）	公益財団法人やまなし産業支援機構	今後成長が期待される分野における起業に要する経費の一部を助成	山梨県内に本社（拠点）を設置して起業する者、山梨県内に本社（拠点）を設置した起業後5年未満の者	助成限度額：50万円 助成率：対象経費の2/3以内	2023年9月1日～2023年10月31日	採択件数： 4件 総額（予定）： 2,000,000円	採択件数： 5件 総額： 2,421,332円	部署	新産業創造部新事業創造課
									担当者	
									電話番号	055-243-1888
									FAX番号	055-243-1885
									E-mail	sinjigyo@yiso.or.jp
									HP_URL	https://www.yiso.or.jp/subsidy/fund.html
4	山梨みらいファンド（次世代技術活用支援事業）	公益財団法人やまなし産業支援機構	先進的かつ革新的な技術を活用した新たな事業活動に要する経費の一部を助成	山梨県内に事業所がある中小企業者又はそのグループ	助成限度額：200万円 助成率：対象経費の2/3以内	2023年9月1日～2023年10月31日	採択件数： 4件 総額（予定）： 8,000,000円	採択件数： 3件 総額： 5,776,000円	部署	新産業創造部新事業創造課
									担当者	
									電話番号	055-243-1888
									FAX番号	055-243-1885
									E-mail	sinjigyo@yiso.or.jp
									HP_URL	https://www.yiso.or.jp/subsidy/fund.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　長野県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	医療機器開発等支援事業	長野県／公益財団法人長野県産業振興機構	県内ものづくり企業が行う医療機器等の試作開発及び販路開拓に要する経費について支援※要素技術開発又は販路開拓のみ行う事業は対象外	県内に事業所を有する中小企業	補助金の上限1,000万円、補助率2分の1以内	2023年4月28日～5月31日	採択件数： 3件 総額： 20,000,000円	採択件数： 3件 総額： 20,000,000円	部署	産業技術課技術振興係
									担当者	
									電話番号	026-235-7196
									FAX番号	026-235-7197
									E-mail	sangi@pref.nagano.lg.jp
									HP_URL	https://www.nice-o.or.jp/info/info-39035/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	航空宇宙・医療福祉機器産業等競争力強化支援事業費助成金	公益財団法人岐阜県産業経済振興センター	航空宇宙、医療・福祉機器、医薬品（保健機能食品を含む）、ドローンの成長分野において、県内中小企業者・中小企業グループが競争力強化・新規受注獲得を図るとともに、他産業から成長分野への参入を目指すために自ら行う新たな生産体制の構築、新技術・新工法・新製品の開発、新規参入のための認証・認可取得などの事業経費について支援	岐阜県内中小企業者・中小企業グループ	助成対象経費の1/2以内	令和５年３月２０日～４月２０日	採択件数：10件（うち医療関連：4件） 総額（予算）：47,135,000円（交付決定額）：42,027,000円（うち医療関連：15,793,000円）	採択件数：6件（うち医療関連：3件） 総額（予算）：32,135,000円（交付決定額）：21,714,000円（うち医療関連：13,164,000円）	部署	技術振興部
									担当者	
									電話番号	058-379-2212
									FAX番号	058-379-2215
									E-mail	ikou-renkei@gpc-gifu.or.jp
									HP_URL	https://www.gpc-gifu.or.jp/
2	岐阜県ヘルスケア産業ステップアップ支援事業医療・福祉機器等ステップアップ開発支援助成金	公益財団法人岐阜県産業経済振興センター	県内中小企業者等が医療・福祉機関（従事者）等からのニーズに基づき医療・福祉機器（用具）等を試作し、医療・福祉機関等からの評価を通じて、ヘルスケア産業分野への新規参入・業容拡大の契機を得ることを支援	岐阜県内中小企業者（岐阜県ヘルスケア産業推進ネットワークに登録している者に限る）	助成対象経費の2/3以内	令和５年４月３日～５月２日	採択件数：6件 総額（予算）：6,966,000円（交付決定額）：6,966,000円	採択件数：7件 総額（予算）：7,200,000円（交付決定額）：6,916,000円	部署	技術振興部
									担当者	
									電話番号	058-379-2212
									FAX番号	058-379-2215
									E-mail	ikou-renkei@gpc-gifu.or.jp
									HP_URL	https://www.gpc-gifu.or.jp/

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　静岡県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	①自立支援・介護支援機器等開発助成費補助金（一般枠） ②自立支援・介護支援機器等開発助成費補助金（モデルルーム枠）	公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構	①高齢者等の自立やQOLの向上、介護者の負担軽減、その他介護現場の課題解決等に資する新たな製品の実用化に向けた研究開発。 ②ファルマバレープロジェクトにおける「健康長寿・自立支援プロジェクト」の一環として設置したモデルルーム（3歩の住まい）の改善やさらなる発展に寄与する研究開発。	①②共通：静岡県内に主たる事務所、事業所を有する中小企業	既に市場導入されているものは対象外 ①補助対象経費の1/2以内、補助上限額300万円 ②補助対象経費の2/3以内、補助上限額400万円	①②共通：令和5年4月3日～令和5年5月19日	採択件数：３件（①3件②０件）	採択件数：6件（①②合計）	部署	ファルマバレーセンター事業推進部
									担当者	
									電話番号	055-980-6333
									FAX番号	055-980-6320
									E-mail	jigyo@fuji-pvc.jp
									HP_URL	http://www.fuji-pvc.jp/center/

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
2	浜松市新産業創出事業費補助事業	浜松市	浜松市において戦略的に支援すべき産業分野として位置づけている成長7分野*（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタル、ロボティクス）について、新技術、新製品等の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助する。 ＊医療機器分野以外も対象となる。	補助対象者となる事業者は、次のいずれかに該当する者で、市税を滞納していない者。 ①市内に住所又は主たる事務所を有する個人又は中小企業者（中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業者） ②市内に住所又は主たる事務所を置き、新たに事業を開始しようとする者。 ③①又は②に該当する者を1者以上含み、事業化開発を目的に2者以上の者で組織された共同体。	●研究開発補助金 補助対象7分野における新技術、新製品、新サービス等の研究開発を行う事業 (1) 製品化のための設計試作を見込むことができる事業 (2) 補助事業の成果物として、補助期間終了までに原則、試作品を完成させることができること (3) 補助終了後、目安として4年以内の製品化を見込む事業 ●製品開発補助金 補助対象7分野における新技術、新製品、新サービス等の製品開発を行うための事業 (1) 補助事業の成果物として、補助期間終了までに製品の試作を完成させることができること (2) 補助終了後、目安として2年以内の製品化、3年以内の事業化(製品の販売)を見込む事業 ●社会課題解決型イノベーション補助金（新設） 補助対象7分野における社会課題解決をテーマに新技術、新製品、新サービス等の研究開発を行う事業 (1) 提示する社会課題をテーマに製品化のための設計試作を見込むことができる事業 (2) 補助事業の成果物として、補助期間終了までに原則、試作品を完成させることができること (3) 補助終了後、目安として4年以内の製品化を見込む事業 ●補助金額 (1)研究開発補助金…1件あたり100万円を下限とし、500万円を上限とします。 (2)製品開発補助金…1件あたり150万円を下限とし、1,000万円を上限とします。 (3)社会課題解決型イノベーション補助金…1件あたり150万円を下限とし、1,000万円を上限とします。	●事前申込： 2月24日（金）から3月24日（金)午後5時 ●申請書提出期限： 4月7日(金)午後5時 ※事前申込をされた方のみ	総額（予定）：119,300,000円の内数 ※医療機器分野以外も含めた件数	採択件数：22件 総額（予定）：106,960,280円 ※医療機器分野以外も含めた件数	部署	産業部　産業振興課
									担当者	
									電話番号	053-457-2044
									FAX番号	053-457-2283
									E-mail	shinsangyo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
									HP_URL	https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
3	浜松市新事業挑戦事業費補助事業	浜松市	既存製造分野等において培った製造・生産技術等を活かし、異分野をはじめとする成長7分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタル、ロボティクス）に関する新製品開発に要する経費の一部を助成する。 ＊医療機器分野以外も対象となる。	補助対象者となる事業者は、次のいずれかに該当する者で、市税を滞納していない者。 ①市内に住所又は主たる事務所を有する個人又は中小企業者（中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業者） ②市内に住所又は主たる事務所を置き、新たに事業を開始しようとする中小企業者。 ③①又は②に該当する者を1者以上含み、事業化開発を目的に2者以上の者で組織された共同体。	対象経費の2分の1以内の額とし、事業1件あたり100万円を上限とする。 ※補助事業の成果物として、補助期間終了までに製品の試作を完成ができること。 ※補助終了後、目安として5年以内の製品化を見込む事業であること。	令和5年2月24日(金)～令和5年3月31日(金)15:00 二次募集 令和5年6月1日（木）～令和5年6月30日（金） 三次募集 令和5年8月1日（火）～令和5年8月31日（木）	総額（予定）：3,000,000円 ※医療機器分野以外も含めた件数	採択件数：5件 総額（予定）：3,322,356円 ※医療機器分野以外も含めた件数	部署	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
									担当者	
									電話番号	053-489-8111
									FAX番号	053-450-2100
									E-mail	info@hai.or.jp
									HP_URL	https://www.hai.or.jp
4	沼津市ニュービジネス創出事業補助金	沼津市	「中小企業等経営強化法」に基づき、県知事の承認を受けた新製品・新技術・新サービスの開発等に取り組む場合、費用の一部を市が補助する。	市内に主たる事業所を有する中小企業者等で、「経営革新計画」の承認を受けたもの。	県の承認を受けた「経営革新計画」に基づき、新製品・新技術・新サービス開発に関する事業が対象。補助対象経費の1/2以内、上限100万円以内。	【一次募集】 令和5年4月10日（月曜日）～令和5年5月22日（月曜日）17時まで 【二次募集】 令和5年5月30日（火曜日）～令和5年6月30日（金曜日）17時まで	予算額：700万円	介護ロボット等の開発に関わる申請なし。	部署	商工振興課
									担当者	
									電話番号	055-934-4748
									FAX番号	055-933-1412
									E-mail	syouko@city.numazu.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.numazu.shizuoka.jp/business/yuchi/shoko/newbusiness/index.htm

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	新あいち創造研究開発補助金	愛知県	次世代自動車や航空宇宙、ロボットなど、今後の成長が見込まれる分野において、企業等が行う研究開発等を支援※研究開発等とは、県内に事業所を持つ企業等が実施する研究開発及び企業等が県内において実施する実証実験	大企業、中小企業（事業協同組合等を含む）※「トライアル型」の対象者は、過去に本補助金の採択実績がない中小企業	補助率・大企業 原則1／2以内・中小企業 2／3以内限度額・大企業 2億円以下・中小企業 原則1億円以下※「トライアル型」は500万円	2023年3月15日～2023年4月4日	採択件数：73件 うち情報通信・ロボットと健康長寿分野の採択23件	採択件数：66件 うち情報通信・ロボットと健康長寿分野の採択20件	部署	経済産業局産業部産業科学技術課
									担当者	
									電話番号	052-954-6370
									FAX番号	052-954-6977
									E-mail	san-kagi@pref.aichi.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.aichi.jp/site/shin-aichi/

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　三重県（該当無）　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	プロジェクトチャレンジ支援事業	滋賀県	県内中小企業者等が行う新製品、新技術の開発に必要とされる原材料費、機械装置等の経費に対して、その一部を助成（※介護・福祉分野を含む）	滋賀県内に主たる研究開発拠点がある中小企業等	【チャレンジステージ】 限度額：100万円～2,000万円、補助率：１／２（大学等との共同研究の場合は２／３）） 【キックオフステージ】 限度額：100万円以内、補助率：１／２（大学等との共同研究の場合は２／３））	2023年４月３日～ ～５月11日	採択件数： 8件 交付決定総額： 41,682,882円	採択件数： 12件 交付決定総額： 36,459,111円	部署	商工観光労働部モノづくり振興課
									担当者	
									電話番号	077-528-3794
									FAX番号	077-528-4876
									E-mail	fd0002@pref.shiga.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/kougyou/17874.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　京都府　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	産学公の森推進事業	京都府	京都の文化や自然、多様な産業などの地域の強みを積極的に活かしながら、様々な社会課題の解決に寄与する新たなビジネス創出を図る産学公の取組を支援。	京都府内に拠点を有する中小企業を代表企業とし構成企業又は大学等研究機関が１者以上参画する、産産・産学連携ｸﾞﾙｰﾌﾟ　※構成企業には京都府内に拠点を有する大企業も参画可。	産学公の多様な連携プロジェクトの組成から、製品等の試作・研究開発、実用化に向けた市場開拓、生産設備投資等を一貫して支援 Ⅰ．アーリーステージコース（グループ形成支援） 〇勉強会開催、市場調査、技術研修等への補助 ・補助率1/2以内 ・補助上限額120万円以内 Ⅱ．事業化促進コース（試作・開発等支援） 〇製品の試作、技術開発等への補助 ・補助率1/2以内(量産設備投資等15％以内) ・補助上限額100万円以上～2,000万円以下 Ⅲ．本格的事業展開コース（応用研究・設備投資・販路開拓等支援） 〇実用化に向けた応用研究、量産化に向けた設備投資、販路拡大等への補助 ・補助率1/2以内(量産設備投資等15％以内) ・補助上限額2,000万円超～5,000万円以下	令和５年４月１７日（月）～７月３１日（月）	採択件数：３１件	採択件数：４１件	部署	商工労働観光部ものづくり振興課
									担当者	
									電話番号	075-414-4849
									FAX番号	075-414-4842
									E-mail	sangaku@ki21.jp
									HP_URL	https://www.pref.kyoto.jp/info/gyosei/soshiki/087/index.html
2	次世代地域産業推進事業	京都府	ｉＰＳ細胞、ＡＩ、ロボット等、今後の経済成長に不可欠な最先端技術分野において、国の研究機関や大学、中小企業、ベンチャー等が参画する産学公連携プロジェクトを育成し、オープンイノベーションの更なる推進により、新産業の創出、府内経済の活性化を図る。	京都府内に拠点を有する中小企業１社をグループ代表企業とし、大学等研究機関が１者以上参画する産学連携グループ	補助率１／２以内、【１グループあたり上限10,000千円】	令和５年４月１７日（月）～５月３１日（水）	採択件数６件	採択件数４件	部署	商工労働観光部ものづくり振興課
									担当者	
									電話番号	075-414-4851
									FAX番号	075-414-4842
									E-mail	sangaku@ki21.jp
									HP_URL	https://www.ki21.jp/subsidy/kobo-r5-jisedai/

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
3	京都発革新的医療技術研究開発助成事業	京都市	新たな医薬品・医療機器、健康・介護・リハビリ機器等の創出につながる革新的な医療技術に関する研究開発に助成	京都市内の大学研究者及び中小企業者	○助成金額 大学研究者：上限１００万円（間接経費を含む場合は上限１３０万円） 中小企業者：上限１００万円 ○助成率　１００％	2023年4月3日～4月24日	採択件数： 13件程度 総額： 15,800,000円（予定）	採択件数：16件	部署	産業観光局産業イノベーション推進室
									担当者	
									電話番号	075-222-3324
									FAX番号	075-222-3331
									E-mail	sanshin@city.kyoto.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000310805.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　大阪府　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	堺市ものづくり新事業チャレンジ支援補助金	堺市	新たな製品・技術の開発にチャレンジする経費を補助（医療・介護・健康関連産業分野等を優先採択分野としている）	堺市内の主たる事業所または研究開発拠点において、引き続き１年以上事業を行っている中小企業者。	機械装置費用等の補助事業の執行に必要な経費の1/2以内を助(上限300万円)	5月1日～7月末	採択件数： 4件 総額（予定）： 12,000,000円	採択件数： 4件 総額： 9,915000円	部署	地域産業課
									担当者	
									電話番号	072-228-7534
									FAX番号	072-228-8816
									E-mail	chisan@city.sakai.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/shienyuushi/chusho/proddev/monochalle.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	成長産業育成のための研究開発支援事業	兵庫県	次世代産業を中心とした成長産業分野の育成を図るため、産学官連携による萌芽的な研究調査を支援するとともに、立ち上がり期の予備的、準備的な研究プロジェクトの本格的な研究開発への移行を支援	以下の要件を満たす産学官で構成される共同研究チーム 【要件】 ①「産・学・官」、「産・学」、「産・官」のいずれかで構成 ②「産」のうち県内に事業所を有し、かつ県内で研究活動を行っている中小企業者を少なくとも１者含むこと ③対象産業分野の事業拡大又は新規参入を目的として実施する研究で、共同研究に参画する県内中小企業者が当該研究成果を活用した事業化計画を有していること	研究（調査、試験分析、試作を含む）に必要な経費を定額補助	R5.2.27～R5.4.14	採択件数（予定）： 10件程度 総額（予定）： 71,467千円	採択件数：23件 総額：67,380千円	部署	産業労働部地域産業立地課
									担当者	
									電話番号	078－362－3334
									FAX番号	078－362－3801
									E-mail	tomoaki_izumi@pref.hyogo.lg.jp
									HP_URL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr09/ie03_0000000002.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　奈良県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	研究開発支援事業	奈良県	民間企業の製造業者が行う研究開発に要する経費の一部を補助する。	○対象者：民間企業の製造業者 ①県内に事業所を有する企業 ・補助開始年度より10年間事業所を県内で定着　または ・研究成果の事業化 ②県内に事業所を有しない企業 ・補助期間終了後、県内で5年以内に一定規模の事業所を設置 ○対象分野 機械・金属、モジュール・航空機、生活産業、プラスチック、繊維、木材・木製品、食品、製薬・医療	・補助額：100,000千円/件（補助対象期間の合計、下限30,000千円/件） ・補助率：補助対象経費の3分の2以内 ・補助期間：3年	令和5年7月18日（火）～令和5年10月31日（火）	○公募、補助対象企業を決定。 ○R2年度採択者に対するR5年度補助：30,000千円（予定） ○R3年度採択者に対するR5年度補助：30,000千円（予定） ○R4年度採択者に対するR5年度補助：26,160千円	○採択件数：１件 ○R2年度採択者に対するR4年度交付額：2,986,900円 ○R3年度採択者に対するR4年度交付額：11,395,000円	部署	産業・観光・雇用振興部産業振興総合センター
									担当者	
									電話番号	0742-33-0817
									FAX番号	0742-34-6705
									E-mail	kawata - ayae@office.pref.nara.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.nara.jp/60933.htm

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	先駆的産業技術研究開発支援事業	和歌山県	国内外で高いニーズが見込まれる先駆的な産業技術の研究開発を行う県内企業等の取り組みを支援し、新技術の創出と実用化を図ることにより、県産業の高度化と地域経済の活性化を目指す。 ※福祉用具・介護ロボット以外も対象	(1)先駆的産業技術研究開発 　ア　和歌山県内に事業所を有し、補助事業の主たる実施場所が和歌山県内に所在すること。 　イ　補助事業において自らが主体的に研究開発を行うこと。 (2)先端技術社会実装 　ア　和歌山県内に事業所を有し、補助事業において主たる技術・能力を持つ、若しくは実用化後主たる新たな商品やサービス提供を行う者 　イ　補助事業において自らが主体的に補助事業を行うこと。	補助率：補助対象経費の3分の2以内上限額：2,000万円以内／件 補助期間：最長3年（何年間の研究事業であっても1件2,000万円まで）	4月12日～6月2日(一次) 8月9日～9月20日(二次)	採択件数：10件程度 総額（予定）：100,000,000円	採択件数：12件 総額：80,659,000円	部署	産業技術政策課
									担当者	
									電話番号	073-441-2355
									FAX番号	
									E-mail	e0631001@pref.wakayama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/senku.html

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　鳥取県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	鳥取県産業未来共創研究開発補助金	鳥取県	医療機器、及びその関係事業であると認められる事業において、新たな製品・技術・サービスの開発、新事業の創出等に向けた研究開発等を実施するもの。	（１）次の要件を満たす者 　中小企業等経営強化法（平成11年法律第18号）第２条第２項に規定する中小企業者等であって、県内に事業所等を有して事業活動を行う者であるとともに、県内において主体的に調査・研究開発等に取り組む能力を有する者であること。 （２）次の要件を全て満たすグループ ア　事業の開始から終了するまでの間、２者以上で構成され、かつ（１）の要件を満たす者が１者以上含まれること。 イ　当該グループの構成員の中から、（１）の要件を満たす者を、本補助金に係る事務の一切を統括し管理運営等を行う代表者として１者選定していること。	補助率：１/２ 補助上限額：5,000千円 ※グループ申請の場合10,000千円 事業期間：最長24ヶ月	令和5年10月23日～令和6年2月15日 ※毎月15日締めでまとめて審査を行います。 ※予算がなくなり次第募集終了とします。	採択予定件数：２件 総額：10,000千円	R5年度新設	部署	産業未来創造課
									担当者	
									電話番号	0857-26-7690
									FAX番号	0857-26-8117
									E-mail	sangyoumirai@pref.tottori.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/244727.htm

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	オープンイノベーション推進助成金	公益財団法人しまね産業振興財団	島根県内企業の研究開発力強化による個社新技術・新製品の開発、売上増加、利益率向上を図るため、大学等との共同研究費や研究開発経費を助成 １．事業化枠 　自社の新製品・新技術の研究開発を外部専門家からの指導・助言を受けながら行うもの ２．高度研究開発枠 　県内外の大学・研究機関等と協力して次世代新製品・新技術の研究開発を行うもの	島根県内企業	１．事業化枠 ・助成率1/2以内 ・限度額500万円 ・期間　2年以内 （うち大学等との共同研究費は助成率10/10、限度額250万円） ２．高度研究開発枠 ・助成率1/2以内 ・限度額1,000万円 ・期間　2年以内 （うち大学等との共同研究費は助成率県内10/10、県外2/3、限度額500万円）	高度研究開発枠は今年度の公募終了。 事業化枠について令和５年１０月２日～令和５年１１月３０日まで公募中	1. 事業化枠 採択件数：4件程度 総額：20,000千円 2.高度研究開発枠 採択件数：2件程度 総額：20,000千円	1. 事業化枠 採択件数：1件 総額：4,756千円 2.高度研究開発枠 採択件数：1件 総額：10,000千円	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL	新事業支援課 技術支援グループ 0852-60-5112 0852-60-5106 sat@joho-shimane.or.jp https://www.joho-shimane.or.jp/
2	プロジェクト連携支援事業補助金	まつえ産業支援センター	個社では解決困難な新製品・新技術開発、人材育成、販路開拓、共同受発注等の課題に対応するために取り組む研究、研修、勉強会等のプロジェクト連携事業ただし、この補助金と同様の趣旨の他の補助金等の交付を受けている場合を除く。	構成員の2分の1以上が市内の中小企業者等で構成する企業グループで、市内に事業所を有する中小企業者の構成員が補助事業の完了時に市税を滞納していないもの	【補助対象経費】 (1)共同受発注　　謝金、旅費、委託費、会場費、備品使用料　印刷製本費、通信運搬費、広告宣伝費 (2)新製品　　謝金、委託費、会場費、備品使用料、研究費、原材料・副資材費 (3)人材育成　　謝金、旅費、委託費、会場費、備品使用料、資料購入費 (4)販路開拓　　謝金、旅費、委託費、会場費、備品使用料、印刷製本費、通信運搬費、研究費、広告宣伝費、消耗品費、役務費 【補助率】 補助対象経費の3分の2以内の額（1,000円未満切捨） ただし、50万円を上限とする。 同一グループへの補助は、3年度を限度とし、同一年度内における補助対象者に対する補助は1回	2023年4月1日～2024年3月31日	予定なし	福祉・養護に関する実績なし	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL	まつえ産業支援センター 0852-60-7101 0852-25-0300 misc@city.matsue.lg.jp

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
3	新製品開発・新分野チャレンジ支援事業補助金	まつえ産業支援センター	市内の意欲ある中小企業者又は企業グループが実施する新製品開発の取組又は地域のモデルとなるＩＴシステム開発、若しくは新分野展開、または事業転換にチャレンジする取組に対し、必要な経費の一部を補助することにより、市内中小企業者の競争力の強化と新ビジネスの創出を図ることを目的とする。	次の各号のいずれかに該当する者とする。 (1)市内に事業所を有する製造業を主たる事業で営む中小企業者で、補助事業の完了時に市税を滞納していないもの (2)構成員の2分の1以上が市内の中小企業者等で構成する企業グループで、市内に事業所を有する中小企業者が補助事業の完了時に市税を滞納していないもの	【補助対象経費】 補助対象経費については「新製品開発・新分野チャレンジ支援事業補助金交付要綱」のとおり 【補助率】 (1)開発スタートアップ支援事業 補助対象経費の2分の1以内の額 （1,000円未満切捨） ただし、30万円を下限、100万円を上限とする。 (2)実用化製品化支援事業 ア　開発スタートアップ支援事業のアに係る試作開発 補助対象経費の3分の2以内の額 （1,000円未満切捨）。ただし300万円を上限とする。 イ　開発スタートアップ支援事業のイに係る実用化製品化 補助対象経費の2分の1以内の額 （1,000円未満切捨）ただし300万円を上限とする。 (3)新分野チャレンジ支援事業 補助対象経費の2分の1以内の額 （1,000円未満切捨）ただし200万円を上限とする。	2023年4月1日～2024年3月31日	予定なし	福祉・養護に関する実績なし	部署	まつえ産業支援センター
									担当者	
									電話番号	0852-60-7101
									FAX番号	0852-25-0300
									E-mail	misc@city.matsue.lg.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	きらめき岡山創成ファンド支援事業	公益財団法人岡山県産業振興財団※岡山県の補助により実施	新技術・新製品の研究開発を助成することにより、県内企業の成長を支援する。	岡山県内の中小企業者	助成対象事業：新技術・新製品の研究開発 助成率：2/3以内 助成限度額：20,000千円 助成期間：22か月以内(交付決定年度の翌年度内) 助成対象経費： 【研究開発経費】原材料費、機械装置費（量産転用不可）、工具器具費、知的財産権等関連経費、外注(加工)費、技術専門員指導受入費、共同研究費 【市場動向調査経費】謝金、旅費、調査分析委託費※外注(加工)費、技術専門員指導受入費、共同研究費の合計額は全助成対象経費の2/3以内	2023年4月3日～2023年4月21日	採択件数：6件 総額：70,000,000円	採択件数：8件 総額：70,000,000円	部署	産業労働部産業振興課
									担当者	
									電話番号	086-226-7379
									FAX番号	086-224-2165
									E-mail	hiroshi_kamioka@pref.okayama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.okayama.jp/

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　広島県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	健康・医療関連産業創出支援事業	広島県	広島県内に事業所を有する「ひろしま医療関連産業研究会」又は「広島バイオテクノロジー推進協議会」の会員企業が、医療機器等 の製品化・事業化のための研究開発など健康・医療関連分野への新規参入や、当該分野での事業拡大に取り組む場合に、その経費の一部について補助金を交付する。	広島県内に事業所を有する「ひろしま医療関連産業研究会」又は「広島バイオテクノロジー推進協議会」の会員企業	福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律第２条に規定する福祉用具及びこれらに類するもの、または、健康の保持及び増進、介護予防等を通じた健康寿命の延伸に資する商品又はサービスの製品化・事業化のための研究開発など健康・医療関連分野への新規参入や、事業拡大を図るための事業活動等	令和５年３月14日から４月17日まで	応募件数：9件 総額（予算）：40,000,000円	採択件数：12件 総額：29,811,000円	部署	イノベーション推進チーム医工連携推進担当
									担当者	
									電話番号	082-513-3351
									FAX番号	082-223-2137
									E-mail	syoikourenpt@pref.hiroshima.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/229/kenko-iryosangyo2023.html
2	新成長ビジネス事業化支援事業	公益財団法人広島市産業振興センター	新技術・新製品の開発・事業化に関して（公財）広島市産業振興センターや国、地方公共団体の支援を受け、試作品の開発が完了している案件のうち、新成長ビジネス（医療・福祉ビジネス、エコビジネス、観光ビジネス、都市型サービスビジネス）に関連するものに対して、事業化に必要な資金の助成及び事業化促進のための専門家派遣（別途広島市委託事業において実施）を実施することにより、早期の事業化を図る。	・市内に主たる事業所を有する中小企業者又は当該中小企業者が構成員となっている組合・商品開発グループ（構成員の3分の２以上が広島広域都市圏内の市町に主たる事業所を有し、かつ１社以上が広島市内に主たる事業所を有する中小企業者）であること。	・事業化を目指す新技術・新製品について、当該事業の実施年度より前の５か年度のうちに、次のいずれかの事業を活用して、試作品の開発や商品化に関する支援をうけていること。 ア　（公財）広島市産業振興センターの事業 イ　国や地方公共団体の補助事業等 ウ　国や地方公共団体の補助金等を財源とした補助事業等 ・補助率 ア　通常枠：助成対象経費の2分の1以内 イ　特別枠（新型コロナウイルス感染症の影響により生じた新しい生活様式や感染予防に対応するもの）：助成対象経費の3分の2以内 ・助成金額　1件当たり300万円以内	・第1回 2023年4月1日～5月12日	採択件数：4件 総額（予定）：12,000,000円	交付件数：5件 交付額：7,581,000円	部署	公益財団法人広島市産業振興センター中小企業支援センター
									担当者	
									電話番号	082-278-8032
									FAX番号	082-278-8570
									E-mail	assist@ipc.city.hiroshima.jp
									HP_URL	https://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/joseikin/joseikin06.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	次世代産業イノベーション推進事業（やまぐち産業イノベーション促進補助金【環境・エネルギー、医療、バイオ関連分野】）	山口県	環境・エネルギー、医療、バイオ関連分野において、山口県内の企業が共同で取り組む研究開発・事業化を支援	山口県内の中小企業を含む共同体（企業や大学等を含む２者以上からなるグループ） ※チャレンジ枠にあっては、山口県内の中小企業単独でも可	●補助上限 ［イノベーション］15,000千円 ［ネクスト］5,000千円 ［チャレンジ］1,000千円 ●補助率：２／３以内	［イノベーション］ 2023/4/7～5/17 ［ネクスト］2023/4/7～5/17 ［チャレンジ］ 2023/4/14～12/1	●採択件数： ［ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ］ 1件 ［ネクスト］ 3件 ［チャレンジ］ 15件(予定) ※介護ロボット等の開発以外の分野を含む	●採択件数： ［ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ］ 1件 ［ネクスト］ 3件 ［チャレンジ］ 12件 ※介護ロボット等の開発以外の分野を含む。	部署	イノベーション推進課
									担当者	
									電話番号	083-933-3150
									FAX番号	083-933-3159
									E-mail	a16900@pref.yamaguchi.lg.jp
									HP_URL	https://www.iti-yamaguchi.or.jp/docs/2023041200015/

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　徳島県（該当無）　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　愛媛県（該当無）　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	こうち産業振興基金等事業（事業戦略推進事業）	公益財団法人高知県産業振興センター	県内の中小企業者等の新製品等の開発及び生産性向上などによって事業戦略、経営革新計画及び経営計画等の実現を図るための取り組みを支援する事業 （介護機器の開発に限定していない）	高知県内の中小企業者等（中小企業、農協、森林組合、漁協、NPO 等） かつ下記のいずれかを満たすこと ・中小企業等経営強化法に基づき知事が承認した「経営革新計画」の策定 ・産業振興センターの事業戦略支援会議が承認した「事業戦略」の策定 ・県内商工会または商工会議所が認定した「経営計画」の策定 ・その他、これらに準ずる事業計画を策定	新商品や新技術の開発に関する取り組みを支援 補助対象経費の1/2以内で上限1,200万円を補助 ※（公財）高知県産業振興センターが内容を確認した製品企画書に基づく事業であること	・1次募集　4月10日～5月9日 ・2次募集　6月1日～6月22日 ・3次募集　10月2日～11月1日 今年度は3次で募集終了予定。	採択件数（予定）139件 交付決定額（予定）147,793千円	採択件数（予定）109件 交付決定額（予定）117,849千円 ※福祉用具・介護ロボット関係は1件	部署	経営支援部経営支援課
									担当者	
									電話番号	088-845-6600
									FAX番号	088-846-2556
									E-mail	kigyousinkou@joho-kochi.or.jp
									HP_URL	https://joho-kochi.or.jp/center/kochisangyokikin_2023.php

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　福岡県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	医療・福祉関連製品開発支援事業	公益財団法人飯塚研究開発機構	医療・福祉関連製品の開発、可能性調査等に関する費用について支援	(1)福岡県内に本社を有し、かつ本事業の研究、生産活動拠点を県内に有する中小企業者 (2)医療・福祉機器分野への参入を目指す中小企業者、又は現在既に医療・福祉機器分野へ参入しており、更なる製品の高度化、技術の高度化を目指す中小企業者	補助対象経費の1/2	(1)開発補助：令和5年4月1日から5月25日まで (2)調査試験補助：令和5年4月1日から11月30日まで	採択件数： (1)開発補助：3件 (2)調査試験補助：4件 総額： 11,000,000円	採択件数： (1)開発補助：4件 (2)調査試験補助：1件 総額： 10,270,000円	部署	商工部新産業振興課
									担当者	
									電話番号	092-643-3543
									FAX番号	092-643-3421
									E-mail	fukuoka-kikinet@pref.fukuoka.lg.jp
									HP_URL	http://www.cird.or.jp/index.html
2	研究開発プロジェクト支援事業	公益財団法人北九州産業学術推進機構	①シーズ創出･実用性検証事業 　北九州市の産業振興の促進に資する分野に関し、実用化を目指すシーズを見出し、その可能性を検証するための研究開発に対して補助する ②実用化研究開発事業 　技術の高度化・製品の実用化を目指す研究開発に対して補助する （介護ロボット等の研究開発に係る申請も可能） ③次世代産業イノベーション創出事業 　半導体、自動車、宇宙、グリーン関連の次世代産業イノベーション創出に資する分野における研究開発に対して補助する ④衛星データ利活用実証･新技術開発事業 　今後成長が見込まれる宇宙関連分野の衛星データ(観測･測位･通信の各データ)にかかる事業に対して補助する	①シーズ創出・実用性検証事業 　北九州市内の大学等研究機関 ②実用化研究開発事業 　北九州市内の企業等 ③次世代産業イノベーション創出事業 　北九州市内の大学等研究機関、北九州市内の企業等、北九州市内の大学等研究機関と共同で研究開発を行う北九州市外の企業等 ④衛星データ利活用実証・新技術開発事業 　北九州市内の大学等研究機関、北九州市内の企業等	①シーズ創出・実用性検証事業 　補助額(上限)200万円 　※ロボット･DXの研究開発は300万円 ②実用化研究開発事業 　補助額(上限)500万円 ③次世代産業イノベーション創出事業 　補助額(上限)300万円又は1000万円 ④衛星データ利活用実証・新技術開発事業 　補助額(上限)200万円又は500万円	①シーズ創出･実用性検証事業 ②実用化研究開発事業 2023年4月6日～5月12日 ③次世代産業イノベーション創出事業 2023年5月25日～6月19日 ④衛星データ利活用実証・新技術開発事業 2023年9月8日～9月29日	採択件数 ①シーズ創出・実用性検証事業：18件 ②実用化研究開発事業：2件 ③次世代産業イノベーション創出事業：3件 ④衛星データ利活用実証･新技術開発事業：4件 ①～④総額(予定) 80,374,599円	採択件数 ①シーズ創出・実用性検証事業：23件 ②実用化研究開発事業：4件 総額： 44,730,479円	部署	産学連携センター　産学連携部
									担当者	
									電話番号	093-695-3006
									FAX番号	093-695-3018
									E-mail	faisjyosei@ksrp.or.jp
									HP_URL	https://www.ksrp.or.jp/fais/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（新技術・新製品開発補助事業）	公益財団法人佐賀県産業振興機構	県内のものづくり企業が取り組む自社技術の高度化や新技術創出を図るとともに、自社技術を活用した新製品開発に要する費用の一部を支援	佐賀県内において研究開発を行うことができる工場等の事業所を有する中小企業	補助対象経費の2/3以内（補助上限額5,000千円、補助下限額1,000千円）	令和5年4月3日～5月8日 2次募集 令和5年5月18日～6月14日	採択件数： 5件	採択件数： 6件 総額： 20,652,000円	部署	佐賀県ものづくり産業課 ものづくり推進担当
									担当者	
									電話番号	0952-25-7421
									FAX番号	
									E-mail	monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　長崎県（該当無）　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	新製品・新技術研究開発事業助成金	熊本市	成長が期待される分野（情報・通信、医療・福祉、環境、バイオテクノロジー、新製造技術）において、中小企業等が実施する新製品・新技術の研究開発に必要な経費の一部を助成	熊本市内に主たる事業所がある （1）中製造業者又は小規模企業者 （2）中製造業者又は小規模企業者を主体とした事業協同組合又は協業組合 （3）中製造業者又は小規模企業者を主体とした任意の団体	【助成率】助成対象経費総額の1/2 【限度額】・新製品・新技術枠：200万円・小規模企業重点枠：100万円 【対象経費】謝金、旅費、委託費、研究開発事業費、直接人件費等	2023年4月24日～5月26日	・新製品・新技術枠：3件・小規模企業重点枠：1件総額（予定）：7,000千円 R5年6月に、新製品・新技術枠3件、小規模企業重点枠1件の採択	採択件数：3件 4,480千円（新製品・新技術枠：2件3,868千円、小規模企業重点枠：1件612千円	部署	熊本市　起業・新産業支援課
									担当者	
									電話番号	096-328-2392
									FAX番号	096-324-7004
									E-mail	kigyoushinsangyou@city.kumamoto.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=48417&e_id=6

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　大分県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	医工連携医療関連機器等事業化補助事業	大分県医療ロボット・機器産業協議会	県内中小企業が、医療関連産業分野において自社技術を活用して医療関連機器等の研究開発、実用化を図る取組を支援する。	・大分県医療ロボット・機器産業協議会の会員であること ・事業実施主体が県内中小企業であること（なお、大企業、県外企業との連携は可能） ・医療関連機器等事業化共同体には大学等研究機関、医療機関・福祉施設、医療機器製造販売業者等のいずれか１つ以上を含むこと（医療関連機器等事業化共同体の相手方については県外でも構いません）	（１）補助対象 医療関連機器等の事業化を図るために、大学等研究機関、医療機関・福祉施設、医療機器製造販売業者等の医療、看護、介護、福祉に関する技術シーズや知見を活用した医療関連機器の研究開発、実用化開発、又は当該医療関連機器等に関して、医療機器等の申請・届出、若しくは医療関連機器等に関する規格認証等の取得を対象とします。 （２）補助率等 ・補助率：補助対象経費の総額に対して２／３以内 ・補助金額：４００万円以内／件	令和５年３月３０日（木）～４月２６日（水）	採択件数： ４件 総額（予定）： 12,000,000円	採択件数： ４件 総額（予定）： 12,840,000円	部署	大分県医療ロボット・機器産業協議会事務局
									担当者	
									電話番号	097-506-3269
									FAX番号	097-506-1753
									E-mail	jimukyoku@medical-valley.jp
									HP_URL	https://medical-valley.jp/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　鹿児島県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	鹿児島市新産業創出支援事業補助金	鹿児島市	次のいずれかに該当すると認められる新たなサービス・製品を開発する事業。 (1) 健康寿命の延伸や地域包括ケアシステムの構築に資する新たなヘルスケアサービスや製品を創出する取組 (2) 既存の事業分野と、新たな技術や異なる事業分野とのかけ合わせにより、新たなサービスや製品を創出する取組	「ヘルスケア産業部会」又は「新事業展開部会」の会員であって、鹿児島市内に本社若しくは主たる事務所を有する法人又は本市に住所を有する個人などの条件を満たす者	限度額：1件あたり200万円（1年目：100万円以内、2年目100万円以内） 補助率：補助対象経費の1/2以内（産学連携や会員同士の連携は2/3以内）	令和5年4月10日～7月28日(延長)	新規採択件数：1件 R4年度からの継続：2件 総額（予定）：3,000,000円	新規採択件数：2件 総額：1,535,000円	部署	産業局産業振興部産業創出課
									担当者	
									電話番号	099-216-1319
									FAX番号	099-216-1303
									E-mail	san-sousyutu@city.kagoshima.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/shinsangyo/shokai.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

介護機器の開発に係る助成制度　　全国　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	2023年度「SBIR推進プログラム」（一気通貫型）	国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	本事業は、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律の規定により定められた、指定補助金等の交付等に関する指針に基づき、多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等の研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目的として、内閣府が司令塔となって、省庁横断的に実施する「日本版SBIR（Small Business Innovation Research）制度」の一翼を担うものです。 関係府省庁等が実施する研究開発課題や研究開発フェーズは、国により決定され、研究開発の初期段階（POC、FS）をフェーズ1、実用化開発支援をフェーズ2として、多段階選抜方式を導入した継続支援を本事業内でのみ実施する「一気通貫型」、或いは、関係府省庁等で実施する指定補助金等事業へ接続する「連結型」の2つの方法で実施します。本公募では、「一気通貫型」の研究開発課題の公募となります。	中小企業者又は中小企業としての組合等（詳細は公募要領をご確認ください）	【フェーズ1】①期間：1年間以内、②1テーマ定額助成費：20百万円以内、③NEDO助成率：定額助成 、④内容：研究開発課題「高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発」を解決する技術シーズを持つスタートアップ等が概念実証(POC)・実現可能性調査(FS) などの基盤研究を実施します。 【フェーズ2】①期間：2年間以内、②1テーマ規模：150百万円以内、③NEDO助成率：2/3以内、④内容：研究開発課題「高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発」のPOC・FSを完了したスタートアップ等が実用化研究開発を実施します。 なお、研究開発課題の対象は、高齢者、障害者及び介護者を指します。 （詳細は公募要領をご確認ください）	2023年3月31日（金）～2023年5月10日（水）正午 ＜2023年度公募は終了致しました。2024年度公募については未定です。＞	（2023年度「SBIR推進プログラム」（一気通貫型）全体として） 採択件数：19件 総額：780百万円（予定）	（SBIR推進プログラム全体として） 採択件数：10件 総額：150百万円	部署	イノベーション推進部プラットフォームグループ
									担当者	
									電話番号	
									FAX番号	
									E-mail	sbir-r3@nedo.go.jp
									HP_URL	https://www.nedo.go.jp/

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
2	2023年度「SBIR推進プログラム」（連結型）	国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	本事業は、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律の規定により定められた、指定補助金等の交付等に関する指針に基づき、多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等の研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目的として、内閣府が司令塔となって、省庁横断的に実施する「日本版ＳＢＩＲ（Small Business Innovation Research）制度」の一翼を担うものです。 関係府省庁等が実施する研究開発課題や研究開発フェーズは、年度毎に、内閣府ガバニングボードにより決定され、研究開発の初期段階（POC、FS）をフェーズ1、実用化開発支援をフェーズ2として、多段階選抜方式を導入した継続支援を本事業内でのみ実施する「一気通貫型」、或いは、関係府省庁等で実施する指定補助金等事業へ接続する「連結型」の2つの方法で実施します。本公募では、「連結型」の研究開発課題の公募となります。	中小企業者又は中小企業としての組合等（詳細は公募要領をご確認ください）	【フェーズ1】①期間：1年間以内、②1テーマ定額助成費：15百万円以内、③NEDO助成率：定額助成、④内容：研究開発課題「多様化する障害像を踏まえた汎用性のある自立支援機器の開発」を解決する技術シーズを持つスタートアップ等が概念実証(POC)・実現可能性調査(FS)などの基盤研究を実施します。 （詳細は公募要領をご確認ください）	2023年6月30日（金）～2023年7月31日（月）正午 ＜2023年度公募は終了致しました。2024年度公募については未定です。＞	（2023年度「SBIR推進プログラム」（連結型）全体として）採択件数：8件　総額：120百万円（予定）	（第二回SBIR推進プログラム全体として）採択件数：3件 総額：35百万円	部署	イノベーション推進部プラットフォームグループ
									担当者	
									電話番号	
									FAX番号	
									E-mail	sbir-r3@nedo.go.jp
									HP_URL	https://www.nedo.go.jp/

←目次に戻る

全国

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット等導入支援事業	北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課	介護従事者の負担軽減及び介護業務の効率化に資する介護ロボット・ICTの購入等の経費について、予算の範囲内で補助する。	介護保険法に基づく介護サービス事業者の指定・許可を受けた北海道内に所在する事業所	介護ロボット・ICTの購入、リース契約に係る経費とし、保険料、消費税及び地方消費税は含まないものとする。	2023年10月2日～10月31日	採択件数：未定 総額（予算）： 1,380,133,000円	採択件数：467件 総額： 759,809,000円 ※令和５年度に繰越した分は除く	部署	高齢者保健福祉課介護人材係
									担当者	
									電話番号	011-204-5272
									FAX番号	011-232-8308
									E-mail	hofuku.kouhuku1@pref.hokkaido.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/index.html
2	介護サービス提供基盤等整備事業費補助金 （介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入支援）	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課	介護施設等の大規模修繕の際に介護ロボット・ICTをあわせて導入する場合に、以下の項目について助成する。 ・介護ロボットにより、介護環境の改善に即効性を持たせるとともに、広く一般に介護事業所による導入が可能となるよう先駆的な取り組みを実施するための経費に対し助成する。 ・介護分野におけるICT化を抜本的に進めるため、ICTを活用して介護記録から請求業務までが一気通貫となること等を要件として、介護ソフト及びタブレット端末等を導入するための経費に対し助成する。	次の施設等の配置予定者 1　特別養護老人ホーム及び併設されるショートステイ（定員30人以上） 2　介護老人保健施設（定員30人以上） 3　介護医療院（定員30人以上） 4　特定施設入居者生活介護の指定を受けるケアハウス（定員30人以上） 5　養護老人ホーム（定員30人以上） 6　介護付きホーム（定員30人以上）	介護ロボット・ICTの購入、リース契約に係る経費。 補助率は定額。	2023年３月８日～４月７日	採択件数：３件 総額（予定）： 118,523,000円	採択件数：1件 総額：33,550,000円	部署	高齢者保健福祉課基盤整備係
									担当者	
									電話番号	011-206-6974
									FAX番号	011-232-8308
									E-mail	hofuku.kouhuku1@pref.hokkaido.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/index.html
3	介護サービス提供基盤等整備事業費交付金 （介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入支援）	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課	介護施設等の大規模修繕の際に介護ロボット・ICTをあわせて導入する場合に、以下の項目について助成する。 ・介護ロボットにより、介護環境の改善に即効性を持たせるとともに、広く一般に介護事業所による導入が可能となるよう先駆的な取り組みを実施するための経費に対し助成する。 ・介護分野におけるICT化を抜本的に進めるため、ICTを活用して介護記録から請求業務までが一気通貫となること等を要件として、介護ソフト及びタブレット端末等を導入するための経費に対し助成する。	市町村	1　介護ロボット・ICTの購入、リース契約に係る経費。 2　上記１の経費を対象として、事業者に交付する補助金。 補助率は定額。	2023年３月８日～４月７日	採択件数：18件 総額（予定）： 275,918,000円	採択件数：2件 総額：29,703,000円 ※令和５年度に繰越した分は除く	部署	高齢者保健福祉課基盤整備係
									担当者	
									電話番号	011-206-6974
									FAX番号	011-232-8308
									E-mail	hofuku.kouhuku1@pref.hokkaido.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/index.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　青森県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業 （地域医療介護総合確保基金）	青森県	・介護ロボットの導入に関する費用の助成	県内の介護事業所	介護ロボット ・補助率（1/2または3/4）。上限額は導入機器によって異なる。	令和5年9月15日（金）～ 令和5年10月20日（金）	採択件数 未定 総額（予定） 70,200,000円	採択件数： 18件 総額： 69,960,000円	部署	高齢福祉保険課
									担当者	
									電話番号	017-734-9297
									FAX番号	017-734-8090
									E-mail	
									HP_URL	青森県社会福祉協議会 HP内で案内

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　岩手県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	令和５年度介護ロボット等導入支援事業	岩手県	介護従事者が継続して就労するための環境整備を図るため、身体的負担の軽減や業務の効率化に資する介護ロボット又はICTを導入する経費に対し、補助を行う	岩手県内で介護サービス事業所を運営するもの	介護事業所が介護ロボット・ＩＣＴを導入（購入・レンタル）する経費等を補助するもの。補助金額の上限及び補助率は原則として国の要綱に準じる。	令和５年10月５日～10月31日	予算： 154,005,300円	採択件数： 39法人 総額： 107,193,000円	部署	長寿社会課
									担当者	
									電話番号	019-629-5441
									FAX番号	019-629-5444
									E-mail	AD0005@pref.iwate.jp
									HP_URL	https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/fukushi/kaigo/1003676.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　宮城県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット・ＩＣＴ導入支援事業	宮城県保健福祉部長寿社会政策課介護人材確保推進班	介護ロボット・ＩＣＴの導入による介護職員の負担軽減と介護職の魅力向上を図るため、事業者における機器導入等への補助を行うもの。	宮城県内において介護サービス事業所を運営する者	介護事業所が介護ロボット・ＩＣＴを導入（購入・レンタル）する経費等を補助するもの。補助金額の上限及び補助率は原則として国の要綱に準じる。	令和5年5月19日～6月30日	予算212,300千円 採択法人数：60（127施設） 総額：212,229千円	採択法人数：48（96施設） 補助金総額：195,300千円	部署	保健福祉部長寿社会政策課介護人材確保推進班
									担当者	
									電話番号	022－211－2554
									FAX番号	022－211－2596
									E-mail	choujuz@pref.miyagi.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/chouju/r5kaigo-dounyu.html
2	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援事業	宮城県保健福祉部長寿社会政策課施設支援班	介護施設等において大規模修繕を実施する際に、介護ロボット導入支援事業及びICT導入支援事業において対象となっている機器等を導入するために必要な経費について支援	・特別養護老人ホーム及び併設されるショートステイ用居室 ・介護老人保健施設 ・介護医療院 ・ケアハウス ほか	介護施設等の大規模修繕の際に併せて行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費を補助するもの。 対象とする機器、補助上限額は原則として国の要綱に準じる。	令和5年7月～8月	予算402,996千円 採択法人数（予定）：5（6施設）	採択法人数：３（５施設） 補助金総額：78,994千円	部署	保健福祉部長寿社会政策課施設支援班
									担当者	
									電話番号	022-211-2549
									FAX番号	022-211-2596
									E-mail	choujut2@pref.miyagi.lg.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　秋田県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット等導入支援事業費補助金	秋田県	介護従事者の負担軽減や業務の効率化による職場定着を支援するため、介護ロボット等を導入する介護サービス事業者に対して導入経費を補助する。	秋田県内の介護サービス事業者	介護ロボット（ＩＣＴ機器）導入に要する経費 補助率：１／２又は３／４ 上限額：１事業所当たり３００万円等	Ｒ５．７月	予算総額 150,000千円	採択件数：37件 実績額：66,625千円	部署	健康福祉部長寿社会課
									担当者	
									電話番号	018－860－1364
									FAX番号	018－860－3867
									E-mail	kato-daiki@pref.akita.lg.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　山形県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	令和５年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金	山形県健康福祉部高齢者支援課	介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備をする際の経費の一部を助成	介護保険法に基づく指定又は許可を受けた山形県内の介護サービス事業所を運営する者	事業所ごとに、事業に要する経費の1/2を乗じた額と、次の対象区分に応じた補助上限額とを比較して少ない方の額を、１法人につき1,000万円を上限に補助する。 （１）介護ロボット（１機器につき） 移乗支援、入浴支援：補助上限額100万円 移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション支援、介護業務支援：補助上限額30万円 （２）見守り機器の導入に伴う通信環境整備（１事業所につき）：補助上限額750万円	令和５年７月27日～ 令和５年８月28日	総額（予定）： 73,065,000円	採択件数： 25件 総額： 56,536,000円	部署	高齢者支援課
									担当者	
									電話番号	023-630-2189
									FAX番号	023-630-3321
									E-mail	ykorei@pref.yamagata.jp
									HP_URL	https://www.pref.yamagata.jp/kenfuku/koreisha/robot/index.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業（介護支援ロボット導入促進）	福島県保健福祉部高齢福祉課	高齢者介護施設・事業所等における福島県産介護支援ロボットの導入に対し、費用の一部を補助する。	福島県内の高齢者施設・事業者等	対象機器は公募により決定 令和5年度は以下の機器 ・HAL®腰タイプ ・マッスルスーツ®Every、GS-BACK ・Keipu-Sb ・「移乗です」 上記の介護支援ロボットの導入初年度の購入に要する経費について、3/4以内を補助。	令和５年9月29日～令和５年11月30日17：00	総額（予定）： 12,627,000円	採択件数： 4台 総額： 735,000円	部署	福島県高齢福祉課
									担当者	
									電話番号	024-521-7533
									FAX番号	024-521-7748
									E-mail	kourei-kaigorobot@pref.fukushima.lg.jp
									HP_URL	https://fmddsc.jp/expansion/expansion-support-04/
2	ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業（介護ロボット導入支援事業）	福島県保健福祉部高齢福祉課	介護ロボット導入による労働負担軽減の取り組みを支援する。	福島県内の介護事業所（介護保険法に基づく全サービスを対象とする）	介護支援ロボット 移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援1,000千円/台以内 上記以外300千円/台以内 （補助率は1/2以内）（少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの３点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している場合3/4以内）	令和5年10月2日～令和5年10月31日17:00	総額（予定）： 55,000,000円	採択件数： 56事業所 総額： 84,682,000円	部署	福島県高齢福祉課
									担当者	
									電話番号	024-521-7533
									FAX番号	024-521-7748
									E-mail	kourei-kaigorobot@pref.fukushima.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21025c/r5kaigorobot.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　茨城県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	ロボット介護機器普及支援事業	茨城県	介護現場へのロボット介護機器の導入による介護従事者の負担軽減や雇用環境の改善により、働きやすい介護の職場づくりを推進する。	茨城県内にある、介護保険サービスの指定を受けている施設・事業所	補助率は1/2。補助上限額は1台につき30万円とする。 なお、見守り機器導入にかかる通信環境整備費は750万円を上限とする。	2023/5/12～2023/6/15	導入台数： 未定 総額（予定）： 46,304千円 （ロボット・ICT合わせた総額は81,354千円）	導入台数： 604台 総額： 50,435千円 （ロボット・ICT合わせた総額は80,781千円）	部署	長寿福祉課
									担当者	
									電話番号	029-301-3343
									FAX番号	029-301-3348
									E-mail	chofuku6@pref.ibaraki.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chofuku/shisetsu/kaigorobottodounyuusiennzigyou.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　栃木県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	栃木県	介護ロボット導入支援事業、見守り機器の導入に伴う通信環境整備の補助	県内の介護サービス事業者	国の実施要綱に準じるが、補助上限額、補助率は以下のとおり。 ○介護ロボット機器 １機器につき導入経費の２分の１（補助限度額30 万円） ○通信環境整備 １事業所につき整備経費の２分の１（補助限度額150 万円）	令和５年４月３日～令和５年５月31日	介護ロボット 予算 26,400千円	採択件数：18件 総額：19,545千円	部署	保健福祉部高齢対策課 介護サービス班(介護人材)
									担当者	
									電話番号	028-623-3147
									FAX番号	028-623-3058
									E-mail	kaigojinzai@pref.tochigi.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.tochigi.lg.jp/e03/kaigozinzaikakuho.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　群馬県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット等導入支援事業	群馬県	介護施設・事業所が行う介護ロボット等の導入に要する経費の一部を補助	介護保険法に基づくサービスを行う介護施設・事業所	国の実施要綱に準じるが、補助上限額、補助率等は以下のとおり。 ◆介護ロボット機器 ・１機器につき、a又はbのいずれか低い額 a 所要経費の3/4または1/2 b 移乗支援、入浴支援：100万円 その他機器：30万円 ・前年度までの補助台数を含め、利用者定員数の２割（小数点以下切り上げ）を補助上限台数とする。 ◆通信環境整備 ・１事業所につき、a又はbのいずれか低い額 a 整備経費の3/4または1/2 b 150 万円 ・１事業所１回の補助 ◆ICT機器導入 ・1事業所につき、a又はbのいずれか低い額 a 補助対象経費の3/4又は1/2 b 職員数1~10名→1,000,000円 職員数11~20名→1,600,000円 職員数21~30名→2,000,000円 職員数31名～→2,600,000円 ・原則として1事業所1回の補助	R5.8.30~R5.9.29	採択件数：722件 総額（予定）： 84,302,000円	採択件数： 161件 総額： 81,086,000円	部署	健康福祉課福祉人材確保対策室
									担当者	
									電話番号	027-226-2564
									FAX番号	ー
									E-mail	kaigo-kakuho@pref.gunma.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.gunma.jp/site/kaigojinzai/2301.html
2	群馬県介護基盤等整備事業費補助金（介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入支援）	群馬県	介護施設等において、大規模修繕（助成を受けているかは問わない。）を実施する際に、介護ロボット・ＩＣＴ機器を導入するために必要な経費を支援（実施期間：令和5年度までの予定）	・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護付ホーム等の対象施設の整備事業を行う社会福祉法人その他の法人 ・認知症高齢者グループホーム等の対象施設の整備事業に対して補助を行う市町村	・大規模修繕を実施する際に、あわせて行う、介護ロボット・ＩＣＴ機器の導入に必要な経費が対象 ・定員数に458千円を乗じた額の範囲で補助（定額）	前年度の要望調査により、決定済。	採択件数： 9件 総額（予定）： 277,200千円	採択件数:4件 総額：65,844千円 （繰越含む）	部署	健康福祉部介護高齢課保健・居住施設係
									担当者	
									電話番号	027-226-2566
									FAX番号	027-223-6725
									E-mail	kaigo-kiban@pref.gunma.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.gunma.jp/02/d2300293.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット普及促進事業	埼玉県高齢者福祉課	介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備をする際の経費の一部を助成 介護ロボット： 日常生活支援における①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボットであること。 見守り機器の導入に伴う通信環境整備： （1）Wi-Fi環境を整備するために必要な経費 （2）職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのインカム （3）介護ロボット機器を用いて得られる情報を介護記録にシステム連動させるために必要な経費	介護保険法に基づく指定又は許可を受けた埼玉県内に所在する介護サービス事業者	1機器につき、a又はbのいずれか低い額。 a 所要経費の3/4 b 移乗支援、入浴支援：100万円 見守り機器（導入に併せて実施する通信環境整備費を含む）：30万円 その他機器：30万円 ※　申請総額が予算を超えた場合、上記のとおり交付できないことがある	令和5年6月28日～7月31日	予算 42,600千円	交付件数 46件 交付額 41,506千円	部署	高齢者福祉課施設整備担当
									担当者	
									電話番号	048-830-3260
									FAX番号	048-830-4781
									E-mail	a3240-06@pref.saitama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/kaigo-net/robot/saitama.html
2	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入支援	埼玉県高齢者福祉課	介護施設等において大規模修繕（助成を受けているかは問わない。）を実施する際に、県が実施する介護ロボット導入支援事業又はＩＣＴ導入支援事業において対象となっている機器等を導入するために必要な経費を県が補助する事業	埼玉県内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等	補助対象となる介護ロボット等は介護ロボット普及促進事業及びＩＣＴ導入支援事業に準じる 補助上限額： 定員30名以上の広域型施設等の場合 施設定員1人あたり420千円 ※　申請総額が予算を超えた場合、上記のとおり交付できないことがある（地域密着型施設に関しては埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金交付要綱参照）	令和5年6月28日～7月31日	予算 426,900千円	交付件数 29件 交付額 305,522千円	部署	高齢者福祉課施設整備担当
									担当者	
									電話番号	048-830-3260
									FAX番号	048-830-4781
									E-mail	a3240-06@pref.saitama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/korei-seibi/r4-robot-bosyu.html
3	さいたま市地域密着型サービス等整備助成事業費補助金 （介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入支援）	さいたま市福祉局長寿応援部介護保険課	大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入費用を助成する。	さいたま市内の地域密着型特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所等	定員数に420千円乗じた額の範囲で市長が定める額	前年度調査により、決定済	採択件数： 1件 総額（予定）： 7,560,000円	令和5年度新規事業	部署	福祉局長寿応援部介護保険課事業者係
									担当者	
									電話番号	048-829-1265
									FAX番号	048-829-1981
									E-mail	kaigo-hoken@city.saitama.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.saitama.jp/005/001/018/010/p091876.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　千葉県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金	千葉県	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図ることなどを目的とし、県内に所在する介護サービス事業者等が介護ロボットを導入するために要する経費について補助	県内に所在する民間の介護サービス事業者等	（範囲） 介護ロボット導入に係る経費の1/2を補助（上限額あり）。申請件数に応じてさらに補助率を下げた。【令和３，４年度】 （条件） 介護ロボット導入計画に基づき、導入により得られた効果に関するデータ等について、定期的に県へ報告する。	令和5年6月15日（木曜日）から令和5年7月14日（金曜日）	予算額：84,000千円	採択件数：81件件（うち廃止4件、次年度への繰越17件） 総額： 確定29,520千円 未確定：13,976千円	部署	高齢者福祉課法人支援班
									担当者	
									電話番号	043-223-2593
									FAX番号	043-227-0050
									E-mail	ー
									HP_URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/kfk/fukushi/koureisha/service/index.html
2	千葉県コミュニケーションロボット導入支援事業費補助金	千葉県	介護事業所における入所者・利用者のＡＤＬ（日常生活動作）やＱＯＬ（生活の質）の維持・向上を図るモデルとなる取組に要する経費について補助	(千葉市所在を除く)1 通所介護事業所、2 地域密着型通所介護事業所、3 療養通所介護事業所、4 認知症対応型通所介護事業所、5 通所リハビリテーション事業所、6 小規模多機能型居宅介護事業所（通い・宿泊サービスに限る。）、7 看護小規模多機能型居宅介護事業所（通い・宿泊サービスに限る。）、8 短期入所生活介護事業所、9 短期入所療養介護事業所、10 介護老人福祉施設、11 地域密着型介護老人福祉施設、12 介護老人保健施設、13 介護医療院、14 介護療養型医療施設、15 認知症対応型共同生活介護事業所、16 養護老人ホーム、17 軽費老人ホーム、18 有料老人ホーム、19 サービス付き高齢者向け住宅	（範囲） 1台につき補助対象経費の5分の4を補助する。居宅系1事業所あたり1台とする。施設系は利用定員50名以下1台、51名以上2台まで補助。	令和5年6月15日（木曜日）から令和5年7月14日（金曜日）	予算額：80,000千円	新規事業（継続予定なし）	部署	高齢者福祉課法人支援班
									担当者	
									電話番号	043-223-2350
									FAX番号	043-227-0050
									E-mail	ー
									HP_URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/kaigorobot/index-2.html
3	大規模修繕時介護ロボット・ＩＣＴ導入支援事業	千葉市	大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入費用を助成する。	千葉市内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等	定員数に458千円を乗じた額の範囲で市長が定める額	前年度調査により、決定済（今年度、新規の受付は予定していない）	件数：7件（予定） 総額（予定）	採択件数：5件 総額：91,730千円	部署	介護保険管理課
									担当者	
									電話番号	043-245-5206
									FAX番号	043-245-5623
									E-mail	kaigohokenkanri.HWS@city.chiba.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/kaigohokenkanri/robot/daikiborobot_syukusya.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介現現場改革促進等事業 次世代介護機器導入促進支援事業	東京都 (一部事務を公益財団法人東京都福祉保健財団へ委託)	移乗介護、移動支援、見守り・コミュニケーション、見守り支援機器導入に伴う通信環境整備等の機器の購入等に係る経費の補助	介護保険法に基づく介護サービスを提供する、東京都内に所在する介護施設・事業所 ※メニューにより対象となるサービス種別は異なる。	○次世代介護機器導入支援事業費補助 【補助内容】 ・移乗介護・入浴支援 補助基準額1,334千円 補助率3/4 ・移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、　介護業務支援 補助基準額600千円 補助率1/2 ○次世代介護機器導入推進事業費補助 【補助内容】 ・移乗介護・入浴支援 補助基準額1,334千円 補助率7/8 ・移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、介護業務支援 補助基準額600千円 補助率3/4 ・公益財団法人東京都福祉保健財団が実施する「アドバンストセミナー」への参加、「公開見学会」等への協力が条件 ○見守り支援機器および通信環境の一体的整備事業 【補助内容】 ・見守り支援機器 補助基準額600千円 補助率1/2 ・見守り支援機器の導入に伴う通信環境整備 補助基準額15,000千円(法人内全事業所合計) 補助率1/2 ・法人単位の申請、過年度に補助を受けた法人は翌年度以降補助対象外	6月～7月頃	支援事業140件 推進事業20件 一体的整備事業85件 総額1,516,680千円	支援事業151件 推進事業20件 一体的事業43件 総額828,538千円	部署	福祉保健局高齢社会対策部介護保険課
									担当者	
									電話番号	03-5320-4267
									FAX番号	
									E-mail	Riku_Ohtsuka@member.metro.tokyo.jp
									HP_URL	https://www.fukushizaidan.jp/206genbakaikaku/jisedai/

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　神奈川県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業補助	神奈川県高齢福祉課	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化が期待できる介護ロボットについて、導入に係る経費の助成を行う	神奈川県内に所在する、介護保険法による指定又は許可を受けている居宅サービス事業者（居宅療養管理指導、福祉用具貸与及び特定福祉用具販売を除く。）、地域密着型サービス事業者及び介護保険施設の開設者 （居宅介護支援事業者、介護予防サービス事業者、地域密着型介護予防サービス事業者及び介護予防支援事業者は対象外。）	介護サービス事業所等での移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面において使用することで、効率化や負担軽減などの効果がある介護ロボット 神奈川県の介護ロボット導入支援事業費補助金交付要領で定める目的要件・技術的要件・市場的要件を満たすこと １機器につき導入に係る費用の1/2又は3/4を補助	2023/6/12 ～ 2023/6/30	補助件数：50件 総額（予定）： 400,344,000円	補助件数：99件 総額： 359,036,000円	部署	高齢福祉課
									担当者	
									電話番号	045-210-1111（内線4853）
									FAX番号	045-210-8874
									E-mail	fshisetsu.508@pref.kanagawa.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f420373/p1075201.html
2	ロボット導入支援補助金	神奈川県産業振興課	「さがみロボット産業特区」で商品化されたロボットの導入経費を補助 ※介護ロボットに限りません	① 県内に事務所又は事業所を有する法人・個人事業者等(地方公共団体等を含む) ② 神奈川県内に在住している個人 ③①・②にロボットを貸与するため、ロボットを購入するリース業者・レンタル業者	対象ロボット さがみロボット産業特区の取組を通じて商品化されたロボット 補助金額 ロボット１台ごとに導入経費(※)の１/３ ※購入の場合：本体価格+対象付属品等の価格、 ロボット製造元等から貸与を受ける場合：当該年度のおける賃料総額（本体価格+対象付属品等の価格） 主な補助の条件 年度内の補助の上限 １申請者当たりの補助上限額　100万円、補助上限台数　10台 補助条件 ロボット導入支援補助金交付要領で定める要件を満たす事業（導入）計画であること	2023/5/31 ～ 2024/1/31	補助件数：未定 総額（予定）： 8,965,000円	補助件数：26件 総額： 3,165,000円	部署	産業振興課
									担当者	
									電話番号	045-210-5652
									FAX番号	045-210-8871
									E-mail	okawa.db67@pref.kanagawa.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sr4/robot-donyu-hojo.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
3	川崎市公的介護施設等整備費補助金（介護施設等の大規模修繕の際にあわせて介護ロボット・ICTを導入する事業）	川崎市	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費を助成	市内で介護施設等を運営する法人	【補助対象経費】 介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費 【補助率】 10/10 【補助基準額】 定員×294千円	決定済み	採択件数：8件 総額（予定）： 295,697,000円	採択件数：10件 総額： 343,705,000円	部署	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課
									担当者	
									電話番号	044-200-2652
									FAX番号	044-200-3926
									E-mail	40kosui@city.kawasaki.jp
									HP_URL	
4	川崎市福祉製品導入促進補助金	川崎市	かわさき基準（ＫＩＳ）認証福祉製品（認証期間内に限る）を市内の事業所に設置又は配置する際に必要な経費を助成	市内に福祉・介護事業所等を有する法人又は団体（市内に事業所を有して１年以上、同一事業を行っていること）	【補助対象経費】 購入費又は借受料、運搬費、設置又は配置にかかる工事費 【補助率】 １／２以下 【補助限度額】 ３０万円 【条件】 ・認証製品の購入又は３か月以上の借受けであって、かつ、補助対象経費の総額が６万円以上 ・同一製品の導入は１つまで、等	令和5年4月17日(月)から令和6年1月31日(水)まで	採択件数：未定 総額（予定）： 1,500,000円	採択件数：7件 総額：903,000円	部署	経済労働局イノベーション推進部
									担当者	
									電話番号	044-200-2513
									FAX番号	044-200-3920
									E-mail	28innova@city.kawasaki.jp
									HP_URL	https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000150252.html
5	横浜市介護ロボット等導入支援事業費補助金	横浜市健康福祉局高齢健康福祉課	介護ロボット等を導入する経費を助成することにより、介護従事者の負担軽減や働きやすい職場環境の整備を図る	市内特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホーム、ショートステイ等	補助金額：経費の９/10（上限45万円） 対象機器：見守り支援・排泄支援・介護業務支援において使用される機器、ポータブル翻訳機 補助条件：補助年度に介護職員を新たに雇用すること。ポータブル翻訳機は外国人を２名以上。それ以外は中高齢者、又は外国人を２名以上。	令和５年５月１日～令和５年12月22日	40件 18,000,000円	13件 5,736,000円	部署	健康福祉局高齢健康福祉課
									担当者	
									電話番号	045-671-3920
									FAX番号	045-550-3613
									E-mail	kf-zinzai@city.yokohama.jp
									HP_URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/shigoto/kaigo/zinzaikakuho.html
6	横浜市介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入支援事業費補助金	横浜市健康福祉局高齢施設課	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入に必要な経費を助成（令和３～５年度までの時限事業）	市内で介護施設等を運営する法人	【補助対象経費】 介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ＩＣＴの導入に必要な経費 【補助基準額】 定員一人あたり420千円 ※令和５年度については定員一人あたり294千円	令和４年度の意向調査により決定済み	採択件数：未定 総額（予算額）： 3,495,600,000円	採択件数： 34件 総額： 1,303,149,000円	部署	健康福祉局高齢施設課
									担当者	
									電話番号	045-671-4119
									FAX番号	045-641-6408
									E-mail	kf-tokuyouseibi@city.yokohama.jp
									HP_URL	なし

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　新潟県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	新潟県介護DX推進事業介護ロボット導入支援補助金	新潟県	介護ロボット等の導入を支援することにより、介護ロボットの本格的な導入を促進し、介護従事者の負担軽減を図るとともに、介護従事者が継続して就労するための環境整備を図るため、介護ロボットの導入に要する経費を補助する。	次の①～③を満たす者 ①介護保険法に基づく指定等を受けている事業所 ②新潟県内に所在する事業所 ③新潟県から補助を受けて介護ロボットを導入した実績がない事業所	・目的要件、技術的要件、市場的要件を満たす介護ロボット ・見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費 ・総費用の1/2を補助（補助上限額あり）	令和5年12月8日（金）まで ※申請期限前であっても、予算の上限に達した場合は受け付けを終了する。	採択件数： 86件 総額（見込）： 49,000千円	採択件数： 50件 総額： 20,474千円	部署	新潟県高齢福祉保健課
									担当者	
									電話番号	025－280－5272
									FAX番号	025－280－5229
									E-mail	
									HP_URL	https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kourei/kaigorobot2023.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　富山県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入促進事業	富山県厚生部高齢福祉課	介護ロボット機器等を導入することで業務改善を図る事業者に対し、介護ロボット機器導入経費を補助	富山県内において介護保険サービスを提供する指定事業者又は施設開設者 ※処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを取得していること ※科学的介護情報システム（LIFE)による情報収集に協力すること	【補助率】1/2（一定の要件を満たす事業所については3/4） 【補助限度額】 (1)介護ロボットの購入、リース等にかかる経費 ・移乗支援又は入浴支援⇒1機器につき100万円 ・上記以外⇒1機器につき30万円 (2)見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費⇒1事業所につき100万円 ※１法人あたりの補助総額上限：200万円	令和5年7月28日～令和５年9月14日	予算： 40,000,000円	採択件数： 27件 総額： 39,861,000円	部署	高齢福祉課
									担当者	
									電話番号	076-444-3272
									FAX番号	076-444-3492
									E-mail	koki.sakamoto@pref.toyama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.toyama.jp/1211/kurashi/kenkou/koureisha/robot.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　石川県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護施設ICT・ＩｏＴ導入促進事業	石川県	介護事業所でのICT・IoT機器の導入に係る経費について助成	石川県内の介護事業所（介護保険法に基づく全サービス）	申請時点でICT・IoT機器導入に係る検討チームを組織し検討を行い、そのメンバー1名以上が、石川県が開催する養成研修に参加できること 【補助率】 一定の要件を満たす場合、4分の3（満たさない場合、2分の1） 【補助限度額】 ICT：750千円（500千円）/事業所 IoT：移乗支援機器、入浴支援機器900千円（600千円）/台、その他の機器300千円（200千円）/台 【IoT機器の補助限度台数】施設系は定員の10分の1、在宅系は定員等の20分の1	第1回：2023年8月10日 ～9月11日	採択件数： 160件程度 総額（予定）： 183,000千円	採択件数： 135件 総額： 94,794千円	部署	健康福祉部長寿社会課
									担当者	
									電話番号	076-225-1416
									FAX番号	076-225-1418
									E-mail	kaigo@pref.ishikawa.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ansin/ict-iot.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　山梨県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	山梨県テクノロジーを活用した業務効率化事業費補助金	山梨県	介護ロボット導入、見守り機器の導入に伴う通信環境整備及びICT導入に要する費用を支援	山梨県内に所在する介護保険事業所（山梨県テクノロジーを活用した業務効率化事業費補助金交付要綱別表に定める施設、事業所）	介護ロボット導入費、見守り機器の導入に伴う通信環境整備及びICT導入に伴う費用を補助	2023年9月11日～10月10日	未定	採択件数： 3件	部署	福祉保健部健康長寿推進課
									担当者	
									電話番号	055-223-1451
									FAX番号	055-223-1469
									E-mail	chouju-kiban-chousa@pref.yamanashi.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.yamanashi.jp/chouju/technology_model.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　長野県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	長野県	介護ロボットの導入に係る経費を助成	県内介護サービス事業者	介護職員の負担を軽減する介護ロボット 3年間効果の検証を行い報告すること また、他の施設等からの視察など、照会にも応じること 総費用の1/2を補助（1台当たり30万円を上限。1事業所当たり利用定員の2割までの台数制限あり。）	前年度の要望調査により決定済み	採択件数： 18件 総額： 21,440,000円	採択件数： 6件 総額： 6,823,000円	部署	介護支援課
									担当者	
									電話番号	026-235-7129
									FAX番号	026-235-7394
									E-mail	kaigo-jinzai@pref.nagano.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kaigo-shien/jinzai/kaigorobottop.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　岐阜県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	岐阜県介護ロボット導入促進事業費補助金	岐阜県	介護人材の確保のため、働きやすい職場環境の構築に有効性の高い介護ロボットの導入に対して補助を実施	介護保険法（平成９年法律第１２３号）に基づくサービス（ただし、居宅療養管理指導、福祉用具貸与、特定福祉用具販売及び居宅介護支援・介護予防支援除く。）を提供する岐阜県内に所在する事業所を運営する者	・介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備（「岐阜県介護ロボット導入促進事業費補助金交付要綱」に定義するもの） ・一定の要件を満たす事業所は３/4 それ以外の事業所は１/２	令和5年8月24日（木）から令和5年9月19日（火） 【受付終了】	採択件数：未定 総額： 174,840,000円 （予定）	採択件数： 60件 総額： 122,886,000円	部署	高齢福祉課
									担当者	
									電話番号	058-272-8289
									FAX番号	058-278-2639
									E-mail	c11215@pref.gifu.lg.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護分野ICT化等事業費補助金（介護ロボット導入支援事業）	静岡県	原則、国の実施要綱に沿った内容で実施	静岡県内に所在し、介護保険法（平成９年法律第123号）に基づき指定又は許可を受けた事業所等	原則、国の実施要綱に沿った内容で実施	令和５年８月22日～９月22日	290,000千円 ※ICT導入支援事業メニューとの合算	110件(事業所数) 86,369千円	部署	静岡県介護保険課
									担当者	
									電話番号	054-221-2084
									FAX番号	254-221-2142
									E-mail	kaigohoken@pref.shizuoka.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-220/jinzai/ict/r3hojyokin.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　愛知県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	愛知県福祉局高齢福祉課	地域医療介護総合確保基金を活用し、介護事業所における介護ロボットの導入にかかる経費を補助する。	愛知県内に所在する介護保険に基づく指定介護サービス事業所及び施設の開設者。	（範囲） ・日常生活支援における、移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボット。 ・次の１又は２のいずれかを満たすロボットであること。 １　センサー等により外界や自己の状況を認識し、これによって得られた情報を解析し、その結果に応じた動作を行い、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する介護ロボット。 ２　経済産業省の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」又は「ロボット介護機器開発・標準化事業」において採択された介護ロボット。 ・販売価格等が公表されており、一般に購入又はリース等できる状態にあること。 ・見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境整備に係る経費 ・ロボット１機器当たり（通信環境整備の場合は、１事業所当たり）3/4（※）または1/2を補助（補助上限額あり） ※一定の要件を満たす場合、補助率を3/4とする。 （条件） ・介護ロボット等の導入計画書を作成すること。 ・介護ロボットの１回当たりの限度台数は、知事が必要と認める台数。 ・通信環境の整備は、１事業所につき１回の補助。	2023年8月31日～9月29日 事前協議受付、 内示を受けた事業所のみ申請受付。 12月中に内示予定。	総額（予定） 328,925,000円	採択件数：1,893台・式 総額： 302,952,000円	部署	高齢福祉課
									担当者	
									電話番号	052-954-6814
									FAX番号	052-954-6919
									E-mail	korei@pref.aichi.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/korei/

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　三重県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	三重県	介護ロボットを導入する際の経費、及び見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境を整備するための経費について一部を補助	三重県内に所在し介護保険法（平成９年１２月１７日法律第１２３号）第８条（第６項、第１２項及び第１３項を除く。）に掲げる事業を行う事業所及び施設であって、次に掲げる要件を全て満たすもの。 ・ 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等の ICT 機器、介護記録ソフトの３点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定していること。 ・ 科学的介護情報システム（Long-term care Information system For Evidence：LIFE（ライフ））による情報収集に協力すること。	（範囲） ・「三重県介護ロボット導入支援事業実施要領」第４条に掲げる補助対象範囲に当てはまる介護ロボットの導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備にかかる経費 ・【介護ロボット】 １機器につき、対象経費の５分の４（千円未満切り捨て）と基準額とを比較し、少ない方の額を補助金額とする。 基準額：移乗支援・入浴支援にかかるロボットは１００万円、それ以外のロボットは３０万円 【通信環境整備】 対象経費の５分の４（千円未満切り捨て）と７５０万円とを比較し、少ない方の額を補助金額とする。 （条件） ・「三重県介護ロボット導入支援事業実施要領」第１０条に掲げる条件を満たすこと ・導入年度の翌年度から３年間、各２月末までに導入効果を報告すること ・他の補助金を受けて導入する介護ロボット及び通信環境の整備でないこと	令和５年８月４日～９月１日	採択件数：未定 総額：未定	採択件数：62件 総額： 320,457,000円	部署	長寿介護課
									担当者	
									電話番号	059-224-2235
									FAX番号	059-224-2919
									E-mail	chojus@pref.mie.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.mie.lg.jp/CHOJUS/HP/index.htm

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　滋賀県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	滋賀県介護職員職場環境改善支援事業	滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課	介護業務の効率化と介護従事者の負担軽減を図るため、介護ロボットの導入に要する経費を補助する	県内で介護保険法による居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス、介護予防サービス、地域密着型介護予防サービスの指定・許可を受けている施設・事業所	介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボットの導入 導入成果報告書の提出および公表　他 補助額： 【介護ロボット】１機器につき上限30万円（移乗支援および入浴支援に限り100万円） 【見守り機器の導入に伴う通信環境整備】１事業所につき上限750万円 補助率：対象経費の1/2、一定の要件を満たす場合は3/4	令和５年８月17日～10月６日	予算額：100,000千円（ICT導入助成を含む）	採択件数：26件 総額：62,198,000円	部署	医療福祉推進課
									担当者	
									電話番号	077-528-3597
									FAX番号	077-528-4851
									E-mail	ed00@pref.shiga.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/koureisya/319188.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　京都府　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	京都府介護ロボット等導入支援事業	京都府	介護事業所に対し、介護ロボット等の導入に関する費用について支援	（1）介護保険法に基づく指定又は許可を受け、京都府内で介護サービスを提供していること。 （2）きょうと福祉人材育成認証制度の宣言法人・事業所、認証法人・事業所、上位認証法人であること。	地域医療介護総合確保基金要領に準ずる	2023.10/6～11/6	調整中	採択件数： 25件 総額： 71,077,000円	部署	地域福祉推進課
									担当者	
									電話番号	075-414-4675
									FAX番号	075-414-4615
									E-mail	s-kadono41@pref.kyoto.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.kyoto.jp/chiiki/news/r5kaigoroboict.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　大阪府　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	大阪府介護ロボット導入支援事業	大阪府	介護ロボット、見守り機器の導入に伴う通信環境整備の費用について助成。	大阪府内の介護事業者 （居宅介護支援事業者、介護予防サービス事業者は除く）	補助率は1/2又は3/4（上限あり）。 【介護ロボットの上限額】 移乗支援・入浴支援機器 100万円/台、それ以外は30万円/台。 ※１事業所あたりの上限額500万円。 【見守り機器の導入に伴う通信環境整備の上限額】　750万円/事業所。 その他条件や詳細は要綱を参照。	【Webによる事前エントリー期間】 2023年８月23日～９月６日 ※事前エントリーするには条件を満たすことが必要。 ※交付申請までの流れ 事前エントリー⇒抽選によって交付申請の対象とする事業所を絞り込み。	採択件数：80件（予定） 総額 300,583,000円	採択件数：68件 総額 258,473,000円	部署	福祉部高齢介護室介護事業者課整備調整グループ
									担当者	
									電話番号	06-6944-7104
									FAX番号	06-6944-6670
									E-mail	koreikaigo-robot@gbox.pref.osaka.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.osaka.lg.jp/koreishisetsu/kaigorobo/kaigorobohozyo.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　兵庫県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護業務における労働環境改善支援事業	兵庫県	介護職員の負担軽減を図ることを目的とした介護ロボット等の導入に係る費用について補助	介護保険法に基づく指定を受けた兵庫県内の介護保険施設・事業所	・補助事業の採択要件として、兵庫県が実施する介護ロボットの活用法等に関する研修受講を県独自で追加 ・一定の要件を満たす場合、補助率を3/4に引上げ	令和５年８月17日～９月22日	採択件数： 約270件 総額（予定）： 1,053,000,000円	採択件数： 172件 総額： 971,840,000円	部署	高齢政策課
									担当者	
									電話番号	078-362-9117
									FAX番号	078-362-9470
									E-mail	
									HP_URL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf05/h30roudoukankyou.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　奈良県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	奈良県	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図るための、介護ロボットを導入するために要する経費を支援	奈良県内の介護施設又は事業所において介護サービスを行う者 (応募は１法人１事業所まで)	補助率は介護ロボット・通信環境整備ともに対象経費の1/2 【介護ロボットの補助上限額】 機器の種別に関係なく、１機器あたり上限３０万円。 ※公募状況によっては、補助台数を制限することがある旨、県公募要領に記載。 【見守り機器の導入に伴う通信環境整備の補助上限額】 １事業所あたり上限150万円	令和５年９月２６日～１０月１２日	採択件数： 総額 約12,200千円	採択件数：5件 総額：15,553千円	部署	長寿・福祉人材確保対策課
									担当者	
									電話番号	0742-27-8039
									FAX番号	0742-26-1015
									E-mail	kunitani-shohei@office.pref.nara.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.nara.jp/49707.htm

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　和歌山県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット等導入支援事業	和歌山県長寿社会課	介護事業所において介護従事者の負担を軽減する効果のある介護ロボットやICTの導入にかかる費用について助成	介護保険法に基づく指定又は許可を受けている和歌山県内に所在する事業所	・介護負担を軽減する介護ロボットまたはICT ・介護ロボット及びICTを導入した事業所は得られた効果等を県に報告すること ・一定の要件を満たす場合総費用の3/4、満たさない場合1/2を補助予定（※補助上限額あり）	R5.8.30~10.2	未定	採択件数： 76件 総額： 144,166,000円	部署	長寿社会課
									担当者	
									電話番号	073-441-2519
									FAX番号	073-441-2523
									E-mail	e0403001@pref.wakayama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040300/d00201773.html
2	和歌山県障害福祉分野における介護ロボット等導入支援事業	和歌山県障害福祉課	障害者支援施設等事業者及び障害児入所施設事業者が介護従事者の負担を軽減する効果のある介護ロボット等を導入する際に必要な備品購入費、リース・レンタル料、セットアップ費用を助成	県知事が認めた社会福祉法人、公益社団法人、公益財団法人及び特定非営利活動法人等の団体が運営する障害者支援施設事業者、障害児入所施設事業者	日常生活支援における、①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、⑤入浴支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果があること ・3/4補助（国1/2、県1/4、事業者1/4） ※補助上限あり	非公募（予算編成時の需要調査で当該補助事業の活用希望のあった事業者に対し再度意向確認を行い、候補者を選定）	採択件数： ５件 総額： 2,549,000円	採択件数： ３件 総額： 2,800,000円	部署	障害福祉課
									担当者	
									電話番号	073-441-2537
									FAX番号	073-432-5567
									E-mail	e0404002@pref.wakayama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/index.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　鳥取県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	令和５年度介護ロボット導入支援事業補助金	鳥取県	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化に資するため、介護事業所が介護環境の改善のために整備する介護ロボットの購入費について助成を行う。 以て、介護従事者が継続して就労するための環境を整え、介護離職ゼロの環境を整える。	介護事業所（介護保険法に基づく全サービスを対象）	補助上限額：１機器３０万円　※移乗支援・入浴支援のみ１機器１００万円 見守りセンサー導入に伴う環境整備：７５０万円（１事業所） 対象機器：移乗支援、入浴支援、見守り機器、見守りセンサー導入に伴う通信環境整備 補助率：県３／４（一定の要件を満たした場合）左記以外１／２	R5.4.4～R5.6.2	予算額：143,360千円	採択件数：４６事業者７５機器 総額：８４，８８２千円	部署	長寿社会課
									担当者	
									電話番号	0857-26-7175
									FAX番号	0857-26-8168
									E-mail	choujyushakai@pref.tottori.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1035334.htm

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット等導入支援事業	島根県高齢者福祉課	介護ロボット・ICT機器等の購入、リースに係る費用について助成	介護サービス事業者の指定又は認可を受けた県内に所在する事業所を運営又は開設する者（福祉用具貸与・販売を除く）	【補助対象範囲】 介護ロボット（機器導入に伴う通信環境整備含む）及びICT 【補助条件】 ・介護ロボット・・・1機器につき導入経費の1/2（要件を満たす場合3/4）または30万円のいずれか低い額。 ・ICT・・・対象経費の1/2（要件を満たす場合3/4）または職員数に応じた上限額のいずれか低い額。（10名以下50万、20名以下80万、30名以下100万、31名以上130万円上限） ・導入後3年間の使用状況報告	令和５年9月22日～令和5年10月20日	予算額 113,000,000円	採択件数（介護ロボット分）： 68件 総額（介護ロボット分）： 58,669,000円	部署	島根県高齢者福祉課
									担当者	
									電話番号	0852-22-5718
									FAX番号	0852-22-5238
									E-mail	kaigo-ict@pref.shimane.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/fukushi/kourei/kaigo_hoken/hojokin/

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　岡山県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	岡山県子ども・福祉部長寿社会課	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図るために介護ロボットを導入するために要する経費を支援	岡山県内の介護施設又は事業所において介護サービスを行う者	【対象機器】 介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図るための介護ロボット 【補助率】 1/2（一定の要件を満たす事業所については3/4） 【補助上限額】 (1)介護ロボットの購入、リース等に係る経費： １台あたり30万円（移乗介助機器、入浴支援機器は１台あたり100万円） (2)見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費： １事業所あたり150万円	令和5年8月25日～令和５年9月29日	採択件数： 未定（審査中） 総額（予定）： 15,000,000円（予算額）	採択件数： 11件 総額： 10,237,000円	部署	子ども・福祉部長寿社会課
									担当者	
									電話番号	086-226-7326
									FAX番号	086-224-2215
									E-mail	choju@pref.okayama.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.okayama.jp/soshiki/35/
2	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入事業	岡山県子ども・福祉部長寿社会課	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費を助成	県内の介護施設等	特別養護老人ホーム等の大規模修繕の際にあわせて行う、介護ロボット・ＩＣＴの導入に必要な経費（令和元年５月10日老総発0510第１号・老高発0510第１号・老振発0510第１号厚生労働省老健局総務課長・高齢者支援課長・振興課長通知「地域医療介護総合確保基金（介護従事者の確保に関する事業）における「管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業」の実施について」の別紙１・別紙２を準用する）。	実施主体である市町村ごとに公募	採択件数： 14件（見込） 総額（予定）： 375,816,000円（予算額）	採択件数： 24件 総額： 391,556,000円	部署	子ども・福祉部長寿社会課
									担当者	
									電話番号	086-226-7324
									FAX番号	086-224-2215
									E-mail	choju-kaigo@pref.okayama.lg.jp
									HP_URL	―
3	介護ロボット普及推進事業	岡山市保健福祉局高齢福祉部事業者指導課	市内介護事業所に無償で介護ロボットを貸与（3カ月間）することで、市内事業所への介護ロボットの普及や介護ロボット活用による介護職員のスキルアップを図る。	市内の介護事業所	介護ロボットの効能を評価するため、介護従事者及び利用者（要介護者等）について、貸与期間前、貸与期間後の状態を記録し、期間終了後評価と意見を取りまとめ報告書を作成すること。	【前期】 令和5年5月12日～令和5年6月13日 【後期】 令和5年9月11日～令和5年10月13日	【参加事業所】 33事業所 【事業費総額】 12,710千円（予算額） （R5より調査研究行わない）	【参加事業所】 45事業所 【事業費総額】 18,484千円 （調査研究含む）	部署	保健福祉局高齢福祉部事業者指導課
									担当者	
									電話番号	086-212-1014
									FAX番号	086-221-3010
									E-mail	ji-shidou@city.okayama.lg.jp
									HP_URL	―

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	一般社団法人日本福祉用具供給協会中国支部広島県ブロック	県内の介護事業者が介護ロボットを導入する際にかかる経費の一部を補助する。	次の要件をすべて満たす事業所 ①介護保険法の指定を受けている事業所 ②広島県内に所在する介護サービス事業所 ③「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」認証制度の認証法人	補助率1/2又は3/4 １法人あたり上限額1,500万円 【介護ロボット】 補助上限額：１機器30 万円 【見守り機器の導入に伴う通信環境整備】 補助上限額：１事業所750 万円 ※審査により補助対象事業所及び補助額を決定する。（予算額の範囲内で補助する。）	令和５年7月３日 ～ 令和５年７月21日	採択件数： 665台 51事業所 総額： 86,398,973円	採択件数： 49事業所 （34法人） 149台 総額： 14,699,908円 ※確定額 （辞退１件）	部署	①　（県）医療介護基盤課 ②　（補助事業者）一般社団法人日本福祉用具供給協会　広島県ブロック　事務局
									担当者	
									電話番号	①　082-513-3142 ②　082-877-1079
									FAX番号	①　なし ②　082-877-1323
									E-mail	①　kaigojinzai@pref.hiroshima.jp ②　jimukyoku@fukushiyogu-hiroshima.jp
									HP_URL	①　- ②　https://www.fukushiyogu-hiroshima.jp/2023hiroshima-robot/

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　山口県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	山口県介護ロボット導入支援事業	山口県健康福祉部長寿社会課	介護従事者の身体的負担軽減や業務効率化など、継続して就労するための職場環境整備を支援するため、介護施設の介護ロボット導入費用を一部助成	介護老人福祉施設等施設等居住系サービス事業者及び通所介護等在宅系サービス事業者	（１）介護ロボット ①移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面で使用 ②介護従事者の負担軽減効果のあること ③県が定める技術的・市場的要件を満たすこと ④１機器につき、補助基準額上限３０万円（ただし、60万円未満の機器については、その価格に2分の1（一定の要件に該当する場合は3/4）を乗じて得た額） ⑤介護ロボットを導入による介護ロボット使用状況報告書導入年度の翌年度から３年間報告すること。 （２）見守り機器の導入に伴う通信環境整備 ①見守り機器を効果的に活用するWIFI環境の整備に必要な整備に必要な経費を対象とする ②１事業所につき、補助基準額上限３０万円（ただし、60万円未満の場合は、その価格に2分の1（一定の要件に該当する場合は3/4）を乗じて得た額）	2023年6月1日～ ～７月31日	採択件数（予定）： （１）介護ロボット 19件、 （２）通信環境整備 2件 総額（予定）： 11,932,000円	採択件数： （１）介護ロボット 38件、 （２）通信環境整備 3件 総額： 12,107,000円	部署	長寿社会課
									担当者	
									電話番号	083-933-2793
									FAX番号	083-933-2809
									E-mail	shisetsu-choujyu@pref.yamaguchi.lg.jp
									HP_URL	https://www.kaigo.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/3014.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　徳島県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	徳島県	介護従事者の介護負担の軽減を図る取組が推進されるよう、介護保険施設・事業所の介護ロボット導入経費を支援	徳島県内に所在する介護保険法に基づくサービス事業所	補助対象経費 ・介護ロボット ・見守り機器の導入に伴う通信環境整備 補助率 ・3/4または1/2 補助限度額 ・移乗支援及び入浴支援については、１機器につき100万円 ・上記以外については、１機器につき30万円 ・見守り機器の導入に伴う通信環境整備については、１事業所あたり750万円	令和5年9月5日 ～令和5年9月28日	予算額： 90,000,000円	採択件数： 40事業所 総額： 39,442,000円	部署	保健福祉部長寿いきがい課
									担当者	
									電話番号	088-621-2182
									FAX番号	088-621-2840
									E-mail	choujuikigaika@pref.tokushima.jp
									HP_URL	https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kenko/koreishafukushi/7207749/

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　香川県　　更新日： 令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	香川県	介護職員の方々の身体的負担を軽減し、業務を効率化する介護ロボット機器及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費の一部を助成する。	次の①から④の要件をすべて満たす事業所 ①香川県内に所在し、介護保険法（平成９年法律第123号）に基づく介護サービス事業所であること。 ②香川県の県税に滞納がないこと。 ③実地指導等で指摘があった場合は、その改善状況報告書が指定・監督権限者に提出され改善が確認されていること。 ④本事業を活用して、過去に助成を受けたことがない法人の介護サービス事業所であること。	○１法人当たりの補助上限額を１００万円とする。 以下、補助対象経費 （１）介護ロボット 次のｉからiiiの全ての要件を満たす介護ロボットを導入する際の経費を対象とする。（リース又はレンタルに要する経費も含む。保険料、工事費、メンテナンス費等は対象外） ｉ 目的要件 ・日常生活支援における、①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボットであること。 ii 技術的要件 次のいずれかの要件を満たす介護ロボットであること。 ・ロボット技術（①センサー等により外界や自己の状況を認識し、②これらによって得られた情報を解析し、その結果に応じた動作を行う技術をいう。）を活用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する介護ロボット。 ・経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」において採択された介護ロボット。 iii 市場的要件 販売価格等が公表されており、一般に購入等ができる状態にあること。 iv その他 介護ロボットの導入・活用により、業務の改善・効率化等が進められ、職員の業務負担軽減やサービスの質の向上など生産性向上が図られるとともに、収支の改善が図られた場合には、職員の賃金へも適切に還元することとし、その旨を職員等に周知すること。	令和５年８月23日～令和５年９月７日に要望調査を実施	11月中旬以降交付申請受付予定	採択件数： ５件 総額：4,217,000円	部署	健康福祉部長寿社会対策課介護人材グループ
									担当者	
									電話番号	087-832-3267
									FAX番号	087-806-0206

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
					（２）見守り機器の導入に伴う通信環境整備 見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境を整備するための経費として、次のいずれかを対象とする。 （対象経費） ・ Wi-Fi 環境を整備するために必要な経費（配線工事（Wi-Fi 環境整備のために必要な 有線LAN の設備工事も含む）、モデム、ルーター、アクセスポイント、システム管理サーバー、ネットワーク構築など） ・ 職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのインカム（デジタル簡易無線登録型等のWi-Fi非対応型のインカムを含む。） ・ 介護ロボット機器を用いて得られる情報を介護記録にシステム連動させるために必要な経費（介護ロボット機器を用いて得られる情報とシステム連動可能な介護記録ソフトウェア（既存の介護記録ソフトウェアの改修経費も含む）、バイタル測定が可能なウェアラブル端末、介護ロボットを用いて得られる情報とソフトウェア間を接続するためのゲートウェイ装置等） ※既に見守り機器を導入している場合において、見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境の整備を行う場合も対象とする。 ※介護ロボットのメンテナンスに係る経費及び通信に係る経費は補助対象外とする。				E-mail	choju@pref.kagawa.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.kagawa.lg.jp/choju/choju/jigyosya/kikin_hojyo.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　愛媛県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護業務支援機器導入促進事業費	愛媛県	介護サービス事業者が介護ロボットの導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に要する経費の助成	愛媛県内の介護サービス事業者	介護負担の軽減や業務の効率化に資する介護ロボットの導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に要する経費 購入費、リース又はレンタル費用 3/4（※要件あり）又は1/2補助 （機器の対象範囲や補助額等は国の定めによる）	令和5年8月10日～ 令和5年9月11日	予算額 79,668,000円	予算額 79,668,000円 採択台数： 介護ロボット 505台 通信環境整備　13箇所 総額： 67,754,000円	部署	愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課介護研修係
									担当者	
									電話番号	089-912-2338
									FAX番号	089-935-8075
									E-mail	choujukaigo@pref.ehime.lg.jp
									HP_URL	http://www.pref.ehime.jp/h20400/kaigohoken/kaigorobotdounyuusienjigyou.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	高知県介護福祉機器等導入支援事業	高知県	職員の負担軽減や業務効率化を目的として介護福祉機器及び福祉用具を導入する場合の経費について支援	県内法人（独立行政法人、地方公共団体、一部事務組合及び広域連合を除く。）のうち、以下に該当する者 1　高齢者関係 介護保険法による指定又は許可を受け、介護サービスを提供している法人（居宅療養管理指導、福祉用具貸与、特定福祉用具販売及び居宅介護支援を除く。） 2　障害児・者関係 （1）障害者支援施設 （2）障害児入所施設 （3）居宅介護・重度訪問介護事業者 （4）主たる対象が身体障害者である共同生活援助事業者 （5）主たる対象が身体障害者である短期入所事業所 （6）主たる対象が身体障害者である障害福祉サービス事業者のうち療養介護、生活介護、自立訓練を行っている事業者	1　高さ調節機能付き電動ベッド 2　跳ね上げ式、ティルト式及びリクライニング式等の移乗が容易な車椅子（シャワー用を含む。） 3　移動・昇降用リフト ※自動車用車いすリフトを除く。 ※同時に購入またはリースする吊り具（スリングシート）等、職員の身体的負担軽減に資する機能を発揮するために必要不可欠な付属品を含む。 4　昇降式の浴室ストレッチャー 5　福祉用具 （ア）移乗用ボード （イ）移乗用シート・シーツ （ウ）移乗用グローブ （エ）自立型てすり及び低作業用チェア等、作業姿勢を補助する用具 補助率：1／2	令和５年７月５日～令和５年８月４日	採択件数：35件（66事業所） 総額：25,785千円	採択件数：26件（40事業所） 総額：14,692千円	部署	長寿社会課
									担当者	
									電話番号	088-823-9631
									FAX番号	088-823-9259
									E-mail	060201@ken.pref.kochi.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060201/
2	高知県介護事業所デジタル化支援事業	高知県	職員の負担軽減や業務効率化を目的として介護ロボット及びICT機器等を導入する場合の経費についての支援	・県内法人（独立行政法人を除く）のうち、介護保険法による指定又は許可を受け、介護サービスを提供している法人（居宅療養管理指導、福祉用具貸与及び特定福祉用具販売を除く）	＜介護ロボット＞ 日常生活支援における①移乗支援（非装着型）②移動支援③排泄支援④見守り・コミュニケーション⑤入浴支援⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボット 補助率：3/4または1/2	令和５年８月３１日～令和５年９月２９日	採択件数：17件（22事業所） 総額：84,025千円 ※ICT導入支援を除いた件数・申請額	採択件数：12件（22事業所） 総額：78,738千円 ※ICT導入支援を除いた件数・実績	部署	長寿社会課
									担当者	
									電話番号	088-823-9632
									FAX番号	088-823-9259
									E-mail	060201@ken.pref.kochi.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060201/

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　福岡県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	福岡県介護ロボット導入支援事業	福岡県	介護ロボットを購入する経費及び見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境整備に係る経費の一部を補助する。	福岡県内に所在する介護保険法上の介護サービスを実施する事業所	1　補助対象経費 （１）介護ロボットを導入する事業 次の①～③の全ての要件を満たす介護ロボットを購入する際の経費 ①目的要件 日常生活支援における、移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減に効果のある介護ロボット ②技術的要件 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」（平成25年度～平成29年度）、「ロボット介護機器開発・標準化事業」（平成30年度～令和２年度）、「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」（令和３年度～）において採択されたロボット（「重点分野６分野13 項目の対象機器・システムの開発」に限る。）、又は、ロボット技術を活用して、従来の機器ではできなかった優位性を介護分野で発揮するロボット ③市場的要件 販売価格が公表されており、一般に購入できる状態にあるロボット （２）通信環境を整備するための事業 次の①～③のいずれかを対象とし、既に見守り機器を導入している場合も対象とする。 ①Wi-Fi環境を整備するために必要な経費 ②職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのインカムを導入するために必要な経費 ③介護ロボット機器を用いて得られる情報を介護記録にシステム連動させるために必要な経費	2023年8月10日～9月20日	採択件数：未定 総額（予定）： 339,493,000円	採択件数：150件 総額： 323,202,000円	部署 担当者 電話番号	保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課 介護人材確保対策室 092-643-3327

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
					２　補助金の交付額 （１）介護ロボットを導入する事業 ①機器１台につき、補助対象経費の実支出額に４分の３を乗じた額（千円未満切捨てとする。）と、基準額とを比較して、少ない方の額を補助額とする。 〇基準額 ・移乗支援又は入浴支援…１００万円 ・上記以外…３０万円 ②１回あたりの限度台数は、利用定員数の２割の数（１台未満は切り上げとする。）とする。 （２）通信環境を整備する事業 １事業所につき、補助対象経費に４分の３を乗じた額（千円未満切捨てとする。）と、１５０万円とを比較して、少ない方の額を補助額とする。 ３　条件 介護従事者の負担軽減のための介護ロボット導入等計画を作成すること。				FAX番号	092-643-3253
									E-mail	k-kaigojinzai@pref.fukuoka.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kaigorobotto.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
2	令和５年度「介護ロボットエキスパート養成講座」業務及び「介護ロボット・ICTトライアル導入支援事業」業務委託	福岡市 福祉局 高齢社会政策課	A「介護ロボットエキスパート養成講座」:介護ロボット等に対する認識を深め、具体的な活用方法を学ぶことで、現場の職員の負担を軽減するとともに、介護の質を高め、職員の定着を促進することを目指す「介護ロボットエキスパート養成講座」を実施 B 介護ロボット・ICTトライアル導入支援事業：介護人材の確保及び定着を図るため、各事業所が介護ロボット・ICTを気軽にトライアル（試用）できる環境を整備し、介護ロボット・ICT機器の導入促進につなげる	A:福岡市指定介護サービス事業所の経営者層及び現場リーダー層 B:福岡市指定介護サービス事業所	A:無償で講座を実施 B:無償で試用貸出を実施	令和５年７月頃～令和５年８月頃	予算額 8,210,000円 ＜内訳＞ A：2,000,000円 B：6,210,000円	8,191,034円	部署	福祉局高齢社会部高齢社会政策課　福祉人材係
									担当者	
									電話番号	092-711-4595
									FAX番号	092-733-5587
									E-mail	fukujin@city.fukuoka.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.fukuoka.lg.jp/fukushi/shakaisanka/health/00/fukushijinzai.html
3	介護ロボットマスター育成講習	北九州市 保健福祉局 先進的介護システム推進室	「介護ロボット等の活用を推進する専門人材」の育成を目的に、①入門編②実践編③管理編の３つのコースに分けた講習会を実施。 ①入門編 介護ロボットを活用する意義や基本的な知識の習得 ②実践編 適切な機器選定や効果的な活用に関する知識の習得、介護ロボットメーカー講師による実機体験 ③管理編 職場全体の作業効率を高めるノウハウを先行事例を交えながら実施	北九州市指定介護サービス事業所の介護従事者及び経営者	講習料無料。 Web等による事前申込制。	随時募集	①入門編 YouTube配信 (23/6/1~23/11/13) ②実践編(4回) 各回定員50名 ③管理編 定員50名、Zoom配信	延べ229名参加	部署	保健福祉局　先進的介護システム推進室
									担当者	
									電話番号	093-582-2712
									FAX番号	093-582-2095
									E-mail	ho-senshin@city.kitakyushu.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/ho-senshin.html
4	先進的介護「北九州モデル」導入支援	北九州市 保健福祉局 先進的介護システム推進室	介護現場の業務改善の手法である「北九州モデル」の導入支援を行う。 具体的には、業務量調査、課題の抽出、効果的な機器等の選定、業務オペレーションの見直しなどについて、「北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター」の専門の相談員が、伴走型の支援を行う。	北九州市内の特別養護老人ホーム・老人保健施設	公募後、審査	毎年春頃	採択件数５件	採択件数５件	部署	保健福祉局　先進的介護システム推進室
									担当者	
									電話番号	093-582-2712
									FAX番号	093-582-2095
									E-mail	ho-senshin@city.kitakyushu.lg.jp
									HP_URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/ho-senshin.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　佐賀県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	佐賀県介護現場における先進機器導入支援事業費補助金	佐賀県	日常生活支援における移乗支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援で利用する介護ロボット及びICT機器等の先進機器を介護事業所が導入する際の経費に対し補助を行う。	介護事業所	国の要綱に沿った範囲または条件で実施。なお、見守り機器導入に伴う通信環境整備費に係る経費については、上限額を150万円としている。	令和５年８月３日～令和５年９月11日	内示事業所数：35事業所 内示総額：40,885千円 ※いずれも介護ロボット等の導入支援とICTの導入支援の両方を含む合計。	採択件数：64件 総額：84,023,000円	部署	佐賀県　健康福祉部　長寿社会課
									担当者	
									電話番号	0952-25-7266
									FAX番号	0952-25-7265
									E-mail	kaigohoken@pref.saga.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00368618/index.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　長崎県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット・ICT普及促進事業	長崎県福祉保健部長寿社会課	働きやすい職場環境の整備を図り、介護従事者の確保及び定着に資するため、介護事業所における業務効率化、職員の身体的・精神的負担の軽減、介護サービスの質の向上に効果的な介護ロボット・ICT等の導入を支援	以下の全ての要件を見たす事業所 ・長崎県内に所在する介護保険法に基づく指定又は許可を受けた介護事業所であること。 ・県や他事業所から要請があれば、見学等を受け入れ、導入事例を県のホームページ等で公表することに同意できる事業所。 ・導入する介護ロボット・ＩＣＴを活用する職員に対する研修を開催するため、「介護ロボット・ICT 等活用人材育成事業補助金」の交付申請を提出している事業所。	【補助対象範囲】 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション（見守りに係る通信環境整備等含む）、入浴支援の介護ロボット、ICT（介護ソフト等） 【補助上限額】 ・補助率：見守り・ICT…3/4 その他…1/2 ・補助上限額：1事業所あたり300万円 ・介護ロボット…１機器あたりの上限30万円（移乗、入浴は100万円） ・見守り機器の導入に伴う通信環境整備は介護ロボット補助額と合わせて300万円 ・ICT…職員数に応じた上限額（最大130万円	2023年3月30日～ ～6月14日	採択件数： 62事業所程度 総額（予定）： 108,123,000円	採択件数： 182件（法人） 総額： 223,498,000円	部署	長寿社会課・介護人材確保推進班
									担当者	
									電話番号	095-895-2440
									FAX番号	095-895-2576
									E-mail	kaigojinzai@pref.nagasaki.lg.jp
									HP_URL	https://www.pref.nagasaki.jp/object/shikaku-shiken-bosyu/boshu/604240.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　熊本県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	熊本県介護職員勤務環境改善支援事業費（介護ロボット）補助金	熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課	介護ロボットの購入又は見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費について支援	介護保険法に基づく指定・許可を受けた熊本県内に所在する事業所	○　補助対象の介護ロボットは以下の要件を全て満たすもの。 ・移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果があること。 ・経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」において採択されたロボット、又はセンサー等により外界や自己の状況を認識し、これによって得られた情報を解析し、その結果に応じた動作を行うロボットであること。 ・販売価格が公表されており、一般に購入できる状態にあること。 ○　介護ロボット導入計画を提出すること。 ○　補助率は４分の３又は２分の１ ・移乗、入浴支援は上限100万円 ・上記以外は上限30万円 ・見守り機器の導入に伴う通信環境整備（工事費含む。）については上限150万円	R5.8.14~R5.9.1	採択件数(予定)：200件 総額(予定)：120,000,000円 ※ICT分含む。	採択件数：76件 総額：64,502,000円	部署	高齢者支援課施設介護班
									担当者	
									電話番号	096-333-2217
									FAX番号	096-384-5052
									E-mail	
									HP_URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/32/177273.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　大分県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	大分県福祉保健部 高齢者福祉課	介護サービス事業者が介護ロボットを導入する経費の一部を助成	大分県内において介護サービス事業を行う事業者	介護ロボット使用状況報告書を提出すること 費用の3/4又は１/2を補助 移乗・入浴支援100万円上限 上記以外30万円上限 通信環境整備150万円上限	８月３日～９月２９日	採択件数： 711台、38事業所 総額（予定）： 109,914,000円	採択件数： 382台、23事業所 総額： 57,511,000円	部署	高齢者福祉課介護サービス事業班
									担当者	
									電話番号	097-506-2684
									FAX番号	097-506-1737
									E-mail	donyu-hojo@pref.oita.jp
									HP_URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/12300/kaigorobot29.html

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　宮崎県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	労働環境改善に向けた介護ロボット導入支援事業	宮崎県長寿介護課	介護保険施設・事業所における介護ロボットの導入や通信環境の整備に係る経費について補助。	宮崎県内の介護保険施設・事業所（一部対象外のサービスあり）	介護負担を軽減する介護ロボットの購入費用又は通信環境整備係る費用の1/2を補助 【上限額】 移乗・入浴支援　100万円／台 上記以外　30万円／台 通信環境整備　750万円／事業所	一次募集 ６月８日～７月７日	採択件数（予定）： 100件 総額（予定）： 135,000,000円	採択件数： 101件 総額： 98,347,000円	部署	長寿介護課
									担当者	
									電話番号	0985-26-7058
									FAX番号	0985-26-7344
									E-mail	shisetsu@pref.miyazaki.lg.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

介護機器の導入に係る助成制度　　鹿児島県　　更新日：　令和5年11月

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	鹿児島県	介護ロボットを導入する介護老人福祉施設等の介護サービス事業所に介護ロボット導入費用及び見守りセンサー導入に伴う通信環境整備費の一部を補助	介護保険法に基づくサービスを行う全事業所	対象経費の４分の３（以下の要件を満（要件） 少なくとも見守りセンサー，インカ（補助上限額） 移乗介護・入浴支援：100万円/台 その他のロボット：30万円/台 見守り機器導入に伴う通信環境整備費：150万円/台	令和５年９月11日～ 令和5年9月29日	未定	ロボット：320台 通信環境整備：12式 補助総額：64,489千円	部署	介護保険室
									担当者	
									電話番号	099-286-2687
									FAX番号	099-286-5554
									E-mail	k-jigyo@pref.kagoshima.lg.jp
									HP_URL	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R5予定	R4実績	連絡窓口	
1	介護ロボット導入支援事業	沖縄県	事業所等が、介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化等を図るため、介護ロボットを導入する場合に、経費の一部を助成	沖縄県内において介護サービス事業を行う事業者（一部対象外のサービスあり）	「地域医療総合確保基金（介護従事者の確保に関する事業）における「管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業」の実施について」別紙１にあるロボット 総費用の１／２を補助（従前の介護職員等の人員体制の効率化を予定する等、一定の要件を満たす場合は３／４） ※補助上限額：移乗支援100万、その他30万	令和５年９月８日～10月６日	採択件数：未定 総額：15,000,000円	採択件数： ７法人(９施設) 総額： 11,575,000円	部署	高齢者福祉介護課
									担当者	
									電話番号	098-866-2214
									FAX番号	098-862-6325
									E-mail	
									HP_URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/korei/zaitaku/roboto.html

←目次に戻る

7．介護ロボット導入支援事業等の実態調査　調査票

【記入要領】調査票（Ⅰ-1、Ⅱ-1）

必須項目のうち、未回答数が1問あります。
黄色網掛けの項目・設問には必ずご回答ください。

介護ロボット導入支援事業の実施状況調査

基本情報入力

【必須】 ご担当者のご連絡先をご記入ください。

都道府県名	●●県
所属部署・係	●●課
電話番号	00-0000-0000
連絡先Email	aaa@aaa.co.jp

オレンジ色のセルは、記入するフィールドになります。
各設問について、回答を記入してください。入力すると塗りつぶし無しのセルに戻ります。

Ⅰ．令和４年度　地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について

1．令和4年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」について、実施状況および実績を以下にご回答ください。
※「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」などの他財源による実施は除く。

【必須】 （１）事業を実施しましたか。
※「2．実施しなかった」を選択した場合、（２）以降は回答不要です。「調査票Ⅱ－1（R5）」へお進みください。

[ ]
1．実施した
2．実施しなかった

黄色に網掛けされた設問は、原則、回答が必須となる設問です。オレンジの回答フィールドへ入力をお願いします。
回答を入力すると、黄色網掛けが消えて、回答完了となります。

【必須】 （２）補助対象の上限額の設定内容とその理由について教えてください。
※必ず上限額と補助率の両方をご回答ください。

【上限額】国の実施要綱
移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援：1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円
補助上限台数：必要台数（制限の撤廃）
補助率：一定の要件※を満たす事業所は、３／４を下限に都道府県の裁量により設定
　　それ以外の事業所は１／２を下限に都道府県の裁量により設定
※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、
　職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合

一定の要件を満たす事業所	
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の対象有無	[ ] 1．対象有 2．対象無
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の上限額	[ ] 1．上限100万円 2．上記以外 [ ] 万円
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の補助率	[ ] 1．３／４ 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
上記以外の機器の対象有無	[ ] 1．対象有 2．対象無
上記以外の機器の上限額	[ ] 1．上限30万円 2．上記以外 [ ] 万円
上記以外の機器の補助率	[ ] 1．３／４ 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の対象有無	[ ] 1．対象有 2．対象無
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の上限額	[ ] 1．上限750万円 2．上記以外 [ ] 万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の補助率	[ ] 1．３／４ 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください

上記基準の設定理由 （あてはまるすべてにご入力してください）	□ 国の実施要綱を基に実施しているため □ 予算が限られているため □ 他の補助事業と同じ基準にしている □ その他（↓具体的にご記載ください） [ ]

それ以外の事業所	
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の対象有無	□ 1. 対象有 2. 対象無
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の上限額	□ 1. 上限100万円 2. 上記以外 [ ] 万円
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の補助率	□ 1. 1／2 2. 上記以外 [ ] （分数で表記してください）
上記以外の機器の対象有無	□ 1. 対象有 2. 対象無
上記以外の機器の上限額	□ 1. 上限30万円 2. 上記以外 [ ] 万円
上記以外の機器の補助率	□ 1. 1／2 2. 上記以外 [ ] （分数で表記してください）
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の対象有無	□ 1. 対象有 2. 対象無
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の上限額	□ 1. 上限750万円 2. 上記以外 [ ] 万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の補助率	□ 1. 1／2 2. 上記以外 [ ] （分数で表記してください）
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください [ ]
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください [ ]

上記基準の設定理由 （あてはまるすべてにご入力してください）	□ 国の実施要綱を基に実施しているため □ 予算が限られているため □ 他の補助事業と同じ基準にしている □ その他（↓具体的にご記載ください）

【必須】 （３）採択した計画（＝執行済分）の詳細を施設・居住系、在宅系に分けてそれぞれ「調査票Ⅰ-2（R4実績、施設・居住系）」「調査票Ⅰ-3（R4実績、在宅系）」へ記入してください。
なお、施設・居住系、在宅系に含まれるサービス種別は下記の一覧を参照ください。

施設・居住系
指定介護老人福祉施設（特養）
介護老人保健施設
介護療養型医療施設
介護医療院
特定施設入居者生活介護
認知症対応型共同生活介護
地域密着型介護老人福祉施設
その他

在宅系
訪問入浴介護
訪問看護
訪問リハビリテーション
通所介護
通所リハビリテーション
短期入所生活介護
短期入所療養介護
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
夜間対応型訪問介護
地域密着型通所介護
認知症対応型通所介護
小規模多機能型居宅介護
複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）
その他

事業で採択した、あるいは交付決定した計画の詳細については、該当のシートへ移動し、記入してください。
（調査票Ⅱ-1にも同様の設問がございますので、同じく概要のシートへ記入してください）
記入方法は、【記入要領】調査票（Ⅰ-2,3、Ⅱ-2,3）をご覧ください。

Ⅰ－2．令和４年度 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について

＜特に注意いただきたい事項＞ ★件数のカウント方法について

・原則、１事業所が同時に計画したものについては、導入機器の数・種類に関わらず１件としてカウントしてください。ただし、以下のような場合は複数件とします。

■ １事業所が、時期をずらして異なる機器の申請を行っている場合

■ １事業所が、機器導入と通信環境整備を分けて計画している場合

・計画は提出されたが、予算執行を翌年度に繰り越した計画について、以下のようにカウントしてください。

■令和４年度の実績（執行済分）

予算執行したベースで実績カウントする。つまり、令和３年度に提出された計画を令和４年度に予算執行した場合、実績へ含める。

■令和５年度の実施状況（令和5年11月末時点の交付決定済分）

令和５年度に応募があり、交付決定したもののみカウントする。仮に令和４

計画件数の合計 【自動計算されます】		5
（内訳）★手入力してください	一定の要件を満たす	2
	それ以外	3

記入いただいた計画について、「計画件数の合計（内訳は手入力が必要）」「予算執行額（円）」は、上のセルでそれぞれ合計を表示しますので、実績と相違ないか回答提出前にご確認ください。

予算執行額（円）【自動計算されます】	7,384,000

記入した計画のうち、「一定の要件を満たす事業所」「それ以外の事業所」について内訳を手入力してください。
要件の設定が無い場合は、「－」を入力してください。

令和4年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績として、採択した計画（＝執行済分）の詳細をご記入ください。
施設・居住系サービス（該当するサービス種別は枠外の一覧を参照）への導入実績を1計画ごとに、事業所名、所在地（市町村）、サービス種別、補助額、補助率、支援分野※1、導入機種名、メーカー名、導入台数を下記の表にご記入ください。

※1：支援分野は、①移乗支援、②移動支援、③排泄支援、④見守り、⑤コミュニケーション、⑥入浴支援、⑦介護業務支援、⑧Wi-Fi工事、⑨インカム（親機の件数）、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかの番号を選択してください。なお、⑧Wi-Fi工事、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかを選択した場合、「導入台数」の記入は不要です（選択しますと「導入台数」の枠が黒く塗りつぶされます）。
※2：1計画で複数の機器を導入する計画については、全ての機器について記入して下さい。複数の機器を記入いただく際の「計画番号」「枝番」の採番方法は調査票記入例をご覧ください。
また、本シートの中央上部に表示される「計画件数の合計」は、枝番が「1」と入力されたセルの数をカウントしているため、計画番号や枝番の入力に漏れやズレが無いか提出前にご確認ください。

施設・居住系サービス

計画番号	枝番※2	事業所名	所在地（市町村）	サービス種別	その他の場合 種別名	補助額（円単位、国・都道府県の合計）（千円以下切り捨て）	補助率（○／○）	支援分野※	導入機種名	メーカー名	導入台数
1	1	A医院	A市	介護医療院		1,564,000	1/2	⑦	製品A	A株式会社	6 台
2	1	特別養護老人ホームB	B市	指定介護老人福祉施設（特養）		200,000	1/2	①	製品B	B株式会社	1 台
3	1	特別養護老人ホームC	C市			788,000	3/4	④	製品C	C株式会社	10 台
3	2	特別養護老人ホームC	C市			749,000	3/4	⑨	製品D	D株式会社	5 台
4	1	特別養護老人ホームD	D市	指定介護老人福祉施設（特養）		2,949,000	1/2	④	製品E	E株式会社	3 台
4	2	特別養護老人ホームD	D市	指定介護老人福祉施設（特養）		-	1/2	⑧	Wi-Fi工事	ー	[redacted] 台
5	1	特別養護老人ホームE	E市	指定介護老人福祉施設（特養）		1,134,000	3/4	①	製品F	株式会社F	2 台

この欄は、最初の設定でオレンジ色になっていませんが、明細を必ず記載してください。

１計画で複数の機器を導入する計画については、機器ごとに枝番を振ってそれぞれ記入し、同一の計画番号を振って下さい。
（上記の計画番号３、４を参考に記入ください）

1計画で複数の機器を導入する計画について、分かる場合にはそれぞれの機器に対する補助額を記載ください。分からない場合は、枝番１に合計数値を記載し、他枝番には「－」と入力ください。

支援分野⑧及び⑩は、「導入台数」の記入は不要です。
（選択すると「導入台数」が黒く塗りつぶされます）

必須項目のうち、未回答数が5問あります。
黄色網掛けの項目・設問には必ずご回答ください。

介護ロボット導入支援事業の実施状況調査（令和４年度の実績）

基本情報入力

【必須】 ご担当者のご連絡先をご記入ください。

都道府県名	
所属部署・係	
電話番号	
連絡先Email	

Ⅰ．令和４年度　地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について

1．令和4年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」について、実施状況および実績を以下にご回答ください。
※「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」などの他財源による実施は除く。

【必須】 （１）介護ロボット導入支援事業を実施しましたか。
※「2．実施しなかった」を選択した場合、（２）以降は回答不要です。「調査票Ⅱ－1（R5）」へお進みください。

[ ]
1．実施した
2．実施しなかった

【必須】 （２）補助対象の上限額の設定内容とその理由について教えてください。
※必ず上限額と補助率の両方をご回答ください。

【上限額】国の実施要綱
移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援：1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円
補助上限台数：必要台数（制限の撤廃）
補助率：一定の要件※を満たす事業所は、３／４を下限に都道府県の裁量により設定
　　それ以外の事業所は１／２を下限に都道府県の裁量により設定
※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、
　職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合

一定の要件を満たす事業所	
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の対象有無	[ ] 1．対象有 2．対象無
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の上限額	[ ] 1．上限100万円 2．上記以外 [ ] 万円
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の補助率	[ ] 1．３／４ 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
上記以外の機器の対象有無	[ ] 1．対象有 2．対象無
上記以外の機器の上限額	[ ] 1．上限30万円 2．上記以外 [ ] 万円
上記以外の機器の補助率	[ ] 1．３／４ 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の対象有無	[ ] 1．対象有 2．対象無
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の上限額	[ ] 1．上限750万円 2．上記以外 [ ] 万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の補助率	[ ] 1．３／４ 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください

上記基準の設定理由（あてはまるすべてにご入力してください）	□ 国の実施要綱を基に実施しているため □ 予算が限られているため □ 他の補助事業と同じ基準にしている □ その他（↓具体的にご記載ください） [ ]

それ以外の事業所	
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の対象有無	□ 1．対象有 2．対象無
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の上限額	□ 1．上限100万円 2．上記以外 [ ] 万円
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の補助率	□ 1．1／2 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
上記以外の機器の対象有無	□ 1．対象有 2．対象無
上記以外の機器の上限額	□ 1．上限30万円 2．上記以外 [ ] 万円
上記以外の機器の補助率	□ 1．1／2 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の対象有無	□ 1．対象有 2．対象無
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の上限額	□ 1．上限750万円 2．上記以外 [ ] 万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の補助率	□ 1．1／2 2．上記以外 [ ] （分数で表記してください）
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください [ ]
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください [ ]
上記基準の設定理由（あてはまるすべてにご入力してください）	□ 国の実施要綱を基に実施しているため □ 予算が限られているため □ 他の補助事業と同じ基準にしている □ その他（↓具体的にご記載ください） [ ]

【必須】 （３）採択した計画（＝執行済分）の詳細を施設・居住系、在宅系に分けてそれぞれ「調査票Ⅰ-2（施設・居住系）」「調査票Ⅰ-3（在宅系）」へ記入してください。
なお、施設・居住系、在宅系に含まれるサービス種別は下記の一覧を参照ください。

施設・居住系
指定介護老人福祉施設（特養）
介護老人保健施設
介護療養型医療施設
介護医療院
特定施設入居者生活介護
認知症対応型共同生活介護
地域密着型介護老人福祉施設
その他

在宅系
訪問入浴介護
訪問看護
訪問リハビリテーション
通所介護
通所リハビリテーション
短期入所生活介護
短期入所療養介護
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
夜間対応型訪問介護
地域密着型通所介護
認知症対応型通所介護
小規模多機能型居宅介護
複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）
その他

Ⅰ－２．令和４年度 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について

＜注意＞
記入いただいた計画について、「計画件数の合計（内訳は手入力が必要）」「予算執行額」は右のセルで合計を表示しますので、実績と相違ないか回答提出前にご確認ください。

計画件数の合計 【自動計算されます】		0
（内訳）★手入力してください	一定の要件を満たす	
	それ以外	

予算執行額（円）【自動計算されます】	0

令和4年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績として、採択した計画（＝執行済分）の詳細をご記入ください。
施設・居住系サービス（該当するサービス種別は枠外の一覧を参照）への導入実績を1計画ごとに、事業所名、所在地（市町村）、サービス種別、補助額、補助率、支援分野※1、導入機種名、メーカー名、導入台数を下記の表にご記入ください。

※1：支援分野は、①移乗支援、②移動支援、③排泄支援、④見守り、⑤コミュニケーション、⑥入浴支援、⑦介護業務支援、⑧Wi-Fi工事、⑨インカム（親機の件数）、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかの番号を選択してください。なお、⑧Wi-Fi工事、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかを選択した場合、「導入台数」の記入は不要です（選択しますと「導入台数」の枠が黒く塗りつぶされます）。
※2：1計画で複数の機器を導入する計画については、全ての機器について記入して下さい。複数の機器を記入いただく際の「計画番号」「枝番」の採番方法は調査票記入例をご覧ください。
また、本シートの中央上部に表示される「計画件数の合計」は、枝番が「1」と入力されたセルの数をカウントしているため、計画番号や枝番の入力に漏れやズレが無いか提出前にご確認ください。

施設・居住系サービス

計画番号	枝番※2	事業所名	所在地（市町村）	サービス種別	その他の場合 種別名	補助額（円単位、国・都道府県の合計）（千円以下切り捨て）	補助率（○／○）	支援分野※	導入機種名	メーカー名	導入台数
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台

650

Ⅰ－３．令和４年度 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について

＜注意＞
記入いただいた計画について、「計画件数の合計（内訳は手入力が必要）」「予算執行額」は右のセルで合計を表示しますので、実績と相違ないか回答提出前にご確認ください。

計画件数の合計 【自動計算されます】		0
（内訳）★手入力してください	一定の要件を満たす	
	それ以外	

予算執行額（円）【自動計算されます】	0

令和4年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績として、採択した計画（＝執行済分）の詳細をご記入ください。
在宅系サービス（該当するサービス種別は枠外の一覧を参照）への導入実績を1計画ごとに、事業所名、所在地（市町村）、サービス種別、補助額、補助率、支援分野※1、導入機種名、メーカー名、導入台数を下記の表にご記入ください。

※1：支援分野は、①移乗支援、②移動支援、③排泄支援、④見守り、⑤コミュニケーション、⑥入浴支援、⑦介護業務支援、⑧Wi-Fi工事、⑨インカム（親機の件数）、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかの番号を選択してください。なお、⑧Wi-Fi工事、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかを選択した場合、「導入台数」の記入は不要です（選択しますと「導入台数」の枠が黒く塗りつぶされます）。
※2：1計画で複数の機器を導入する計画については、全ての機器について記入して下さい。複数の機器を記入いただく際の「計画番号」「枝番」の採番方法は調査票記入例をご覧ください。
また、本シートの中央上部に表示される「計画件数の合計」は、枝番が「1」と入力されたセルの数をカウントしているため、計画番号や枝番の入力に漏れやズレが無いか提出前にご確認ください。

在宅系サービス

計画番号	枝番※2	事業所名	所在地（市町村）	サービス種別	その他の場合 種別名	補助額（円単位、国・都道府県の合計）（千円以下切り捨て）	補助率（○／○）	支援分野※	導入機種名	メーカー名	導入台数
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台

必須項目のうち、未回答数が6問あります。
黄色網掛けの項目・設問には必ずご回答ください。

介護ロボット導入支援事業の実施状況調査（令和５年１１月末時点の交付決定状況）

Ⅱ． 令和５年度 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実施概況について

1．令和5年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」について、実施状況および実績を以下にご回答ください。
※「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」などの他財源による実施は除く。

【必須】 （１）「介護ロボット導入支援事業」を実施しましたか。

1．実施した
2．実施しなかった（↓その理由を教えてください）

【必須】 （２）「介護ロボット導入支援事業」を来年度実施する予定はありますか。

1．来年度実施を予定している
2．実施の予定はない

【必須】 （３）「ICT導入支援事業」を実施しましたか。

1．実施した
2．実施しなかった（↓その理由を教えてください）

【必須】 （４）「ICT導入支援事業」を来年度実施する予定はありますか。

1．来年度実施を予定している
2．実施の予定はない

【必須】 （５）「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援事業」（地域医療介護総合確保基金、施設整備分）を実施しましたか。

1．実施した
2．実施しなかった（↓その理由を教えてください）

【必須】 （６）「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援事業」（地域医療介護総合確保基金、施設整備分）の実績
介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行うロボット・センサー・ICTの導入支援件数・補助額（円、国・都道府県の合計）
（1定員あたり42万円：特養、老健、認知症GH、介護付きホーム の例）

件
千円

【必須】 （７）「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援事業」（地域医療介護総合確保基金、施設整備分）を来年度実施する予定はありますか。

1．来年度実施を予定している
2．実施の予定はない

【必須】 （８）令和５年度の介護ロボット導入支援事業の実施状況について、教えてください。
⇒追加募集を行った、または行う予定の場合はその実施状況についても教えてください。（任意）

公募開始時期（月）		月
公募開始時期（日）		日
公募終了（予定）時期（月）		月
公募終了（予定）時期（日）		日
追加公募開始（予定）時期（月）		月
追加公募開始（予定）時期（日）		日
追加公募終了（予定）時期（月）		月
追加公募終了（予定）時期（日）		日

【必須】（９）令和５年度の補助対象それぞれの上限額や補助率などの設定内容とその理由について教えてください。
※必ず上限額と補助率の両方をご回答ください。

【上限額】国の実施要綱
移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援：1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円
補助上限台数：必要台数（制限の撤廃）
補助率：一定の要件※を満たす事業所は、３／４を下限に都道府県の裁量により設定
　　それ以外の事業所は１／２を下限に都道府県の裁量により設定
※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、
　職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合

一定の要件を満たす事業所	
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の対象有無	□ 1. 対象有 2. 対象無
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の上限額	□ 1. 上限100万円 2. 上記以外 □ 万円
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の補助率	□ 1. ３／４ 2. 上記以外 □ （分数で表記してください）
上記以外の機器の対象有無	□ 1. 対象有 2. 対象無
上記以外の機器の上限額	□ 1. 上限30万円 2. 上記以外 □ 万円
上記以外の機器の補助率	□ 1. ３／４ 2. 上記以外 □ （分数で表記してください）
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の対象有無	□ 1. 対象有 2. 対象無
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の上限額	□ 1. 上限750万円 2. 上記以外 □ 万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の補助率	□ 1. ３／４ 2. 上記以外 □ （分数で表記してください）
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
上記基準の設定理由（あてはまるすべてにご入力してください）	□ 国の実施要綱を基に実施しているため □ 予算が限られているため □ 他の補助事業と同じ基準にしている □ その他（↓具体的にご記載ください）

それ以外の事業所	
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の対象有無	□ 1. 対象有 2. 対象無
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の上限額	□ 1. 上限100万円 2. 上記以外 □ 万円
移乗支援（装着型・非装着型）/入浴支援の補助率	□ 1. １／２ 2. 上記以外 □ （分数で表記してください）

上記以外の機器の対象有無	☐ 1．対象有 2．対象無
上記以外の機器の上限額	☐ 1．上限30万円 2．上記以外 ☐ 万円
上記以外の機器の補助率	☐ 1．１／２ 2．上記以外 ☐ （分数で表記してください）
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の対象有無	☐ 1．対象有 2．対象無
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の上限額	☐ 1．上限750万円 2．上記以外 ☐ 万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備の補助率	☐ 1．１／２ 2．上記以外 ☐ （分数で表記してください）
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
上記基準の設定理由（あてはまるすべてにご入力してください）	☐ 国の実施要綱を基に実施しているため ☐ 予算が限られているため ☐ 他の補助事業と同じ基準にしている ☐ その他（↓具体的にご記載ください）

【必須】（10）令和５年度の導入支援事業の対象とする分野※を限定していますか。
※厚生労働省が経済産業省と共通して定める以下の6分野のこと
①移乗支援
②移動支援
③排泄支援
④見守り・コミュニケーション
⑤入浴支援
⑥介護業務支援

☐ 1．支援分野を限定していない
2．支援分野を限定している

【必須】（11）上記（10）にて「2．支援分野を限定している」と回答した場合は、支援対象としている分野を以下より選択してください。

☐ 1．移乗支援
☐ 2．移動支援
☐ 3．排泄支援
☐ 4．見守り・コミュニケーション
☐ 5．入浴支援
☐ 6．介護業務支援

【必須】（12）上記（10）にて「2．支援分野を限定している」と回答した場合は、限定している理由をご記載ください。

【必須】（13）令和5年度（11月末まで）に提出された介護ロボット導入計画はそれぞれ何件ですか。
※なお、施設・居住系、在宅系に含まれるサービス種別は枠外の一覧を参照ください。
＜特に注意いただきたい事項＞件数のカウント方法について【設問（13）～（16）共通】
原則、１事業所が同時に計画するものについては、導入機器の数・種類に関わらず１件としてカウントしてください。ただし、以下のような場合は複数件とします。
①１事業所が、時期をずらして異なる機器の申請を行っている場合
②１事業所が、機器導入と通信環境整備を分けて計画している場合

	一定の要件を満たす事業所の計画	それ以外の事業所の計画
施設・居住系の計画件数		
在宅系の計画件数		

【必須】（14）上記（13）のうち11月末時点で導入支援事業の対象として交付決定した計画の詳細について、
施設・居住系、在宅系に分けてそれぞれ「調査票Ⅱ－2（施設・居住系）」「調査票Ⅱ－3（在宅系）」へ記入してください。

【必須】（15）上記（14）で「交付決定した計画が無い」場合、「該当なし」または「手続き中」いずれかを選択してください

	一定の要件を満たす事業所の計画	それ以外の事業所の計画
施設・居住系の計画件数	□ 1．該当なし 2．手続き中	□ 1．該当なし 2．手続き中
施設・居住系の計画件数	□ 1．該当なし 2．手続き中	□ 1．該当なし 2．手続き中

【必須】（16）上記（14）の件数は、令和4年度に採択した計画（＝執行済分）の件数全体と比較して変動はありましたか。

□
1．変わらない
2．増えた
3．減った
⇒その理由についても教えてください。（自由記述）

【必須】（17）令和5年度（11月末時点）の応募状況について教えてください。

□
1．予算額に満たない応募があった（当初予算の90%未満）
2．当初の予算額とほぼ同額の応募があった（当初予算の90%～110%未満）
3．当初の予算額を大きく超える応募があった（当初予算の110%以上）

【必須】（18）上記（17）で回答いただいた応募状況を踏まえたその後の対応状況についても教えてください。

□
1．当初の予算内で対応できる範囲で採択した
2．予算を増額して採択した
3．その他（↓具体的にご記載ください）

【必須】（19）令和5年度（11月末時点）の応募の中で、認められない計画があった場合、どんな理由でしたか。

□
1．介護ロボットの技術的３要素（センサー系、知能・制御系、駆動系）を満たしていない
2．認められなかった計画はない
3．その他（↓具体的にご記載ください）

【必須】（20）介護ロボットの効果的な活用に関する支援を行っていますか。

□
1．介護事業所に対する業務改善支援事業で実施している
2．上記以外で実施している
3．実施していない
⇒実施している場合、どのような支援を行っていますか。（自由記述）（↓具体的にご記載ください。）

【必須】（21）上記（20）にて「1．介護事業所に対する業務改善支援事業で実施している」を選択した場合、予算額をご記載ください。
※国からの交付分＋都道府県負担分

□千円

【必須】（22）介護ロボット導入支援事業等を円滑に遂行するために必要とする情報は何ですか。（あてはまる全てを選択してください）

□
□
□
□
□
□
1．介護ロボットに関する機器情報
2．介護ロボットの対象範囲
3．介護ロボットの活用事例
4．展示会や研修会の開催情報
5．介護ロボットに関するヒヤリハット情報
6．その他（↓具体的にご記載ください）

【必須】（23）次年度（令和6年度）以降は「介護ロボット導入支援事業」をどのように実施したいとお考えですか。

1. 今年と同様に実施
2. 内容をより充実させて実施（↓具体的な内容をご記載ください）
3. テーマ、分野を絞って実施（↓具体的な内容をご記載ください）
4. 実施しない（↓理由をご記載ください）

【任意】（24）本事業へのご意見や事業所からの反応などございましたら、ご記載ください。

Ⅱ－２．令和5年度　地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について

＜注意＞
記入いただいた計画について、「計画件数の合計（内訳は手入力が必要）」「交付決定額」は右のセルで合計を表示しますので、実績と相違ないか回答提出前にご確認ください。

計画件数の合計 【自動計算されます】		0
（内訳）★手入力してください	一定の要件を満たす	
	それ以外	

交付決定額（円）【自動計算されます】	0

令和5年度(11月末まで）に導入支援事業の対象として交付決定した計画の詳細についてご記入ください。
施設・居住系サービス（該当するサービス種別は枠外の一覧を参照）の交付決定状況について、1計画ごとに、事業所名、所在地（市町村）、サービス種別、補助額、補助率、支援分野、導入機種名、メーカー名、導入台数を下の表にご記入ください。

※１：支援分野は、①移乗支援、②移動支援、③排泄支援、④見守り、⑤コミュニケーション、⑥入浴支援、⑦介護業務支援、⑧Wi-Fi工事、⑨インカム（親機の件数）、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかの番号を選択してください。なお、⑧Wi-Fi工事、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかを選択した場合、「導入台数」の記入は不要です（選択しますと「導入台数」の枠が黒く塗りつぶされます）。
※２：1計画で複数の機器を導入する計画については、全ての機器について記入して下さい。複数の機器を記入いただく際の「計画番号」「枝番」の採番方法は調査票記入例をご覧ください。
また、本シートの中央上部に表示される「計画件数の合計」は、枝番が「1」と入力されたセルの数をカウントしているため、計画番号や枝番の入力に漏れやズレが無いか提出前にご確認ください。

施設・居住系サービス

計画番号	枝番※2	事業所名	所在地（市町村）	サービス種別	その他の場合 種別名	補助額（円単位、国・都道府県の合計）（千円以下切り捨て）	補助率（○／○）	支援分野※	導入機種名	メーカー名	導入台数
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台

Ⅱ－３．令和5年度 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について

＜注意＞
記入いただいた計画について、「計画件数の合計（内訳は手入力が必要）」「交付決定額」は右のセルで合計を表示しますので、実績と相違ないか回答提出前にご確認ください。

計画件数の合計 【自動計算されます】		0
（内訳）★手入力してください	一定の要件を満たす	
	それ以外	

交付決定額（円）【自動計算されます】	0

令和5年度(11月末まで）に導入支援事業の対象として交付決定した計画の詳細についてご記入ください。
在宅系サービス（該当するサービス種別は枠外の一覧を参照）の交付決定状況について、1計画ごとに、事業所名、所在地（市町村）、サービス種別、補助額、補助率、支援分野、導入機種名、メーカー名、導入台数を下の表にご記入ください。

※1：支援分野は、①移乗支援、②移動支援、③排泄支援、④見守り、⑤コミュニケーション、⑥入浴支援、⑦介護業務支援、⑧Wi-Fi工事、⑨インカム（親機の件数）、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかの番号を選択してください。なお、⑧Wi-Fi工事、⑩介護記録とのシステム連動 のいずれかを選択した場合、「導入台数」の記入は不要です（選択しますと「導入台数」の枠が黒く塗りつぶされます）。
※2：1計画で複数の機器を導入する計画については、全ての機器について記入して下さい。複数の機器を記入いただく際の「計画番号」「枝番」の採番方法は調査票記入例をご覧ください。
また、本シートの中央上部に表示される「計画件数の合計」は、枝番が「1」と入力されたセルの数をカウントしているため、計画番号や枝番の入力に漏れやズレが無いか提出前にご確認ください。

在宅系サービス

計画番号	枝番※2	事業所名	所在地（市町村）	サービス種別	その他の場合 種別名	補助額（円単位、国・都道府県の合計）（千円以下切り捨て）	補助率（○／○）	支援分野※	導入機種名	メーカー名	導入台数
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台
											台

657

必須項目のうち、未回答数が2問あります。
黄色網掛けの項目・設問には必ずご回答ください。

介護ロボット導入支援事業の実施状況調査

Ⅲ．その他の介護ロボット開発・普及の促進に関する事業について

【必須】 1．地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」以外に介護ロボット開発・普及の促進に関する事業を実施していますか。

1．実施した
2．実施していない（令和6年度実施予定がある）
3．実施していない

【任意】 2．介護ロボット開発・普及の促進に関する事業の内容等についてお知らせください。
また、管内の区市町村が独自に実施している事業についても、把握している範囲でお知らせください。

（1）開発に関する支援事業について

		令和6年度	
開発支援1	事業名		
	予算額		千円
	事業内容		
	対象者		
	対象人数（対象社数）		
	実施時期		
開発支援2	事業名		
	予算額		千円
	事業内容		
	対象者		
	対象人数（対象社数）		
	実施時期		
開発支援3	事業名		
	予算額		千円
	事業内容		
	対象者		
	対象人数（対象社数）		
	実施時期		
開発支援4	事業名		
	予算額		千円
	事業内容		
	対象者		
	対象人数（対象社数）		
	実施時期		

（２）導入に関する支援事業について

	令和6年度		
導入支援1	事業名		
	予算額		千円
	事業内容		
	対象者		
	対象人数（対象社数）		
	実施時期		
導入支援2	事業名		
	予算額		千円
	事業内容		
	対象者		
	対象人数（対象社数）		
	実施時期		

（３）普及・啓発に関する支援事業について

	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
普及・啓発支援1	事業名			事業名			事業名		
	執行額		千円	予算額		千円	予算額		千円
	事業内容			事業内容			事業内容		
	対象者			対象者			対象者		
	対象人数（対象社数）			対象人数（対象社数）			対象人数（対象社数）		
	実績			実績見込み					
普及・啓発支援2	事業名			事業名			事業名		
	執行額		千円	予算額		千円	予算額		千円
	事業内容			事業内容			事業内容		
	対象者			対象者			対象者		
	対象人数（対象社数）			対象人数（対象社数）			対象人数（対象社数）		
	実績			実績見込み					
普及・啓発支援3	事業名			事業名			事業名		
	執行額		千円	予算額		千円	予算額		千円
	事業内容			事業内容			事業内容		
	対象者			対象者			対象者		
	対象人数（対象社数）			対象人数（対象社数）			対象人数（対象社数）		
	実績			実績見込み					

Ⅳ.その他、介護ロボットに関するイベントや会議等の開催状況について

【任意】 1. 令和5年度に管内で開催された（または予定している）介護ロボットの展示等を含むイベントの名称等について、把握している範囲で教えてください。
※厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」介護ロボット地域フォーラムの開催は除きます。

	イベント名称	開催日	開催場所（市町村）	主催者	来場者数		出展者数		運営費に対する公的資金の投入有無
①						人		社	1. 有 2. 無
②						人		社	1. 有 2. 無
③						人		社	1. 有 2. 無
④						人		社	1. 有 2. 無
⑤						人		社	1. 有 2. 無
⑥						人		社	1. 有 2. 無

【任意】 2. 管内において、介護ロボット等の介護機器の開発に向けた、介護現場と開発企業による意見交換の場はありますか。把握している範囲で教えてくださ
※厚生労働省委託事業における「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム」にかかる事業は除きます。

	会議体の名称	事務局（団体・組織名）	開催頻度（月1回程度など）	介護現場参加施設・事業者数		開発企業参加企業数		その他教育機関・自治体など	
①					件		社		件
②					件		社		件

Ⅴ． 地域医療介護総合確保基金による令和５年度「介護生産性向上推進総合事業」の実施概況について

【必須】 1. 「介護生産性向上推進総合事業」事業を実施しましたか。

1. 実施した
2. 実施しなかった

【任意】 2. 上記1で「1. 実施した」と回答した場合、その実績について教えてください。

(1)都道府県等による介護現場革新会議に係る必要と認められた経費

①都道府県等による介護現場革新会議の設置に伴う必要な経費

件
千円

②介護事業所の取組（モデル的取組）に必要な経費
※（1事業所あたり）対象経費の1/2以内（上限500万円）

件
千円

③都道府県等が取組む介護の魅力発信や職員の定着支援等に要する必要な経費

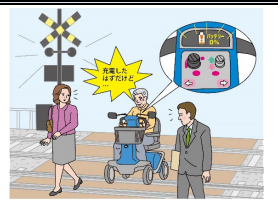
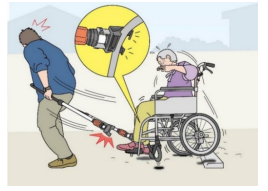
実施事業名	補助金額	
		千円
		千円
		千円

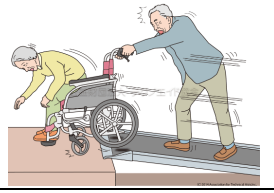
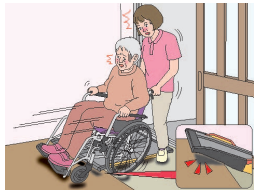
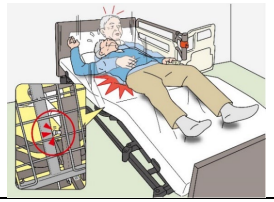
(2)第三者が生産性向上の取組を支援するための費用の支援（コンサル経費の補助）
※（1事業所あたり）対象経費の1/2以内（上限30万円）

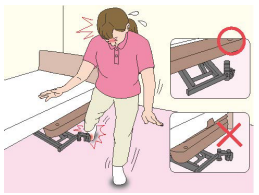
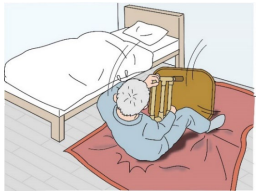
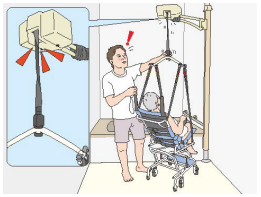
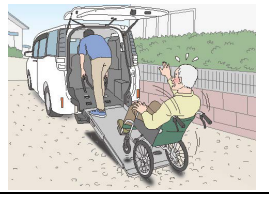
件
千円

設問は以上となります。
多くの設問のご回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。
事務局にて確認のうえ、不明な点は問い合わせさせていただきます。

令和5年度　新たに作成したヒヤリハット事例等について

新No	介護保険の種目	介護ロボット	利用シーン	主な利用場所	CCTA95	タイトル	場面の説明（50～80文字程度）	解説（150～200文字程度）	参考要因	イラスト
1	車いす	-	外出 移動	坂道 踏切 その他	122124	長年の使用でバッテリーが能力低下しており線路の段差で立ち往生した	走行前にバッテリーを満充電したにも関わらず、本来乗り越えられるはずの線路の段差でも立ち往生してしまった	大きな事故につながりかねない事例です。バッテリーは余裕をもって充電することはもちろんですが、経年による能力低下で、満充電して走行開始しても早めに電欠状態になったり本来の性能が発揮できない場合もあります。上り坂や段差で能力不足を感じるようなことがあれば、バッテリーの交換が必要な状態と考え、早めに点検を依頼しましょう。また機器の管理を担う貸与事業者では、安全上重要な管理項目と認識しましょう。	人：バッテリーの劣化が車いすの性能低下につながることを知らなかった モノ：使い始めから年数がたっているバッテリーであった モノ：貸与で利用している車いすで、バッテリーの経年数を把握できなかった 管理：貸与事業者ではバッテリーの使用年限のルール化がなされていなかった	
2	車いす	-	移動 その他	リビング・居間 ダイニング・食堂	122106	背もたれのカバーがズレ、ポケット部分が背中にあたっていた	車いすの背もたれカバー固定が不十分でズレ、本来は背面にあるポケットが体側に回っていた	背もたれカバーは一般的に面ファスナーで固定されており、劣化や管理状態で固定力が低下していたものと考えられます。モニタリングの際に利用者が座ったままの状態で確認していたため、面ファスナーの状況に気づかなかったことも考えられますが、そもそも座る人の生活機能と車いすのサイズや機能が適合しておらず適切な座位が維持できていないことの影響も大きいと考えられます。	人：股関節が固くずっこけ姿勢で座っていた 人：車いすでの座位姿勢を考慮せずに供給していた モノ：背もたれカバーの面ファスナーが劣化していた モノ：乗る人の生活機能に合わない車いすであった 管理：車いすでの座位姿勢の大切さが選定担当者に教育されていなかった	
3	車いす	-	移動 外出	踏切	122124	対向する自転車を避けようと路肩の広い箇所に入ったらレールの隙間に脱輪した	踏切内の通路横に設けられたスペースではレールの隙間が広いことに気づかず、対向の自転車をやり過ごそうとして脱輪してしまう	踏切内の通路では線路部分が広くなっている場合があり、歩行者や自転車のすれ違いの際に退避場所として利用することもありますが、このような箇所ではレールの隙間が広くなっており、また車いすの運転者からも死角で見えづらいことから、容易に脱輪してしまうことが考えられます。踏切内でのすれ違いは極力避け、対向する人や車と充分な距離を確保して、安全な領域を通行できるように、譲り合って横断しましょう。	人：対向してくる自転車に対し自分が避けなければという気持ちになってしまう 人：踏切内の端部の形状が通常の走行部分と異なっていることを知らなかった 人：自転車が譲ってくれるだろうと思い込み、横断を待つ余裕がなかった モノ：足元の路面状況が確認しづらい形状の車いすだった 管理：踏切内の両端部分への注意喚起が行われていない	
4	車いす	-	外出	その他	122124	集合住宅の階段付近でUターンをしようとして転落しそうになった	ハンドル型電動車いすを操作中、集合住宅の上層階で、エレベータに向けて方向転換しようとしていたところ、誤って階段部分に脱輪、転落しそうになる	歩行の困難さや充電のため、集合住宅にある自宅の玄関先までハンドル型電動車いすで移動する必要があったのだと考えられます。階段付近などで切り返しを行なう際、ハンドルに取り付けられたバックミラーでは後進方向や床面の状況が映らず確認できません。狭いスペースで方向転換をする場合、とりまわしの練習などで安全を確認した上で納品し、日々の利用では介助者に後方を確認してもらうなど、十分に注意しましょう。	人：納品担当者が切り返しにより方向転換することを想定できなかった 人：目視ができなかったが感覚的な操作でも大丈夫だと考えていた 環境：後ろを確認してくれる介助者がいなかった モノ：ハンドルを切るとバックミラーが横を向き、後輪の位置が確認できなかった	
5	車いす付属品	-	移動 外出	その他	122489	走行中車いすけん引装置が外れ、バランスを崩し転倒しそうになる	車いすとの接続固定が不十分だったため段差の振動で片方が外れ、バランスを崩した	車いすけん引装置は、不整地や段差部の通過等の際に効果を発揮する用具で、非常時の避難器具としても活用されています。車いすとの接続固定部分には強い力がかかるので、確実な装着とねじの締め込みが求められます。万一装着が不十分でも外れにくい構造になっていますが、そのまま使い続けると接続部分が変形するなどして、振動などで外れてしまうこともあり危険です。変形がないかなど日ごろからの点検も重要です。	人：適切な固定方法を理解していなかった 人：部品の変形に気づいてもけん引できるので大丈夫だと思っていた モノ：不十分な接続でもけん引できる構造だった モノ：不適切な装着で部品に変形が生じていた 管理：不十分な装着がなされていることを把握できていなかった	
6	歩行器	-	移動	浴室・脱衣室	120606	歩行器を手すり代わりに立たせていたら、ブレーキがかかっておらず転びそうになった	入浴後、歩行器を手すり代わりに頼らせて目を離したところ、ブレーキがかかっていなかったため転倒しそうになった	入浴後で疲れがあったことも考えられます。立たせたまま髪のケアなどを行うなどのときも同様ですが、たとえブレーキを確認していても歩行器を手すり代わりにすることはやめ、椅子を用意しましょう。やむを得ず立ったままの姿勢でケアをする際には手すりを利用し、また目を離さないなど作業手順を考慮しましょう。	人：いつもの手順だったので、ブレーキにも特段の注意を払わなかった 環境：脱衣室が狭く、椅子を用意することができなかった 管理：作業手順を検討したことがなかった	

新No	介護保険の種目	介護ロボット	利用シーン	主な利用場所	CCTA95	タイトル	場面の説明（50～80文字程度）	解説（150～200文字程度）	参考要因	イラスト
7	-	-	移動 外出	その他	120690	ロックが不十分だった座面が突然折りたたまれ、転落しそうになる	座面の固定ロックが十分にかかっていない状態に気が付かずに座ろうとして、突然折りたたまれ転落しそうになる	本来は構造上、ロックが不完全な状態で保持されないような機構になっていると考えられますが、長年の使用による劣化や歪みなどが原因で、このような状態となることもあります。シルバーカーは介護保険の貸与対象ではなくモニタリングでの点検も無いことから、ユーザー自らが日常点検することが求められます。歪みがあったり劣化していることがわかったら、危険な状態と認識し新しいものにすることも大切です。	人：歪みがあることに気が付かなかった モノ：長年の使用で歪みが出ていた 環境：家族など日常点検してくれる人が身近にいなかった 管理：危険な状態である歪みの程度が具体的に示されていなかった	
8	スロープ	-	移動	玄関 段差・縁石	183015	勢いをつけてスロープを上った際、最上部で本人が車いすから落ちそうになる	勢いをつけてスロープを上ったが、最上部で急減速したことと、スロープ縁の段差で車いすが前傾したことで、本人が車いすから落ちそうになった。シートベルトは付けていなかった	勢いをつけてスロープを上ると、最上端部での減速と可搬型スロープの厚み分の段差によって、本人が前方に振り出される力が大きくかかります。適切な速度で登坂することや、段差部分も注意して越えることが大切です。介護者が精いっぱいの力で勢いをつけて上ることは、本来あるべきではありませんが、やむを得ず必要な場合は、このような危険があることを理解し、一時的にベルトを装着するなど万一に備えた対応も必要です。	人：ゆっくりとした速度で介助するのに十分な体力がなかった 人：勢いをつけた方が楽に上り切れると思いスピードを出しすぎた 環境：段差との奥行きがない狭い場所で、緩やかなスロープを選択できなかった	
9	スロープ	-	移動 外出	玄関 段差・縁石	183015	スロープに乗り込む段差が大きく勢いをつけたら脱輪してしまった	スロープの長さが不適切で上段乗り込み口に段差ができており、勢いをつけて越えようとして脱輪してしまう	段差高さに対しスロープが短か過ぎ、段上でスロープの端部が床から浮いた状態で乗り込み口に段差が生じていたことが考えられます。適切な長さのスロープを選定することが基本です。玄関の広さ等の関係で適切なスロープを選択できないことも少なくありませんが、そもそも勢いをつける操作自体安全ではなく、より慎重に操作することも必要です。また段差解消機などほかの手段を検討することも大切です。	人：慣れが出て慎重さを欠いていた 人：ゆっくり慎重に操作したかったが体力がなくできなかった モノ：段差に対しスロープが短かった 環境：広さが足りず適切な長さのスロープを選定できなかった 管理：不適切な長さのスロープ利用の危険性が知らされていなかった	
10	特殊寝台	-	起居・就寝	寝室	181209	敷布団と一緒に床へすべり落ちそうになる	ベッドから立ち上がろうと力を入れたところ、マットレスからはみ出ていた敷布団もろともすべり落ちそうになった	介護ベッドではマットレスの上に敷布団を敷く必要はありません。この事例では、敷布団が大きめで脇から垂れ下がっており、そこに座ったことによって、すべり落ちそうになったとのことです。どうしても敷く場合には、サイズを合わせずレスないような工夫も必要です。 また、布団ではなくても、サイズの合わないマットレスを使用している場合も同様の危険があります。寝具は介護ベッドと適合するものを利用しましょう。	人：マットレスの上には敷布団を敷くものと思っていた 人：敷布団は必要ないことを利用者に伝えていなかった モノ：提供されたマットレスが硬くて眠れず、やむなく使用していた 管理：介護用のベッドは一般ベッドよりも幅が狭まく、一般の寝具では適合しないものが多いとの説明が不十分であった	
11	特殊寝台	-	起居・就寝	寝室	181209	介護ベッドの背上げ機構部分の固定が外れ、背もたれが落下した	介護ベッドの背上げ機構のモーターと背の床板をつなぐ連結ピンが外れ、背上げの際に突然落下してしまう	在宅用の介護ベッドは配送を考慮して組立式が採用されており、連結ピンによる接続を行う箇所が多くあります。このケースはこの連結ピンが脱落してしまったことが原因ですが、通常の使用状態では自然に脱落することは考えづらく、組み立てミスの可能性もあります。連結ピンの不具合は利用者には気づきにくい場所でもあり、福祉用具の貸与事業者には組立後の設置状況点検、動作確認等も含めた適切な管理・点検が求められます。	人：組立に不慣れにもかかわらず、説明書を読まなかった モノ：連結ピンが外れかけていても、特に異音等が発生しない構造だった 管理：納品組立後の確認事項やモニタリングの際の点検項目に連結ピンの状態確認が含まれていなかった	
12	特殊寝台	-	起居・就寝 移乗	寝室	181209	サイドレール受けの樹脂カバーが破損していることに気づかず足を怪我しそうになる	サイドレール差し込み部の樹脂カバー下面が破損して鋭利になっており、立ち上がりで足を引きこむ際に皮膚を引っ掻いた	サイドレール受けなどの樹脂部分は破損すると鋭利な状態となり、そのまま放置しておくことは危険です。車いすのアームサポートなどでも同様の事故が起こっており、利用中に気づいたら貸与事業者に連絡するなど、早急な対応が必要です。また、用具を管理する事業者などでは、貸し出し前の点検やモニタリング時に見逃さないよう、点検項目として明確化することや、使用状況によっては早めにモニタリングを実施するとよいでしょう。	人：納品前の点検で破損に気づかなかった 人：破損していることに気づいたが、借りているものなので連絡しづらかった モノ：車いすなどとの接触で破損しやすい箇所だった 管理：点検項目に入っておらず、チェックされなかった	

新No	介護保険の種目	介護ロボット	利用シーン	主な利用場所	CCTA95	タイトル	場面の説明（50～80文字程度）	解説（150～200文字程度）	参考要因	イラスト
13	特殊寝台	-	移乗 起居・就寝	寝室	181209	介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた	本来内側に向けて取付けられるはずのキャスターが外側を向いており、介助者が足をぶつけた	キャスターはオプションとして後付けされたものであり、組み立て担当者が組立説明書を確認せず、先入観で作業してしまったことで誤った位置に取り付けられてしまったと考えられます。また、ベッド側でも、誤った取り付けができない設計や取り付け方向を表示するなどで人のミスを未然に防ぐ配慮がなされているとより安心して選定ができると思われます。	人：外に向けて取付けたほうが安定感があるように思え、先入観を持ってしまった 人：組み立ての説明書を確認しなかった モノ：誤った位置での組み立てができてしまう設計だった 環境：説明書を確認する時間的な余裕がなかった	
14	手すり	-	起居・就寝 立ち座り	寝室 リビング・居間	123009	床置き型手すりの設置位置を家族が移動してしまい転倒しそうになった	リビングのフローリング床に設置した床置き型手すりを家族が寝室のじゅうたん床に移動してしまい、安定せず転倒しそうになる	床置き型の手すりは、床の状態や力をかける方向により安定せず転倒しやすくなります。またベッドと隙間をあけて設置したことにより挟まって抜けられなくなる事故も発生しています。設置個所はケアプランに基づいており利用者の自己判断での移動はできません。また床がじゅうたんの所は設置不可としている製品もあるため、ほかの場所でも利用したい時には、必ずケアマネや福祉用具貸与事業者に相談しましょう。	人：どのような床面でも利用できると思っていた 人：使用場所を移動するくらいの些細なことで来てもらうことに遠慮があった 人：勝手に場所を移動してはいけないことを説明していなかった モノ：力の方向によっては安定を欠く形状であった モノ：じゅうたんが滑りやすかった	
15	移動用リフト	-	入浴	浴室・脱衣室	123612	吊り上げ式リフトのベルトがねじれていることに気づかず操作した	ベルトがねじれていることに気が付かずに巻き上げ操作をし、機器が故障しかねない状態をつくってしまう	ベルト巻き上げ式の移乗用リフトでは、ベルトがねじれたまま巻き取られると機器内部で絡みつくなど故障の原因となります。ねじれたままの状態では巻き上げられない予防機構が備わる機種もありますが、安全な利用を行う上での注意ポイントです。また、無理に横方向から持ち上げる、ベルトがたるんだ状態で上下操作をすることも故障の原因となります。	人：リフトの操作に不慣れでベルトの状態まで気が回らなかった 人：ベルトのねじれが故障の原因になることを知らなかった モノ：ねじれた状態での巻き上げを予防する機構が装備されていない機種であった 管理：リフトの活用研修で、ベルトねじれの注意点が伝達されなかった	
16	-	-	階段の昇り降り	階段	183009	階段昇降機の椅子への座り方が悪く、壁から突き出た梁に挟まれそうになる	いす式の階段昇降機で上階への移動中、背もたれよりも後方に頭を出してしまい、背もたれと梁の間に挟まれそうになる	昇降機は原則としてメーカーの施工基準にのっとって取り付けられますが、家屋側の形状によっては様々な危険個所が考えられます。この例のような壁からの突起箇所のほか、階段のらせん部分での壁と膝の接触、立位で乗る場合の天井などです。また、座位の安定や姿勢によっても挟まれやすい条件がありますので、個別のケースごとに想定される危険に対する検討が必要です。	人：股関節が曲がりづらく、頭部が後方に倒れる座位姿勢だった モノ：背もたれが低く後ろにのけぞりやすい形状の椅子だった 環境：階段が狭く梁の突き出しと椅子の間に余裕を持てなかった 環境：梁の突き出しの解消ができていなかった 管理：施工基準に不適切な座位姿勢での利用の想定がなく、注意喚起をしていなかった	
17	-	-	乗り物 外出	車内	120903	振動や急加減速で姿勢が崩れ、転落しそうになる	福祉車両に搭乗中、振動や急加減速で車いすを固定している部品が外れ、車いすが揺れて転落しそうになった	車いす固定が不完全であったことやフックの固定箇所が適切な場所ではなかったことが考えられます。また利用者の姿勢が車いすの中で崩れ、転落しそうになる事例も報告されています。運転者には丁寧な運転が求められることはもちろんですが、車いす自体の固定のほかにも、身体には車いす用の安全ベルトを乗車中のみ一時的に装着する、必要に応じてヘッドサポートを取り付けるなど、急ブレーキや急カーブなども想定した対策を行ってください。	人：車いすを固定するベルトに緩みがあっても気にしなかった モノ：固定方法が複雑で、しっかり固定されているかの確認も簡単ではなかった 環境：車内が暗く、固定の目視確認がしにくかった。 管理：しっかり固定されたかどうかの確認ルールが徹底されていなかった	
18	-	-	乗り物 外出	車内	120903	福祉車両のスロープ上に前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる	送迎の際、スロープに前輪のみを乗せた状態でベルトを取りに車内に入ったところ、車いすがバランスを崩し後方に転倒しそうになる	車いすの後方への転倒は様々な場面で起こっています。福祉車両の後方スロープは車種ごとに傾斜角度が異なり、傾斜の強いタイプでは後方への転倒リスクが高まります。車いすの大きさや種類によっても転倒しやすさは異なりますが、どのような車種、車いすであっても、その場を離れる場合は平坦な場所に留め置くことが原則です。また、このような事態を防ぐ点からも送迎計画には余裕を持ちたいものです。	人：スロープ端部に車いすの前輪を載せておいた方が効率良く乗り込むことができると思った 人：送迎計画に余裕がなく作業効率を優先させてしまった モノ：スロープの傾斜が大きいタイプの福祉車両であった モノ：車いすが体格に対し小型で、後方に転倒しやすい重心バランスであった 管理：車両への乗り込みに対する手順が決められていなかった	

新No	介護保険の種目	介護ロボット	利用シーン	主な利用場所	CCTA95	タイトル	場面の説明（50～80文字程度）	解説（150～200文字程度）	参考要因	イラスト
19	-	見守り・コミュニケーション（施設）	起居・就寝夜間	寝室	215190	入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった	心拍や呼吸を読み取るセンサーを利用している入居者が臥床しているのに離床と表示されたが、重大なことと認識せずに対応しなかった	心拍や呼吸を読み取るセンサーでは、それらが読み取れない状態を離床と判断し表示するケースがあります。入床しているにもかかわらず離床と表示されている場合は心拍や呼吸が停止している状態を示し、亡くなっていることも考えられ、入室してベッドサイドで状態を確認すべきです。見守りセンサーの利用では、機器の特性を理解し状態に応じて訪室での確認を必須にするなどマニュアル化しておくことも重要です。	人：部屋の入り口から入床していることが見えたので離床の表示が誤りだと思い込んでしまった 人：昨日まで元気だったので急変するとは思わなかった モノ：離床の通知を主目的に設計された機器ではなかった 管理：実質的な離床センサーとして活用しており、心拍や呼吸の状態ごとの対応ルールを決めていなかった	